

平成 30 年 度

事業実績並びに主要施策成果説明書

須 坂 市

地方自治法第 233 条第 5 項の規定により、平成 30 年度決算に係る
主要施策成果説明書を次のとおり提出する。

令和元年 8 月 27 日

須坂市長 三 木 正 夫

目 次

I 事業の実績並びに主要施策の成果

1	一般会計	款	1	議	会	費		1			
		款	2	総	務	費		7			
		款	3	民	生	費		91			
		款	4	衛	生	費		155			
		款	5	労	働	費		203			
		款	6	農	林	水	産	業	費		215
		款	7	商	工	費		243			
		款	8	土	木	費		267			
		款	9	消	防	費		309			
		款	10	教	育	費		333			
		款	11	公	債	費		449			
		款	12	予	備	費		449			
2	国民健康保険特別会計								451		
3	井上、幸高、九反田、中島財産区特別会計								463		
4	介護保険特別会計								465		
5	後期高齢者医療特別会計								485		

II 参考資料

1	一般会計決算の状況		489
2	市債の状況		491
3	基金の運用状況		493
4	貸付金の状況		494
5	負担金及び補助金等に関する調		495
6	統計資料・基本計画等の作成状況		558

I 事業の実績並びに主要施策の成果

1 一般会計

款 1 議 会 費

(款 1) 議会費

単位：円

当 初 予算額	222,790,000	予算 現額	219,760,000	決算額	218,491,911	前 年 度 決算対比	97.2%	前年度 決算額	224,837,221
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	-------	------------	-------------

1-1-1 (目) 議会費

単位：円

当 初 予算額	222,790,000	予算 現額	219,760,000	決算額	218,491,911	前 年 度 決算対比	97.2%	前年度 決算額	224,837,221
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	-------	------------	-------------

■ 議会運営費

単位：円

当 初 予算額	21,126,000	予算 現額	18,106,000	決算額	17,007,042	前 年 度 決算対比	78.4%	前年度 決算額	21,686,139
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

意思決定機関である議会の円滑な運営を支え、団体意思並びに機関意思の決定に寄与する。

II 事業の成果等

本会議、委員会等を開催し、市民の負託に応えるとともに、委員会、全員協議会は原則公開として、開かれた議会、透明性のある議会運営が図られた。

III 事業の実績

1 本会議の開催状況

(1) 定例会

区 分	会 期	開議日数
6 月	23	6
9 月	30	7
12 月	22	7
3 月	25	6
計	100	26

(2) 臨時会

区 分	会 期	開議日数
1 月 8 日	1	1
2 月 12 日～13 日	2	2
計	3	3

2 委員会等の開催状況

※ 現地調査を含む

委員会等の名称	開 催 日 数		
	会期中	閉会中	計
総務文教委員会	10	5	15
福祉環境委員会	11	5	16
経済建設委員会	13	6	19
議会運営委員会	13	6	19
市議会広報特別委員会	5	8	13
予算決算特別委員会	11	2	13
同上総務文教分科会	12	0	12
同上福祉環境分科会	14	0	14
同上経済建設分科会	13	0	13
インター周辺等開発特別委員会	3	3	6
会派代表者会議	5	1	6
市議会議員選挙の課題等 検討特別委員会	1	0	0
全員協議会	15	4	19
須坂市議会防災委員会	0	1	1

3 議決件数

区	分	提出 件数	原案 可決	原案 認定	原案 承認	原案 同意	原案 否決	修正 案可決	修正 案否決	継続 審査	異議 なき 旨を 答申	報 告
市長提出	事件決議	19	19									
	条 例	31	29				1			1		
	予 算	32	31					1				
	決 算	8		8								
	専決処分	4			4							
	同 意	4				4						
	諮 問	1									1	
	報 告	14										14
	計	113	79	8	4	4	1	1		1	1	14
議員提出	条例・規則	1					1					
	意 見 書	12	10				2					
	決 議											
	附帯決議	3	3									
	修正動議	7						1	6			
	閉会中の継続審査申出	1	1									
	計	24	14				3	1	6			
合 計		137	93	8	4	4	4	2	6	1	1	14

4 特別委員会の設置等

市議会広報特別委員会設置 2月12日

予算決算特別委員会設置 2月12日

インター周辺等開発特別委員会設置 2月12日

市議会議員選挙の課題等検討特別委員会設置 3月22日

5 選挙・選任等の件数

- (1) 選挙等 5件 2月臨時会（2月12日） 議長の選挙
副議長の選挙
（2月13日） 長野広域連合議会議員の補欠選挙
須高行政事務組合議会議員の補欠選挙
3月定例会（3月7日） 須坂市選挙管理委員及び補充員の選挙
- (2) 選任等 6件 2月臨時会（2月12日） 常任委員会委員の選任
議会運営委員会委員の選任
市議会広報特別委員会委員の選任
予算決算特別委員会委員の選任
インター周辺等開発特別委員会委員の選任
3月定例会（3月22日） 市議会議員選挙の課題等検討特別委員会委員の選任

6 請願・陳情の件数

請 願 6件 採 択 3件
不 採 択 3件
陳 情 8件 趣旨了承 3件
聞 置 5件

7 市議会議員改選関係

議員章・新人議員防災活動服等消耗品	99,586 円
新旧議員記念写真代	59,184 円
議員ハンドブックの作成（平成 31 年 2 月改訂版）50 部	194,400 円
議場議員席プレート貼り替え	23,760 円
議員宅 F A X 撤去・設置	12,960 円
議員消防用法被クリーニング	1,620 円

8 消耗品費 防災活動服等一式購入 議員 20 人分 350,244 円

9 「こんにちは須坂市議会です」の発行 3,055,968 円
 年 4 回発行 5 月、8 月、11 月、1 月 発行部数 各 19,250 部
 市内全世帯に配布

10 市議会要覧の作成 200 部（事務局で作成）

11 修繕料 なし

12 手数料 カーペットクリーニング（各室・廊下） 81,000 円
 フロアーマットクリーニング 3,369 円

13 委託料 会議録検索システム保守（委託先）(株)会議録研究所 181,440 円
 会議録調製事務及び印刷製本 (株)会議録研究所 3,723,145 円
 会議録参考資料調製業務 (株)会議録研究所 357,588 円
 会議録検索システムデータ作成 (株)会議録研究所 271,543 円
 常任委員会等会議録調製事務 特定非営利活動法人
 信州 S O H O 支援協議会 1,230,390 円
 議会本会議インターネット録画配信用
 ストリーミング加工 (有) N P ウォンツ 215,998 円
 データアップロード (有) N P ウォンツ 51,840 円

14 工事請負費 なし

15 備品購入 図書購入 23 冊 76,453 円

16 行政視察の実施

委員会名	視 察 先 ・ 視 察 内 容	実施月日
総務文教委員会	静岡県焼津市 「公共施設マネジメント推進事業」 兵庫県三木市 「市民ボランティアとの協働による婚活支援」 岡山県瀬戸内市 「自主防災活動促進事業」	5 月 15 日～17 日
福祉環境委員会	愛知県新城市 「新城まちなか博物館について」 滋賀県野洲市 「生活困窮者支援、くらし支えあい条例及び債権 管理条例について」 三重県伊勢市 「伊勢市全市博物館構想について」	5 月 22 日～24 日
経済建設委員会	鹿児島県南九州市 「知覧武家屋敷庭園群および知覧特攻平和会 館を活かした観光施策について」 宮崎県都城市 「六次産業化推進事業について」 宮崎県日南市 「油津商店街テナントミックス事業について」	5 月 22 日～24 日

17 議員研修

【第 58 回東北信 9 市議会正副委員長研修会】

日 時 8 月 22 日

会 場 長野市 ホテルメルパルク NAGANO

① 講 演 演題 「これからの魅力ある市議会」

講師 山梨学院大学教授 江藤 俊昭 氏

② 意見交換会

参加者 東北信 9 市議会正副委員長等 133 人（須坂市議会議員 14 人 事務局 2 人）

【須坂市議会議員研修会】

日 時 10 月 2 日

会 場 須坂市消防本部大会議室

内 容 講 演 演題 「災害時における留意事項について」

実 習 ①「救急法」

②「消火訓練」

講師 須坂市消防本部消防署職員

参加者 須坂市議会議員 20 人

【須高市町村議会議員研修交流会】

日 時 11 月 5 日

会 場 高山村 保健福祉総合センター「ふれあいホール」、山田温泉「風景館」

内 容 ① 講 演 演題 「長野地域連携中枢都市圏の現状と展望について」

講師 長野市長 加藤 久雄 氏

② 意見交換会

参加者 須高市町村議会議員等 53 人（須坂市議会議員 17 人 事務局 2 人）

18 須坂市が当番となって開催した会議

【北信 3 市議会議員研修会】

日 時 8 月 6 日

会 場 須坂市 仁礼コミュニティーセンター、スザカ迎賓館

内 容 ① 研 修 「長野広域連合が整備する最終処分場について」

説明 須坂市生活環境課職員

「須坂市新学校給食センター建設について」

説明 須坂市学校給食センター職員

② 意見交換会

参加者 北信 3 市議会議員等 64 人（須坂市議員 19 人 事務局 5 人）

19 行政視察の来訪

視察日	受け入れ先	人数	視察内容
4 月 19 日	福井県鯖江市議会	8	議会改革の取り組みについて
7 月 17 日	青森県弘前市議会	1	新規就農里親制度について
7 月 26 日	東京都府中市議会	8	地域新エネルギービジョンについて
10 月 12 日	広島県三次市議会	8	就農支援について
10 月 23 日	岡山県和気町議会	9	健康長寿発信都市「須坂 JAPAN」創生プロジェクトの取り組みについて みんなが助け合い健康に暮らせるまちづくりの取り組みについて

視察日	受け入れ先	人数	視察内容
10月24日	新潟県小千谷市議会	11	議会活性化の取り組みについて
10月31日	神奈川県寒川町議会	4	P F I による新給食センター整備運営事業について
11月7日	広島県庄原市議会	8	地域包括ケアシステムについて
合 計	8議会	57	(議員 48 随員 9)

20 傍聴者の状況

※マスコミ関係を除く

区 分		人 数
定 例 会	6 月	10
	9 月	16
	12 月	8
	3 月	8
	合 計	42
臨 時 会	1 月 8 日	0
	2 月 12 日～2 月 13 日	0
	合 計	0
常任委員会	総務文教委員会	11
	福祉環境委員会	4
	経済建設委員会	3
	合 計	18
各委員会等	議会運営委員会	0
	市議会広報特別委員会	0
	予算決算特別委員会	0
	インター周辺等開発特別委員会	7
	市議会議員選挙の課題等 検討特別委員会	0
	全員協議会	0
	合 計	7

■ 議場音響・映像システム整備事業

単位：円

当 初 予算額	3,001,000	予算 現額	3,001,000	決算額	3,000,240	前 年 度 決算対比	100.0%	前年度 決算額	3,000,240
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

東庁舎建設時に設置した本会議場音響施設が、35 年余り経過するなかで老朽化が進み、円滑な議会運営を行うために支障が生じているため、新たな整備を行う。

II 事業の成果等

議場マイク 32 本、HDカメラ 3 台等の議場音響映像システム一式を導入したことで、議事の円滑な進行が図られるとともに、HDカメラの映像を素材としたインターネット配信もより鮮明となり、市民の視聴環境も改善された。

III 事業の実績

議場音響・映像システム構築に係る賃借料 NTTファイナンス(株)長野支店 3,000,240 円
(賃借期間 平成 28 年 8 月 11 日～平成 33 年 8 月 10 日、賃借料総額 15,001,200 円)

款 2 總 務 費

(款2) 総務費

単位：円

当初 予算額	1,941,733,000	予算 現額	3,034,467,982	決算額	2,980,157,979	前年度 決算対比	117.6%	前年度 決算額	2,534,873,588
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	---------------

2-1-1 (目) 一般管理費

単位：円

当初 予算額	828,740,000	予算 現額	902,318,230	決算額	893,081,062	前年度 決算対比	65.6%	前年度 決算額	1,361,714,583
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	---------------

■ 職員人件費

単位：円

当初 予算額	688,753,000	予算 現額	777,199,000	決算額	776,495,242	前年度 決算対比	104.1%	前年度 決算額	746,147,400
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

住民の福祉の増進を図るために、適正な職員配置と効率的な行政運営を図る。

II 事業の成果等

事務事業及び職員配置の見直しを行い、効率的な行政運営が図ることができた。

III 事業の実績

1 一般職の職員状況

(1) 職員数

(3月31日現在)

部 局	条例 定数 (人)	総数 (人)		一 般 職 員 (人)										技能労務 職員 (人)	
				部長級		課長級		課長補佐級		係長級		その他職員			
		全 会計	一般 会計	全 会計	一般 会計	全 会計	一般 会計	全 会計	一般 会計	全 会計	一般 会計	全 会計	一般 会計	全 会計	一般 会計
市長 事務局	336	255	228	7	7	27	27	37	35	36	34	145	122	3	3
議事 事務局	5	5	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
選挙管 理委員 会事務局	2	2	2					1	1			1	1		
監査委 員事務局	1	1	1			1	1								
農業委員 会事務局	4	3	3			1	1	1	1			1	1		
教育委員 会事務局	155	94	94	1	1	3	3	16	16	13	13	61	61		
消 防 機 関	93	89	89	1	1	4	4	9	9	13	13	62	62		
水 道 局 (公営企業)	44	21		1		1		5		2		11		1	
合 計	640	470	422	11	10	38	37	70	63	65	61	282	248	4	3
前年度合計	640	476	428	11	10	39	38	63	57	66	60	293	260	4	3

派遣職員等を含める。(外郭団体等からの派遣職員は含めない。)

課長補佐級は職務上の課長補佐等とし、主幹・技幹の係長は係長級に含める。

係長級は職務上の係長、担当係長とする。

(参考) 嘱託・臨時職員数

(3月31日現在)

部 局	総数 (人)		嘱託職員 (人)		臨時職員 (人)	
	全会計	一般会計	全会計	一般会計	全会計	一般会計
市長事務局	244	215	137	119	107	96
議会事務局						
選挙管理委員会事務局	9	9			9	9
農業委員会事務局	1	1			1	1
教育委員会事務局	343	343	110	110	233	233
消 防 機 関	2	2	2	2		
水道局 (公営企業)	13		6		7	
合 計	612	570	255	231	357	339

(2) 採用及び退職者数

採用者数 (人)		退職者数 (人)	
全会計	一般会計	全会計	一般会計
18	16	26	23

(3) 男女別職員数

(3月31日現在)

男 子 (人)		女 子 (人)		合 計 (人)	
全会計	一般会計	全会計	一般会計	全会計	一般会計
305	280	165	142	470	422

(4) 平均給料月額等

(3月31日現在)

給 料 月 額 (円)					
最 高		最 低		平 均	
全会計	一般会計	全会計	一般会計	全会計	一般会計
439,100	439,100	166,400	166,400	325,297	327,396

(5) 男女別平均年齢

(3月31日現在)

男 子 (歳)		女 子 (歳)		合 計 (歳)	
全会計	一般会計	全会計	一般会計	全会計	一般会計
44.4	44.6	40.0	40.2	42.9	43.1

■ 一般管理事務費

単位: 円

当初 予算額	62,827,000	予算 現額	51,087,000	決算額	47,310,212	前年度 決算対比	72.9%	前年度 決算額	64,924,400
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

行政執行の円滑な推進を図る。

II 事業の成果等

条例・事件決議案等の審議のため、年4回の定例市議会と2回の臨時市議会を招集した。

また、特に優れた功績のあった者に対する市表彰式を実施した。

行政不服審査法に基づく、審査請求への対応を適切に行うことができた。行政不服審査会の答申の概要及び審査庁の裁決の概要を市ホームページに公表した。

III 事業の実績

1 須坂市議会の招集

回数	名 称	会 期	提出議案 等の件数	備 考
1	平成30年6月定例会	6月12日～7月4日	30	
2	〃 9月定例会	8月28日～9月26日	25	
3	〃 12月定例会	11月20日～12月11日	26	

回数	名 称	会 期	提出議案 等の件数	備 考
4	平成 31 年第 1 回臨時会	1 月 8 日	1	
5	〃 第 2 回臨時会	2 月 12 日、13 日	1	
6	〃 3 月定例会	2 月 26 日～ 3 月 22 日	30	

2 表彰

(1) 須坂市表彰規則に基づく表彰

ア 表彰式 11 月 3 日 メセナホール

イ 表彰の概要

区 分	表彰の種類	被表彰者数（人・団体）		
		個人（人）	団体（団体）	計
表彰状	消防功労者	8		8
	産業功労者	1		1
	保健衛生功労者	3		3
	私財寄附者	2		2
	善行功労者	1	1	2
合 計		15	1	16

※ 感謝状については、各課等で随時交付

(2) 須坂市職員表彰要綱に基づく表彰

表彰の概要

区 分	被表彰者数（人）
表彰状（永年勤続表彰）	13
感謝状（精勤表彰）	2

3 行政不服審査制度への対応

審査請求 3 件

	事件 1	事件 2	事件 3
審査請求書受付	6 月 21 日	6 月 26 日	1 月 29 日
審理員、審理員補助者指名 2 人	6 月 26 日	7 月 2 日	—
弁明書受付	7 月 17 日	7 月 24 日	—
反論書受付	9 月 5 日	8 月 24 日	—
審理員意見書受付	10 月 1 日	10 月 1 日	—
行政不服審査会			
第 1 回須坂市行政不服審査会（諮問）	10 月 19 日	10 月 19 日	—
第 2 回須坂市行政不服審査会	12 月 6 日	12 月 6 日	—
第 3 回須坂市行政不服審査会	12 月 25 日	12 月 25 日	—
須坂市行政不服審査会から答申	1 月 9 日	1 月 9 日	—
裁決書送付	1 月 10 日	1 月 10 日	2 月 12 日

4 公益通報者保護制度への対応

通報件数 0 件

広報すざか 5 月号で広報

■ 職員研修事業

単位：円

当 初 予算額	7,733,000	予算 現額	7,733,000	決算額	6,004,027	前 年 度 決算対比	68.1%	前年度 決算額	8,821,274
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

地方自治体が自らの責任と判断をもって地域社会を形成していくことが、より一層求められることから、それにふさわしい職員を育成するため研修等を行う。

II 事業の成果等

須坂市職員研修基本計画に基づき、組織の活性化及び市民サービスの向上のため、大勢の職員が各種研修に積極的に参加した。

講義方式による座学研修のほか、グループワークなどによる演習等を通じ、職員自らが主体的に考え、既成概念にとらわれず、豊かな発想による課題解決の視点を持つことができた。

2000 年度に策定した「人材育成に関する基本方針」の改定のため、求められる職員像、自分自身が目指す職員像について、ワーキングチームによる収束作業を行った。

地域主権時代における人材マネジメントのあり方を研究・提言し、自治体で人材マネジメントの中心となる指導者を養成することを目的とした、早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会に、昨年に引き続き若手・中堅職員が参加し、これからの行政及び組織変革について自ら実践できるよう学んだ。

III 事業の実績

1 職員研修

(1) 職層別研修

研 修 名	人数 (人)	実 施 期 間	実 施 団 体 及 び 場 所
新規採用職員（前期）研修	16	4/3～6, 4/9	市独自（305 会議室ほか）
新規採用職員（前期）研修	14	4/10～11	県市町村職員研修センター（県自治会館）
中堅行政職員研修	14	6/6	〃
係長研修	7	7/17～20	〃
新規採用職員（後期）研修	13	9/5	〃
新規採用職員（後期）研修	16	10/9～10	市独自（活動室ほか）
一般職員研修	6	9/27～28	県市町村職員研修センター（県自治会館）
部課長研修	9	11/15	〃
北信三市主査研修	12	11/22	須坂市、中野市、飯山市（当番：飯山市）
北信三市管理者研修	5	2/7	〃（当番：須坂市）
新規採用職員によるあいさつ課活動	16	通年	市独自（305 会議室ほか）

(2) 専門研修

研 修 名	人数(人)	実 施 期 間	実 施 団 体 及 び 場 所 (※研修参加職員 所属名)
国土調査研修	1	5/8～11	国土交通大学校 ※道路河川課
債権管理事務研修	1	5/8～9	県市町村職員研修センター(県自治会館) ※営業課
総合計画策定セミナー	2	5/18	有限責任監査法人トーマツ ※政策推進課
消費生活相談員基礎講座	1	5/28～6/1	国民生活センター ※市民課
統計実務基礎研修	1	5/31～6/1	統計情報研究開発センター ※政策推進課
介護担当職員のためのケアプラン点検のポイント	1	5/31～6/1	(一社)日本経営協会 ※高齢者福祉課
介護支援専門員更新研修	1	5～9 月(全 15 回)	長野県社会福祉協議会 ※地域包括支援センター
消費者行政職員研修	1	6/4～6	国民生活センター ※市民課
社会福祉法人への指導監査の基本実務	1	6/7～8	(一社)日本経営協会 ※高齢者福祉課
広報基礎講座	1	6/7～8	日本広報協会 ※政策推進課
税務担当者のための民法講座	1	6/7～8	(一社)日本経営協会 ※税務課

研 修 名	人数(人)	実 施 期 間	実 施 団 体 及 び 場 所 (※研修参加職員 所属名)
防災・危機管理・Jアラート研修会	1	6/8	消防庁 ※総務課
福祉をめぐる債権回収・諸問題 対応の実務	1	6/12～13	(一社)日本経営協会 ※高齢者福祉課
税務職員初任者研修	5	6/19～20	県市町村職員研修センター(県自治会館) ※税務課
キャリアコンサルティング実践講座	1	6/21	キャリアカウンセリング協会 ※政策推進課
会計年度任用(臨時・非常勤)職 員の任用と管理実務	1	6/21～22	(一社)日本経営協会 ※総務課
新任担当者のための総合計画策 定の進め方と見直しのポイント	1	6/28～29	〃 ※政策推進課
公共土木工事における積算の基 本実務	2	6/28～29	〃 ※道路河川課
北信三市人事・給与事務研究会	4	6/29	須坂市、中野市、飯山市(当番：中野市) ※総務課
消費生活相談員資格取得支援講 座	1	6～9月(全8回)	長野県 ※市民課
官民境界確定の実務	1	7/2～3	(一社)日本経営協会 ※道路河川課
会計年度任用職員制度導入準備 セミナー	1	7/5	(株)ぎょうせい ※総務課
行政代執行の基本実務と事例解 説	1	7/18～19	(一社)日本経営協会 ※まちづくり課
地方自治体における資金管理運 用の基礎	1	7/26～27	〃 ※会計課
介護支援専門員再研修	1	7～9月(全8回)	長野県社会福祉協議会 ※高齢者福祉課
公営企業経理事務研修	2	8/21	県市町村職員研修センター(県自治会館) ※まちづくり課、営業課
市町村保健師管理者能力育成研 修	1	8/23～24	厚生労働省 ※健康づくり課
人事管理研修会	1	8/31	全国市長会 ※総務課
刈払機取扱作業安全衛生教 育	1	9/5	林材業労災防止協会 ※まちづくり課
図書館等職員著作権実務講習 会	1	9/13～14	文化庁 ※図書館
償却資産事務研修	1	9/19	県市町村職員研修センター(県自治会館) ※税務課
子育て世代支援者養成セミナ ー	1	9/28～29	(公社)母子保健推進会議 ※子育て支援センター
専用水道・簡易専用水道担当者 会議	1	10/1	(一社)全国給水衛生検査協会 ※生活環境課
社会福祉法人会計簿記の基本 実務	1	10/15～16	(一社)日本経営協会 ※高齢者福祉課
介護保険事務(制度と運用)研 修	1	10/22～26	全国市町村国際文化研究所 ※高齢者福祉課
住民税事務研修	1	11/8	県市町村職員研修センター(県自治会館) ※税務課
危機管理研修	1	11/12	〃 ※政策推進課
税務管理・徴収事務研修	2	11/13	〃 ※税務課
公的扶助研究全国セミナー	1	11/24～25	全国公的扶助研究会 ※福祉課

研 修 名	人数(人)	実 施 期 間	実 施 団 体 及 び 場 所 (※研修参加職員 所属名)
判例・事例から学ぶ 情報公開 請求権における濫用請求への 対応実務	1	11/28～29	(一社)日本経営協会 ※総務課
全国救急隊員シボジウム	1	1/23～25	(一財)救急振興財団 ※消防署
公共空間活用作戦会議	2	2/8	国土交通省 ※まちづくり推進部、まちづくり課
情報化 ICT 構想 企画立案研 修	1	2/15	県市町村職員研修センター (県自治会館) ※政策推進課
日本博物館協会研究協議会	1	2/21～22	(公財)日本博物館協会 ※博物館

(3) 特別研修

研 修 名	人数(人)	実 施 期 間	実 施 団 体 及 び 場 所
早稲田大学マニフェスト研究所 人材マネジメント部会	4	4/24, 5/21～22, 7/6, 10/19, 1/24 ～25	早稲田大学マニフェスト研究所
公務員倫理と使命	24	5/7	県市町村職員研修センター (※出前講座)
説明力向上研修	2	5/10～11	〃
ペー・クレム対応力向上研修	2	5/15	〃
人事評価 評価者研修	39	5/17	市独自 (人権交流センター)
文章作成力向上研修	5	5/22, 23	県市町村職員研修センター(県自治会館)
わかりやすい資料作成研修	1	5/25	〃
コンプライアンス研修	1	5/29	〃
連携中枢都市圏構想における合 同職員研修	2	7/4	長野市(合同研修所) 演題:「仕事の仕方が変わると人生が変わる ～仕事の達人を目指して～」
法制執務(基礎)研修	3	7/10～11	県市町村職員研修センター(県自治会館)
Densan ソリューションセミナー	3	7/12	(株)電算
長野広域連合関係市町村職員共 同研修会	4	7/20	長野広域連合 演題:「夢見る力が『気』をつくる 豪華観 光列車「ななつ星 in 九州」の仕掛け人」
長野地域連携中枢都市圏研修会	11	8/8	長野地域連携推進協議会 演題: 2040 年問題を見据えた自治体職員の 在り方
モチベーションアップ研修	1	8/10	県市町村職員研修センター(県自治会館)
レジリエンス研修	1	8/20	長野市(合同研修所)
公務員倫理(薬物所持に関する職 員研修会)	332	8/21, 22	市独自(中央公民館ほか)
体感型ワークショップセミナー	3	8/23	(一財)浅間リサーチエクステンションセンター
政策形成に活かす統計活用研修	1	8/23～24	県市町村職員研修センター(県自治会館)
連携中枢都市圏構想における合 同職員研修	2	8/29	長野市(合同研修所) 演題:「誰もが活き活き働ける職場づくりの ために」
働きざかりいきいきセミナー	5	8～3 月	働きざかりの健康づくり研究会
読売松本セミナー	2	9/3	南信読売会 読売新聞東京本社 演題:「ニュースから世界を見る」
人材育成に関する基本方針改定 ワーキングチーム	16	9/6, 11/9, 12/10, 26, 2/19, 3/19, 26	市独自(305 会議室ほか)

研 修 名	人数(人)	実 施 期 間	実 施 団 体 及 び 場 所
読売長野セミナー	10	9/28	南信読売会 読売新聞東京本社 演題:「時代の風 ～政治・経済の変化を読む」
姉妹都市(三浦市)職員交流研修	9	10/11～12	須坂市・三浦市(三浦市来須)
19 市行政管理事務研究会	2	10/15	塩尻市
人権教育研修(一般職員)	303	10/23, 26～29, 11/28	市独自(人権交流センター)
長野広域連合関係市町村職員共同研修会	6	10/29	長野広域連合 演題:「双雲流ポジティブ思考法 ～しあわせになれるはたらきかた～」
カウンセリング・マインド研修	1	11/20	県市町村職員研修センター(県自治会館)

(4) 先進地視察研修

研 修 名	人数(人)	実 施 期 間	実 施 団 体 及 び 場 所
輪島市、高岡市視察研修	4	5/17～18	福祉避難所の運営方法等 ※関係部課等の長ほか
動物園管理・運営状況視察研修	3	6/26～27	京都市動物園、神戸市立王子動物園 ※臥竜公園管理事務所

(5) 派遣研修

研 修 名	人数(人)	実 施 期 間	実 施 団 体 及 び 場 所
県・市町村職員派遣研修	1	4/1～3/31	長野県危機管理部危機管理防災課
内閣府派遣研修	1	4/1～3/31	内閣府地方創生推進事務局
(一財)地域総合整備財団派遣研修	1	4/1～3/31	(一財)地域総合整備財団(ふるさと財団) 開発振興部開発振興課
須坂商工会議所交流研修	1	4/1～3/31	須坂商工会議所
海外派遣研修「グローバルな視点で地域経営を学ぶ～多様な主体を活かす～」	1	9/12～25	全国市町村国際文化研修所・アメリカ

■ 防災危機管理事業

単位: 円

当 初 予算額	7,045,000	予算 現額	5,378,000	決算額	4,834,065	前 年 度 決算対比	63.2%	前年度 決算額	7,644,142
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

市民の生命、財産を守り、安心して日常生活を営むことのできる災害に強いまちづくりの推進を図る。

II 事業の成果等

迅速かつ円滑な避難に資するため、防災訓練や防災講演会を行い、市民一人ひとりの防災意識を高め、共助の大切さの啓発、地域防災力の向上を図った。

総合防災訓練は、「雨が断続的に降る中、震度6強の地震が発生した」との想定により常盤中学校にて総合防災訓練を開催。応急救護訓練、避難行動要支援者対応訓練など市民、行政、関係機関等が一体となった住民参加型の訓練を実施した。常盤中学校生徒も参加し、若年層を含めた市民の防災意識の高揚が図られた。

III 事業の実績

1 須坂市防災会議 須坂市国民保護協議会議

須坂市地域防災計画及び須坂市国民保護計画の修正 1回開催

会議後、長野地方気象台による「気象に係る防災気象情報」の研修会を実施

7月26日 須坂市消防本部 出席委員27人(うち委員報酬14人、45,500円)

2 市総合防災訓練

概 要	常盤中学校において、住民（常盤中学校通学区中心）、関係機関、消防団員、全区長、常盤中学校生徒、市議会議員、市職員参加の総合防災訓練
日 時	8月26日（日）午前7時～午前9時
内 容	参集訓練、現地災害対策本部設置訓練、情報収集・伝達訓練、被害調査報告訓練、災害支援情報端末設備設置訓練、避難所設置運営訓練、応急危険度判定訓練、炊き出し訓練、市民健康相談窓口設置訓練、広報・避難誘導訓練、ボランティア受付窓口設置訓練、避難行動要支援者対応訓練、災害用伝言ダイヤル体験訓練、ガスメーター復旧訓練、排水ポンプ車展示、応急救護訓練、煙体験訓練、道路測量調査、給水訓練、照明車展示訓練、現場救護所設置訓練、水防訓練、生活物資・資機材輸送訓練、初期消火訓練、倒壊建物救助訓練、火災防御訓練、仮設電源確保工事訓練、エアロシエルター設置訓練、飼育動物同行避難訓練
参加者数	29団体、642人

3 地域の自主防災組織による防災訓練

62町実施 参加者 4,025人

4 全国瞬時警報システム（J-アラート）緊急地震速報伝達に伴う行動訓練（防災行政無線等による情報伝達訓練）

実施日 7月5日、11月1日（広報須坂・市HPにより、伝達訓練に合わせて身を守る行動・安全な場所への避難の自主的な訓練実施を呼びかけ）

5 防災とボランティア週間（1月15日～1月21日）の取組み

職員を対象とした救命講習会の実施 2月13日午後、14日午後、19日午後（45人受講）

6 防火防災訓練災害補償等共済の加入

防災訓練時の不慮の事故等に対する補償として加入 50,000円

7 防災行政無線等の管理運用

(1) 市防災行政無線関係

緊急時等放送回数 268回（特殊詐欺注意喚起、行方不明者搜索、火災予防、献血、防災・国民保護等）

(2) 委託料

業務名	委託先	業務内容	委託料（円）
同報系防災行政無線保守点検委託	(株)富士通ゼネラル情報通信ネットワーク営業部（随契）	同報系及びJ-アラート設備保守点検	1,735,344

(3) 防災行政無線等電波使用料（利用料）

業務名	使用料支出先	内訳金額（円）
防災行政無線（同報系）電波利用料	信越総合通信局（基地局、屋外子局）	91,400
防災行政無線（移動系）電波利用料	信越総合通信局（基地局、移動局）	31,550

8 防災設備等の管理運用

(1) 雨量観測計（市内4か所）

雨量計観測設備データ通信料 414,720円

(2) 委託料

業務名	委託先	業務内容	委託料（円）
市災害対策本部中継設備保守点検委託	(株)Goolight（随契）	災害対策本部中継設備保守点検（年2回）	64,800
須坂市雨量観測設備保守点検委託（4か所）	(株)シーティーエス（随契）	雨量観測装置清掃業務（4か所 年2回）	237,600

9 非常用備蓄購入

食料等

備 蓄 品	数 量	金 額 (円)	
食料 (アルファ米)	200 食	55,080	125,841
飲料水 (500ml×504 本)	2520	70,761	

(参考) 非常用備蓄主な状況 (平成 30 年度末)

- | | |
|--------------------|--------------------------------|
| ① サバイバルフーズ 3,600 食 | ② 飲料水 20 × 2,412 本 500ml×504 本 |
| ③ 発電機 24 台 | ④ アルファ米 2,850 食 |
| ⑤ 毛布 3,290 枚 | ⑥ 投光器 23 台 |

10 防災講演会の開催

「自分の命は自分で守る」が防災の基本であり、市民が常日ごろから災害に対する備えを心がけるとともに私たちは、災害に地域でどう備え対応をすればよいかを学ぶため講演会を開催した。

- (1) 実施日 1 月 19 日 (土) シルキーホール
- (2) 演 題 「私の 3. 1 1 と明日への備え」
- (3) 講 師 仙台市泉区市名坂東町内会長 草 貴子 氏
- (4) 参加者 100 人 (市民ほか)

11 災害対策本部・災害警戒本部 設置状況

- (1) 災害警戒本部設置 7 月 6 日 8:40 大雨警報 (土砂災害) 発表等
 〃 廃止 7 月 9 日 9:00
- (2) 災害警戒本部設置 9 月 4 日 9:15 台風第 21 号の接近
 災害対策本部設置 9 月 5 日 8:30 台風第 21 号による被害の発生 (人的被害はなし、物的被害・果樹被害あり)
 廃止 9 月 6 日 8:30
- (3) 災害警戒本部設置 9 月 28 日 17:00 台風第 24 号の接近、台風進路及び気象情報から判断して、更に土日閉庁日となるため
 廃止 10 月 1 日 19:10
- (4) 災害警戒本部設置 10 月 5 日 16:00 台風第 25 号の接近、台風進路及び気象情報から判断して、更に土日祝日と閉庁日となるため
 廃止 10 月 8 日 9:00

12 地域防災マップの見直し等

各町単位による「防災マップ」の見直し 69 町作成

13 災害応援協定

締 結 日	締 結 先	協定内容
7 月 10 日	須坂温泉株式会社、株式会社古城荘	災害時における宿泊施設等の指定避難所に関する協定
12 月 5 日	株式会社ニッソー、有限会社丸和自動車、株式会社長印、株式会社あつぷるアイビー、須坂食品株式会社	災害時における井戸水の給水協力に関する協定
12 月 20 日	長野刑務所	災害発生時における相互協力に関する協定書

■ 庁舎管理事業

単位：円

当初 予算額	53,643,000	予算 現額	53,277,000	決算額	50,875,863	前年度 決算対比	107.3%	前年度 決算額	47,408,053
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

庁舎機能の充実と執務環境の向上を図るとともに、来庁される皆様へ快適かつ効率的な空間の提供を行う。

II 事業の成果等

庁舎の定期的な保守点検及び整備のほか、庁舎前などへの花木の植栽と管理により、一層の行政サービスの向上が図られた。電気使用量は節電の推進をしたが、猛暑等の気候要件による冷暖房設備の使用増により前年比0.2%の増加となった。

老朽化してきている庁舎施設・設備について随時修繕等を行い、庁舎が安心・安全・快適な環境となるよう図ることができた。

III 事業の実績

1 庁舎等修繕

(1) 本庁舎3階ベランダ上部モルタル剥離箇所修繕	367,200 円
(2) 東庁舎温水管漏水修繕	218,160 円
(3) 本庁舎系統水冷チラー電装品改造等修繕	259,200 円
(4) 電力デマンド監視システム修繕	146,880 円
(5) 防災倉庫破風修繕	141,868 円
(6) 東庁舎キュービクル修繕	6,352,560 円
(7) その他22件	1,113,484 円

2 庁舎管理業務の委託

業 務 名 委 託 先	内 容	金額 (円)
定期清掃業務委託 (株)日本ビルシステムズ	床清掃 (通路部分毎月、事務用部分年4回) 窓ガラスクリーニング (年2回) ジュウタン清掃 (年3回) 他	971,460
防災活動センター清掃業務委託 須坂市社会福祉協議会	防災活動センター館内及び周辺の清掃 (月2回)	38,160
建築物環境衛生管理業務委託 (株)第一エンジニアリング	建築物の衛生的環境確保のための空気環境測定 (年6回)、防虫防鼠 (年2回) 業務	120,960
電気保安全管理業務委託 (財)中部電気保安協会	無停電点検 (年6回)、停電点検 (年1回)、デマンド監視業務 (通年)	451,872
自動扉保守点検業務委託 (株)長野ナブコ	定期点検 (年4回)	378,000
エレベーター保守点検業務委託 フジテック(株)首都圏統括本部	定期点検 (月1回)	712,800
非常用発電設備保守点検委託 ミツワヤンマー(株)	総合点検 (年1回)	334,800
電話交換設備保守点検委託 石田通信機(株)	定期点検 (月1回)	579,312
電話交換業務委託 シダックス大新東ヒューマンサービス(株)	交換取扱者2名による電話交換業務	4,147,200
市庁舎改修優先度調査委託 (株)宮本忠長建築設計事務所	市役所庁舎の長寿命化に向け、劣化状況の調査及び修繕計画の優先度判定	448,200

業 務 名 委 託 先	内 容	金 額 (円)
庁舎宿日直業務委託 (公社)須高シルバー人材センター	宿直員 9 名体制による宿直業務	4,200,120
庁舎暖房運転業務委託 (公社)須高シルバー人材センター	有資格者 1 名常駐によるボイラー運転	283,500
清掃業務委託 (トイレ等) (公社)須高シルバー人材センター	常駐者 1 名による清掃 (毎日)	1,537,200
廃棄物等運搬業務委託 (公社)須高シルバー人材センター	収集処理 (週 2 回)	281,080
冷房設備運転保守管理業務委託 (公社)須高シルバー人材センター	有資格者 1 名常駐による冷房運転	405,270

3 駐車場用地の賃借

区 分	場 所	面積 (㎡)	賃借料 (円)
第 2 駐車場	須坂市大字小山 1282 番地 1	577.28	460,933
第 3 駐車場	須坂市大字小山 1312 番地 1	1,031.00	954,445

4 庁舎内設備等賃借・リース

業 務 名 賃借・リース先	内 容	金 額 (円)
庁舎内電話交換設備賃借 日通商事(株)	庁舎内電話交換設備一式 賃貸人 日通商事 (株) 供給人 石田通信機 (株)	2,444,256
庁舎 A E D 借り上げ セコム上信越(株)	庁舎内 A E D 1 セット	60,912
庁舎 L E D 照明賃借 (株) ネクシィーズ	庁舎内 L E D 照明器具賃借 970 本	1,079,568
衛生器具の賃借 日本カルミック(株)	トイレ内のエアーフレッシュナー等賃借及び保守点 検業務	491,287

5 広告入り案内板の設置

来庁者への適切な庁舎案内と市政情報提供のため、正面玄関風除室に広告入り案内板を設置している。

(1) 案内板の内容

庁舎案内図・市内地図・デジタルサイネージ (庁舎案内・市政情報を映像で表示したもの)・パンフレットラック・企業広告

(2) 案内板設置に伴う収入

広告設置料 240,000 円

光熱費 15,000 円

6 その他

(1) 職員による共有スペースの清掃 (休日を除き毎日 午後 5 時 00 分～午後 5 時 15 分)

(2) 庁舎前花壇の管理 (正面ロータリー、駐車場外周)

(3) 来庁者用雨傘の貸出し

(4) 小学生の庁舎見学案内 (市内 1 校)

(5) 市役所庁舎消防隊実地訓練の実施 (11 月 15 日)

■ 行政改革推進事業

単位：円

当 初 予算額	574,000	予算 現額	227,000	決算額	202,755	前 年 度 決算対比	137.3%	前年度 決算額	147,650
------------	---------	----------	---------	-----	---------	---------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

年々高まり多様化する市民ニーズを、的確に捉えた行政サービスの向上を図る。

第五次須坂市総合計画に定めた将来像を、市民との「共創」を進めるとともに、積極的な行政運営により実現する。

「最少の経費で最大の効果」をあげることのできる、柔軟で効率的な行財政の推進。

世代間の公平性をふまえた上で、将来世代に負債を負わせない行財政改革の推進。

II 事業の成果等

須坂市行財政改革第四次チャレンジプラン3か年計画の最終年度であり、行財政改革の成果として、行政運営の面では、2016年度から策定を始めた「公共施設等総合管理計画個別計画」の策定を完了、公開し、市民の皆様と2025年度までの施設の方針を共有した。また、行政内部では、改善の意識向上や風土醸成を目的とした取組みとして、改善（カイゼン）サポーターを選出し、改善の必要性や改善のプロセスについて共有を図り、業務改善の活性化に努めた。

財政運営の面では、滞納整理など収納率向上に厳正に取り組むとともに、積極的に公募型事業など外部資金を獲得し、歳入確保に努めた。また、事業の見直しによる支出額削減では、内部業務及び一般事務事業の見直しを行ったが、より効果的・効率的な事業の見直しを行うために、業務や事業の現状把握と効果を測定できる業務の数値化と目標設定により、進捗管理できる行財政運営の体制が必要である。

III 事業の実績

1 須坂市行財政改革第四次チャレンジプランの進行管理及び第四次チャレンジプラン改訂版の策定

3か年の計画の最終年度として、須坂市行財政改革第四次チャレンジプランに取組んだ。

また、2019年度から2020年度までを計画年度とする第四次チャレンジプラン改訂版及びその行動計画を策定した。

(1) 行政改革推進本部会議

チャレンジプラン行動計画の実績確認及び組織の改正等について審議するため、7回開催した。

第1回 4月10日 第四次チャレンジプラン2017年度実績、公共施設等総合管理計画個別計画案

第2回 5月22日 第四次チャレンジプラン改訂版策定方針、公共施設等総合管理計画個別計画案

第3回 9月20日 組織改正、サマーレビュー結果の確認

第4回 10月9日 組織改正、サマーレビュー結果の確認

第5回 11月9日 第四次チャレンジプラン改訂版答申の確認、使用料等の消費税対応、サマーレビュー結果の確認

第6回 2月4日 第四次チャレンジプラン改訂版行動計画案、使用料等の消費税対応、公共施設等総合管理計画個別計画案、サマーレビュー結果の確認

第7回 2月21日 使用料等の消費税対応、サマーレビュー結果の確認、職員提案の確認

(2) 行政改革推進委員会

「須坂市人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略」改訂案の検証、地方創生推進交付金事業の効果検証、第四次チャレンジプラン行動計画実績報告、須坂市行財政改革第四次チャレンジプラン改訂版及び行動計画の策定について審議するため、4回開催した。

第1回 5月28日 報酬22,750円（8人）

第2回 8月29日 報酬19,500円（7人）

第3回 11月1日 報酬16,250円（6人）

第4回 2月21日 報酬16,250円（6人）

2 公の施設の指定管理者候補団体の選定

指定管理者制度を導入しており、2018年度末で指定期間が終了する公の施設について、来年度以降の指定

管理者を選定する手続きを支援した。また、指定管理者制度を導入していない公の施設についても制度の導入を図った。

公募によらない施設 9施設

須坂市蔵のまち観光交流センター、峰の原高原クロスカントリーコース、須坂市文化会館（メセナホール）等6施設、特定公共賃貸住宅及び公営住宅法に基づく市営住宅等を除くその他の市営住宅等

指定管理者庁内検討委員会

指定管理者候補団体の選定方法と、候補団体の決定のため、4回開催した。

第1回 5月24日

第2回 6月12日

第3回 8月1日

第4回 10月9日

3 職員提案の募集

「アイデア提案」10件、「改善報告」6件、「おっと・うっかり報告」6件、「ハッと・ヒヤッと報告」2件の計24件が提出され、「アイデア提案」については「日本一の市役所づくり推進委員会」において協議し、「趣旨のみ採用」を含めて8件を採用した。

採用されたアイデア提案(抜粋)

- (1) 印刷機、コピー機の費用見える化
- (2) 作業用パソコンの設置（趣旨のみ採用）
- (3) トイレ手洗い場の手洗い石鹸の交換（趣旨のみ採用）

4 組織機構の改正

より効率的な行政運営を図るため、各課等から出された改正案について審議し、2019年度組織機構の改正準備を行った。

- (1) 組織のあり方についての検討委員会

各課等から出された改正案を審議するため、4回開催した。

- (2) 組織機構改正の実施内容

ア すざか女性未来館の中央公民館への統合

イ 市営住宅等の委託に伴うまちづくり課市営住宅係の廃止

5 5S運動の実施

5S（整理、整頓、清掃、清潔、習慣）運動の定着のため、5S運動のチェックポイントに基づき、毎月の実施状況について自己管理をし、全職員共有フォルダで共有した。

また、年2回、部長級職員及び日本一の市役所づくり推進委員による職場巡視を行い、5Sが徹底できていない部分を指摘した。事前に各課等から重点取り組み項目を提示していただき、その取り組み期間を設けた後に結果を巡視で確認する方法を取り、より効果が上がるよう実施した。

6 改善サポーター会議の実施

職員の課題発見や課題解決に向けた改善方法検討のプロセスを助長し、職員が課題について気軽に提案できる組織風土作りを目的として、各課等から若手職員を中心に改善（カイゼン）サポーターを選出していただき、改善サポーター会議を年4回開催した。

第1回 7月30日 オリエンテーション

第2回 9月10日 改善の実践に向けた取り組みの検討

第3回 10月30日 改善の実践に向けた取り組み状況の見直し

第4回 11月20日 改善報告書の確認、改善事例報告会実行委員の選出

7 改善事例報告会 Goodjob レポート 2018

若手職員で組織する実行委員会が報告会の準備運営、発表事例の選定などを担い、第10回となる改善事例報告会を開催した。

(1) 実行委員会

第1回 11月20日 報告会の内容及びスケジュール確認、分担決め

第2回 1月16日 改善事例報告会のテーマ選定、係ごとの業務確認

第3回 2月15日 改善事例報告会の反省・感想

(2) 報告会

テーマ ～なんて書いてあるの？ 字が小さくて見えない。

「このスザカルーぺかけてみて」「ああ！カイゼンだね！よく見える」～

ア 目的 難しく考えなくても身近なところからやればいい。少しでも仕事をやりやすくしよう！

イ 期日 2月8日

ウ 場所 本庁舎3階305会議室

エ 事例

オープニング ・平成30年度の改善事例を一つ紹介 ・10年間の報告事例の中から取組みを紹介	(1) グループウェアの「回覧板」を活用したミスや注意事項の共有
	(2) これでお悩み解決！！ みんなでつくる「すざか知恵袋」
	(3) 日々の業務記録のススメ
	(4) 紙だけじゃない！書類の分類と整理

8 公共施設等マネジメント

(1) 庁内で各部署が連携し今後の公共施設等のマネジメントを検討し、「公共施設等総合管理計画」の説明及び「個別計画」策定の進捗よく管理を行う「公共施設等マネジメント庁内連絡会議」を1回実施した。

ア 期日及び議題 8月10日 公共施設等総合管理計画 個別計画策定について

イ 参加者 総務課、財政課、福祉課、高齢者福祉課、健康づくり課、生活環境課、生涯学習スポーツ課、人権同和政策課、中央公民館、産業連携開発課、道路河川課、まちづくり課、臥竜公園管理事務所

(2) 2016年度から策定している公共施設等総合管理計画 個別計画について、全施設の策定を完了し、公開した。

9 その他

(1) 日本一の市役所づくりに向けた取組み

日本一の市役所づくりを実現するために、「日本一の市役所づくり推進委員会」（委員長：総務部長）を計4回開催し、職員提案の採択検討等を行った。クレーム報告は2件であった。

職員同士のコミュニケーションの活性化の一環として、まずは職員同士のあいさつからの取組みを再認識し、毎月1週間「あいさつ・コミュニケーション週間」を設け、あいさつとコミュニケーションの活性化を図った。

(2) クレーム報告の概要

ア イベントに関するご案内と準備に関する不備

対策 ホームページ、ポスター及びチラシ等の案内文は、誤解を招かないよう、はじめて参加する人にもわかりやすく丁寧な説明を心がける。また、所管の施設主催のイベント等で、通常の施設とは別の会場で実施し、所管の施設も通常通り開館している場合、お客様がいらっしゃる際にはどちらでも同じようにご案内できるよう準備しておく。

イ 企業への通知に関する配慮不備

対策 企業郵送する通知で、代表者以外には開封していただきたくない内容である場合には「親展」の赤色印を押印する。

(3) 課等の課題の進行管理

「課等の課題セルフマネジメントシート」を用い、各課で年度当初の4月に課題を入力し、四半期ごとに進ちょく状況を入力することで、随時進ちょく管理を行った。

(4) 「いいね！」カードの取組み

日常の職員に対する「いいね！」と感じた評価や感謝、褒める気持ちなどを「『いいね！』カード」という目に見える形にすることで職員の存在を認め合い、仕事へのモチベーションの向上と職員同士のコミュニケーション拡大を図った。

職員のカード送付数 31 件、延べ受領人数 47 人（市民からの受領分を含む）

(5) 職員表彰に係る褒状

職員の業務への意識高揚や、組織活性化、能力向上、サービス向上を図るため、下記の表彰を受けた部署に褒状を交付した。

ア 廃食用油の処理方法について（生活環境課）

イ 改善事例報告会発表（4 件）

■ 情報公開・個人情報保護事務費

単位：円

当初 予算額	58,000	予算 現額	58,000	決算額	0	前年度 決算対比	皆減	前年度 決算額	15,160
-----------	--------	----------	--------	-----	---	-------------	----	------------	--------

I 事業の目的

個人情報の適正な取扱いについて必要な事項を定めるとともに、市が保有する個人情報の開示及び訂正等を求める権利を明らかにすることにより、個人の権利利益を保護し、もって公正で信頼される市民主体の市政の進展に寄与する。

市民の知る権利を実効的に保障し、公文書の公開を請求する権利につき定めること等により、市の保有する情報の一層の公開を図り、もって市政に関し市民に説明する責務が全うされるようにするとともに、市民参加を推進し、市政に対する理解と信頼の基に公正で開かれた市政の進展に寄与する。

II 事業の成果等

情報公開請求に対して適切な対応により情報をできるだけ開示するとともに、開示請求を待つことなく各種の情報を積極的に公表・提供することにより、市政に関する正確で分かりやすい情報を市民が容易に得られるよう、情報公表や情報提供について職員に周知を図った。

個人情報保護については、職員研修や個人情報に関する情報を随時職員に提供し、個人情報の適正な管理を図ることにより、プライバシーの権利を保護するとともに、市民本人の個人情報の開示及び訂正等を請求する権利保障の推進を図った。

III 事業の実績

1 情報公開条例に基づく公文書の公開

(1) 公開の状況

請求先	請求数 (件)	処 理 状 況 (件)				不服申立 (件)	備考
		公開	一部公開	非公開	文書不存在		
市 長	15	8	4	1	1	0	
教 育 委 員 会	3	0	3	0	0	0	
農 業 委 員 会	1	0	1	0	0	0	
計	19	8	8	1	1	0	

※ 請求数のうち1件(請求先須坂市長)は取下げ

(2) 会議録の公開

情報公表施策及び情報提供施策の拡充を図り、市政に関する正確で分かりやすい情報を市民が迅速かつ容易に得られるよう、情報公開の総合的な推進に努め市の保有する情報の公開性を高めるため、会議録 61 件を公開した。

2 個人情報保護条例に基づく個人情報の保護

(1) 開示の状況

請求先	請求数 (件)	処 理 状 況 (件)				不服申立 (件)	備考
		開示	一部開示	非開示	文書不存在		
市 長	21	9	9	0	1	0	
教育委員会	3	1	2	0	0	0	
計	24	10	11	0	1	0	

※ 請求数のうち 2 件(請求先須坂市長)は取下げ

(2) 職員研修会の実施

新規採用となった職員対象に個人情報保護研修会を実施。4 月 5 開催 受講者 30 人
e ラーニングを使った個人情報保護に関する職員研修 受講者 525 人

3 パブリックコメント

パブリックコメント手続運用指針に基づき、市の計画等の策定過程において、案の段階で広く公表し、市民からの意見・提言を求め、寄せられた意見等に対する市の考え方を明らかにすると共に、有益な意見等を考慮して市の意思決定を行った。

(1) 須坂市行財政改革 第四次チャレンジプラン改訂版 (案)

(2) 須坂市都市計画マスタープラン (改定案)

■ 行政評価推進事業

単位：円

当 初 予算額	1,407,000	予算 現額	713,000	決算額	712,668	前 年 度 決算対比	51.3%	前年度 決算額	1,388,664
------------	-----------	----------	---------	-----	---------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

総合計画に掲げた事業の目的、目標、実績を確認し、「何の目的で、何を目標にして、お金をいくら使って、何をするのか」、「成果はどの程度で、改善すべき点はどこなのか」などについて評価分析を行う。

II 事業の成果等

担当課による「事務事業評価」や「サマーレビュー」により実施し、市民福祉の一層の向上、職員の意識改革、政策形成能力の向上及び行政の説明責任の明確化を図った。

2013 年度から財務会計システムに行政評価の機能を追加し、「実施計画」「予算」「決算」「評価」を連動させることにより、行政運営の「PDCA サイクル(業務管理手法の一つで、計画→実行→評価→改善という 4 段階の活動を繰り返し行うことで、継続的に業務改善していく手法)」を機能させ、その事務作業に係る職員の負担軽減も図っている。

また、2015 度から「事務事業評価」の結果を基に、事業担当課と政策推進課、財政課、総務課による「サマーレビュー」を開催し、事業見直し案を検討して行政改革推進本部会議に報告している。

III 事業の実績

1 事務事業評価

予算事業単位を評価単位とし、市が行う事業 228 事業について内部評価した。

評価結果

拡大（50 事業）	抜本的見直し	2
	進め方の改善	21
	簡易な改善	27
総合計画にそって継続		156
縮小（16 事業）	簡易な改善	5
	進め方の改善	5
	抜本的見直し	6
統合・終了		6
合計		228

↑
拡大傾向が強い

↓
縮小傾向が強い

■ 防災施設整備事業

単位：円

当初予算額	2,800,000	予算現額	2,646,000	決算額	2,646,000	前年度決算対比	0.5%	前年度決算額	485,036,640
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	------	--------	-------------

I 事業の目的

平成 30 年度末で J アラート受信機をサポートが終了することに伴い、新型受信機への更新をする。

II 事業の成果等

J アラート新型受信機の導入により、武力攻撃事態や地震等の緊急情報を市民へ瞬時に伝達できる仕組みを継続できた。年 4 回の伝達試験と、年 2 回の緊急地震速報伝達訓練により、正常に住民に伝達できていることを確認した。

III 事業の実績

事業内容

工事名	設備	工期	施工業者	金額（円）
緊急防災・減災事業 全国瞬時警報システム （J アラート）新型受信 機更新工事	全国瞬時警報システム（J アラート） の受信機	7 月 17 日～ 9 月 12 日	（株）富士通ゼネラル情報通 信 ネットワーク営業部	2,646,000

■ 庁舎整備事業

単位：円

当初予算額	3,900,000	予算現額	3,888,000	決算額	3,888,000	前年度決算対比	皆増	前年度決算額	0
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	----	--------	---

I 事業の目的

庁舎の劣化部分を改修し、安全・安心な環境の維持を図る。

II 事業の成果等

システム停止の不具合が生じていた非常用発電設備の自動切替システムを改修することにより、非常時の自家発電環境を良好に確保することができた。

III 事業の実績

実施内容

事業名	工事内容	工 期	施工業者	金額（円）
非常用発電自動切替システム更新工事	非常用発電切替システム更新工事	4 月 16 日～ 8 月 31 日	藤沢電気工業(株)	3,888,000

■ 災害復旧支援事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	112,230	決算額	112,230	前年度 決算対比	69.6%	前年度 決算額	161,200
-----------	---	----------	---------	-----	---------	-------------	-------	------------	---------

I 事業の目的

平成 30 年 7 月豪雨の被災地における災害復旧・復興を支援する。

II 事業の成果等

長野県外で大規模な災害が発生した場合、被災した県や市町村に対し、長野県と県内市町村が連携して支援を行う「チームながの」（平成 24 年 12 月に知事、市長会長、町村会長の 3 者で協定を締結）として、人的支援を初めて実施。須坂市からは、広島県尾道市に対し土木技師 1 名を派遣し、道路・ため池等の復旧に伴う災害査定に従事した。

III 事業の実績

人的支援

活動期間	支 援 先	派遣職員	経費（交通費、宿泊費）（円）
8 月 7 日～ 8 月 13 日	広島県尾道市	道路河川課土木技師 1 名	112,230

2-1-2 (目) 文書費

単位：円

当初 予算額	12,239,000	予算 現額	12,942,000	決算額	11,815,886	前年度 決算対比	101.0%	前年度 決算額	11,700,169
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 文書管理事業

単位：円

当初 予算額	12,239,000	予算 現額	12,942,000	決算額	11,815,886	前年度 決算対比	101.0%	前年度 決算額	11,700,169
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

市役所の事務処理の正確性、迅速性の確保を図る。

II 事業の成果等

公文書の收受、配布、保存等適正な文書管理の徹底を図るとともに、条例、規則等の制定、改廃、公布事務等を実施した。

III 事業の実績

1 条例等の公布等

区 分	件数（件）	備 考
条例公布	30	
規則公布	40	
訓令発令	5	
告 示	172	要綱等 34 件、その他 138 件
公 告	149	
計	396	例規関係 計 109 件

2 法規審査委員会

開催回数	審査件数（件）	備 考
4	112	うち持回り審査 11 件

3 市例規集のデータベース維持更新

「総合法令管理システム」データベース維持更新業務委託料
（LGWAN 利用料含む）

3,225,312 円

4 法令例規の加除整備

現行法規等の加除整備 20 種

2,351,407 円

5 保存文書の整理

(1) 書庫の整理 9 月 25 日、27 日

(2) 廃棄文書処理量 13,452 kg 溶解処理委託料 122,342 円

(3) 保存文書数 (9 月 27 日現在)

区 分	冊 数 (冊)
第 1 種 (永年保存)	21,251
第 2 種 (10 年保存)	12,842
第 3 種 (5 年保存)	5,550
第 4 種 (3 年保存)	704
第 5 種 (1 年保存)	5
計	40,352

6 その他文書関係

(1) 文書取扱事務担当者打合せ会議 4 月 20 日 58 人出席

(2) 文書配達業務委託

ア 区長あて文書配達業務 (月 2 回配達) 委託料 466,560 円

イ 市施設巡回文書配達業務 (毎日配達) 委託料 1,495,578 円

(3) 機器借上

機器名	数量 (台)	金額 (円)	契約期間
デジタル印刷機	2	434,160	平成 29 年 8 月 1 日から 5 年間
インクジェットプリンター	1	699,840	平成 29 年 8 月 1 日から 5 年間
丁合機	1	137,628	平成 29 年 5 月 1 日から 5 年間
ファクシミリ	1	11,970	平成 25 年 6 月 1 日から平成 30 年 5 月 31 日まで
ファクシミリ (再リース)	1	7,387	平成 30 年 6 月 1 日から 1 年間

2-1-3 (目) 会計管理費

単位：円

当 初 予算額	12,522,000	予算 現額	12,227,000	決算額	11,973,168	前 年 度 決算対比	98.9%	前年度 決算額	12,106,144
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

■ 会計管理事業

単位：円

当 初 予算額	12,522,000	予算 現額	12,227,000	決算額	11,973,168	前 年 度 決算対比	98.9%	前年度 決算額	12,106,144
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

公金の出納について、公正かつ適正な事務処理の執行に努める。

II 事業の成果等

1 打合せ会の開催等により、会計事務の適正な執行の確保が図られた。

2 歳計現金の効率的な資金運用が図られた。

3 不用物品の積極的な売却、用品調達基金、長野県収入証紙及び郵便切手類等購買基金の運用により、歳入確保が図られた。

Ⅲ 事業の実績

1 打合せ会の開催、検査の実施

(1) 庁内及び現地機関

ア 会計事務打合せ会の開催（総務課（文書事務）、財政課（契約事務）と共同開催）

4月20日 58人出席

イ 出納員及び現金取扱員の公金収納事務等の検査 32か所

ウ 備品管理状況等の検査 10月2日～12月7日（うち14日間） 19か所

(2) 金融機関

ア 指定金融機関等への立入検査 11月29日～12月6日（4日間） 7店舗

イ 公金収納事務担当者会議の開催 3月20日 17人出席

2 歳入の確保

(1) 歳計現金の運用による利子収入 22件 81,619円

(2) インターネット公有財産売却システムを利用した不用物品の売却 7件 979,503円

(3) 用品調達基金の運用による収入 406,436円

(4) 長野県収入証紙及び郵便切手等購買基金の運用による収入 636,521円

3 (株)郵宣協会から広告入り公用共通封筒の無償提供

(1) 規格と数量 長3形 40,000枚 角2形 10,000枚

4 機器の設置及び借上等

(1) 予算執行、備品管理支援システム使用料 2,151,360円

(2) 振込データ作成、データ伝送システム使用料 479,520円

2-1-4 (目) 財政管理費

単位：円

当初 予算額	8,511,000	予算 現額	29,021,000	決算額	28,980,888	前年度 決算対比	349.6%	前年度 決算額	8,290,124
-----------	-----------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	-----------

■ 財政管理事業

単位：円

当初 予算額	8,511,000	予算 現額	29,021,000	決算額	28,980,888	前年度 決算対比	349.6%	前年度 決算額	8,290,124
-----------	-----------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

将来にわたって須坂市が赤字を出さずに、市民が必要とするサービスを提供できるようにすること。

また、積極的に、わかりやすく財政事情を公開することにより、市民が市の財政状況に関心を持ち、理解すること。

II 事業の成果等

当初予算・補正予算の概要、財政広報誌「見てみよう須坂市の財政」、財務書類4表等について、ホームページ上で公開したほか、「見てみよう須坂市の財政」のダイジェスト版、中学生向け版の作成や、広報誌等での積極的な広報活動等により、市民に分かりやすく、身近な財政情報の提供を行った。

Ⅲ 事業の実績

1 平成 30 年度予算の状況

(1) 議決の状況

平成 30 年 3 月 市議会定例会	一般会計当初予算〔修正可決〕 国民健康保険特別会計当初予算〔原案可決〕 井上・幸高・九反田・中島財産区特別会計当初予算〔原案可決〕 介護保険特別会計当初予算〔原案可決〕 後期高齢者医療特別会計当初予算〔原案可決〕 水道事業会計当初予算〔原案可決〕 下水道事業会計当初予算〔原案可決〕 宅地造成事業会計当初予算〔原案可決〕
6 月市議会定例会	一般会計補正予算第 1 号〔原案可決〕
9 月市議会定例会	一般会計補正予算第 2 号〔修正可決〕、3 号〔原案可決〕 国民健康保険特別会計補正予算第 1 号〔原案可決〕 井上・幸高・九反田・中島財産区特別会計補正予算第 1 号〔原案可決〕 介護保険特別会計補正予算第 1 号〔原案可決〕 後期高齢者医療特別会計補正予算第 1 号〔原案可決〕
12 月市議会定例会	一般会計補正予算第 4・5・6 号〔原案可決〕 国民健康保険特別会計補正予算第 2 号〔原案可決〕 介護保険特別会計補正予算第 2 号〔原案可決〕 水道事業会計補正予算第 1・2 号〔原案可決〕 下水道事業会計補正予算第 1・2 号〔原案可決〕
平成 31 年第 1 回 市議会臨時会	一般会計補正予算第 7 号〔原案可決〕
平成 31 年 3 月 市議会定例会	一般会計補正予算第 8 号〔原案可決〕 国民健康保険特別会計補正予算第 3 号〔原案可決〕 井上・幸高・九反田・中島財産区特別会計補正予算第 2 号〔原案可決〕 介護保険特別会計補正予算第 3 号〔原案可決〕 後期高齢者医療特別会計補正予算第 2 号〔原案可決〕 水道事業会計補正予算第 3 号〔原案可決〕 下水道事業会計補正予算第 3 号〔原案可決〕
6 月市議会定例会	一般会計補正予算第 9 号〔原案承認〕

(2) 補正号数別予算の状況

単位：千円

区 分	当初予算	1 号	2 号	3 号	4 号	5 号
一 般 会 計	20,368,300	36,514	409,196	3,024	138,075	23,788
特 別 会 計	10,593,248	290,052	33,620	△371,439		
国民健康保険	5,427,536	168,169	322	△178,662		
井上ほか財産区	7,694	445	229			
介護保険	4,539,301	116,032	6,246	△192,777		
後期高齢者	618,717	5,406	26,823			
企 業 会 計	5,461,237	△14,538	1,123	△82,290		
水 道 事 業	1,854,625	△1,430	923	△33,407		
下 水 道 事 業	3,597,069	△13,108	200	△48,883		
宅地造成事業	9,543					
全 会 計	36,422,785	312,028	443,939	△450,705	138,075	23,788

区 分	6 号	7 号	8 号	9 号		予算総額
一 般 会 計	731,600	5,830	391,137	120,840		22,228,304
特 別 会 計						10,545,481
国民健康保険						5,417,365
井上ほか財産区						8,368
介護保険						4,468,802
後期高齢者						650,946
企 業 会 計						5,365,532
水道事業						1,820,711
下水道事業						3,535,278
宅地造成事業						9,543
全 会 計	731,600	5,830	391,137	120,840		38,139,317

2 2019 年度当初予算編成の状況

- (1) 10月26日 当初予算編成方針の公表と予算担当者会議の開催
- (2) 11月22日 予算要求期限
- (3) 12月28日 内示
- (4) 1月7日・9日・10日 総務部長査定・復活折衝
- (5) 1月16日・17日・18日 理事者査定
- (6) 2月19日 記者発表
- (7) 2月26日 議会提出
- (8) 3月22日 議決

3 財政情報の公表

- (1) 財政事情の作成及び公表に関する条例に基づく財政事情の公表（公告による公表）
 - ア 6月11日 平成29年度予算下半期の状況（市報7月号においても要旨掲載）
 - イ 12月14日 平成30年度予算上半期及び平成29年度決算状況（市報1月号においても要旨掲載）
- (2) 市報による予算・決算の公表
 - ア 当初予算 4月号 平成30年度の予算
 - イ 補正予算 8月号 須坂市一般会計補正予算第1号が成立しました（6月議会）
 - ウ 決算報告 10月号 平成29年度決算状況の報告
 - エ 補正予算 11月号 須坂市一般会計補正予算第2号・3号が成立しました（9月議会）
 - オ 補正予算 2月号 須坂市一般会計補正予算第4号・5号・6号・7号が成立しました（12月議会）
- (3) ホームページによる公表
 - ア 平成30年6月市議会定例会で成立した補正予算の概要
 - イ 平成30年9月市議会定例会で成立した補正予算の概要
 - ウ 平成30年12月市議会定例会で成立した補正予算の概要
 - エ 平成31年第1回市議会臨時会で成立した補正予算の概要
 - オ 平成31年3月市議会定例会で成立した補正予算の概要
 - カ 平成31年3月31日付で専決処分した補正予算の概要
 - キ 2019年度当初予算編成方針について
 - ク 2019年度当初予算の概要について
 - ケ 2019年度一般会計・特別会計当初予算書
 - コ 平成29年度事業実績並びに主要施策成果説明

- サ 平成 29 年度健全化判断比率、資金不足比率、財政健全化法の概要について、分析、総括
- シ 財政事情の公表（平成 29 年度下半期・平成 29 年度決算状況・平成 30 年度上半期）
- ス 平成 29 年度財務書類 4 表（貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書）
- セ 引上げ分の地方消費税交付金（社会保障財源化分）の使途（29 年度決算）
- ソ 見てみよう「須坂市の財政」～平成 30 年度版 財政広報誌（29 年度決算）～
- タ 見てみよう「須坂市の財政」～平成 30 年度版 財政広報誌（29 年度決算）～ ダイジェスト版
- チ 見てみよう「須坂市の財政」～平成 30 年度版 財政広報誌（29 年度決算）～ 中学生向け版

4 健全化判断比率等の状況

平成 19 年 6 月に公布された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、健全化判断比率等を算定し、監査委員の審査に付した上で、議会へ報告するとともに、市報等で市民に公表した。

なお、平成 30 年度決算に基づく健全化判断比率等は、どの項目も財政健全化計画の策定が義務付けられる「早期健全化基準」を大きく下回っている。

(1) 健全化判断比率 単位：％

	須坂市		早期健全化基準	財政再生基準
	29 年度	30 年度		
実 質 公 債 費 比 率	8.6	9.0	25.0	35.0
将 来 負 担 比 率	33.1	28.6	350.0	
実 質 赤 字 比 率	—	—	13.06	20.00
連結実質赤字比率	—	—	18.06	30.00

(2) 資金不足比率 単位：％

公営企業会計の名称	須坂市		経営健全化基準
	29 年度	30 年度	
下 水 道 事 業 会 計	—	—	20.0
水 道 事 業 会 計	—	—	20.0
宅 地 造 成 事 業 会 計	—	—	20.0

5 健全財政堅持の取り組み

- (1) 4 月 2 日 予算執行方針の周知及び予算配当
- (2) 4 月 13 日 予算執行計画の決定
- (3) 5～8 月 平成 29 年度事業実績並びに主要施策成果説明書の作成及び 9 月市議会定例会への提出
- (4) 6～7 月 平成 29 年度地方財政状況等の調査
- (5) 7 月 9 日 普通交付税算定
- (6) 8～2 月 特別交付税算定
- (7) 9 月 20 日 特別交付税（特殊財政事情）算定資料提出
- (8) 10 月 5 日 19 市財政事務研究会（千曲市）
- (9) 10 月 19 日 北信 3 市財政事務研究会（飯山市）

6 財務会計システムについて

- (1) 予算編成支援システム使用料 1,095,252 円
- (2) 決算統計支援システム使用料 791,856 円
- (3) 起債管理支援システム使用料 633,480 円

7 公会計システムについて

- (1) 公会計システム使用料 979,776 円

2-1-5 (目)財産管理費

単位：円

当初 予算額	41,397,000	予算 現額	674,167,000	決算額	672,769,622	前年度 決算対比	293.3%	前年度 決算額	229,349,157
-----------	------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 財産管理事業

単位：円

当初 予算額	27,603,000	予算 現額	662,003,000	決算額	661,043,075	前年度 決算対比	300.5%	前年度 決算額	219,996,525
-----------	------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

公共施設の適切な維持管理を行うとともに、普通財産の有効活用に努める。

II 事業の成果等

公有財産の維持・管理において、活用方法等の確定していない普通財産の一部を引き続き有償貸付した。また、活用見込のない土地については売却した。

公益社団法人市有物件災害共済会建物総合損害共済及び自動車損害共済等に参加し、市が所有する財産（建物・自動車）について、災害による損害や不慮の事故による損害を災害共済金でてん補した。

全国市長会市民総合賠償補償保険に参加し、市主催の行事等に参加中、急激かつ偶然な外来の事故により被災した住民に対して市が支払う補償金でてん補に備え、また、市が所有する施設等の瑕疵や市の行う業務遂行上の過失に起因する事故について、市に法律上の賠償責任が生じることによって被る損害をてん補した。

各課より依頼された登記事務について、正確で確実な事務処理を図り迅速に登記が完了した。

公有財産の異動を把握し、固定資産台帳の更新を行った。

III 事業の実績

1 市有建物損害共済加入状況等

(1) 加入状況（共済責任額、件数は3月31日現在）

種 別	共 済 責 任 額 (円)	保 険 料(円)	件 数 (件)
公 用 建 物	27,086,910,000	2,916,189	227
学 校	17,148,040,000	936,993	15
市 営 住 宅	6,277,280,000	985,828	72
合 計	50,512,230,000	4,839,010	314

(2) 共済金の状況 4件 927,273 円（市の歳入）

2 市有自動車損害共済加入状況等

(1) 加入状況（委託台数、車両共済は3月31日現在）

保 険 料 (委託料)	3,359,759 円	(うち財政課分 2,890,102 円)
委託台数	220 台	(うち財政課分 179 台)
車両共済	53,884 万円	
対人共済	無制限	
対物共済	無制限	

(2) 共済金の状況

市の歳入	2件 1,230,000 円
業者へ直接支払	10件 2,642,999 円

3 全国市長会市民総合賠償保険加入状況等

(1) 加入状況

保 険 料	890,254 円
賠償保険 身体賠償	1 名につき 2 億円 1 事故につき 20 億円
財物賠償	1 事故につき 2,000 万円
補償保険 死亡補償保険金	300 万円
後遺障害補償保険金	死亡補償金額の 4 %から 100%
入院補償保険金	入院日数に応じて 1 万円から 15 万円
通院補償保険金	通院日数に応じて 5 千円から 6 万円

(2) 保険金の状況

賠償保険のうち財物賠償	1 件 364,678 円 (相手方へ直接支払)
-------------	--------------------------

4 登記事務等処理状況

(1) 嘱託登記 (件数は 3 月 31 日現在)

種 別	件 数 (件)	うち委託件数 (件)
市の所有にするための登記	106	0
土地買収等による分筆登記	37	0
道路敷地等への地目変更登記	49	0
払い下げ等による登記	63	0
合 筆	1	0
相 続 登 記	1	0
国有財産の譲与等による表示及び所有権保存登記	6	0
地 積 更 正	32	0
そ の 他	21	0
合 計	316	0

委託料 0 円

(2) その他

分筆登記等委託料 (大字須坂 209-1)	468,104 円
-----------------------	-----------

5 普通財産売払いの状況

入札による売却

物件所在地	大字須坂 209-1
地 目	宅地
売却面積	251.53 m ²
契 約 日	3 月 11 日
売却価格	3,200,000 円

6 市有財産貸付額 (普通財産)

土地貸付 年間収入額	31 件	4,756,658 円
建物貸付 年間収入額	8 件	1,958,582 円

■ 契約事業

単位：円

当 初 予算額	3,794,000	予算 現額	2,164,000	決算額	2,064,468	前 年 度 決算対比	55.3%	前年度 決算額	3,730,541
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

入札・契約事務における、より一層の透明性、公平性、競争性を確保する。

II 事業の成果等

建設工事等の入札における設計図書等の軽微な修正方法の確立や、建設工事における標準請負契約約款の改正により一次下請事業者の社会保険加入の促進など、入札・契約制度の適正化を図ることができた。

III 事業の実績

1 入札・契約事務の状況

(1) 建設工事の入札・契約状況（設計金額 130 万円を超えるもの・随意契約含む）

建設工事の種類	入札件数 (件)	契約件数 (件)	予定価格 (円：税抜)	落札額 (円：税抜)	加重平均 落札率 (%)	契約金額 (円)
土木一式	22	17	191,030,000	169,108,000	88.52	182,636,640
建築一式	6	6	302,660,000	279,060,000	92.20	301,384,800
とび・土工	1	1	19,830,000	17,352,000	87.50	18,740,160
電気	1	1	3,600,000	3,600,000	100.00	3,888,000
管	4	4	347,100,000	334,900,000	96.49	361,692,000
舗装	10	7	144,560,000	126,493,000	87.50	136,612,440
機械器具設置	6	5	33,130,000	31,270,000	94.39	33,739,200
電気通信	2	2	7,020,000	6,900,000	98.29	7,452,000
水道施設	8	8	103,688,000	100,580,000	97.00	108,626,400
合 計	60	51	1,152,618,000	1,069,263,000	92.77	1,154,771,640

(2) 建設コンサルタント等の業務の入札・契約状況（設計金額 50 万円を超えるもの・随意契約含む）

業務の種類	入札件数 (件)	契約件数 (件)	予定価格 (円：税抜)	落札額 (円：税抜)	加重平均 落 札 率 (%)	契約金額 (円)
土木関係建設コンサルタント	8	8	82,290,000	78,966,000	95.96	85,283,820
建築関係建設コンサルタント	7	6	31,430,000	28,745,000	91.46	31,044,600
そ の 他	1	1	27,330,000	26,600,000	97.33	28,728,000
合 計	16	15	141,050,000	134,311,000	95.22	145,056,420

(3) 備品購入の入札・契約状況（設計金額 30 万円以上のもの・随意契約含む）

入札件数 (件)	契約件数 (件)	予定価格 (円：税抜)	落札額 (円：税抜)	加重平均 落札率 (%)	契約金額 (円)
29	27	147,656,741	130,812,240	88.59	141,277,219

(4) 契約保証の状況

種 別	金銭的保証 (件)	納付免除 (件)
建設工事	41	10
建設コンサルタント等の業務	6	9
備品購入	5	22
合 計	52	41

(5) 入札結果及び契約情報の公表

入札・契約を行った建設工事等について、財政課窓口及びホームページ（備品購入については財政課窓口のみ）にて、入札結果（予定価格・最低制限価格・入札金額等）及び契約情報を公表した。

2 入札参加資格者数（3月31日現在）

種別		市内業者（支店等含む）(者)	市外業者 (者)
建設工事	土木一式	31	175
	建築一式	19	97
	電 気	14	138
	管	15	154
	そ の 他	71	1010

種別		市内業者（支店等含む）（者）	市外業者（者）
建設コンサルタント等の業務	測 量	17	150
	建築関係建設コンサルタント	12	129
	土木関係建設コンサルタント	14	177
	地質調査	4	87
	補償関係コンサルタント	12	64
物品購入等		199	753

3 入札参加資格審査事務の状況

(1) 建設工事

ア 平成 29・30 年度変更審査 79 件

イ 平成 31・32 年度（2019・2020 年度）定期審査（2 月に実施） 474 件

(2) 建設コンサルタント等の業務

ア 平成 29・30 年度変更審査 43 件

イ 平成 31・32 年度（2019・2020 年度）定期審査（2 月に実施） 259 件

(3) 物品購入等

ア 平成 30～33 年度随時審査（新規登録審査） 284 件

イ 平成 30～33 年度変更審査 112 件

4 小規模工事受注希望者登録事務の状況

(1) 平成 29～32 年度随時受付（新規登録受付） 7 件

(2) 平成 29～32 年度登録者数（3 月 31 日現在） 48 者

5 建設工事等入札審査委員会の開催

設計金額 130 万円を超える建設工事、設計金額 50 万円を超える建設コンサルタント等の業務及び設計金額 500 万円以上の備品購入における契約の方法、入札参加資格要件及び指名業者の選定等を行った。

(1) 開催回数 11 回（うち持ち回り審査 2 回）

(2) 入札参加資格要件の審査及び指名業者等の選定件数 83 件（再審査含む）（うち事務局審査 54 件）

6 入札・契約制度等調査検討委員会の開催

1 回開催し、建設工事等における設計額の修正に伴う入札延期手続き、積算疑義申立て、下請負人の社会保険加入の促進などについて検討した。

7 入札参加停止処分

(1) 須坂市建設工事等入札参加資格者に係る入札参加停止要綱別表第 4（第 2 関係）その他第 1 号（国又は長野県が入札参加停止処分を行ったとき）での入札参加停止処分 3 件

(2) 須坂市物品購入等入札参加資格者に係る入札参加停止要綱別表第 4（第 2 関係）その他第 1 号（国又は長野県が入札参加停止処分を行ったとき）での入札参加停止処分 1 件

8 公共工事等発注見通しの公表

公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第 7 条、須坂市入札及び契約に係る情報の公表に関する要領に基づき、予定価格が 130 万円以上と見込まれる建設工事、予定価格が 50 万円以上と見込まれる建設コンサルタント等の業務及び予定価格が 30 万円以上と見込まれる備品購入の発注見通しについて、財政課窓口及びホームページにて公表した。

(1) 4 月公表分（平成 30 年度全期）

建設工事 53 件 建設コンサルタント等の業務 13 件 備品購入 18 件

- (2) 7月公表分（第2四半期・第3四半期・第4四半期分で見直し後の件数）
 建設工事 30件 建設コンサルタント等の業務 8件 備品購入 9件
- (3) 10月公表分（第3四半期・第4四半期分で見直し後の件数）
 建設工事 12件 建設コンサルタント等の業務 4件 備品購入 1件
- (4) 1月公表分（第4四半期分で見直し後の件数）
 建設工事 7件 備品購入 1件

9 工事成績評定の公表

契約金額500万円以上の建設工事について成績評定を行い、財政課窓口にて公表した。
 平成30年度公表件数は46件。

10 事後審査型条件付一般競争入札の適用

- (1) 建設工事 40件
 (2) 建設コンサルタント等の業務 4件
 (3) 物品購入等 16件

11 最低制限価格制度の適用

設計金額130万円を超える建設工事及び設計金額50万円を超える建設コンサルタント等の業務の入札に適用した。

- (1) 建設工事（予定価格の87.5%から90%の範囲内で設定） 43件
 (2) 建設コンサルタント等の業務（予定価格の85%から90%の範囲内で設定） 9件

12 主な入札・契約制度の改正事項（平成31年4月1日施行）

項 目	内 容
建設工事等における入札延期手続きについて	設計内容の軽微な変更で、かつ入札の公平性に支障がないと判断されるものについては、入札を中止せずに設計内容を変更し、入札参加者に当該変更を通知することにより、入札を続行することができる取り扱いを定めた。
建設工事の標準請負契約約款の改正	社会保険加入の促進を図るために、「社会保険の未加入建設業者は1次下請者とししないこと」を須坂市建設工事標準請負契約約款に規定した。

13 財務会計システムについて

- (1) 業者管理支援システム使用料 475,116円
 (2) 契約管理支援システム使用料 950,232円
 (3) 検査管理支援システム使用料 395,928円

■ 施設等修繕事業

単位：円

当初 予算額	10,000,000	予算 現額	10,000,000	決算額	9,662,079	前年度 決算対比	171.9%	前年度 決算額	5,622,091
-----------	------------	----------	------------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

公共施設に緊急的な修繕箇所が生じた場合に、市民サービスの低下を招かぬよう迅速に対応する。

II 事業の成果等

各課等の所管施設における緊急修繕について、迅速に対応できた。

Ⅲ 事業の実績

1 施設等修繕状況

(1) 施設等修繕件数 10 件

- ア 平成 30 年度 須坂保育園南側擁壁修繕工事（子ども課所管施設） 1,296,000 円
- イ 平成 30 年度 田の神農用揚水施設第 2 機場緊急修繕工事に伴うケーシング（管）修繕工事（農林課所管施設） 2,862,000 円
- ウ 平成 30 年度 旧上高井郡役所ブロック塀修繕（中央公民館所管施設） 477,360 円
- エ 平成 30 年度 中央児童センターブロック塀修繕（学校教育課所管施設） 248,864 円
- オ 平成 30 年度 大ホール舞台機構サスペンションライト 2,3 修繕工事（生涯学習スポーツ課所管施設） 399,600 円
- カ 平成 30 年度 シルキー二～三階ホール及びバックヤード等修繕工事（商業観光課所管施設） 499,975 円
- キ 平成 30 年度 技術情報センターエアコン室外機交換修繕工事（産業連携開発課所管施設） 1,436,400 円
- ク 平成 30 年度 シルキーホールエアコン配管漏水修繕（商業観光課所管施設） 449,280 円
- ケ 平成 30 年度 プラスチック圧縮機コンベヤ修繕（生活環境課所管施設） 1,009,800 円
- コ 平成 30 年度 松川霊園給水管漏水調査修繕工事（生活環境課所管施設） 982,800 円

2-1-6 (目) 車両管理費

単位：円

当初予算額	12,340,000	予算現額	12,351,000	決算額	11,291,586	前年度決算対比	98.5%	前年度決算額	11,459,354
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	-------	--------	------------

■ 車両管理事業

単位：円

当初予算額	12,340,000	予算現額	12,351,000	決算額	11,291,586	前年度決算対比	98.5%	前年度決算額	11,459,354
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	-------	--------	------------

I 事業の目的

集中管理車両の適正な運行管理を通じて、効率的かつ安全で環境に配慮した公務の執行を図る。

II 事業の成果等

集中管理車両の点検整備などの維持管理と、配車計画及び安全運転管理の実施により、市業務の効率的かつ安全な執行を推進した。

Ⅲ 事業の実績

1 集中管理車両台数

（3月31日現在）

普通乗合自動車 (マイクロバス)	普通乗用車 (乗用車・ワゴン)	軽自動車 (乗用車・バン・トラック)	小型貨物自動車 (バン・トラック)	小型四輪乗用車 (乗用車・ワゴン)	計
2	6	8	—	3	19

(低公害自動車含む)

(参考) 公用車保有台数 (ナンバーがないものは除く) (3月31日現在)

課 等	自動車	特殊車両等	バイク	計
総務課集中管理	19			19
総務課		1		1
政策推進課	2			2
財政課	1			1

課 等	自動車	特殊車両等	バイク	計
税 務 課	3			3
福 祉 課	5			5
高 齢 者 福 祉 課	19			19
健 康 づ く り 課	5		1	6
市 民 課	2			2
人 権 同 和 政 策 課	1			1
生涯学習スポーツ課	10			10
中 央 公 民 館	2			2
生 活 環 境 課	6	2		8
農 林 課	5	2		7
産 業 連 携 開 発 課	2			2
商 業 観 光 課	2			2
道 路 河 川 課	14	15		29
ま ち づ く り 課	9			9
消 防 本 部 ・ 署		41		41
水 道 局	13	1		14
教 育 委 員 会	16		6	22
計	136	62	7	205

2 所管車両の整備

区 分	台 数	金 額 (円)
3 か月点検整備	2	87,048
12 か月点検整備	9	187,183
車検	10	1,092,340
その他 (タイヤ交換等)	—	33,482

3 自動車の購入

なし

4 集中管理車両への観光画像付広告の設置

広告設置料 42,000 円 (設置車両 7 台・月 500 円)

2-1-7 (目) 市有林管理費

単位：円

当 初 予算額	5,740,000	予算 現額	5,621,000	決算額	5,620,044	前 年 度 決算対比	133.4%	前年度 決算額	4,212,967
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	--------	------------	-----------

■ 市有林維持管理事業

単位：円

当 初 予算額	5,740,000	予算 現額	5,621,000	決算額	5,620,044	前 年 度 決算対比	133.4%	前年度 決算額	4,212,967
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

市有林の搬出間伐と保育間伐 (切捨間伐) を実施し、森林の維持管理を行う。

II 事業の成果等

植栽木育成の妨げとなる雑木を伐採するとともに、欠損木や二又木等著しい形質不良木や劣勢木を伐採することにより市有林 (残存木) の健全な育成が図られた。

作業道を開設することで、搬出間伐が実施でき、間伐材売り上げ収入を得ることができた。

Ⅲ 事業の実績

1 市有林保育事業の実施状況（市有林間伐事業）

事業名	事業内容	事業費（円）
信州の森林づくり事業（森林環境保全直接支援事業）市有林間伐事業委託	須坂市大字仁礼字仙仁山 70 林班い 17 他 市有林の搬出間伐 4.83ha、保育（切捨）間伐 1.00ha、作業道開設 1,029.60m	5,346,000

2 間伐材売り上げ収入

材 種 ・ 材 積 (m³)	売上額（円）
カラマツ 168.72 m³、アカマツ 23.14 m³、その他広葉樹 2.38 m³ 合計 194.24 m³	1,512,582

2-1-8 (目)職員厚生費

単位：円

当初予算額	14,241,000	予算現額	13,974,000	決算額	13,039,304	前年度決算対比	103.7%	前年度決算額	12,568,458
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

■ 職員厚生事業

単位：円

当初予算額	12,741,000	予算現額	12,485,000	決算額	11,550,304	前年度決算対比	103.3%	前年度決算額	11,183,458
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

I 事業の目的

職員の健康管理と福利厚生の充実を図る。

II 事業の成果等

健康診断及び産業医による健康相談を実施し、疾病の早期発見と予防に努めるとともに、外部の産業カウンセラー、保健師などの専門スタッフによる健康相談、ストレスチェックなどを行うことにより、職員の健康相談事業の充実、健康増進が図ることができた。

Ⅲ 事業の実績

1 職員の健康管理

(1) 予防接種等

ア 破傷風予防接種 延べ 17 人 40,388 円

イ B 型肝炎検査及び予防接種 延べ 80 人（ワクチン接種 延 10 人） 248,170 円

(2) 職員の健康診断

区 分	受診者数（人）	精検者数（人）	金額（円）
胃検診	73	3	335,070
大腸検診	97	7	154,122
定期健康診断	280	43	2,000,181
生活習慣病予防健診	330	81	1,314,933
人間ドック	201	※ 19	3,962,158
子宮ガン検診	105	2	464,028
乳房検診（超音波）	106	3	457,920
〃（マンモグラフィ）	87	6	554,799
夜勤者定期診断	76	1	0

※ 人間ドックの精検者数は各項目（病名）の延べ人数

(3) 職員の健康相談 産業医 … 11 月 22 日 4 人

保健師 … 随時

(4) 健康応援セミナー・特定保健指導

特定保健指導該当者（7 人）及び生活習慣病予防健診受診者のうち該当者（5 人）について、外部の保健師等による面接指導等を行った。

(5) 昼休み B. G. M の放送

2 職員の心の健康管理

労働安全衛生法及び「須坂市職員ストレスチェック制度実施規程」に基づき、ストレスチェックを実施した。

厚生労働省「労働者の心の健康の保持増進のための指針」及び「須坂市こころの健康づくり計画」に基づき実施した。

(1) ストレスチェックの実施

	対象者	受検者	高ストレス者	保健師面談	産業医面談
人数 (人)	890 (A)	885 (B)	105 (C)	22 (D)	0 (E)
率 (%)	—	99.4 (B/A)	11.9 (C/B)	21.0 (D/C)	0.0 (E/D)

(2) 管理監督者等によるケアに関する研修

内 容	人数 (人)	実 施 日
ストレスチェックの職場診断結果説明会	41	11 月 13 日

(3) 産業カウンセラーによる面接相談 4月～10月の毎月1回 延べ21人

(4) 総務課保健師に相談 随時

3 職員被服購入貸与

須坂市職員被服貸与規程に基づき、職員に貸与した。

(1) 技術・現業職員作業服	49 着	195,804 円
(2) 技術・現業職員夏シャツ (半袖・長袖)	88 着	233,539 円
(3) 技術・現業職員作業ズボン	87 着	281,880 円
(4) 技術・現業職員帽子	49 着	76,734 円
(5) 一般職活動服上衣	7 着	51,030 円
(6) 一般職活動服ズボン	7 着	46,656 円
(7) 一般職ゴム長靴	5 足	23,760 円
(8) ヘルメット	2 個	6,696 円

■ 職員互助会助成事業

単位：円

当 初 予算額	1,500,000	予算 現額	1,489,000	決算額	1,489,000	前 年 度 決算対比	107.5%	前年度 決算額	1,385,000
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

地方公務員法第 42 条に基づく職員の保健、その他厚生に関する事項を実施するため、須坂市職員互助会を設置し、職員の福利厚生等の向上を図る。

II 事業の成果等

負担金を支出し、互助会で職員厚生事業、文化活動事業、体育事業等を行った。

III 事業の実績

職員互助会への助成

区 分	内 容	金額 (円)
負担金	19 市職員体育大会参加負担金 職員体育活動負担金 職員文化活動負担金 職員厚生事業負担金	1,489,000

2-1-9 (目) 企画費

単位：円

当初 予算額	206,643,000	予算 現額	603,731,000	決算額	596,048,009	前年度 決算対比	308.3%	前年度 決算額	193,327,297
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	156,475,000	予算 現額	554,301,000	決算額	546,955,331	前年度 決算対比	377.9%	前年度 決算額	144,733,509
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

第五次須坂市総合計画・後期基本計画の各施策の進捗管理を行い、基本構想で示した市の将来像「一人ひとりが輝き、磨かれた『ほんもの』の魅力あふれるまち 須坂」の実現を図る。

また、国や県をはじめとした関係団体等との連絡調整を行うほか、庁内関係部の総合調整を図る。

II 事業の成果等

第五次須坂市総合計画・後期基本計画の各施策及び取組みについて進捗管理を行い、目指す将来像の実現を推進することができた。実施計画では、長期的な財政運営を考慮しながら、施設整備事業等を盛り込んだ。

また、庁議を開催し、市政運営の基本方針や重要施策について審議を行った。「市長への手紙」では、多くの市民から意見をいただき、市政への反映に努めた。「信州須坂ふるさと応援寄附金」では、寄附募集サイトを拡大し、大幅に寄附額を増やすことができた。

III 事業の実績

1 庁議

(1) 部長会議 18回

第1回部長会議（4月2日）	30年度予算執行方針
第2回部長会議（4月24日）	後期重点プロジェクト推進本部
第3回部長会議（5月15日）	危機管理マニュアル等
第4回部長会議（5月24日）	6月市議会定例会提出議案
第5回部長会議（6月13日）	6月市議会定例会一般質問
第6回部長会議（7月3日）	地域づくり市民会議
第7回部長会議（7月24日）	市総合防災訓練
第8回部長会議（8月10日）	9月市議会定例会提出議案
第9回部長会議（8月29日）	9月市議会定例会一般質問
第10回部長会議（10月2日）	須坂市の重点課題
第11回部長会議（10月23日）	31年度予算編成方針
第12回部長会議（11月6日）	12月市議会定例会提出議案
第13回部長会議（11月21日）	12月市議会定例会一般質問
第14回部長会議（1月4日）	副市長・総務担当部長会議提出議題
第15回部長会議（1月22日）	須坂市の重点課題
第16回部長会議（2月6日）	3月市議会定例会提出議案
第17回部長会議（2月27日）	3月市議会定例会一般質問
第18回部長会議（3月22日）	人事異動

(2) 部課長会議 6回

第1回部課長会議（4月2日）	人事異動の基本方針、30年度予算執行方針
第2回部課長会議（7月17日）	職員研修報告、6月市議会定例会における質問事項等
第3回部課長会議（10月15日）	職員報告、9月市議会定例会における質問事項等
第4回部課長会議（12月26日）	職員研修報告、12月市議会定例会における質問事項等
第5回部課長会議（1月4日）	職員研修報告
第6回部課長会議（3月27日）	3月市議会定例会における質問事項等

2 市長への手紙

- (1) 受信件数 152 件（前年度 92 件）
 (2) 内容件数 183 件（前年度 118 件）

部等名	件数（件）	主な内容
総務部	30	職員応対、防災、人口増対策、税金
健康福祉部	20	健康増進施策、高齢者への施策
市民環境部	23	交通施策、ごみ処理、騒音
社会共創部	10	体育施設・社会教育施設
産業振興部	17	商業の活性化、観光施策
まちづくり推進部	45	道路、除雪、空き家、大型商業施設
水道局	2	上下水道
教育委員会	31	学校教育、保育園、子育て支援
消防本部	3	消防団・消防職員規則
議会事務局	1	市議会議員選挙
選挙管理委員会	1	市議会議員選挙
計	183	

3 市長と語る虹のテーブル

開催回数 1 回（北旭ヶ丘町）

4 陳情

- (1) 受理件数 29 件（前年度 18 件）
 (2) 内容件数 67 件（前年度 51 件）

部等名	件数（件）	主な内容
総務部	9	防災、税金、契約
健康福祉部	5	介護・医療・福祉の充実
市民環境部	11	交通政策、不法投棄、騒音対策
社会共創部	4	文化施設等の充実について
産業振興部	15	有害鳥獣対策、農業振興、産業・商業の活性化、須坂温泉
まちづくり推進部	19	道路・水路・河川等の改修、除雪、住宅、空き家対策
水道局	0	
教育委員会	3	学校教育
消防本部	1	消火栓設置
選挙管理委員会	0	
計	67	

5 姉妹都市との交流

交流の状況（市が主体的に関わったもの）

区 分	三浦市から須坂市へ	須坂市から三浦市へ
児童生徒親善交流	小中学生・引率ほか 17 人(8/3～5)	小中学生・引率ほか 14 人(7/26～28)
市職員交流	職員 8 人 (10/11・12)	
観光PR及び物産紹介		農業委員・事務局 12 人 (10/27・28)

※新発田市との交流については実績なし。

6 後期重点プロジェクト（須坂市まち・ひと・しごと創生総合戦略）の推進

第五次須坂市総合計画・後期基本計画の後期重点プロジェクト（須坂市まち・ひと・しごと創生総合戦略）の目標を達成するため、後期重点プロジェクト推進本部を設置するとともに、プロジェクトごとに部会を設け、全庁的な連携により推進を図った。（政策推進課は「須坂市への新しい人の流れを創るプロジェクト部会」を主管）

(1) 後期重点プロジェクト項目

プロジェクト名
1 須坂市にしごとをつくり、安心して働けるようにする
2 須坂市への新しい人の流れを創る
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4 安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

(2) 本部会議の開催 2回

(3) 行政改革推進委員会での進捗状況等の検証 5月28日

(4) 市議会への進捗状況等の報告 6月15日

7 地方創生関係の交付金申請支援

国の地方創生推進交付金の申請にあたり、実施計画等の作成を支援した。

(1) 健康スミージーを活用したまちのにぎわいづくり（健康づくり課主管）

(2) 「須坂フルーツ発泡酒」を核とした果樹振興と賑わい創出事業（産業連携開発課主管）

8 実施計画の策定

第五次須坂市総合計画基本構想・後期基本計画に沿った事業を推進するため、2019年度から2021年度までの計画を策定した。3か年の総事業費は12,966,700,000円（一般財源は4,452,300,000円）

9 高速交通関係

北陸新幹線や上信越自動車道等の高速交通網の整備と利用促進のため、協議会へ出席した。

総会等の名称	開催日等	開催場所等
北陸新幹線関係都市連絡協議会	5月11日	福井県あわら市
〃	10月19日	上田市
上信越自動車道建設促進期成同盟会定期総会（書面開催）	9月5日	新潟県上越市
北陸新幹線長野県沿線広域市町村連絡協議会定期総会（書面開催）	7月9日	長野市

10 行財政情報サービス等の利用

職員の行政経営能力向上等のため、行財政情報サービス等と契約して活用を図った。

(1) 時事通信社 行財政情報サービス「iJAMP」 委託料 803,520円

(2) 信濃毎日新聞データベース 使用料 129,600円

11 開発行為等調整委員会の開催

(1) 委員会開催 0回

(2) 書面による委員への意見聴取 0件

12 土地利用関係

(1) 公有地の拡大の推進に関する法律に基づく届出書等の受理 4件

(2) 国土利用計画法に基づく届出書等の受理 5件

13 大学等との連携

大学等との包括的連携協定に基づき連携事業を実施した。

大学等の名称（締結年月）	事業件数（件）	主な事業
信州大学（16年12月）	19	須坂市寄付講義（全13回）、蔵の町並みキャンパス
長野工業高等専門学校（19年5月）	8	イノベートSUZAKA、地域人材育成連携
長野県工科短期大学校（20年10月）	2	地域人材育成連携、AI・IoT活用研究会
市内県立高等学校（須坂・須坂東・須坂創成高校）（29年4月）	0	

大学等の名称（締結年月）	事業件数（件）	主な事業
市内郵便局（29年7月）	0	
あいおいニッセイ同和損害保険(株) （29年11月）	2	地方創生サミット、サイバーセキュリティ セミナー

14 信州須坂ふるさと応援寄附金

寄附募集サイトを拡大して「ふるさと納税制度」による寄附金を募集した。また、9月4日に発生した台風21号により果樹被害に遭われた農家を支援するため、台風被害応援りんごを返礼品に加えた。

(1) 寄附金の受入状況（前年度 7,144件 113,362,000円）

希望する用途及び件数（件）	寄附件数（件）	金額（円）
まちづくり（3,840件）	/	54,059,000
産業振興（2,317件）		31,086,000
子どもは宝プロジェクトの推進（9,149件）		119,717,000
須坂市におまかせ（22,711件）		272,756,000
計	38,016※	477,618,000

※寄附1件で「希望する用途」を2種類指定した方が1名いたため、希望する用途件数と寄附件数では1件の違いあり。

(2) 寄附金の活用状況

用途区分	金額（円）
まちづくり	11,563,000
産業振興	8,657,000
子どもは宝プロジェクトの推進	26,108,000
市長におまかせ	27,329,000
計	73,657,000

(3) 追加した寄附募集サイト

さとふる、楽天ふるさと納税、ふるさとプレミアム、Wowma!ふるさと納税、ふるさとプラス、ふるまる

(4) 台風被害応援りんごの支援 寄附件数2,468件 寄附額15,115,000円

15 辺地対策総合整備計画

辺地に係る公共施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律に基づく須坂市辺地対策総合整備計画による事業の進捗管理を行った。

(1) 計画期間 28年度～32年度（5年間）

(2) 総事業費 1,394,248,000円（辺地債充当予定額 1,156,400,000円）

16 県の長野地域現地機関との意見交換会

「地域振興局」の発足に伴い、長野地域の県現地機関と市町村長の連携を一層強化するため、代表者が一堂に会し、しあわせ信州創造プラン2.0長野地域計画の推進等について意見交換を行った。（7月30日県地域振興局主催）

■ 広域行政推進事業

単位：円

当初 予算額	27,751,000	予算 現額	27,251,000	決算額	27,251,000	前年度 決算対比	102.1%	前年度 決算額	26,702,000
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

長野広域連合では、多様化した広域的行政需要に適切に対応し、行政サービスの一層の充実と効率的な行政運営を図り、市町村の枠を超えた地域の一体的な振興・発展を目指す。

長野地域連携中枢都市圏では、長野地域の市町村が地域の課題に対し連携することで、持続可能な地域社会をつくる。

長野地域活性化推進会議では、県と長野地域の市町村が協働して具体的な取り組みを行い、地域活性化を図る。
須高行政事務組合では、し尿処理場や火葬場（松川苑）、休日緊急診療室、総合プール（サマーランド）の4施設の経営に関し、地域住民に質の高いサービスを提供する。

II 事業の成果等

長野広域連合では、長野地域の魅力ある資源を県内外に情報発信し、交流人口の増加や周遊促進を図ることができた。また、長野地域の保育園児や小学生等を対象にスポーツ交流を行い、体力向上や情操育成を図ることができた。

長野地域連携中枢都市圏では、「長野地域スクラムビジョン」の進捗管理を行い、圏域内の経済の牽引や生活関連機能サービスの向上等を図ることができた。

長野地域活性化推進会議では、しあわせ信州創造プラン2.0 長野地域計画や重点プロジェクト、地域連携プロジェクト等について意見交換を行い、長野地域の目指す姿等を共有することができた。

須高行政事務組合では、組合の事業の総合調整を行うことができた。

III 事業の実績

1 長野広域連合

(1) 広域連合理事会、関係市町村副市町村長・幹事会に出席した。

(2) 魅せますながのプロジェクト事業

ア うみやまマップの改訂版作成（16,000部）

イ 長野地域の観光資源等の映像による情報発信（長野駅から）

ウ ホームページによる情報発信・保守

(3) 長野地域スポーツ振興事業

ア 出張スポーツ交流

(ア) サッカー（AC長野パルセイロ）

5月18日 豊洲保育園（参加者18人）

6月19日 須坂双葉幼稚園（参加者49人）

(イ) バスケット（信州ブレイブウォリアーズ）

9月25日 高甫小学校（参加者62人）

10月16日 須坂保育園（参加者50人）

(ウ) バレー（長野ガロonz）

8月28日 高甫小学校（参加者25人）

10月2日 上高井保育園（参加者25人）

10月22日 高甫保育園（参加者34人）

イ スタジアム交流

(ア) サッカー

9月8日 参加者11人

10月28日 参加者0人

(イ) バスケット

11月18日 参加者5人

1月19日 参加者0人

(ウ) バレー

12月9日 参加者12人

2月10日 参加者4人

(4) 共同研修（講演会）

ア テーマ 「夢見る力が『気』をつくる」

講師 唐池恒二氏（九州旅客鉄道(株) 代表取締役社長） 7月20日 参加者4人

イ テーマ 「双雲流ポジティブ思考法 ～しあわせになれるはたらきかた～」

講師 武田双雲氏（書道家） 10月29日 参加者6人

2 長野地域連携中枢都市圏

- (1) 長野地域連携推進協議会及び幹事会等に参加した。
- (2) 長野地域スクラムビジョン（計画期間は28年度から2年度までの5年間）
- (3) 具体的な取組み

ア 圏域全体の経済成長に係る事業（14事業）

長野圏域経済成長推進	大学等高等教育機関との連携活用
インキュベーション施設等活用	創業支援
異分野異業種交流	合同プロモーション
産業展示会	地域農産物販路拡大
農業イベント開催	外国人観光客誘致促進
広域観光連携	企業誘致連携
就職情報サイト「おしごとながの」活用等 地域への就職支援	バイオマス利活用推進に係る調査・研究

イ 高次の都市機能の集積・強化に係る事業（2事業）

農業の新たな担い手育成	産業を支える人材育成
-------------	------------

ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上に係る事業（23事業）

病院群輪番制運営	保育の広域利用の拡大
地域移行支援	青少年対策
スクールカウンセラー等の共同活用	文化財保護における学芸員の相互支援
文化芸術情報提供	図書館資料貸出しの広域化
耕作放棄地等の資源作物（ソルガム）活用調査 事業	買い物連携
アウエイツーリズム活用	災害対策のための相互協力
地域木質バイオマスの利用推進	圏域内の公共交通網構築
公共交通利便性向上	地場産品直売所活用
移住・定住促進	結婚支援
広報活動連携	公共施設等マネジメントスキルアップ
合同職員研修実施	技術職・専門職交流（保健師・看護師）
保育士等情報交換研修等	

3 長野地域活性化推進会議（長野地域振興局が主催）

長野地域活性化推進会議や幹事会に参加した。

4 須高行政事務組合

理事者会議や担当課長会議に参加した。

■ 広聴広報事業

単位：円

当初 予算額	20,756,000	予算 現額	21,987,000	決算額	21,650,525	前年度 決算対比	105.6%	前年度 決算額	20,510,858
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

行政やまちづくりに対する市民の率直な意見や提言を聴取し、市政に反映させるとともに、情報の公開と提供を積極的に行い、共創のまちづくりを推進する。また、SNSなどを活用し市内外へ最新情報を発信した。

II 事業の成果等

「広報須坂」やホームページをはじめ、メールマガジン、フェイスブック、ツイッター等、市のあらゆる広報媒体を活用し、市政に関する情報の発信に努め広報を充実することができた。また、イベント情報をまとめた季刊発行イベント情報チラシを年3回発行したほか、関係機関と連携したインターネットサイトのイベント

カレンダーを活用し、各種イベント情報を市内外に発信した。

地域づくり市民会議を開催し、市政の現状を市民に伝えるとともに、市政に対する市民の意見を聴き意見交換することで市政に反映することができた。

Ⅲ 事業の実績

1 「広報須坂」の発行など

(1) 発行概要等

ア 毎月1回発行（19,700部） 印刷費 8,449,949円

イ 編集専用パソコン2台及び専用ソフト「インデザイン」をリースし編集 リース料 180,792円

ウ 有料広告の掲載 広告料収入 550,800円（60枠）

エ 広報須坂かわら版の発行 毎月1回発行（B2版49部、B3版4部、A3版57部）

(2) 広報モニターの設置

広報須坂モニターに10人を委嘱し、アンケートを毎月実施した。

ア 広報モニター会議の開催 4月23日

イ 謝礼 30,000円（年間）

2 季刊イベント情報チラシの発行

季節ごとのイベント情報を集約したチラシを作成し、イベントのPRを行った。

(1) 発行号

ア 夏～初秋号（6月発行）A4版・両面カラー（15,000部）

イ 秋～冬号（10月発行）A4版・両面カラー（15,000部）

ウ 春号（2月発行）A3版（二つ折り）・両面カラー（30,000部）

(2) 印刷費 449,940円

3 須坂市ホームページの管理

(1) ホームページの保守及びデータ更新業務を委託した。

業務名	委託先	業務内容	委託料（円）
ホームページ保守委託	(有)NPウォンツ	ホームページ及び関連するシステムの保守	2,579,040
ホームページ掲載データ作成委託	(有)NPウォンツ	ホームページ内容の更新作業	996,840

(2) ホームページ有料広告の掲載 広告料収入 151,200円（35枠）

4 メール配信システムの運用

災害時等に防災防犯メールを確実・迅速に配信できるようにした。

(1) 業務名 メール配信システム運用委託

(2) 委託先 バイザー(株)

(3) 業務内容 メール配信システムの運用

(4) 委託料 907,200円

5 信州須坂の水の販売等

国の名勝指定の「米子瀑布群」をPRするため、製造したボトルウォーターをイベント等で販売した。

用途	本数（本）	金額（円）
PR	111	0
販売	24	2,064
計	135	2,064

6 須坂市フェイスブック・ツイッター等の管理

市公式のフェイスブックやツイッター、ブログなどを活用し、イベント等の情報発信を行った。

7 定例記者会見の実施

報道機関を活用して須坂市の様々な情報を市内外に発信するため、毎月1回定例記者会見を行った。また、「公認ポータルサイト・いけいけすざか」によるインターネットライブ配信に協力した。

8 市長メールマガジン「虹のほほえメール」の発行

市長のコラム、市役所からのお知らせ、イベント情報を電子メールにより登録者に発信した。

(1) 毎週木曜日発行

(2) 発行号数 52号(709号～760号)

9 放送媒体の活用による広報

(1) STV地域情報チャンネルを活用した情報提供 随時

(2) NHK長野放送局 地デジ・データ放送を活用した文字放送 放送件数15本

(3) FMぜんこうじの放送委託 委託先 (株)ながのコミュニティ放送

業務名	業務内容	委託料(円)	放送数
市政等ラジオ広告の放送に関する制作業務委託	FMぜんこうじでスポットCMを放送	2,462,400円	2,555件
耳を澄まして金曜3時武田徹のラジオ団塊倶楽部信州の民話コーナー	「信州の直虎名君誕生と須坂騒動の巻」を放送	100,000円	4話

10 「須坂を元気にする広報」の実施

ラジオ放送(CM)・新聞紙面(広告扱い)などを活用した情報提供をした。

(1) 北國新聞・北日本新聞 350,000円(各1枠 1回)

(2) 信濃毎日新聞 43,200円(1枠 1回)

(3) FMぜんこうじ 56,800円(18回放送 コーナー前後 各1回)

11 報道機関・マスコミ関係者との懇談会

須坂市の様々な魅力を市内外にPRするため、報道機関・マスコミ関係者との懇談会を開催した。

(1) 日時 4月26日

(2) 場所 シルキーホール(第2ホール)

(3) 参加者 報道機関・関係者等 52人

(4) 会費 159,000円(3,000円×53人 欠席者1人含む)

(5) 市負担分 48,675円

12 広報推進幹及び広報担当者の配置

広報事務を効果的に行うため、各課等に広報推進幹と広報担当者を配置した。

(1) 広報推進幹の委嘱 38人

(2) 広報担当者の選任(兼地域ブランド推進員) 31人

(3) 広報研修会の開催

ア 日時 2月15日

イ 場所 305会議室

ウ 内容 ブランディング～戦略広報の基本～

エ 講師 出田 稔氏((株)電通)

オ 参加者 40人

13 地域づくり市民会議

区長会ブロック別等で開催し、「地域からの今後の地域づくりの提案」をテーマに意見交換を行った。また、市から「行財政改革」「災害への備えと対策」「須坂温泉(株)」「須坂長野東インター周辺地区開発」「都市計画マスタープラン」「小学校通学用「標準かばん」の導入」「須坂市立博物館基本計画(素案)の概要」について説明した。

(1) 開催内容

- ア 第1・2ブロック(上部・東部) 8月2日 中央公民館(出席者26人)
テーマ 「市内中心部エリアが連携した「まちづくり構想」「人口を増やすために(地域活性化のために)」「昨年平成29年度「地域づくり市民会議」第1・2ブロック提案の未回答案件」
- イ 第3ブロック(西部) 8月7日 横町公会堂(出席者22人)
テーマ 「安心・安全な町づくり(高齢者を通じて)」「安心・安全な町づくり(子どもを通じて)」
「須坂市都市計画マスタープラン」
- ウ 第4ブロック(南部) 7月25日 南部地域公民館(出席者14人)
テーマ 「臥竜公園駐車場(看護学校東側)の再利用」「坂田山の山麓から連なる里山の整備」
- エ 第5ブロック(日滝) 8月9日 日滝地域公民館(出席者29人)
テーマ 「八木沢川側道の舗装工事及び防護柵の設置」「日滝地区防災倉庫の設置」「東部保育園東の道路沿い用水路への転落防止」「高橋交差点、高橋橋間道路の歩道改修」「市道路面劣悪による交通等障害の改良」
- オ 第6ブロック(豊洲) 8月20日 豊洲地域公民館(出席者49人)
テーマ 「北相之島団地県住空き家対策、後利用」
- カ 第7ブロック(旭ヶ丘) 8月3日 旭ヶ丘ふれあいプラザ(出席者41人)
テーマ 「超高齢化への対応」「行政と地域住民の共創による活力と魅力ある地域づくり」「安心・安全な地域づくり」
- キ 第8ブロック(日野) 7月6日 日野地域公民館別館(出席者23人)
テーマ 「安心・安全な地域づくり(日野小学校・日野保育園)」
- ク 第9ブロック(井上) 8月22日 井上地域公民館(出席者35人)
テーマ 「須坂長野東インター周辺の開発計画」
- ケ 第10ブロック(高甫) 7月27日 高甫地域公民館(出席者28人)
テーマ 「高甫地区水道水の水質による設備配管・機器類の短寿命化問題」「交通公園の管理に係わる地元区への対応」「国道406号バイパス化」「高甫地区環境衛生問題」「有害図書類の自動販売機の撤去」「米子川第一発電所(鳴岩砂防ダム)建設工事の汚泥水の対応」「公営住宅の空き家対応」
- コ 第11ブロック(仁礼) 8月24日 仁礼コミュニティセンター(出席者49人)
テーマ 「待居橋と中道橋との中間に橋の新設」「有害鳥獣対策」
- サ 第11ブロック(峰の原高原) 7月17日 こもれびホール(出席者27人)
テーマ 「高齢者が安心して暮らせる峰の原に」「スキー場支援要請」
- シ 第12ブロック(豊丘) 8月21日 豊丘地域公民館(出席者56人)
テーマ 「交通危険箇所道路」「豊丘ダムに通じる道路整備」「松くい虫による松枯れ防止対策」

14 東サテライト局管理道の整備

- (1) 業務名 東サテライト局管理道整備業務委託
- (2) 委託先 長野森林組合
- (3) 業務内容 東サテライト局管理道の刈払い及び枝払い等
- (4) 委託料 64,800円

15 無人航空機ドローンの導入

地域発元気づくり支援金事業を活用し、防災及びPR等に活用するため2機のドローンを購入した。

- (1) 購入費 689,947 円
- (2) 講習会 11 月 29 日 参加者 11 人 (市職員)
- (3) PR動画制作 八町鎧塚古墳、臥竜公園、百々川緑地の3本を制作
- (4) 編集業務委託
 - ア 委託者 (株)Goolight
 - イ 委託料 108,000 円
- (5) 保険料 33,120 円

16 備品購入状況

品 名	数 量	金 額 (円)
広報用デジタルカメラ	1 台	225,720

■ 国際交流等事業

単位：円

当 初 予算額	1,661,000	予算 現額	192,000	決算額	191,153	前 年 度 決算対比	13.8%	前年度 決算額	1,380,930
------------	-----------	----------	---------	-----	---------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

国際化の進展に伴い友好都市との交流を深め、国際化に対応した人づくりを推進する。

II 事業の成果等

平成6年の中国吉林省四平市との国際友好都市の締結から24年経過し、親善交流事業として行っている友好訪問などは両市の友好と交流に寄与している。

8月に長野市で開催された長野県日中友好都市中学生卓球交流会では、四平市卓球選手団4名をお迎えし、両市の友好関係を再確認するとともに、更なる交流を深めた。

平成28年12月に政府登録された長野県と県内6市町との合同による、中国を相手国とした「2020年東京オリンピック・パラリンピックホストタウン」における県主催の中核事業では、長野市及び須坂市において講演会等が開催されたほか、須坂市自主事業では、公民館活動の一環として太極拳講座や料理教室等を開催し、中国に対する市民の理解を深める学習会等を行った。

III 事業の実績

1 友好都市四平市との交流事業

交流内容	四平市から須坂市へ	須坂市から四平市へ
日中平和友好条約締結40周年・長野県河北省友好提携35周年記念(2020東京オリパラホストタウン関連事業)日中友好都市中学生卓球交流大会に伴う「四平市卓球選手団」の受入れ(四平市卓球選手団4名)	須坂市役所表敬訪問、市内視察、歓迎夕食会、中学校卓球部との交流試合等 8月16日～20日	

2 須坂市日中友好協会定期総会への出席

5月20日(須坂迎賓館)

3 長野県日中友好都市交流会議への出席

3月21日(長野市)

- 4 2020年東京オリンピック・パラリンピック長野県実行委員会による中核事業の開催
- (1) 8月25日 ホストタウンNAGANO中国事情紹介講座（長野市J A 長野県ビル）
- 講演 「日中友好と文化を語る」
- 交流体験 傅画伯自身による展示作品の解説と参加者との交流
- 講師 傅益瑤 画伯（中国の著名な水墨画家）
- 参加者 100人
- (2) 1月26日 ホストタウンNAGANOアスリートトーク（須坂市シルキーホール）
- 講演 「バトンパスでつないだ夢」～10秒の先を目指して～
- 交流体験 塚原直貴氏と参加者との交流
- 講師 塚原直貴氏（北京オリンピック陸上4×100mリレー銀メダリスト）
- 参加者 90人

2-1-10(目)公平委員会費

単位：円

当初 予算額	444,000	予算 現額	444,000	決算額	340,832	前年度 決算対比	100.6%	前年度 決算額	338,876
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	--------	------------	---------

■ 公平委員会運営事業

単位：円

当初 予算額	444,000	予算 現額	444,000	決算額	340,832	前年度 決算対比	100.6%	前年度 決算額	338,876
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

職員からの勤務条件に関する審査請求や不利益処分に関する不服申立を公平な立場で迅速に解決する。

II 事業の成果等

職員団体登録申請書記載事項変更届出書の提出等に基づく委員会を2回開催し、職員団体登録簿に登録した。

III 事業の実績

職員からの申し立て等の状況

該当なし

2-1-11(目)交通防犯費

単位：円

当初 予算額	93,062,000	予算 現額	89,076,690	決算額	88,088,591	前年度 決算対比	124.9%	前年度 決算額	70,529,425
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 交通安全対策事業

単位：円

当初 予算額	6,528,000	予算 現額	6,042,000	決算額	5,619,048	前年度 決算対比	130.0%	前年度 決算額	4,321,835
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

交通安全対策の総合的かつ計画的な推進を図り、交通安全意識の高揚及び交通安全対策を推進する。

II 事業の成果等

県内では高齢者が関与する交通事故割合が多いため、高齢者交通安全モデル地区に市内事故多発地域を指定し、高齢者世帯交通安全訪問、交通安全運動期間中のパトロールを実施。また、市開催の健康教室等での交通安全啓発により交通安全意識の啓発を図った。

Ⅲ 事業の実績

1 交通安全対策事業

市民の交通安全意識の高揚及び交通安全を確保するため、交通指導員及びＬＰＳ隊員等の協力を得て指導啓発を行った。

(1) 交通安全運動期間中の活動

ア 春の全国交通安全運動	4月 6日～15日
イ 夏の交通安全やまびこ運動	7月 22日～31日
ウ 秋の全国交通安全運動	9月 21日～30日
エ 年末の交通安全運動	12月 1日～31日
オ 人波作戦	4月6日、7月23日、9月28日、11月30日
カ 街頭指導	運動期間中の小・中学生登校日
キ 広報車による広報活動	運動期間中の小・中学生登校日
ク 広報須坂、隣組回覧、Goolight(須高ケーブルテレビ)による広報活動	
ケ 立看板、ポスターの掲出	
コ 高齢者世帯交通安全訪問	4月11日 八幡町、80世帯、109人 7月25日 八幡町、69世帯、96人 9月26日 八幡町、73世帯、101人 12月13日 八幡町、60世帯、82人

(2) 交通安全教室

ア 幼稚園、保育園等の交通安全教室（ＬＰＳ隊員を派遣）	7回	参加者	460人
イ 小学校の交通安全教室（交通指導員を派遣）	13回	〃	3,137人
ウ すぎの子安全クラブリーダー研修会 9月26日 千曲保育園		〃	30人

(3) シートベルト着用推進活動

県内一斉シートベルト着用率調査

実施場所 サマーランド前交差点、八幡町東交差点

実施日	調査人数	着用者数	着用率 (%)	県平均 (%)	時間
4月13日	256	256	100.0	99.2	13:50-14:30
9月27日	234	234	100.0	99.1	15:00-15:40

(4) 交通指導員・ＬＰＳ隊員の活動

ア ＬＰＳ隊員委嘱式及び退任式の開催	4月4日	委嘱者15人	任期2年
イ 街頭指導の実施	毎月5日、20日の交通安全の日及び交通安全運動期間中の早朝に通学路で実施		
ウ 会議の開催	4月4日、11月20日、3月1日		
エ 各種行事等での交通指導	7月21日	須坂カタカタまつり	
	7月22日	須坂みんなの花火大会	
	10月21日	信州須坂ハーフマラソン	

(5) 市内交通事故発生状況（30年1月1日～12月31日）

年	件数（件）	死者（人）	負傷者（人）
26	197	1	223
27	165	0	183
28	186	1	216
29	157	0	180
30	141	2	157

(6) 「ゾーン30」の導入

ア 導入済み箇所	4か所
イ 新規設置箇所	県営団地、相森中学校周辺区域

(7) 交通安全対策工事

路面標示設置工事	市道荒市場東西線外路面表示設置	172,800円
----------	-----------------	----------

- (8) 交通安全教育センターの活用
 ア 利用状況 交通安全教室等で年間2回利用した。(幼稚園2回) 合計138人
 イ 清掃等を望岳台区に委託した。 委託料60,000円
- (9) 交通安全教育センターの廃止
 設備の老朽化により、信号機等を撤去した。(H31.4.1より公園として公園管理事務所へ移管)
 工事名：望岳台交通安全教育センター信号機等撤去工事 938,520円
- (10) 市開催の健康教室等での交通安全啓発
 健康教室(月1回)、介護保険制度説明会(月1回) 計24回

2 長野県民交通災害共済組合事務取扱状況(県内15市の共済組合)

県民交通災害共済の加入及び見舞金請求事務を次のとおり実施した。

- (1) 会 費 一般会員 年額400円、団体会員(学童等)年額100円
 (2) 加入会員数 30,514人
 (3) 加 入 率 60.8%
 (4) 会費収入額 10,527,400円
 (5) 見舞金額 傷害の程度により20,000円～110,000円
 死亡時1,000,000円または500,000円
 障害見舞金 100,000円～400,000円
 遺児見舞金 300,000円
 (6) 見舞金支払件数及び支払総額 104件 5,410,000円

■ 公共交通対策事業

単位：円

当初 予算額	77,152,000	予算 現額	73,803,690	決算額	73,446,818	前年度 決算対比	128.5%	前年度 決算額	57,156,311
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

須坂市地域公共交通総合連携計画に基づき、地域にふさわしい公共交通を確保維持する。

II 事業の成果等

国の地域公共交通確保維持改善事業補助金を受け、「すざか市民バス」「すざか乗合タクシー」の運行を継続した。3月にはすざか市民バスの利用状況の確認と事業改善に資するため、乗降者アンケートを実施した。市内バス停留所の名称変更や、安全な運行を実施するため、ルートの改良やバス停の新設を行った。

バスICカードくるるの普及促進を図るため、カードを利用したイベントや中学生を対象にバスの乗り方教室を行った。

III 事業の実績

1 「すざか市民バス」「すざか乗合タクシー」を運行する須坂市地域公共交通会議が実施する事業の推進

(1) 地域公共交通会議の開催

- ア 第1回 6月18日、出席委員19人
 29年度事業報告及び決算、30年度事業計画及び予算について
- イ 第2回 11月5日、出席委員23人
 すざか市民バス利用者アンケートについて
 ICカード普及イベントについて
- ウ 第3回 3月20日、出席委員18人
 屋代須坂線の再編について

(2) すざか市民バスの運行

ア バスＩＣカードくるるの利用促進イベント 7月14日、18日 参加者28人

イ バスの乗り方教室（中学生） 8月9日 参加者17人

ウ 「仙仁線」のルート変更及びバス停新設（グリーンアルム 仁礼小学校西） 10月1日

エ バス停名称変更（長野県立信州医療センター・須坂創成高校前） 2月

仙仁線、米子線、明徳団地線、北相之島線

月	H30利用者数(人)	H29利用者数(人)	対前年比(人)
4月	9,328	9,639	△311
5月	8,558	8,952	△394
6月	8,762	9,162	△400
7月	8,368	8,500	△132
8月	8,015	8,692	△677
9月	7,664	8,389	△725
10月	8,273	8,849	△576
11月	8,124	8,880	△756
12月	8,830	9,016	△186
1月	8,281	9,329	△1,048
2月	8,082	9,164	△1,082
3月	8,365	8,053	312
合計	100,650	106,625	△5,975

(3) すざか乗合タクシーの運行

運行区域へ、町別の時刻表を付けた利用促進チラシを全戸配布し、利用促進を図った。

日野・豊洲地区、福島町・中島町、松川町

月	H30利用者数(人)	H29利用者数(人)	対前年比(人)
4月	188	135	53
5月	189	155	34
6月	179	161	18
7月	184	160	24
8月	193	164	29
9月	180	168	12
10月	219	168	51
11月	224	175	49
12月	220	168	52
1月	184	158	26
2月	226	186	40
3月	259	161	98
合計	2,445	1,959	486

2 屋代線代替バスへの支援

(1) 長野電鉄屋代線代替バス運行への助成

長電バスが運行する「屋代須坂線」運行に関して生じる経常損失を沿線3市で助成した。

(2) 利用状況（30年4月～31年3月 ICカード利用者数） 133,955人

3 長野電鉄長野線沿線地域活性化の取り組み

(1) 地域連携長野電鉄長野線沿線活性化協議会への参加 4月20日 出席委員12人

29年度事業報告・決算について

30年度活動方針・予算について

30年度鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画について

(2) 長野電鉄が実施する鉄道軌道安全輸送設備等整備事業に要する費用の一部を、国・県と沿線自治体で助成した。

(3) ながでん沿線観光フェスタ 9月23日

■ 防犯対策事業

単位：円

当初予算額	9,382,000	予算現額	9,231,000	決算額	9,022,725	前年度決算対比	99.7%	前年度決算額	9,051,279
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	-------	--------	-----------

I 事業の目的

「犯罪のない、安全安心なまちづくり」を目指して関係機関と連携し、各種防犯活動を実施する。

II 事業の成果等

日頃の散歩を通じたまちの見守り活動が定着し、あいさつも自然に交わされ、防犯パトロールや防犯指導が効果的に行われる等、地域の中で自主防犯意識が高まっている。

III 事業の実績

1 市内刑法犯発生状況 (30年1月1日～12月31日)

単位：件

罪種別	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他	計
H30 発生件数	0	15	122	19	5	31	192
H29 発生件数	0	15	164	23	11	32	245
比較	0	0	△42	△4	△6	△1	△53

※窃盗犯（自転車盗、万引き、車上ねらい等）が全体の63%を占めている。

2 防犯対策事業

(1) 須坂市防犯協会総会及び研修会 2月15日 出席者 208人

(2) 須坂市防犯協会女性部会総会 2月15日 〃 31人

(3) 夏の防犯運動 8月10日～17日

ア 支部単位にパトロール等を実施した。

イ 駅周辺金融機関で街頭啓発活動を実施した。 8月15日

(4) 全国地域安全運動 10月11日～20日

ア 支部単位にパトロール等を実施した。

イ 全国地域安全運動に伴う一斉啓発活動 10月11日

ウ 市内金融機関で特殊詐欺被害防止啓発活動を実施した。 10月15日

(5) 年末特別警戒活動 12月1日～31日

ア 支部単位にパトロール等を実施した。

イ 八幡町東信号交差点で、交通安全運動人波作戦と合同の早朝街頭啓発活動を実施した。 11月30日

ウ シルキーホールで出発式を行い、駅前市街地を中心に特別夜間パトロールを実施した。 12月14日

(6) 広報・啓発活動

ア 各運動期間中に立看板、ポスターを掲出し、防犯意識の啓発を図った。

イ 広報須坂、セーフティー須高の隣組回覧、Goolight（須高ケーブルテレビ）、須坂警察署から配信される「須坂警察署管内の犯罪発生状況」を随時市ホームページへ掲載するなど、犯罪の発生状況の周知と防犯対策の徹底を図った。

(7) 市防犯灯のLED化 63灯 1,968,192円

(8) 区が行う防犯灯設置事業に要する経費を助成した。 本郷町外55町 205灯 2,984,000円

3 地域安全安心市民活動

(1) パトロール団体 43団体 1,522人

日頃の散歩等を通じ、地域安全サポーターによる、自分のまちや通学路を見守る活動を支援し、犯罪抑止を図った。

- (2) 地域安全サポーター代表者会議の開催 5月28日 出席者22団体
 (3) 青色防犯パトロール講習会の開催 5月28日 受講者29人
 受講者に地域安全サポート隊員を委嘱し、青色防犯パトロールカーを利用した自主パトロールを実施

2-1-12(目)消費者行政費

単位：円

当初予算額	4,170,000	予算現額	3,693,000	決算額	3,643,785	前年度決算対比	497.7%	前年度決算額	732,117
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	--------	--------	---------

■ 消費者保護啓発事業

単位：円

当初予算額	4,170,000	予算現額	3,693,000	決算額	3,643,785	前年度決算対比	497.7%	前年度決算額	732,117
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	--------	--------	---------

I 事業の目的

消費生活相談窓口での消費者相談と合わせ、巧妙化する悪質商法や特殊詐欺に対して、被害の未然防止を図り、被害を発見した際の迅速な対応に繋がるよう広報・啓発を行うと共に、消費生活講座等を通じて消費者が安全・安心な消費生活を営むために必要な知識・情報を提供し、消費生活について再考する機会を提供する。家庭において不用となった日用品を譲り合い、ごみ減量化と再利用についての啓発を行う。

II 事業の成果等

消費生活・特殊詐欺被害防止センターの周知と併せ、消費生活問題や特殊詐欺被害防止について広報・啓発の強化と相談員の資質向上のための研修へ参加し、相談に対し適切に対応することができた。

交通防犯係と共同で、毎月実施される高齢者向け各種健康教室及び高齢者世帯交通安全訪問で啓発を行ったことで、被害者となり易い高齢者に向けた意識強化を図ることができた。

不用品登録制度（リサイクル情報）を継続し消費生活の改善とともに、適正な廃棄処分方法の案内を行い、製品事故の未然防止が図られた。

III 事業の実績

1 消費生活・特殊詐欺被害防止センター

相談受付体制 相談員2名
 相談用電話2台（専用1、兼用1）

2 消費生活相談受付状況

項 目		件数	備 考
苦 情	店舗購入	26	
	訪問販売	21	
	通信販売	73	架空請求・振り込め詐欺等
	マルチ商法・マルチまがい	1	販売組織に加入させ商品を買取らせる
	電話勧誘販売	34	電話による執拗な勧誘
	送りつけ商法(ネガティブオプション)	4	注文していない商品を送りつけ代金を請求
	訪問購入	3	訪問による強引な買い取り
	その他無店舗販売	0	
	不明・無関係	121	還付金詐欺、オレオレ詐欺等
計		283	
問 合 せ		12	
合 計		295	

(ワンクリック請求 4件 架空請求 94件 還付金詐欺 1件)

3 消費者教育及び特殊詐欺被害防止注意喚起

(1) 消費生活講座

ア 衣類をもっときれいに！プロに学ぶ洗濯のコツ

講 師 近藤義之 氏 ((有)クリーニング黒岩 代表取締役)

開催日 5月23日

場 所 中央公民館2階教室

参加者数 18人

イ セカンドライフと生命保険

講 師 阿部祐司 氏 (生命保険協会長野県事務室 事務局長)

開催日 2月9日

場 所 中央公民館2階教室

参加者数 9人

(2) 市民学園

内 容 「知って撃退！ 悪質商法～手口と対処法～」

開催日 5月19日

場 所 中央公民館

参加者数 68人

(3) 出前講座

開催日	講座名	受講団体等	参加者
5月22日	賢い消費者はダマされません	井上地区寿学級	22名
6月13日	絶対だまされない？ 特殊詐欺の手口	日滝地域公民館 水曜日のシークレットサロン	6名
7月4日	賢い消費者はダマされません	北横町ぬくもりの会	18名
7月26日	賢い消費者はダマされません	小山町友和会	29名
10月2日	賢い消費者はダマされません	すこやかふれあい広場	16名
		計	91名

(4) 高齢者向け各種教室での啓発活動

70歳・75歳健康教室、介護保険制度説明会 計24回

4 啓発、情報提供等

- (1) 広報須坂(4・5・6・8・9・11・12・1・2・3月号)に「消費生活情報」を連載し、悪質商法、特殊詐欺被害防止などを注意喚起
- (2) 「くらしまる得情報」「ながの金融広報だより」等による啓発用チラシの隣組回覧、中央公民館及び地域公民館にポスターの掲示、リーフレット、チラシ配布等による周知、ホームページによる啓発
- (3) 振り込み詐欺等被害防止のため、防災行政無線、ツイッター、メールマガジンによる情報発信
- (4) ブログ「知って得するくらしの知恵」による情報発信
- (5) 消費者行政活性化事業により、啓発用品を作製した。高齢者見守り者用パンフレットは、金融機関、社会福祉法人ヘルパー、コンビニ等の事業者へ配付し、見守りの協力を依頼した。マグネットシートは、区を通して高齢者へ配布し、啓発及びセンターのPRに活用した。
- (6) 若年層向け啓発のため、ポスターを作成し、市内3高校に掲示を依頼した。また、成人式で啓発パンフレットを配布した。

5 研修会への参加

消費生活相談に従事する職員の資質向上のため研修に参加した。

研修会名	開催日	主催者
市町村消費者行政担当者基礎研修	5月23日 6月12日	長野県県民文化部くらし安全・消費生活課
消費生活相談員研修 消費生活相談員基礎講座(基本コース)	5月28日～ 6月1日	独立行政法人国民生活センター
消費生活相談員研修 消費生活相談員基礎講座(実務コース)	11月12日～ 11月14日	〃
消費者行政職員研修 職員講座(基礎コース)	6月4～6日	〃
公益社団法人全国有料老人ホーム協会による学習会	10月3日	長野県県民文化部くらし安全・消費生活課
消費者教育中核的人材育成研修	10月10日 10月31日 11月7日 11月21日 12月5日	〃
見守り活動推進研修会(消費生活サポーター研修会)	2月20日	〃
30年度 D-ラーニング(遠隔研修)	通年	国民生活センター 配信
ながの消費者支援ネットワーク 勉強会	5月25日 7月23日 9月18日 11月22日 2月12日	NPO 法人ながの消費者支援ネットワーク

6 不用品交換の取り組み

差し上げます 44件(内成立 17件)

譲ってください 15件(内成立 12件)

(例)卓球台、ベッド、棚、学習机等

7 特定計量器定期検査の実施

長野県計量検定所に協力し、特定計量器定期検査を実施した。

期日 7月24日～26日

場所 中央公民館

受検者 162事業者(個人含む)

検査台数 451台

2-1-13(目)市民生活支援費

単位：円

当初予算額	54,314,000	予算現額	59,133,000	決算額	58,917,955	前年度決算対比	116.8%	前年度決算額	50,425,263
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初予算額	4,059,000	予算現額	4,010,000	決算額	3,989,461	前年度決算対比	103.5%	前年度決算額	3,855,038
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	--------	--------	-----------

I 事業の目的

寄附募集に関し審査等を行い、公正を図る。

庁舎内の窓口案内業務を行い、来庁者サービスに努める。

行政相談委員の活動を側面から支援し、国の行政機関等の業務に対する苦情や意見・要望などを聞き、制度及び運営の改善を目指す。

新生活運動の推進で、無駄な出費をなくし合理的生活を旨とする。

II 事業の成果等

庁舎内の窓口案内業務の民間委託を継続し、市役所を訪れるお客様に対し庁内の案内をはじめ、市内の観光名所など幅広い要望にも親切丁寧な対応で、行政サービスの向上を図ることができた。

III 事業の実績

1 金銭物品等寄附募集許可申請及び届出状況 (50 万円未満 届出 50 万円以上 許可)

	募集行為の名称	申請金額 (円)	許可・届出の別
1	30 年「第 31 回須坂みんなの花火大会」	6,350,000	許可
2	第 68 回社会を明るくする運動募金	900,000	許可
3	「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金	100,000	届出
4	高仁神社夏祭り寄附	490,000	届出
5	複十字シール運動に係わる郵送募金	45,000	届出
6	30 年度 えびす講行事資金	1,500,000	許可
7	30 年 7 月豪雨災害義援募金	200,000	届出
8	信州須坂大菊花展寄付金	50,000	届出
9	30 年度 須坂市障害児者愛の募金	990,000	許可
10	30 年度 複十字シール募金	480,000	届出
11	山の観音祭資金	200,000	届出

2 新生活運動推進委員会

(1) 新生活運動推進委員会役員会の開催

ア 日時 6 月 7 日

イ 内容 29 年度事業報告及び収入支出決算書の承認

30 年度事業計画案・予算案及び新生活運動申し合わせ事項について

(2) 新生活運動申し合わせ事項について、広報須坂 7 月号、企業振興ニュース 7 月号、ホームページでの啓発や、区長会の会議等で周知に努めた。

3 庁内の総合案内

(1) 委託料 長期継続契約 29 年 10 月 1 日から令和 2 年 9 月 30 日まで

業務名	委託先	業務内容	年間委託料
庁舎窓口案内業務委託	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)	窓口案内、施設案内等	2,293,920 円

(2) 業務実績 案内件数 19,731 件 (1 日平均 80.9 件)

4 行政相談支援

(1) 総務大臣より委嘱されている行政相談委員の支援を行った。

ア 行政相談委員 2 名 (委嘱期間) 29 年 4 月 1 日から 31 年 3 月 31 日まで

イ 行政相談委員が、偶数月第 1 木曜日午後に行っている行政相談について、7 月の隣組回覧、広報須坂 10 月号での周知や会場の提供など側面からの支援を行った。

(2) 行政相談週間イベントとして、行政相談 P R 及び出張相談を実施

ア 期日 10 月 13 日 「ふれあい広場」にて

イ 場所 メセナホール

5 自衛官募集事務

自衛官募集に係る広報や住民の自衛隊に対する理解と認識を深めるための啓発を行った。

- (1) 市報を活用し、自衛官募集案内や音楽隊コンサート開催の記事を掲載し周知した。
掲載月 7・8・11・1月号
- (2) 自衛官募集の名入れをしたポケットティッシュを、市民課窓口に配置した。(通年)
- (3) ポスターの掲示をし、募集を周知した。(通年)

■ 市民支援事業

単位：円

当初 予算額	50,255,000	予算 現額	55,123,000	決算額	54,928,494	前年度 決算対比	117.9%	前年度 決算額	46,570,225
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

行政と市民のパイプ役である区長活動を支援する。また、コミュニティ活動の拠点である公会堂の建設、備品整備等に対する区民の負担の軽減を図るため補助金等の交付を行うとともに、広報等の配布業務など区行政における住民相互の連絡・情報共有等の活動に対して区長会・自治会活動交付金を交付し、地域コミュニティ活動を支援する。

II 事業の成果等

区長会組織を通じ、行政との連携を円滑にするとともに、住民の福祉と自治会活動の支援が図られた。
また、一般コミュニティ助成事業の採択を受け、2町に公会堂備品等の整備ができた。

III 事業の実績

1 区長会活動への支援等

総会(初・春季・秋季)3回、正副会長会11回、役員会5回を開催した。また、区運営の参考とするため、互いの意見交換・交流を目的に懇談会を行った。

(1) 県外視察研修

ア 期日、参加者数 5月9日～10日、56人

イ 視察先

糸魚川市 駅北大火再建への町並み

金沢市 福祉用具情報プラザ

加賀市 NPO 法人歴町センター大聖寺

(2) 「共創のまちづくり」を一層進めるため、区長会と市長の意見交換会(懇談会)を開催した。

ア 期日、場所 7月20日、シルキーホール

イ 参加者数 83人(副区長等含む)

ウ 懇談テーマ 「持続可能な区・自治会～区・自治会が永続的に継続していくには～」

(3) 区長研修会「防災に学ぶ『避難所運営ゲームHUG』」

ア 期日、場所 7月20日、シルキーホール

イ 参加者数 99人(副区長等含む)

ウ 講師 長野県危機管理部危機管理防災課 主査 小林 誠 氏

(4) 30年区長退任にあたり、市長から感謝状を贈呈した。 12月12日

(5) 転入者に、区(自治会)加入を呼びかけるチラシを配布した。

(6) 各町区の実態調査

69町の運営状況を参考として、区行政の見直し等に活用するため、5年毎に行っている調査を行い、報告書を取りまとめた。

2 公会堂建設事業補助等

(1) 事務機器等補助金 9町 10件 829,000円

単位：円

区分	町名	補助金(円)	区分	町名	補助金(円)
複写機	松川町	100,000	パソコン	旭ヶ丘町	34,000
〃	旭ヶ丘町	100,000	エアコン	大谷町	44,000
〃	光ヶ丘ニュータウン	100,000	〃	高橋町	128,000
印刷機	米持町	200,000	〃	東横町	40,000
パソコン	北横町	33,000	〃	太子町	50,000

補助率 1/3 (複写機、印刷機、パソコン、情報連絡用機器)、1/5 (エアコン)

(2) 公会堂建設事業補助金 18町 18件 10,291,000円

単位：円

区分	町名	事業名	補助率	補助金(円)
新築・改築	八幡町	公会堂耐震補強等工事	1/3	2,441,000
補強・改装	相森町	公会堂屋根塗装工事	1/5	276,000
〃	横町	公会堂樋・屋根塗装工事	1/5	373,000
〃	大谷町	公会堂屋根塗装工事	1/5	120,000
〃	仁礼町栃倉組	公会堂床修繕・畳替工事	1/5	219,000
〃	上八町	公会堂大広間 LED 化工事	1/5	46,000
〃	米持町	公会堂調理室改修工事	1/5	300,000
〃	福島町	公会堂外壁塗装工事	1/5	584,000
〃	高橋町	公会堂玄関修繕・畳表替・電気増設工事	1/5	235,000
〃	中島町	公会堂外壁他塗装工事	1/5	540,000
〃	松川町	公会堂天井埋込エアコン取替工事	1/5	149,000
〃	塩野町	公会堂襖・障子・網戸張替え修繕工事	1/5	59,000
〃	仁礼町新田組	公会堂屋根改修工事	1/5	749,000
〃	常盤町	公会堂 LED 改修工事	1/5	51,000
〃	太子町	公会堂大会議室エアコン設置工事	1/5	156,000
〃	小河原町	公会堂 LED 化電気工事	1/5	144,000
〃	夏端町	公会堂大広間エアコン設置等工事	1/5	249,000
敷地購入	春木町	公会堂敷地購入	3/10	3,600,000

(3) コミュニティ助成事業補助金 (補助率 10/10) 2町 4,900,000円

単位：円

区分	町名	助成物品等	補助金
一般コミュニティ事業補助金 (公財)長野県市町村振興協会	南横町	複合機、エアコン、プロジェクター、スクリーン、レコーダー、アンプ、ワイヤレスユニット、アンテナ、チューナー、マイク、マイクスタンド	2,500,000
	太子町	AED、アンプ、マイク、ワイヤレスユニット、スピーカー、プロジェクター、スクリーン、ポスタープリンター、会議テーブル、折りたたみ椅子、ラミネーター、カラーコピー黒板、プリンター、テント、ポップコーン機、綿菓子機	2,400,000

3 地縁団体認可の状況

認可地縁団体の数 55 団体 (31 年 3 月 31 日現在)

認可処理件数 1 件 北相之島町区 認可日 30 年 11 月 15 日

4 ボランティア団体等の支援

NPO 法人設立、ボランティア活動等の情報をチラシ、ポスターで周知した。

2-1-14(目)地域振興費

単位：円

当初 予算額	50,191,000	予算 現額	44,691,000	決算額	34,906,114	前年度 決算対比	93.6%	前年度 決算額	37,275,023
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 地域活性化事業

単位：円

当初 予算額	15,491,000	予算 現額	14,991,000	決算額	11,189,108	前年度 決算対比	100.1%	前年度 決算額	11,168,568
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

須坂の自然や文化、産業等の地域資源を活用した交流人口増の取組み、市民の誇りや地元愛の醸成、若い世代の結婚支援による人口減少抑制などにより、持続可能で魅力ある地域づくりを推進する。

II 事業の成果等

地域情報チャンネル番組の制作及び放送や元気づくり支援金の活用により、共創のまちづくりを推進することができた。

「結婚支援事業」では、意識改革セミナーや交流会、結婚相談所の運営等を実施し、結婚を希望する独身者を支援することができた。

III 事業の実績

1 スマートフォン観光アプリ「須坂まちウォーク」の活用

市内の観光名所や商店、飲食店、イベント、ウォーキングコース、公共交通機関、病院、公衆トイレ、緊急避難先等を紹介した。

- (1) 業務名 「須坂まちウォーク」運用保守業務委託
- (2) 委託先 (株) Goolight
- (3) 業務内容 システムの運用及び機能の充実、利用者拡大事業の実施など。
- (4) 委託期間 4月1日～3月31日
- (5) 委託料 2,602,800円
- (6) 年間ダウンロード数 211件（累計6,913件）

2 地域発・元気づくり支援金の申請支援

地域に軸足を置いた施策の実現や協働して創意工夫ある事業を行うため、県への申請を支援した。

区分	交付件数	交付確定額
市	6件	3,454,000円
公共的団体等	7件	7,300,000円

3 地域づくり団体等活動支援貸付金の貸付

地域づくり団体等が国県等の補助金等を活用して実施する市の活性化に資する事業に関し、補助金等が支払われるまでの間、無利子資金の貸付を行った。

貸付件数 4件 貸付金額 3,215,000円

4 地域情報チャンネル番組の制作及び放送

市民団体等や町、市の施策等を紹介するテレビ番組を制作し、地域情報チャンネルで放送した。

- (1) 委託先 (株) Goolight
- (2) 委託料 1,296,000円

(3) 業務内容

ア 広報番組「共創 皆でつくろう元気なすざか」制作及び放送業務委託

月	番組名
9月	男女共同参画社会の実現に向けて
12月	須坂市図書館共働で作るお話実行委員会
3月	ごみ減量に向けた須坂市の取り組み

イ (株) Goolight が制作するニュースウォーカーから市に該当する映像を毎月3本程度編集し、市ホームページやSNSで視聴できる動画を公開した。

5 結婚希望者の支援

国の地域少子化対策重点推進交付金を活用し、結婚を希望する独身者の支援を行った。(26年10月から事業を実施しており、31年3月末現在の婚姻数は12件)

- (1) 業務名 結婚支援事業委託
- (2) 委託先 (福)須坂市社会福祉協議会
- (3) 委託料 2,351,983 円
- (4) 委託期間 4月1日～3月31日
- (5) 業務内容 結婚相談所の運営、婚活セミナー及び交流会の開催

ア 結婚相談所の運営 登録者97人(男性55人、女性42人) 延べ相談者人177人

イ お見合いの調整 実施数21回 カップル成立数6組

ウ 婚活セミナー及び交流会等の開催

(ア) 連続セミナー&交流会

第1回(男女別セミナー)

7月8日 権堂イーストプラザ市民交流センター(長野市)
参加者32人(男性11人、女性21人)

第2回(男女別セミナー)

7月29日 権堂イーストプラザ市民交流センター(長野市)
参加者31人(男性13人、女性18人)

第3回(男女合同セミナー&交流会)

8月26日 ホテル国際21(長野市)
セミナー 参加者34人(男性23人、女性21人)
交流会 参加者46人(男性25人、女性21人) カップル成立数12組

(イ) まちなみコン in 北信州

9月30日 中野市と山ノ内町が当番となり3会場で実施
会場 志賀高原、北志賀高原、中野市の農園
参加者 3会場の合計104人(男性52人、女性52人) 延べカップル成立数20組

(ウ) セミナー&交流会

- a 事前セミナー 11月4日 J A長野県ビル(長野市)
参加者28人(男性16人、女性12人)
- b 交流会 11月12日 ホテル国際21(長野市)
参加者41人(男性25人、女性16人) カップル成立数8組

(エ) セミナー&クッキング&交流会

3月10日 デコレット・ルームズ(長野市)
参加者19人(男性11人、女性8人) カップル成立数6組

6 結婚新生活支援補助事業の実施

少子化対策を推進するため、国の地域少子化対策重点推進交付金を活用し、新婚世帯（世帯の所得が 340 万円未満）を対象に住居の賃料等を補助した。

補助申請数 5 世帯 補助額 1,369,000 円（合計）

7 地域活性化セミナーの開催

先進事例を学び地域活性化の参考にするため、市内の商店及び商業・観光団体等関係者、市職員、近隣市町村の職員、地域活性化に興味がある方を対象にシルキーホールで開催した。

演題 「応援の連鎖がまちを変える」 2月25日 参加者 43 人

講師 木藤 亮太 氏（㈱油津応援団専務取締役ほか）

■ 移住交流支援事業

単位：円

当初 予算額	34,700,000	予算 現額	29,700,000	決算額	23,717,006	前年度 決算対比	90.8%	前年度 決算額	26,106,455
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

移住定住先として須坂市を選んでいただくため、首都圏をはじめ県内外の移住定住希望者の様々なニーズに応えられるよう、移住先としての知名度向上に関する事業や移住希望者の積極的受入れに関する事業、移住相談体制の充実に関する事業を充実させることで、更なる移住定住者が増えるまちを目指す。

II 事業の成果等

移住先としての知名度向上に関する事業では、移住支援サイト「スザカでくらす」やメルマガ、ブログ等による情報発信、首都圏等における移住相談会の開催を通じ須坂市の知名度向上を図ることができた。

移住希望者の積極的受入れに関する事業では、空き家バンクの充実や移住者協力求人企業の紹介、移住体験ツアーの実施、移住体験ハウスの整備等、地域おこし協力隊の活用を通じ積極的に移住者を受け入れることができた。

III 事業の実績

1 移住支援サイト等での情報提供

- (1) 仕事、空き家、子育て情報など一元的に情報を提供
- (2) 移住相談会の開催、移住体験ツアー、空き家バンク情報を提供
- (3) 移住者の生の声や移住者協力求人企業の情報をインタビュー形式で提供

2 ふるさと応援団メルマガの発行

- (1) 発行回数 24 回（毎月 5 日・25 日発行）
- (2) 会員数 1,149 人
- (3) 発行内容 移住相談会情報、移住体験ツアー情報、移住者インタビュー等

3 個別相談会・移住セミナー等で情報提供

東京、大阪、名古屋で開催する移住セミナーへ積極的に参加するとともに銀座NAGANOでの個別相談会で、須坂市へ移住を検討する方に対し積極的に相談に応じることができた。

(1) 移住相談会開催状況

- ア 須坂市個別相談会 13 回
- イ 連携中枢都市圏による移住相談会 5 回
- ウ 県主催による移住相談会 7 回
- エ 全国の移住フェア等への参加 5 回

- (2) 相談者数 相談者数 138 人（102 組）

4 空き家バンクの充実

納税通知や広報すざか、隣組回覧等での広報により、空き家バンクへの登録物件を増やすとともに、ホームページ等により情報提供を行った。

- (1) 登録件数 12 件
- (2) 成約件数 16 件

5 移住体験ツアーの実施

移住希望者や空き家バンク希望者に対する移住体験ツアー等を実施した。

- (1) 移住体験ツアー開催数 13 回
- (2) 参加者数 16 人 (13 組)

6 移住体験ハウスの活用

旧教員住宅等を体験ハウスとして活用し、移住体験ツアーや新規就農体験ツアーの参加者等が利用した。

- (1) 利用回数 58 泊
- (2) 利用者人数 119 人

7 ふるさと信州須坂のつどいの開催

須坂市出身（縁故者含む）で東京周辺において活躍されている方々と、市内各種団体等の方々との交流を深め、郷土に対する愛着を深めてもらい情報発信していただくことを目的に運営委託により開催した。

- (1) 業務名 ふるさと信州須坂のつどい運営委託
- (2) 委託先 (株) Goolight
- (3) 業務内容 ふるさと信州須坂のつどい運営、バス手配、会場借上げ、記念品等
- (4) 委託料 540,000 円
- (5) 開催日 2 月 9 日
- (6) 会場 都市センターホテル（東京都千代田区）
- (7) 参加者数 77 人（在京者等 42 人、須坂市から 35 人）

8 峰の原高原集落“再熱”実施モデル地区支援事業の実施

ペンションオーナーの高齢化に伴い、ペンションの後継者探しや空きペンションの活用などが大きな課題となっている峰の原高原の持続可能なペンション村づくりに向けて、峰の原高原集落再熱実施モデル地区支援事業実行委員会（峰の原高原区、峰の原高原観光協会、峰の原高原旅館組合、須坂市）を 26 年度より立ち上げ、以下の事業を実施した。

- (1) 長野大学との連携事業
 - ア 環境ツーリズム学部の授業、演習、ゼミによる実習場所として提供
 - イ ペンションオーナーが講師として学生に授業を実施
- (2) インターンシップ事業
 - ア 期間 8 月
 - イ 受入大学 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部観光デザイン学科
 - ウ 受入ペンション 6 ペンション
 - エ 参加学生数 10 人
- (3) 地域おこし協力隊活用事業
 - ア 人数 2 人
 - イ 活動内容 空きペンションを活用した峰の原高原の地域活性化等

9 地域おこし協力隊の活用

26 年 4 月から順次、地域おこし協力隊を委嘱し、都会からの人材を積極的に受け入れ移住支援や観光誘致等に繋げる取組みを実施した。

(1) 委嘱状況

- ア 生涯学習スポーツ課（1 人）
- イ 商業観光課（1 人）
- ウ 豊洲地域公民館（1 人）
- エ 峰の原高原観光協会（2 人）
- オ 須坂温泉（1 人）

(2) 活動内容

生涯学習スポーツ課 （1 人）	須坂市のスポーツ振興を図るため、市内の小学校等へニュースポーツの講師として赴き、児童にルールの説明や体験指導を行った。また、所属するバレーボールチームと協力し、子どものスポーツへの興味喚起を図るため、対象に応じたスポーツ体験の場を提供した。
商業観光課 （1 人）	市街地を中心とした地区における人口減少や高齢化、商業の衰退等の地域課題に対し、地域おこし協力隊による新たな視点や能力、マンパワーを有効活用し、空き家・空き店舗活用セミナーを開催したり、積極的な情報発信を行い、課題の発見と解決に向けて活動を進めた。
豊洲地域公民館 （1 人）	生産農家の高齢化や後継者不足が問題になっている豊洲地域で、摘果りんごの活用では、残留農薬問題の検証や成分分析を行い、次年度の製品化に向けリングジュースの試作を行った。また、若い人の地域での活躍の場づくりを行い、地域活動へも積極的に参加した。
峰の原高原観光協会 （2 人）	空きペンションを活用し、長野大学環境ツーリズム学部や跡見学園インターンシップの受け入れを行った。草原の草刈りや看板の更新作業など地域活動へ積極的に参加した。 SNS による情報発信を自然環境やイベントといった視点で映像化しながら積極的に行った。レーザー加工機を利用し峰の原のオリジナル商品開発を行ったり、峰の原高原の景観整備活動に参加した。
須坂温泉（1 人）	須坂温泉古城荘と連携しイベントの企画立案や宣伝活動を行う。地元農家と連携し販路開拓支援を行ったり、蔵の町須坂観光ガイドの資格を取得し須坂の観光振興に努めた。また、信州須坂スムージーコンテストではきのこを使ったレシピで入賞を果たす。

10 長野地域連携中枢都市圏移住促進事業

三大都市圏等からの人口流入を目的とした UJI ターン及び定住に向けた取組みを、連携中枢都市（長野市）と連携市町村とともに実施。圏域パンフレットの作成、移住相談会の開催、移住体験ツアー等を実施した。

(1) 圏域市町村の取組情報を集約した情報提供

- ア パンフレットの作成
- イ 移住専門誌への掲載

(2) 移住相談会の開催

- ア 4 月 14 日・15 日 移住・交流ガーデン（東京）
- イ 7 月 28 日、12 月 1 日 ふるさと回帰支援センター（東京）
- ウ 9 月 8 日 東京国際フォーラム（東京）

(3) 移住体験ツアーの開催

- ア 9 月 1 日・2 日 千曲市、飯綱町、小川村
- イ 11 月 10 日・11 日 信濃町、高山村
- ウ 2 月 16 日・17 日 長野市、須坂市、坂城町

2-1-15(目)情報化推進費

単位：円

当初 予算額	96,783,000	予算 現額	92,222,000	決算額	92,006,415	前年度 決算対比	118.0%	前年度 決算額	77,959,163
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 住民基本台帳等電算業務委託事業

単位：円

当初 予算額	35,836,000	予算 現額	35,158,000	決算額	35,156,099	前年度 決算対比	233.8%	前年度 決算額	15,033,984
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

住民基本台帳を基に構成される電算システムの活用により、住民サービスの向上を図る。

II 事業の成果等

住民基本台帳等基幹系システムの活用により、正確で迅速な処理を行うことができた。
新たに契約した業者により10月から新システムを円滑に稼働することができた。

III 事業の実績

1 基幹系システム用回線移設

高速情報通信ネットワーク回線移設費 199,800 円

2 システム及び機器賃借料

住民基本台帳基幹系システム等賃借料 3,212,475 円

3 システム利用料

基幹系システムクラウドサービス利用料 28,970,784 円

4 委託料

業務名	委託先	業務内容	委託料（円）
住民基本台帳等基幹系システム電算処理業務委託	(株)BSNアイネット上越支社	用紙代、帳票作成処理、封入封緘処理、データパンチ等	15,256,629
※政策推進課で一括契約、予算は各業務の所管課に配当			
基幹系システム運用サポート・アウトソーシング業務委託	(株)電算	システム運用サポート及び用紙代、帳票作成処理、封入封緘処理、データパンチ等	16,708,680
※政策推進課で一括契約、予算は各業務の所管課に配当			
J A合併に伴う請求データ等変更対応作業業務委託	(株)電算	システムデータ変換作業等	648,000
コンビニ収納用紙印刷用プリンター保守委託	(株)万和	プリンター保守	43,200

5 住民基本台帳等基幹系システムの更改について

(1) 29年度の経過等

ア 11月24日 優先交渉権者の選定

イ 1月17日 住民基本台帳等基幹系システム再構築事業プロジェクト キックオフ

(2) 30年度の経過等

ア 9月7日 基幹系システムクラウドサービス利用契約の締結

イ 9月28日 基幹系システム運用サポート・アウトソーシング業務委託契約の締結

ウ 10月1日 新基幹系システム稼働（水道システム以外）

エ 10月7日 新基幹系水道システム稼働

■ 情報システム管理事業

単位：円

当初 予算額	60,947,000	予算 現額	57,064,000	決算額	56,850,316	前年度 決算対比	90.3%	前年度 決算額	62,925,179
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

庁内（現地機関含む）の情報通信システムの適正な運用を図るとともに、総合行政ネットワーク（L GWA N）等の広域ネットワークの活用により、事務の効率化と各種情報施策の実現を図る。

II 事業の成果等

情報通信システムの適正な運用、情報ネットワークの活用及び情報の共有により、効率的に事務を執行することができた。

III 事業の実績

1 ノートパソコン、サーバーのリース配備等

(1) 庁内LANの適正管理、老朽化したパソコン、プリンター、サーバーの更新等

項目	数量	金額（円）	更新時期	備考
ドメインコントローラ用サーバー	1 式	948,780 円	30 年 9 月	5 年リース（月額135,540 円）
庁内用パソコン	160 台	2,123,496 円	30 年 10 月	5 年リース（月額353,916 円）
小中学校事務室用プリンター	16 台	69,256 円	30 年 8 月	5 年リース（月額8,657 円）
インターネット系 AP サーバー	1 式	71,992 円	31 年 3 月	5 年リース（月額71,992 円）

(2) パソコン・サーバー等リース継続分 24,313,804 円

2 庁内LANサーバー機器等保守委託

庁内LANシステムのサーバー機器等の保守を委託した。

業務名	委託先	業務内容	委託料（円）
地理情報システム（GIS） 保守委託	HARVEY(株)長野支店	地図情報システム保守	1,062,720
庁内LANプリンター 保守委託	(資)カミヤ長張商店	庁内LANプリンター保守	58,752
	(一括契約額 104,112 円)		
ネットワーク機器等保守 業務委託	NEC フィールディング(株) 北関東支社長野支店	ネットワーク機器等保守	1,018,138

3 情報セキュリティ研修

適正な庁内LAN運用と個人情報保護の徹底を図るため実施した。

- (1) 新規採用職員研修会 4 月 3 日
- (2) e ラーニング形式研修 11 月 12 日～1 月 21 日（受講者 525 人）

4 電子申請・届出システムの運用

- (1) ながの電子申請サービスへの参加（県内 78 団体）
- (2) オンライン行政手続き等の内容（内部事務用を除く）

公文書公開請求	母子家庭証明書発行申請
各種健康診査申込み	子宮がん検診クーポン申請
犬の死亡届	犬の登録事項の変更届
上下水道名義変更届	上下水道閉栓届
上下水道開栓届	児童手当等の受給資格認定請求
ラマの愛称を募集します	アカカンガルーの赤ちゃんの愛称を募集します
八町きゅうり苗購入予約申込	須坂市都市計画マスタープラン（改定案）に対する意見募集

5 オープンデータ及び ICT 等の推進

市が所有する情報のうち、二次利用が可能と判断したものを順次オープンデータ化し、市民の利便性向上等につなげる。また、オープンデータの効果や活用を促進するため、各種イベント等を開催した。

(1) 須坂市オープンデータ推進会議

市が所有する様々な電子データに関し、より活用し易い状態で市民に提供するために必要な事項について検討及び実施するため、26 年度から設置している。

開催回数 8 回

(2) 各種イベント

名古屋大学大学院准教授遠藤守 氏及び同研究室の協力により、ビーコン、アプリ及びレーザー加工機等の ICT 機器類を活用したイベントを行った。

月日	イベント名・内容等
6 月 24 日	日曜須坂の「健康応援教室」／身体にやさしい スロージョギング教室／ペースメーカを使ったウォーキング
10 月 6 日・7 日	秋の動物園まつり／動物園宝探し／ノベルティグッズ製作
10 月 27 日・28 日	ハロウィン ZOO／動物園宝探し／ノベルティグッズ製作
2 月 24 日	日曜須坂の「健康応援教室」／ポールウォーキング教室／キネクトを使った姿勢補正
3 月 2 日	インターナショナルオープンデータデイ 2019in 須坂／健康ウォーキング×アイデアソン

(3) 各種外部会議等

各機関等からの依頼を受け、会議等に参加した。

月日	会議名等
6 月 18 日	信越情報通信懇談会 地域 IoT 実装推進・コンテンツ委員会
12 月 8 日	LOD チャレンジ 2018 授賞式（アイデア部門優秀賞：名古屋大学大学院、健康づくり課、政策推進課共同受賞）
2 月 12 日	長野県 地域情報プラットフォーム構築準備会
3 月 20 日	信越情報通信局 地域オープンデータ推進会議

2-1-16 (目) 男女共同参画推進費

単位：円

当初予算額	3,130,000	予算現額	2,671,000	決算額	2,616,932	前年度決算対比	70.0%	前年度決算額	3,740,958
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	-------	--------	-----------

■ 男女共同参画社会づくり事業

単位：円

当初予算額	3,130,000	予算現額	2,671,000	決算額	2,616,932	前年度決算対比	70.0%	前年度決算額	3,740,958
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	-------	--------	-----------

I 事業の目的

家庭・学校・職場や地域において、性別に関わりなく個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会づくり」を推進する。

II 事業の成果等

平成 29 年度に策定した「第五次須坂市男女共同参画計画」のダイジェスト版を学習会や講座等で活用し、男女共同参画意識の向上を図ることができた。

男女共同参画推進市民会議が主体の「男女共同参画いきいきフォーラム」では、推進市民会議の取組み事例紹介や講演会を通して、家庭や地域にある身近なできごとから男女共同参画を考え理解を深めることができた。

女性の活躍推進と子育てしやすい地域づくりを進めるために、スマイル・ママ・フェスタ in 須坂を開催した。実行委員会には、子育て中の母親を中心に 17 名が参加し、実行委員が自ら企画運営をすることや、参加者が自らの経験や活動を活かした発表をすることで、女性活躍の場を広げることができた。

Ⅲ 事業の実績

1 須坂市男女共同参画推進委員会

第五次須坂市男女共同参画計画の推進と男女共同参画社会づくりに向けた推進方法について協議した。

(1) 委員数 9人（男性4人、女性5人） 任期2年

(2) 会議の開催

回	開催日 (出席委員)	内 容
1	6月7日 (9人)	29年度事業報告、30年度事業計画、男女共同参画計画の取組み、女性の参画状況

2 須坂市男女共同参画推進市民会議

「輝く女(ひと)と男(ひと)セミナー」や「男女共同参画いきいきフォーラム」を開催し、意識啓発を行った。

団体会員数22人 個人会員数15人（男性6人、女性31人）

(1) 会議の開催

回	開催日 (出席会員)	内 容
1	7月4日 (18人)	29年度事業報告、30年度事業計画、第五次男女共同参画計画の取組み
2	10月5日 (14人)	輝く女と男セミナーの報告と反省、フォーラムの内容について
3	12月6日 (18人)	フォーラムの内容、スケジュールについて アンケート調査結果について意見交換
4	1月21日 (18人)	フォーラムの係分担、事例紹介について
5	3月13日 (21人)	フォーラムの報告と反省について、来年度の予定について

(2) 輝く女と男セミナーの開催

期日 8月22日

会場 旧上高井郡役所 2階

参加者 33人（男7人、女26人）

内容 講演会

「人間らしく生きるために～花束を贈ろう～」

講師 長野県男女共同参画推進県民会議会長 中村雅代 氏

(3) 男女共同参画いきいきフォーラムの開催

期日 2月16日

会場 メセナホール（小ホール）

参加者 230人

内容 ア 事例紹介

① 共創 みんなで創ろう元気な須坂「男女共同参画社会の実現に向けて」
（株Goolight 制作映像）

② 日常生活の中で“男女の差”を感じますか？ —市民会議の取り組み—

イ 講演会

「男女共同参画の地域づくり ～あなたが変わる！地域が変わる！～」

講師 立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授 萩原なつ子 氏

ウ 発表係打合せ 2月6日（事例紹介内容について）5人

(4) 男女共同参画いきいき通信第 14 号の発行

ア 掲載内容 推進市民会議や推進市民会議会員の活動など、男女がともに参画している地域活動のようすを紹介

イ 全戸へ配布 12 月 28 日

(5) 信州大学寄附講義（須坂市との共創による活動）

期日 11 月 16 日

会場 信州大学松本キャンパス

内容 「男女共同参画意識の向上のため」及び「環境に配慮した生活をするため」

講演者 市民会議 前会長 黒岩七女 氏 聴講者 108 人

(6) 料理交流会

3 月 20 日 参加者 7 人 「男もすなる料理」 講師 清水重徳 氏

3 須坂市男女共同参画推進庁内連絡会

第五次計画の取組みについて、庁内関係部門で効果的な推進ができるよう協議した。委員数 29 人

(1) 会議の開催

回	開催日 (出席会員)	内 容
1	8 月 24 日 (24 人)	第四次計画の総括、第五次計画の各課の取組みについて 女性の参画状況について

4 男女共同参画地域学習会

家庭や地域での身近な問題から、男女の役割について考え、慣習や固定的な役割分担意識の見直しを図るため、学習会を開催した。

(1) 「安心できる避難所づくり～男女共同参画の視点から～」(出前講座)

町名	開催日	参加者
豊丘地区	4 月 11 日	48 人 (男 30 人、女 18 人)
春木町	6 月 9 日	35 人 (男 23 人、女 12 人)
高畑町	7 月 20 日	17 人 (男 14 人、女 3 人)
小島町	9 月 7 日	30 人 (男 21 人、女 9 人)
小河原町	9 月 29 日	21 人 (男 11 人、女 10 人)
小山町	10 月 23 日	35 人 (男 20 人、女 15 人)
北横町	10 月 28 日	29 人 (男 19 人、女 10 人)

(2) 「安心して暮らせる社会をめざして～DVを知っていますか?～」(出前講座)

町名	開催日	参加者
穀町	11 月 8 日	21 人 (男 15 人、女 6 人)
野辺町	11 月 16 日	28 人 (男 20 人、女 8 人)

(3) 「日常生活の中で男女の差を感じますか?」(出前講座)

団体名	開催日	参加者
須坂ライオンズクラブ	2 月 28 日	10 人 (男 7 人、女 3 人)

5 仕事と生活の両立ができる環境整備の推進

仕事と生活の両立ができる環境整備のために、企業と連携した研修会の開催及び周知啓発を行った。

(1) 「ワーク・ライフ・バランス推進研修会」の開催

ア 出前講座

5月18日 長野県土木施工管理技士会須坂支部 参加者 43人

イ 講演会（一般市民向け）

期日 7月26日

会場 旧上高井郡役所 2階

参加者 26人（男13人、女13人）

内容 講演会

「ワークライフバランスが必要な本当の理由、そして第一歩」

講師 イーキュア㈱取締役 キャリアコンサルタント 福盛二郎 氏

(2) ワーク・ライフ・バランス推進の啓発

産業連携開発課と連携し、企業振興ニュースへの掲載、須坂商工会議所通常議員総会でチラシを配布

6 講座等事業

男女がともに学習し、自ら力をつけ積極的に社会参画ができるよう講座を開催した。

講座名	開催日	内 容 等
プチ起業・SNS活用セミナー	6月30日 12月7日 12月13日	Facebookの基本的な使い方から具体的な活用方法、効果的な情報発信、情報収集の方法などを学ぶ 参加者延べ21人 講師 NPO法人信州SOHO支援協議会理事 寺島広美 氏
会議術・心が伝わる話し方講座	2月20日 2月23日	地域やグループリーダーとしての役割やスキルを学ぶ研修会 参加者延べ46人（男22人、女24人） 講師 コミュニケーションカウンセラー 山田千津子 氏

7 研修事業

男女共同参画社会実現のために研修事業に参加し、推進方法の学習や意識の向上を図った。

(1) 男女共同参画推進県民大会（飯綱町） 11月4日 参加者2人（市民会議会員）

この大会において、須坂市の「市民ボランティア音楽イベント企画集団ウォーム＊ハーツ」が、長野県男女共同参画推進県民会議表彰を受賞した。

8 女性の参画状況調査（4月1日現在）

女性の社会参画促進と政策決定過程への参画を推進するため、参画状況等を調査した。

(1) 須坂市審議会委員等における女性委員の割合 35.2%

(2) 各町（69町）の女性役員について

女性役員がいると回答した町 41町

女性役員の割合 14.7%

(3) 市職員の女性管理職の割合 6.1%

9 審議会委員等への女性委員推薦

推薦依頼のあった審議会等委員について、14の審議会等へ19人を推薦した。

10 啓発事業

(1) 広報須坂による啓発

ア ワーク・ライフ・バランスの推進 7月

イ 市の審議会等における女性委員の参画比率 7月

ウ DV（ドメスティック・バイオレンス）防止について 11月

(2) 男女共同参画週間啓発パネル・ポスター掲示 中央公民館2階 6月25日～8月6日

- (3) 須坂市広報番組「共創みんなで創ろう元気な須坂」による啓発
「男女共同参画社会の実現に向けて」番組放送 9月10日～9月16日
同番組の映像を、男女共同参画いきいきフォーラムにて上映 2月16日
- (4) 区・自治会役員への女性登用の啓発
7月31日 区・自治会における女性役員の調査結果報告と併せ、区長あて登用依頼文書送付
- (5) デートDVリーフレットの作成、配布
新成人 12月

11 相談事業

女性が抱える諸問題に対する相談を行った。

(1) 相談件数 (件)

		DV ドメスティック・ バイオレンス	育児	仕事	夫婦	親子	友人	介護	健康	その他	計
相談件数		2	1	1	5	12	3			3	27
内 来庁					3	7					10
訳 電話		2	1	1	2	5	3			3	17

12 各種団体育成支援

女性の社会参画に向けた取組みのための支援を行った。

(1) 須坂市女性団体連絡協議会（事務局）

市内の女性団体・グループ相互の連絡調整を図り、女性の社会参画や環境保護活動について、研究協議し取り組んだ。

ア 会議の開催

回	開催日 (出席委員)	内 容
1	4月5日 (8人)	29年度事業報告及び会計報告、30年度事業計画及び予算、もったいない市、市の審議会等委員の推薦について
2	6月14日 (8人)	もったいない市の反省、エコ探検隊、研修視察について
3	9月6日 (8人)	エコ探検隊の反省、研修視察、エコルームの衣替えについて
4	1月31日 (8人)	31年度エコサポートすざかの運営、31年度の役員、もったいない市について

イ 視察研修

10月17日 (株)アースグリーンマネジメント（飯田市）視察 参加者19人

ウ 環境保護に関する活動

(ア) エコサポートすざかの運営

毎週土・日開館 延べ日数101日 入館者数 7,098人（うち資源物持込者6,126人）

4月28日 もったいない市 来場者450人

集まった協力金(72,110円)を震災義援金として、日本赤十字社長野県支部に寄付

(イ) 環境学習への取組み

小学生の環境学習「エコ探検隊」開催（協力：須坂東高等学校生徒会）

第1回 8月8日 ごみの分別・スタンプラリー 参加小学生25人、高校生3人

第2回 8月9日 ダンボールオープンのクッキング 参加小学生23人、高校生5人

(ウ) 長野地域循環圏形成フォーラム参加

9月10日 長野県長野合同庁舎 参加者2人

(2) スマイル・ママ・フェスタ in 須坂実行委員会（事務局）

子育て世代の女性が、自らの経験や活動を活かした発表の場を作り、親子でいっしょに楽しみ、交流のできるイベントを開催した。

ア 会議の開催

※実行委員会は、平成30年1月より継続。（実行委員17名）

回	開催日 (出席委員)	内 容
4	4月20日 (14人)	スマイル・ママ・フェスタ in 須坂の出店状況と配置、当日の業務と役割分担、チラシ・ポスターの配布について
5	5月18日 (9人)	係分担の確認、会場レイアウト、当日配布資料について
6	7月13日 (10人)	開催報告及び反省、来年度の開催について

イ スマイル・ママ・フェスタ in 須坂の開催（地域発元気づくり支援金活用事業）

期日 平成30年6月2日

会場 メセナホール

参加者 1,400人

ウ 次回開催のための会議の開催

第3回目の開催に向けて、12月に実行委員を募集し、実行委員会を開催した。

（実行委員13名）

回	開催日 (出席委員)	内 容
1	1月15日 (9人)	スマイル・ママ・フェスタの内容、組織について
2	2月5日 (4人)	内容、出展者募集について
3	2月26日 (9人)	抽選会景品提供、協賛依頼について
4	3月19日 (7人)	内容確認、募集状況、チラシについて

（令和元年6月1日、メセナホールで開催）

2-2-1 (目) 税務総務費

単位：円

当初 予算額	156,159,000	予算 現額	146,897,000	決算額	146,597,083	前年度 決算対比	100.2%	前年度 決算額	146,248,243
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	1,289,000	予算 現額	1,289,000	決算額	1,177,510	前年度 決算対比	112.5%	前年度 決算額	1,047,094
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

公正で適正な税務行政を推進する。

II 事業の成果等

固定資産評価員会議を開催し、固定資産税の評価について公正かつ適正な課税を行うことができた。

また、投票年齢の引下げ等により主権者教育としての租税教育の充実が求められており、市内小学6年生を対象に長野税務署管内租税教育推進協議会との共催による租税教室を開催し、次代を担う児童に租税の意義や役割を正しく理解する機会を提供し、税の役割から納税の大切さを学ぶ機会とすることができた。

Ⅲ 事業の実績

1 固定資産評価員会議

(1) 会議の開催状況 年3回開催（8月10日、11月19日、3月18日）

(2) 主な会議事項

- ア 平成31年度土地の下落修正について
- イ 償却資産の新たな特例制度について
- ウ 市内開発事業計画について（現地調査等）
- エ インター周辺開発計画について

2 租税教育の推進

(1) 租税教室の開催状況（長野税務署管内租税教育推進協議会と共催）

ア	旭ヶ丘小学校6年生	(1クラス)	34人	5月28日	(月)	税務署
イ	井上小学校6年生	(2クラス)	60人	9月20日	(木)	市
ウ	森上小学校6年生	(2クラス)	61人	10月4日	(木)	県税事務所
エ	高甫小学校6年生	(1クラス)	25人	12月14日	(金)	市
オ	小山小学校6年生	(3クラス)	78人	1月15日	(火)	県税事務所
カ	日野小学校6年生	(2クラス)	64人	1月22日	(火)	市
キ	豊洲小学校6年生	(1クラス)	24人	1月28日	(月)	市
ク	仁礼小学校6年生	(2クラス)	37人	1月31日	(木)	市
ケ	豊丘小学校6年生	(1クラス)	17人	2月5日	(火)	市
コ	日滝小学校6年生	(2クラス)	53人	2月19日	(火)	税務署
サ	須坂小学校6年生	(2クラス)	37人	2月21日	(木)	税務署
シ	須坂創成高校3年生	(3クラス)	280人	7月12日	(木)	税理士会
計		(22クラス)	770人			

■ 固定資産評価審査委員会運営事業

単位：円

当初 予算額	49,000	予算 現額	49,000	決算額	9,750	前年度 決算対比	66.1%	前年度 決算額	14,750
-----------	--------	----------	--------	-----	-------	-------------	-------	------------	--------

I 事業の目的

固定資産課税台帳に登録された価格に対する不服申立を中立公正な立場で迅速に解決する。

II 事業の成果等

委員会を開催し、審査体制を整備した。

Ⅲ 事業の実績

申立等の状況

該当なし

2-2-2(目) 賦課徴収費

単位：円

当初 予算額	128,342,000	予算 現額	131,204,062	決算額	123,143,914	前年度 決算対比	97.1%	前年度 決算額	126,885,086
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 賦課徴収事務費

単位：円

当初 予算額	128,342,000	予算 現額	131,204,062	決算額	123,143,914	前年度 決算対比	97.1%	前年度 決算額	126,885,086
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

適正・適切な賦課・徴収を行い、公平な税負担の実現と税収の確保に努めた。

II 事業の成果等

市民税等の課税においては、市・県民税未申告者の解消に努め、適正な申告課税による市県民税の課税を行い、適正な申告を支援し、また、更正等にも対応しながら、公平公正に課税することができた。

固定資産税では、課税客体把握に努めると共に、評価替えに向け、標準宅地の時点修正、路線価の下落修正及び新規路線の付設を行いました。

滞納整理については、「第二次滞納整理対策チャレンジプラン（平成 29 年度～31 年度）」に基づき滞納整理を推進し、収入未済額の削減と新規の滞納者を発生させない取組みを推進した。また、徴収困難な滞納事案を長野県地方税滞納整理機構に移管し取組んだ。これらの取組みにより、市税の収納率は、現年度分と滞納繰越分の合計で前年度を上回り、チャレンジプランの平成 30 年度収入未済額目標値を達成することができた。

III 事業の実績

1 市民税の課税状況

(1) 個人市民税（現年課税分） 特別徴収義務者数 3,616 人

区 分	普 通 徴 収		給与に係る特別徴収		退 職 所 得	
	納税義務者数	税 額(円)	納税義務者数	税 額(円)	納税義務者数	税 額(円)
所得割	6,105	444,037,100	14,910	1,678,539,200	105	9,601,800
均等割	7,945	27,033,000	15,769	55,191,500		
計	実人数 7,945	471,070,100	実人数 15,769	1,733,730,700	105	9,601,800
区 分	年 金 特 徴		計		前年比(%)	
	納税義務者数	税 額(円)	納税義務者数	税 額(円)	納税義務者数	税 額
所得割	1,918	115,740,100	23,038	2,247,918,200	99.49	99.50
均等割	2,615	9,152,500	26,329	91,377,000	100.56	100.66
計	実人数 2,615	124,892,600	実人数 26,329	2,339,295,200	実人数 100.56	99.55

(2) 法人市民税（現年課税分）

区 分	法 人 数	税 額(円)	前年比(増減)	
			法 人 数	税 額(円)
法人税割	515	469,484,400	△9	53,270,900
均等割	1,248	147,643,800	△9	209,900
計	実法人数 1,248	617,128,200	実法人数 △9	53,480,800

2 固定資産税・都市計画税の課税状況

(1) 土地・家屋別内訳（30 年度概要調書より、免税点以上のもの）

土 地				家 屋			
地 目	筆 数(筆)	地 目	筆 数(筆)	区 分	在来分(棟)	新增築分(棟)	計(棟)
宅 地	33,295	池 沼	4	木 造	21,897	255	22,152
田	4,747	鉱泉地	4	非木造	6,656	28	6,684
畑	25,946	雑種地	4,919				
山 林	6,723						
原 野	2,074	計	77,712	計	28,553	283	28,836

(2) 固定資産税・都市計画税（現年課税分）

区 分	固定資産税		都市計画税		計	
	納税義務者数	税 額(円)	納税義務者数	税 額(円)	納税義務者数	税 額(円)
土 地	16,233	828,813,600	9,979	119,795,900	16,233	948,609,500
家 屋	17,050	1,219,495,700	10,204	121,628,700	17,050	1,341,124,400
償 却	695	504,417,500			695	504,417,500
計	実人数 21,716	2,552,726,800		241,424,600	実人数 21,716	2,794,151,400

* 実人数は、同一人が土地、家屋、償却資産を納税する場合 1 人とする。

(3) 固定資産の主な業務状況

業 務 名	業務件数等
新增築家屋評価	283 棟
土地異動（所有権移転、分筆、地目変更等）	7,321 筆
家屋異動（所有権移転、表示等）	1,277 棟
土地家屋等縦覧帳簿縦覧者	0 人
縦覧期間中の課税台帳閲覧者	266 人
地方税法第 422 条の 3 評価通知書発行	1,372 件
相続財産管理人申立	0 件

3 国有資産等所在市町村交付金及び納付金

交付等機関名	交付等金額(円)	備 考
長野県総務部	4,010,800	職員宿舎（教員、警察、農業試験場等）
〃 建設部	12,061,700	県営住宅（六角堂、旭ヶ丘、相之島等）
関東財務局	740,300	刑務所職員宿舎等
中部森林管理局	422,600	国有林（米子不動付近 1,788.1ha）
計	17,235,400	

4 軽自動車税の課税状況（現年課税分）

車 種	台 数					前年比 (台)	税 額(円)
	旧税率	新税率	重課	軽課	計		
原動機付自転車							
50cc 以下	—	2,138	—	—	2,138	△133	4,276,000
90cc 以下	—	200	—	—	200	△15	400,000
125cc 以下	—	274	—	—	274	3	657,600
ミニカー	—	39	—	—	39	△1	144,300
計	—	2,651	—	—	2,651	△146	5,477,900
軽自動車							
二輪 125cc 超～250cc	—	619	—	—	619	△2	2,228,400
三輪	1	0	4	0	5	1	21,500
ボートトレーラー	16	0	0	0	16	0	57,600
四輪乗用（自家用）	8,585	2,160	2,889	563	14,197	144	126,660,600
貨 物（営業用）	91	32	30	12	165	4	564,400
〃（自家用）	2,944	869	2,429	15	6,257	△75	30,752,000
計	11,637	3,680	5,352	590	21,259	72	160,284,500
小型特殊自動車							
農耕用	—	2,141	—	—	2,141	△2	5,138,400
その他	—	320	—	—	320	15	1,888,000
計	—	2,461	—	—	2,461	13	7,026,400
二輪小型自動車 250cc 超	—	767	—	—	767	△5	4,602,000

車 種	台 数					前年比 (台)	税 額(円)
	旧税率	新税率	重課	軽課	計		
過年度分							
四輪乗用(自家用)	0	—	—	—	0	△1	0
貨物 (自家用)	4	—	—	—	4	3	12,000
二輪小型自動車 250cc 超	0	—	—	—	0	△2	0
計	4	—	—	—	4	0	12,000
全計	11,641	9,559	5,352	590	27,142	△66	177,402,800

5 市たばこ税の課税状況

特別徴収義務者数	税 額(円)	数 量(本)	前年比(%)	
			税 額	数 量
4	279,134,709	51,755,301	96.91	93.06

6 入湯税の課税状況

特別徴収義務者数	税 額(円)	延利用人数	前年比(%)	
			税 額	延利用人数
4	8,033,740	371,043	94.19	91.64

7 滞納整理の実施

(1) 滞納整理の強化

ア 財産調査と滞納処分を主体とする取り組みを行い、5件の搜索を実施したほか、預貯金や生命保険等の債権を中心に差押を執行した。また、差押した財産の公売について、不動産公売を3回、動産の公売を1回実施した。

イ 5・8・12月に、現年課税分を対象に税務課全職員による一斉滞納整理を実施し、現年課税分の滞納抑制に取り組んだ。

ウ 徴収困難な滞納事案20件について、長野県地方税滞納整理機構へ移管し、専門的・集中的に滞納整理を実施した。

長野県地方税滞納整理機構への移管に係る収納状況

	滞納繰越分	現年課税分	計
本税	15,336,897	553,700	15,890,597
延滞金等	5,401,200	1,200	5,402,400
計	20,738,097	554,900	21,292,997

また、平成31年度長野県地方税滞納整理機構移管のため、56人へ移管予告書を発送（1月30日）。予告書の送付により、40人から6,355,000円が納付された。

エ 市税・国民健康保険税について、「広報 須坂」平成30年8月号・12月号に滞納整理方針や徴収状況等について掲載し、滞納整理への理解と協力を図った。

(2) 市税等滞納整理推進本部と連携した取り組み

全庁的な収入未済額解消の推進と収納率の向上を図るため、「市税等滞納整理推進本部会議」を開催し、市税・国保税以外の各債権についても「第二次滞納整理対策チャレンジプラン」に基づき滞納整理を進めた。

(3) 財産等の差押状況

区 分	29年度 (件)	30年度中			3月31日現在 差押(件)
		差押(件)	解除(件)	公売・換価(件)	
不 動 産	43	27	24	0	46
無体財産権	6	1	1	5	1

区 分	29 年度 (件)	30 年度中			3 月 31 日現在 差押(件)
		差押(件)	解除(件)	公売・換価(件)	
債 権	47	440	43	410	34
動 産	0	2	0	0	2
計	96	470	68	415	83

(4) 滞納処分執行停止状況

区 分	30 年度中		30 年度末 累計	
	件数(件)	税 額(円)	件数(件)	税 額(円)
市 県 民 税	463	7,115,702	952	18,900,662
法 人 市 民 税	10	504,100	45	3,405,752
固 定 資 産 税	424	32,175,927	673	98,520,676
都 市 計 画 税				
軽 自 動 車 税	98	538,109	213	1,110,809
計	995	40,333,838	1,883	121,937,899

(5) 不納欠損処分の状況

区 分	地方税法第 15 条の 7		地方税法第 18 条		計	
	件数(件)	税 額(円)	件数(件)	税 額(円)	件数(件)	税 額(円)
市 県 民 税	239	6,925,164	357	8,317,887	596	15,243,051
法 人 市 民 税	2	64,100	24	1,308,000	26	1,372,100
固 定 資 産 税	346	33,035,931	390	11,559,475	736	44,595,406
都 市 計 画 税						
軽 自 動 車 税	45	207,700	94	391,100	139	598,800
計	632	40,232,895	865	21,576,462	1,497	61,809,357

8 収納率向上に向けた取組み

(1) 口座振替の推進

口座振替の利用を推進するため、市報への掲載、窓口や家屋評価などの際に利用を勧めるとともに、指定金融機関、収納代理金融機関へも推進協力を依頼した。

ア 口座振替の利用実績（当初課税時）

税 目	口 座 振 替			現 金 納 付			計	
	件数 (件)	前年比 (%)	構成比 (%)	件数 (件)	前年比 (%)	構成比 (%)	件数 (件)	前年比 (%)
市県民税（普徴）	4,325	83.38	52.0	3,991	98.52	48.0	8,316	90.02
固定資産税・都市計画税	16,501	99.49	76.6	5,031	101.66	23.4	21,532	99.99
軽自動車税	13,100	97.94	48.3	14,025	102.93	51.7	27,125	100.46
国民健康保険税（普徴）	4,311	104.23	65.8	2,244	145.34	34.2	6,555	115.40
計	38,237	97.33	60.2	25,291	104.64	39.8	63,528	100.12

(2) コンビニ収納

ア コンビニ収納状況（年間実績）

税 目	29 年度実績		30 年度実績		前年比(%)	
	件数(件)	徴収税額(円)	件数(件)	徴収税額(円)	件数	徴収税額
市県民税（普徴）	9,517	162,174,431	7,753	134,449,249	81.46	82.90
固定資産税・都市計画税	9,364	146,740,100	9,479	146,084,433	101.23	99.55
軽自動車税	8,099	56,405,100	8,489	61,416,602	104.82	108.88
国民健康保険税（普徴）	9,562	127,141,471	8,413	102,241,579	87.98	80.42
計	36,542	492,461,102	34,134	444,191,863	93.41	90.20

(3) クレジット収納

ア クレジット収納状況 (年間実績)

税 目	29 年度実績		30 年度実績		前年比 (%)	
	件数 (件)	徴収税額 (円)	件数 (件)	徴収税額 (円)	件数	徴収税額
市県民税 (普徴)	244	7,509,900	141	3,870,300	57.79	51.63
固定資産税・都市計画税	280	5,751,800	379	6,698,400	135.36	116.46
軽自動車税	114	841,200	116	890,600	101.75	105.83
国民健康保険税 (普徴)	91	2,403,700	93	2,279,400	102.20	94.83
計	729	16,506,600	729	13,745,700	100.00	83.27

(4) 納税計画表の配布

納税計画表を全戸配布し、納期限内納付の推進に努めた。

9 過誤納還付金

区 分	件数 (件)	金 額 (円)
還 付 金	615	22,727,462
還付加算金	31	187,700
計	646	22,915,162

10 市税の減免状況

区 分	件数 (件)	金 額 (円)
個 人 市 民 税	2	86,200
固 定 資 産 税 都 市 計 画 税	175	20,905,000
軽 自 動 車 税	375	2,889,600
計	552	23,880,800

11 委託料

業 務 名	委 託 先	業 務 内 容	委託料 (円)
市税計算業務委託料	(株)BSNアイネット外	基幹系システムの業務委託、業務に関する印刷製本外	23,190,624
固定資産税課税基礎資料整備委託料	(株)パスコ 長野支店	地理情報システムへの地番現況図データの更新・修正業務委託	2,646,000
土地鑑定委託料 (時点修正)	(社)長野県不動産鑑定士協会	標準宅地の価格の時点修正業務委託	1,080,000
固定資産税土地評価鑑定基礎資料整備事業 (路線価システム) 委託料	(一財)日本不動産研究所	土地価格の設定・路線価の付設及び基礎資料整備業務委託	4,644,000
地方税電子申告支援サービス委託料	(株)TKC	電子申告データの審査受付及び連携業務委託	4,069,440
計			35,630,064

12 証明書等交付状況 (公用・無料含む)

区 分	件数 (件)	区 分	件数 (件)
所 得 ・ 課 税 証 明	5,912	納 税 義 務 者 証 明	0
納 税 証 明	1,074	営 業 証 明	41
住 宅 用 家 屋 証 明	230	軽 自 動 車 税 納 税 証 明	2,725
資 産 証 明	54	固 定 資 産 税 課 税 (課 税) 台 帳 写	557
評 価 証 明	349	土 地 図 面 (公 図) 写	252
公 課 証 明	255	固 定 資 産 税 課 税 台 帳 記 載 事 項 証 明 書	18
		計	11,467

13 電話予約による所得・課税証明書発行の実施 40 件

14 税目別収納実績

税 目		調定額 (円)	収入済額 (円)	不納欠損額 (円)	還 付 未済額 (円)	収入未済額 (円)	収納率 (%)	前年度 収納率 (%)
個人市民税	現年課税分	2,339,295,200	2,317,627,019	269,190	187,200	21,586,191	99.07	98.83
	滞納繰越分	84,410,562	32,171,162	8,904,232	0	43,335,168	38.11	30.56
	計	2,423,705,762	2,349,798,181	9,173,422	187,200	64,921,359	96.95	96.29
法人市民税	現年課税分	617,128,200	615,840,400	0	0	1,287,800	99.79	99.77
	滞納繰越分	9,667,916	1,285,864	1,372,100	0	7,009,952	13.30	9.43
	計	626,796,116	617,126,264	1,372,100	0	8,297,752	98.46	98.27
固定資産税	現年課税分	2,552,726,800	2,529,954,426	114,900	0	22,657,474	99.11	99.10
	滞納繰越分	222,255,955	29,337,307	40,587,661	0	152,330,987	13.20	10.43
	計	2,774,982,755	2,559,291,733	40,702,561	0	174,988,461	92.23	88.86
国有資産等 所在市町村 交 付 金	現年課税分	17,235,400	17,235,400	0	0	0	100	100
軽自動車税	現年課税分	177,402,800	174,850,900	5,900	0	2,546,000	98.56	98.80
	滞納繰越分	5,327,900	1,651,491	592,900	0	3,083,509	31.00	30.04
	計	182,730,700	176,502,391	598,800	0	5,629,509	96.59	96.71
市たばこ税	現年課税分	279,134,709	279,134,709	0	0	0	100	100
入 湯 税	現年課税分	8,033,740	8,033,740	0	0	0	100	100
都市計画税	現年課税分	241,424,600	239,277,910	0	0	2,146,690	99.11	99.10
	滞納繰越分	21,316,947	2,813,801	3,892,845	0	14,610,301	13.20	10.43
	計	262,741,547	242,091,711	3,892,845	0	16,756,991	92.14	88.81
合 計	現年課税分	6,232,381,449	6,181,954,504	389,990	187,200	50,224,155	99.19	99.10
	滞納繰越分	342,979,280	67,259,625	55,349,738	0	220,369,917	19.61	14.52
	計	6,575,360,729	6,249,214,129	55,739,728	187,200	270,594,072	95.04	93.12

2-3-1 (目) 戸籍住民基本台帳費

単位：円

当 初 予算額	124,160,000	予算 現額	121,652,000	決算額	114,938,115	前 年 度 決算対比	96.5%	前年度 決算額	119,066,945
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	-------	------------	-------------

■ 戸籍住民基本台帳整備事業

単位：円

当 初 予算額	33,930,000	予算 現額	36,797,000	決算額	30,275,681	前 年 度 決算対比	101.5%	前年度 決算額	29,831,426
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

適正な行政を行うための基礎資料として活用される戸籍・住民基本台帳の整備事務を迅速、かつ正確な処理により行い、住民サービスの向上を図る。

II 事業の成果等

住民基本台帳システム及び戸籍システムの適正な運用を図ることで、各種証明書の発行や届出書処理に際して、迅速かつ正確な事務処理が図られた。28年1月から交付が開始された個人番号カードの交付及び運用事務を遅滞なく行った。

また、基幹系システム更改に伴い、住民記録及び印鑑登録システムが一新されたが、正確かつスムーズな移行作業を実施し、30年10月より安定した稼働をしている。

Ⅲ 事業の実績

1 戸 籍

(1) 戸籍情報システム委託

ア 戸籍システム保守委託料	(株)電算	5,370,624 円
イ 戸籍副本データ管理システム保守委託料	(株)電算	129,600 円
ウ 戸籍副本データ管理システムネットワーク機器保守委託料	NTT東日本(株)長野支店	103,161 円
エ レジスター保守委託料	カミヤ長張商店	21,600 円
オ 戸籍システム機器賃借料	NTTファイナンス(株)長野支店	4,941,648 円
カ 戸籍副本データ管理システムネットワーク機器賃借料	NTTファイナンス(株)長野支店	113,400 円
キ レジスター賃借料	日立キャピタル(株)	13,402 円
ク 給茶機賃借料	富士通リース(株)	102,384 円

(2) 本籍数と本籍人口 (31 年 3 月 31 日現在)

本籍数 22,615 戸籍 (前年比 146 戸籍の減)

本籍人口 55,977 人 (前年比 483 人の減)

(3) 戸籍事務の処理件数

種 別	本籍人届出件数	非本籍人届出件数	計	種 別	件 数
出 生	360	130	490	新 戸 籍 編 製	306
死 亡	640	80	720	戸 籍 全 部 消 除	452
婚 姻	516	30	546	戸籍の再製・補完	0
離 婚	119	5	124	その他	0
転 籍	251	0	251		
そ の 他	300	22	322		
合 計	2,186	267	2,453	合 計	758

(4) 戸籍謄本・抄本及び証明書の交付状況

種 別	件 数	金 額 (円)
有 料 交 付	14,894	8,137,900
公 用 交 付	3,558	

(5) 相続税法第 58 条の規定による税務署への報告

死亡・失踪届出による報告件数 721 件

(6) 埋火葬許可件数

種 別	死体埋葬	死体火葬	死胎埋葬	死胎火葬	胞衣焼却	計
件 数	0	639	0	6	0	645

2 住民基本台帳

(1) 住民基本台帳世帯数及び人口 (31 年 3 月 31 日現在)

世帯数 19,990 世帯 (前年比 213 世帯増)

人 口 50,731 人 (前年比 232 人減) 男 24,658 人 女 26,073 人

(2) 住民基本台帳関係届出処理件数

種 別	件 数	種 別	件 数
出 生	306	通 知 発 送	本籍通知 1,803
死 亡	627		旧住所 955
転 入	1,180		附票記載 752
転 出	1,173	通 知 受 領	住所修正 1,100
転 居	669		附票修正 1,913
職 権	記 載	附 票	記 載 664
	消 除		消 除 1,198
	更 正		公 用 1,983
世 帯 変 更		郵便請求 住民票・附票	私 用 1,639
		合 計	17,305

(3) 住民票等の写し及び証明書の交付状況等

種 別	件 数	金 額 (円)
有 料 交 付	20,512	6,153,600
公 用 交 付	1,051	
有 料 閲 覧	132	39,600
無 料 閲 覧	9,931	

(4) 電話予約等証明書の時間外交付等件数 () 前年

	住民票	印鑑登録 証明書	計
宿 直 扱 い	328 (363)	204 (212)	532 (575)
シルキープラザ (商 業 観 光 課)	1 (1)	1 (3)	2 (4)

(5) 年度末の土日窓口開設業務状況 () 前年

種別	転入 転出	戸籍 届書	証明書交付			印鑑 登録	自動車 臨時 ナンバー	相談 電話 等	マッハ カード 交付	合計
			戸籍 証明	住民 票	印鑑登 録証明					
件数	6 (16)	3 (2)	5 (12)	10 (10)	1 (6)	1 (1)	0 (0)	3 (2)	3 (4)	32 (53)

実施日・・・3月30日(土)、3月31日(日) 午前8時30分～正午まで

(6) 住民記録電算処理委託

ア	年間異動届の件数	8,808 件		
イ	住民記録及び印鑑登録システム業務委託料 (9月まで)	(株)BSNアイネット	570,240 円	
ウ	〃 (10月から)	(株)電算	136,080 円	
エ	住民記録及び印鑑登録システム使用料 (9月まで)	(株)BSNアイネット	667,440 円	
オ	〃 (10月から)	(株)電算	680,400 円	
カ	全国町・字ファイル保守業務委託料	地方公共団体情報システム機構	205,200 円	

3 外国人住民数 (31年3月31日現在)647人 (前年比98人増、中長期滞在者634人、特別永住者13人)

国 別	人 数	国 別	人 数	国 別	人 数
中国	164 (145)	ベトナム	149 (74)	タイ	143 (149)
ブラジル	51 (58)	パキスタン	36 (33)	フィリピン	25 (23)
韓国	22 (22)	インドネシア	12 (7)	米国	10 (11)
カンボジア	6 (3)	台湾	4 (4)	モンゴル	4 (0)
マレーシア	3 (3)	イラン	3 (2)	インド	2 (2)
英国	2 (4)	ドイツ	2 (2)	アルゼンチン	1 (2)
朝鮮	1 (1)	ルーマニア	1 (0)	オーストラリア	1 (0)
カナダ	1 (0)	スリランカ	1 (1)	フィンランド	1 (1)
チュニジア	1 (1)	ボリビア	1 (1)	合 計	647 (549)

() 前年

4 印鑑登録状況及び証明書交付状況

(1) 印鑑登録者数 (31年3月31日現在) 34,120人

(2) 印鑑登録証明書交付状況

種 別	件 数	金 額 (円)
有 料 交 付	14,414	4,324,200
公 用 交 付	44	
新規・再登録・再交付	1,608	535,600
印 鑑 手 帳 継 続	106	

5 その他諸証明交付事務等の状況

種 別	件 数	金 額 (円)
臨時運行許可証等(原付含)	493	371,000
そ の 他 手 数 料	10	3,000
住 居 表 示 ・ 変 更 証 明	41	無料

6 マイナンバーカードについて

(1) 個人番号カード ()前年

ア 総申請枚数 4,412 枚 (4,020 枚)

イ 総交付済枚数 4,039 枚 (3,612 枚)

(2) 機器賃借及び保守委託料

ア 顔認証システム及び裏書印字システム機器賃借料 日通商事(株) 180,144 円

イ 個人番号カード裏書印字システム保守委託料 (株)電算 77,760 円

(3) 再交付手数料等

ア 通知カード再交付 385 枚 192,500 円

イ 個人番号カード再交付 8 枚 6,400 円

ウ 電子証明書再発行 5 件 1,000 円 (地方公共団体情報システム機構へ納入)

7 会議及び研修会への参加

- | | | |
|--|-----------------|------|
| (1) 長野地方法務局直轄管内月例研究会 | 月 1 回 | 法務局 |
| (2) 戸籍事務主管課長研究会 | 4 月 24 日 | 千曲市 |
| (3) 戸籍事務従事者導入研修会 | 4 月 24 日 | 千曲市 |
| (4) 長野地方法務局直轄管内戸籍住民基本台帳事務協議会総会 | 5 月 17 日 | 信濃町 |
| (5) 市町村戸籍事務従事職員初級者研修会 | 6 月 5、7、12、14 日 | 長野市 |
| (6) 社会保障・税番号制度担当者説明会及び住民基本台帳ネットワークシステム担当者研修会 | 6 月 7 日 | 安曇野市 |
| (7) 長野県戸籍住民基本台帳事務協議会総会 | 7 月 4 日 | 飯田市 |
| (8) 渉外戸籍研修会 | 7 月 26 日 | 長野市 |
| (9) 市町村戸籍事務従事職員中級者研修会 | 9 月 4、6、11、13 日 | 長野市 |
| (10) 北信ブロック中央研修会 | 11 月 16 日 | 栄村 |
| (11) 長野地方法務局直轄管内市町村戸籍事務専門研修会 | 11 月 27 日 | 法務局 |
| (12) 市町村在留関連事務研修会 | 11 月 13 日 | 伊那市 |
| (13) 市民係研修会 | 随時 | |

■ 住民基本台帳ネットワーク事業

単位：円

当 初 予算額	1,111,000	予算 現額	2,091,000	決算額	2,090,123	前 年 度 決算対比	90.2%	前年度 決算額	2,317,494
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

住民基本台帳ネットワークシステムを利用し、広域事務の処理や公的個人認証サービスを行い、事務の効率化及び住民への各種サービスの向上を図る。

II 事業の成果等

基準やセキュリティポリシーを遵守し、住民基本台帳ネットワークシステムの適正な運用を行った。自己点検を実施し、須坂市住民基本台帳ネットワークシステムセキュリティ対策規程に沿って適正に事務処理が行われているか運用状況を確認した。

また、基幹系システム更改に合わせて住民基本台帳ネットワークシステムのコミュニケーションサーバ(CS)を(株)電算に移設し、移設後も安定した稼働をしている。

Ⅲ 事業の実績

1 住民基本台帳ネットワークシステム

(1) 機器保守業務委託料（12月まで）	(株)BSNアイネット	657,936円
〃（1月から）	(株)電算	259,200円
(2) オペレーション業務委託料（1月から）	(株)電算	113,400円
(3) 機器移設委託料	NTTコミュニケーションズ(株)	243,000円
(4) 個人番号カード交付用タッチパネル保守委託料（9月まで）	(株)BSNアイネット	5,184円
(5) 機器賃借料（7月まで）	富士通リース(株)長野支店	395,848円
(6) データハウジング利用料（1月から）	(株)電算	295,812円

2 住民票コード付番件数

378件

3 広域交付住民票交付件数

23件 6,900円

2-4-1 (目) 選挙管理委員会費

単位：円

当初予算額	19,359,000	予算現額	20,104,000	決算額	19,788,962	前年度決算対比	98.8%	前年度決算額	20,033,638
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	-------	--------	------------

■ 選挙管理委員会運営費

単位：円

当初予算額	3,406,000	予算現額	3,637,000	決算額	3,505,763	前年度決算対比	91.3%	前年度決算額	3,837,801
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	-------	--------	-----------

I 事業の目的

選挙管理委員会の管理運営を図る。

II 事業の成果等

定例委員会及び臨時委員会を開催し、選挙事務の管理運営を行うことができた。

Ⅲ 事業の実績

1 委員会の開催状況

定例委員会 12回（毎月1回 選挙人名簿抹消者の決定等）

臨時委員会 8回（長野県知事選挙、須坂市議会議員一般選挙、河東土地改良区総代選挙、長野県議会議員一般選挙）

2 選挙人名簿定時登録の状況

期 日	男 (人)	女 (人)	計 (人)
平成30年6月1日現在	20,495	22,181	42,676
9月1日現在	20,468	22,102	42,570
12月1日現在	20,455	22,097	42,552
平成31年3月1日現在	20,429	22,084	42,513

3 在外選挙人名簿登録の状況

3月1日現在 男 10人 女 14人 計24人

- 4 検察審査員候補者名簿の調製
9月19日選定 候補者割り当て員数 36人
- 5 裁判員候補者名簿の調製
9月19日選定 候補者割り当て員数 68人
- 6 選挙人名簿閲覧状況
世論調査関係 2件
政治活動関係 1件

■ 選挙啓発事業

単位：円

当初 予算額	286,000	予算 現額	286,000	決算額	236,610	前年度 決算対比	53.3%	前年度 決算額	444,203
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	-------	------------	---------

I 事業の目的

選挙人の政治意識の高揚、投票参加と明るいきれいな選挙の実現を図る。

II 事業の成果等

啓発活動の推進により政治意識の高揚と明るい選挙の趣旨の浸透を図ったが、投票率の向上に反映できたか否かを検証することは難しく、また即効的な選挙啓発も困難であるため、他都市の事例を参考にするなど随時改善、効率化の検討を進めながら、今後も継続して実施する。

III 事業の実績

1 明るい選挙推進協議会

(1) 役員会の開催

期 日 6月8日
場 所 303 会議室
参加人数 13人

(2) 総会の開催

期 日 6月8日
場 所 305 会議室
参加人数 35人

2 各種大会、研修会への出席

大会・研修会名	参加人数 (人)	開催期日	開催場所
長野県選挙管理委員会連合会総会・明るい選挙推進長野県大会	5	6月6日	東御市文化会館 (サンテラスホール)
明るい選挙推進フォーラム	5	11月16日	岡谷市文化会館 (カノラホール)

3 街頭啓発の実施

選 挙 名	期 日	場 所	参加人数(人)
長野県知事選挙	8月1日	市内スーパーマーケット3店舗	23
	8月3日	須坂駅前	5

4 啓発資料の提供

選挙啓発用ファイル（新成人用）	560 枚
選挙啓発用名入れポケットティッシュ	5,000 個（選挙時）
明るい選挙啓発ポスター出品者記念品	125 セット

5 新有権者等への啓発

各種選挙における新有権者に、制度の周知を図るとともに、投票参加を呼びかけるためのグリーティングカードを投票所入場券に同封して発送した。

期日前投票期間中に、こども投票として親御さん達と同様の投票箱を使用した投票を実施し、子育て世代の投票環境の向上と選挙に親しみを持っていただくためのイベントを開催した。

6 明るい選挙啓発ポスターの募集

小学校	8校	55点	（佳作1点）
中学校	4校	70点	（佳作2点）

7 明るい選挙啓発ポスター展示

12月7日～12月24日 シルキービル市民プラザ

8 その他

啓発幕の掲示のほか、防災行政無線により長野県知事選挙の投票日の周知、投票参加呼びかけ放送を実施し、(株)Goolight を活用し、投票日告知に係る放送を行った。また、各種選挙の執行にあたり、啓発チラシを全戸配布した。

2-4-2 (目) 選挙執行費

単位：円

当初 予算額	44,406,000	予算 現額	31,709,000	決算額	26,139,287	前年度 決算対比	179.5%	前年度 決算額	14,560,986
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 県知事選挙執行経費

単位：円

当初 予算額	14,851,000	予算 現額	14,851,000	決算額	12,728,556	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

長野県知事選挙（7月19日告示・8月5日執行）に係る事務を執行する。

II 事業の成果等

長野県知事選挙について、投・開票事務を迅速かつ正確に執行した。

III 事業の実績

1 当日の有権者数等

有権者数 (人)			投票者数 (人)			投票率 (%)		
男	女	計	男	女	計	男	女	計
20,294	21,936	42,230	8,022	8,767	16,789	39.53	39.97	39.76

2 開票の結果

有効投票数 16,650 票
無効投票数 138 票

候補者別得票数等

候補者氏名	党 派	得票数(票)	得票率(%)	備 考
阿 部 守 一	無所属	14,373	86.32	当選
金 井 忠 一	無所属	2,277	13.68	

3 備品購入の状況

品 名	数 量	金 額 (円)
開 票 集 計 シ ス テ ム	1 式	524,880

■ 市議会議員選挙執行経費

単位：円

当 初 予算額	29,555,000	予算 現額	11,028,000	決算額	9,447,058	前 年 度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
------------	------------	----------	------------	-----	-----------	---------------	----	------------	---

I 事業の目的

須坂市議会議員一般選挙（1月27日告示・2月3日執行）に係る事務を執行する。

II 事業の成果等

須坂市議会議員一般選挙について、投・開票事務準備及び選挙会事務を執行した。

III 事業の実績

定数20人に対して20人の立候補であったことから無投票となった。

■ 県議会議員選挙執行経費

単位：円

当 初 予算額	0	予算 現額	5,830,000	決算額	3,963,673	前 年 度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
------------	---	----------	-----------	-----	-----------	---------------	----	------------	---

I 事業の目的

長野県議会議員一般選挙（3月29日告示・4月7日執行）に係る事務を執行する。

II 事業の成果等

長野県議会議員一般選挙の準備等を行った。

2-5-1(目)統計調査総務費

単位：円

当 初 予算額	8,592,000	予算 現額	8,564,000	決算額	8,559,036	前 年 度 決算対比	99.3%	前年度 決算額	8,621,214
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

2-5-2(目)基幹統計調査費

単位：円

当 初 予算額	3,989,000	予算 現額	3,750,000	決算額	3,720,280	前 年 度 決算対比	204.1%	前年度 決算額	1,822,901
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	--------	------------	-----------

■ 基幹統計調査費

単位：円

当 初 予算額	3,989,000	予算 現額	3,750,000	決算額	3,720,280	前 年 度 決算対比	204.1%	前年度 決算額	1,822,901
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

総務大臣が指定した基幹統計調査を円滑、かつ正確に実施する。調査によって収集した情報を整理し、行政施策立案の資料とする。また、調査が円滑に実施できるよう、各種統計に対する関心を高めるとともに調査員の確保を図る。

II 事業の成果等

例年実施される学校基本調査、及び工業統計調査をはじめ、5年周期の住宅・土地統計調査、経済センサス基礎調査実施準備、2020年農林業センサス調査準備、2020年国勢調査準備を実施した。集計結果は総務省統計局等から順次公表される。統計資料の刊行により、各種調査結果等を広く周知することができた。

III 事業の実績

1 学校基本調査（統計法に基づく基幹統計調査、5月1日現在）

学校教育法に定める学校の調査（県交付金 14,424 円）

調査結果概要

	園・学校数	学級数	園児・児童・生徒数	教員数	職員数
幼稚園	5	16	217 人	28 人	4 人
幼保連携型認定こども園	1	7	137 人	15 人	4 人
小学校	11	125	2,694 人	187 人	51 人
中学校	4	52	1,313 人	99 人	32 人
特別支援学校	1	13	31 人	19 人	7 人

2 工業統計調査（統計法に基づく基幹統計調査、6月1日現在）

製造業の事業所を対象として、工業の実態を明らかにする。（県交付金 441,749 円）

(1) 調査区 89 調査区

(2) 調査員 15 人

3 住宅・土地統計調査（統計法に基づく基幹統計調査、10月1日現在）

住宅と世帯の居住状況、保有する土地等の実態調査を目的とする。（県交付金 3,134,000 円）

(1) 調査区 110 調査区

(2) 指導員 8 人

(3) 調査員 45 人

4 経済センサス基礎調査実施準備

2020年に実施する経済センサス基礎調査のための実施準備事務。（県交付金 1,831 円）

5 2020年農林業センサス調査準備

2020年2月1日現在で実施する2020年農林業センサスのための実施準備事務。（県交付金 0 円）

6 2020年国勢調査準備

2020年10月1日現在で実施する2020年国勢調査のための実施準備事務。（県交付金 1,100 円）

7 統計資料の公表（市ホームページに掲載）

(1) 須坂市の工業（平成29年工業統計調査による） 12月

(2) 須坂市の経済（平成28年経済センサス - 活動調査による） 12月

(3) 須坂市の統計 3月

8 統計調査員確保対策事業

登録統計調査員数が 55 人で登録基準数（須坂市 45 人）を上回っているため、県委託による本事業を受託しなかった。

2-6-1 (目) 監査委員費

単位：円

当初予算額	12,259,000	予算現額	12,305,000	決算額	12,131,109	前年度決算対比	101.9%	前年度決算額	11,905,497
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

■ 監査事務費

単位：円

当初予算額	2,452,000	予算現額	2,452,000	決算額	2,301,046	前年度決算対比	105.4%	前年度決算額	2,183,500
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	--------	--------	-----------

I 事業の目的

市の行財政運営及び事務事業の執行について監査等を実施する。

II 事業の成果等

地方自治法の規定による現金出納検査、決算審査、定期監査及び財政援助団体等の監査及び地方公共団体の財政健全化に関する法律に基づく健全化判断比率と資金不足比率の審査を実施し、効率的で公正かつ透明性の高い行財政運営の確保を図った。

須坂市議会へ出席し、決算審査についての報告を行った。

III 事業の実績

1 地方自治法第 235 条の 2 第 1 項の規定による現金出納検査の実施

例月現金出納検査 12 回

現金出納検査の結果について、市長及び市議会議長に報告した。

2 地方自治法第 233 条第 2 項及び第 241 条第 5 項、地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定による決算審査及び地方公共団体の財政健全化に関する法律第 3 条、第 22 条の規定による健全化判断比率、資金不足比率とその算定の基礎となる事項を記載した書類の審査の実施

7 月 2 日～7 月 19 日の間実施

決算審査の結果及び財政健全化意見書について、8 月 20 日に市長へ報告した。

健全化判断比率（一般会計等）

区分 \ 年度	29 年度	28 年度	27 年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 (%)	—	—	—	13.06 ※1	20.00
連結実質赤字比率 (%)	—	—	—	18.06 ※2	30.00
実質公債費比率 (%)	8.6	8.0	7.9	25.00	35.00
将来負担比率 (%)	33.1	33.4	38.5	350.00	—

※1 平成 28 年度:13.07、27 年度:13.06 $\{(標準財政規模+100 億)/(30 \times 標準財政規模) \times 100 + 20\} / 2$

※2 平成 28 年度:18.07、27 年度:18.06 実質赤字比率の早期健全化基準+5%

それ以外はすべて固定基準

資金不足比率

特別会計名	事業規模 A	資金不足額 B	資金不足比率 B/A	(参考) 経営健全化基準
下水道事業会計	870,033	—	—	20%
水道事業会計	1,062,347	—	—	
宅地造成事業会計	546,300	—	—	

3 地方自治法第 199 条第 4 項の規定による定期監査の実施

10 月 9 日～11 月 8 日の間実施

定期監査の結果について、11 月 20 日に意見を付して市長及び市議会議長ほか関係機関へ報告した。

4 豊丘財産区の監査等の実施

(1) 決算審査を 7 月 19 日に実施し、その結果について意見を付して財産区管理者及び財産区議会議長に報告した。

(2) 定期監査を 11 月 7 日に実施し、その結果について財産区管理者及び財産区議会議長へ報告した。

5 地方自治法第 199 条第 7 項の規定による財政援助団体等の監査の実施

11 月 8 日に社会福祉法人 須坂市社会福祉協議会の監査を実施し、その結果について意見を付して市長及び市議会議長へ報告した。

6 代表監査委員として、市議会に出席した。

款 3 民 生 費

(款3) 民生費

単位：円

当初 予算額	6,829,696,000	予算 現額	6,935,143,000	決算額	6,664,694,054	前年度 決算対比	94.7%	前年度 決算額	7,037,419,601
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	-------	------------	---------------

3-1-1 (目) 社会福祉総務費

単位：円

当初 予算額	1,231,402,000	予算 現額	1,215,818,000	決算額	1,202,654,809	前年度 決算対比	87.7%	前年度 決算額	1,371,874,770
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	-------	------------	---------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	12,468,000	予算 現額	13,009,000	決算額	12,605,539	前年度 決算対比	81.2%	前年度 決算額	15,517,323
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

平和への思いを新たにするため、戦没者追悼式を開催するとともに、(福)須坂市社会福祉協議会へ貸与している建物等の管理を行うこと等により、市民福祉の向上に寄与する。

II 事業の成果等

戦没者追悼式では、広島平和学習へ参加した中学生の発表や参加者全員の献花などにより、若い世代に平和の尊さが引き継がれていくことの大切さを伝えることができた。

III 事業の実績

1 須坂市戦没者追悼式

戦没者に対し、市をあげて哀悼の誠を捧げ、平和への思いを新たにするために開催した。

- (1) 期 日 11月2日(金)
- (2) 場 所 メセナホール(小ホール)
- (3) 参加者 160人
- (4) 体験発表 2人(中学生2人)

2 建物等の借上げの状況

- (1) (福)須坂市社会福祉協議会事務室関係 7,971,760円(東日本電信電話(株))
- (2) 須坂市福祉ボランティアセンター土地借上料 421,600円(個人1人)

3 修繕・工事の状況

須坂市福祉会館2階トイレ漏水修理 118,800円

4 法外扶助

住所不定者等に対する援助 1人 500円

■ 地域福祉推進事業

単位：円

当初 予算額	86,410,000	予算 現額	91,319,000	決算額	83,845,470	前年度 決算対比	102.2%	前年度 決算額	82,072,635
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

民生児童委員協議会の事務や(福)須坂市社会福祉協議会をはじめとした福祉団体等の活動費を助成することにより、地域福祉の推進を図る。

II 事業の成果等

民生児童委員及び主任児童委員（須坂市福祉委員）及び(福)須坂市社会福祉協議会をはじめとした福祉団体等との共創により、地域福祉の推進が図られた。

III 事業の実績

1 民生児童委員活動関係

(1) 民生児童委員の状況（3月31日現在）

	男女別	地域担当民生児童委員（人）	主任児童委員（人）	計（人）
委 員	男	48	6	54
	女	58	7	65
	計	106	13	119

(2) 主な活動状況

項 目	種 別	延件数（件）
分野別相談・支援	高 齢 者 に 関 す る こ と	1,879
	障 が い 者 に 関 す る こ と	178
	子 ど も に 関 す る こ と	336
	そ の 他	558
	計	2,951
その他の活動	調 査 ・ 実 態 把 握	1,386
	行 事 ・ 事 業 ・ 会 議 へ の 参 加	5,995
	地 域 福 祉 活 動 ・ 自 主 活 動	6,820
	民 生 児 童 委 員 協 議 会 運 営 ・ 研 修	3,115
	証 明 （ 調 査 ・ 確 認 等 ） 事 務	510
	要 保 護 児 童 の 発 見 の 通 告 ・ 仲 介	20
	計	17,846

活動日数 延18,503日 訪問回数 延28,702回

(3) 民生児童委員協議会研修会（「こころの健康づくり講座」へ参加）

ア 期 日 11月11日（日）
イ 場 所 須坂市保健センターリハビリルーム
ウ 内 容 講 演
演 題 「生きる支援～いのちつなぐ須坂市をめざして～」
講 師 NPO法人自殺対策支援センター ライフリンク代表 清水 康之 氏
エ 参加者数 103人

(4) 管外視察研修

ア 期 日 10月10日（水）～10月11日（木）
イ 研修内容
10月10日 視 察 金沢福祉用具情報プラザ（石川県金沢市）
10月11日 講演会 会場 サンシップとやま（富山県富山市）
第1部 演題 富山型ディサービス事業について
講師 富山県厚生部厚生企画課 地域共生福祉係長 鈴木 義治 氏
第2部 演題 ふれあいコミュニティ・ケアネット21（ケアネット活動）
講師 富山県社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア振興課
課長 池田 浩一郎 氏
ウ 参加者数 76人

2 災害時要配慮者避難支援計画（新・地域見守り安心ネットワーク）の更新

(1) 重度障がい者、ねたきり高齢者、一人暮らし高齢者など要配慮者の災害時等における避難をスムーズに行うため、平成19年度に策定した本計画について、(福)須坂市社会福祉協議会、区長会、民生児童委員協

議会の協力のもと、市内全 69 町において計画の更新が行われた。

更新説明会の開催 2 月 21 日（木）・22 日（金）須坂市保健センター 各町区長及び民生委員 132 人
新・地域見守り安心ネットワーク名簿を基に、新たに「須坂市災害時避難行動要支援者名簿」を作成した。

(2) 要配慮者台帳管理システム賃貸借

要配慮者台帳管理システムが 10 月 1 日から(株)電算のシステムに変更になるため、移行に向けて調整を行い、災害時要配慮者避難支援計画（新・地域見守り安心ネットワーク）のデータ更新をスムーズに行うことができた。

賃貸借先 (株)電算 (10 月～3 月)

要援護者支援業務委託料 58,968 円

システム使用料 207,360 円

3 福祉企業センター（社会事業授産施設）土地賃借料 1,476,036 円（個人 2 人）

4 民生児童委員向け世帯異動通知の実施

民生児童委員活動を支援するため、毎月、転入、転出、死亡、出生等の世帯異動通知書を送付した。

5 助け合い推進事業の委託

地域における住民の助け合いによる福祉活動を支援するための事業を委託した。

(1) 委託先 (福)須坂市社会福祉協議会

(2) 委託料 4,771,046 円

(3) 事業内容 福祉コーディネーターの設置

すざか助け合い推進センターの管理運営

助け合い推進会議の開催 2 回 会員 58 人

第 13 回助け合い推進大会の開催 2 月 9 日（土）

6 災害ボランティア派遣事業の委託

東日本大震災等による被災地への災害ボランティア派遣事業を委託した。

(1) 委託先 (福)須坂市社会福祉協議会

(2) 委託料 600,000 円

(3) 事業内容 被災地においての災害ボランティア活動に必要な旅費等の補助

宮城県南三陸町、福島県郡山市

活動回数 3 回 延 110 人を派遣

7 障害者等交通災害見舞金の給付

障害者等の福祉向上のため、交通事故災害者に見舞金を給付した。

10,000 円×9 人=90,000 円（入院・通院の合計日数が 30 日以上による見舞金）

8 福祉避難所運営マニュアルの策定

災害発生時において指定避難所へ避難した方のうち、避難所生活において避難者自身の身体機能の低下等による二次災害を防ぐために避難を行う場所として位置付けられている福祉避難所の設置・運営に関するマニュアルを策定した。

9 福祉避難所に関する協定の締結

災害時において須坂市地域防災計画に基づき、福祉避難所を設置・運営するための協定を締結した。

協定締結先及び指定施設

- | | |
|------------------------|------------------------|
| (1) (福) グリーンアルム福祉会 | グリーンアルム複合施設 |
| (2) (福) 睦会 | 総合福祉施設 須坂やすらぎの園 |
| (3) (福) 須坂市社会福祉協議会 | 地域密着型特別養護老人ホーム めくもり園 |
| (4) (株) ケアネット | 長野サービスセンター |
| (5) NPO 法人生活支援センターオアシス | 悠々オアシス |
| (6) (医) 公仁会 | とどろきグループホーム |
| (7) (福) なずな | 地域密着型小規模特別養護老人ホーム そのさと |
| (8) 長野広域連合 | 特別養護老人ホーム 須坂荘 |
| (9) (福) 育護会 | 障がい者支援施設 さくらの杜育豊 |
| (10) (福) りんどう信濃会 | 障がい者支援施設 須坂悠生寮 |

■ 中国残留邦人生活支援事業

単位：円

当 初 予算額	10,000,000	予算 現額	10,000,000	決算額	7,830,001	前 年 度 決算対比	78.7%	前年度 決算額	9,953,023
------------	------------	----------	------------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

中国残留邦人に対して「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律」により、老後の生活の安定のための支援を講じる。

II 事業の成果等

被支援世帯に対して、高齢基礎年金を補完する生活支援給付等を行うとともに、必要に応じて県の相談員と連携し支援を行った。

III 事業の実績

1 支援給付の状況 (31 年 3 月)

世 帯 種 別 支 援 世 帯 数		人 員 (人)
残留邦人夫婦世帯	その他世帯	5
2	1	

2 支援給付の実施状況

区 分	延世帯数(世帯)	延人員(人)	給付費(円)	構成比率(%)
生活支援給付費	36	65	2,672,670	34.13
住宅支援給付費	36	65	531,600	6.79
介護支援給付費	1	1	16,063	0.20
医療支援給付費	38	67	4,128,410	52.73
葬祭扶助給付費	1	1	178,200	2.28
配偶者支援金	1	7	303,058	3.87
計	113	206	7,830,001	100.00

3 家庭訪問の実施

被支援3世帯について家庭訪問実施 6月25日(月) 長野県長野保健福祉事務所職員同行

■ 福祉ボランティアセンター管理事業

単位：円

当 初 予算額	212,000	予算 現額	212,000	決算額	211,660	前 年 度 決算対比	75.7%	前年度 決算額	279,484
------------	---------	----------	---------	-----	---------	---------------	-------	------------	---------

I 事業の目的

地域福祉の推進にボランティアの果たす役割の重要性が増している中、福祉ボランティアセンターの管理を（福）須坂市社会福祉協議会に委託し、各種ボランティア団体の育成、連絡調整を図る。

II 事業の成果等

福祉ボランティアセンターの管理運営は、指定管理者の（福）須坂市社会福祉協議会が行い、各種福祉団体に利用された。

III 事業の実績

1 指定管理者の状況

指定管理者 (福) 須坂市社会福祉協議会
 指定の期間 平成 28 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで
 管理経費 186,000 円 (平成 30 年度)

2 利用状況

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
延べ利用団体数 (団体)	31	31	26	29	23	33	31	31	24	24	27	37	347
延べ利用人員 (人)	223	221	180	190	160	230	213	214	180	208	222	274	2,515

3 機器賃借

印刷機リース 平成 30 年 10 月 1 日から令和元年 9 月 30 日まで(再リース) 年額 17,884 円
 コピー機リース 平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで (再リース) 年額 7,776 円

■ 国民健康保険事業

単位：円

当 初 予算額	283,387,000	予算 現額	275,351,000	決算額	274,503,937	前 年 度 決算対比	76.9%	前年度 決算額	357,071,000
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

一般会計より国民健康保険特別会計に繰出金を繰出し、国民健康保険財政の健全化を図る。

II 事業の成果等

国民健康保険事業実施のため、保険基盤安定事業繰出金、財政安定化支援事業繰出金、出産育児一時金繰出金、事務費繰出金等を国民健康保険特別会計へ繰り出した。

III 事業の実績

国民健康保険特別会計への繰出金 274,503,937 円

■ 介護保険事業

単位：円

当 初 予算額	627,232,000	予算 現額	631,382,000	決算額	631,381,268	前 年 度 決算対比	108.6%	前年度 決算額	581,575,560
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

一般会計より介護保険特別会計に繰出金を繰出し、介護保険財政の健全化を図る。

II 事業の成果等

介護保険事業実施のため、介護給付費繰出金、地域支援事業費繰出金、事務費繰出金、保険料公費軽減繰出金等を介護保険特別会計へ繰出を行い、介護保険の運営健全化を図った。

III 事業の実績

介護保険特別会計への繰出金 631,381,268 円

■ 生活困窮者自立支援事業

単位：円

当初 予算額	17,883,000	予算 現額	18,548,000	決算額	16,416,417	前年度 決算対比	112.1%	前年度 決算額	14,645,429
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

現に経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者に対して、自立の支援に関する措置を講じ、自立の促進を図ることを目的とする。

II 事業の成果等

(福)須坂市社会福祉協議会、長野県及び(株)タベ・インターナショナルへ事業を委託し、須坂市生活就労支援センターまいさぼ須坂、(特非)長野県NPOセンター及び(株)タベ・インターナショナルにおいて、生活困窮者自立支援法に基づく事業を行い、生活困窮者の自立に向けた支援を実施した。

まいさぼ須坂については、支援体制の強化を図るため就労支援員を1名増員し4名とした。また、支援により就労開始につながったケースが30件あった。

III 事業の実績

1 生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者等からの相談に包括的に対応するとともに、自立に向けた支援を行った。

(1) 相談件数等

新規相談者数(人)	118
延べ相談回数(回)	2,986

(2) 相談・支援結果

項 目		件数(件)	備 考
継続中のもの	相談、支援継続中	149	課題整理、生活安定のため継続支援
	生活状況の改善	22	就労定着等による改善
終了したもの	他機関紹介	10	障害者支援機関等の紹介
	相談・助言	8	相談助言により解決、終了
	中断・終了(死亡含む)	34	連絡の中断等
	生活保護へのつなぎ	11	生活保護の申請
計		234	平成30年度の新規相談者118名と平成29年度からの継続者116名の合計

(3) 支援調整会議の開催

自立支援計画の適切性の協議、自立支援計画終結時の評価等を行った。

ア 定期会議(偶数月の第3木曜日) 6回

イ プランに応じての随時会議 3回

(4) 委託先 (福)須坂市社会福祉協議会

(5) 委託料 13,643,456 円

2 生活困窮者住居確保給付金事業

離職により住居を失った、またはそのおそれの高い生活困窮者であって所得等が一定水準以下の者に対して有期で家賃相当額を給付する事業。

1 件 124,400 円

3 生活困窮者就労準備支援事業

直ちに一般就労への移行が困難な生活困窮者に対して、必要な知識取得及び能力向上の支援を行った。

(1) 市単独事業

ア 就労準備支援プログラム策定者数 2 人

イ 委託先 (株)タベ・インターナショナル

ウ 委託料 449,602 円

(2) 県共同実施事業

ア 就労準備支援プログラム策定者数 2 人

イ 委託先 (特非)長野県NPOセンター

ウ 負担金 1,150,000 円

4 生活困窮者家計相談支援事業

家計に問題を抱える生活困窮者に対して家計表の作成等の家計に関する相談支援を行った。

(1) 家計再生プラン策定者数及び件数 1 人

(2) 委託先 (福)須坂市社会福祉協議会

(3) 委託料 384,427 円

5 須坂市生活困窮者自立支援連携調整会議の開催

生活困窮者を早期に把握し、本人の状況に応じて必要な支援を行うため、庁内関係課等による情報共有を行った。

(1) 8 月 22 日 (水) 出席者 25 人

(2) 実施内容 生活困窮者自立支援制度について 須坂市生活就労支援センター「まいさぼ須坂」について まいさぼ須坂の平成 29 年度の実績について まいさぼ須坂、関係各課による連携における課題等について

6 須坂市自殺予防対策連絡会議ひきこもり対策部会の開催

ひきこもり及び不登校に関する情報の共有、課題の整理等を行うとともに、必要な施策等を行うことについて、庁内関係課等による協議を行った。

(1) 6 月 4 日 (月) 出席者 8 人 部会の設置経過、平成 30 年度の取り組みについて

(2) 8 月 28 日 (火) 出席者 9 人 各課等で把握するひきこもり・不登校に関する情報の共有について 義務教育を修了したケースについて

(3) 12 月 25 日 (火) 出席者 9 人 各課等で把握するひきこもり・不登校に関する情報の共有について ひきこもり相談窓口の広報について

■ 臨時福祉給付金給付事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	1,463,000	決算額	1,463,000	前年度 決算対比	1.2%	前年度 決算額	127,197,269
-----------	---	----------	-----------	-----	-----------	-------------	------	------------	-------------

I 事業の目的

平成 26 年 4 月から消費税率が 8 % に引き上げられたことによる影響が大きい低所得の方、また、「一億総活躍社会」の実現に向け、賃金引上げの恩恵が及びにくい方を支援する、暫定的・臨時的な措置として、臨時福祉給付金を支給する。

II 事業の成果等

平成 28・29 年度に実施した臨時福祉給付金の精算を行った。

III 事業の実績

1 臨時福祉給付金の返還

返還額 1,463,000 円

3-1-2 (目) 障害者福祉費

単位：円

当初予算額	1,135,658,000	予算現額	1,163,292,000	決算額	1,087,585,516	前年度決算対比	100.8%	前年度決算額	1,078,636,979
-------	---------------	------	---------------	-----	---------------	---------	--------	--------	---------------

■ 在宅福祉サービス事業

単位：円

当初予算額	65,486,000	予算現額	64,749,000	決算額	58,569,372	前年度決算対比	102.6%	前年度決算額	57,097,084
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

I 事業の目的

障がい者の在宅生活における生活の向上及び介護者の生活の安定を図る。

II 事業の成果等

心身障がい児・者の日常生活を支援するため、障害者手帳の交付など、各種事業を実施し福祉の増進に努めた。

III 事業の実績

1 身体障害者手帳所有者数（3月31日現在）

(人)

区分	視覚障害	聴覚障害	ろうあ	音声言語機能障害	そしゃく機能障害	心臓機能障害
人数	110	144	19	24	1	348

じん臓機能障害	呼吸器機能障害	膀胱・直腸機能障害	小腸機能障害	その他内臓機能障害	体幹機能障害	上肢切断
134	53	73	3	14	268	37

上肢機能障害	下肢切断	下肢機能障害	計
280	17	592	2,117

2 療育手帳所有者数（3月31日現在）

(人)

区分	重度	中度	軽度	計
人数	135	131	162	428

3 精神保健福祉手帳所有者数（3月31日現在）（人）

区 分	1 級	2 級	3 級	計
人 数	305	230	27	562

4 在宅福祉サービスの状況

在宅心身障がい児・者の福祉向上を図るため、次の事業を実施した。

事 業 名	事 業 の 概 要	事 業 費（円）
〈慰労金支給の状況〉 重度心身障害者介護慰労金	支給該当者 66 人 （3か月以上在宅で重度心身障がい児・者を介護している介護者、月額8,000円）	6,080,000
〈事業委託の状況〉 身体障害者機能訓練事業	（一財）須崎市身体障害者福祉協会へ委託 利用者 1,518 人	600,000
〈手当等の状況〉 重度障害児・者理美容料給付費	利用人員 11 人 年間8枚交付（訪問理美容含む）	78,000
在宅心身障害児・者保護措置費	タイムケア 利用人員 167 人（ワークハウスわらしべ 外26法人、2個人）	5,045,550
人工透析患者等見舞金	支給対象者 191 人 人工透析患者 126 人 年額40,000円 人工肛門受術者 65 人 年額32,000円	7,120,000
重度障害児・者おむつ給付費	利用人員 27 人 年間48枚交付	972,629
重度心身障害児（者）等 タクシー利用料給付費	利用者 123 人 利用枚数 2,245 枚 普通車 2,211 枚 1,945,680円 福祉車両 34 枚 27,200円	1,972,880
重度精神障害者福祉金	支給対象者 528 人	23,454,000
特定疾患等患者見舞金	支給対象者 110 人	1,100,000
〈手帳等の交付申請受付の状況〉 身体障害者手帳交付 療育手帳交付 精神障害者保健福祉手帳交付 自立支援医療（精神通院）受給者証	新規受付 105 件、 程度変更等受付 92 件 新規受付 13 件、 再判定等受付 23 件 新規受付 63 件、 再判定等受付 236 件 新規受付 60 件、 再判定等受付 618 件	

5 障害者施設土地借上げ

項 目	金 額（円）
須坂ひだまり作業所土地借上げ料	973,600（個人1人）
ワークスペース夢工房土地借上げ料	291,990（個人1人）
ぶどうの家土地借上げ料	1,000,000（個人1人）

6 指定管理者の状況

障害者総合支援法の規定に基づき、生産活動、創作活動及びその他の活動の機会を提供し、障害者等の福祉の増進を図るため、障害福祉サービス事業所を設置し、指定管理業務を委託した。

(1) 指定管理施設名 ぶどうの家

指定管理者 (福)須坂市社会福祉協議会

指定の期間 平成28年4月1日から令和3年3月31日まで

管理経費 4,000,000 円 (平成30年度 支援費 10,889,000 円)

(2) 指定管理施設名 須坂ひだまり作業所

指定管理者 (福)夢工房福祉会

指定の期間 平成28年4月1日から令和3年3月31日まで

(平成30年度 支援費 48,818,000 円)

7 スポーツ大会への参加

(1) 長野地区障がい者スポーツ大会

期 日：平成30年5月26日 場 所：長野市運動公園総合運動場 陸上競技場ほか 参加選手 42 人

(2) 長野県障がい者スポーツ大会

期 日：平成30年9月9日 場 所：松本平広域公園陸上競技場ほか 参加選手 38 人

8 修繕

ひだまり作業所エアコン修繕 810,000 円

ひだまり作業所アスファルト修繕 96,422 円

ぶどうの家屋根修繕 29,289 円

■ 地域生活支援事業

単位：円

当初 予算額	60,041,000	予算 現額	55,795,000	決算額	50,461,259	前年度 決算対比	107.3%	前年度 決算額	47,042,039
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

地域生活支援事業を実施し、障がい者の社会活動の促進を図る。

II 事業の成果等

障がい者の状況に応じ、社会活動促進事業を中心に事業を実施するとともに、障がい者の自立と社会参加の促進を図った。

III 事業の実績

障害者社会活動促進事業

事業名	事業の概要	事業費(円)
スポーツ大会開催事業 (須坂市身体障害者福祉協会へ委託)	マレットゴルフ大会 参加者 22 人 卓球大会 参加者 34 人	105,000
朗読奉仕員養成事業 (須坂あかりの会へ委託)	視覚障がい者等への対面朗読等に従事する 初心者コース 5回 11 人 中級者コース 21 人	80,000
手話奉仕員養成事業 (須坂手話サークルへ委託)	手話表現技術を習得するための奉仕員の養成 25 回 受講者 9 人	270,000

事業名	事業の概要	事業費(円)
手話通訳者設置事業	手話通訳者 1 人	2,511,080
点字広報発行事業 (ありんこの会へ委託)	視覚障がい者用点字版市報作成 4 部	—
声の広報発行事業	広報すざか (年 12 回) 利用人員 8 人	—
生活訓練事業	日常生活における一般教養講座の開催 料理教室 2 回 参加者延べ 34 人	43,200
手話通訳者派遣事業	登録手話通訳者数 8 人 延べ 99 人派遣	335,631
要約筆記奉仕員派遣事業	登録要約筆記者数 3 人 派遣なし	0
訪問入浴サービス事業 (〔福〕須坂市社会福祉協議会へ委託)	利用人員 3 人 143 回	1,711,250
障害者等相談支援事業 (NPO 法人須高地域総合支援センターへ委託)	須高地域総合支援センター 相談件数 5,777 件	13,879,344
地域活動支援センター事業 (NPO 法人すざかの風へ委託)	地域活動支援センター ピアハウス 利用者 延べ 1,893 人	7,500,000
地域活動支援センター事業 (他市町村利用分)	利用人員 延べ 3 人	49,000
地域生活支援拠点整備事業	さくらの杜育豊・須坂悠生寮・まいぺーすへ緊急時受入用の空床確保を委託	636,944
身体障害者等日常生活用具給付費	身体障害者給付件数 458 件 身体障害児給付件数 15 件	8,574,784 252,944
移動支援サービス事業	利用者 63 人 年間利用時間 3,786 時間	7,355,825
日中一時支援サービス事業	利用者 6 人 年間利用時間 1,190 時間	952,000
長野地域連携中枢都市圏事業	精神障がい者地域生活支援コーディネーターによる相談 利用者 2 人	68,781

■ 支援費サービス事業

単位：円

当初予算額	982,223,000	予算現額	1,017,989,000	決算額	954,335,017	前年度決算対比	100.5%	前年度決算額	949,383,416
-------	-------------	------	---------------	-----	-------------	---------	--------	--------	-------------

I 事業の目的

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、自立支援サービス事業を実施し、障がい者（児）の自立を図る。

II 事業の成果等

施設サービス及び居宅サービスの活用が図れるよう相談支援を行う中で、各種サービスの利用が図られた。

Ⅲ 事業の実績

1 施設サービス

(1) 生活介護支援費

年間実利用者数 (人)	支 援 費 (円)	施 設 名
118	284, 940, 589	ワークハウスわらしべ外 39 施設

(2) 施設入所支援費

年間実利用者数 (人)	支 援 費 (円)	施 設 名
52	84, 272, 260	須坂悠生寮外 19 施設

(3) 自立訓練支援費 (機能訓練)

年間実利用者数 (人)	支 援 費 (円)	施 設 名
2	924, 770	長野県立総合リハビリテーションセンター

(4) 自立訓練支援費 (生活訓練)

年間実利用者数 (人)	支 援 費 (円)	施 設 名
13	4, 088, 964	ワークスペース夢工房外 4 施設

(5) 自立訓練支援費 (宿泊型)

年間実利用者数 (人)	支 援 費 (円)	施 設 名
7	4, 091, 570	メゾン・ド・エスポワール外 1 施設

(6) 就労移行支援費

年間実利用者数 (人)	支 援 費 (円)	施 設 名
26	15, 050, 967	LINK 外 7 施設

(7) 就労継続支援費 A 型 (雇用型)

年間実利用者数 (人)	支 援 費 (円)	施 設 名
31	41, 653, 115	キセキの里外 5 施設

(8) 就労継続支援費 B 型

年間実利用者数 (人)	支 援 費 (円)	施 設 名
189	227, 911, 092	須坂技術学園外 28 施設

(9) 療養介護

年間実利用者数 (人)	支 援 費 (円)	施 設 名
11	福祉部分 33, 936, 130 医療部分 9, 926, 599	東長野病院外 2 施設

2 居宅サービス

(1) 居宅介護事業

区 分	年間実利用者数 (人)	年間総利用時間数 (時間)	支援費 (円)
居宅介護支援費 (ホームヘルプ)	67	4, 855	23, 863, 052
重度訪問介護支援費	1	2, 058	5, 629, 110
行動援護支援費	7	1, 255	6, 108, 689
同行援護支援費	7	555	1, 314, 604
計	82	8, 723	36, 915, 455

(2) 短期入所事業

年間実利用者数 (人)	年間総利用回数 (回)	支 援 費 (円)
52	1, 776	11, 443, 185

(3) 共同生活介護等支援事業 (共同生活住居)

年間実利用者数 (人)	支 援 費 (円)	施 設 名
61	86, 132, 654	しばみや荘外 26 施設

3 障害児通所サービス

区 分	年間実利用者数（人）	年 間 総 利 用 回数（回）	支 援 費 （円）
放課後等デイサービス費	70	4,709	41,151,934
児童発達支援費	5	82	1,016,318
保育所等訪問支援費	3	17	285,191
計	78	4,808	42,453,443

4 在宅福祉サービスの状況

事 業 名	事 業 の 概 要	事 業 費（円）
身体障害者補装具給付費	交付 35 件 修理 33 件	4,858,536
身体障害児補装具給付費	交付 15 件 修理 2 件	2,324,642
身体障害者更生医療給付費	給付人員 29 人	29,172,938
身体障害児育成医療給付費	給付人員 5 人	597,716

5 高額障害福祉サービス費

同一世帯で、障害福祉サービス利用者が複数いる場合や、障害福祉サービス利用者が介護保険サービスを利用した場合等に、世帯における利用者負担額が月額負担上限額を超えた者に支給した。

対象者 2 人 支払額 13,329 円

6 高額障害児通所サービス費

同一世帯で、障害児通所サービス利用者が複数いる場合や、障害児通所サービス利用者が障害福祉サービスを利用した場合等に、世帯における利用者負担額が月額上限負担額を超えた者に支給した。

対象者 1 人 支払額 476 円

7 計画相談支援費

障害福祉サービスを利用する者に必要なサービス等利用計画を作成した事業所に対し支給した。

利用者 延 910 人 支援費 14,426,104 円

8 障害児相談支援費

障害児通所支援サービスを利用する者に必要なサービス等利用計画を作成した事業所に対し支給した。

利用者 延 167 人 支援費 2,673,490 円

9 地域移行支援費

障害者支援施設等に入所している障害者又は精神科病院等に入院している精神障害者その他地域生活に移行するために重点的な支援を必要とする者につき、住居の確保その他地域生活に関する相談支援、調整等を行う。

利用者 2 人 支援費 311,944 円

10 障害支援区分認定等

(1) 申請件数等の状況

(件)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
申請件数	13	8	13	15	18	20	14	17	13	15	9	8	163
認定件数	8	4	12	12	14	14	20	13	16	13	17	13	156

(2) 認定者数(3月31日現在)

(人)

区 分	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
人 数	15	116	75	50	49	53	358

■ 障害者手当給付事業

単位：円

当初 予算額	27,908,000	予算 現額	24,759,000	決算額	24,219,868	前年度 決算対比	96.4%	前年度 決算額	25,114,440
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

特別障害者手当等の給付を行い、障がい者の生活を支援する。

II 事業の成果等

特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、各種手当を支給し、障がい者の在宅生活を支援した。

III 事業の実績

障害者社会活動促進事業

事業名	事業の概要	事業費(円)
特別障害者手当・障害児福祉手当・福祉手当	支給該当者（3月31日現在） 特別障害者手当 67人（月額 26,940円） 障害児福祉手当 16人（月額 14,650円） 福祉手当 1人（月額 14,650円）	24,131,760

3-1-3 (目) 高齢者対策費

単位：円

当初 予算額	65,492,000	予算 現額	62,030,000	決算額	57,231,193	前年度 決算対比	29.6%	前年度 決算額	193,286,761
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	3,882,000	予算 現額	3,857,000	決算額	3,770,519	前年度 決算対比	108.6%	前年度 決算額	3,470,491
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

高齢者福祉に係る一般管理業務を行う。

II 事業の成果等

老人デイサービスセンターすえひろの施設整備を行い、利用改善を図った。

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、高齢者支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、須坂市高齢者施策推進協議会を開催した。

III 事業の実績

1 須坂市老人デイサービスセンター「すえひろ」の管理運営

(1) 指定管理の状況

指定管理者 (福) 須坂市社会福祉協議会
代表者名 会長 植木 新一

(2) 指定の期間 平成28年4月1日から令和3年3月31日

管理経費 無償

(3) 施設の整備状況

修繕内容	金額(円)
貯湯槽用逃し弁改修	142,560
風呂場及び洗面場修繕	88,473
特殊浴槽手元スイッチ修繕	52,434

修繕内容	金額 (円)
特殊浴槽操作基板修繕	36,936
シャワー水漏修繕	35,640
ガスヒートポンプエアコン室外機修繕	193,860
合 計	549,903

2 須坂市高齢者施策推進協議会の開催

保健医療関係者、福祉関係者、被保険者代表者、学識経験者で構成される須坂市高齢者施策推進協議会（委員 19 名）を設置して会議を開催した。

区分	開催日	出席者	会議内容
第 1 回	7 月 12 日	18 人	第八次須坂市老人福祉計画・第七期須坂市介護保険事業計画について
第 2 回	10 月 29 日	16 人	・第七次須坂市老人福祉計画・第六期須坂市介護保険事業計画の平成 29 年度実績報告について ・第八次須坂市老人福祉計画・第七期須坂市介護保険事業計画の次年度に向けた施策について

■ 高齢者自立支援事業

単位：円

当 初 予算額	10,039,000	予算 現額	8,913,000	決算額	8,349,215	前 年 度 決算対比	119.5%	前年度 決算額	6,989,506
------------	------------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

高齢化や核家族化が進み地域での交流の希薄化により、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯において、事故を未然に防ぐため関係事業所と連携を図り安否確認を行う。

また、家に閉じこもりがちな高齢者及び虚弱な高齢者に対し、仲間づくり等を通じて要介護状態への進行の防止と、在宅での安定した生活の確保を図る。

II 事業の成果等

安否確認、孤立死防止のため「見守り支援事業協力隊」の協力により緊急時の通報等を行うなど、高齢者が在宅で安心して生活できるための支援を行った。

また、介護保険対象外サービスの提供を通じて、高齢者の介護予防、生きがい活動支援事業の推進及びエンディングノート活用講座、5 月から「お達者名人塾」を開催することにより自立支援を推進した。

III 事業の実績

- 生活管理指導短期宿泊事業（(福)睦会 養護老人ホーム寿楽園へ委託） 委託料 27,531 円
おおむね 65 歳以上で、介護保険法の規定により、要介護又は要支援に該当しないと判定されたひとり暮らし高齢者等のうち基本的な生活習慣が欠如している者で、疾病ではないが体調不良に陥った者を寿楽園で一時的に預り、生活習慣等の指導を実施した。（1 日あたり利用者負担 437 円、食費実費）
利用者数 1 人 利用日数 7 日

- 自立生活特別支援事業（(福)須坂市社会福祉協議会へ委託） 委託料 2,000,000 円
概ね 65 歳以上の者及びその家族で、自立生活のために特別な生活支援が必要な者に、本人や関係者と調整の上介護保険給付等では対応できない生活援助、身体介護等を実施した。（1 回あたり利用者負担 1 時間まで 100 円）

(1) 生活支援の実績

ア 調理援助、食事確認	12 回
イ シャワー浴見守り	5 回
ウ 買い物、給油	2 回
エ 室内の清掃、片付け	6 回

- オ 洗濯 1回
 カ 状態確認、服薬確認、薬セット 9回
 (2) 支援に関わる調整・対応等
 ア サービス開始に関わる相談・助言 17回
 イ 関係者会議 5回
 ウ キャンセル件数 3回
 エ 本事業から介護保険サービスに移行した件数 2件
 (3) 利用回数 15回

3 高齢者に対する「見守り支援事業協力隊」の協力

- (1) 「見守り支援事業協力隊」の協力事業所
 協定締結事業所(14事業所) 新聞販売事業所、牛乳販売事業所、乳飲料宅配事業所、ガス事業所、
 食材配送事業所、郵便事業所、電気事業所、コンビニエンスストア
 (2) 成果について
 安否確認の必要な世帯の通報3件
 (3) 「見守り支援事業協力隊」連絡会の開催
 開催日 3月22日
 場 所 須坂市役所305会議室
 参加者 3人
 内 容 平成30年度の事例等について
 情報交換

4 エンディングノートの活用

エンディングノート活用講座を公民館等と連携して開催した。
 開催日 12月21日
 場 所 中央公民館
 参加者 43人
 内 容 『いまから是非考えておきたい 自分のこと 家族のこと』
 ～「エンディングノート」を書いてみませんか～
 講師 長野県金融広報アドバイザー 宮原 則子氏

5 旭ヶ丘ふれあいプラザを会場に実施した支援事業

事業名及び内容	開催回数及び延参加人数
ふれあいルーム(各種活動支援・健康相談)	毎週月曜日～金曜日開催 開催回数 241回 延参加人数 1,491人

6 後期高齢者健康増進事業(スポーツメディア㈱)アクネス佐久平へ委託)

委託料 1,584,000円

後期高齢者を対象に温泉施設を利用して健康の保持増進と介護予防(ロコモティブシンドロームや認知症予防等)の積極的推進及び社会参加の促進を目的に、温泉入浴健康法等の健康講話、筋力トレーニング、音楽療法、脳トレ等を実施した。

事業名	開催場所	実施回数(回)	実人数(人)	延人数(人)
お達者元気塾 (新規参加者)	須坂温泉「古城荘」	24	36	349
お達者名人塾 (再参加者)		20	32	271
合計		44	68	620

■ 高齢者在宅福祉事業

単位：円

当初 予算額	8,656,000	予算 現額	6,642,000	決算額	4,924,580	前年度 決算対比	73.2%	前年度 決算額	6,731,247
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

ひとり暮らし高齢者、寝たきり高齢者、認知症高齢者が在宅で安心して生活できるように在宅福祉の充実を図る。

II 事業の成果等

民生児童委員や介護支援専門員等を通じて在宅福祉利用券給付等各種サービスの利用促進を行い、介護世帯の経済的負担の軽減を図った。

III 事業の実績

1 助け合い推進事業関連事業（(福)須坂市社会福祉協議会へ委託）

委託料 1,087,923 円

身近な地域に即した創意と工夫により地域の具体的な課題に対応するとともに、住民相互の助け合いや交流の輪を広げ、共に支え合う地域づくりを推進するため、ひとり暮らし老人等交流会食会、ふれあいサロンを実施したり、高校生以上を対象に福祉施設やボランティア団体等での活動体験を実施した。

2 高齢者在宅福祉事業

事業名	事業の内容		金額 (円)
	申請者数 (人)	利用数 (枚・回)	
(1) 在宅福祉利用券給付事業			
ア 寝具クリーニング利用券 (1枚3,000円・年2枚) 在宅において介護を必要とする者の福祉向上とその世帯の経済的負担の減少を図るため、寝具クリーニング券を給付する。 【長野県クリーニング生活衛生同業組合須坂支部へ委託】	398	225	675,000
イ タクシー乗車利用券(年間24枚・1か月2枚) (利用券1枚で初乗運賃の額と迎車回送料金の合計額が無料で利用できます) 内訳 普通車 846枚 744,480円 車いす 335枚 271,360円 ストレッチャー 119枚 95,200円	392	1,300	1,111,040
ウ 理容・美容利用券 (1枚1,000円・年8枚)	434	1,267	1,267,000
(2) ひとり暮らし安心コール事業 65歳以上のひとり暮らし高齢者に、電話による安否の確認等で孤独感の解消を図る。 【(福)須坂市社会福祉協議会へ委託】	57	2,433	457,047
(3) 高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金交付事業		1件	50,592
(4) 社会福祉法人等による利用者負担軽減に対する助成事業		2事業所	48,185
(5) 日常生活用具給付事業		3件	30,510
(6) 介護保険利用者負担援助事業		0人	0
(7) 特別地域加算に係る訪問介護利用者負担減額に対する助成事業		1事業所	27,773
合 計			3,667,147

3 宅老所緊急宿泊支援事業

要介護高齢者が、介護者の急病等緊急な事由により、家庭で介護を受けることができない場合に、宅老所に宿泊した際の費用の一部を補助し、介護者の負担軽減を図った。

利用実人数 4人、 利用回数 8回、 延利用日数 16日

4 暮らしのあんしん板の配布

ひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯の在宅での安全と安心を守るため、緊急時の連絡先、かかりつけ医、民生児童委員の氏名などが記入でき、地域包括支援センター・警察・消防署の連絡先も記載されているマグネットシート「暮らしのあんしん板」を新規対象者に配布した。

新規対象者 84 人（累計 2,212 人）

5 買物困難者の支援

日々の買物に不都合を感じている高齢者世帯に対し、生鮮食料品などの移動販売を引き続き行った。穀町、北旭ヶ丘町、旭ヶ丘町、豊洲地区(新田・北相之島)、望岳台、豊丘地区（4か所）、仁礼地区で週一回移動訪問販売の運行を業者が行った。

3月13日コープながのと連絡会議を行い、実績報告があった。稼働回数 102 回 延利用者数 4,411 人

6 みまもるくん通信の配布

健康、生活等における情報通信をひとり暮らし高齢者、高齢者のみ世帯へ民生児童委員を通じて配布した。
年4回、 延配布世帯数 9,225 世帯

■ 高齢者生きがい対策事業

単位：円

当初 予算額	37,492,000	予算 現額	37,188,000	決算額	34,757,238	前年度 決算対比	96.1%	前年度 決算額	36,183,517
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

超高齢社会における高齢者の自立を支援するために、生きがいと健康、社会参加促進及び介護予防等を図る。

II 事業の成果等

高齢者の自立した生活が確保できるよう各種事業を実施し、高齢者の生きがいと健康づくり、社会参加を支援することができた。

須坂市屋内ゲートボール場の管理運営は、指定管理者の須坂市シニアクラブ連合会が行い、利用の許可、施設及び備品等の維持管理に関する業務を行った。

III 事業の実績

1 高齢者祝賀行事

(1) 高齢者訪問

期 日 9月8日

区 分	対象者(人)	内 容	祝品金額(円)
88 歳	318	祝品(ギフトカード 1,000 円)・祝状	443,949
100 歳	12	祝品(カタログギフト 8,000 円)・祝状	
男女最高齢者	2	祝品(カタログギフト 15,000 円)・祝状	

祝状筆耕業務委託（(公社)シルバー人材センターへ委託）

委託料 73,872 円

祝状印刷代

129,335 円

2 生きがい対策事業

(1) 老人クラブ活動助成

須坂市シニアクラブ連合会活動費補助金 755,000 円

単位老人クラブ活動費補助金 1,425,000 円

単位老人クラブ数 27 クラブ、会員数 1,856 人

(2) 屋内ゲートボール場ふれあい

指定管理者の状況

指定管理者 須坂市シニアクラブ連合会 代表者名 会長 浅沼 紀幸

指定の期間 平成28年4月1日から令和3年3月31日

管理経費 381,000円

利用者数 9,729人

施設の整備状況

修繕内容	金額(円)
両開きドア修繕	25,552
引違戸修繕	12,873
ストーブ修繕	15,120
合 計	53,545

(3) 県長寿社会開発センター事業への参加

県シニア大学入学者・進級者 一般コース 1学年5人、2学年3人

専門コース 0人 (専門コースは29年度より設置)

(4) 高齢者自動車燃料費補助金 117,000円

対象者 峰の高原原在住70才以上高齢者39人、利用者 39人、助成額 年間1人3,000円

(5) 老人福祉センター「永楽荘」運営費補助 16,434,735円

開館日数 292日、利用人員 17,956人(1日平均61人)

施設の整備状況 (修繕)

修繕内容	金額(円)
入浴施設循環ポンプ緊急修繕	270,000
合 計	270,000

(6) (公社)須高広域シルバー人材センター運営費補助 14,408,000円

<内訳> 均等割 20%、人口割 80%

市町村名	須坂市	小布施町	高山村	合 計
負担金額	9,452,000円	2,800,000円	2,156,000円	14,408,000円
比 率	65.60%	19.44%	14.96%	100.00%

■ 広域老人ホーム運営事業

単位：円

当初 予算額	5,423,000	予算 現額	5,422,000	決算額	5,422,000	前年度 決算対比	100.6%	前年度 決算額	5,391,000
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

市町村の区域を越えて形成される広域市町村圏「長野広域連合」による生活環境の整備と、市町村の事務処理を広域的で総合的な計画に基づき促進することで市町村の諸課題の解決を図る。

II 事業の成果等

介護保険事業の円滑な運営のため、長野広域連合関係市町村施設管理費及び老人ホーム入所判定委員会費負担金並びに養護老人ホーム松寿荘、はにしな寮運営費(施設整備費)負担金を支払った。

■ 高齢者福祉施設整備事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	8,000	決算額	7,641	前年度 決算対比	0.0%	前年度 決算額	124,521,000
-----------	---	----------	-------	-----	-------	-------------	------	------------	-------------

I 事業の目的

平成28年度(平成29年度への繰越分)地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の仕入控除税額に係る国庫返還を行う。

II 事業の成果等

特定非営利法人「パウル会」が行った施設整備に対し交付した補助金（691,000 円）の消費税及び地方消費税の申告により仕入控除税額が確定し、補助事業額が確定したため生じる返還金を徴収し、国へ返還した。

III 事業の実績

返還金 7,641 円

内訳 課税売上割合 50,116,438 円 ÷ 335,529,002 円 = 0.1493

補助金に係る仕入控除税額 691,000 円 × 8/108 × 0.1493 = 7,641 円

3-1-4 (目) 老人措置費

単位：円

当初 予算額	84,816,000	予算 現額	84,816,000	決算額	68,608,914	前年度 決算対比	89.7%	前年度 決算額	76,452,653
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 老人ホーム措置事業

単位：円

当初 予算額	84,816,000	予算 現額	84,816,000	決算額	68,608,914	前年度 決算対比	89.7%	前年度 決算額	76,452,653
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

老人福祉法第 11 条により、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム入所者の生活の安定を図る。

II 事業の成果等

居宅において養護を受けることが困難な須坂市内の老人の入所措置を行った。

III 事業の実績

1 老人ホーム入所状況

種 別	施 設 名	措置入所者数（人）	措 置 費（円）	備 考
養護老人ホーム	寿 楽 園	37	68,080,399	入所者数は 利用実人数
特別養護老人ホーム	須 坂 荘	1	516,827	
合 計		38	68,597,226	

3-1-5 (目) 福祉会館費

単位：円

当初 予算額	3,648,000	予算 現額	3,648,000	決算額	3,612,420	前年度 決算対比	94.3%	前年度 決算額	3,828,806
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

■ 福祉会館管理事業

単位：円

当初 予算額	3,648,000	予算 現額	3,648,000	決算額	3,612,420	前年度 決算対比	94.3%	前年度 決算額	3,828,806
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

障がい者及び福祉団体の拠点としての施設を適正に管理する。

II 事業の成果等

須坂市福祉会館の管理運営は、指定管理者の(公社)須高広域シルバー人材センターが行い、障がい者及び福祉団体の会議等に広く活用された。

Ⅲ 事業の実績

1 指定管理者の状況

指定管理者 (公社)須高広域シルバー人材センター

指定の期間 平成 28 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで

管理経費 3, 442, 000 円 (平成 30 年度)

2 利用状況 登録 28 団体

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ利用回数(回)	120	119	120	112	103	132	124	127	121	85	112	128	1, 403
延べ利用人員(人)	1, 568	2, 005	1, 848	1, 581	1, 244	1, 969	1, 440	1, 606	1, 813	1, 084	1, 725	4, 283	22, 166

3 機器賃借

AEDリース 平成 30 年 6 月 1 日から令和 5 年 5 月 31 日まで 月額 3, 142 円

4 委託の状況

須坂市福祉会館駐車場桜剪定業務委託 139, 000 円

3-1-6 (目) 国民年金事務費

単位：円

当初予算額	1,806,000	予算現額	1,568,000	決算額	1,503,816	前年度決算対比	55.0%	前年度決算額	2,735,924
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	-------	--------	-----------

■ 国民年金事業

単位：円

当初予算額	1,806,000	予算現額	1,568,000	決算額	1,503,816	前年度決算対比	55.0%	前年度決算額	2,735,924
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	-------	--------	-----------

I 事業の目的

法定受託事務として、市と日本年金機構が協力・連携を図りながら、制度の周知と未適用者の解消に努め、市民一人ひとりの受給権確保を図る。

II 事業の成果等

法令または国民年金市町村事務処理基準に基づき事務処理を行い、年金受給権の権利を取得させることができた。

Ⅲ 事業の実績

1 加入促進及び保険料の納付勧奨等

国民年金強制加入対象者について、国民健康保険の資格取得届と同時に手続きを行い、加入促進を実施するとともに、市報等により学生納付特例申請、免除申請を勧奨することにより保険料未納者の解消を図った。

また、「国民年金保険料の後納制度」の期間の周知、相談業務、納付状況の情報提供を行い被保険者等の受給権の確保を図った。

2 国民年金加入状況

第 1 号被保険者(人)		第 3 号被保険者(人)	合計(人)
強制加入	任意加入		
5, 172	56	2, 839	8, 067

3 保険料納付状況

対象月数	納付月数	納付率(%)
36,909	28,897	78.3

4 保険料免除者数

法定免除(人)	※申請免除(人)	計(人)	免除率(%)
577	1,434	2,011	38.9

※申請免除内訳 単位：人

全額 免除	3/4 免除	半額 免除	1/4 免除	学生納付 特例	納付 猶予	計
547	68	38	21	559	201	1,434

5 給付の状況

区 分		受給権者数(人)	総年金額(円)
新 法	老齢基礎年金	15,196	10,563,713,294
	障害基礎年金	1,074	920,142,150
	遺族基礎年金	108	81,217,206
	寡婦年金	9	3,896,299
	小 計	16,387	11,568,968,949
旧 法	老齢年金（5年年金含む）	275	125,646,240
	通算老齢年金	254	52,774,218
	障害年金	39	34,094,375
	母子年金	0	0
	小 計	568	212,514,833
合 計		16,955	11,781,483,782

6 国民年金基金制度

老後の所得保障の充実を図るため、老齢基礎年金に上乘せ年金を支給する地域型国民年金基金が平成3年5月1日からスタートし、平成31年3月31日現在136人が加入している。

7 委託料

国民年金システム運用サポート委託料(㈱B S Nアイネット)	64,800 円
国民年金システム保守委託料(㈱B S Nアイネット)	149,040 円
国民年金システム運用サポート委託料(㈱電算)	19,440 円
国民年金システム改修業務委託料(㈱電算)	433,080 円

3-1-7(目)福祉医療費給付金対策費

単位：円

当 初 予算額	328,651,000	予算 現額	337,749,000	決算額	331,144,403	前 年 度 決算対比	103.5%	前年度 決算額	319,955,736
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	--------	------------	-------------

■ 福祉医療費給付金事業

単位：円

当 初 予算額	328,651,000	予算 現額	337,749,000	決算額	331,144,403	前 年 度 決算対比	103.5%	前年度 決算額	319,955,736
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

乳幼児・児童、障がい者、母子家庭の母子等、父子家庭の父子を対象に福祉医療費給付金を支給し、医療費の負担軽減と健康増進及び健やかな育成を図る。

II 事業の成果等

乳幼児・児童、障がい者、母子家庭の母子等、父子家庭の父子に対し、医療費の負担軽減と健康増進、健やかな育成を図るため、福祉医療費給付金を支給した。

8月より、出生から中学卒業までの受給者に対し、自動給付方式から現物給付方式へ変更した。

III 事業の実績

1 福祉医療費給付金支給状況

区 分	年間平均 対象人員 (人)	診 療 件 数 (件)	支 給 額 (円)	受診率 (100人当 たり件数)	1 件 当 り 支給額(円)	1 人 当 り 支給額(円)
乳 幼 児 等	6,062	75,454	105,014,370	1,245	1,392	17,323
障 害 者	2,218	58,376	173,909,601	2,632	2,979	78,408
母子家庭の母子等	1,013	10,603	19,608,219	1,047	1,849	19,357
父子家庭の父子	79	770	1,273,600	975	1,654	16,122
合 計	9,372	145,203	299,805,790	1,549	2,065	31,990

(注:1) 受診率 (100人当たり件数) = 診療件数 ÷ 年間平均対象人員 × 100

2 福祉医療費給付事業県費補助額 (補助率 1/2 以内)

区 分	支払額 (円)	県補助額 (円)
医療費	補 助 対 象	194,316,577
	補助対象外	105,489,213
事務費	補 助 対 象	17,193,252
	補助対象外	8,120,007
県 費 補 助 額 計		105,747,000

3 福祉医療費資金貸付金貸付状況

平成 30 年度中		貸付基金年度末
貸付金額 (円)	回収金額 (円)	現在高 (円)
0	0	2,000,000

平成 30 年度貸付件数 0 件

4 委託料の状況

- | | |
|-----------------------------------|--------------|
| (1) 福祉医療給付業務委託料(㈱BSNアイネット) | 860,760 円 |
| (2) 福祉医療給付業務委託料(㈱電算) | 135,432 円 |
| (3) 福祉医療費給付システム改修委託料(㈱BSNアイネット) | 864,000 円 |
| (4) 自動給付方式事務委託料(長野県国民健康保険団体連合会ほか) | 22,705,871 円 |
| (5) 現物給付方式事務委託料(長野県国民健康保険団体連合会) | 343,418 円 |
| (6) 現物給付方式事務委託料(社会保険診療報酬支払基金長野支部) | 2,263,970 円 |

3-1-8 (目) 地域包括支援センター費

単位：円

当 初 予算額	80,043,000	予算 現額	71,940,000	決算額	70,565,901	前 年 度 決算対比	99.0%	前年度 決算額	71,257,569
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

■ 介護予防支援事業

単位：円

当 初 予算額	16,000,000	予算 現額	9,743,000	決算額	8,906,200	前 年 度 決算対比	95.0%	前年度 決算額	9,372,300
------------	------------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

高齢者が支援や介護を要する状態になっても、できる限り、自宅で自立した生活を営めるように支援し、住みなれた地域で、尊厳あるその人らしい生活が継続できるようにすることを目的とする。

II 事業の成果等

要支援状態の予防やその重症化の予防、改善を図るために介護予防サービス計画を作成し、自立した生活に向けての支援をした。

III 事業の実績

1 介護予防サービス計画作成

(1) 介護予防サービス計画作成

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
地域包括支援センター	82	82	89	94	94	98	94	97	102	100	106	105	1,143
事業者委託	167	169	167	173	169	174	170	168	168	169	171	169	2,034
合計	249	251	256	267	263	272	264	265	270	269	277	274	3,177

(2) 予防給付ケアマネジメント業務

委託料 8,906,200 円

要支援1・2のケアプラン作成業務委託（予防給付利用者）

事業所名	件数	金額(円)
総合福祉施設 須坂やすらぎの園	153	677,900
居宅介護支援事業所 須坂荘	89	385,200
須坂市社会福祉協議会居宅介護支援事業部	67	295,600
須坂市社会福祉協議会ぬくもり園居宅介護支援事業部	294	1,271,700
ケアネット長野サービスセンター	188	835,900
グリーン在宅介護支援センター	431	1,895,800
轟居宅介護支援事業所	141	613,800
居宅介護支援事業所 たのし家	105	454,000
居宅介護支援事業所 豊洲	210	925,500
ケアプランセンター 楽蔵	43	187,400
居宅介護支援事業所 STARS	75	325,000
居宅介護支援事業所 かえですざか	57	245,100
居宅介護支援事業所 しらかば	49	218,200
居宅介護支援事業所 かえで	51	219,300
こもれび指定居宅介護支援事業所	81	355,800
合 計	2,034	8,906,200

(3) 介護予防サービス計画作成手数料収入 13,921,600 円

3-1-9 (目) 老人福祉センター費

単位：円

当初予算額	30,194,000	予算現額	30,394,000	決算額	30,360,913	前年度決算対比	97.8%	前年度決算額	31,048,179
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	-------	--------	------------

■ 老人福祉センター管理事業

単位：円

当初予算額	30,194,000	予算現額	30,394,000	決算額	30,360,913	前年度決算対比	97.8%	前年度決算額	31,048,179
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	-------	--------	------------

I 事業の目的

教養の向上、レクリエーション、生活・健康相談など高齢者の生きがいや憩いの場を提供する。

II 事業の成果等

老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営は指定管理者の須坂市社会福祉協議会が行い、高齢者の生きがいや、健康、教養、憩いの場を提供した。

III 事業の実績

1 指定管理の状況

指定管理者 (福) 須坂市社会福祉協議会
 代表者名 会長 植木 新一
 指定期間 平成 28 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
 管理経費 29,686,000 円
 利用状況 開館日数 292 日、利用人員 33,730 人 (1 日平均 116 人)、うち健康相談 198 人

2 施設の整備状況

修 繕 内 容	金額(円)
ガラス破損補修工事	566,913
2 階会議室空調修繕工事	108,000
合 計	674,913

3-1-10 (目) 地域福祉推進費

単位：円

当 初 予算額	10,010,000	予算 現額	36,420,000	決算額	12,304,696	前 年 度 決算対比	26.0%	前年度 決算額	47,356,800
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

■ 歩道段差解消事業

単位：円

当 初 予算額	10,010,000	予算 現額	36,420,000	決算額	12,304,696	前 年 度 決算対比	26.0%	前年度 決算額	47,356,800
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

だれもが安心して暮らせる人にやさしいまちづくりのため道路等のバリアフリー化を一層推進する必要がある。このために市内の幹線道路から生活道路まで計画的・機能的に整備を図る。

II 事業の成果等

段差のある歩道を高齢者・障がい者・児童にとって支障なく歩行できるよう、段差解消工事を計画により実施した。

III 事業の実績

1 歩道段差解消事業 [社会資本整備総合交付金事業(活力創出基盤)]

事業名	施工か所	事業内容	事業費(円)
緑町東高校正門線	常盤町	[社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)]	
		工 事 L=225.0m 34,257,600 円 (うち、31 年度への繰越明許) 24,107,600 円	10,150,000
		委 託 4 件 1,977,480 円 用 地 1 件 177,216 円	1,977,480 177,216
計			12,304,696

3-1-1(目)後期高齢者医療費

単位：円

当初 予算額	616,497,000	予算 現額	608,328,000	決算額	608,326,950	前年度 決算対比	92.6%	前年度 決算額	656,932,039
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 後期高齢者医療事業

単位：円

当初 予算額	616,497,000	予算 現額	608,328,000	決算額	608,326,950	前年度 決算対比	92.6%	前年度 決算額	656,932,039
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

後期高齢者医療制度の運営のため、市が負担すべき費用を納付し、また後期高齢者医療特別会計に繰出金を繰出す。

II 事業の成果等

後期高齢者医療制度の運営のため、事務費及び療養給付費負担金として、後期高齢者医療広域連合へ納付した。また、保険基盤安定事業繰出金、事務費繰出金を後期高齢者医療特別会計へ繰出し、後期高齢者医療制度の健全な事業運営を図った。

III 事業の実績

- 1 後期高齢者医療広域連合への負担金 478,447,219 円
- 2 後期高齢者医療特別会計への繰出金 129,879,731 円

3-2-1(目)児童福祉総務費

単位：円

当初 予算額	193,112,000	予算 現額	192,924,000	決算額	182,283,508	前年度 決算対比	89.2%	前年度 決算額	204,369,441
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	7,790,000	予算 現額	8,917,000	決算額	8,346,979	前年度 決算対比	109.8%	前年度 決算額	7,601,728
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

児童福祉に係る一般管理業務を行う。

II 事業の成果等

須坂市子ども・子育て会議を開催し、子ども・子育て支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進した。
ブックスタート事業として誕生の記念に絵本をプレゼントし、絵本を通じて親子のふれあいを深める機会を提供した。

子育て支援の情報については、「子育てガイド『S*Kids』」を発行、保育園・幼稚園に通園する全家庭に配布、市公式ホームページ内の「すざか子育てナビ」の運用及び「子育て応援メールマガジン」を発行し、見やすく分かりやすい子育て情報の発信を行った。

また、公立保育園10園を巡回する保育アドバイザーを配置して、保育士の資質向上を図った。

III 事業の実績

- 1 須坂市子ども・子育て会議
子ども・子育て支援法第77条第1項の規定に基づく須坂市子ども・子育て会議を開催した。

(1) 第1回

- ア 開催日 5月25日
イ 場 所 須坂市役所 305 会議室
ウ 出席委員 16 人
エ 協議内容 (ア) 須坂市子ども・子育て支援事業計画の推進について
(イ) 須坂市子ども・子育て支援事業計画の一部見直しについて
(ウ) 須坂市保育所入所に関する規則について
(エ) 子育て短期支援事業(ショートステイ)について

(2) 第2回

- ア 開催日 11月16日
イ 場 所 須坂市役所 305 会議室
ウ 出席委員 13 人
エ 協議内容 (ア) 第2期須坂市子ども・子育て支援事業計画の策定について
a 市町村子ども・子育て支援事業計画について
b 利用希望把握調査(ニーズ調査)について
c 今後のスケジュールについて
(イ) 調査票の調査項目について
(ウ) その他
a やすらぎ病児保育園(仮称)について

(3) 第3回

- ア 開催日 3月25日
イ 場 所 須坂市役所 305 会議室
ウ 出席委員 15 人
エ 協議内容 (ア) 須坂市子ども・子育てアンケート調査結果について
(イ) 須坂市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて
a 病児保育事業について
b 子育て支援ショートステイ事業について
(ウ) その他

2 ブックスタート事業

絵本配付時に、読み聞かせボランティア団体によるブックスタートの主旨説明や絵本を紹介した。

ブックスタート事業絵本配付状況 (3か月児健診絵本配布対象 327 人)

(冊)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
健診時 受け取り	23	30	26	21	35	26	27	25	25	31	28	23	320
子ども課 受け取り	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
計	23	30	26	21	35	26	28	25	25	31	29	23	322

3 子育てガイドブックの作成

子育て支援サービス等の情報提供のため「須坂市子育てガイド S*Kids」を発行した。

年1回(7月) 各 5,000 部作成 528,120 円

4 子育て応援メールマガジンの発行

乳幼児を持つ保護者同士がつながりを持てるイベント情報や子育てのワンポイント情報などを発信した。

発行日 毎週水曜日

発行号数 51 号 (410 号～460 号)

5 ながの子育て家庭優待パスポート事業

子育て世帯へパスポートの配布と事業周知を行った。また市内企業・店舗へ事業について広報した。
協賛店舗数 98 店舗（平成 31 年 3 月 31 日現在）

6 児童遊具整備事業補助金

上八町 ブランコ修繕 補助金額 42,660 円
中島町 遊具点検 補助金額 13,500 円
屋部町 ブランコ・滑り台撤去 補助金額 29,700 円

7 施設保有者賠償責任保険加入

児童遊園 30 町、39 か所、10,485 m² 26,860 円

8 第 2 期須坂市子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査の実施

(1) 調査対象 0 歳～就学前の児童 1,500 名（無作為抽出）

(2) 実施時期 1 月 24 日～2 月 8 日

(3) 事業委託による集計・分析

ア 委託先 一般財団法人 長野経済研究所

イ 委託金額 1,000,000 円

■ 児童手当等支給事務費

単位：円

当初 予算額	9,584,000	予算 現額	9,525,000	決算額	9,252,493	前年度 決算対比	117.9%	前年度 決算額	7,847,077
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

児童手当等を適正に支給する。

II 事業の成果等

児童手当等の適正な支給事務ができた。

III 事業の実績

1 嘱託職員人件費 5,053,579 円

2 児童扶養手当等支給業務委託料

委託先 (株)BSN アイネット及び(株)電算

委託金額 1,183,896 円

■ 私立保育所運営助成事業

単位：円

当初 予算額	108,157,000	予算 現額	114,703,000	決算額	105,399,750	前年度 決算対比	85.7%	前年度 決算額	122,967,400
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

私立保育所の円滑なる運営と保育内容の向上を図るため、補助金等を交付する。

II 事業の成果等

市内の 5 私立保育所と認定こども園が実施する保育士配置基準を緩和するための保育士雇用、特別支援のための加配保育士の雇用、および延長保育事業、一時預かり等に対し補助金を交付し、保育所の運営の安定及び保育内容の充実を図るとともに、児童の福祉の増進を図り、また保護者の多様な保育ニーズへ対応した。

マリアこども園の分園施設整備事業やブロック塀改修事業及びやすらぎ病児保育園施設整備事業に対し、国の保育所等整備交付金等を活用して補助金を交付した。

Ⅲ 事業の実績

1 補助金

補 助 金 名	補助額 (円)
私立保育所通常保育事業補助金	5,262,000
保育士配置基準緩和補助金	5,832,000
特別支援保育対策事業補助金	6,868,000
私立保育所整備資金利子補給金	226,000
一時預かり事業補助金	8,249,250
私立保育所施設整備事業補助金	47,533,500
子ども・子育て支援補助金	15,276,000
子育て支援総合助成金事業補助金	1,530,000
病児保育事業補助金	3,729,000
保育対策総合支援事業費補助金	186,000
計	94,691,750

2 返還金

補 助 金 名	返還額 (円)
子ども・子育て支援事業交付金返還金	6,464,000
保育所等整備交付金返還金	4,244,000

■ 家庭児童相談事業

単位：円

当 初 予算額	7,644,000	予算 現額	7,482,000	決算額	7,144,452	前 年 度 決算対比	107.2%	前年度 決算額	6,665,121
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

家庭における人間関係の健全化及び児童養育の適正化等、家庭児童福祉の向上のため、家庭児童相談員による専門的な相談業務を行う。また、増加する児童虐待防止対応及び児童の発達相談のため、平成 26 年度より家庭児童相談員を 1 名増員し、2 名体制で相談対応の充実を図る。

II 事業の成果等

保育園、保健センター（親子教室）、子育て支援センター、児童センターなど、相談しやすい場所に出向いての相談業務を実施し、相談者の支援ができた。

また、須坂市虐待被害者等支援対策連絡協議会の代表者会議及び児童虐待実務担当者会議並びに児童虐待個別ケース検討会議を開催し、要保護児童等の適切な保護及び支援ができた。

家庭児童相談員が研修会等に参加し、適切な支援のスキルアップを図った。

Ⅲ 事業の実績

1 相談内容別件数

(件)

相談内容	養護相談		保健相談	障害相談						非行相談	育成相談				その他	計
	児童虐待	その他		肢体不自由	視聴覚障害	言語発達障害	重症心身障害	知的障害	発達障害等		性格行動	不登校	適性	育児・しつけ		
継続児童	45	38	0	4	0	1	0	12	15	1	16	0	0	1	5	138
新規児童	40	52	0	1	0	8	0	5	24	0	20	15	0	9	3	177
計	85	90	0	5	0	9	0	17	39	1	36	15	0	10	8	315

2 須坂市虐待被害者等支援対策連絡協議会

要保護児童の早期発見及びその適切な保護のため、情報の収集・意見交換及び具体的な困難事例の研究・対応方法等について検討を行った。

(1) 代表者会議

開催日 6月8日

内 容 報告「児童相談業務の状況と虐待対応について」(中央児童相談所長)
須坂市における虐待の状況について(担当課より報告)

(2) 児童虐待実務担当者会議

開催日 6月29日、10月22日、2月25日

検討件数 延147件

(3) 児童虐待個別ケース検討会議(随時)

開催回数 22回

対象児童 58人

3 養育支援訪問事業

養育支援が特に必要な家庭に対し、保健師を派遣し、安定した養育が可能となるよう支援した。

訪問支援家庭数 1家庭

4 児童虐待防止対策事業

公立保育園と希望のあった私立園の年長児童とその保護者を対象に研修プログラムを導入し、児童虐待防止強化を図る。

(1) CAP教職員ワークショップ 3回開催

4月10日 76人 4月16日 76人 4月21日 49人

(2) CAP保護者(おとな)ワークショップ 3回開催

5月16日 53人 5月22日 77人 5月31日 55人

(3) CAP子どもワークショップ(就学前プログラム)

5月～6月 各園(公立保育園10園、私立保育園3園、認定こども園2園)で開催
355人受講

■ 福祉金支給費

単位：円

当初 予算額	3,414,000	予算 現額	3,414,000	決算額	3,088,000	前年度 決算対比	110.6%	前年度 決算額	2,792,000
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

交通災害遺児、重度心身障害児等に福祉金を支給し、福祉の増進を図る。

II 事業の成果等

重度心身障害児福祉金を支給し、児童の福祉の増進を図った。

III 事業の実績

1 重度心身障害児福祉金の支給状況

区 分	対 象 児 童 数	1人当の支給額 (円)	支 給 金 額 (円)
重度心身障害児福祉金	延1,529人	月額 2,000	3,058,000

2 交通・災害遺児福祉金

遺児福祉金 1人 30,000円

■ すこやか相談事業

単位：円

当初 予算額	6,702,000	予算 現額	5,789,000	決算額	5,672,592	前年度 決算対比	105.9%	前年度 決算額	5,354,833
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

5歳時におけるすこやか相談の実施により、3歳児健診以後、小学校入学までの間の児童の発達状況を早期に把握し、発達障がい疑われる児童とその保護者に対し、早期療育支援等子育て支援を的確に行うとともに、幼稚園・保育園・認定こども園へも支援を行い、児童の就学に向けて総合的な支援を行う。

II 事業の成果等

発達障がいや心の問題などの疑われる児童について療育支援を行うとともに、保護者や幼稚園・保育園・認定こども園の職員に対し支援を行った。5歳児すこやか相談における要継続支援児については、6歳時にも継続支援・観察を行い、その結果、小学校に入学後も個別配慮・支援、継続観察が必要と思われる児童については、個人票を作成して小学校に送致した。また、本年度小学校へ入学した継続観察の必要な児童について巡回を行い、小学校での支援に繋げるなど、児童一人ひとりに寄り添った支援ができた。

III 事業の実績

1 5歳児すこやか相談

幼稚園・保育園・認定こども園から、保護者及び児童の担任へ事前調査（アンケート）を実施し、その結果をもとに、専門スタッフ（すこやか相談コーディネータ、教育相談員、家庭児童相談員、作業療法士、保健師等）が巡回相談を実施した。

(1) 対象児童 400人（平成25年4月2日～平成26年4月1日生）

公立保育園（10園・228人）、私立保育園（4園・55人）私立幼稚園（2園・28人）、認定こども園（2園・81人）管外保育園・幼稚園（5園・8人）

(2) アンケート及び発達相談への対応状況

	アンケート提出数	発達相談記入数	対 応 方 法				
保護者	400人（100.0%）	84人（21.0%）	面談	電話	文書	その他 （園フォロー）	計
			0	57	0	27	84人
保育士・教諭	400人（100.0%）	163人（40.8%）	巡回時対応 163人				

(3) 相談内容（複数回答あり）

	項 目	件数(件)	比率(%)	備 考（主な相談内容）
保護者	1 身体・健康面	16	15.1	発育の遅れ、持病
	2 対人・行動面	30	28.3	社会性、友だち関係、遊び
	3 言語・認知面	24	22.6	言語表出、言語理解、手先の巧緻
	4 食事面	4	3.8	好き嫌い、偏食、肥満
	5 しつけ	11	10.4	言葉遣い、ほめ方・叱り方
	6 その他	21	19.8	癖など
	計	106	100.0	
保育士 教 諭	1 身体・健康面	90	21.4	発育の遅れ、持病
	2 対人・行動面	151	35.9	社会性、友だち関係、遊び
	3 言語・認知面	94	22.3	言語表出、言語理解、手先の巧緻
	4 食事面	6	1.4	好き嫌い、偏食、肥満
	5 家庭環境	61	14.5	家庭環境、養育面の心配
	6 その他	19	4.5	発達状況など
	計	421	100.0	

(4) 巡回観察対象児童 163人（40.8%）

（アンケートの結果による発達指数等から判断する児童、および乳幼児健康診査から継続支援を要する児童としている。）

(5) 巡回観察状況 54回 (19園)

(6) 個別相談 27人

(7) 30年度5歳児から2019年度6歳児へ継続支援とした児童 67人 (16.8%)

主な該当項目	人数(人)	割合(%)
1 理解・認知・操作	8	11.9
2 対人・行動	43	64.2
3 言語	6	9.0
4 食事・肥満	0	0
5 障がい	10	14.9
6 家庭環境	0	0
7 発達状況・その他	0	0
計	67	100.0

2 6歳児巡回

(1) 対象児童 63人

ア 29年度の5歳児すこやか相談等で、30年度継続支援・観察が必要と判断した6歳児 56人

イ 6歳児巡回を実施する中で支援観察が必要と判断した児童 7人

(2) 巡回観察状況 57回 (20園)

(3) 個別相談状況

ア 市就学指導教育相談 9人

特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室

(4) 小学校入学後、個別配慮・支援、継続観察の必要な個人票を作成し、学校との連携を図ることが必要とした児童 34人

主な 該当項目	人数(人)	割合(%)
1 理解・認知・操作	2	5.9
2 対人・行動	24	70.6
3 言語	2	5.9
4 食事・肥満	0	0
5 障がい	6	17.6
6 家庭環境	0	0
計	34	100.0

3 小学校巡回

小学校入学後、個別配慮・支援、継続観察の必要な児童の個人票を作成し、学校との連携を図った。

(1) 巡回観察対象児童 44人 (29年度6歳児巡回より小学校入学後、継続観察を必要とし、個人票を作成した児童)

(2) 巡回観察状況 12回 (市内小学校11校と須坂支援学校)

4 すこやか教室

5歳児すこやか相談後、継続した支援を必要とする児童と保護者のための療育事業

組名	対象児童	開催期日・回数	対象児童数(人)	延参加人数(人)
ほし組	7歳児(小1)	5月～9月 4回	7	親20 子19
にこにこ組	6歳児(年長)	5月～2月 10回	7	親62 子58
いるか組	5歳児(年中)	10月～2月 5回	7	親22 子22

5 発達障がいに関する講演会

発達障がいの児童に寄り添った保育対応をするための、保育士等の研修会を開催した。

- (1) 開催日 6月19日
- (2) 講演 「グレーゾーンの子どもとその保護者のかかわりについて」
- (3) 講師 馬場 博雄 氏（北信教育事務所特別支援教育推進員）
- (4) 場所 保健センター3階
- (5) 参加者 公立・私立保育園保育士、私立幼稚園教諭、児童センター厚生員、保健師等 208人

6 心理・発達相談

乳幼児健診や親子教室後の継続支援として、発達の遅れや偏りのある保育園児、幼稚園児を対象に心理・発達相談を実施した。

年間15回 延42人

3-2-2(目)児童措置費

単位：円

当初 予算額	1,484,920,000	予算 現額	1,486,924,000	決算額	1,439,590,434	前年度 決算対比	100.5%	前年度 決算額	1,432,034,435
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	---------------

■ 保育所運営委託事業

単位：円

当初 予算額	450,000,000	予算 現額	465,849,780	決算額	465,849,780	前年度 決算対比	107.0%	前年度 決算額	435,353,508
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

乳児保育、延長保育などの保育ニーズに対応するため、委託により保育の充実を図る。

II 事業の成果等

市内の7私立保育園、市外の公立・私立保育園等19園に保育実施児童の委託を行い、保護者の勤務地等による保育園の選択や里帰り出産に伴う保育利用など多様化する保育ニーズに対応した。

III 事業の実績

1 保育実施児童の委託状況

委 託 先	定員 (人)	平成31年3月委託児童数 (人)	延委託児童数 (人)	負担金 (円)
上高井保育園	60	59	681	66,215,870
豊洲保育園	60	38	446	41,503,720
みつばち保育園	80	91	1,045	99,280,170
やすらぎ保育園	30	30	316	61,704,050
さかた山風の子保育園	90	98	1,120	92,706,330
マリアこども園	74	77	870	69,010,080
双葉幼稚園	33	21	214	17,411,880
上田市（公1）		7	79	5,361,460
長野市（私6・認5・地域 型1）		17	147	8,509,310
中野市（公1・私1・認1）		1	38	2,622,230
小布施町（公1）		1	12	400,380
飯山市（公1）		0	1	53,770
山ノ内町（公1）		1	12	1,070,530
計	427	441	4,981	465,849,780

■ 児童手当等支給事業

単位：円

当初 予算額	1,034,500,000	予算 現額	1,020,654,220	決算額	973,740,654	前年度 決算対比	97.7%	前年度 決算額	996,680,927
-----------	---------------	----------	---------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

「児童手当法」に基づき、児童手当等を支給する。

II 事業の成果等

子どもを養育している方に手当を支給することにより、家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資することができた。

III 事業の実績

1 児童手当支給状況

(1) 児童手当等支給額（平成 30 年 2 月～31 年 1 月分）

0 歳から 3 歳未満の子ども	月額 15,000 円を支給
3 歳以上小学校修了前までの子ども	月額 10,000 円を支給（第 3 子以降は 15,000 円）
小学校修了後中学校修了前までの子ども	月額 10,000 円を支給
特例給付	月額 5,000 円を支給（一律）

(2) 延受給児童数・支給金額

区 分	月 額 区 分 (円)	延 児 童 数 (人)	支 給 金 額 (円)
0 歳 ～ 3 歳 未 満	15,000	10,904	163,560,000
3 歳以上小学校修了前（第 1・2 子）	10,000	37,758	377,580,000
（第 3 子以降）	15,000	5,958	89,370,000
中 学 校 修 了 前	10,000	14,187	141,870,000
特 例 給 付	5,000	3,092	15,460,000
計	—	71,899	787,840,000

※決算額との 70,000 円の差は、過払い分のためである。

2 児童扶養手当の支給状況

- (1) 所得により算定された額
- | | |
|---------|--|
| 第 1 子 | 月額 10,030 円から月額 42,500 円（平成 31 年 3 月 31 日現在） |
| 第 2 子 | 月額加算 5,020 円から月額 10,040 円 |
| 第 3 子以降 | 月額加算 3,010 円から月額 6,020 円 |

- (2) 延受給者数 4,663 人 185,827,320 円

※ 参考 特別児童扶養手当の支給状況（国委託事業）
受給権者数 130 人（平成 30 年 12 月 31 日現在）

3 返還金

負 担 金 名	返還額 (円)
児童手当国庫負担金返還金	3,334

■ 助産措置事業

単位：円

当初 予算額	420,000	予算 現額	420,000	決算額	0	前年度 決算対比	0.0%	前年度 決算額	0
-----------	---------	----------	---------	-----	---	-------------	------	------------	---

I 事業の目的

健康保険未加入の低所得者世帯に対し、助産費を支出し支援を行う。

II 事業の成果等

実績なし

3-2-3(目)保育所費

単位：円

当初 予算額	954,539,000	予算 現額	977,786,000	決算額	959,247,301	前年度 決算対比	98.1%	前年度 決算額	977,414,746
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 保育所管理事業

単位：円

当初 予算額	49,407,000	予算 現額	50,352,000	決算額	48,602,926	前年度 決算対比	97.2%	前年度 決算額	50,007,845
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

安心・安全な保育の実施のため、保育所施設の維持管理、修繕、保守点検等を行う。

II 事業の成果等

保育所 10 園の施設の適正な維持管理ができた。

東部・北旭ヶ丘・豊丘の 3 保育園において福祉サービスの第三者評価を受審し、長野県へ報告、福祉保健医療情報ネットワーク（WAM NET）に評価結果を公開した。

III 事業の実績

1 主な施設修繕等の状況

調理室エアコンコンプレッサー修繕（須坂）	497,167 円
1 歳児室パッケージエアコン修繕（須坂）	186,214 円
園庭等修繕（須坂）	97,200 円
エアコン等修繕（東部）	103,140 円
屋上柵基礎修繕（東部）	105,516 円
屋上防水修繕（東部）	172,800 円
未満児室エアコン修繕（須坂）	94,001 円
未満児室エアコン修繕（東部）	219,000 円
遊戯室シーリングファン修繕（日野）	96,120 円
ガス漏れ警報設備検知器修繕（日野）	64,800 円
パッケージ型消火設備修繕（相之島）	97,200 円

2 主な業務委託等の状況

保育料等業務委託料（委託先 （株）BSN アイネット、（株）電算）	477,576 円
電気保安業務委託料（内容：須坂東部保育園受電設備点検）	
委託先 中部電気保安協会	171,072 円
汚泥収集委託料（委託先 信濃理化学工業（株））	790,560 円
遊具点検委託（委託先 日本幼年教育社（株））	216,000 円
管理業務委託（内容：プール組立、除草、筆耕等）	
委託先 （公社）須高シルバー人材センター	383,071 円
消防設備点検（三益消防機材（株）須坂支店）	945,000 円

3 土地等借上の状況

井上保育園用地（2件）	4,320.00 m ²	2,252,000 円
須坂東部保育園用地（2件）	2,594.00 m ²	2,137,000 円
日野保育園用地（1件）	2,996.78 m ²	1,539,000 円
高甫保育園用地外3件（5件）		1,399,000 円
AED（自動体外式除細動器）の設置(10園)		412,080 円

■ 通常保育事業

単位：円

当初 予算額	396,347,000	予算 現額	422,104,000	決算額	411,916,931	前年度 決算対比	102.9%	前年度 決算額	400,439,922
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

保護者の就労や病気により、家庭において十分保育することができない児童を家庭の保護者にかわって保育し、児童の健全な発育を図る。

II 事業の成果等

保護者が昼間労働に従事するなど、家庭において十分保育することができない児童の保育を行った。さらに、市外からの児童を受託し、保護者の勤務地により保育園の選択や里帰り出産に伴う保育利用など多様なニーズに応じた保育を行った。

また、保育の補助的業務と簡単な補修等の施設管理業務を行う保育キーパーを4人配置し、保育園における世代間交流等も行った。

各公立保育園において作成した保育のグランドデザインを保護者等に配付し、保育理念等の共有を図った。

平成29年度に豊丘保育園が認定を受けた長野県が推進する「信州型自然保育（信州やまほいく）」の活動を更に広げるため、残りの公立保育園9園で県の認定を受けた。

長野県の「子どもの居場所」木質空間整備事業を活用し、公立保育園10園に木製遊具・玩具等を配置し、保育環境の充実を図った。

III 事業の実績

1 公立保育園の入所状況

保 育 所 名	定員 (人)	平成31年3月保育の 実施児童数 (人)	保育の実施 児童延数 (人)	管外受託 児童延数 (人)	私的契約 児童延数 (人)	計 (人)
須坂東部保育園	150	158	1,874	0	0	1,874
須坂保育園	120	113	1,340	23	0	1,363
日野保育園	150	136	1,587	6	0	1,593
高甫保育園	90	77	908	31	0	939
井上保育園	120	125	1,458	1	0	1,459
北旭ヶ丘保育園	90	94	1,097	0	0	1,097
須坂千曲保育園	60	68	795	12	0	807
豊丘保育園	60	36	432	2	0	434
相之島保育園	60	65	772	26	0	798
仁礼保育園	120	86	1,033	24	0	1,057
計	1,020	958	11,296	125	0	11,421

2 市町村別管外受託児童数（私立保育所受託分含む）

市区町村名	平成31年3月の児童数(人)	延児童数(人)
長野市	17	194
中野市	6	44
小布施町	6	56
高山村	5	56
上田市	2	30
飯綱町	1	12
渋谷区	2	20
名古屋市	0	2
計	39	414

3 備品購入の状況

NSP プール（仁礼）	2,343,600 円
リトルプール（東部）	131,760 円
エアコン（千曲）	279,720 円
エアコン（北旭ヶ丘）	297,000 円
冷蔵庫（東部）	279,720 円
冷凍冷蔵庫（井上）	251,240 円
テイクジーブロック（東部・井上）	220,320 円
ヒノキ板積み木（500 ピース）（高甫・千曲）	108,000 円
レーンパネル（山と家）（仁礼）	345,600 円
絵本ラック（豊丘）	70,200 円

4 国の定める費用の負担状況

区 分	公立保育所 (円)	私立保育所 (円)	認定こども園 保育認定 (円)	計 (円)	負担割合 (%)
国の定める費用	688,773,010	364,636,580	112,932,210	1,166,341,800	100.0
保 育 料	229,178,760	86,712,700	23,068,600	338,960,060	29.1
※保育料軽減額	62,605,370	29,832,900	7,579,250	100,017,520	8.6
国 負 担 額		124,045,490	41,142,180	165,187,670	14.2
県 負 担 額		62,022,745	20,571,090	82,593,835	7.1
市 負 担 額	99,247,220	62,022,745	20,571,090	181,841,055	15.6
※本来国県負担額	297,741,660			297,741,660	25.4

※保育料軽減額：国の徴収基準額に対し市が独自に保育料を軽減し子育て支援を図った。

※本来国県負担額：三位一体の改革により平成16年度から一般財源化された負担額

5 保育士配置基準の緩和状況

3、4歳児について下記のとおり保育士配置基準の緩和を行った。（25年度から12月まで延長して配置）
また、1歳児については国基準1：6に対して1：4として保育士を配置し通年で緩和を行った。

年 齢	実施園	クラス数	期 間	加配基準等
3歳児	須坂東部保育園	2	4月～12月	18人以上
	高甫保育園	1	4月～12月	18人以上

6 インフルエンザ発生に伴う対応状況

臨時休園・クラス閉鎖の状況

実 施 園 数	臨時休園	クラス閉鎖
公立保育園 2園、私立保育園 1園	0 園	4 クラス

7 保育園における食育

子ども達が給食を楽しく食べたり、食物の名前や働きを覚えたり、野菜等の栽培や収穫の体験など日々の保育活動を通して、「食」に対する興味が持てるような取り組みを行った。

(1) 栽培・収穫体験活動

保育園敷地内の畑、農業サークルや地元農業者の畑で栽培・収穫体験を行い、収穫した野菜等の食材を給食に活用したり、行事の際に調理した。

(2) 「お楽しみ給食・仲良し給食の日」の実施

野菜の栽培・収穫の喜びを感じ楽しく食べる機会やみんなで一緒に楽しく食べる機会を設け食に関わる関心を高めた。また、農業小学校で栽培したジャガイモ、タマネギを給食食材として利用した。

お楽しみ給食「すだかさんさん給食DAY」 8月実施

仲良し給食「すだかもりもり給食DAY」 11月実施

(3) 調理体験

親子クッキングや給食の手伝い等の調理活動を通じて調理への興味を広げ、祖父母交流活動時には伝統食や郷土料理の調理体験を通じて食文化についての理解を深めた。

8 保育料の収入状況

(1) 保育所保育児童保育料

区 分	調定額 (円)	収入済額 (円)	不納欠損額 (円)	収入未済額 (円)	徴収率 (%)
現 年 分	328,001,780	327,706,630	0	295,150	99.91
滞納繰越分	2,329,650	1,365,990	548,750	414,910	58.63
計	330,331,430	329,072,620	548,750	710,060	99.62

(2) 延長保育児童保育料

区 分	調定額 (円)	収入済額 (円)	不納欠損額 (円)	収入未済額 (円)	徴収率 (%)
現 年 分	3,662,190	3,662,190	0	0	100
滞納繰越分	12,000	12,000	0	0	100
計	3,674,190	3,674,190	0	0	100

■ 特別保育事業

単位：円

当 初 予算額	79,855,000	予算 現額	72,129,000	決算額	69,480,843	前 年 度 決算対比	88.9%	前年度 決算額	78,170,985
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

保育時間の延長、乳児保育、一時的保育、病後児保育、障がいのある子どもへの対応など、多様化する保育ニーズに対応するとともに、地域活動を通じて保育園児の豊かな心や保護者の子育て支援を図る。

II 事業の成果等

公立保育園全園での3歳以上児の一時的保育の実施など、保護者の多様化する保育ニーズに対応するとともに、障がいのある子どもへの対応などきめ細やかな保育を提供することにより、保育園児の福祉の増進、保護者の負担軽減を図った。

また、さかた山風の子保育園に今年度も病後児保育を委託したほか、新たに平成 31 年 3 月から病児保育をやすらぎ病児保育園に委託をし、保育サービスの拡大と子育て支援の充実を図った。

なお、公立保育園での英語活動を実施し、将来の小学校での英語の教科化に対応した。

Ⅲ 事業の実績

1 延長保育の状況

平成30年4月1日現在において、延長保育希望児童が5人以上の保育園（全園）で実施した。

(1) 延長保育時間 午前7時30分～午後6時30分（須坂東部・日野・相之島保育園は午後7時）

（通常保育 午前8時30分～午後4時30分）

保 育 所 名	平成31年3月の児童数（人）	延児童数（人）
須坂東部保育園	38	498
須 坂 保 育 園	20	238
日 野 保 育 園	34	371
高 甫 保 育 園	14	155
井 上 保 育 園	10	166
北旭ヶ丘保育園	27	315
須坂千曲保育園	18	237
豊 丘 保 育 園	6	102
相之島保 育 園	14	220
仁 礼 保 育 園	20	228
計	201	2,530

(2) 緊急延長保育

保 育 所 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延児童数（人）
須坂東部保育園	61	81	86	79	49	63	63	64	46	68	65	61	786
須 坂 保 育 園	73	48	64	83	61	59	68	94	69	73	67	72	831
日 野 保 育 園	65	48	64	69	63	63	73	102	90	65	96	77	875
高 甫 保 育 園	14	11	7	22	6	25	17	13	21	20	23	23	202
井 上 保 育 園	47	49	51	71	80	42	68	75	104	62	61	61	771
北旭ヶ丘保育園	55	46	57	67	60	65	87	88	67	44	91	62	789
須坂千曲保育園	58	71	65	101	75	68	120	100	77	100	100	88	1,019
豊 丘 保 育 園	19	42	40	34	23	40	27	36	36	13	17	29	356
相之島保 育 園	54	25	93	75	45	45	94	50	63	23	81	41	689
仁 礼 保 育 園	45	33	48	44	33	41	45	60	63	47	58	69	586
計	491	454	575	645	495	511	662	682	632	515	659	583	6,904

(3) 土曜延長保育

保 育 所 名	児童数（人）
須坂東部保育園	6
須 坂 保 育 園	14
日 野 保 育 園	5
高 甫 保 育 園	10
井 上 保 育 園	8
北旭ヶ丘保育園	7
須坂千曲保育園	4
豊 丘 保 育 園	4
相之島保 育 園	15
仁 礼 保 育 園	2
計	75

2 障がい児保育の状況

心身に障がいのある児童の福祉向上のため、障がい児保育の推進に努めた。

保 育 所 名	児童数（人）
須坂東部保育園	2
須 坂 保 育 園	5
日 野 保 育 園	4
高 甫 保 育 園	4

保 育 所 名	児童数 (人)
井 上 保 育 園	4
北旭ヶ丘保育園	5
須坂千曲保育園	2
豊 丘 保 育 園	2
相之島保 育 園	1
仁 礼 保 育 園	4
計	33

3 一時的保育の状況

保護者の臨時的、緊急的な保育需要等に対応するため、公立保育園全園で実施した。（3歳未満児は須坂千曲保育園で実施）

(1) 年齢区分による利用延べ児童数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 (人)
3歳未満児	9	13	16	19	20	19	31	45	29	37	36	36	310
3歳以上児	12	15	2	12	20	0	0	25	2	0	5	5	98
計	21	28	18	31	40	19	31	70	31	37	41	41	408

(2) 理由別児童数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 (人)
臨 時 保 育	7	1	0	0	2	0	2	30	5	4	8	6	65
緊 急 保 育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
私 的 理 由	14	27	18	31	38	19	29	40	26	33	33	35	343
計	21	28	18	31	47	19	31	70	31	37	41	41	408

4 乳児保育の状況

乳児（0歳児）の保育需要に対応するため、公立保育園10園で実施した。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 (人)
児 童 数	18	19	24	29	34	38	46	48	51	53	53	53	466

5 病児・病後児保育の状況

病後児保育は平成23年4月からさかた山風の子保育園に委託して実施した。

登録児童数 110人

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 (人)
利 用 延 数	12	11	11	9	17	5	7	10	17	1	5	9	114
利 用 実 数	5	5	5	6	8	3	4	5	7	1	4	5	58

病児保育は平成31年3月からやすらぎ病児保育園に委託して実施した。

区 分	3月	計 (人)
利 用 延 数	7	7
利 用 実 数	6	6

6 地域活動の状況

保育園児の豊かな心を育むため、ふれあい交流等地域活動事業を実施した。

老人福祉施設訪問等世代間交流事業 10園

地域における異年齢児交流事業 10園

7 運動保育援助事業（柳沢運動プログラム）の状況

子どもたちの日々の運動遊びを継続することで、身体機能の発育を高め、脳の前頭葉を活性化させ、感情をコントロールする力の働きを促すという理論で実績のある、松本短期大学の柳沢秋孝教授の考案した運動プログラムを実践。

各園で保育活動に組み入れて実施。

体育指導委託料

委託先 （有）長野体育指導センター

194,400 円

8 保育園英語活動の開始

平成 26 年 5 月からの公立保育園における英語活動を実施。

英語指導助手委託料

委託先 （株）RCS コーポレーション

3,888,000 円

■ 保育所施設整備事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	11,600,000	決算額	7,778,160	前年度 決算対比	85.9%	前年度 決算額	9,050,400
-----------	---	----------	------------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

公立保育園 10 園でエアコンが設置していない 3、4、5 歳児保育室と子育て支援室等にエアコンを設置する。

II 事業の成果等

公立保育園 10 園の保育室等にエアコンを設置し、保育環境の改善と児童の熱中症予防を図った。

III 事業の実績

1 建設事業の実施状況

(1) 工事請負費の状況

事業名	事業箇所	事業内容	事業費（円）
須坂東部保育園エアコン取付工事	高橋町	須坂東部保育園エアコン取付工事一式 5 歳児室 2 室、職員休憩室	745,200
須坂保育園エアコン取付工事	東横町	須坂保育園エアコン取付工事一式 4 歳児室 2 室、子育て支援室	766,800
日野保育園エアコン取付工事	塩川町	日野保育園エアコン取付工事一式 4、5 歳児室 2 室	496,800
高甫保育園エアコン取付工事	野辺町	高甫保育園エアコン取付工事一式 4、5 歳児室 2 室、子育て支援室	729,000
井上保育園エアコン取付工事	幸高町	井上保育園エアコン取付工事一式 4、5 歳児室 3 室、子育て支援室	918,000
北旭ヶ丘保育園エアコン取付工事	北旭ヶ丘町	北旭ヶ丘保育園エアコン取付工事一式 4、5 歳児室 2 室	535,680
須坂千曲保育園エアコン取付工事	中島町	須坂千曲保育園エアコン取付工事一式 4、5 歳児室 2 室	550,800
豊丘保育園エアコン取付工事	豊丘上町	豊丘保育園エアコン取付工事一式 3、4、5 歳児室 3 室	853,200
相之島保育園エアコン取付工事	相之島町	相之島保育園エアコン取付工事一式 4、5 歳児室 2 室	464,400
相之島保育園エアコン取付工事	相之島町	相之島保育園エアコン取付工事一式 子育て支援室（ランチルーム）	612,360
仁礼保育園エアコン取付工事	仁礼町	仁礼保育園エアコン取付工事一式 4、5 歳児室 3 室、子育て支援室	1,105,920

3-2-4 (目) 子育て支援センター費

単位：円

当初予算額	13,442,000	予算現額	13,587,000	決算額	13,476,421	前年度決算対比	105.0%	前年度決算額	12,839,418
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

■ 子育て支援センター管理運営事業

単位：円

当初予算額	6,495,000	予算現額	6,387,000	決算額	6,279,443	前年度決算対比	105.0%	前年度決算額	5,979,388
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	--------	--------	-----------

I 事業の目的

子育て家庭に対する育児不安等についての相談指導及び来館者親子のつながりを支援する。また、父親の育児参加の促進事業や、シルバー人材センター会員との交流、中高生とのふれあいの機会を持たせるなど世代間交流事業を行うことで子育て中の母親・家庭への支援者の拡大を図る。

地域子育て広場の支援や育児サークルの支援を行うことで地域における子育て家庭の支援を行う。

II 事業の成果等

子育て中の保護者に集いの場や情報の提供、育児相談、「すくすく育児ランド」、「ピアママサロン」「すくすくパパ」等を開催し、子育て中の家庭への支援ができた。

また、祖父母とともに楽しく子育て孫育てができるように「すくすくホーム」を開催した。

中・高校生と赤ちゃんふれあい事業においては、双方の育つ姿が見られ、親になることについてや命の尊さを考える機会とすることができた。

また、ファミリー・サポート・センター事業の実施により、地域で子育て家庭を支えあう環境が定着した。

III 事業の実績

1 子育て支援センター事業実施状況

(人)

区分	開所 日数 (日)	親 子			そ の 他	子育て広場の支援				
		親	子	計		回 数	親	子	計	場 所
4月	24	547	659	1,206	112	1	6	7	13	井上地域公民館
5月	24	662	735	1,397	142	0	0	0	0	
6月	26	700	803	1,503	194	0	0	0	0	
7月	25	752	885	1,637	156	3	24	29	53	高橋町公会堂、井上、高甫地域 公民館
8月	26	675	830	1,505	133	2	10	10	20	高甫、井上地域公民館
9月	23	581	717	1,298	188	1	8	8	16	高甫地域公民館
10月	26	627	726	1,353	187	1	3	3	6	高甫地域公民館
11月	24	644	771	1,415	208	2	10	12	22	高甫地域公民館、高橋町公会堂
12月	23	556	675	1,231	109	3	39	45	84	高橋町公会堂、井上地域公民 館、大谷町公会堂
1月	23	488	588	1,076	127	1	8	9	17	井上地域公民館
2月	23	511	650	1,161	123	0	0	0	0	
3月	25	648	819	1,467	129	3	21	27	48	井上、高甫地域公民館、 高橋町公会堂
計	292	7,391	8,858	16,249	1,808	17	129	150	279	

※「その他」については馬場町老人会、馬場町卓球クラブなどによる利用

2 子育てミニ講座

子育て中の親が子育てに関する負担感・不安感を軽減し、子育てが楽しいと感じることのできる状況を目指し、子育てミニ講座を開催した。

開催期日	内 容	参加数 (人)
6 月 25 日	赤ちゃんマッサージ	親 17 子 17
7 月 19 日	歌あそび・エプロンシアター	親 20 子 21
8 月 9 日	パネルシアター・歌あそび	親 32 子 37
9 月 7 日	親子ふれあいコンサート	親 26 子 29
10 月 18 日	N P I C親子あそび	親 24 子 29
11 月 26 日	赤ちゃんマッサージ	親 12 子 12
12 月 5 日	クリスマスコンサート	親 34 子 38
2 月 25 日	赤ちゃんマッサージ	親 13 子 13
3 月 26 日	リトミック	親 33 子 43
計		親 211 子 239

3 すくすく育児ランド

親であることの自覚と責任を持ち育児に必要な知識を学ぶため、すくすく育児ランドを開催した。

区分	開催期日	内 容	参加数 親 (人)
前期	5 月 22 日	講話「絵本はこころの栄養」	23
	5 月 29 日	講話「親の心のセルフケア」	25
	6 月 5 日	「ママの健康を見直そう」	23
	6 月 12 日	「元気もりもりおいしいご飯のすすめ方」	21
	6 月 19 日	グループワーク「皆でワイワイ 話そう」	16
	計		108
後期	8 月 28 日	講話「親の心のセルフケア」	22
	9 月 4 日	講話「絵本はこころの栄養」	17
	9 月 11 日	「ママの健康を見直そう」	16
	9 月 19 日	「元気もりもりおいしいご飯のすすめ方」	20
	9 月 25 日	グループワーク「皆でワイワイ 話そう」	16
	計		91

4 すくすくパパ

夫婦が共に子育てをする土壌の醸成と、父親の育児力の向上を目指しすくすくパパを開催した。

開催日	内 容	参加数 (人)
5 月 12 日	親子で臥竜山を散策しよう	父 7 母 5 子 9
7 月 7 日	手作りおもちゃで遊ぼう	父 6 母 5 子 10
10 月 27 日	お父さんの料理教室	父 6 母 4 子 8

5 ピアママサロン

子育て中の母親たちが、子育てについて共に考え、思いや経験を共有し合うことで、育児の孤立感やストレスの軽減を図り、お互いにサポートしあう関係を作り上げるため、ピアママサロンを開催した。

開催期日	内 容	参加数 親 (人)
10 月 23 日	開校式・オリエンテーション・グラドルール	15
10 月 30 日	ピアカウンセリング・話を聞かせて?・8つの誓約	16
11 月 6 日	私の4つの窓・傾聴とは?	17
11 月 13 日	私は何の花・あなたは何の花・私の夢を聞いて?	16
11 月 20 日	前回の振り返り・ワイワイ会議・閉校式	16
計		80

6 中高生と赤ちゃんのふれあい事業

次代の親となる中学生・高校生が赤ちゃんと接し、子育て中の母親の話を聞くことで、命の大切さや、妊娠や出産について正しい知識をもち、結婚や親となることについて考えるきっかけをつくる。また、母親が子育てを振り返ったり我が子の将来に期待をもつため、ふれあい事業を実施した。

- (1) 事前講習会 3月16日 参加者9人(中学生0人、高校生9人)
- (2) 体験学習(赤ちゃんとのふれあい) 3月25日 参加者11人(中学生0人、高校生11人)
乳児親子参加 17組

7 すくすくホーム

親も祖父母もともに楽しく子育て・孫育てができるよう、育児に対する思いを話し、分担して子育てをするコツを学ぶため、講座を開催した。

- (1) 開催日 10月16日
- (2) 内 容 講義「おいしい食事とおやつですくすく育てよう」
グループワーク
- (3) 参加者 参加者数 母親 7人 祖父母 8人

8 シルバー人材センター会員との交流

農作業や昔遊びを通してふれあう中で、お年寄りが持つ豊富な経験や知識を参考とし、子育てがより充実したものとなるよう交流を行った。

回	月 日	内 容	参加人数 (人)		
			親	子	シルバー
1	4 月 12 日	じゃが芋・長ネギ植え	13	15	13
2	7 月 4 日	七夕交流	32	34	11
3	8 月 7 日	じゃが芋の収穫	9	11	17
4	11 月 14 日	大根収穫・すいとん交流	35	38	22
5	1 月 16 日	伝承遊び交流	20	22	18

9 ファミリー・サポート・センター事業

子育ての援助を行いたい者と、援助を受けたい者が会員として登録して実施する子育ての相互援助活動を支援した。

- (1) 入会説明・登録 随時(子育て支援センターにて受付)
- (2) 講習会 提供会員登録のための講習会を実施した。(年2クール)

内 容	期 日	参加数 (人)
乳幼児の救急救命法 (長野県立信州医療センター看護師)	6 月 13 日	5
	11 月 28 日	4
子どもの食事と栄養(子ども課管理栄養士)	6 月 22 日	4
	11 月 9 日	7

内容	期日	参加数（人）
子どもの成長発達 (長野県立信州医療センター小児科医師)	6月29日	3
	11月22日	4
保育のこころと遊び(子育て支援センター所長)	6月22日	3
	11月9日	7

(3) ファミリー・サポート・センター運営協議会

事業説明と今後の課題について協議した。

3月4日 出席者5人(ファミリー・サポート・センター会員代表、各児童センター母親クラブ代表、子育てに係わる団体代表)

(4) レベルアップ講習会、提供会員交流会

日頃の活動の様子などから見えてくる課題等の意見交換を行った。

2月27日 参加者4人

(5) 登録状況(平成31年3月31日現在) (人)

依頼会員数	提供会員数	両方会員数	計
434	82	31	547

(6) 活動実績

内 容	件数(件)
1 保育園・幼稚園の保育開始前や保育終了後の子どもの預かり	116
2 保育施設への送迎	6
3 放課後児童クラブ開始前・終了後の子どもの預かり	76
4 放課後児童クラブの送迎	11
5 学校の放課後の子どもの預かり	0
6 学校・保育所の休みの預かり	6
7 学習塾や習い事等への送迎	259
8 障がいを持つ子どもの預かり・送迎など	2
9 病後児の預かり	1
10 冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり	2
11 買い物等の外出の際の子どもの預かり	25
12 保護者の就労(短期・臨時・求職活動)の場合の援助	8
13 保護者の病気・急用等の場合の援助	0
14 早朝・夜間の緊急時の預かり	0
15 産前・産後の育児援助	0
16 保護者のリフレッシュ・習い事等の預かり	7
17 その他(母親支援等)	3
計	522

10 おもちゃの図書館

家庭で不用になったおもちゃ等を市が譲り受け、利用希望者に無料で貸出しを行うことで、子育て家庭の経済的負担の軽減とおもちゃ等の有効活用を図った。

(1) 登録者数 548人

(2) 登録物品数及び貸出状況

品 目	登録数(個)	延貸出数(個)
おもちゃ類	75	278
チャイルドシート	7	14
その他(ベビーベッド、歩行器等)	10	12
計	92	304

3-2-5 (目) 児童クラブ費

単位：円

当初 予算額	77,390,000	予算 現額	76,905,000	決算額	73,988,764	前年度 決算対比	115.1%	前年度 決算額	64,305,139
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 児童クラブ運営事業

単位：円

当初 予算額	77,390,000	予算 現額	76,905,000	決算額	73,988,764	前年度 決算対比	121.1%	前年度 決算額	61,115,899
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

保護者が就労等により留守家庭の児童を対象に放課後児童健全育成事業を推進するため、放課後児童クラブの運営を行う。

II 事業の成果等

- 11 地域児童クラブ（※支援の単位 12）の運営を行い、安心・安全な児童健全育成が図られた。
- 2 民間の団体に児童クラブの運営を委託し、児童の健全育成を図ることができた。

III 事業の実績

1 運営、管理委託の状況

(1) 放課後児童健全育成事業の委託

保護者が就労等により留守家庭の児童の健全育成を図るため、民間の団体に対し放課後児童健全育成事業を委託した。

学童保育どんぐりクラブ

登録児童数（4月1日現在） 38 人 開所日数 301 日 延児童数 6,771 人
1 日平均 22.5 人 委託料 10,720,440 円

やすらぎ児童クラブ

登録児童数（4月1日現在） 42 人 開所日数 299 日 延児童数 5,906 人
1 日平均 19.8 人 委託料 7,806,492 円

2 児童クラブの状況

(1) 施設修繕の状況（5万円以上）

畳部分撤去修繕（高甫）	72,900 円
畳修繕（高甫）	116,640 円
北面防球ネット増設・修繕（南部）	272,138 円
体育室日よけ修繕（南部）	225,914 円
灯油タンク修繕囲い（北部）	71,280 円
高窓排煙窓開閉部修繕（東部）	221,400 円
玄関ドア修繕（東部）	53,892 円
蛍光器具修繕（高甫）	123,120 円

(2) 備品購入の状況（5万円以上）

ランドセルロッカー（井上）	103,140 円
洗濯機（東部）	90,400 円
除雪機（森上・日滝・日野・井上）	1,702,343 円
テレビ・テレビボード（仁礼）	113,400 円
物置（井上）	199,497 円
ロッカー（日滝）	53,136 円

(3) 利用状況 (※支援の単位ごと)

曜日	地域児童クラブ名	開所 日数	登 録 児童数(人)		延利用 児童数(人)	1日平均 利用数(人)
			日々	長期		
月から金	豊洲地域児童クラブ	244	46	12	6,884	28.2
	井上地域児童クラブ	244	59	17	8,039	32.9
	高甫地域児童クラブ	244	36	17	5,999	24.6
	仁礼地域児童クラブ	244	41	15	6,935	28.4
	豊丘地域児童クラブ	244	16	10	2,403	9.8
	日滝地域児童クラブ	244	71	12	11,402	46.7
	日野地域児童クラブ 1	244	55	6	8,503	34.8
	日野地域児童クラブ 2	244	40	30	4,912	20.1
	森上地域児童クラブ	244	58	20	8,208	33.6
	南部地域児童クラブ	244	48	30	8,235	33.8
	東部地域児童クラブ	244	49	25	8,609	35.3
	北部地域児童クラブ	244	45	12	6,010	24.6
	計	2,928	564	206	86,139	29.4
土曜日	豊洲地域児童クラブ	11	46	-	1	0.1
	井上地域児童クラブ	11	59	-	0	0
	高甫地域児童クラブ	11	36	-	22	2.0
	仁礼地域児童クラブ	11	41	-	34	3.1
	豊丘地域児童クラブ	11	16	-	0	0
	日滝地域児童クラブ	11	71	-	8	0.7
	日野地域児童クラブ 1	11	55	-	0	0
	日野地域児童クラブ 2	11	40	-	0	0
	森上地域児童クラブ	11	58	-	8	0.7
	南部地域児童クラブ	48	48	-	143	3.0
	東部地域児童クラブ	48	49	-	90	1.9
	北部地域児童クラブ	48	45	-	81	1.7
	計	243	564	-	387	1.6
合計	豊洲地域児童クラブ	255	46	12	6,885	27.0
	井上地域児童クラブ	255	59	17	8,039	31.5
	高甫地域児童クラブ	255	36	17	6,021	23.6
	仁礼地域児童クラブ	255	41	15	6,969	27.3
	豊丘地域児童クラブ	255	16	10	2,403	9.4
	日滝地域児童クラブ	255	71	12	11,410	44.7
	日野地域児童クラブ 1	255	55	6	8,503	33.3
	日野地域児童クラブ 2	255	40	30	4,912	19.3
	森上地域児童クラブ	255	58	20	8,216	32.2
	南部地域児童クラブ	292	48	30	8,378	28.7
	東部地域児童クラブ	292	49	25	8,699	29.8
	北部地域児童クラブ	292	45	12	6,091	20.9
	計	3,171	564	206	86,526	27.3

※登録児童数は4月1日現在

(4) 放課後児童クラブ利用料の収入状況

区分	調定額 (円)	収入済額(円)	不能欠損額 (円)	収入未済額 (円)	徴収率 (%)
現 年 分	17,502,750	17,463,000	0	39,750	99.8
滞納繰越分	2,000	2,000	0	0	100.0
計	17,504,750	17,465,000	0	39,750	99.8

3 自動体外式除細動器 (AED) の機器賃借料

仁礼、日野、豊洲地域児童クラブにレンタルによるAEDを各1台

109,812 円

4 スポーツ・文化・交流推進事業実施状況

ク ラ ブ 名	実施日	開 催 内 容	参加児童数(人)
豊洲地域児童クラブ	10月10日	折り紙	29
井上地域児童クラブ	6月27日	押し花	25
高甫地域児童クラブ	11月27日	クラフト	22
仁礼地域児童クラブ	10月17日	科学遊び	27
豊丘地域児童クラブ	10月17日	昔の遊び	11
日滝地域児童クラブ	8月7日	腹話術	53
日野地域児童クラブ1、2	9月10日	ヒップホップ	38
森上地域児童クラブ	9月18日	ヒップホップ	35

講師謝礼 26,910 円

3-2-6 (目) 児童センター費

単位：円

当 初 予算額	53,457,000	予算 現額	58,101,000	決算額	55,909,044	前 年 度 決算対比	109.5%	前年度 決算額	51,063,103
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

■ 児童センター管理事業

単位：円

当 初 予算額	3,296,000	予算 現額	3,350,000	決算額	3,221,635	前 年 度 決算対比	86.5%	前年度 決算額	3,725,331
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

児童センター施設の維持管理、修繕、保守点検等を行う。

II 事業の成果等

中央、南部、東部、北部児童センターの施設の修繕等を行うことで、適正な維持管理ができた。

III 事業の実績

1 施設修繕の状況（5万円以上）

ホール上部窓用ワイヤ取付修繕（中央）	109,080 円
ホール高窓日除け修繕（中央）	216,000 円
屋根雪止めネット修繕（中央）	112,320 円

2 点検業務の状況 遊具保守点検 51,840 円

3 自動体外式除細動器（AED）の機器賃借料
中央、南部、東部、北部児童センターにレンタルによるAED各1台 143,040 円

4 児童クラブ用地借上状況

南部児童センター駐車場用地 234.45 m² 367,000 円

■ 児童センター運営事業

単位：円

当 初 予算額	36,531,000	予算 現額	39,213,000	決算額	37,172,389	前 年 度 決算対比	110.3%	前年度 決算額	33,694,928
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

留守家庭児童を対象に、放課後児童健全育成事業を推進するとともに、一般児童に対しても健全な遊びの場を提供し、集団的及び個別的な指導を通じて健康の増進と情操を豊かにするため児童センターの運営を行う。また、児童のいない午前中等を開放し、未就園児とその保護者の集まりの場としての「遊びの広場」を実施する。

Ⅱ 事業の成果等

放課後児童健全育成事業の推進と、一般児童に対しても児童センターの運営を行う中で児童の健全育成が図られた。また、午前中についても未就園児とその保護者に「遊びの広場」が定着し利用された。

Ⅲ 事業の実績

1 利用の状況

曜日	センター名	開 所 日 数 (日)	一 般 児 童 (人)					遊 び の 広 場			そ の 他 (人)		総計 (人)	1日平 均数 (人)
			小学生 低学年	小学生 高学年	中学生 以上	計	1日平 均数	親 (組数)	幼児 (人)	1日平均 数(組)	利用者	1日平 均数		
月 か ら 金	中央児童 センター	244	1,284	960	77	2,321	9.5	—	—	—	—	—	2,321	9.5
	南部児童 センター	244	468	103	38	609	2.5	1,335	1,584	5.5	75	0.3	3,603	14.8
	東部児童 センター	244	468	377	164	1,009	4.1	697	869	2.9	4	0.0	2,579	10.6
	北部児童 センター	244	334	465	6	805	3.3	528	681	2.2	0	0	2,014	8.3
	計	976	2,554	1,905	285	4,744	4.9	2,560	3,134	3.5	79	0.1	10,517	10.8
土	中央児童 センター	48	507	306	27	840	17.5	—	—	—	—	—	840	17.5
	南部児童 センター	48	90	55	5	150	3.1	44	47	0.9	228	4.8	469	9.8
	東部児童 センター	48	146	166	67	379	7.9	68	70	1.4	86	1.8	603	12.6
	北部児童 センター	48	90	114	2	206	4.3	111	162	2.3	48	1.0	527	11.0
	計	192	833	641	101	1,575	8.2	223	279	1.5	362	2.5	2,439	12.7
合 計	中央児童 センター	292	1,791	1,266	104	3,161	10.8	—	—	—	—	—	3,161	10.8
	南部児童 センター	292	558	158	43	759	2.6	1,379	1,631	4.7	303	1.0	4,072	13.9
	東部児童 センター	292	614	543	231	1,388	4.8	765	939	2.6	90	0.3	3,182	10.9
	北部児童 センター	292	424	579	8	1,011	3	639	843	2.2	48	2	2,541	8.7
	計	1,168	3,387	2,546	386	6,319	5.4	2,783	3,413	3.2	441	0.5	12,956	11.1

※その他の利用者は保育園児の遠足、地域のボランティア等

2 4 児童センター・8 児童クラブ合同事業

レッツプレイ！レクゲーム 11 月 17 日 市民体育館 94 人参加

3 スポーツ・文化交流活動推進事業実施状況

センター名	実 施 日	開 催 内 容	参加児童数(人)
東部児童センター	12 月 19 日	マジック	40
南部児童センター	11 月 14 日	押し花	36
北部児童センター	8 月 1 日	エレクトーン演奏	27

講師謝礼 7,380 円

4 備品購入の状況（5 万円以上）

レーンパネル（南部）	345,600 円
レーンパネル（北部）	345,600 円
滑り台（北部）	105,840 円

3-2-7 (目) 母子・父子福祉費

単位：円

当 初 予算額	11,468,000	予算 現額	19,151,000	決算額	16,922,776	前 年 度 決算対比	240.1%	前年度 決算額	7,048,007
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	-----------

■ 母子・父子家庭支援事業

単位：円

当初 予算額	11,468,000	予算 現額	19,151,000	決算額	16,922,776	前年度 決算対比	240.1%	前年度 決算額	7,048,007
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

母子・父子自立支援員を設置し、母子・父子家庭や寡婦家庭の相談・助言を行うとともに、各種事業を通じて家庭の自立と生活基盤の安定を図る。

II 事業の成果等

母子・父子家庭の相談業務を希望者に積極的に行い、資格取得等修業支援や資金貸付等生活支援を行うことができた。

III 事業の実績

1 母子家庭の状況

(1) 母子家庭数 560 世帯（8月1日現在）

(2) 母の年齢別母子家庭数

区 分	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
家庭数(世帯)	2	42	157	293	63	3	560

※調査基準日の満年齢により区分

(3) 児童数別母子家庭数

区 分	1人	2人	3人	4人	5人以上	不明	計
家庭数(世帯)	325	198	33	3	1	0	560

(4) 母子家庭の年齢別児童数

区 分	0～5歳	6～11歳	12～14歳	15～17歳	18～19歳	不明	計
児童数(人)	102	231	151	214	139	0	837

2 父子家庭の状況

(1) 父子家庭数 60 世帯（8月1日現在）

(2) 父の年齢別父子家庭数

区 分	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
家庭数(世帯)	0	2	17	26	10	5	60

※調査基準日の満年齢により区分

(3) 児童数別父子家庭数

区 分	1人	2人	3人	4人	5人以上	不明	計
家庭数(世帯)	33	19	6	2	0	0	60

(4) 父子家庭の年齢別児童数

区 分	0～5歳	6～11歳	12～14歳	15～17歳	18～19歳	不明	計
児童数(人)	6	25	17	25	24	0	97

3 母子・父子相談状況

区 分	相談件数 (件)	延相談回数 (回)
生活一般（医療、就労、住宅等）	308	322
児童（養育、教育等）	36	37
生活援護（福祉資金、手当等）	288	295
その他	5	8
計	637	662

4 母子家庭等日常生活支援事業

実績なし

5 母子生活支援施設入所者の状況

実績なし

6 母子・父子家庭親子の集い

(福)須坂市社会福祉協議会との共催により事業を実施した。

期日 11月17日(土)～18日(日) 行き先 東京ディズニーリゾート 参加者 40人

7 村石母子、父子家庭特別奨学金の給付

対象者 3人 給付金額 1,500,000円

8 母子・父子家庭自立支援教育訓練給付金の給付

対象者 3人 給付金額 155,642円

9 母子・父子家庭高等技能訓練促進費の給付

対象者 2人 給付金額 2,000,000円

10 母子・父子家庭高等技能訓練促進費修了一時金の給付

実績なし

11 ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金の給付

実績なし

12 母子及び寡婦福祉資金の貸付状況(貸付主体:長野県)(3月31日現在)

区 分	貸付件数(件)		金額(円)
	新 規	継 続	
母子福祉資金	1	0	630,000
寡婦福祉資金	0	0	0
計	1	0	630,000

3-2-8(目)親子通園施設費

単位:円

当 初 予算額	5,453,000	予算 現額	5,433,000	決算額	5,217,037	前 年 度 決算対比	99.9%	前年度 決算額	5,224,297
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

■ 親子通園施設管理事業

単位:円

当 初 予算額	270,000	予算 現額	260,000	決算額	191,015	前 年 度 決算対比	85.0%	前年度 決算額	224,802
------------	---------	----------	---------	-----	---------	---------------	-------	------------	---------

I 事業の目的

親子通園施設「くれよん」の維持管理、修繕等を行う。

II 事業の成果等

施設の適正な維持管理ができた。

Ⅲ 事業の実績

1 施設管理の状況

保育室・訓練室カーペットクリーニング他 60,328 円

■ 親子通園事業

単位：円

当 初 予算額	5,183,000	予算 現額	5,173,000	決算額	5,026,022	前 年 度 決算対比	100.5%	前年度 決算額	4,999,495
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	--------	------------	-----------

Ⅰ 事業の目的

就学前の身体に障がいのある児童、知的障がいのある児童及び発達に支援を必要とする児童が保護者とともに通園し、機能訓練及び生活指導を通して生活に必要な力を向上させる。また、その保護者に対して相談に応じる等の支援を行い、総合的に児童の育成支援を図る。

平成 26 年 4 月 1 日より施設の名称を「親子通園施設くれよん」とし、今まで障がい児に限定していた入園の対象を、発達障がい疑われるなど発達に支援を必要とする子どもとその保護者まで拡大した。

Ⅱ 事業の成果等

心身に障がいのある児童や発達に支援を必要とする児童の保育、機能訓練及び生活指導を行い、育成を促すことができた。

Ⅲ 事業の実績

1 利用状況

(人)

児童数		年齢区分	
		3 歳未満	3 歳以上
在 籍 人 数	7	6	1
利用延べ人数	508	435	73

2 訓練の状況 作業療法 12 回 延 32 人
 音楽療法 12 回 延 42 人

3-3-1 (目)生活保護総務費

単位：円

当 初 予算額	58,634,000	予算 現額	59,874,000	決算額	59,059,373	前 年 度 決算対比	102.9%	前年度 決算額	57,421,755
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当 初 予算額	8,121,000	予算 現額	10,273,000	決算額	9,472,482	前 年 度 決算対比	140.7%	前年度 決算額	6,733,509
------------	-----------	----------	------------	-----	-----------	---------------	--------	------------	-----------

Ⅰ 事業の目的

医療扶助の適正な運営の確保及び民生児童委員、主任児童委員の活動支援に努める。

Ⅱ 事業の成果等

嘱託医による医療要否意見書等の審査及び精神科医療検討会の開催、主治医面接により、医療扶助の適正な運営の確保に努めた。

生活保護の適正実施のため、生活保護システム保守点検及び生活保護レセプト点検業務を委託した。また、平成 30 年 10 月 1 日の改正生活保護法の施行に伴う基準額等の変更、被保護者調査の集計項目追加等に対応す

るため、システム改修業務を委託した。

また、地域福祉の担い手である民生児童委員、主任児童委員及び須坂市福祉委員の活動支援のため、研修会を開催した。

Ⅲ 事業の実績

1 嘱託医審査件数等

(1) 審査件数

医療要否意見書 (入院) (件)		医療要否意見書 (入院外) (件)		訪問看護要否意見書 (件)	給付等要否意見書 (件)	その他 (件)	合 計 (件)
精 神	14	精 神	150	1	治療材料	10	検診命令 8 訪問看護 0
一 般	65	一 般	518		施術	1	
					移送	51	

(2) 嘱託医報酬 一般 867,000 円 精神 17,000 円

2 精神科医療検討会の開催

期日 2月21日 参加者 精神科医師1人 市職員6人

3 生活保護業務データシステム等の運用

生活保護業務データシステム並びに、レセプト管理システムを利用し、生活保護の適正実施に努めた。また、平成30年10月1日の生活保護法改正による基準額変更等に対応するため、生活保護システムを改修した。

(1) 生活保護業務データシステム保守点検業務委託

ア 委託先 (株)電算
イ 委託料 578,880 円

(2) 生活保護レセプト点検業務委託

ア 委託先 (株)ニチイ学館
イ 委託料 168,480 円

(3) 生活保護業務データシステム改修業務委託 (被保護者調査集計項目追加等)

ア 委託先 (株)電算
イ 委託料 648,000 円

(4) 生活保護業務データシステム改修業務委託 (基準額変更等対応)

ア 委託先 (株)電算
イ 委託料 1,416,960 円

4 要介護状態等の審査判定業務委託

生活保護法、中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律による介護支援給付運営要領に基づく介護扶助及び介護支援給付の実施のための要介護状態等の審査判定を委託した。

(1) 委託先 長野広域連合
(2) 委託料 210,306 円

5 被保護者就労支援事業

被保護者からの相談に応じ、就労に関し必要な情報の提供及び助言を行った。

(1) 新規就労支援対象者 5人
(2) 委託先 (福)須坂市社会福祉協議会
(3) 委託料 3,007,707 円

6 研修会の開催

総合相談推進セミナー

- (1) 期 日 2月20日(水)
- (2) 場 所 須坂市中央公民館3階ホール
- (3) 内 容 活動報告、グループ討議

ア 活動報告 「まいさぼ須坂や福祉事務所等との連携」

- 報告1 関係機関へつなげる前に 勝山 ひろみ 氏 (常盤町民生児童委員)
報告2 まいさぼ須坂との関わりの中で 東海林 文子 氏 (北旭ヶ丘町民生児童委員)
報告3 身近な相談相手 民生委員さんの支え 高齢者福祉課 宮下由紀子企画主事

イ グループ討議

テーマ「地域共生社会の実現に向けた地域づくり」

- コーディネーター 山崎 博之 氏 (長野県社会福祉協議会総務企画部企画グループ主任)
アシスタント 齋藤 舞 氏 (長野県社会福祉協議会相談事業部自立支援グループ主事)
アシスタント 戸谷 雅史 氏 (須坂市生活就労支援センターまいさぼ須坂主任相談支援員)

- (4) 参加者数 97人 (民生児童委員)

3-3-2 (目) 扶助費

単位：円

当初 予算額	348,916,000	予算 現額	390,442,000	決算額	353,337,019	前年度 決算対比	103.5%	前年度 決算額	341,496,211
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 生活保護費

単位：円

当初 予算額	348,916,000	予算 現額	390,442,000	決算額	353,337,019	前年度 決算対比	103.5%	前年度 決算額	341,496,211
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

生活に困窮する者に対し困窮の程度に応じ必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長する。

II 事業の成果等

昨今の社会情勢、経済・雇用状況等を反映し、生活に関する相談が増加する中、当市の生活保護の状況は、平成31年3月現在、被保護世帯174世帯、被保護人員234人、保護率4.7%（パーミル）で前年度より増加した。

被保護世帯は、様々な問題を抱えており、援助困難なケースや早期自立が難しいケースが多いが、最近では、特に50～60歳代の男性からの相談・申請が増えている。また、生活保護の適正な運営のため、面接相談、ケース検討の実施による保護開始決定や、ケースワーカーによる生活保護世帯の家庭訪問を行った。

こうした中、きめ細かな相談支援に努め、須坂市生活就労支援センター（まいさぼ須坂）、須坂公共職業安定所（ハローワーク須坂）等の関係部署・機関との連携を一層図りながら、世帯の自立に向けて組織を挙げて指導援助に努めた。

なお、生活保護申請をした世帯が、当面の生活のための所持金がない、あるいはライフラインが止まってしまふなど、窮迫の状態にある場合などに対応するため、生活支援金貸付制度を設け、支援金の貸付けを行うことで、保護決定までの間の生活を支援することができた。

Ⅲ 事業の実績

1 生活保護の状況

年 月	世帯類型別保護世帯数（世帯）					人員(人)	保護率(%)
	高齢	母子	傷病・障害	その他	計		
平成 31 年 3 月	83	11	50	30	174	234	4.7
平成 30 年 3 月	86	8	47	28	169	227	4.5

2 生活保護の実施状況

区 分	延世帯数(世帯)	延人員(人)	扶助費(円)	構成比率(%)
生 活 扶 助	1,741	2,352	95,471,089	32.63
住 宅 扶 助	1,632	2,208	37,441,716	12.79
教 育 扶 助	88	128	1,187,576	0.41
介 護 扶 助	315	315	6,539,105	2.23
医 療 扶 助	1,813	2,285	131,102,198	44.80
出 産 扶 助	0	0	0	0.00
生 業 扶 助	85	94	1,542,402	0.53
葬 祭 扶 助	2	2	558,235	0.19
保護施設事務費	135	135	18,789,086	6.42
就労自立給付金	0	0	0	0.00
計	5,811	7,519	292,631,407	100.00

3 保護の開始及び廃止状況

保護の開始理由（世帯）					保護の廃止理由（世帯）					
主の 疾病	収入の 減少等	就労困難 (高齢者・障害者)	その他	計	稼働収入 の増加	他法活用	転出	死亡	その他	計
11	8	5	4	28	5	5	1	6	3	20

4 生活保護法による救護・授産施設入所、通所状況

施 設 名	年間実入所者数(人)	事務費(円)
清和寮	2	4,404,067
旭寮	3	5,452,148
共和寮	1	2,078,920
阿南富草寮	1	2,070,331
福祉企業センター(授産)	8	4,783,620
計	15	18,789,086

5 生活支援金貸付状況

件数 13 件 貸付金額 434,858 円

6 面接件数等

- (1) 面接相談 相談者数 84 人 延相談回数 94 回
- (2) ケース検討会 開催回数 37 回 検討件数 116 件
- (3) 被保護世帯家庭訪問件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	60	57	61	66	61	39	61	58	54	42	59	50	668

3-4-1 (目) 人権同和政策総務費

単位：円

当初 予算額	14,743,000	予算 現額	14,614,000	決算額	14,144,373	前年度 決算対比	99.9%	前年度 決算額	14,165,011
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 人権政策事業

単位：円

当初 予算額	2,720,000	予算 現額	2,623,000	決算額	2,351,433	前年度 決算対比	96.0%	前年度 決算額	2,448,357
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

須坂市人権政策推進基本方針及び須坂市人権政策実施方針に基づき、人権が尊重され、差別のない明るい社会の実現のため、あらゆる差別をなくす事業をすすめる、また人権啓発事業により市民意識を向上させる。

II 事業の成果等

同和問題をはじめとしてさまざまな人権課題の解決に向けて人権政策・人権教育を一層進めるために、部落差別をはじめあらゆる差別撤廃・人権擁護審議会の開催や須坂市人権政策推進基本方針推進本部員会議並びに幹事会議を開催して、須坂市人権政策推進基本方針に沿った施策について協議を行ない、具体的施策の達成に向けて各課が取り組みを行い、人権意識向上のための啓発活動を推進することができた。

福島人権ふれあいセンター、二陸学習センターを指定管理者制度により部落解放同盟須坂市協議会が円滑な管理運営を行なった。本郷学習センター、本郷人権ふれあいセンター等は部落解放同盟須坂市協議会に一部施設を管理委託し、円滑な管理運営を行なった。

III 事業の実績

1 部落差別をはじめあらゆる差別撤廃・人権擁護審議会

開催日	出席委員	審 議 会 内 容
10月3日	委員 15 人中 12 人	(1) 須坂市人権政策推進基本方針に基づく市行政の取り組み実績について (具体的な取り組み 人権教育講座、児童虐待防止研修会など 講座や研修会の開催、広報須坂を利用した啓発活動 等) (2) その他

2 人権政策推進基本方針の取り組み

(1) 人権政策推進基本方針推進本部員会議（市長、副市長、教育長、全部等の長、人権同和政策課、人権同和教育課）

開催日	出席者	会 議 内 容
8月10日	17 人	(1) 須坂市人権政策推進基本方針に関する各課の取り組みについて (2) その他

(2) 人権政策推進基本方針推進本部幹事会議

(社会共創部長、関係課長、人権同和政策課、人権同和教育課)

開催日	出席者	会 議 内 容
9月20日	18 人	(1) 須坂市人権政策推進基本方針に関する各課の取り組みについて (2) その他

3 指定管理等の状況

(1) 福島人権ふれあいセンター

指定管理者 部落解放同盟須坂市協議会
 指定の期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日
 管理経費 142,000円（平成30年度）

(2) 二睦学習センター

指定管理者 部落解放同盟須坂市協議会
 指定の期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日
 管理経費 216,000円（平成30年度）

4 本郷地区地域人権交流施設等の管理委託

委託先 部落解放同盟須坂市協議会
 委託期間 4月2日～3月31日
 委託料 50,000円
 委託内容 本郷学習センター、本郷人権ふれあいセンター、本郷卓球場等施設の貸出管理、
 本郷児童遊園地、本郷駐車場の除草、除雪等周辺環境の整備

5 地域人権交流施設の工事及び修繕

(1) 本郷学習センター

外水道修繕工事	請負先	西田管業（株）	金額	8,640円
男子トイレ小便器修繕工事	請負先	協健匠須高	金額	34,680円

(2) 本郷人権ふれあいセンター

屋根雪止め設置	請負先	須高建設産業労働組合	金額	5,975円
---------	-----	------------	----	--------

(3) 福島児童遊園地ベンチ補修工事

請負先	須高建設産業労働組合	金額	7,809円
-----	------------	----	--------

6 土地借上げ

二睦児童遊園地（大字井上2082番地2 250.7㎡のうち216.7㎡） 年額 63,184円

7 第55回長野県部落解放研究集会への参加

第55回 長野県部落解放研究集会に、部落差別をはじめあらゆる差別撤廃・人権擁護審議会委員が研修の機会として大会に参加した。

12月21日 長野市 ホクト文化ホール 参加委員 3人

■ 部落差別をはじめあらゆる差別をなくす活動助成事業

単位：円

当初 予算額	2,300,000	予算 現額	2,300,000	決算額	2,164,000	前年度 決算対比	104.1%	前年度 決算額	2,079,000
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

部落差別をはじめあらゆる差別の早期解消をめざし活動する団体が行う事業を支援し、人権が尊重され、差別のない明るい社会の実現を図る。

II 事業の成果等

部落解放同盟須坂市協議会及び部落解放同盟須高地区協議会が行った部落差別をはじめあらゆる差別をなくすための事業に要した経費に対し補助金を交付して、運動団体の指導的な人材が育成され資質向上が図られた。

部落解放同盟須坂市協議会及び部落解放同盟長野県連合会との行政懇談会を行い、差別解消に向けた意見交換を行い、課題を共有することができた。

部落解放・人権政策確立要求須坂市実行委員会に対して負担金を交付し、人権侵害救済法の早期制定に向けた須高地区大会を支援し、参加した住民の意識向上が図られた。

Ⅲ 事業の実績

1 行政懇談会

(1) 部落解放同盟須坂市協議会及び部落解放同盟長野県連合会

2018 部落解放・人権政策確立要求長野県内行動【統一要求書】（部落解放同盟長野県連合会）及び部落解放・人権政策確立独自要求書（部落解放同盟須坂市協議会）に基づき懇談を行なった。

月 日	主 な 懇 談 内 容
11 月 14 日	ア インターネット上の差別解消のため、須高3市町村連携した「モニタリング」の実施と関係機関との連携について イ 身元調査に関する照会について ウ 「部落差別の解消の推進に関する法律」の周知について エ 部落差別を解消するための施策について オ 部落差別解消の取り組み計画(教育・啓発計画)について カ 部落差別を解消するための住民への教育・啓発等について キ 部落差別に関する相談体制の充実について ク 被差別部落の実態に係る調査について ケ 電話等による照会に対するマニュアルについて コ インターネット上の差別解消に向けた法律の改正について サ 部落差別解消のため協力団体との連携について

運動団体 部落解放同盟長野県連合会執行委員長、部落解放同盟須坂市協議会会長、同支部長他
 須坂市 副市長、社会共創部長、教育次長、人権同和政策・教育課長他

2 部落解放・人権政策確立要求須高地区大会

期 日 6 月 20 日 (水)

場 所 高山村 高山中学校体育館

参加者 550 人

内 容 演題 「あいつぐ差別事件と『部落差別解消推進法』の活用」

講師 部落解放同盟長野県連合会 高橋 芳夫 氏

3 部落差別をはじめあらゆる差別をなくすための活動事業

部落解放同盟須坂市協議会及び部落解放同盟須高地区協議会が行う活動に対し、補助金を交付した。

事業の種類	交付団体	補助金額 (円)
市民人権教育・研修事業	部落解放同盟須坂市協議会	306,000
市民人権教育・研修指導者養成事業	部落解放同盟須坂市協議会	1,250,000
	部落解放同盟須高地区協議会	508,000

■ 人権擁護事業

単位：円

当 初 予算額	333,000	予算 現額	333,000	決算額	315,029	前 年 度 決算対比	94.7%	前年度 決算額	332,576
------------	---------	----------	---------	-----	---------	---------------	-------	------------	---------

I 事業の目的

憲法で国民に保障されている基本的人権を擁護し、自由人権思想の普及高揚を図る取り組みをしている人権擁護委員の活動を支援し、人権擁護活動について広く市民へ周知を図る。

II 事業の成果等

人権擁護委員の活動を支援することで、人権啓発活動等を進展する一助となった。

特に、特設人権相談所（よろずなんでも相談）の開設について隣組回覧等で広報したことにより、周知が図れ、相談者の人権問題解決の第一歩につなげることができた。

III 事業の実績

1 人権擁護委員の啓発活動

11月17日「第46回部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会」に合わせ、メセナホールホワイエで人権啓発資料等を配布し人権擁護活動の周知に努めた。

2 長野人権擁護委員協議会須高部会の活動

(1) 須高部会研修会

10月29日 人権交流センター 内容 人権侵犯事件と人権擁護委員のかかわり

(2) 須高部会打合せ

6月1日、7月20日、9月7日、1月22日 人権交流センター

内容 長野人権擁護委員協議会須高部会事業計画等について

(3) 企業等への人権啓発活動

12月17日 J Aながの がりゅうの里

(4) スマホ・ケータイ安全教室

7月9日 市立仁礼小学校

(5) 子ども人権教室

9月12日 小布施町北斎ホール

(6) 須高部会総会

2月18日 人権交流センター

3 人権擁護委員の相談活動

(1) 長野地方法務局における日常相談活動

(2) 特設人権相談所開設（よろずなんでも相談）

月 日	相 談 時 間	場 所	相談件数
4月17日	午前10時～正午	人権交流センター	1
5月15日	午前10時～正午	人権交流センター	2
6月15日	午前10時～午後3時	シルキーホール	6
7月17日	午前10時～正午	人権交流センター	2
8月21日	午前10時～正午	人権交流センター	1
9月18日	午前10時～正午	人権交流センター	0
10月16日	午前10時～正午	人権交流センター	1
11月20日	午前10時～正午	人権交流センター	0
12月14日	午前10時～午後3時	シルキーホール	2
1月15日	午前10時～正午	人権交流センター	1
2月19日	午前10時～正午	人権交流センター	0
3月19日	午前10時～正午	人権交流センター	0
計			16

■ 住宅新築資金等貸付金回収事業

単位：円

当初 予算額	60,000	予算 現額	60,000	決算額	39,508	前年度 決算対比	100.2%	前年度 決算額	39,415
-----------	--------	----------	--------	-----	--------	-------------	--------	------------	--------

I 事業の目的

同和問題の速やかな解決を図るために貸付けた、住宅新築資金等貸付金を回収する。

II 事業の成果等

債務者及び連帯保証人との分納誓約に基づく償還により債権回収に努めている。また、償還が滞った際には催告を行い早めの徴収に結びつけた。

III 事業の実績

1 貸付の状況

区分		貸付累計		回収済額		貸付残高		平成31年以降回収予定額 (再掲)
		件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
住宅新築資金	元金	31	205,300,000	28	194,326,832	3	10,973,168	1,563,533
	利息		51,900,761		48,337,787		3,562,974	121,410
	計		257,200,761		242,664,619		14,536,142	1,684,943
住宅改修資金	元金	114	191,562,000	112	189,147,263	2	2,414,737	
	利息		31,692,572		31,405,219		287,353	
	計		223,254,572		220,552,482		2,702,090	
宅地取得資金	元金	20	61,200,000	20	61,200,000	0	0	
	利息		13,979,521		13,979,521		0	
	計		75,179,521		75,179,521		0	
合計	元金	165	458,062,000	160	444,674,095	5	13,387,905	1,563,533
	利息		97,572,854		93,722,527		3,850,327	121,410
	計		555,634,854		538,396,622		17,238,232	1,684,943

令和5年度までの償還金額も含む

2 現年度償還分回収の状況

区分		現年度償還分回収予定額 ①		本年度回収済額②		未回収額(滞納額)	
		実件数	貸付金(円)	件数	貸付金(円)	件数	貸付金(円)
住宅新築資金	元金	2	612,674	1	59,004	2	553,670
	利息		64,355		5,996		58,359
	計		677,029		65,000		612,029

3 過年度滞納分回収の状況

区分		過年度滞納分累計 (年度当初) ③		本年度回収済額④		未回収額(滞納額)	
		実件数	貸付金(円)	件数	貸付金(円)	件数	貸付金(円)
住宅新築資金	元金	3	8,978,655	3	122,690	3	8,855,965
	利息		3,440,515		57,310		3,383,205
	計		12,419,170		180,000		12,239,170
住宅改修資金	元金	2	2,651,099	2	236,362	2	2,414,737
	利息		314,991		27,638		287,353
	計		2,966,090		264,000		2,702,090
宅地取得資金	元金	0	0	0	0	0	0
	利息		0		0		0
	計		0		0		0
合計	元金	5	11,629,754	5	359,052	5	11,270,702
	利息		3,755,506		84,948		3,670,558
	計		15,385,260		444,000		14,941,260

4 本年度回収率 3.2%

(現年度分償還予定額と過年度滞納分累計の合計に対する本年度回収済額の割合 (②+④) / (①+③) ×100)

3-4-2 (目) 人権交流センター費

単位：円

当初 予算額	16,991,000	予算 現額	14,985,000	決算額	14,530,473	前年度 決算対比	87.2%	前年度 決算額	16,671,822
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 人権交流センター運営事業

単位：円

当初 予算額	8,931,000	予算 現額	6,805,000	決算額	6,355,032	前年度 決算対比	74.1%	前年度 決算額	8,575,960
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発のための住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行う。

II 事業の成果等

各種相談事業・人権交流講座・地域福祉事業や市民への広報活動として広報すざかへの記事掲載を実施し、全市的な人権問題の啓発や地域の実態に即した相談活動を行うことができた。

III 事業の実績

1 人権交流センター運営審議会 委員7人中6人出席

開催日	審議会内容
6月11日	(1) 須坂市人権交流センター運営審議会の役割等について (2) 須坂市人権交流センター事業の実施状況について (3) 須坂市人権交流センター事業の計画について (4) 須坂市人権交流センター事業への要望・意見等について

2 人権交流センター運営懇談会 参加者15人

参加範囲：福島・二睦・本郷・新田・屋部町区長、同公民分館長、
福島・二睦・本郷・新田・屋部町民生児童委員、部落解放運動団体役員

開催日	懇談会内容
3月20日	(1) 須坂市人権交流センター事業の目的等について (2) 須坂市人権交流センター事業の実施状況について (3) 須坂市人権交流センター事業の計画について (4) 須坂市人権交流センター事業への要望・意見等について

3 人権交流講座

対象地域住民と周辺地域住民・PTA 会員等が参加して人権交流講座を実施した。

開催日	演題	講師	参加人数 (人)
5月22日	今、人権を学ぶこと ～同和問題を柱に～	木藤 博 氏	80
6月19日	新しい3つの法律について	山岸 周一 氏	84
7月17日	保護司の仕事と保釈中の人の人権	増澤 秀誉 氏	80
計			244

4 相談事業

(1) 総合相談窓口として随時、人権交流センターで相談に応じる「日常相談」

相 談 内 容	相談件数 (件)
1 同和問題の相談	0
2 就労就職の相談	0
3 職場の相談	1
4 近隣所の相談	4
5 家族の相談	0
6 教育の相談	0
7 健康・介護の相談	2
8 暮らし（生活、収入等の相談）	1
9 町別等人権問題学習会	22
10 その他（相続、離婚の悩みなど）	11
計	41

(2) 人権交流センター指導員が対象地域の家庭を戸別訪問する「ふれあい相談」

訪問件数 延べ 33 軒

5 生活相談事業委託 委託先 部落解放同盟須坂市協議会 委託料 324,000 円 対象地域での生活相談員3人による「生活相談事業」

相 談 内 容	相談件数 (件)
1 同和問題の相談	0
2 就労就職の相談	0
3 職場の相談	0
4 近隣所の相談	4
5 家族の相談	2
6 教育の相談	0
7 健康・介護の相談	1
8 暮らし（生活、収入等の相談）	3
9 その他（相続、ごみステーションの移設相談など）	19
計	29

6 広報啓発事業

(1) 広報活動

広報須坂掲載(5、6、7、8、9、10、11、12、1、2月人権教育啓発標語は毎月)

(2) 各町「人権問題学習会」への協力

町の人権問題学習会担当者と企画や相談や学習会での助言等の支援をした。

69町 原則年2回

(3) 「人権教育リーダー研修会」「人権教育講座」「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会」「人権を考える市民のつどい」で、事務局と一体となって準備・運営等を行った。

(4) 人権教育関係のビデオと図書等の貸出

DVD及びビデオ 141回 図書 31冊 プロジェクター 31回 スクリーン 28回
ビデオデッキ 27回

うち DVD 及びビデオの貸出状況

題 名	購入年度	回数	題 名	購入年度	回数
企業と人権 (40分)	30	3	カラフルー家庭の中の人権ー(31分)	26	1
虐待防止ー児童虐待・ 高齢者虐待・DVー(47分)	30	1	Imagination 想うつながる一步ふみだす (34分)	26	5
わっかカフェへようこそ (32分)	29	23	今、地域社会と職場の人権は！ (36分)	25	1

題 名	購入年度	回数	題 名	購入年度	回数
ケータイ・ネットここが心配(23 分)	29	9	日常の人権Ⅱ (23 分)	25	1
夫婦で差別と闘います～結婚問題～ (30 分)	29	13	桃香の自由帳 (36 分)	24	2
無関心ではいけない!!障害者の人権 (25 分)	29	2	インターネットと人権 ～凶器となるネット～ (22 分)	23	1
フェアな会社で働きたい (25 分)	29	10	ねずみくんのきもち (12 分)	23	1
アニメで見る 中学生人権作文 (31 分)	28	1	人権のヒント・地域編 (22 分)	22	3
インターネットと人権 ～被害者・加害者～ (30 分)	28	1	私の中の差別意識 ～部落差別問題から～(24 分)	22	1
外国人と人権 ～違いを認め、共に生きる～(33 分)	28	1	部落の歴史 (明治～現代) (26 分)	21	2
未来への虹 ～僕のおじさんは ハンセン病～ (30 分)	28	2	部落の歴史 (中世～江戸時代) (27 分)	20	2
コミュニケーションと 職場の人権 2 (23 分)	28	4	防ごうパワー・ハラスメント (職場) (20 分)	20	1
東山文化を支えた 「差別された人々」(18 分)	28	3	えっ!これも人権 (30 分)	19	6
明治維新と賤民廃止令 (18 分)	28	1	老いを生きる ～今日もどこかでサインが～ (35 分)	19	5
光射す空へ (32 分)	28	5	今でも部落差別はあるのですか (38 分)	18	1
「人権」ってなんだろう (14 分)	28	1	一枚の絵手紙 (43 分)	14	3
聲(こえ)の形 (30 分)	27	2	私の歩んだ道 ～差別の中を生きて～ (35 分)	12	1
ヒューマン博士と考えよう (28 分)	27	2	愛と自由のために ～くら子のメッセージ～(34 分)	11	1
多様性を尊重した職場の コミュニケーションと人権Ⅰ (25 分)	27	1	誇りうる部落の歴史 ～新史料研究から～(30 分)	11	1
多様性を尊重した職場の コミュニケーションと人権Ⅱ (25 分)	27	1	ドキュメンタリー・結婚 (33 分)	10	2
同和問題 ー未来に向けてー (19 分, 61 分)	26	3	赤の他人はなかりけり (31 分)	07	2
あなたがあなたらしく 生きるために (30 分)	26	7	新ちゃんが泣いた (37 分)	元	2

(5) 人権交流センター啓発チラシ

人権交流センターの事業について、市民へ啓発するため、チラシを作成し各種講座及び運営懇談会等で配布した。

(6) 人権啓発パネルによる啓発

シルキーホールでの展示 6月1日～15日、12月1日～14日

各地域公民館で巡回展示 年間

(7) DVD上映(視聴)会

5月17日、6月26日、7月23日、9月19日、10月16日、11月20日、12月18日、1月22日、
2月19日 計9回 のべ参加者数 54人

(8) 教職員、PTA役員等を対象に「人権問題学習会」を実施。

8月9日 参加者数 7人

7 地域福祉事業

(1) 料理交流会

対象地域住民と周辺地域住民を中心に料理交流会を開催し、参加者の親睦・交流を図りながら人権について理解を深める機会とした。

開 催 日	講 習 内 容	講 師	参加人数 (人)
8 月 21 日	ハンバーガー、野菜のゼリー寄せ、くず桜	坂口 恵美子 氏	18
12 月 18 日	手打ちそば、かき揚げ天ぷら	中尾 照美 氏	15
2 月 26 日	辛子いなり寿司、白菜と肉団子のスープ、豆腐ドレッシングサラダ、フライパンで作るリンゴケーキ	浜岡 一美 氏	21
計			54

8 施設利用回数等

利用回数 311 回 利用者数 4,894 人

【使用室別内訳】

会議室等	相談室	1 階会議室	2 階会議室	1・2 階 会議室	料理実習室・ 1 階会議室	合 計
利用者数 (人)	41	256	4,003	265	329	4,894

冷暖房使用料 14,600 円

9 人権交流センターの施設工事及び修繕

- | | | |
|---------------------|---------------|---------------|
| (1) 印刷機修繕 | 請負先 (資) カミヤ長張 | 請負金額 19,440 円 |
| (2) 2 階会議室ブラインド修繕工事 | 請負先 小林表具店 | 請負金額 68,580 円 |

10 土地借上げ

駐車場土地借上料 (大字小山 1262 - 1 1,172 m²のうち 431.72 m²分) 年 300,586 円

3-5-1 (目) 災害救助費

単位：円

当 初 予算額	5,000,000	予算 現額	5,000,000	決算額	0	前 年 度 決算対比	0.0%	前年度 決算額	0
------------	-----------	----------	-----------	-----	---	---------------	------	------------	---

■ 災害弔慰金等支給事業

単位：円

当 初 予算額	5,000,000	予算 現額	5,000,000	決算額	0	前 年 度 決算対比	0.0%	前年度 決算額	0
------------	-----------	----------	-----------	-----	---	---------------	------	------------	---

I 事業の目的

災害弔慰金の支給等に関する法律に基づき、自然災害により被災した方に弔慰金等を支給する。

II 事業の成果等

実績なし

款 4 衛 生 費

(款4) 衛生費

単位：円

当 初 予算額	1,553,904,000	予算 現額	1,541,437,688	決算額	1,431,548,705	前 年 度 決算対比	104.6%	前年度 決算額	1,369,188,708
------------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	---------------	--------	------------	---------------

4－1－1 (目) 保健衛生総務費

単位：円

当 初 予算額	158,840,000	予算 現額	128,069,000	決算額	127,414,936	前 年 度 決算対比	79.8%	前年度 決算額	159,575,481
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	-------	------------	-------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当 初 予算額	428,000	予算 現額	1,472,000	決算額	1,347,254	前 年 度 決算対比	381.1%	前年度 決算額	353,479
------------	---------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

保健予防事業に関し、関係機関との連携を深め総合的な保健対策を推進する。

II 事業の成果等

保健予防事業に関する関係機関との連携を深め、市民の健康の保持及び増進を図るとともに、総合的な保健対策を推進した。

III 事業の実績

1 健康づくり推進協議会の開催

市民の疾病予防及び保健事業の総合的な事業の計画・推進について協議するため、健康づくり推進協議会を開催した。

(1) 6月6日開催(出席委員 11人)

ア 副会長の選出について

イ 福祉医療費給付金制度の概要について

ウ 平成29年度保健予防事業及び介護予防事業の報告について

エ 平成30年度保健予防事業及び介護予防事業の計画について

オ その他

2 須高医師会等との連絡調整会議の開催等

(1) 須高医師会と3市町村担当者連絡会 11月7日

ア 平成31年度予防接種、各種健康診査事業等について

(2) 三師会との健康管理及び健康増進打合せ会議 2月6日

3 熱中症対策

市民の健康保持のため、熱中症の時期に市報への掲載及び市民への啓発を行った。

暑さ指数が一定数値以上の場合、屋外放送による注意喚起を実施した。

4 有料イラストレーションの無断使用に対する賠償金 1,056,293円

■ 地域医療対策事業

単位：円

当初 予算額	10,032,000	予算 現額	8,788,000	決算額	8,486,234	前年度 決算対比	22.0%	前年度 決算額	38,619,348
-----------	------------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

緊急医療など地域医療の確保を図る。

II 事業の成果等

県立信州医療センター内の須高休日緊急診療室による緊急医療の充実など、関係機関と連携し、地域医療の確保に努めた。

III 事業の実績

地域の緊急医療を確保するため、須高行政事務組合診療所費負担金、日赤長野県支部須坂地区負担金、長野県包括医療協議会須高地区協議会負担金、病院群輪番制病院運営事業負担金、峰の原高原住民医療負担金を支出した。

また、医師確保のため、医師就労支援事業補助金制度により医師の就労と家庭生活の両立を支援を図る。

1 医師就労支援事業

医師の就労等社会的活動と子育て等の家庭生活との両立を支援するため、ベビーシッターサービス等の利用に要した経費を補助

(1) 利用者 0名（申請件数 0件）

2 その他

地域医療と医療の役割分担の現状について広報により周知（12月）

■ 地域医療福祉ネットワーク推進事業

単位：円

当初 予算額	1,587,000	予算 現額	1,466,000	決算額	1,447,587	前年度 決算対比	142.5%	前年度 決算額	1,015,902
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

住民が住み慣れた地域で安心して健やかに生活できるように、地域の医療体制整備や感染症対策、関係機関とのネットワーク構築を推進する。

II 事業の成果等

感染症対策のほか、産科医師不足の取組みとして「須高地域で安心して産み育てられる地域づくりの取組み」を行なった。大規模災害時の医療体制整備の一環として、須高地域災害時医療救護活動マニュアルに基づき、北信地域初のエマルゴトレーニングシステムの手法を用いた医療救護活動訓練を三師会、三病院等の関係機関と合同で実施した。

III 事業の実績

1 須高地域医療福祉推進協議会の全体運営に関すること

(1) 須高地域医療福祉推進協議会理事会 7月25日 須高医師会館 出席者11人

ア 平成29年度事業報告及び決算報告について

イ 平成30年度事業計画案及び予算案について

(2) 須高三市町村連絡会 3回開催 5月11日 7月12日 11月16日

ア 地域医療福祉ネットワーク推進事業、在宅医療・介護連携推進事業について

イ 安心して産み育てられる地域づくりの取組みについて

ウ 須高地域医療救護活動（エマルゴ）訓練について

2 医師・看護師不足の取組み

(1) 安心して産み育てられる地域づくりの取組み

ア 須高地域における妊娠から出産に関わる担当者交流会の開催

3月13日 県立信州医療センター講堂 出席者 31人

参集機関 県立信州医療センター、ひまわりレディースクリニック、長野保健福祉事務所、須坂市、小布施町、高山村

内容 県立信州医療センターの取組み発表、須坂市の産婦健診報告、情報交換・意見交換

イ 須高三市町村広報誌への須高三病院の看護職員募集に関する記事掲載

3 感染症対策事業

(1) 感染症情報の提供

須高地域感染症早期探知システム（安心ネット）による情報収集と情報発信

ア インフルエンザ等の感染症情報をホームページや地元ケーブルテレビで発信（毎日更新）

イ 欠席者情報を集積し、幼稚園、保育園、学校等へ配信（毎日）

ウ 感染症情報を必要に応じて須高医師会、入力施設へ提供（第1～3号）

エ 感染症の統計資料作成

(2) 手洗いチェッカーの貸出し

インフルエンザ等の感染予防対策として、須高地域の幼稚園、保育園、小学校、福祉施設等へ手洗いチェッカーの貸出しを行った。 貸出し数 延31台

4 大規模災害時の医療体制整備

(1) 須高地域医療救護活動（エマルゴ）訓練の実施

須高地域災害時医療救護活動マニュアルに基づき、講師の指導によるエマルゴトレーニングシステムを使用した医療救護活動の机上訓練を行った。

7月29日 須坂市保健センター 出席者 65人

参集機関 須高医師会、須高歯科医師会、須高薬剤師会、県立信州医療センター、新生病院、轟病院、長野県医療推進課、長野保健福祉事務所、消防本部・消防署、須坂市、小布施町、高山村

内容 医療救護活動に係る関係機関との情報伝達・連携調整の訓練

広域災害救急医療情報システム（EMIS）を活用した関係機関との情報共有訓練

(2) 須高地域医療救護活動（エマルゴ）訓練の振り返り（反省会）の開催

10月31日 須高医師会館 出席者 34人

参集機関 須高医師会、須高歯科医師会、須高薬剤師会、県立信州医療センター、新生病院、轟病院、長野保健福祉事務所、消防本部・消防署、須坂市、小布施町、高山村

内容 講師の評価・助言、長野保健福祉事務所長による広域災害救急医療情報システム（EMIS）の説明、マニュアルの修正について

5 その他

(1) 「地域医療福祉ネットワークの窓」の掲載

広報すざかに「地域医療福祉ネットワークの窓」を掲載し、三師会の取組み、感染症対策情報等を紹介（6.7.8.9.10.12月）

(2) 発電機の貸出

人工呼吸器使用者 2名に貸出

(3) 骨密度測定器の貸出

各町の健康講座、文化祭等へ 44回貸出

4-1-2 (目) 予防費

単位：円

当初 予算額	270,236,000	予算 現額	276,840,000	決算額	252,175,213	前年度 決算対比	106.2%	前年度 決算額	237,384,139
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 予防接種事業

単位：円

当初 予算額	138,293,000	予算 現額	135,308,000	決算額	124,648,667	前年度 決算対比	101.2%	前年度 決算額	123,189,426
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

「予防接種法」等に基づき、乳幼児、児童、高齢者を対象に予防接種を実施し、感染症予防を図り、公衆衛生の向上に努める。

II 事業の成果等

「予防接種法」に基づき、各種予防接種を実施し、感染症予防に努めた。また、65歳以上の高齢者を対象にしたインフルエンザに加え、高齢者用肺炎球菌予防接種を実施し、肺炎を併発して重症化しやすい高齢者の罹患防止に努めた。

III 事業の実績

1 法定予防接種

個別接種については、須高医師会及び長野県医師会と契約して通年実施した。ただし、高齢者インフルエンザについては実施期間を10月から1月とした。

平成28年10月より、B型肝炎ワクチンが定期予防接種となった。

子宮頸がん予防ワクチンについては、平成25年6月14日厚生労働省の積極的勧奨の差し控えにより、今年度も集団予防接種を見合わせた。

日本脳炎については、平成17年5月30日厚生労働省の中止勧告により、その後の実施は特別な事情を除き中止していたが、平成22年度から厚生労働省通知に基づき接種勧奨を順次再開した。

種 別		接種者数 (人)	委託単価 (円)	委託料 (円)
A 類	二種混合 (ジフテリア・破傷風)	446	4,489 4,320	121,453,001 (通年実施)
	日本脳炎	2,055	6,595 6,426	
	麻 し ん	0	6,058 5,889	
	風 し ん	2	6,091 5,922	
	麻しん風しん混合	757	9,619 9,450	
	四種混合 (ジフテリア・破傷風・百日せき・ポリオ)	1,313	10,105 9,936	
	不活化ポリオ	17	9,003 8,834	
	B C G	323	6,455 6,286	
	子宮頸がん予防ワクチン	11	16,045 15,876	
	ヒブワクチン	1,313	7,556 7,387	

種 別		接種者数 (人)	委託単価 (円)	委託料 (円)
A 類	小児用肺炎球菌	1,309	10,861 10,692	
	水痘	677	8,053 7,884	
	B型肝炎	979	5,403 5,234	
	予診のみ	1	2,530 2,530	
B 類	高齢者用肺炎球菌	1,656	8,027 8,027	
	予診のみ	5	1,933 1,933	

注) 単価欄の上段は、県立信州医療センター以外、下段は、県立信州医療センターの単価を示す。

B 類	高齢者インフルエンザ	8,667	4,100	35,534,700 (10～1月)
	予診のみ	0	1,933	

2 予防接種健康被害救済給付

予防接種法に基づき、予防接種健康被害救済給付制度により医療費・医療手当の給付を行った。

給付者数 1名

医療を受けた日数 入院外診療 8日

医療費・医療手当額 244,300円

■ 予防接種事業（市単独実施）

単位：円

当初 予算額	8,854,000	予算 現額	8,854,000	決算額	8,093,005	前年度 決算対比	104.8%	前年度 決算額	7,724,753
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

集団生活等での感染症を予防し、重症化を防ぐため、乳幼児、児童を対象に予防接種費用の助成を実施し、公衆衛生の向上に努める。

II 事業の成果等

任意予防接種として、生後6か月から中学校3年生の方に対しインフルエンザ予防接種費用の一部助成を10月から1月まで実施した。

III 事業の実績

1 子どものインフルエンザワクチン接種費用の助成

子どもは、保育園、小中学校等、集団生活の場が多くあり、蔓延を防止する目的でインフルエンザ接種費用の助成を行った。

対象者 生後6か月～中学校3年生 助成額 1回1,200円

市民税非課税世帯・生活保護世帯等のワクチン接種者に対し、負担軽減を図るため全額助成した。

接種者延人数 6,280人 助成金 7,725,760円

■ 結核健康診断事業

単位：円

当初 予算額	6,813,000	予算 現額	5,894,000	決算額	5,756,866	前年度 決算対比	95.2%	前年度 決算額	6,044,088
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、レントゲン撮影による結核健康診断を実施し、結核予防に努める。

II 事業の成果等

65歳以上の方を対象に、各町公会堂等を巡回し結核健診を行った。また、公会堂等での受診が困難な方を対象にデイサービスセンターを巡回し、ストレッチャー健診を行った。

また、複十字シール運動等の啓発活動に努めた。

III 事業の実績

1 レントゲン撮影

長野県健康づくり事業団に委託し、公会堂や保健センター等で結核健診（間接撮影）を実施した。

通常の結核健診の受診が困難な方を対象に、長野県健康づくり事業団に委託し、ストレッチャー対応の検診車による直接撮影をデイサービスセンター6か所で実施した。

種 別	受診者数(人)	要精検者(人)	結核患者(人)	委託料(円)
レントゲン(間接)	3,706	103	0	4,380,968
レントゲン(直接)	306	11	0	

■ 健康診査事業

単位：円

当初 予算額	116,276,000	予算 現額	126,784,000	決算額	113,676,675	前年度 決算対比	113.2%	前年度 決算額	100,416,872
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

後期高齢者健診、肝炎ウイルス検診、各種がん検診を実施し、疾病の早期発見、早期治療に努める。

II 事業の成果等

75歳以上の市民が対象となる後期高齢者健診については、受診場所を、公会堂等での集団健診と指定医療機関での個別健診との選択性とし、希望者に実施した。

国によるがん検診推進事業に基づき、一定の年齢の女性に対して無料クーポン券、検診手帳を配付し子宮頸がん検診、乳がん検診の受診促進を図った。また県の子宮がん検診及び乳がん検診に係る市町村間相互乗入れ制度を活用し、受診機会の確保に努めた。

胃がん検診では、新たに二重読影による内視鏡検診を7月より開始した。

各種がん検診については、胃がん検診10人(内視鏡6人、バリウム4人)、大腸検診で8人、前立腺がん検診で6人、子宮がん検診で1人のがんを発見した。要精検者には訪問や電話により、精密検査の受診勧奨を行った。

健診(検診)の理解を高め、より多くの方に受診していただくため、がん検診の検査方法などを説明した「健診申込みガイド」を作成し配布した。

III 事業の実績

1 後期高齢者健診

受診場所については、個別健診と集団健診の選択性とした。

個別健診は、須高医師会の協力を得て医療機関で、集団健診は、長野県厚生農業協同組合連合会へ委託し地域公民館等10会場(9日間)で実施した。

- (1) 対象者 75 歳以上の市民
- (2) 実施期間 6 月～1 月
- (3) 受診内容 **【基本健診】** 問診、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査、聴打診
【詳細健診】 心電図検査、眼底検査
(前年度の検査結果、当日の検査値および医師の判断により実施)
- (4) 受診者・受診率
対象者数 (75 歳以上) 8,116 人 受診者数 2,450 人 受診率 30.2%
受診者の内訳 ア 個別健診 1,761 人 イ 集団健診 293 人 ウ 人間ドック 396 人
- (5) 詳細健診受診者数
ア 心電図検査 800 人
イ 眼底検査 143 人
- (6) 委託料 18,818,473 円

2 肝炎ウイルス検診

特定健診・後期高齢者健診と同時に実施した。

- (1) 対象者 40 歳以上の市民で、次のいずれかに該当する方
ア 今年度 40 歳になる者
イ 41 歳以上で肝炎検診未受診者のうち検診を希望する者
- (2) 実施期間 6 月～1 月
- (3) 受診内容 B型肝炎ウイルス検診・C型肝炎ウイルス検診
- (4) 受診者・受診率

ア 40 歳以上対象者数 13,635 人 受診者数 613 人 受診率 4.4%

うち国の健康増進法に基づく肝炎ウイルス検診実施要領の一部改正により、40 歳から 75 歳までの 5 歳刻みの年齢の者に無料受診の個別勧奨を実施した者は、3,635 人である。

区 分	40 歳～49 歳	50 歳～59 歳	60 歳～69 歳	70 歳以上	合計
男 (人)	86	43	86	57	272
割合 (%)	31.6	15.8	31.6	21.0	100.0
女 (人)	136	65	85	55	341
割合 (%)	39.9	19.1	24.9	16.1	100.0
計 (人)	222	108	171	112	613
割合 (%)	36.2	17.6	27.9	18.3	100.0

イ 委託料 2,861,521 円

3 各種がん検診

長野県健康づくり事業団、須高医師会（子宮がん施設検診）に委託し実施した。

- (1) 胃検診（消化器検診として、胃 X 線・大腸検診をセットで実施）

ア 40 歳以上対象者数 28,776 人 受診者数 1,110 人 受診率 3.8%

要精検者数 91 人 精検受診者数 82 人 がん発見 4 人

区 分	40 歳～49 歳	50 歳～59 歳	60 歳～69 歳	70 歳以上	合計
男 (人)	59	41	130	265	495
女 (人)	137	83	177	218	615
計 (人)	196	124	307	483	1,110
割合 (%)	17.7	11.2	27.7	43.5	100.0

イ 委託料 5,936,654 円

- (2) 胃検診（内視鏡検診 平成 30 年度から開始）

ア 50 歳以上偶数年齢対象者数 12,774 人 受診者数 885 人 受診率 6.9%

要精検者数 72 人 精検受診者数 66 人 がん発見 6 人

区 分	50 歳～59 歳	60 歳～69 歳	70 歳以上	合計
男 (人)	53	111	218	382
女 (人)	112	154	237	503
計 (人)	165	265	455	885
割合 (%)	18.6	30.0	51.4	100.0

イ 委託料 14,211,270 円

ウ 内視鏡検診に際し、須高山市町村胃がん内視鏡検診運営委員会を4回開催した。

(3) 大腸検診

ア 40 歳以上対象者数 28,776 人 受診者数 3,467 人 受診率 12.0%

要精検者数 215 人 精検受診者数 190 人 がん発見 8 人

区 分	40 歳～49 歳	50 歳～59 歳	60 歳～69 歳	70 歳以上	合計
男 (人)	110	114	348	810	1,382
女 (人)	299	264	608	914	2,085
計 (人)	409	378	956	1,724	3,467
割合 (%)	11.8	10.9	27.6	49.7	100.0

イ 委託料 5,973,113 円

(4) 子宮がん検診

ア 20 歳以上偶数年齢女性 対象者数 9,237 人 受診者数 1,275 人 (うち体部検診 73 人)

受診率 13.8% 要精検者数 20 人 (うち体部検診 1 人) 精検受診者数 14 人 がん発見 1 人

区 分	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	合計
受診者 (人)	39	184	330	248	249	227	1,275
割合 (%)	3.0	14.4	25.8	19.4	19.5	17.8	100.0

イ 委託料 10,265,872 円

ウ 受診機会確保のため市町村間相互乗入れ制度を活用し、実施医療機関を拡大した。

(5) 乳房検診 (超音波)

ア 30 歳以上女性 対象者数 19,714 人 受診者数 2,194 人 受診率 11.1%

要精検者数 62 人 精検受診者数 49 人 がん発見 0 人

区 分	30 歳～39 歳	40 歳～49 歳	50 歳～59 歳	60 歳～69 歳	70 歳以上	合計
受診者 (人)	409	396	351	509	529	2,194
割合 (%)	18.6	18.0	16.0	23.2	24.1	100.0

イ 委託料 9,020,061 円

(6) マンモグラフィ検診

ア 40 歳～74 歳偶数年齢女性 対象者数 6,287 人 受診者数 1,035 人 受診率 16.5%

要精検者数 58 人 精検受診者数 56 人 がん発見 0 人

区 分	40 歳～49 歳	50 歳～59 歳	60 歳～69 歳	70 歳以上	合計
受診者 (人)	306	260	300	169	1,035
割合 (%)	29.6	25.1	29.0	16.3	100.0

イ 委託料 7,012,126 円

(7) 肺がん検診 (らせん CT 検診)

ア 40 歳以上偶数年齢 対象者数 16,383 人 受診者数 1,547 人 受診率 9.4%

要精検者数 42 人 精検受診者数 35 人 がん発見 0 人

区 分	40 歳～49 歳	50 歳～59 歳	60 歳～69 歳	70 歳以上	合計
男 (人)	92	84	173	313	662
女 (人)	218	168	235	264	885
計 (人)	310	252	408	577	1,547
割合 (%)	20.0	16.3	26.4	37.3	100.0

イ 委託料 12,591,263 円

(8) 前立腺がん検診

ア 50歳以上男性 対象者数 11,618人 受診者 1,166人 受診率 10.0%

要精検者数 89人 精検受診者数 71人 がん発見 6人

区 分	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	合計
受診者(人)	134	334	698	1,166
割合(%)	11.4	28.6	59.8	100.0

イ 委託料 3,025,410円

(9) がん検診推進事業

ア 子宮頸がん検診

(ア) 20歳の女性(平成30年4月20日時点) 対象者数 229人 受診者数 23人

受診率 10.0% 要精検者数 0人 がん発見 0人

(イ) 委託料 43,745円

イ 乳がん検診

(ア) 40歳の女性(平成30年4月20日時点) 対象者数 334人 受診者数 64人

受診率 19.2% 要精検者数 12人 がん発見 0人

(イ) 委託料 887,564円

4 人間ドック受診補助

75歳以上の方の健康増進のため、人間ドックを受診した方に対し受診補助を行った。

対象人間ドック	補助額 (円)	人数(人)	補助額総計(円)
半日又は1日	15,000	350	5,250,000
1泊2日又は2日間通院	30,000	75	2,250,000
計		425	7,500,000

5 「健康カレンダー」の作成・配布

がん検診の検査方法などをイラスト入りで説明した冊子「健康カレンダー」を作成し、全戸に配布した。

20,000部作成 459,540円

4-1-3(目)健康づくり推進費

単位：円

当初 予算額	94,612,000	予算 現額	102,229,000	決算額	91,976,732	前年度 決算対比	109.4%	前年度 決算額	84,065,265
-----------	------------	----------	-------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 母子保健事業

単位：円

当初 予算額	69,315,000	予算 現額	73,625,000	決算額	66,936,039	前年度 決算対比	106.4%	前年度 決算額	62,890,025
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

母性並びに乳幼児の健康の保持及び増進を図るため、妊娠出産包括支援事業、健康教育、健康診査、健康相談、訪問指導事業等を実施し、母子保健の向上を推進する。

II 事業の成果等

「すべての親と子が健やかに、こころ豊かに育つまちすざか」を基本理念とする須坂市母子保健計画に基づき、妊娠出産包括支援事業、健康教育、健康診査、健康相談及び家庭訪問を行い乳幼児の健やかな成長・発達を促し、両親がいきいきと子育てできるよう支援した。また、妊婦健康診査と里帰り等出産への助成をし、安心、安全な出産を支援した。

妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、子育て世代包括支援センター妊娠・子育てなんでも相談『おひさま』により、相談支援等を実施し、子育て支援機関と連携して切れ目のない支援を行った。

また、産後うつや新生児期の虐待予防として、医療機関と連携しエジンバラ産後うつ病質問票等の活用により、妊娠期から産後の育児不安の早期支援を行った。10月からは、産婦健康診査を開始した。

Ⅲ 事業の実績

1 須坂市子育て世代包括支援センター 妊娠・子育てなんでも相談『おひさま』

妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため健康づくり課、保健センター、子ども課を窓口とした総合相談支援を提供する。

相談対応者数（健康づくり課、保健センター、子ども課の合計数）

区分	妊婦	産婦	乳幼児	保護者	その他	合計
件数（件）	363	181	1,318	318	177	2,357

相談専用電話による電話相談件数 70 件（再掲）

区分	妊婦	産婦	乳児	幼児	家族	合計
件数（件）	6	1	33	24	6	70

相談内容（重複あり）

相談内容	育児相談	栄養相談	発達相談	歯科相談	その他
件数（件）	37	16	8	2	9

2 母子健康手帳の交付及び面接

母子の健康管理及び健診等の状況を記録するための母子健康手帳を交付し、平成 26 年 4 月から全妊婦を対象に母子保健コーディネーター（保健師）による面接を行った。

交付件数 331 件

面接 343 人 電話 12 人 （転入した妊婦も含む）

3 産前・産後サポート事業

妊娠中の心身の不安や出産後の育児不安に対し、保健師・助産師が保健指導を行った。

訪問 延 29 件 面接 延 26 件 電話 延 136 件

4 産後ケア事業の実施

従来の助産所のほか、平成 26 年 9 月より県立信州医療センターを委託先として拡大し、デイケアや宿泊型の産後ケア事業により、母体の保護と保健のサービスを提供。また、平成 29 年 2 月より須坂市産後ケア事業妊産婦及び新生児等訪問指導事業として県立信州医療センターへ委託し訪問指導を行った。

利用者数 実 14 人 利用延日数 67 日（デイケア 16 日、宿泊 51 日）

訪問指導 0 件

5 周産期メンタルヘルス実務検討会の実施

県立信州医療センターと須高三市町村の連携により、妊娠・出産・育児を支える体制構築のため、実務検討会を実施した。

開催回数 6 回 参加者数 80 人 検討ケース 42 件

6 子育てセミナーの実施（男女共同参画課と連携事業）

内容	日程	会場	参加者数
「知っておきたい！5歳までの子育てのコツ～」 講師：川中島の保健室 白澤 章子 氏	6月2日	須坂市文化会館 メセナホール	29名

7 健康教育の実施

母性並びに乳幼児の健康の保持、妊娠、出産、育児に関し健康教育を実施した。

区 分	実施回数(回)	参 加 者 数 (人)
マタニティーセミナー	8	妊婦 実人員 53 延人員 72 配偶者延 40
もぐもぐ離乳食講座	12	230
かみかみ離乳食講座	12	222
子育て広場	44	保健補導員と協力し、延 351 組参加
思春期セミナー	3	492

8 健康診査及び訪問指導の実施

須高医師会、須高歯科医師会の協力を得て、乳幼児健診等を実施した。平成 28 年度より、3 歳児健康診査の眼科健診では、保護者による問診やランドルト環での検査に加え、視能訓練士による視機能検査を実施した。

区 分	実施回数 (回)	該当者 (人)	受診者等 (人)	受診率 (%)
乳児 (新生児) 訪問	通年	310	延 316 (実人員 297)	95.8
		里帰り出産	延 11 (実人員 11)	
幼児訪問	通年		延 32 (実人員 24)	
3 か月児健康診査	12	324	316	97.5
1 歳児健康相談	12	344	342	99.4
1 歳 6 か月児健康診査	12	326	306	93.9
2 歳児健康相談	12	350	336	96.0
3 歳児健康診査	12	346	342	98.8
心理相談	15	相談者延べ	50 (実人員 43)	
親子教室 (療育)	84	参加者延べ	306 (実人員 16)	
乳児健康診査	医療機関等へ委託 委託料 1,837,440 円		320	
妊婦健康診査	医療機関等へ委託 委託料 37,152,706 円		延 6,626	-
里帰り出産妊婦健診の助成	健診に対する助成 551,620 円		延 132	-
産婦健康診査	医療機関へ委託 委託料 987,356 円		延 198	
里帰り出産産婦健診の助成	健診に対する助成 9,070 円		延 2	

9 未熟児養育医療給付事業の実施

母子保健法が改正され、平成 25 年 4 月 1 日より県から市へ移譲された、①低出生体重児 (2,500g 以下) の届出受理、②未熟児の訪問指導、③医療を必要とする未熟児に対して養育に必要な医療の給付を行った。また、必要に応じて保健師により未熟児の保護者に対して訪問指導を行った。

低出生体重児数の届出受理数	29 人	
養育医療券交付	10 件	延 27 件
未熟児の訪問指導件数	9 人	

10 不妊・不育症治療補助事業の実施

少子化対策のひとつとして、安心して妊娠できる環境を整えるため、不妊治療・不育症治療を行っている夫婦に対して、その費用を助成し、経済的負担を軽減した。

不妊治療補助対象者	21 組	1,398,543 円
不育症補助対象者	0 組	0 円

11 マタニティマークの普及

母子手帳交付時に、マタニティマークのストラップやシール等を配布した。

12 須坂市子育て応援アプリ「すまいるナビ」の配信

平成 30 年 10 月から、妊娠・出産・子育てに関する情報配信及び予防接種のスケジュールや成長記録の管理、子育て関連施設や医療機関の検索等ができるスマートフォン用アプリケーションの配信を開始した。

ダウンロード数 277

■ 健康増進事業

単位：円

当初 予算額	24,538,000	予算 現額	27,867,000	決算額	24,436,869	前年度 決算対比	117.5%	前年度 決算額	20,804,326
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

「自分の健康は自分でつくり守る」を基本に、生活習慣病等を改善し、「はつらつ」「いきいき」「のびのび」過ごせる市民生活の実現に向け、全市民の取り組みを総合的に支援する。

II 事業の成果等

健康増進法に基づく健康教育、健康相談等、年齢に相応した健康増進の指導を行った。須坂市健康づくり計画「第2次健康須坂ときめき 21」、第3期須坂市食育推進基本計画「須坂市 食で健やか計画」に基づき、各世代への食育推進事業に取り組み、全ての市民が自ら健康づくりが実践できるよう支援した。

III 事業の実績

1 健康教育、生活習慣改善事業の実施

(1) 市民健康づくり講座

講座内容	講師	開催日	会場	参加者数 (人)
「胃がんの現状と予防対策」	長野県信州医療センター 副院長 赤松 泰次 氏	7 月 14 日	市保健センター	55 人

(2) その他健康教育

区 分	開催回数 (回)	参加者延人数 (人)	備 考
減塩運動 (尿中塩分測定)	4 月から 3 月の 随時	400	保健補導員 (252) 及び保健 指導対象者 (22)、 希望する市民 (126) ※健康増進費実施分 尿中塩分平均値 9.6 g
尿中塩分結果説明会	6	27	
糖尿病予防教室	3	138 (公開講演会のみ参 加者も含む)	対象者：平成 30 年度特定健 康診査受診者のうち、糖尿 病の治療なしで、HbA1c6.5 以上の者
地域で実施した健康教育	132	2,898	

2 健康相談事業の実施

(1) 常設健康相談の利用状況

保健センターに開設した常設健康相談において相談事業を実施した。

相談総数 1,559 件

保健センター来所相談 1,212 件

区 分	成 人	高齢者	母 子	そ の 他
件数 (件)	207	175	828	2

保健センター電話相談 347 件

区 分	成 人	高齢者	母 子	そ の 他
件数 (件)	175	139	32	1

(2) 地域等での健康相談

区 分	開催回数 (回)	参 加 者 (人)
高血圧健康相談	5	54
総合健康相談等	27	498

3 健康体操「須坂エクササイズ」の普及事業

- (1) 体操ユニット 32 人
- (2) 出前講座 31 回
- (3) 須坂エクササイズ普及のためのTシャツを販売 販売枚数 12 枚
- (4) 須坂エクササイズ普及のためポロシャツを作成 125 枚 販売枚数 38 枚

4 第 25 回 須坂健康まつり

多くの市民が楽しみながら健康づくり意識を高めることができるよう、12 団体に実行委員会を組織して、県立信州医療センター病院祭と同日開催した。

- (1) 実行委員会 7 月 5 日、8 月 30 日、9 月 20 日、1 月 17 日
- (2) 開催日時 10 月 20 日(土)午前 9 時から午後 3 時
- (3) 会 場 県立信州医療センター、医療法人公仁会轟病院
- (4) 来場者数 1,600 人

5 健康増進事業

(1) We can 元気! (児童体力づくり事業)

21 年度からの事業で、学校の授業以外で 1 日 20 分以上身体を動かし、その日数を記録し規定日数達成者を表彰し、運動習慣の定着や生活習慣の見直し等を図った。

平成 30 年度より、取り組み期間は 100 日単位で 100 日から 300 日とする。

規定の日数 (日)	29 年度表彰者 (人)	累計(人)
100	276	1,531
200	136	1,017
300	120	780
400	78	621
500	27	406

(2) 働きざかりの健康づくり研究会への支援

事業所に勤める 30 代から 50 代の働きざかり世代の内、内臓脂肪症候群 (メタボリックシンドローム) の解消に焦点をあて、従業員の健康づくりをすすめるカリキュラム等の検討・実施を支援した。

ア 働きざかりの健康づくり研究会構成事業所 14 事業所 (12 企業 2 事業所)

イ 働きざかりの健康づくり研究会 6 月 4 日(木) 12 人出席

ウ 「第 16 回 働きざかりいきいきセミナー」 14 事業所 29 人参加

エ その他の研修等

働きざかりの健康づくり研究会研修会

講座 「心臓病について ～働き盛り世代が知っておきたいこと～」

長野市民病院 理事長兼病院長 池田 宇一 氏

平成 31 年 2 月 8 日 57 人 参加

(3) 健康カレンダー配布

「自分の健康は自分でつくり守る」市民の健康づくり意識啓発を図るため、簡単な運動や食の知識、予防接種・乳幼児健康診査・各種健康診査の日程・場所を掲載し、全戸に配布した。(転入者には随時配布)

20,000部作成 459,540円

(4) 市民健康づくりキャンペーン「体重計にのろう！」の実施

自ら健康づくりを実践する市民運動として、体重計にのり自分のからだの変化を知り、自分のからだに意識を向ける、キャンペーンとして全市民向けに事業を展開した。

表彰者 14人 (累計396人)

(5) ウォーキングによる健康づくりの推進

「ウォーキングシティすざか」キャンペーンの実施

PR用横断幕を庁舎に継続的に設置しウォーキングの普及を図った。

健康ウォーカーズの認定 認定者 28人 累計 150人

ウォーキングマップ (全26コース)

ウォーキング教室の開催 7教室 7回 延べ参加者 154人

教室名称等	対象者	開催日	参加者数(人)
高橋町ウォーキング教室	高橋町住民	5月13日(日)	15
高梨町ウォーキング教室	高梨町住民	5月19日(土)	20
馬場町・ハイランド町ウォーキング教室	馬場町・ハイランド町住民	5月20日(日)	11
屋部町ウォーキング教室	屋部町住民	6月10日(日)	32
幸高町ウォーキング教室	幸高町住民	10月14日(日)	34
井上町ウォーキング教室	井上町住民	10月20日(土)	13
太子町ウォーキング教室	太子町住民	10月28日(日)	29

(6) 学校と連携した食育の推進

市内全小学校11校の3学年親子を対象に、「食ですこやか親子でクッキング」を開催した。

6月～11月 17回 延べ参加者 875人(児童・保護者・先生)

(7) 小中学校連携保健事業

ア 小中学校連携保健事業打ち合わせ会議

平成31年1月17日 出席者15名

(ア) 小中学校での血液検査結果から小児生活習慣病予防の取組みについて

(イ) 今年度の事業報告及び次年度の取組みについて

イ 小児生活習慣病予防啓発リーフレットを作成し、小中学校を通じ配布した。

(8) 食で健やか応援隊

食育について学び、学習したことを家庭や学校、地域で普及する食育サポーターの活動支援を行った。

ア 食で健やか応援隊養成講座

開催回数 3回 延べ出席者 36名

修了者 13名

イ 食で健やか応援隊自主活動

市の食育事業「食ですこやか親子でクッキング」の協力 15回 延べ参加者 59名

日曜健康応援教室(打合せ・当日) 2回 延べ参加者 7名

おやこ遊学活動 1回 参加者 3名

スマイル・ママ・フェスタ食育ブース活動(打合せ・当日) 2回 延べ参加者 10名

こども料理教室(豊洲地域公民館での活動) 1回 参加者 2名

学習会 3回 延べ参加者 31名

会議など 2回 延べ参加者 17名

(9) 次世代食文化伝承人材養成事業

須坂市の食文化や伝統野菜、郷土食、行事食などを大切にしながら「家族で食べる大切さ」「命をいただく大切さ」「地域に伝わる食べごと文化」を次世代を担う子どもや親子に伝えていく活動を支援しました。

ア 食の匠

(ア) 学習会

開催日 3月15日 参加者数 14人

内容 講義・実技「すぐ使える野菜の飾り切り」

講師 有限会社K&A 旬彩古民家ゆるり 料理長 大日方 金好 氏

(イ) 地域での普及活動

箱膳体験 3回 延べ参加者 17人

郷土料理 9回 延べ参加者 33人

(ウ) 視察研修

開催日 10月9日

場所 須坂市学校給食センター

参加者 11人

(エ) 会議

開催回数 1回 延べ出席者 6人

(10) 8020運動推進事業

歯科衛生士が市内の私立保育園、幼稚園、市立保育園、小学校、中学校、子育て支援センター等へ訪問し、「歯の健康教室」を開催。生涯を通じて歯の健康に関心が深まるよう意識啓発を行った。

4月～11月 65回 参加者 4,350人

(11) 食育推進担当者会議

食育の関係者が連携して食育に取り組むため、食育を推進する担当者間での情報共有を行った。

開催日 12月10日

出席者 17人（子ども課、学校教育課、学校給食センター、高齢者福祉課地域包括支援センター、養護教諭部会代表）

ア 第3期須坂市食育推進基本計画について

イ 各課等の食育推進に関わる事業の現状と課題について

6 組織育成

(1) 須坂市保健補導員会（須坂市国民健康保険保健事業と連携）

ア 地域保健活動の向上と健康づくり推進のために健康に関する研修と家庭や地域での実践活動の支援を行った。

ブロック別研修会の開催 110回 延べ参加者 2,468人

全体研修会 2回 延べ参加者 464人

(2) 須坂市食生活改善推進協議会

ア 食を通じた健康づくりを推進するため、食育ボランティアとして健康づくりに関係した食事や郷土食、地産地消の普及等を図るため研修会の開催を支援した。

研修会・伝達講習会の開催 12回 延べ参加者 250人

7 健康長寿発信都市「須坂JAPAN」創生プロジェクト

須坂市に潜在する健康づくりを基軸に、下記の2点を目標に取り組んだ。

① 今ある健康長寿の取り組みをさらに進める。

② 地域資源（住民力・匠・農業・商業・工業・観光など）を活用した新たなネットワークで、須坂の発展性を見出していく。

- (1) 須坂エクササイズの普及活動（3 に掲載）
- (2) 健康を意識したメニューを販売する飲食店を増やす
 ア 県がおこなっている「信州ACEプロジェクト」の基準に準じて、飲食店と連携し、健康を意識したメニューを販売する。
 市内提供飲食店5事業所
- (3) 健康スムージー事業
 ア 平成28年度に開発した、須坂産食材等を使った健康スムージーについて、地方創生推進交付金を活用し、「信州須坂健康スムージー推進協議会」を結成し、市民への普及、飲食店等への普及を図った。
 (ア) 信州須坂健康スムージー推進協議会の開催 5月23日（水）、10月17日（水）、2月22日（金）
 (イ) 健康スムージー試飲実施回数 21回（延べ3,876杯提供）
 (ウ) 提供飲食店等 22事業所
 (エ) スムージーコンテストの開催 9月3日～21日募集、10月20日最終審査会。応募数13。
 (オ) 信州須坂健康スムージーフェスの開催 10月20日～11月25日。スタンプラリー参加者188名。
 参加店舗14店舗
 (カ) 健康スムージー講演会「健康Lifeのために」開催。100名参加。
 イ 信州須坂健康スムージー推進協議会負担金 9,049,453円
 (ア) 支出費用内訳 マーケティング委託料 3,000,000円
 謝礼 237,967円
 販売促進費 4,775,771円
 需用費 997,876円
 通信運搬費 37,839円
- (4) 観光商品開発による交流人口促進策
 ア 健康おすそ分けツアー「おやこ遊学 in 信州須坂」7月28日・29日 峰の原高原「時空の杜」ほか参加者11名
 イ 信州須坂マイみそ作りツアー 催行人数達せず中止
 ウ 観光協会を通じての自治体視察 4団体
- (5) 健康長寿をキーワードとした情報発信
 ア レシピ投稿サイト・クックパットに、須坂市公式ページ「信州須坂の台所」開設。
 アクセス数 339,831件
 イ 長野県首都圏総合活動拠点「銀座NAGANO」で、農・工・健康連携による情報を発信。
 「北沢正和さん&KAORUさんの“信州の暮らしを彩る山里ランチ”（須坂市編）」参加20名、「須坂の家庭を再現！須坂の朝ごはん」参加26名、「野菜ソムリエ上級プロNAHOさんとオリジナルスムージーをつくろう！」参加21名 ※そのほか農林課、産業連携開発課イベント、須坂マルシェを実施。
- (6) 健康応援教室の開催
 ア 平成29年1月より、毎月最終日曜日午前、市民の健康増進を目的とした「日曜須坂の健康応援教室」を観光交流センターで実施。あわせて観光交流センターの活性化を図った。
 4月29日 季節のおやつ作り教室 参加者25名
 5月27日 カラダも喜ぶ甘酒ロール作り教室 参加者22名
 6月24日 スロージョギング教室 参加者27名
 7月22日 太陽SUNSUNクッキング 参加者21名
 8月26日 伝統野菜を使った簡単料理教室 参加者18名
 9月30日 ロコモ予防で元気に長生き！ 参加者23名
 10月28日 ケールを使った料理教室 参加者16名
 11月25日 ポールウォーキング教室 参加者17名

12月16日 季節の食材を使った簡単料理教室 参加者 16名
 1月27日 心と身体不思議な関係 参加者 13名
 2月24日 ポールウォーキング教室 参加者 31名
 3月24日 スムージー作り教室 参加者 10名

※平成30年度参加者合計 239名

イ 観光交流センターにある健康に関連ある商品をまとめ「健康ブース」とし、合わせてポスター等を掲示した。

(7) 全体会議の開催

ア 庁内関係各課及び関係団体を参集し、平成29年度の事業報告、平成30年度の取り組み事業、事業目標等について話し合った。3月20日 開催。 出席者 30名

■ 精神保健事業

単位：円

当初 予算額	759,000	予算 現額	737,000	決算額	603,824	前年度 決算対比	162.8%	前年度 決算額	370,914
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

市民一人ひとりが自殺予防の主役となり、自殺を考えている人をひとりでも多く救えることができる、「みんなが助け合い、健康に暮らせるまちづくり」を目指し、地域関係者を含めた庁内関係機関と連携し、総合的な自殺予防対策を推進する。

II 事業の成果等

心の健康づくりに対する意識を高めるために、うつ病に関する健康づくり講座を開催した。

自殺予防対策連絡会議に設置した「ひきこもり対策部会」で、庁内関係課と連携し市内のひきこもりや不登校に関する情報把握等に取り組んだ。また、関係機関と連携して支援できるよう自殺未遂者支援の実務検討会を開催した。気軽に相談できるよう無料通話の「悩み無料ダイヤル」を常時設置し、保健センターの開所時間に合わせ相談対応した。

III 事業の実績

1 須坂市自殺予防対策連絡会議の開催

各行政相談窓口の担当者が、自殺に関する理解を深め相談者の抱える問題に早期に気づき、適切な相談窓口につなげられるネットワークの構築並びに自殺予防を総合的に推進するため、地域関係者も含め、情報交換や須坂市自殺予防対策計画の評価及び第3期計画策定に向け、意見交換等を実施した。

(1) 庁内関係課及び地域関係機関の委員による会議

7月6日 出席者 34人

実施内容 ア 須坂市自殺予防対策連絡会議要綱の一部改正について

イ 第3期須坂市自殺予防対策計画について

ウ 自殺予防対策計画に関する各課（機関）の取組みについて

エ 平成30年度須坂市自殺予防対策事業の取組みについて

(2) ひきこもり対策部会

6月4日 出席者 9人 8月28日 出席者 9人 12月25日 出席者 9人

(3) 自殺未遂者支援に関する実務検討会

2月14日 出席者 17人

実施内容 ア 須高地区各機関の取組について共有

イ 連携事例紹介

2 自殺対策関連の講座開催

(1) こころの健康づくり講座

11月11日 参加者 181人

講演：「生きる支援～いのちつなぐ須坂市を目指して～」

講師：NPO法人 自殺対策支援センター ライフリンク 代表 清水康之 氏

3 相談事業

(1) 悩み無料電話相談の設置

実施期間：4月1日～3月31日（土日、祝日、年末年始を除く） 8:30～17:15

電話対応者：保健師

専門相談員の委嘱：医師2名、弁護士1名、職業相談員1名

相談件数：電話相談延べ 178件 うち専門相談0件

相談内容 (重複有)	本人の 健康問題	人間関係 (職場)	人間関係 (近所)	家族関係	人間関係 (学校)	生活関係	就労関係	その他
件数	35	31	11	39	0	36	5	42

(2) うつ病の方の家族教室

ア 定例会 毎月1回 12回

出席者 延べ47人（実人員 13人）

イ 学習会 12月11日 参加者 9人

講演：「認知行動療法のススメ ～現実的でしなやかな考え方になるために～」

講師：長野松代総合病院 心療内科・精神科 福家知則氏

(3) こころと暮らしの総合相談会（須高精神保健福祉連絡協議会が開催）

生活や健康の不安、悩みについて相談できる窓口を設置。法律、医療等の専門相談員が連携し総合的な支援を行う。

8月2日 相談者 31人（内、須坂市民 20人）

4 広報活動

- (1) 自殺予防週間における、横断幕等の掲示ならびに、相談窓口の入ったポケットティッシュ配布（9月）
- (2) 自殺対策強化月間における、横断幕ならびにポスター等の掲示、市立図書館にて「こころの健康」に関する書物の特集コーナーの設置、ホームページに掲載、市内企業等に啓発ティッシュ配布（3月）
- (3) 広報にこころの健康に関する記事掲載（3回/年）（9月・12月・3月）

5 精神障害者家族会への支援

- (1) 家族会定例会 9回（4/22・6/24・7/22・9/27・10/28・11/25・12/16・2/24・3/24）
出席者 80人
- (2) 会議・研修会等 13回 参加者 30人
- (3) 総会 1回 5月10日 参加者 17人

6 精神保健福祉に関する相談（延件数）

面接相談（件）	訪問指導（件）	計（件）	保健師による電話相談/電子メール相談（件）	常設健康相談電話相談（件）	計（件）
365	215	580	1,231	264	2,075

4-1-4 (目) 保健センター費

単位:円

当初予算額	4,086,000	予算現額	4,086,000	決算額	3,789,071	前年度決算対比	102.7%	前年度決算額	3,690,254
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	--------	--------	-----------

■ 保健センター管理事業

単位:円

当初予算額	4,086,000	予算現額	4,086,000	決算額	3,789,071	前年度決算対比	102.7%	前年度決算額	3,690,254
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	--------	--------	-----------

I 事業の目的

保健センターの維持管理を図るとともに施設を利用した各種保健サービス事業を総合的に行い、市民の健康増進を図る。

II 事業の成果等

健康相談、健康教育、健康診査、検診等の各種保健サービス事業を総合的に行い、市民の健康増進を図った。

III 事業の実績

1 保健センター利用状況 開所日数 280 日

種 別		回数 (回)	延人数 (人)	種 別		回数 (回)	延人数 (人)
母子保健	マタニティーセミナー	8	114	特定保健指導事業・国保保健指導事業	糖尿病セミナー	3	149
	離乳食講座	24	572		個別相談	127	313
	3 か月健康診査	12	536		集団運動実践 (フレンズ)	46	463
	1 歳 6 か月児健康診査	12	612		個別支援担当者会議	28	219
	3 歳児健康診査	12	677				
	1 歳児健康相談	12	595				
	2 歳児健康相談	12	630				
	乳幼児心理相談	28	321				
	親子教室	49	912				
	すこやか教室	6	299				
	ブックスタート事業	12	340				
	小 計	187	5,608		小 計	240	1,144

種 別		回数 (回)	延人数 (人)	種 別		回数 (回)	延人数 (人)
健康増進・成人保健・高齢者保健	特定健診・後期高齢者健診	1	110	常設健康相談・精神保健・その他	常設健康相談	244	1,559
	消化器検診	17	1,746		精神保健・その他来所相談	154	164
	乳房検診	27	2,336		保健補導員会議・研修会	79	1,728
	マンモグラフィ検診	28	1,067		食生活改善推進協議会会議	18	308
	肺がん検診	17	1,613		会議・研修会等	160	1,111
	前立腺がん検診	4	1,214		市職員等健診	14	948
	結核健診	3	630		市職員水曜エクササイズ	48	928
	働きざかりいきいきセミナー	11	202		視察対応等	2	44
	市民健康づくり講座	1	55		学生実習	37	128
	高齢者健康教室	15	812		食育関係事業	27	177
	介護保険制度説明会	14	356				
	尿中塩分測定結果説明会	5	55				
小 計	143	10,196	小 計	783	7,085		
合 計						1,353	24,033

2 保守管理、修繕等の状況

(1) 清掃業務委託	年間委託	934,920 円
(2) 電気保安業務委託(デマンド監視含む)	隔月 1 回の定期点検	181,440 円
(3) 自動扉保守点検委託	年 3 回の定期点検	39,960 円
(4) エレベーター保守点検委託	月 1 回の定期点検	699,840 円
(5) 消防設備点検手数料	年 2 回の定期点検	70,200 円
(6) 自動体外除細動器(AED)の借上げ		60,912 円
(7) 排水桝修繕		8,000 円
(8) 開閉ドア修繕		14,040 円

4-1-5 (目)環境衛生費

単位：円

当 初 予算額	579,263,000	予算 現額	568,687,000	決算額	515,716,902	前 年 度 決算対比	105.7%	前年度 決算額	487,956,109
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	--------	------------	-------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当 初 予算額	10,602,000	予算 現額	2,386,000	決算額	2,225,735	前 年 度 決算対比	21.4%	前年度 決算額	10,399,249
------------	------------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

地球環境問題への積極的な取り組みが求められるなか、須坂市環境基本計画に基づき具体的な環境関連施策を推進し、環境に負荷をかけない、地球にやさしい生活様式の普及に努める。

II 事業の成果等

衛生部長会議及び環境衛生推進協議会の活動を通じて環境衛生意識の向上を図り、地域の清掃及び防疫事業等を実施し、快適な生活環境の維持促進を図った。

ドッグラン利用者と連携し、ドッグランの運営及び各種イベントを実施した。また、須高飼犬管理対策協議会、小布施町、高山村と共催し、ペット動物の為に災害対策講演会を開催。動物愛護及び飼い主の意識啓発とマナー向上を図った。

III 事業の実績

1 須坂市環境審議会の開催（委員数 17 人委嘱）

(1) 第 1 回環境審議会

ア 開催日 5 月 29 日 出席委員 13 人

イ 内 容

(ア) 須坂市環境審議会任務等について

(イ) 役員の選出

(ウ) 須坂市の環境行政について

(エ) 須坂市環境行動計画の進捗管理について

ウ その他

(ア) 須坂市地下水資源保全・活用計画検討事業について

(2) 第 2 回環境審議会

ア 開催日 3 月 19 日 出席委員 11 人

イ 内 容

(ア) 消費税率の改定に伴う一般廃棄物処理手数料及び産業廃棄物処理費用の見直しについて

(イ) 可燃ごみ処理の広域化に伴う条例別表 1 の改定について

2 衛生部長会議兼廃棄物減量等推進員研修会の開催

- (1) 開催日 2月25日 出席者 105人
- (2) 内 容 衛生部長、廃棄物減量等推進員の役割、粗大ごみ収集、側溝清掃等について研修、協議

3 環境衛生推進協議会の活動

- (1) 町並みクリーン&ウォーク作戦
 - ア 実施日 5月27日 参加者 397人 収集量 可燃ごみ 170kg 不燃ごみ 150kg
 - イ 内 容 県下一斉行動の「ごみゼロの日」に合わせ、市街地、高速道路側道等で実施
- (2) 視察研修の実施
 - ア 実施日 10月3日 参加者 19人
 - イ 内 容 循環型社会形成の推進のため、今後の環境衛生活動に資するため、視察研修を実施
飯田市 (株)アースグリーンマネジメント (ペットボトルのリサイクル)
松本市 (株)エフピコ (食品トレーのリサイクル)
- (3) 理事会の開催
 - ア 開催日 2月12日 出席者 12人
 - イ 内 容 平成31年役員の選出、総会議案及び表彰者・表彰団体の選考について審議
- (4) 総会の開催
 - ア 開催日 2月25日 出席者 63人
 - イ 内 容 事業計画及び予算決算等の承認、環境衛生功労者表彰 2団体

4 環境保全及び清掃の実施状況

(1) 動物適正飼育

- ア 犬のフン害防止看板の配布 7町 10枚
- イ 愛犬のしつけ方教室 3回開催
- ウ 小動物死体処理件数

	犬	猫	たぬき	きつね	ワビシ	鳥	その他	計
30年度(件)	1	77	15	10	27	18	6	154
29年度(件)	2	77	8	7	14	7	6	121

エ 迷い犬対応 飼主若しくは長野保健福祉事務所への引渡し 45件

- オ 「第2回ペット動物の為の災害対策講演会」の開催 2月16日 シルキー第1ホール
参加者 75名
講演 東日本大震災支援の経験からペット防災を考える
講師 新潟動物ネットワーク 代表 岡田 朋子氏

(2) 水路、側溝の土砂上げ及び消毒

町別の年間計画に基づき、日曜日(12月～3月を除く)に実施した。
消毒用消石灰 40袋(1袋 20kg)を15町に配布した。

(3) 市民一斉清掃

主に11月11日に66町が実施し、24町が可燃ごみ6,390kg、不燃ごみ400kg、土砂等2,670kgを清掃センターへ搬入した。

5 市職員の県職員併任制度の継続

産業廃棄物の不適正処理・不法投棄を防止するため、「長野県市町村職員の産業廃棄物に係る立入検査等の実施に関する要綱」に基づき、県職員の併任辞令を受けた市職員(廃棄物検査員)が県の立入指導に同行した。

- (1) 併任職員数 生活環境課課長及び職員 3人
- (2) 立入調査 県担当職員に同行し市内の産業廃棄物処理施設(2業者2施設)へ立入

6 ドッグラン利用者の運営支援及びドッグランの維持管理

ドッグラン利用者による運営支援を実施するとともに、ドッグランの維持管理を行った。

(1) ドッグラン運営委員会

ドッグランイベントや懸案事項について協議した。 4回開催

(2) ドッグランイベント

イベントを通じた会員相互の交流、飼い主の意識啓発とマナー向上を図った。

- ア 4月22日 ゴミ0ワン隊 in 須坂 49人参加
- イ 10月28日 ドッグフェス感謝祭 60人参加
- ウ 定期イベント 4～11月 毎月1回開催 延べ102人参加

(3) 利用者会総会

利用者会の決算、予算等を審議した。 4月22日開催

(4) 会員数

3月31日現在 177人 74世帯 94頭

(5) 維持管理

ドッグラン内の草刈りを会員とともに8回実施する等、施設の維持管理を行った。

■ ごみ減量・再資源化事業

単位：円

当初 予算額	53,093,000	予算 現額	56,210,000	決算額	52,820,126	前年度 決算対比	107.6%	前年度 決算額	49,108,452
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

ごみ分別の細分化を進め、再資源化を促進することによりごみの減量化を図り、更に各種団体による集団資源回収の促進やダンボールでできる生ごみ堆肥化の普及促進などにより、資源循環型社会の構築を目指すとともに、不法投棄防止の啓発等に努め、清潔で美しいまちづくりの推進を図る。

II 事業の成果等

ごみの減量を目的に、家庭ごみの有料化を継続した。可燃ごみ、不燃ごみは1円/ℓ、粗大ごみは1点につき50円の手数料を徴収している。また、ごみ分別の徹底による減量化、生ごみの各家庭での堆肥化の推進、古布類、陶磁器類、硬質プラスチック製品、小型家電の拠点回収を年に4回実施し、不法投棄防止を目的にタイヤや家電リサイクル法の対象品の回収を有料で行った。

平成30年度は、可燃ごみ排出量は10,581tで前年度対比0.6%増、不燃ごみは415tで6.7%増、粗大ごみは92tで、6.9%増となっている。

もったいないの情報発信、資源物の土・日収集などの拠点となる「エコサポートすざか」の運営を須坂市女性団体連絡協議会のみなさんに引き続きお願いし、古着等のリユース、ダンボールでできる生ごみ堆肥化の講習会などを行うとともに、日野地域公民館内にて、資源物の拠点回収(火・木曜日)を実施した。

平成25年度より実施の「生ごみ出しません袋」の交付を引き続き行うなど、ごみの減量、リサイクルの一層の推進が図られた。

III 事業の実績

1 ごみ減量化、分別推進に関する事業

(1) 環境衛生ブロック別会議の開催 5月29日～6月8日 開催数12回

ごみの分別方法、粗大ごみの収集、今後の減量施策などを議題とし、区長、衛生部長、廃棄物減量等推進員合同会議を区長会ブロックごとに開催した。

(2) ごみ有料化制度に関する事業

ア 証紙売りさばき人の指定

新規の売りさばき人 2人

イ 証紙の販売（売りさばき人と直接販売分）

種 類		サイズ	単価(円)	販売数(枚)	前年度比(%)	金額 (円)
指定袋	可燃ごみ	大	30	1,248,300	102.6	37,449,000
		小	15	430,500	101.9	6,457,500
	不燃ごみ	大	30	46,800	100.0	1,404,000
		小	15	27,600	119.4	414,000
シール	粗大ごみ		50	14,184	126.6	709,200
	可燃・不燃	大	30	54,173	96.7	1,625,190
		小	15	2,959	97.6	44,385
	事業所用	大	70	6,810	97.3	476,700
		小	35	50	227.2	1,750
合計				1,831,376	102.5	48,581,725

ウ 有料化に伴う減免措置

可燃ごみ 指定袋 827 件 (大)51,640 枚 (小) 0 枚 (乳幼児、生活保護世帯、介護老人等)
 不燃ごみ 指定袋 91 件 (大) 454 枚 (小) 10 枚 (生活保護世帯)

エ 不法投棄されたごみ等の対応のため環境美化袋を配付

各区への配付 69 町 13,180 枚

(3) ごみ分別細分化の事業

ア ごみ分別細分化事業の物品整備

缶・びん用コンテナ、ペットボトル用ネット、カラス除けネット等 33 町

イ ごみ分別等に係る学習会、出前講座（堆肥化講習含む）等

開催区等 1 町 1 団体

ウ ごみ収集カレンダー、分別早見表等により、ごみ分別方法の徹底と補助金制度の利用促進を図った。

エ ごみステーションの新設・移動・廃止届

新設 13 か所、移動 8 か所、廃止 1 か所

2 資源物集団回収報償金

(1) 交付団体数 28 団体

(2) 交付金額 4,386,449 円

(3) 種類別回収量

種 類	回収量 (kg)	
	平成 30 年度	平成 29 年度
ダンボール	301,194	292,866
新聞紙	238,432	278,836
雑誌・雑紙	258,218	323,723
牛乳パック	58,315	61,010
鉄・非鉄金属類	8,584	10,207
サイダーびん等	128	182
ビール大びん	8,641	10,186
1.8 リットルびん	16,681	20,149
繊維類	1,190	2,740
計	891,383	999,899

3 生ごみ減量及び資源化促進事業

(1) 生ごみ堆肥化基材の販売

ダンボールでできる生ごみ堆肥化基材を生活環境課、エコサポートすざかで販売し、生ごみの堆肥化を推進した。

基材販売数 698 セット

(2) 「生ごみ出しません袋」の実施

可燃ごみの減量を図るため、生ごみを堆肥化等の方法により自家処理し、可燃ごみとして排出しない世帯に対し、啓発文の入った専用の袋を無料で交付した。

申請・交付期間 5月7日～9月29日

交付枚数 34,030枚

交付世帯数 605世帯

4 資源物回収状況

(1) 分別収集された資源物の回収状況

ア 古紙、缶類、びん類

種 類	回収量 (kg)	
	平成30年度	平成29年度
ダンボール	104,882	107,838
新聞紙	217,730	232,367
雑誌・雑紙	504,224	534,282
牛乳パック	5,778	6,610
缶 類	61,490	60,218
びん類	251,980	266,030
計	1,146,084	1,207,345

イ 市役所前の拠点回収

ごみの減量を目的に古布、陶磁器(食器)、硬質プラスチック製品、小型家電の拠点回収を市役所前で行った。また、不法投棄防止、市民の利便性の向上を目的に、タイヤと家電リサイクル法の対象品目であるテレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機の回収を有料で行った。なお、家電リサイクル法対象品目については、長野県電機商業組合須高支部の協力により、受付・運搬を行った。

(ア) 拠点回収日 5月19日(土)、7月21日(土)、11月17日(土)、3月16日(土) 計4回

(イ) 回収量、個数

種 類	回収量 (kg)	
	平成30年度	平成29年度
古布類	7,255	6,005
陶磁器類	10,853	8,517
硬質プラスチック製品	7,610	5,660
小型家電	17,940	14,364
計	43,658	34,546

種 類	本数・台数	
	平成30年度	平成29年度
タイヤ	292本	235本
家電リサイクル法対象品	328台	270台

(ウ) 直接搬入分手数料収入(タイヤ) 148,500円

ウ 日野地域公民館内の拠点回収

ごみ減量のため、資源物の回収機会を増やすことで、リサイクルの推進を図った。(毎週火・木曜日)

(ア) 利用者 1,533人

(イ) 回収量

種 類	回収量 (kg)	
	平成30年度	平成29年度
ダンボール	1,440	1,310
新聞紙	1,510	1,490
雑誌・雑紙	6,300	5,010
牛乳パック	0	0
缶 類	410	420
計	9,660	8,230

- (2) 資源物の売払い収入 14,247,480 円 (古紙類、缶類、古布類、小型家電等)
- (3) 資源物の処理委託料 (びん類) 172,099 円 ((公財)日本容器包装リサイクル協会)
- (4) 資源物の収集委託料 古紙類、びん類、缶類 23,716,800 円 (株環境クリエーション)
- 陶磁器 302,400 円 (株タケモト)
- 小型家電 378,000 円 (株しんえこ)
- (5) 家庭用剪定枝資源化委託料 剪定枝 325,150 kg 5,618,587 円 (岡田産業(株))
- 公園等の草・葉等 19,580 kg 317,196 円 (株神山緑地産業)
- (6) 蛍光管リサイクル処理委託料 3,590 kg 484,650 円 (林金属工業(株))
- (7) 陶磁器粉碎処理業務委託料 10,853 kg 225,048 円 (神明リフラックス(株))
- (8) 廃タイヤ処理委託料 3,290 kg 100,116 円 (株タケモト)
- (9) 資源物拠点収集立会委託料 691,784 円 ((公社)須高広域シルバー人材センター)

5 エコサポートすざかの運営

引き続き須坂市女性団体連絡協議会のみなさんにボランティアで運営をいただき、もったいないの情報発信、資源物の土・日収集、リユースの推進などの拠点として利用が図られた。

(1) 運営状況

ア 開館日数 101 日

イ 入館者数 7,098 人

(2) 生ごみ堆肥化講習会の開催

ダンボールでできる生ごみ堆肥化の普及を図るため、各種団体と連携し講習会を1回開催した。

参加者 25 人

(3) エコ探検隊の開催

小学生に体験を通してごみ問題や環境問題への関心を高めてもらい、ごみの削減につなげることを目的とし、夏休み期間を利用して2日間開催した。(対象：小学3年生～6年生)

須坂市女性団体連絡協議会の会員が長年培った知識や経験を活かし先生となり、食品ロスやごみ分別方法の学習、ごみを活用した工作、エコクッキングを行った。高校生にも2日間に渡りお手伝いをいただき、異年齢の交流も図られた。

開催日及び参加者数

開催日	小学生参加者(人)	女団連会員(人)	高校生(人)
8月8日	25	6	3
8月9日	23	7	5
計	48	13	8

6 一般廃棄物処理許可申請等

- (1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第7条第1項(収集・運搬の許可)による許可申請件数
新規5件、更新23件
- (2) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第7条の2第3項(変更の許可等)による変更届出件数
役員等の変更6件、車両の変更25件、事業範囲の変更1件
- (3) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第7条第6項(処分の許可)による許可更新件数 1件

7 不法投棄防止に関する事業

(1) 不法投棄防止啓発活動

チラシによる啓発 4月27日、10月31日の2回、隣組回覧を実施した。

(2) 不法投棄防止等環境パトロールの実施

ア 環境指導員によるパトロール、不法投棄物の回収の実施

環境指導員2人を(公社)須高広域シルバー人材センターに委託し、啓発活動及び不法投棄物の回収撤去作業、不法投棄物の調査活動を実施した。

委託期間 4月～12月 週3日

回収量 可燃ごみ 2260kg 不燃ごみ 1,590kg 委託料 2,016,480円

イ 職員による不法投棄パトロールの実施

年間を通じて随時、不法投棄のパトロール及び回収、不法投棄防止看板の設置などを行った。

回収量 可燃ごみ 281kg 不燃ごみ 350kg

ウ ボランティア不法投棄監視パトロール員の募集

3月市報等で募集し、4月16日打ち合わせ会開催。以降自宅周辺を中心に自主的にパトロールを実施。21町 33人(うち前年度からの継続者29人)

エ ボランティアパトロール員と生活環境課職員合同一斉回収作業の実施

10月15日 高甫地域公民館から臥竜山 回収量 可燃ごみ 10kg 不燃ごみ 10kg

3月18日 日滝から松川霊園、旭ヶ丘から松川霊園 回収量 可燃ごみ 24kg 不燃ごみ 10kg

(3) 不法投棄件数(県報告分) 25町 42件(警察通報件数2件、始末書対応件数2件)

不法投棄物の種類	平成30年度(件)	平成29年度(件)
家電リサイクル法(テレビ)	1	7
家電リサイクル法(エアコン)	0	0
家電リサイクル法(冷蔵庫)	1	6
家電リサイクル法(洗濯機)	0	0
その他家電	5	16
空き缶・空き瓶	0	5
タイヤ	7	12
自動車	0	0
自転車・バイク	0	0
その他家庭ごみ	30	38
産業廃棄物	0	4

(4) 不法投棄防止看板の配布 9町 17枚

(5) 監視カメラ設置 延べ設置箇所数12か所(録画式監視カメラ3か所 ダミーカメラ9か所)

8 高山村からのごみ処理受託事業

種 別	平成30年度		平成29年度	
	搬入量(kg)	負担金額(円)	搬入量(kg)	負担金額(円)
可燃ごみ	598,453	12,751,900	929,433	21,843,711
ペットボトル	8,330	710,710	7,850	669,757
廃プラスチック類容器	39,640	3,638,952	40,940	3,758,292
びん類	40,490	655,938	42,320	685,584
計	686,913	17,757,500	1,020,543	26,957,344

■ 廃プラスチック再資源化事業

単位：円

当初予算額	47,914,000	予算現額	49,099,000	決算額	48,362,612	前年度決算対比	106.0%	前年度決算額	45,633,844
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

I 事業の目的

容器包装リサイクル法に基づき、一般家庭から排出されるペットボトル及び廃プラスチック類容器を分別収集し、選別・圧縮梱包処理して資源化し、ごみの減量化を図る。

II 事業の成果等

ペットボトル51,830kgと廃プラスチック類容器411,060kgを回収処理し、再資源化した。

ストックヤードの維持管理について、引き続き民間事業者へ業務委託をし、機械管理の専門化と経費の節減が図られた。

III 事業の実績

1 ペットボトル等の処理状況

(1) ペットボトル等の処理状況

種 類	処 理 量 (kg)			
	平成 30 年度		平成 29 年度	
	須坂市	高山村	須坂市	高山村
ペットボトル	51,830	7,820	47,850	7,850
廃プラスチック類容器	411,060	39,640	458,120	40,940

(2) ペットボトル収集業務委託料 7,128,000 円 (株環境クリエーション)

(3) 廃プラスチック類容器収集業務委託料 14,748,048 円 (須坂市委託清掃協同組合)

(4) スtockヤード管理業務委託料 21,513,600 円 (株環境クリエーション)

(5) 廃プラスチック類容器等処理委託料 238,509 円 ((公財)日本容器包装リサイクル協会)

(6) 硬質プラスチック製品の拠点収集

可燃ごみや粗大ごみとして収集し焼却処理していたものの再資源化を図るため、市役所前で4回拠点収集を実施した。

回収量 7,610 kg 収集運搬委託料 367,200 円 処理委託料 82,188 円 (飯山陸送株)

(7) スtockヤード施設見学

施設の現状、ごみの分別、資源物のリサイクル等の理解や啓発を図った。

市内1団体 市外1団体

(8) 廃プラスチック類容器等直接搬入分手数料収入 98,580 円

2 スtockヤード設備の修繕状況

プラスチック圧縮梱包機小型往復空気圧縮機オーバーホール	157,680 円
プラスチック圧縮梱包機主押しシリンダー油漏れ修繕	778,680 円
ペットボトル圧縮梱包機主押しシリンダートラニオン亀裂確認修理	205,200 円
ペットボトル圧縮梱包機シリンダー点検修理	378,000 円
ペットボトル圧縮梱包機シリンダー溶接補修	442,800 円
ペットボトル圧縮梱包機予備品主押しシリンダートラニオン亀裂確認修理	151,200 円
ペットボトル圧縮機修理	1,728,000 円
プラスチックシール機点検修理	118,800 円
計	3,960,360 円

■ 公衆トイレ管理事業

単位：円

当 初 予算額	1,605,000	予算 現額	1,605,000	決算額	1,459,471	前 年 度 決算対比	58.9%	前年度 決算額	2,479,763
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

居住環境の整備並びに観光客等に気持ち良く公衆トイレを利用してもらうため、施設の清掃や維持管理に努める。

II 事業の成果等

穀町、新町、太子町、北横町、芝宮神社、村山駅の公衆トイレの清掃等を実施し、維持管理に努め適正な管理が図られた。

Ⅲ 事業の実績

1 清掃管理委託

穀町の公衆トイレの清掃は田中本家博物館で行い、新町及び太子町の公衆トイレの清掃はぶどうの家に委託し、その他の公衆トイレの清掃は（公社）須高広域シルバー人材センターに委託した。

公衆トイレ清掃業務委託

（福）須坂市社会福祉協議会 指定障害福祉サービス事業所ぶどうの家	198,400 円
（公社）須高広域シルバー人材センター	464,076 円

2 施設修繕の状況

穀町公衆トイレの電気契約容量変更工事、強風で破損した新町公衆トイレの波板撤去、芝宮および太子町公衆トイレの外側照明器具交換、芝宮公衆トイレの自動水栓器交換を行った。

修繕料 157,563 円

■ 狂犬病予防対策事業

単位：円

当初 予算額	522,000	予算 現額	472,000	決算額	433,768	前年度 決算対比	94.8%	前年度 決算額	457,658
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	-------	------------	---------

I 事業の目的

狂犬病予防のため、予防注射を実施する。

II 事業の成果等

飼犬に狂犬病予防注射を実施し、狂犬病対策が図られた。

Ⅲ 事業の実績

1 犬の登録、狂犬病予防接種などの業務を（一社）長野県獣医師会へ委託した。

委託先 （一社）長野県獣医師会
委託料 324,163 円

2 狂犬病予防注射の実施

（一社）長野県獣医師会須高支部と共に犬の登録及び予防注射を実施した。

予防未注射犬対策として、督促状の発行、電話による催促、市報等を使用した啓発などを実施した。

(1) 登録頭数（3月31日現在）	2,279 頭（内新規登録 121 頭）
(2) 注射済票交付頭数	2,268 頭
(3) 未注射頭数	43 頭
(4) 巡回による集合注射の実施	
8日間（4月～6月）、延べ48会場	1,532 頭
(5) 動物病院での実施	736 頭

■ 温暖化防止推進事業

単位：円

当初 予算額	3,001,000	予算 現額	2,654,000	決算額	2,360,650	前年度 決算対比	92.8%	前年度 決算額	2,545,109
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

地球温暖化防止など多様化する環境問題に対応するため、新エネルギー導入やCO₂削減の取組みが必要である。このため、太陽光発電、太陽熱利用及びペレットストーブ等の設置費用に対し補助金を交付し、新エネルギーの普及促進を図るとともに、節電など省エネ対策の啓発を行うことにより市民の意識改革を図る。また、須坂市地域新エネルギービジョンに基づき、更なる新エネルギーの導入普及について研究、検討する。

II 事業の成果等

太陽光発電設置補助金交付件数は、前年度対比で 4.3 パーセント減少したものの、平成 30 年度末における太陽光発電による中部電力㈱との売電契約件数が 1,989 件となり、第五次須坂市総合計画の平成 32 年度までの目標値である 2,000 件まであと 11 件となった。

III 事業の実績

1 新エネルギー導入設備設置支援

個人住宅の太陽光発電システム・太陽熱利用システムの導入普及を図るため、補助金交付を行った。

(1) 太陽光発電システム設置支援

年度	交付件数	交付確定額 (円)	出力合計 (kW)	年間発電量 kWh/年(推計)	-CO ₂ t/年 (推計)
平成 21 年度	56	2,183,000	226.739	272,087	149.6
平成 22 年度	99	3,780,000	408.684	490,421	269.7
平成 23 年度	150	6,129,000	663.298	795,958	437.8
平成 24 年度	181	7,729,000	844.547	1,013,456	557.4
平成 25 年度	169	7,434,000	835.031	1,002,037	551.1
平成 26 年度	145	6,391,000	699.239	839,087	461.5
平成 27 年度	82	3,571,000	407.490	488,988	268.9
平成 28 年度	60	1,783,000	308.875	370,650	203.9
平成 29 年度	46	1,350,000	211.560	253,872	139.6
平成 30 年度	44	1,319,000	237.091	284,509	156.4

※平成 28 年度から太陽光発電システムの補助金交付限度額を 5 万円から 3 万円に減額した。

(2) 太陽熱利用システム設置支援

年度	交付件数	交付確定額 (円)	集熱器合計 (枚)	-CO ₂ t/年 (推計)
平成 27 年度	5	150,000	14	5.8
平成 28 年度	10	300,000	29	11.3
平成 29 年度	4	120,000	11	4.3
平成 30 年度	6	180,000	16	6.2

(3) ペレットストーブ等設備導入支援

県補助事業「信州産ペレット消費拡大事業」を活用し、個人住宅の導入を支援

年度	交付件数	交付確定額 (円)	ペレット年間 使用料 (kg)	-CO ₂ t/年 (推計)
平成 22 年度	1	100,000	800	0.8
平成 23 年度	0	0	0	0
平成 24 年度	2	200,000	1,600	1.6
平成 25 年度	3	300,000	2,400	2.4
平成 26 年度	0	0	0	0
平成 27 年度	0	0	0	0
平成 28 年度	0	0	0	0
平成 29 年度	1	100,000	800	0.8
平成 30 年度	0	0	0	0

2 再生可能エネルギー導入モデル事業の推進及び啓発

(1) 環境融和型ナノ水力発電事業（有害鳥獣対策）

平成 19 年 3 月に米子地区に設置した小水力発電設備を活用して、有害鳥獣対策用の電気柵へ電力供給を行った。

(2) 米子地区小水力発電事業（長野県GND基金住宅事業）により設置した発電設備の維持管理を実施した。

- ア 売電量 7,702 kWh
 イ 売電収入 51,751 円（新エネルギー発電事業基金へ積立）
 ウ 管理業務委託
 水力発電設備の安定した稼働を図るため、設備のごみ取りや清掃等を委託した。
 委託先 米子区 委託料 240,000 円
 エ 修繕工事
 除塵装置修繕工事 日本エンヂニア(株) 216,000 円
 急流工水車発電機修繕 (株)須坂水力発電 86,400 円
 急流工水車ブレード修繕 (株)須坂水力発電 43,200 円

(3) 相森中学校太陽光発電事業（学校発電所モデル事業）

- ア 発電設備認定日及び事業開始日
 認定日：平成 24 年 7 月 10 日 開始日：平成 24 年 10 月 25 日
 イ 事業者：太陽エネルギー推進協議会（会長 株式会社サンジュニア代表取締役）
 ウ 発電所の概要
 (ア) 太陽光発電面積（パネル） 720 m²
 (イ) 発電出力：127.6 kW（パネル）、100 kW（パワーコンディショナ）
 (ウ) 年間発電量（30 年度実績） 152,516 kWh/年
 (エ) CO₂削減推計値（30 年度実績） 83.9 t CO₂/年

(4) 太陽光発電に係る公共施設の屋根貸し事業

ア 平成 30 年度発電実績

施設名	屋根貸し開始年月日	発電出力 (kW)	発電量 (kWh/年)	CO ₂ 削減推計値 (t CO ₂ /年)	備考
東中学校体育館	平成 25 年 7 月 29 日	67.50	79,401	43.7	
墨坂中学校体育館	平成 25 年 7 月 29 日	67.50	84,521	46.5	
北部体育館	平成 25 年 7 月 30 日	67.50	90,870	50.0	
須坂市消防本部	平成 26 年 9 月 1 日	42.14	46,942	25.8	
塩野浄水場	平成 26 年 9 月 1 日	27.00	32,169	17.7	
高甫小学校体育館	平成 27 年 6 月 1 日	40.50	45,393	25.0	
須坂市文化会館	平成 27 年 6 月 1 日	54.00	67,562	37.2	
くつろぎ荘	平成 28 年 12 月 8 日	29.12	31,345	17.2	
日野地域児童クラブ	平成 29 年 4 月 1 日	31.20	37,054	20.4	
旭ヶ丘市営住宅	平成 29 年 11 月 15 日	79.04	102,113	56.2	

(5) 先進地視察の受入れ

小水力発電・太陽光発電屋根貸し事業の行政視察として、県内外から 2 団体を受け入れた。

3 省エネルギー・CO₂削減啓発事業

(1) ノーマイカーデー

毎月第 2、第 4 水曜日に市職員を対象としたノーマイカーデーを実施した。
 また、9 月に県が主催する「県下一斉ノーマイカー通勤ウィーク」にも、市役所として協力した。

(2) グリーンカーテン事業

グリーンカーテンを啓発するためゴーヤ苗を配布した。

- ア 実施日 6 月 2 日（於：スマイル・ママ・フェスタ in 須坂）
 イ 場所 須坂市文化会館メセナホール
 ウ 本数 300 株

(3) 広報等による啓発

広報須坂 7 月号で、クールチョイス（クールビズ）について掲載し啓発を行った。

4 売電収入の基金への積立について

長野県GND基金事業の採択を得て整備した発電所が発電した余剰電力の売電収入については、実施要領において設備の維持管理、更新のための費用とするものとし、基金を設置し管理することとしている。平成30年度に売電した余剰電力の収入を新エネルギー発電事業基金に積み立てた。

(1) 売電収入の内訳

発 電 所 名	売電量 (kWh)	単価 (円)	売電額 (円)
米子小水力発電所	7,702	6.22 (H29.4以降)	51,751
防災活動センター太陽光発電所	12,180	6.80 (H29.4以降)	89,396
多目的(防災)広場備蓄倉庫太陽光発電所	9,048		66,407
合 計	28,930	—	207,554

(2) 新エネルギー発電事業基金積立額 207,611 円 (内利子 57 円)

■ し尿処理施設運営事業

単位：円

当 初 予算額	79,761,000	予算 現額	76,936,000	決算額	76,936,000	前 年 度 決算対比	112.7%	前年度 決算額	68,272,000
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

須高行政事務組合で運営する、し尿処理施設（須高衛生センター）の維持管理費用を負担する。

II 事業の成果等

平成28年度より施設の運転管理業務について、民間業者に委託された。

し尿及び浄化槽汚泥の処理について、公共下水道放流方式（平成23年度より）により、適正に処理された。

また、し尿等の処理方法変更に伴い不要となった焼却設備等を撤去し、防災施設として被災者の避難場所及び備蓄倉庫を平成26年度に整備、その備蓄倉庫の有効活用を進めた。

III 事業の実績

- し尿処理量 4,811kℓ （前年度 5,128kℓ）
- 浄化槽汚泥処理量 644kℓ （前年度 732kℓ）

■ 火葬場施設運営事業

単位：円

当 初 予算額	14,181,000	予算 現額	11,878,000	決算額	11,878,000	前 年 度 決算対比	107.4%	前年度 決算額	11,059,000
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

須高行政事務組合が運営する火葬場（松川苑）の維持管理経費を負担する。

II 事業の成果等

適正な管理運営が図られた。

III 事業の実績

火葬数 875 体 （前年度 906 体）

■ 広域ごみ処理推進事業

単位：円

当 初 予算額	231,469,000	予算 現額	230,934,000	決算額	230,877,749	前 年 度 決算対比	116.8%	前年度 決算額	197,703,107
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

衛生的な市民生活を維持するため、長野広域連合による「長野地域ごみ処理広域化基本計画」を推進し、確実に安定的な処理体制を構築する。

II 事業の成果等

長野広域連合が本体建設工事及び浸出水処理施設建設工事の請負業者と契約を締結し、一般廃棄物最終処分場建設工事が着工し、あわせて、長野広域連合及び須坂市で工事説明会を実施し、区役員及び住民への周知を図った。

また、地元区では地域振興に関して積極的な検討をいただいた。

III 事業の実績

1 運営費の負担

長野広域連合ごみ処理広域化計画推進のため、長野広域連合環境推進費を負担した。

2 長野広域連合ごみ処理施設の必要性和安全性、また、全市民的課題であることの市民理解を深めるための広報活動等に関する事

(1) 長野広域連合一般廃棄物最終処分場に関する事

ア 一般廃棄物最終処分場の工事請負業者と長野広域連合が契約（5月30日）

長野広域連合一般廃棄物最終処分場本体建設工事

請負業者 戸田・守谷・北條・マツナガ特定建設工事共同企業体

長野広域連合一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設建設工事

請負業者 共和化工・須坂土建・村山建設特定建設工事共同企業体

イ 長野広域連合から仁礼町区役員等へ工事の概要を説明（6月23日、6月30日）

ウ 地域振興に関する事 仁礼町振興まちづくり協議会での研修会（3月23日）

(2) その他長野広域連合ごみ処理広域化計画推進に関する事

ア 長野地域ごみ処理広域化推進協議会への参加 市職員（5月16日、10月12日）

イ 先進地視察 新武蔵野クリーンセンター 市職員（7月19日）

3 仁礼町以外での説明等

(1) 環境衛生ブロック別会議で説明

(2) 環境審議会での説明（5月29日）

(3) 北信3市市議会議員研修会（8月6日）

■ 小規模水道整備事業

単位：円

当初 予算額	48,028,000	予算 現額	48,528,000	決算額	500,000	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	------------	----------	------------	-----	---------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

峰の原高原で、民間事業者が運営する「菅平グリーンダボス別荘地簡易水道」について、昭和48年に給水開始された施設設備であるため老朽化が激しく、給水人口も減少するなど水道経営の悪化の中、簡易水道事業者から小規模水道事業者へ規模縮小し、水道事業の市営化の要請があり、市営化の方針となった。

当該小規模水道事業を市営化し、区域内住民への将来に亘る安定給水の維持確保のため、辺地対策事業債を活用し水道施設設備の更新整備を行う。

II 事業の成果等

峰の原高原地区で民間事業者の運営する水道事業の市営化のために実施する水道施設設備更新工事の実施設計業務を行った。

Ⅲ 事業の実績

- 1 菅平グリーンダボス別荘地小規模水道施設等実施設計業務委託（辺地対策事業）
新日本設計株式会社 47,973,600 円（令和元年度～繰越）
- 2 小規模水道施設等実施設計業務委託に係る設計監理業務負担金
須坂市水道局 500,000 円

4-1-6 (目) 公害対策費

単位：円

当 初 予算額	20,885,000	予算 現額	20,816,000	決算額	19,983,083	前 年 度 決算対比	105.2%	前年度 決算額	19,001,456
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

■ 環境対策事業

単位：円

当 初 予算額	17,336,000	予算 現額	17,412,000	決算額	16,691,011	前 年 度 決算対比	104.5%	前年度 決算額	15,971,739
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

市民の健康を守り生活環境を保全するため、河川の水質調査や地域環境保全巡回パトロール等を実施するとともに、地下水資源の保全及び活用の方策について検討するため業務委託を行う。また、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法などに基づく規制基準の遵守のため指導及び改善勧告等、必要な措置を行うことにより市民等の苦情に対し迅速且つ適切な対応を行い、苦情処理の早期解決に結び付けるとともに公害の防止に努める。

II 事業の成果等

河川の水質調査や河川パトロールを行い、現況の把握や水質汚濁防止等を図った。また、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法に基づく指導等により、公害防止を図った。

地下水資源の保全及び活用の方策について検討するため3年間にわたる業務を委託し、2年目では地下水の実態把握のための各種解析・将来予測を行った。

Ⅲ 事業の実績

1 水質汚濁対策関係事業の実施状況

(1) 河川の水質調査

ア 須坂市河川水質測定業務委託 (株)信濃公害研究所

(ア) 調 査 日 8月21日及び11月8日の2回調査実施

(イ) 調査河川等 7河川（灰野川、米子川、宇原川、仙仁川、鮎川、百々川、八木沢川）12 定点

(ウ) 委 託 料 961,200 円

主要河川水質測定結果一覧表

上段：8月21日調査値、下段11月8日調査値

河川名 (地点名)	PH	BOD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	T-N 全窒素 (mg/ℓ)	T-P 全りん (mg/ℓ)	DO 溶存酸素 (mg/ℓ)	大腸菌群 数 (MPN/100mℓ)
八木沢川 (高山村境)	7.5	<0.5	3	2.4	0.021	7.8	4,900
	6.7	<0.5	6	1.8	0.018	10.0	240
八木沢川 (高橋町)	7.2	11	6	1.3	0.037	7.3	35,000
	7.3	0.5	5	1.7	0.021	10.0	1,100
八木沢川 (馬場町)	6.7	1.3	5	7.1	0.038	7.8	1,100
	7.0	2.7	6	5.3	0.047	9.7	700
八木沢川 (相之島機場)	7.2	0.5	1	2.0	0.035	10.0	4,900
	7.2	<0.5	1	3.0	0.024	11.0	700
宇原川 (26号床下)	7.3	<0.5	<1	0.20	0.009	8.6	80
	7.3	<0.5	<1	0.15	0.007	10.0	13

河川名 (地点名)	PH	BOD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	T-N 全窒素 (mg/ℓ)	T-P 全りん (mg/ℓ)	DO 溶存酸素 (mg/ℓ)	大腸菌群 数 (MPN/100mℓ)
仙仁川 (仙仁橋)	5.0	<0.5	3	0.25	0.006	8.1	90
	5.2	<0.5	3	0.29	0.007	9.8	240
鮎川 (落合橋)	6.5	5.8	3	0.95	0.037	3.4	3,500
	6.7	0.6	1	1.1	0.054	8.8	9,200
鮎川 (中島町)	6.4	9.3	2	1.3	0.026	4.9	24,000
	6.7	0.6	1	1.2	0.065	8.3	5,400
灰野川 (大日向1号橋)	7.5	0.6	<1	1.6	0.006	8.6	230
	7.0	<0.5	<1	0.83	0.005	9.9	110
米子川 (大日向2号橋)	3.7	0.8	<1	0.48	0.003	7.7	33
	3.8	0.5	<1	0.36	0.003	10.0	2
百々川 (百々川橋)	3.9	0.8	<1	0.44	0.005	8.3	23
	4.1	0.5	<1	0.44	0.005	10.0	2
百々川 (新百々川橋)	4.0	0.7	<1	0.52	0.003	8.4	23
	4.6	0.7	3	0.70	0.011	9.6	2
環境基準 (河川A類型)	6.5以上 8.5以下	2.0以下	25以下	1.0以下	0.1以下	7.5以上	1,000以下

追加大腸菌群数測定結果一覧表

調査年月日	6月27日	2月14日
測定項目	大腸菌群数	
環境基準	河川A類型参考 (1,000MPN/100mℓ)	
灰野川砂防ダム直下点	2,200	170
上部中間地点	920	130
下部中間地点	540	140
灰野川最下点	540	240

調査年月日	6月27日	2月14日
測定項目	大腸菌群数	
環境基準	河川A類型参考 (1,000MPN/100mℓ)	
八木沢川サマーランド地点	5,400	260
温泉橋地点	1,600	920
八木沢橋1号地点	920	1,700
郷原橋地点	3,500	700

PH (水素イオン濃度)

1から6酸性、7中性、8～14アルカリ性

環境基準では6.5以上8.5以下が基準値となっている。

BOD (生物化学的酸素要求量)

河川A類型の環境基準では、2.0mg/ℓ 以下

水の中に含まれる有機物が、微生物によって分解されるときに消費される酸素の量をいい、数値が大きければ有機物が多いことを意味し、汚れの程度が大きいことを示す。

SS (浮遊物質)

河川A類型の環境基準では、25mg/ℓ 以下

粒径2mm以下の水に溶けない懸濁性の物質をいい、粘土粒子や有機物、プランクトン、あるいは工場廃水中の懸濁物質などで水のにごりの原因となる。

全窒素

環境基準は設定されていないが、ここでは湖沼の基準（1.0mg/ℓ 以下）をあてはめた。

水に含まれる無機性及び有機性窒素の総量を示したもの。

窒素は、リンとともに富栄養化の原因物質のひとつとされ、工場や飲食店の排水、家庭の雑排水等が河川に流入することや田畑の肥料成分中の窒素が雨などによって河川に流入すること等が原因と考えられる。

全りん

環境基準は設定されていないが、ここでは湖沼の基準（0.1mg/ℓ 以下）をあてはめた。

水に含まれるリン酸や動植物性のりん等の総量を示したもの。

りんは窒素とともに富栄養化の原因物質のひとつとされ、自然水中にも広く存在するが、洗剤や肥料中のりんが生活排水や農業排水によって河川に流入するが多い。

DO（溶存酸素量）

河川A類型の環境基準では、7.5mg/ℓ 以上

水中に溶け込んでいる酸素の量をいい、水の自浄作用に係わっている。

きれいな河川水中では普通7から14mg/ℓ 程度であるが、有機物が多くなると値が低下し、水質汚濁の指標となる。

大腸菌群数

河川A類型の環境基準では、1,000MPN/100ml 以下

一般に人間や動物の腸内に生息する細菌だが、草原や畑などの土中にも生存している。これらを一括して大腸菌群として測定する。水温が高いと繁殖しやすく、高い値を示す。

イ 鮎川合流手前水路水質検査業務委託（株）信濃公害研究所 委託料 29,700 円

(2) 信濃川を守る協議会

ア 千曲川河川一斉パトロールの実施 5月24日及び10月25日の2回実施

イ 灯油流出事故防止広報用ステッカーの配布 市内灯油販売店13店舗

(3) せせらぎサイエンス

中央公民館との共催により、鮎川水系に生息する水生生物観察会を行った。

7月22日 講師 酒巻裕三氏 参加者 28人

2 騒音規制法及び振動規制法に基づく特定施設等の届出状況

(1) 騒音に関する届出件数 8件（特定施設 5件、特定建設作業 3件）

(2) 振動に関する届出件数 8件（特定施設 5件、特定建設作業 3件）

3 公害苦情等の処理状況

(1) 処理件数等

種 類	受理件数(件)	処理件数(件)	処理不要件数(件)	継続事案件数(件)
大気汚染	9	9	0	0
水質汚濁	8	8	0	0
騒 音	6	6	0	0
悪 臭	5	5	0	1
そ の 他	36	36	0	0
計	64	64	0	1

4 悪臭原因事業所に対する指導等

(1) 臭気調査等の実施

ア（公社）におい・かおり環境協会による立ち入り調査、臭気測定の実施

悪臭原因事業所へ、においの専門機関である（公社）におい・かおり環境協会に委託し立ち入り調査、臭気測定を実施した。また、堆肥製造の専門機関である（一社）日本有機資源協会に立ち入り調査の同行をお願いし分析いただいた。

- (ア) 業務名 悪臭防止法に基づく改善勧告又は改善命令に関わる調査業務
- (イ) 委託先 (公社)におい・かおり環境協会
- (ウ) 立ち入り調査
 - a 実施日 8月20日、1月21日
 - b 立入者 (公社)におい・かおり環境協会職員1人
(一社)日本有機資源協会職員1人
長野県職員3人、市職員2人

- (エ) 臭気測定
 - a 実施日 8月20日、1月21日
 - b 測定場所 悪臭原因事業所敷地境界線上
 - c 調査項目 臭気指数

- (オ) 委託料 1,330,287円

(2) 悪臭原因事業所へ臭気指数低減方針報告の依頼

悪臭原因事業所へ前年度行った調査業務による報告書に基づき、臭気指数低減方針の報告を求める通知を交付した。また、悪臭原因事業所からの報告に対する意見書の交付を行った。

ア 経 過

- 5月23日 市から「臭気指数低減方針報告依頼」通知交付（上八町区による工場見学と同日）
- 6月6日 悪臭原因事業所から「ご報告」提出
- 6月27日 悪臭原因事業所から「ご報告」提出
- 8月31日 市から「ご報告」に対する「意見書」の交付
- 8月31日 市から「資料の提出について」依頼
- 9月14日 悪臭原因事業所から資料の提出

イ 臭気指数低減方針報告依頼通知及び意見書の内容

- (ア) 組織による管理体制
- (イ) 堆肥化工程の見直し
- (ウ) 漏えい防止の検討
- (エ) 脱臭装置の導入の検討

5 地下水の保全に関すること

(1) 須坂市水資源保全条例に基づく申請等の状況

- ア 許可井戸 申請 0件
- イ 届出井戸 使用届 1件 承継届 1件

(2) 地下水資源保全・活用計画検討業務について

ア 業務委託契約について

須坂市における地下水資源の実態を把握し、今後の保全及び活用のための方策を検討するため、公募型プロポーザルにより地下水資源保全・活用計画検討事業を平成29年度から平成31年度まで3年間業務委託し、2年目の平成30年度は、地下水の各種解析及び将来予測計算を行った。

- 委託業務名 平成29年度須坂市地下水資源保全・活用計画検討業務委託
- 委託先 八千代エンジニアリング株式会社 長野事務所
- 委託期間 平成29年6月1日から平成32年3月31日
- 契約金額 23,976,000円（債務負担行為）（平成30年度 委託料 7,992,000円）

イ 須坂市地下水資源保全・活用計画検討委員会の開催

- 6月6日 平成29年度の業務報告、現地視察（市内河川、地質、湧水箇所等）

6 自然公園法に関する意見照会等 13件（特別地域内6件、普通地域内7件）

7 衛生害虫等の対応

- アメリカシロヒトリ等の防除機械の自治会等への貸出し状況 4回

8 アレチウリ撲滅作戦

外来植物のアレチウリによる農作物の被害防止や、在来植物など自然環境保護のため、地域自治会、県等関係機関、庁内関係課と連携し次のとおり駆除作業を実施した。

実施場所	実施日	参加人数（人）	担当課
日野地区	6月24日	40	農 林 課
井上地区	7月8日	河川増水により中止	道路河川課
	9月9日	29	
豊洲地区	7月8日	河川増水により中止	生活環境課
	9月2日	86	

9 希少生物の保全

長野県絶滅危惧ⅠA類のスギナモ、準絶滅危惧種のチャイロカワモズクの生息地の確認及び保全を行った。

10 ㈱アールエフ須坂工場（旧富士通㈱須坂工場）の環境情報について

旧富士通㈱須坂工場敷地内の観測井戸から、ポリ塩化ビフェニル（PCB）が検出されたことに伴い実施していたモニタリング調査の報告が4月以降滞っていることから同社に対し提出依頼を行ったが、平成30年度分について提出されなかった。

11 空間放射線量の定点測定

須坂市内の小学校校庭及び市役所庁舎等敷地において、偶数月の25日前後に空間放射線量の定点測定を実施した。

なお、測定結果は、いずれも健康に影響のない値であり、市ホームページにおいて公表した。

- (1) 測定方法 シンチレーションサーベイメータによる簡易測定
- (2) 測定箇所 市内6地点（豊丘小学校、仁礼小学校、高甫小学校、豊洲小学校、峰の原こもれびホール、市役所）
- (3) 測定機器 ALOKA TCS-172B

12 自動車騒音常時監視及び面的評価業務

騒音規制法に基づき、自動車騒音常時監視及び面的評価業務を専門機関へ委託した。

- (1) 実施日等 11月1日午前6時00分から11月2日午前6時00分までの24時間
- (2) 調査結果

路線名	評価区間	評価区間の延長 (km)	残留騒音※レベル			評価区間全体				
			設定	昼間 (dB)	夜間 (dB)	評価対象住居数 a=b+c+d+e (戸)	昼間・夜間とも基準値以下 b (戸)	昼間の基準値以下 c (戸)	夜間の基準値以下 d (戸)	昼間・夜間とも基準値超過 e (戸)
一般国道403号	春木町信号～須坂商業高等学校前信号	0.4	2	42	26	53	53	0	0	0
	須坂商業高等学校前信号～末広町信号	0.2	2	42	29	165	165	0	0	0
	末広町信号～横町中央信号	0.2	2	42	29	20	20	0	0	0
	横町中央信号～東横町信号手前T字路	0.1	2	38	31	12	12	0	0	0

路線名	評価区間	評価区間の延長 (km)	残留騒音※レベル			評価区間全体				
			設定	昼間 (dB)	夜間 (dB)	評価対象 住居数 a=b+c+d+e (戸)	昼間・夜間 基準値 b (戸)	昼間の 基準値 c (戸)	夜間の 基準値 d (戸)	昼間・夜間 基準値 e (戸)
一般国道 403号	東横町信号手前 T字路～八幡町 東信号	0.6	2	38	31	95	95	0	0	0
	八幡町東信号～ 墨坂神社西信号	0.3	2	38	31	71	71	0	0	0
	墨坂神社西信号 ～境沢町北信号	0.4	2	37	33	49	49	0	0	0
	境沢町北信号～ 幸高町信号手前 交差点	1.4	2	38	31	102	102	0	0	0
	幸高町信号手前 交差点～幸高町 信号	0.1	2	38	31	6	6	0	0	0
合計		3.7				573	573	0	0	0

※残留騒音 = 総合騒音 - 特定騒音

総合騒音：ある場所における、ある時刻の総合的な騒音（測定地点における騒音レベル）

特定騒音：総合騒音の中で音響的に明確に識別できる騒音

(3) 委託先 中外テクノス㈱中部支社

(4) 委託料 1,555,200 円

13 工場騒音測定業務

地元区からの要望により、測定業者へ委託し騒音測定を実施した。

(1) 騒音測定

ア 実施日等 3月26日午前8時00分から午後7時00分までの11時間

イ 内 容

(ア) 騒音測定

a 測定地点 高畑町

b 測定内容

「環境騒音の表示・測定方法」及び「特定工場等において発生する騒音の規制に関する基準」で定める測定方法により騒音レベルの測定

c 委託先 ㈱信濃公害研究所

d 委託料 280,800 円

14 上信越高原国立公園須坂地域連絡協議会関係

(1) 上信越高原国立公園須坂地域連絡協議会 現地視察会・意見交換会

ア 開催日 8月27日

イ 出席者 関係団体9人、関係行政機関13人

ウ 内 容

(ア) 現地視察会（五味池破風高原自然園）

案内人 豊丘財産区議会議長 市川公夫 氏

- (イ) 意見交換会
- a 現地視察会の感想などについて
 - b 今後の協議会の進め方について
 - c 自然公園法の仕組みについて
- (2) 上信越高原国立公園須坂・高山地域合同連絡協議会
- ア 開催日 2月19日
- イ 出席者 須坂地域：関係団体14人、関係行政機関12人
高山地域：関係団体9人、関係行政機関3人
- ウ 内 容
- (ア) 現地視察会の報告について
 - (イ) 各活動の振り返りについて
 - (ウ) 次年度以降の協議会について
 - (エ) 規約の改正について
 - (オ) 講演会「地元関係者や行政の連携による山岳管理、登山道の近自然工法による整備について」
講師：合同会社北海道山岳整備 代表 岡崎哲三 氏

■ 生活雑排水対策事業

単位：円

当初 予算額	3,549,000	予算 現額	3,404,000	決算額	3,292,072	前年度 決算対比	108.7%	前年度 決算額	3,029,717
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

一般家庭から排出される雑排水が河川の水質汚濁の原因となっていることから排水処理施設の設置を義務付け、この汚泥処理を市が行うことにより、市民と行政が協力して水質浄化に努める。

II 事業の成果等

下水道の普及に伴い汚泥収集量は毎年減少しているが、雑排水汚泥を処理し水質汚濁防止を図った。
また、浄化槽の適正な管理を行い、河川等の水質浄化を図った。

III 事業の実績

1 汚泥処理の状況

収集月	基数 (基)	中間処理業務		運 搬 業 務		最終処分業務	
		処理量(ℓ)	委託料(円)	処理量(ℓ)	委託料(円)	処理量(ℓ)	委託料(円)
4・5	325	50,400	609,637	1,010	7,635	1,010	21,816
7・8	314	48,280	583,994	970	7,332	970	20,952
10・11	315	48,950	592,098	980	7,408	980	21,168
1・2	300	45,900	555,206	920	6,954	920	19,872
小 計	1,254	193,530	2,340,935	3,880	29,329	3,880	83,808
				委託料合計		2,454,072	

2 浄化槽の設置状況（届出等受理件数）

- (1) 設置届（設計概要書） 3件
- (2) 廃止報告書 5件

4-1-7 (目) 霊園管理費

単位：円

当初 予算額	60,567,000	予算 現額	57,713,000	決算額	57,370,685	前年度 決算対比	705.8%	前年度 決算額	8,128,757
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	-----------

■ 霊園管理事業

単位：円

当初 予算額	6,808,000	予算 現額	8,960,000	決算額	8,618,405	前年度 決算対比	140.1%	前年度 決算額	6,152,357
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

坂田霊園、松川霊園、高梨霊園の墓地の適切な管理及び環境整備を行う。

II 事業の成果等

市営3霊園の適切な維持管理を行い、安息の地にふさわしい環境整備、及び墓参者の安全を確保した。
また、空き区画について使用者募集を行った。

III 事業の実績

1 施設管理等の状況

(1) 修繕の状況

ア 坂田霊園施設修繕	550,800 円
イ 除雪機、動噴等機械修繕	86,238 円

(2) 業務委託の状況

ア 霊園管理業務

霊園管理業務(ごみ収集含む)を(公社)須高広域シルバー人材センターに委託した。 2,544,305 円

イ 霊園駐車場整理業務

お盆期間中の駐車場整理をアンゼン産業㈱に委託した。 坂田霊園 429,624 円 松川霊園 96,606 円
春のお彼岸の駐車場整理をアンゼン産業㈱に委託した。 坂田霊園 43,200 円

ウ 支障木伐採業務

坂田霊園内の支障木伐採を(公社)須高広域シルバー人材センターに委託した。 199,904 円

エ 管理手数料電算業務

管理手数料徴収に係る電算業務を㈱B S Nアイネット、㈱電算に委託した。 759,456 円

(3) 電算システム使用料

㈱B S Nアイネット、㈱電算の霊園管理システム使用料 511,920 円

2 霊園管理手数料等収納状況

霊園管理手数料(1区画 年額3,000円 ※新規使用者は月割額)

霊園名	区画数	貸付数	空区画	調定額(円)	収入済額(円)	未済額(円)	収納率(%)
坂田霊園	1,602	1,526	76	4,567,500	4,531,500	36,000	99.2
松川霊園	1,436	1,311	125	3,927,750	3,918,750	9,000	99.8
高梨霊園	352	349	3	1,044,750	1,044,750	0	100.0
過年度分				111,000	51,000	60,000	45.9
計	3,390	3,186	204	9,651,000	9,546,000	105,000	98.9

3 霊園関係届出状況

霊園管理に係る各種届出等を次のとおり受理した。

(1) 墳墓碑石等建設工事施工届	79 件
(2) 墳墓碑石等建設工事完了届	68 件
(3) 霊園使用承継申請書	105 件
(4) 霊園埋葬届	129 件
(5) 改葬許可申請書	24 件
(6) 霊園使用許可証書替申請書	20 件
(7) 霊園返還届	23 件
(8) 合葬式墓地埋葬届	7 件

4 使用者募集

返還のあった坂田・高梨霊園の区画の利用者を募集した。また、松川霊園南区画の利用者を募集した。

(1) 坂田霊園募集

ア 募集期間及び区画数	11月14日～11月30日	14区画
イ 応募条件	須坂市内に住所または本籍のある者	
ウ 利用者決定区画数及び永代使用料	2区画	374,000円

(2) 高梨霊園募集

ア 募集期間及び区画数	11月14日～11月30日	4区画
イ 応募条件	須坂市内に住所または本籍のある者	
ウ 利用者決定区画数及び永代使用料	1区画	492,000円

(3) 松川霊園募集

ア 募集期間及び区画数	第1回 5月24日 第2回 6月4日～9月28日 南区画 47区画
イ 応募条件	須坂市内に住所または本籍のある者
ウ 使用者決定区画数及び永代使用料	18区画 7,086,000円

(4) 松川霊園第一合葬式墓地利用者募集

ア 応募条件	受入予定数到達のため、第一合葬式墓地に既に親族の申込みもしくは埋葬がある者のみ受付	
イ 利用者決定数及び使用料	合同納骨方式 6体	205,000円
※霊園区画返還者申込み分を含む		

■ 霊園施設整備事業

単位：円

当初 予算額	53,759,000	予算 現額	48,753,000	決算額	48,752,280	前年度 決算対比	2,466.7%	前年度 決算額	1,976,400
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	----------	------------	-----------

I 事業の目的

適正な墓地区画、合葬式墓地数を確保するとともに施設を適正に維持管理するため、松川霊園及び坂田霊園において建設修繕工事等を行い市民要望に応える。

II 事業の成果等

お墓の管理を引き継ぐのが困難な家庭が増加し、墓石の建立や年間の管理料が不要な合葬式墓地の需要が高まっており、松川霊園の第一合葬式墓地（H24年度募集開始）が受入満了となったため、松川霊園内へ第二合葬式墓地を建設した。

また、坂田霊園の老朽化した擁壁の修繕工事を実施した。

III 事業の実績

1 松川霊園

(1) 松川霊園内へ第二合葬式墓地を建設した。

松川霊園第二合葬式墓地建設工事	マツナガ建設㈱	38,340,000円
松川霊園第二合葬式墓地建設工事 監理業務委託	(有)緑地計画研究所	422,280円

(2) 施設見学会を開催した。

3月20日	参加者 184名
3月21日	参加者 124名

2 坂田霊園

坂田霊園内の擁壁補修工事を実施した。

坂田霊園擁壁補修工事	(有)筑波道路	9,990,000円
------------	---------	------------

4-2-1 (目) 清掃総務費

単位：円

当初 予算額	87,161,000	予算 現額	84,534,000	決算額	83,702,228	前年度 決算対比	101.1%	前年度 決算額	82,832,170
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ ごみ収集事業

単位：円

当初 予算額	87,161,000	予算 現額	84,534,000	決算額	83,702,228	前年度 決算対比	101.1%	前年度 決算額	82,832,170
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

市内の家庭ごみ及び資源物等の適正な収集業務を管理運営する。

II 事業の成果等

快適な市民生活と環境衛生推進のため、家庭ごみ、資源物及び側溝清掃後の土砂等の適正な収集を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上が図られた。また、各町毎に実施する粗大ごみ等の収集、祝日にごみ収集を行うなど、市民サービスの向上が図られた。

III 事業の実績

1 ごみ収集の状況

須坂市委託清掃協同組合外3社に委託し、市内の家庭ごみ及び資源物等の収集業務を行った。

2 ごみ及び土砂類等収集量

(1) 収集量

単位：kg

区 分	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	側溝土砂類	合 計
委託業者	6,580,310	298,440	92,210	92,270	7,063,230
許可業者	3,313,020	13,260	—	—	3,326,280
直接持込	687,610	102,970	—	6,410	796,990
(内訳) 事業系	333,270	26,110	—	—	359,380
家庭系	354,340	76,860	—	6,410	437,610
合 計	10,580,940	414,670	92,210	98,680	11,186,500
前 年 度	10,517,720	388,410	86,190	91,330	11,083,650
前年度対比	100.6%	106.8%	107.0%	108.0%	100.9%

(2) 委託業者収集日数

単位：日

区 分	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	側溝土砂類
日 数	203	144	21	51

3 町別粗大ごみ等の収集状況

粗大ごみ（一辺50cmを超えるもの）及び蛍光管の収集を、各町毎に収集日を定め実施した。

(1) 実施期間 7月14日(土) ～ 12月1日(土)

(2) 実施日数 19日 (69町で各1回実施)

(3) 収集量 ()内は前年度実績及び前年度対比

ア 可燃粗大ごみ 35,420 kg (34,480 kg 102.7%)

イ 不燃粗大ごみ 56,790 kg (51,710 kg 109.8%)

ウ 蛍光管 1,747 kg (1,949 kg 89.6%)

4 ごみ収集業務委託の状況

(1) 可燃ごみ等収集委託料	須坂市委託清掃協同組合	67,780,800 円
(2) 不燃ごみ等収集委託料	(株)環境クリエーション	4,665,600 円
(3) 粗大ごみ収集委託料	(株)タケモト、(株)ミノル産業	3,808,296 円
(4) 側溝清掃土砂収集委託料	(株)環境クリエーション	2,570,400 円
(5) 峰の原高原ごみ収集委託料	(株)環境クリエーション	2,592,000 円
(6) 廃蛍光管収集委託料	(株)タケモト、(株)ミノル産業	597,780 円
(7) 臨時ごみ収集委託料	須坂市委託清掃協同組合、(株)環境 クリエーション	1,583,280 円
合 計		83,598,156 円

4-2-2 (目) 清掃センター費

単位：円

当 初 予算額	240,906,000	予算 現額	239,237,688	決算額	221,893,220	前 年 度 決算対比	90.2%	前年度 決算額	246,137,091
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	-------	------------	-------------

■ ごみ処理施設管理事業

単位：円

当 初 予算額	3,348,000	予算 現額	4,553,688	決算額	3,841,093	前 年 度 決算対比	134.5%	前年度 決算額	2,855,863
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

清掃センターの管理業務を行い、適正なごみ処理を図る。

II 事業の成果等

清掃センターを適正に管理し、市民サービスの向上を図った。

III 事業の実績

1 会議等の出席状況

会 議 名	実施団体	開催期日	出席人員(人)
長野地域ごみ処理広域化推進協議会	長野地域ごみ処理広域化推進協議会	5 月 16 日	1
		10 月 12 日	1
		12 月 18 日	1
		2 月 25 日	2
長野県廃棄物処理技術研究協議会 北信ブロックごみ部会総会	長野県廃棄物処理技術研究協議会 北信ブロックごみ部会	7 月 12 日	1
長野地域ごみ処理広域化推進協議会 視察研修	長野地域ごみ処理広域化推進協議会	7 月 19 日	1
長野県廃棄物処理技術研究協議会 平成 30 年度定例総会及び研究会	長野県廃棄物処理技術研究協議会	7 月 25 日	1
長野県廃棄物処理技術研究協議会 北信ブロックごみ部会視察研修及び 秋季研究会	長野県廃棄物処理技術研究協議会 北信ブロックごみ部会	11 月 16 日	2

2 施設見学受入状況

清掃センターへの見学を受け入れ、施設の紹介を行うことにより、ごみ処理の現状やごみの分別・リサイクルに関する理解と啓発を図れた。

見学者数等 小学校 7 校 269 人 (教員 20 人 児童 249 人)

3 修繕の内容

(1) カラープリンター修繕	9,504 円
(2) その他修繕	13,154 円
合計	22,658 円

4 備品購入の状況 事務連絡車購入 1,209,600 円

5 汚染負荷量賦課金

公害健康被害の補償等に関する法律（第 52 条）に基づくばい煙発生施設に該当するため、独立行政法人環境再生保全機構へ、汚染負荷量賦課金を納付した。 391,800 円

■ ごみ処理施設運営事業

単位：円

当初 予算額	196,667,000	予算 現額	192,200,000	決算額	175,791,733	前年度 決算対比	87.5%	前年度 決算額	200,792,252
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

清掃センターのごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設の運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理に努める。

II 事業の成果等

ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設の保全に努め、可燃ごみ、不燃ごみの適正な処理処分を行った。また、可燃ごみの広域処理後も継続して不燃ごみの適正処理を行うため、老朽化した粗大ごみ処理施設の精密機能検査及び改造設計図書の作成を実施した。

III 事業の実績

1 可燃ごみ及び不燃ごみの月別搬入状況（粗大ごみを含み、ながの環境エネルギーセンター搬入分除く）

(1) 市内から搬入されたごみ

月	可燃ごみ			不燃ごみ		
	日数	搬入量 (kg)	1 日平均 (kg)	日数	搬入量 (kg)	1 日平均 (kg)
4 月	22	898,890	40,859	21	40,120	1,910
5 月	22	957,550	43,525	22	40,900	1,859
6 月	21	856,090	40,766	21	32,740	1,559
7 月	25	945,530	37,821	25	33,730	1,349
8 月	26	984,350	37,860	26	37,540	1,444
9 月	25	844,550	33,782	25	42,120	1,685
10 月	25	706,310	28,252	25	41,940	1,678
11 月	27	355,570	13,169	27	48,680	1,803
12 月	22	345,690	35,269	22	48,340	2,197
1 月	20	292,980	15,713	20	26,860	1,343
2 月	19	296,860	14,649	19	25,780	1,357
3 月	0	0	0	20	33,950	1,698
合 計	254	7,484,370	29,466	273	452,700	1,658
月平均	23.1	680,397		22.8	37,725	
前年度	276	10,552,200	38,233	274	419,150	1,530
前年度対比 (%)	92.0	70.9	77.1	99.6	108.0	108.4

(2) 高山村から搬入された可燃ごみ () 内は、前年度実績及び前年度対比

ア 搬入日数	57 日	(102 日	55.9%)
イ 搬入量	433,754kg	(754,908 kg	57.5%)
ウ 1 日平均	7,610kg	(7,401 kg	102.8%)

2 可燃ごみの焼却量及び焼却灰量の状況

区 分	焼却日数	焼却量 (kg)	焼却灰量 (kg)
年間合計	284 日	7, 986, 310	964, 650
月平均	23. 7 日	665, 526	80, 388

3 粗大ごみ処理施設における破砕処理の状況（不燃ごみの処理、資源物の選別状況）

区 分	回数	処理量 (kg)	選別状況 (kg)					
			可燃類	鉄 類	アルミ類	不燃残渣物	小型家電類	乾電池
年間合計	55 回	452,700	34,960	148,580	8,430	173,560	75,320	11,850
月 平 均	4.6 回	37,725	2,913	12,382	703	14,463	6,277	987

4 使用済乾電池の処理の状況 処理量 11,850 kg (前年度実績 11,980 kg 前年度対比 98.9%)

5 ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設整備の状況

- | | |
|---------------|-------------------------|
| (1) 施設修繕費 | 48,897,810 円 |
| (2) 主な修繕内容 | |
| ア ごみ処理施設定期整備 | 44,960,400 円 |
| (ア) 受入供給設備修繕 | (ごみクレーン整備) |
| (イ) 焼却炉本体設備修繕 | (炉内耐火物補修) |
| (ウ) 燃焼設備修繕 | (火格子整備、油圧シリンダー整備等) |
| (エ) ガス冷却設備修繕 | (内部清掃点検) |
| (オ) 排ガス処理設備整備 | (バグフィルタ補修整備、減温塔内部清掃点検等) |
| イ ごみ焼却炉修繕 | 2,322,000 円 |
| ウ 高圧受電設備修繕 | 450,360 円 |
| エ その他設備等修繕 | 23 件 1,165,050 円 |

6 委託料の状況

- | | | |
|-----------------------|--------------------|--------------|
| (1) 設計委託料 | (株)環境技術センター | 3,811,860 円 |
| (2) 埋立地管理委託料 | 米子区 | 140,000 円 |
| (3) 埋立地整備委託料 | 協同組共建匠須高 | 101,520 円 |
| (4) 危険物施設点検委託料 | (株)科学技術開発センター | 26,784 円 |
| (5) 機器点検委託料 | (株)シナノ計器製作所 | 248,400 円 |
| (6) 自家用電気工作物保安管理業務委託料 | (財)中部電気保安協会 | 501,552 円 |
| (7) ばいじん量等測定委託料 | 環境未来(株) | 1,682,640 円 |
| (8) 焼却灰等処分委託料 | 飯山陸送(株) | 31,225,017 円 |
| (9) 使用済み乾電池運搬処理委託料 | JFE 条鋼(株)鹿島製造所 | 857,466 円 |
| (10) 焼却灰放射能濃度測定委託料 | 環境未来(株) | 51,840 円 |
| (11) 小型家電収集運搬委託料 | (株)しんえこ | 1,776,600 円 |
| (12) PCB 含有検査委託料 | (財)中部電気保安協会 | 279,720 円 |
| (13) 選別整理業務委託料 | (公社)須高広域シルバー人材センター | 2,841,117 円 |
| | 合計 | 43,544,516 円 |

7 清掃センター等用地借上料

- | | |
|--------------------------------|-------------|
| (1) 清掃センター用地(取水槽用地分も含む、米子区外1名) | 1,827,508 円 |
| (2) 埋立地用地(米子区外3名) | 3,335,286 円 |
| 合計 | 5,162,794 円 |

8 廃棄物処理手数料等の収入状況

(1) 鉄、アルミ類、小型家電類の売り払い額

ア 鉄 類	148,580 kg	160,441 円
イ アルミ類	8,430 kg	36,414 円
ウ 小型家電類	75,320 kg	81,345 円
合 計		278,200 円

(2) 直接搬入分処理手数料

ア 現金取扱	7,049 件	8,502,570 円
イ 口座振替・納付書	2,793 件	49,978,470 円
合 計	9,842 件	58,481,040 円

9 公害防止の状況

(1) 排ガス中のばいじん濃度等の測定結果

ア 第1回目（平成30年7月24日1号炉、7月25日2号炉測定）

(ア) ばいじん濃度

号 炉 別	測 定 結 果	基 準 値
1 号 炉	0.006 未満 g/m ³ N	0.15 g/m ³ N
2 号 炉	0.005 未満 g/m ³ N	0.15 g/m ³ N

(イ) 塩化水素濃度

号 炉 別	測 定 結 果	基 準 値
1 号 炉	13 mg/m ³ N	700 mg/m ³ N
2 号 炉	20 mg/m ³ N	700 mg/m ³ N

(ウ) 硫黄酸化物濃度

号 炉 別	測 定 結 果	基 準 値
1 号 炉	0.13 未満 m ³ N/h	54 m ³ N/h
2 号 炉	0.13 未満 m ³ N/h	58 m ³ N/h

(エ) 窒素酸化物濃度

号 炉 別	測 定 結 果	基 準 値
1 号 炉	35 cm ³ /m ³ N	300 cm ³ /m ³ N
2 号 炉	34 cm ³ /m ³ N	300 cm ³ /m ³ N

(オ) 全水銀濃度

号 炉 別	測 定 結 果	基 準 値
1 号 炉	0.084 μg/m ³ N	50 μg/m ³ N
2 号 炉	0.15 μg/m ³ N	50 μg/m ³ N

イ 第2回目（平成31年1月24日1号炉、2月28日2号炉測定）

(ア) ばいじん濃度

号 炉 別	測 定 結 果	基 準 値
1 号 炉	0.006 未満 g/m ³ N	0.15 g/m ³ N
2 号 炉	0.006 未満 g/m ³ N	0.15 g/m ³ N

(イ) 塩化水素濃度

号 炉 別	測 定 結 果	基 準 値
1 号 炉	69 mg/m ³ N	700 mg/m ³ N
2 号 炉	8 mg/m ³ N	700 mg/m ³ N

(ウ) 硫黄酸化物濃度

号 炉 別	測 定 結 果	基 準 値
1 号 炉	0.15 m ³ N/h	55 m ³ N/h
2 号 炉	0.13 m ³ N/h	57 m ³ N/h

(エ) 窒素酸化物濃度

号 炉 別	測 定 結 果	基 準 値
1 号 炉	31 cm ³ /m ³ N	300 cm ³ /m ³ N
2 号 炉	45 cm ³ /m ³ N	300 cm ³ /m ³ N

(オ) 全水銀濃度

号 炉 別	測 定 結 果	基 準 値
1 号 炉	2.9 μg/m ³ N	50 μg/m ³ N
2 号 炉	2.9 μg/m ³ N	50 μg/m ³ N

(2) 排ガス中のダイオキシン量の測定結果（平成 30 年 7 月 24 日 1 号炉、7 月 25 日 2 号炉測定）

号 炉 別	測 定 結 果	基 準 値
1 号 炉	0.0017 ng-TEQ/m ³ N	5 ng-TEQ/m ³ N
2 号 炉	0.00000018 ng-TEQ/m ³ N	5 ng-TEQ/m ³ N

(3) 焼却灰中の放射性物質の放射能濃度測定結果

単位：Bq/Kg

項 目	測定日	6/26	9/27	12/14	3/12
主 灰	セシウム 134	不検出	不検出	不検出	不検出
	セシウム 137	不検出	不検出	不検出	不検出
	合 計	不検出	不検出	不検出	不検出
飛 灰	セシウム 134	不検出	不検出	不検出	不検出
	セシウム 137	33	16	16	不検出
	合 計	33	16	16	不検出

※ 主灰：燃え殻 飛灰：ばいじん

4-3-1 (目) 水道費

単位：円

当 初 予算額	37,348,000	予算 現額	59,226,000	決算額	57,526,635	前 年 度 決算対比	142.3%	前年度 決算額	40,417,986
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

■ 上水道供給安定化助成事業

単位：円

当 初 予算額	33,245,000	予算 現額	33,245,000	決算額	33,244,218	前 年 度 決算対比	91.5%	前年度 決算額	36,350,256
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の実績

水道事業負担金のうち、百々川総合開発事業豊丘ダム建設に伴う水道事業債の元金・利子額 33,244,218 円を水道事業会計へ補助した。

借入 年度	利率 (%)	補助額(円)	(内訳)	
			元金(円)	利息(円)
S62	4.850	4,056,646	3,913,715	142,931
H4	4.400	4,564,980	3,712,624	852,356
H5	3.650	6,230,888	5,061,064	1,169,824
H6	4.650	3,090,438	2,266,183	824,255
H20	0.900	8,339,162	8,209,054	130,108
H20	0.900	2,492,628	2,432,307	60,321
H21	0.910	4,469,476	4,319,875	149,601
計		33,244,218	29,914,822	3,329,396

■ 峰の原水道供給安定化助成事業

単位：円

当 初 予算額	4,103,000	予算 現額	4,070,000	決算額	4,069,417	前 年 度 決算対比	100.0%	前年度 決算額	4,067,730
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	--------	------------	-----------

I 事業の実績

峰の原水道事業で借り入れた辺地対策事業債について、償還時に地方交付税で措置された額（元利償還金の80%）を水道事業会計へ補助した。

借入 年度	起債額（円）	利率 %	償還額（円）		補助金額（円）
			元 金	利 息	
25	28,600,000	0.4	3,553,486	82,592	2,908,862
26	7,500,000	0.2	932,817	12,672	756,391
27	5,000,000	0.1	498,750	3,879	402,103
28	5,000,000	0.01	0	500	400
29	22,200,000	0.01	0	2,077	1,661
計					4,069,417

■ 県事業負担金

単位：円

当 初 予算額	0	予算 現額	21,911,000	決算額	20,213,000	前 年 度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
------------	---	----------	------------	-----	------------	---------------	----	------------	---

I 事業の実績

県施工の豊丘ダム堰堤改良工事に対して負担金を交付した。

事 業 名	負担金総額(円)	1 期分(円)	2 期分(円)
豊丘ダム 堰堤改良事業	20,213,000	10,106,500	10,106,500

款 5 勞 働 費

(款5) 労働費

単位：円

当 初 予算額	179,062,000	予算 現額	178,736,000	決算額	174,684,281	前 年 度 決算対比	98.9%	前年度 決算額	176,682,428
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	-------	------------	-------------

5－1－1 (目) 勤労者研修センター費

単位：円

当 初 予算額	3,586,000	予算 現額	3,586,000	決算額	3,498,624	前 年 度 決算対比	103.0%	前年度 決算額	3,395,680
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	--------	------------	-----------

■ 勤労者研修センター管理事業

単位：円

当 初 予算額	3,586,000	予算 現額	3,586,000	決算額	3,498,624	前 年 度 決算対比	103.0%	前年度 決算額	3,395,680
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

勤労者に良好な研修活動の場を提供することにより、福祉の向上を図る。

II 事業の成果等

第1 勤労者研修センターの管理運営は、連合長野高水地域協議会須高地区連合会を、第2 勤労者研修センターの管理運営は、特定非営利活動法人 精神保健福祉会すざかの風（ピアハウス）を指定管理者として、管理運営を委託した。

2か所の勤労者研修センターは、勤労者の研修・福祉活動の場として定着している。

III 事業の実績

1 勤労者研修センターの管理

(1) 第1 勤労者研修センター

ア 指定管理に係る事務

管理運営に係る年度協定締結

(ア) 締結日 4月1日

(イ) 指定管理者 連合長野高水地域協議会須高地区連合会

(ウ) 指定の期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日

(エ) 管理経費 1,955,000円

イ 修繕関係

(ア) 玄関ポーチ修繕（12月） 190,080円

(イ) 会議テーブル修繕（3月） 89,640円

(2) 第2 勤労者研修センター

ア 指定管理に係る事務

管理運営に係る年度協定締結

(ア) 締結日 4月1日

(イ) 指定管理者 特定非営利活動法人 精神保健福祉会すざかの風（ピアハウス）

(ウ) 指定の期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日

(エ) 管理経費 531,000円

イ 修繕関係

(ア) 漏電修繕（4月） 71,064円

(イ) 駐車場修繕（2月） 51,840円

2 土地借上

第1 勤労者研修センター駐車場用地として墨坂神社へ賃貸借料支出 610,000 円

土地の所在及び地積 墨坂一丁目 1592-1 495.00 m²

墨坂一丁目 1605-2 99.00 m²

3 施設の使用状況

(1) 使用状況

施設名	区 分	平成 30 年度	平成 29 年度	前年度対比 (%)
第1 勤労者 研修センター	使用日数 (日)	287	291	98.6
	使用件数 (件)	1,064	995	106.9
	使用人員 (人)	12,167	11,325	107.4
	使用料金 (円)	670,200	720,050	93.1
第2 勤労者 研修センター	使用日数 (日)	101	147	68.7
	使用件数 (件)	116	168	69.0
	使用人員 (人)	1,577	1,961	80.4
	使用料金 (円)	234,800	316,550	74.2

(2) 使用区分別件数

施設名	区 分	平成 30 年度 (件)	平成 29 年度 (件)	前年度対比 (%)
第1 勤労者 研修センター	午 前	234	214	109.3
	午 後	443	413	107.3
	夜 間	387	368	105.2
第2 勤労者 研修センター	午 前	12	13	92.3
	午 後	11	11	100.0
	夜 間	93	144	64.6

5-1-2 (目) 労働諸費

単位：円

当 初 予算額	149,089,000	予算 現額	148,534,000	決算額	144,643,561	前 年 度 決算対比	98.5%	前年度 決算額	146,887,912
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	-------	------------	-------------

■ 勤労者福祉事業

単位：円

当 初 予算額	131,361,000	予算 現額	131,279,000	決算額	129,257,752	前 年 度 決算対比	99.0%	前年度 決算額	130,509,852
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

勤労者が生き生きと働き、実りある生活ができるよう、福祉の向上を図る。

労働環境を正しく把握し、勤労者福祉や雇用促進施策に反映させる。

II 事業の成果等

勤労者の生活の安定を目的に、勤労者生活資金の融資あっせん及び利子補給、勤労者住宅建設資金融資利子補給、中小企業退職金共済加入奨励補助等を実施し、労働環境の整備と勤労者福祉の増進を図った。また、自転車駐車場の管理に関する諸問題に対し、各種団体等と連携しながら、課題解決に向けて施策を行った。

Ⅲ 事業の実績

1 勤労者生活資金融資

(1) 勤労者生活資金融資預託

- ア 預 託 先 長野県労働金庫須坂支店
 イ 預託金額 120,000,000 円
 ウ 融 資 枠 180,000,000 円（預託金額の 1.5 倍）

(2) 勤労者生活資金融資の状況（融資利率 カーローン 2.01%、教育ローン 2.03%、住宅ローン 2.13%、多目的ローン 3.88%（保証料込））

平成 30 年 度		平成 29 年 度		前 年 度 対 比 (%)	
件 数 (件)	金 額 (円)	件 数 (件)	金 額 (円)	件 数	金 額
27	46,730,000	18	26,610,000	150.0	175.6

※ 年度末融資貸付高 144 件 120,955,590 円

(3) 勤労者生活資金融資利子補給金の状況

平成 30 年 度		平成 29 年 度		前 年 度 対 比 (%)	
件 数 (件)	金 額 (円)	件 数 (件)	金 額 (円)	件 数	金 額
25	1,601,601	19	925,519	131.6	173.0

2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金の状況

平成 30 年 度		平成 29 年 度		前 年 度 対 比 (%)	
件 数 (件)	金 額 (円)	件 数 (件)	金 額 (円)	件 数	金 額
37	409,526	79	918,407	46.8	44.6

3 勤労者資金融資保証料補給金の状況

平成 30 年 度		平成 29 年 度		前 年 度 対 比 (%)	
件 数 (件)	金 額 (円)	件 数 (件)	金 額 (円)	件 数	金 額
10	630,868	19	1,848,808	52.6	34.1

4 中小企業退職金共済加入奨励補助金

市内に事業所を有する中小企業の従業員について退職金制度を確立するために、中小企業退職金共済法又は所得税法施行令第 73 条に基づいて、勤労者退職金共済機構又は特定退職金共済団体と新たに契約した被共済者の掛金について、事業主に対しその一部を補助した。

平成 30 年 度		平成 29 年 度		前 年 度 対 比 (%)	
件 数 (件)	金 額 (円)	件 数 (件)	金 額 (円)	件 数	金 額
141	1,732,000	140	1,848,400	100.7	93.7

5 自転車駐車場（長野電鉄沿線各駅に設置した自転車駐車場）管理事業

(1) 市民や関係機関等への働きかけ

須坂駅前さわやかクリーン作戦の実施

- ア 日 時 6月3日 午前8時30分～9時30分
 イ 主 催 須坂市、須坂駅前広場運営協議会、長野電鉄株、イオンリテール株イオン須坂店
 ウ 内 容 駅前広場周辺のごみ拾い、須坂駅前中央自転車駐車場の整理作業、草取り等
 エ 参 加 者 150 人

(2) 須坂駅前中央自転車駐車場の清掃及び自転車整理等（通年）

ア 委託先 （公社）須高広域シルバー人材センター

イ 委託金額 332,316 円

ウ 委託日数 月 8 日（午前 7 時～9 時）

(3) 放置自転車管理・自転車駐車場清掃等業務委託（通年）

ア 委託場所 長野電鉄沿線各駅設置の自転車駐車場（須坂駅前中央自転車駐車場を除く。）7 か所

イ 委託先 須坂市勤労者協議会

ウ 委託金額 490,654 円

エ 委託日数 72 日

(4) 駅前自転車駐車場における自転車指導

ア 日 時 4 月 11 日 午前 7 時～8 時 30 分

イ 参加者 市 10 人、須坂市勤労者協議会 4 人 計 14 人

(5) 高校生による活動（須坂警察署主管）

自転車盗難防止モデル校（須坂創成高等学校）による整理・点検活動

須坂駅前中央自転車駐車場 5 月～2 月 計 10 回 延 100 人参加

(6) 放置自転車処理

ア 期 日 3 月 11 日

イ 委託先 （株）タケモト

ウ 処理委託料 18,360 円（43 台）

(7) 修繕関係

村山駅西側自転車駐車場照明設備修繕（4 月） 11,950 円

6 労働団体との連絡調整

(1) 須高建設産業労働組合 要望事項に対する回答、市政に関する意見交換

期 日 4 月 20 日

(2) 第 89 回長野県メーデー須高地区大会

期 日 5 月 1 日

(3) （協）建匠須高通常総会

期 日 5 月 12 日

(4) 第 41 回住宅デーに伴う公共施設の修繕

ア 主催 須高建設産業労働組合

イ 期 日 6 月 25 日 建設職人の技能を活かした奉仕活動の一環として無料で修繕を実施（36 か所）

(5) 須高地区労働者福祉協議会第 31 回定期総会

期 日 6 月 27 日

(6) 須坂市勤労者協議会第 51 回定期総会

期 日 6 月 18 日

(7) 労働団体との懇談会

ア 期 日 10 月 25 日

イ 内 容 市政に関する意見交換

ウ 参加者 連合長野高水地域協議会須高地区連合会、須高地区労組会議、須坂市勤労者協議会、須高地区労働者福祉協議会、県教組上高井支部、市内労働組合、連合長野高水地域協議会推薦議員

(8) 連合長野高水地域協議会第 7 回定期総会

期 日 11 月 17 日

(9) 須高地区労働者福祉協議会新春パーティー

期 日 1 月 11 日

(10) 須高建設産業労働組合第 72 回定期総会

期 日 3月16日

■ 雇用促進事業

単位：円

当初 予算額	4,890,000	予算 現額	4,575,000	決算額	4,396,387	前年度 決算対比	94.0%	前年度 決算額	4,675,382
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

充実した生活の実現を目的に、雇用の確保をするとともに、働く意欲を持つ市民が、その知識や経験を活かし自らの希望に応じた職業に就けるよう、きめ細かな就職・就業相談を実施した。

II 事業の成果等

平成 17 年県内他市町村に先駆けて設置した「須坂市就業支援センター（愛称：ゆめわーく須坂）」では、その経験とノウハウを活かしながら、専任相談員による就業相談関連事業、市内高等学校等と連携した職業観の早期醸成支援事業を 2 本柱として事業を展開した。

また、須坂公共職業安定所・須坂職業安定協会・須坂市生活就労支援センターまいさぼ須坂等と連絡を密にし、求人情報・社会動向の把握など情報交換をする中で、多様化する相談内容に対応できるよう努めた。

III 事業の実績

1 須坂市就業支援センターの事業

(1) 就業相談関連事業

ア 就業相談の利用状況（4月1日～3月31日）

単位：人

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	男	女	合計	稼働日
新規	2	11	3	5	6	6	10	23	33	256日
延人数	7	23	27	55	13	28	62	91	153	

イ 原則予約制とし、相談者午前 2 人、午後 2 人で、相談時間は 1 人当たり約 1 時間 30 分とする。

ウ 利用者のアフターケア

（ア） 就業相談利用者に対して、合同就職面接会や職業訓練機関の講習案内、また、相談者の希望に応じた求人情報を継続的に提供し、求職活動を支援した。

（イ） 就職決定者数（4月1日～3月31日） 11 人（報告があった者のみ。）

職種	専門・技術	事務	販売	サービス	運輸	製造	その他
人数	1	4	0	2	0	3	1

エ 休日就業相談

（ア） 日 時 毎月第 1 土曜日の午後 1 時～ 5 時

（イ） 利用者 延 8 人

オ 無料職業紹介事業

（ア） 業務開始日 平成 18 年 7 月 1 日

（イ） 概 要 事業所からの求人の受付

須坂市、長野市、中野市、飯山市、千曲市、小布施町、高山村の事業所を対象に求人を受付

（ウ） 求人登録会社数 延 97 社

（エ） 紹介状発行 4 件（うち採用 3 件）

カ 緊急雇用対策相談窓口の設置

（ア） 設 置 日 平成 26 年 11 月 28 日

（イ） 相 談 日 随時

(2) 職業観の早期醸成支援事業「市内高等学校2年生の職業現場見学」

職場見学についての意義とマナー事前学習、機械・食品製造業、福祉施設等の職業現場を見学

ア 期 日 10月29日

イ 参加者 196人

ウ 受入事業所 市内10事業所

(3) ゆめわーくサポートネットワーク事業

ア ネットワークサポーターの構成

企業の人事担当者6人・高等学校進路指導担当者2人・勤労者団体代表2人・須坂公共職業安定所1人・
須坂市生活就労支援センター1人 計12人

イ 第1回ゆめわーくサポートネットワーク会議

(ア) 期 日 10月5日

(イ) 参加者 12人

ウ 第2回ゆめわーくサポートネットワーク会議

(ア) 期 日 2月18日

(イ) 参加者 13人

(4) 須坂職業安定協会理事会・第56回定期総会

期 日 5月16日

(5) 新規高等学校卒業者就職対策連絡会議

期 日 6月26日

(6) 雇用促進・早期就労支援事業「求職者向けセミナー」

ア 日 時 6月1日 午後2時～午後4時

イ 参加者 24人

ウ 内 容

(ア) 現在の求人の状況と、就職に向けた心がまえ 講師 須坂職業安定所職員

(イ) 職場での人間関係の築き方 講師 キャリア&ライフ代表 小野幸子 氏

(7) 須坂市生活就労支援センターまいさぽ須坂支援調整会議への参加

期 日 4月19日・8月9日・10月18日・12月20日・2月21日 計5回

(8) 職業紹介責任者講習

ア 日 時 5月8日 午前9時30分～午後5時

イ 内 容 民営職業紹介事業制度の概要、職業安定法及び関係法令等の須坂市就業支援センターを運営する上で必要な知識に関する研修

2 企業ガイドブックの作成

新規学卒者の市内企業への就職促進を図るため、企業ガイドブック「2020 企業ガイドながのー北信版ー」を作成し、市内及び近隣の高等学校、県内の大学・短大・専門学校、長野県東京事務所内「I ターン相談室」等へ配布した。

作成部数 3,200部

3 求人情報の提供

須坂公共職業安定所、須坂市就業支援センター発行の「求人情報」を市役所等に掲示し、市民に情報提供した。

(1) 掲示場所 市民ホール、就業支援センター情報コーナー、技術情報センター、中央公民館、第1勤労者研修センター、勤労青少年ホーム創造の家、須坂市ホームページ

(2) 提供枚数 7,400枚（内訳 須坂分3,050枚 長野分3,050枚 就業支援センター分1,300枚）

4 就職情報サイト「おしごとながの」の運営

長野市を中心とする連携中枢都市圏構想に係る連携協約に基づき、運営する就職情報サイト「おしごとながの」で企業・求人情報など情報発信し、市内企業への就職促進を図った。

登録企業 20 社

5 長野地域U J I ターン就職促進事業

長野地域連携中枢都市圏9市町村が連携し、地域企業の魅力と長野地域で働く魅力を発信し東京圏からU J I ターン就職、長野地域への移住・定住を目的に各種イベントを行った。

(1) インターンシップ合同説明会①

ア 期 日 6月23日

イ 場 所 新宿センタービル（東京都）

ウ 参加者 企業14社（うち市内1社）、学生25名（大学1年～3年生）

(2) インターンシップ合同説明会②

ア 期 日 11月10日

イ 場 所 新宿センタービル（東京都）

ウ 参加者 企業25社（うち市内1社）学生37名（大学1年～3年生）

(3) 長野地域合同就職説明会

ア 期 日 3月13日

イ 場 所 新宿NSビル（東京都）

ウ 参加者 企業48社（うち市内2社）、学生71名（令和2年3月卒業見込者）

6 障害者雇用促進奨励金

障がい者の雇用を促進するため、障がい者を常用労働者として新たに雇用した事業所に対し、奨励金の交付を行い支援した。

交付対象者	交付状況
市内に事業所を有する事業主であって、市内に居住する障がい者を公共職業安定所の紹介により常用労働者として雇用し、6月以上継続して雇用した者（1人につき1回限り 20,000 円限度）	2事業所（6人）120,000 円

■ 産業人材育成事業

単位：円

当初 予算額	4,498,000	予算 現額	4,495,000	決算額	2,809,664	前年度 決算対比	79.7%	前年度 決算額	3,524,870
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

次世代のものづくり産業を支える人材育成を行うために、各種講座の開催及び補助金等の支援を行う。

II 事業の成果等

産業人材の育成では、須坂地域ものづくり人材育成ネットワーク講座検討委員からニーズをお聞きし、好評の技術者・技能者向け機械加工講座などを継続開催するとともに、品質管理初級講座など要望の多い講座を開催した。

小中学生がものづくりに興味を持つきっかけとし、また市内企業がもつ技術に触れてもらうため、夏休みものづくり体験講座を開催した。

Ⅲ 事業の実績

1 産業人材育成のための市独自講座の開催

(1) 実践ムダ取り講座

ア 期 日 5月30日
イ 対 象 経営者、管理監督者、改善リーダー等
ウ 参加者 30人
エ 共 催 須坂地域ものづくり人材育成ネットワーク
オ 会 場 (株)ショーシン

(2) 品質管理入門講座

ア 期 日 7月12日・20日
イ 対 象 新入社員、新任管理者及び監督者等
ウ 参加者 19人
エ 共 催 須坂地域ものづくり人材育成ネットワーク
オ 会 場 シルキー第2ホール

(3) 夏休みものづくり体験講座① 小型モーター組立講座

ア 期 日 8月1日
イ 対 象 小学校4～6年生、中学生
ウ 参加者 15人
エ 共 催 須坂経営革新塾
オ 会 場 シルキー第2ホール

(4) 夏休みものづくり体験講座② マイクロビットを使ったプログラミング講座

ア 期 日 8月7日
イ 対 象 小学校5～6年生、中学生
ウ 参加者 6人
エ 共 催 長野工業高等専門学校
オ 会 場 シルキー第2ホール

(5) 技能検定機械保全機械系1級・2級受験準備講習会

ア 期 日 10月9日・10日・11日・12日
イ 対 象 機械保全機械系保全1級・2級受験予定者
ウ 参加者 16人
エ 共 催 須坂地域ものづくり人材育成ネットワーク
オ 会 場 ポリテクセンター長野

(6) 技能検定機械検査2級受験準備講習会

ア 期 日 11月19日・20日・21日
イ 対 象 機械検査2級受験予定者
ウ 参加者 2人
エ 共 催 須坂地域ものづくり人材育成ネットワーク
オ 会 場 ポリテクセンター長野

(7) NC工作機械（マシニングセンタ・NC旋盤）の基礎講座

ア 期 日 2月6日
イ 対 象 機械加工関係者
ウ 参加者 24人
エ 共 催 須坂地域ものづくり人材育成ネットワーク
オ 会 場 シルキー第2ホール

(8) 会社の環境活動セミナー

ア 期 日 3月13日
イ 対 象 企業の環境担当者等
ウ 参加者 23人
エ 共 催 長野県産業環境保全協会
オ 会 場 シルキー第2ホール

2 次世代産業人材育成支援事業補助金の状況

次世代の科学やものづくりを支える創造性豊かな子どもや学生を育成するため、「次世代産業人材育成支援事業補助金」を交付した。

平成30年度		平成29年度		前年度対比(%)	
件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数	金額
1	200,000	1	200,000	100.0	100.0

3 人材能力開発事業補助金の状況

中小企業事業所が自ら又はその従業員の能力開発のため、「人材能力開発事業補助金」を交付した。

平成30年度		平成29年度		前年度対比(%)	
件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数	金額
2	46,000	1	15,000	200.0	306.7

5-1-3 (目) 技術情報センター費

単位：円

当初予算額	14,833,000	予算現額	14,833,000	決算額	14,766,920	前年度決算対比	98.9%	前年度決算額	14,935,540
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	-------	--------	------------

■ 技術情報センター管理運営事業

単位：円

当初予算額	14,833,000	予算現額	14,833,000	決算額	14,766,920	前年度決算対比	98.9%	前年度決算額	14,935,540
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	-------	--------	------------

I 事業の目的

市民のITスキルアップと企業ニーズに対応した人材育成を図る。

II 事業の成果等

産業支援、人材の育成、行政情報の受発信の機能を有する場として定着している。また、管理運営は、平成27年度から、指定管理者 特定非営利活動法人 信州SOHO支援協議会により適正な管理を行っている。須坂市技術情報センターを中心に開催する情報フェスタにより、施設の周知を行い利用拡大を図った。

III 事業の実績

1 技術情報センターの管理

(1) 指定管理に係る事務

ア 管理運営に関する基本協定締結 平成27年4月1日
指定管理者 特定非営利活動法人 信州SOHO支援協議会
指定の期間 平成27年4月1日～令和2年3月31日
イ 管理運営に関する年度協定締結 4月1日
管理経費 12,500,000円

(2) 施設内機器等更新

ア PC等更新 5年の長期継続契約

契約期間 平成27年8月1日～令和2年7月31日

5年間の総額 8,631,360円 うち平成30年度支出分 1,726,272円

イ プロジェクト等更新 5年の長期継続契約

契約期間 平成27年10月1日～令和2年9月30日

5年間の総額 1,532,520円 うち平成30年度支出分 306,504円

2 施設の使用状況

(1) 使用状況

(学習コーナー使用件数・使用人員を含む)

区 分	平成30年度	平成29年度	前年度対比 (%)
使用日数 (日)	292	296	98.6
使用件数 (件)	1,306	1,347	96.7
使用人員 (人)	8,843	9,141	96.7
使用料金 (円)	1,259,830	1,275,930	98.7

(2) 使用区分別件数

区 分	平成30年度 (件)	平成29年度 (件)	前年度対比 (%)
午 前	450	400	112.5
午 後	610	753	81.0
夜 間	246	194	126.8

3 施設の修繕等

自動ドア修繕(9月)

234,144円

5-1-4 (目) 勤労青少年ホーム創造の家費

単位: 円

当初 予算額	11,554,000	予算 現額	11,783,000	決算額	11,775,176	前年度 決算対比	102.2%	前年度 決算額	11,524,000
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 創造の家管理事業

単位: 円

当初 予算額	11,554,000	予算 現額	11,783,000	決算額	11,775,176	前年度 決算対比	102.2%	前年度 決算額	11,524,000
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

勤労青少年および市民の学習、交流、余暇活動の場を提供することにより、市民福祉の増進を図る。

II 事業の成果等

指定管理者による適切な維持管理を行い、市民福祉の増進、施設機能の維持向上が図れた。

III 事業の実績

1 須坂市勤労青少年ホーム創造の家の管理運営

(1) 指定管理者の状況

指定管理者 (一社)須坂市体育協会

指定の期間 平成27年4月1日～令和2年3月31日

指定管理委託料 11,300,000円

(2) 管理の状況

年度 内容	平成 30 年度	平成 29 年度	対前年比(%)
利用者延べ人数	10,423 人	9,719 人	107.2
利用料収入	519,640 円	434,000 円	119.7

(3) 備品購入

会議用テーブル4台 163,296 円

(4) 修繕関係

ア 創造の家調理室テーブル修繕 52,920 円

イ 消防設備修繕 228,960 円

(5) 登録団体 21 団体（有料団体 14、無料団体 7）

款 6 農林水産業費

(款6) 農林水産業費

単位：円

当 初 予算額	616,625,000	予算 現額	605,832,000	決算額	561,614,914	前 年 度 決算対比	105.6%	前年度 決算額	531,803,806
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	--------	------------	-------------

6-1-1 (目) 農業委員会費

単位：円

当 初 予算額	40,139,000	予算 現額	40,479,000	決算額	40,280,991	前 年 度 決算対比	104.8%	前年度 決算額	38,429,326
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当 初 予算額	1,935,000	予算 現額	1,862,000	決算額	1,795,234	前 年 度 決算対比	110.0%	前年度 決算額	1,631,438
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

耕作者の地位の安定と農業生産力の増進及び農業経営の合理化を図る。

II 事業の成果等

農業生産の基盤となる優良農地を守り有効利用するため、農地の権利移動についての許認可や農地転用事務、農業者年金事務等を実施し、耕作者の地位の安定と農業生産力の増進が図られた。

III 事業の実績

1 農業委員会法令業務の所管事務を実施した。

(1) 農地法関係（議決件数）

期別 法根拠	4月～6月 (件) (㎡)	7月～9月 (件) (㎡)	10月～12月 (件) (㎡)	1月～3月 (件) (㎡)	計 (件) (㎡)
法第3条第1項 (所有権移転)	2 1,919.00	6 8,292.00	11 41,063.14	10 14,018.00	29 65,292.14
法第3条第1項 (賃借権・使用貸借権)	0 0	1 11,319.00	2 31,374.00	1 1,796.00	4 44,489.00
法第4条第1項 (転用許可)	3 259.88	3 741.24	0 0	0 0	6 1,001.12
法第4条第1項第7号 (転用届出)	1 891.76	0 0	3 1,459.58	1 637	5 2,988.34
法第5条第1項 (権利移転を伴う転用許可)	4 1,894.00	5 7,288.54	3 974	11 3,773.00	23 13,929.54
法第5条第1項第6号 (権利移転を伴う転用届出)	8 4,335.00	8 2,786.00	8 2,540.00	4 1,077.00	28 10,738.00
則第17条第2項(宅地隣接農地 の下限面積引き下げの申請)	0 0	1 636.14	1 772.00	1 231.00	3 1,639.14
合 計	18 9,299.64	24 31,062.92	28 78,182.72	28 21,532.00	98 140,077.28

(2) 農地法第3条第2項第5号の規定による下限面積の設定

農地法施行規則第17条第1項の規定による別段の面積

地区名 (旧町村単位)	別段の面積	備 考
須 坂 地 区	4 0 アール	農地法施行規則第17条第2項の規定による別段面積の設定区域を除く
井 上 地 区	4 0 アール	
豊 洲 地 区	5 0 アール	
日 野 地 区	4 0 アール	
高 甫 地 区	5 0 アール	
仁 礼 地 区	3 0 アール	
豊 丘 地 区	3 0 アール	

農地法施行規則第17条第2項の規定による別段の面積

設定区域	別段の面積	備 考
大字相之島、大字村山、大字福島地籍の農地のうち千曲川堤外地の農地	1 0 アール	平成31年3月29日告示

2 各種証明書等交付状況

証 明 の 内 容	件 数	左のうち手数料を徴収したもの	
		件 数	金 額 (円)
耕 作 証 明	29	25	7,500
現況・転用確認証明	9	0	0
許可の証明	2	1	300
農業者年金現況証明	63	0	0
引き続き農業経営を行っている等の証明	4	4	1,200
そ の 他 証 明	16	16	4,800
計	123	46	13,800

3 国有農地維持管理事務 58 筆 40,962 m²

4 農業者年金事務 加入者数 34 人
 年金受給者数 174 人
 内訳 経営移譲年金受給者 63 人
 老齢年金受給者 111 人
 現況届取扱件数 63 件 (経営移譲年金受給者)

5 農地等相談 農地等相談 随時

6 農地パトロールの実施
 市域を6ブロックに分けて、9～10月に農地パトロール(農地利用状況調査)を実施した。

7 (公財)長野県農業開発公社による農地売買支援事業
 個人から長野県農業開発公社が取得 4 件 6,385 m²
 長野県農業開発公社が個人へ売却 3 件 7,954 m²

8 農業委員会だよりの発行 第77号、第78号 発行部数各5,000部

■ 農業委員会運営費

単位：円

当初 予算額	2,621,000	予算 現額	1,828,000	決算額	1,719,217	前年度 決算対比	85.1%	前年度 決算額	2,020,597
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

農業委員会活動の円滑な運営と体制の整備を図り、地域農業の振興に努める。

II 事業の成果等

- 1 耕作者の地位の安定と農業生産力の増進等を目的に農業委員会の運営を行い、農業振興に努めた。
- 2 各種研修会等に参加し、知識を深めた。
- 3 姉妹都市での農産物直売を実施し、須坂市農産物のPRと交流を図った。
- 4 「農業施策に関する意見書」を市に提出した。

III 事業の実績

- 1 農地法等の所管事務について、毎月1回総会を開催し審議した。
- 2 農業委員会の当面する課題や活動方針等について、毎月1回協議会を開催し、検討・協議を行った。
- 3 「平成30年度須坂市農業施策に関する意見書」を市に提出した。(10月30日)
また、「平成30年度須坂市農業施策に関する要望書」をながの農業協同組合に提出した。(11月20日)
- 4 9月4日未明の台風21号の強風により発生した果実の落下や樹体損傷等の被害に対する復旧及び支援を要請するため「台風21号に伴う風害に関する要望書」を市に提出した。(9月11日)

5 委員研修事業等

(1) 視察研修の実施

4月 16日	伊那バス(株)アグリ事業部、JA松本ハイランド今井地区、JAながの中部営農センター	参加委員 19人
1月 24日 ～25日	神奈川県農業技術センター、東京都中央卸売市場、山梨県(株)植原葡萄研究所	参加委員 13人

(2) 委員研修等の実施

6月 13日	県農業委員会女性協議会(岡谷市)	女性委員 2人
7月 23日	農地利用最適化推進研修会(長野市)	参加委員 16人
8月 7日	県果樹試験場研修視察(市内)	農振対策部会員ほか 14人
8月 29日	北信五市農業委員研修会(中野市)	農業委員 11人
8月 30日	農業者年金学習会(市内)	参加委員 21人
9月 18日	後継者対策部会視察研修(高山村・小布施町)	後継者対策部会員ほか 18人
11月 1日	須高地区農業委員会協議会役職員研修会(小布施町)	会長・代理・部会長 6人
11月 5日	第3回長野県農業委員会大会(松本市)	参加委員 15人
12月 18日	長野県農村女性フェスティバル(長野市)	女性委員 2人

2月	1日	須高地区農業委員会協議会女性委員研修会（長野市）	会長・女性委員 2人
2月	1日	長野県農業委員会女性協議会研修会（長野市）	〃
2月	6日	遊休農地活用シンポジウム（長野市）	参加委員 18人
2月	22日	須高地区農業委員会協議会総会・全員研修会（小布施町）	参加委員 19人

6 部会等の活動状況

農業振興対策部会、農地対策部会、農業後継者対策部会、情報・研修委員会の各部会・委員会において随時、所管する課題の調査・研究を行った。

(1) 部会等の事業

ア 農業振興対策部会

5月	15日	意見書等の回答に対する対応について
8月	31日	市等への要望事項について
9月	10日	意見書の内容について
3月	15日	意見書の回答に対する対応について

イ 農地対策部会

5月	31日	意見書等の回答に対する対応について
8月	31日	要望書について・三浦市農産物直売について
9月	18日	三浦市農産物直売について
12月	13日	三浦市農産物直売の清算について

ウ 農業後継者対策部会

5月	31日	意見書等の回答に対する対応について
8月	31日	市等への要望事項について
9月	18日	意見書策定について
2月	27日	きじまるクラブとの意見交換会について

エ 情報・研修委員会

年2回発行する「農業委員会だより」の編集会議を随時開催
第77号発行（5月1日）、第78号発行（12月1日）

オ 意見書策定検討委員会

10月	4日	意見書（案）の検討について
10月	22日	意見書（案）の調整について

7 農作業標準労賃等協定会議

3月27日 平成31年度の農作業標準労賃・機械作業標準料金を決定した。（委員13人）

8 姉妹都市との交流

(1) 農産物直売の実施

姉妹都市との交流及び須坂市農産物のPRと販売を実施した。

10月27日（土）・28日（日） 三浦市（三崎港町まつり）

農地対策部会委員ほか 13人参加

9 その他

(1) 遊休農地解消モデル園設置

ブロックごとに遊休農地を選定し、作付けを行った。

ブロック	面積（㎡）	内 容	参 画 団 体
日 野	991	村山早生ごぼう、沼目白うり、ジャガイモ、ミニトマト、綿花	農業委員2名、推進委員1名、日野小学校3年生36名、1年生45名
井 上	1,000	もち米	農業委員1名、推進委員1名、地域住民16名、井上小5年生35名

ブロック	面積 (㎡)	内 容	参 画 団 体
高 甫	1,000	大豆	農業委員 2 名、推進委員 1 名、地域住民 6 名
東	7,000	野沢菜の花、マリーゴールド	農業委員 2 名、地域住民 5 名
合 計	9,991		参加人数 153 名

(2) 遊休農地所有者への利用意向調査の実施

農地利用状況調査により新規に遊休農地と判定された農地について、今後の農地の利用方法について利用意向調査を行った。対象地 144 筆、対象者 94 名。

(3) 平成 30 年に締結された市内の農地の賃借料情報等を公表した。

6-1-2 (目) 農業総務費

単位：円

当 初 予算額	223,382,000	予算 現額	210,229,000	決算額	208,823,026	前 年 度 決算対比	95.3%	前年度 決算額	219,086,490
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	-------	------------	-------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当 初 予算額	14,276,000	予算 現額	11,848,000	決算額	11,214,655	前 年 度 決算対比	111.8%	前年度 決算額	10,027,723
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

農業行政全般の一般管理を行うとともに、農業関係団体との連絡調整及び負担金・補助金を交付し各種団体の育成と支援を図る。

また、総合的に農業の振興を図ることが必要と認められる地域の土地利用について、農業振興地域整備計画により農業の健全な発展を図るとともに、国土資源の合理的な利用に寄与する。

II 事業の成果等

1 農業関係団体の育成と支援をするとともに、農業振興地域整備促進協議会を開催して、農振除外など重要事項の調査協議を行った。

2 農業振興地域の整備に関する法律に基づく総合見直しを行うため、業務委託により実施した。

当初、平成 30 年までに事業完了する予定であったが、インター周辺開発に係る除外を優先するため、事業完了を 2 年延長した。(令和 2 年度までの継続事業)

3 農業用水の安定的な確保に対する補助金及び農家組合交付金を交付した。

III 事業の実績

1 農業振興地域整備促進協議会の開催

区分	開催日	出席委員数	審 議 件 数 (件)	
			編 入	農振除外
第 1 回	30. 4. 26	9 人	0	1
第 2 回	30. 11. 1	9 人	0	1

2 農振除外面積等

申請 締切日	公 告 年月日	区 分	面 積(㎡)	内 訳	
				田 (㎡)	畑 (㎡)
30. 2. 20	30. 7. 27	農 振 除 外	(1) 272. 00	(1) 272. 00	—
随時	30. 8. 10	用途区分変更	(1) 4, 041. 00	—	(1) 4, 041. 00
	30. 9. 6		(1) 402. 24	(1) 402. 24	—
	30. 11. 29		(1) 88. 00	—	(1) 88. 00
計		編 入	—	—	—
		用途区分変更	(3) 4, 531. 24	(1) 402. 24	(2) 4, 129. 00
		農 振 除 外	(1) 272. 00	(1) 272. 00	—

※ () 内件数

3 補助金及び交付金

- (1) 田の神農用地水利整備組合補助金 668, 000 円
 (2) 農家組合交付金 236, 200 円

4 その他

- (1) 「凍霜害に関する農作物の管理」チラシの発行 2, 800 枚 52, 920 円
 (2) 農業振興地域整備計画総合見直し業務委託 30 年度分 5, 997, 600 円 (出来形 95. 3%)
 委託先 (株)パスコ長野支店

■ 農業制度資金金融対策事業

単位：円

当 初 予算額	1,733,000	予算 現額	1,114,000	決算額	944,544	前 年 度 決算対比	81.5%	前年度 決算額	1,159,146
------------	-----------	----------	-----------	-----	---------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

農業制度資金の融資を受けた農業者に対し、借入金の金利助成を行うことにより利子負担を軽減し、農業経営の健全化を図る。

II 事業の成果等

一般金融に比べ、低利かつ償還期限が長期に設定されているため、積極的な農業経営者の利用を促すとともに、金利負担を軽減した。

III 事業の実績

1 新規承認融資

資 金 名	件数	融資額 (円)	利子補給開始年度
農業近代化資金	2	15, 200, 000	平成 30 年度

2 利子補給金

資 金 名	件数	期末借入残高 (円)	利子補給金額 (円)
農業近代化資金	9	32, 973, 000	53, 886
認定農業者機械化資金	13	9, 269, 145	301, 118
農業経営基盤強化資金	20	553, 841, 000	539, 875
平成 25 年凍霜害及び冠水被害対策資金	3	0	3, 974
平成 26 年雪害対策資金	5	2, 356, 311	45, 691
計	50	598, 439, 456	944, 544

※平成 25 年凍霜害及び冠水被害対策資金利子補給金の内訳

平成 25 年凍霜害対策資金 件数 1 件 残高 0 円 利子補給金額 1, 939 円
 平成 25 年冠水被害対策資金 件数 2 件 残高 0 円 利子補給金額 2, 035 円

■ 中山間施設管理事業

単位：円

当初 予算額	2,546,000	予算 現額	2,546,000	決算額	2,518,064	前年度 決算対比	119.9%	前年度 決算額	2,100,777
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

東地域において、「中山間地域総合整備事業」で整備された各施設を適正に管理することにより、農業者・地域住民の健康増進と憩いの場として有効活用し、農業・農村の活性化を図る。

II 事業の成果等

各中山間施設の管理運営を指定管理者に委託し、施設を健全に運営した。

III 事業の実績

1 豊丘活性化施設の指定管理の状況

(1) 指定管理者 豊丘地域づくり推進委員会

指定の期間 平成27年4月1日～令和2年3月31日

管理経費 1,100,000円（平成30年度分）

(2) 豊丘活性化施設の利用状況

施設名	延べ利用回数（回）	延べ利用人数（人）
多目的ホール	690	5,655
会議室	30	922
農産物加工室	71	536
計	791	7,113

2 塩野ふれあい広場の指定管理の状況

(1) 指定管理者 塩野町区

指定の期間 平成27年4月1日～令和2年3月31日

管理経費 159,000円（平成30年度分）

(2) 塩野ふれあい広場の利用状況

施設名	延べ利用回数（回）	延べ利用人数（人）
ソフトボール場	58	1,090
ゲートボール場	0	0
計	58	1,090

3 米子農村公園の指定管理の状況

(1) 指定管理者 米子区

指定の期間 平成27年4月1日～令和2年3月31日

管理経費 180,000円（平成30年度分）

(2) 米子農村公園の利用状況

施設名	延べ利用団体数（団体）	延べ利用日数（日）
乾燥室	2	4

4 中山間施設整備作業委託

(1) 委託先 豊丘上町区

(2) 委託内容 離山展望施設の草刈り、枝おろし、落石除去等の作業

(3) 委託料 85,000円

5 施設の修繕等

(1) 米子農村公園乾燥室修繕工事	462,240 円
(2) 米子農村公園電気設備修繕工事	340,000 円
(3) 豊丘活性化施設冷凍庫入替え	70,000 円

■ 農業施設整備事業

単位：円

当初 予算額	1,800,000	予算 現額	3,090,000	決算額	2,609,064	前年度 決算対比	32.6%	前年度 決算額	7,992,000
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

農業施設を適切に維持管理することで、農業振興に資する。

II 事業の成果等

田の神揚水施設の修繕工事を行い、施設の適正な維持管理が図られた。

III 事業の実績

1 農用地水利整備

(1) 田の神揚水機場電線配線修繕	125,064 円
(2) 田の神農用揚水施設第2機場緊急修繕工事	1,296,000 円
(3) 田の神中央機場送水管修繕工事	1,188,000 円

■ 農業集落排水事業

単位：円

当初 予算額	110,000,000	予算 現額	110,000,000	決算額	110,000,000	前年度 決算対比	102.8%	前年度 決算額	107,000,000
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

下水道事業会計における処理施設の維持管理経費の不足分を負担することにより、同会計の健全性を確保し、処理施設の適切な維持管理に資する。

II 事業の成果等

下水道事業会計の健全な運営のため、補助金を支出した。

III 事業の実績

下水道事業会計補助金 110,000,000 円

6-1-3 (目) 農業振興費

単位：円

当初 予算額	145,057,000	予算 現額	163,819,000	決算額	135,402,131	前年度 決算対比	89.7%	前年度 決算額	150,879,207
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 農業振興対策事業

単位：円

当初 予算額	48,031,000	予算 現額	56,480,000	決算額	56,250,050	前年度 決算対比	119.4%	前年度 決算額	47,091,304
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

各種農業振興事業を実施し、農業の維持発展を図る。

II 事業の成果等

- 1 地域住民の活動を支援するため、補助金交付等を実施した。
- 2 農業関係機関等と連携する中で、新たな担い手の確保等の事業を推進することができた。

III 事業の実績

1 アレチウリ撲滅作戦

外来植物のアレチウリによる農作物の被害防止や、在来植物などの自然環境保護のため、地域自治会、庁内関係課と連携し駆除作業を実施した。

農林課 日野地区担当 村山地籍の千曲川河川敷 6月24日実施 参加者数 32人

2 そば収穫用コンバイン及びそば製粉機の貸付

地域農業の振興及び遊休農地の解消を図るため、須坂市農業再生協議会へそば収穫用コンバイン及びそば製粉機を貸し付けた。

そば収穫用コンバイン 利用者8人

そば製粉機 利用者5人

3 幹線水路の維持管理補助金

事業主体	事業内容	事業費(円)	補助金(円)
河東土地改良区	水田排水特別事業	4,116,840	1,800,000

4 農業用水確保事業補助金

農業用水を安定的に確保するため、深井戸及び施設の修繕工事費に対し補助金を交付した。

事業主体	事業内容	事業費(円)	補助金(円)
米持畑地灌水組合	送水管更新	792,720	237,000
塩野町区	減圧弁装置更新	2,008,800	360,000

5 多面的機能支払交付金

農業・農村がもつ多面的な機能を維持保全するための活動に対し交付金を交付した。

No.	活動組織名	対象農地 (田) ha	対象農地 (畑) ha	農地維持 円	資源向上(共同 活動) 円	資源向上(長 寿命化) 円	交付金合計 円
1	中堰地区農地・水・ 環境保全組合	9.55	17.86	643,700	364,788	684,380	1,692,868
2	村山共有地活動組 織	—	47.80	956,000	688,320	—	1,644,320
3	井上農地保全会	8.43	3.33	91,500	52,920	61,560	205,980
4	ふるさと本郷水と 緑を守る会	4.39	39.73	926,300	508,104	881,960	2,316,364
5	仁礼町区地域資源 保全会	27.72	38.79	1,607,400	917,892	1,751,580	4,276,872
6	米子町地域資源保 全会	16.73	12.18	745,500	432,684	854,980	2,033,164
7	豊丘水とみどりの 会	10.92	62.73	1,578,000	—	—	1,578,000
8	坂田町地域資源保 全会	6.13	16.15	506,900	284,760	523,640	1,315,300

No.	活動組織名	対象農地 (田) ha	対象農地 (畑) ha	農地維持 円	資源向上 (共同 活動) 円	資源向上 (長 寿命化) 円	交付金合計 円
9	塩野町地域資源保 全会	21.29	18.64	1,011,500	584,532	1,144,540	2,740,572
10	塩川町の豊かな地 域資源を守る会	12.89	24.91	884,900	668,064	—	1,552,964
11	大谷地区水と緑を 守る会	4.11	3.35	190,300	146,880	—	337,180
12	亀倉町資源保全会	2.06	10.79	277,600	204,816	—	482,416
13	日滝原水土里の会	—	392.54	7,850,800	—	7,065,720	14,916,520
14	河東水土里の会	75.23	210.11	6,459,100	—	5,348,900	11,808,000
	計	199.45	898.91	23,729,500	4,853,760	18,317,260	46,900,520

6 環境保全型農業直接支払交付金

自然環境の保全に資する農業生産活動の実施に伴う追加的コストを支援した。

2団体 事業費 368,000 円 交付金 368,000 円 (国、県交付金含む)

7 果樹共済促進事業補助金

農家の果樹共済掛金の負担を軽減し、農家の経営安定に寄与した。

掛金の 20% 事業費 9,215,320 円 補助金 1,842,906 円

8 人・農地プランの推進

平成 24 年度に策定した人・農地プランを変更した。

3 月 19 日 須坂・豊洲・日野・井上・高甫地区のプランを更新 (新たな中心となる担い手の追加)

3 月 19 日 仁礼・豊丘地区のプランを更新 (新たな中心となる担い手の追加)

9 須高農業振興会議

須高地区 3 市町村、ながの農業協同組合、長野農業改良普及センター等と協力し、担い手の確保のため、就農相談会への参加、里親農業者の研修会及び意見交換会などを実施した。

(1) 就農相談会 6 月 9 日、6 月 23 日、7 月 22 日、9 月 15 日、10 月 13 日、11 月 17 日、12 月 23 日、
1 月 26 日 計 8 回 東京都等で開催された就農相談会に参加した。

(2) 就農体験 7 月 28 日～29 日に就農体験を計画したが、台風のため中止となった。

(3) 研修会 2 月 6 日 里親農業者の研修会及び意見交換会

10 須坂市農業再生協議会

米の生産目安値の広報、経営所得安定対策の推進、耕作放棄地解消の推進等を行うために、農業者へ広報、交付金の事務、そば収穫用コンバインの管理などを実施した。

11 長野地域連携推進協議会

(1) 耕作放棄地等の資源作物(ソルガム)活用調査事業 研修会への参加

(2) 地場産品直売所活用事業 スタンプラリー「おいしい ながの ガイドブック」1,000 部作成

(3) 農業イベント開催事業 10 月 20 日 2018 長野市農業フェア in 桜スクエアで農産物販売
出店者：きじまるクラブ、村山早生ごぼう生産組合

(4) 地域農産物販路拡大事業 9 月 29 日 おいでよ信州キャンペーン in 金沢市近江町市場
(観光部署と合同プロモーション) りんご、ぶどう、村山早生牛蒡の販売

12 災害対策

台風 21 号（9 月 4 日）の強風により、果樹の枝折れや倒伏、果実の枝ずれ等の被害があったため、ながの農業協同組合と連携を図り、被災農家への支援を行った。

(1) 風害対策改植等苗木補助金

ア 内容 果樹の改植もしくは補植をするための苗代の補助（補助率 2 分の 1 以内）

イ 農家数 81 戸

ウ 苗数 771 本

エ 事業費 1,401,096 円

オ 補助額 696,800 円

(2) 台風被害果樹販売促進業務委託

ア 委託先 J Aながの須高営農センター

イ 業務内容 被災りんごの販売

ウ 委託料 486,000 円

エ 販売日及び場所

(ア) 11 月 3 日 嬬恋村文化祭（群馬県）

(イ) 11 月 16 日～17 日 全国発酵サミット（長野市）

(ウ) 11 月 8 日 J Aながのふじ祭り（須坂市）

(エ) 11 月 19 日 長野県庁、長野合同庁舎

(オ) 11 月 23 日 湯ったり苑（新潟市）

(カ) 11 月 25 日 NPO 法人笑顔の里（新潟県魚沼市）

(キ) 12 月 8 日～9 日 うらりマルシェ前（神奈川県三浦市）

(ク) 12 月 14 日 銀座NAGANO（東京都）

13 農地荒廃化防止事業補助金

農地の荒廃化の防止を推進し、農業振興を図るため、市が定める作物を栽培し、販売する農業者に補助金を交付した。

(1) そば栽培（1 kg あたり 200 円） 2 件 80,700 円

(2) めん羊の飼育（防疫費の 2 分の 1） 1 件 10,800 円

14 水産多面的機能発揮対策交付金

漁業者等が行う水産業・漁村のもつ多面的機能発揮に資する活動に対し交付金を交付した。

千曲川の自然を守る会活動組織 事業費 28,325 円 交付金 8,498 円

15 果樹セミナー

国の地方創生推進交付金を活用し、モモの担い手の育成を図るため栽培講習会を開催した。

参加者 26 名 年間 4 回開催 委託先 J Aながの須高営農センター 委託料 460,598 円

■ 鳥獣被害防止対策事業

単位：円

当初 予算額	20,080,000	予算 現額	20,083,000	決算額	15,575,377	前年度 決算対比	174.3%	前年度 決算額	8,933,403
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

有害鳥獣による農作物の被害を防止する。

II 事業の成果等

1 須坂市猟友会に委託し、有害鳥獣を駆除した。

2 下八町で、サル・イノシシ用電気柵の設置・更新を行い、被害の拡大を防止した。

Ⅲ 事業の実績

1 野ねずみ駆除

事業名	事業内容	事業費（円）
野ねずみ駆除対策事業	市内全域 メリーネコりん化亜鉛 475 kg	426,249

2 鳥獣被害防止対策事業

- (1) 委託先 須坂市猟友会
 (2) 委託内容 駆除出動、檻設置後の見回り等
 (3) 委託料 1,297,080 円
 (4) 有害鳥獣駆除実績

鳥類

(羽)

	カラス	スズメ	ムクドリ	ドバト	キジバト	ヒヨドリ	合計
30 年実績	17	0	2	0	0	0	19
29 年実績	54	0	0	0	0	0	54
増減	△37	0	2	0	0	0	△35

獣類

(頭)

	クマ	タヌキ	ハクビシ	キツネ	アナグマ	サル	イノシ	ニホンジカ	カモシカ	合計
30 年実績	5	61	39	47	16	20	96	28	5	317
29 年実績	2	28	34	15	6	17	48	13	5	168
増減	3	33	5	32	10	3	48	15	0	149

※報奨金 3,614,000 円

3 鳥獣被害防止総合対策事業

(1) 国庫補助事業

事業名	事業主体	事業内容	事業費（円）	事業費内訳（円）	
				国交付金額	市費
鳥獣被害防止緊急捕獲等対策交付金	須坂市	個体数調整 ニホンジカ 19 頭 イノシシ 45 頭 ニホンザル 8 頭 ハクビシ 22 頭	1,550,000	534,000	1,016,000

(2) 市単独事業

事業名	事業実施地区等	事業内容	事業費（円）
鳥獣被害防止対策事業	下八町	電気柵原材料	3,132,000
	豊丘上町	電気柵修繕工事	864,000
	大谷町	電気柵修繕工事	105,840
	市内一円	修繕用資材	2,231,851

(3) 市有害鳥獣駆除対策協議会事業

事業実施地区	事業内容	事業費（円）
下八町・亀倉町・豊丘上町	緩衝帯整備 下八町(0.35ha) 亀倉町・豊丘上町(倒木処理) 有害獣捕獲用くくりわな部品購入 捕獲檻購入（市民貸与用）	1,662,394

■ 農業後継者対策事業

単位：円

当初 予算額	59,834,000	予算 現額	52,689,000	決算額	47,794,261	前年度 決算対比	89.3%	前年度 決算額	53,535,880
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

農業の担い手となる後継者の育成を図る。

II 事業の成果等

- 1 農地バンク登録制度を活用し、農地を貸したい農家と借りたい農家のマッチングを図り、意欲的な農家に農地を集積した。
- 2 国の農業次世代人材投資事業と連動させた市の新規就農者支援制度により、農家の後継者を含めた新規就農者の技術習得等を支援した。
- 3 新規就農者の会「きじまるクラブ」の活動を支援するため、研修等を実施し須坂市内の農業研修生及び新規就農者の営農定着に努めた。

III 事業の実績

事業名	事業内容等	事業費等	備考
学校教育との連携事業	学校農園を設置し、農業の体験学習を行った。 9校 120.1a	76,213 円	土地借上料
農地下限面積緩和制度	制度を利用し利用権を設定した者(新規就農)	13 人	
農地バンク登録制度	平成 30 年度新規登録者数 契約数	117 人 29 人	
新規就農者支援事業	1 須坂市新規就農研修給付金（新規就農に向けて 研修を受けた者） 31 人 2 農業次世代人材投資資金（経営開始型）20 組 3 樹園地貸付事業補助金 3 人 0.92ha	5,460,000 円 36,000,000 円 5,313,000 円	
きじまるクラブの支援	1 研修会の実施 2 販路拡大の支援 イベントへの出店 3 会員数（平成 31 年 1 月現在）	7 回 2 回 26 人	
新規就農者用作業場の貸出	1 日滝地区新規就農者用作業場利用者数 2 井上地区新規就農者用作業場利用者数	4 人 2 人	

■ 農業経営基盤強化対策事業

単位：円

当初 予算額	2,057,000	予算 現額	18,371,000	決算額	2,284,737	前年度 決算対比	118.2%	前年度 決算額	1,932,658
-----------	-----------	----------	------------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

農業経営基盤強化促進法に基づく諸事業を行うことにより、農業経営の安定と経営基盤の強化を図る。

II 事業の成果等

- 1 農業関係機関と連携し、認定農業者制度を推進することで、担い手農家の育成が図られた。
- 2 利用権設定等促進事業等を行い、農地の流動化等を促進した。
- 3 須坂市農業サポートセンターで、農繁期における農作業の人手不足を補った。

Ⅲ 事業の実績

1 農業経営基盤強化促進対策事業

- (1) 認定農業者数 30 年度再認定者数 7 人 新規認定者数 12 人 現総数 127 人
 (2) 須坂市農業サポートセンター（無料職業紹介所）を運営した。
 登録サポーター数 51 人 延べ作業日数 1,623 日
 求人農家数 実数／33 戸 延べ／79 戸

2 利用権設定等促進事業

担い手への農用地の利用集積を図るため、農地の権利設定・移転を行った。

- (1) 利用権設定 新規 237 筆 186,857.73 m²
 再設定 161 筆 131,459.00 m²
 中間管理機構 97 筆 71,083.00 m²
 (2) 所有権移転 83 筆 58,676.00 m²

3 認定農業者支援対策事業

- (1) 「認定農業者の会」の活動を支援した。
 ア 総会及び講演会 4 月 26 日 参加人数 27 人
 (ア) 講演内容 「青果市場から見る消費者の動向について」
 (イ) 講 師 (株)長印 須坂青果市場 常務取締役 安部 泰生 氏

4 中間管理機構農地集積協力金交付事業

農地中間管理機構を通じて地域の中心となる担い手への農地集積及び集約を支援した。
 耕作者集積協力金交付 33 件 7.3ha 365,000 円

■ 遊休農地解消対策事業

単位：円

当初 予算額	8,798,000	予算 現額	8,798,000	決算額	6,381,724	前年度 決算対比	72.2%	前年度 決算額	8,843,624
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

遊休農地の解消並びに拡大防止を図る。

II 事業の成果等

遊休農地を今後継続して耕作できる農地にするための整備に要する経費について補助金を交付し、遊休農地を解消し、耕作できる農地へ復活させることができた。

Ⅲ 事業の実績

1 遊休農地解消対策事業

地区・場所	件数	面積 (m ²)	作付作物	補助金 (円)
須坂地区	0	0		0
日滝地区	0	0		0
豊洲地区	0	0		0
日野地区	2	1,775	タマネギ、枝豆、ネクタリン	142,000
井上地区	3	13,673.20	小麦、ぶどう、もも	1,067,500
高甫地区	1	859	ぶどう	68,000
東地区	2	4,932	アスパラガス、ぶどう	377,100
合計	8	21,239.20		1,654,600

※前年度継続事業分の面積は除く。

2 中山間地域直接支払事業

集 落 協 定 名	集落 協定 参加 人数	集落協定面積 (㎡)			交付金 (円)	
		急傾斜	緩傾斜	計	急傾斜	緩傾斜
仁礼 1/2	26	31,581	9,713	41,294	530,560	62,163
米子 2/3	18	37,414		37,414	628,555	
米子 3/3	19	51,839		51,839	870,895	
豊丘 1/3	9	16,309		16,309	342,489	
豊丘 2/3	17	31,253		31,253	525,050	
豊丘 3/3	19	64,789		64,789	1,088,455	
塩野 1/2	11	27,557		27,557	462,957	
合計	119	260,742	9,713	270,455	4,448,961	62,163
				総合計	4,511,124	

- 3 市民農園の整備及び管理のため、地域農政特別対策事業(市民農園整備)負担金を支出した。
200,000 円 設置 21 か所 353 区画 35,720 ㎡ 利用 220 区画 利用率 62.3%

■ 産地ブランド推進事業

単位：円

当 初 予算額	6,257,000	予算 現額	7,398,000	決算額	7,115,982	前 年 度 決算対比	89.2%	前年度 決算額	7,975,338
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

- 1 安全・安心を基本に地産地消(賞)の推進を図り、果樹をはじめとする基幹作物の振興及び産地化を図る。
- 2 都市・農村交流を促進し、農業の魅力を伝えるとともに交流人口を増やし地域農業の活性化を図る。
- 3 女性が農業経営や農村での暮らし、地域社会で活躍するため、女性農業団体等を支援する。

II 事業の成果等

- 1 郷土食・伝統食の大切さや食の安全・安心をPRするため「うまいもん祭り」を開催した。また、園芸作物の振興を図るため園芸作物産地育成振興対策事業により、ぶどうやりんご等の果樹産地の育成に取り組んだ。
- 2 首都圏など県外でのPRイベントに参加することで、産地の認知度向上が図れた。
- 3 都市・農村交流では、須坂グリーンツーリズムや市観光協会等他団体との連携を図り、各種事業により、生産農家との交流を深めた。また、新たな取組みとして農泊事業を推進し、農業宿泊体験モニターツアーを実施するなど、交流人口増加に向け取り組んだ。

III 事業の実績

1 新農業創生活動支援

団体が行う新しい農業への挑戦を支援し、補助金を支出した。

活 動 団 体	活 動 内 容	補助金(円)	補 助 率
沼目越瓜の会 (県伝統野菜認定団体)	「沼目越瓜」加工品(粕漬け)のブランド化へ向けた取組みとして、全国発酵サミットへ出店し、PRをした。	100,000	10 分の 10 以内

活 動 団 体	活 動 内 容	補助金(円)	補 助 率
村山早生ごぼう生産組合（県伝統野菜認定団体）	「村山早生牛蒡」の安定・継続的な生産体制の構築を図るため、視察研修や販売イベントへ積極的に参加し、PRをした。	100,000	10 分の 10 以内
八町きゅうり研究会（県伝統野菜認定団体）	「八町きゅうり」の安定・継続的な生産体制の構築を図るため、視察研修や収量確保に向けた新たな研究を始めた。	100,000	

2 女性農業団体支援

- (1) J A女性部、農村生活マイスターなどの団体と連携し、各種イベントに参加をした。

ア 長野地域農村女性のつどい 8月17日
イ 長野県農村女性フェスティバル 12月18日

3 販路拡大

- (1) 県外イベント等への出展

観光と連携して産地をPRするため、各地のイベントに参加し須坂産農産物のPR活動を行った。

ア 塩竈みなと祭（宮城県）7月15日
イ みうら夜市（神奈川県）8月14日
ウ 軽トラはままつ出世市（静岡県）11月18日

- (2) 消費宣伝活動等への参加

須坂産農産物の販路拡大のため、販促会等へ参加しPR活動を行った。

ア 長野地域振興局「ながの果物語り」イベントでブルーンのPR（JR長野駅 9月22日）
イ J Aながの須高ブロックぶどう祭り2018（北部体育館9月24日）
ウ アグリ豊洲（信州豊洲連携協議会）産直市（東京都江東区 豊洲駅前 10月17日）
エ 全国発酵サミット in NAGANO（長野市ホクト文化ホール前 11月16～18日）

- (3) 広報活動

産地及び農産物を広報するため、ブログ「須坂発！おいしい農産物日記」、フェイスブック「信州須坂農ブランド」の活用をはじめ、マスコミへの情報提供による情報発信を行った。

4 園芸作物産地育成振興対策

事業名	事業主体	事業内容	補助金(円)	補助率
園芸作物産地育成振興対策事業	ながの農業協同組合	ぶどう（振興品種の苗木育成） ナガノパープル177本、シャインマスカット1,691本、ピオーネ30本、クインシーナ301本 計2,199本	1,500,000	2 分の 1 以内
		りんご（振興品種の苗木育成） 夏明300本、シナノリップ400本、シナノスイート91本、シナノホッペ182本、三島系ふじ568本 計1,541本		
		ブルーン（高品質の振興品種の種苗木育成） アーリーリバー50本、サンタス45本、トレジディー31本、くらしま早生333本、スコウブルー180本、グランドブライズ70本、シュガー66本、サマーキュート239本、オータムキュート81本 計1,095本		

5 地産地消(賞)の推進

(1) 学校給食・保育園給食への地元農産物の供給支援

ア 関係者調整会議

J Aながの及び学校給食センターと学校給食における地場産物の使用率向上に向けた調整会議を実施した。(2回)

イ 保育園給食地域食材の日

教育委員会と連携し、市立保育園(10園)での給食について、須坂産野菜を使用した「地域食材の日」を年2回(夏・秋)開催し、安全・安心で新鮮な地元農産物を供給することで、地産地消(賞)を推進した。

「すざか さんさん給食DAY」 8月 (各園ごと対応)

「すざか もりもり給食DAY」 11月 (各園ごと対応)

6 郷土食・伝統食のPR

(1) 郷土食・伝統食の大切さ及び食の安全・安心をPRするため、地元農業女性団体が中心となりイベントを開催した。

ア 第15回うまいもん祭り 11月3日

会場 旧小田切家住宅 来場者数 約2,700人

内容 海苔巻づくり体験、フルーツデザインカッティング教室、各種団体による出展のほか「にらせんべい」、「ひんのべ汁」の郷土食のふるまいを行った。また、伝統野菜をはじめ、農産物等の販売を行った。

イ 箱膳体験教室 4月26日

会場 ふれあい館しらふじ 参加者数 15人

7 地域野菜復活プロジェクトの活動支援

(1) 「沼目越瓜の会」

伝承地栽培認証を受けた加工品(漬物)を県内外での販売イベントにおいてPRをした。

(2) 「八町きゅうり研究会」

地域への苗の頒布会を実施した。また、県内外での販売イベントにおいてPRをした。

(3) 「村山早生ごぼう生産組合」

山形村へ「山形村牛蒡」の視察に行き情報交換を行った。また、県内外での販売イベントにおいてPRをした。

8 グリーンツーリズムの推進

(1) 「須坂グリーンツーリズム」の活動支援

農業体験を通じた交流活動の充実を図るため、検討会議を開催し、各農家との調整を図った。(7回)

ア 農業体験の実施 3件 参加者数 33人 事前視察の受入れ 2件

イ 東京での交流活動

虎の門ヒルズで「収穫祭」を実施し、会員の農産物を使用した料理を提供、参加者との交流を深めた。
12月9日 参加者 33名

ウ 推進活動

ホームページを充実させ、会員の情報や活動内容等の情報発信を積極的に行った。また、チラシの配布活動のほかフェイスブック、ブログなどのSNSを活用し、情報発信に努めた。

(2) 農業宿泊体験事業の推進(地域発元気づくり支援金事業)

交流人口増に向けた取組みとして、農業宿泊体験受入れ体制の構築を図るため、農泊研修会や先進地視察、農業宿泊体験モニターツアーを実施した。

- ア 農家民泊の推進に向けた研修会
7月4日 参加者 11名
- イ 農家民泊先進地域への視察
7月24日 伊那市 参加者 8名
- ウ 簡易宿泊所 営業許可の取得
農家 5件
- エ 農業宿泊体験モニターツアーの実施
9月29日～30日 参加者 22名
- オ 銀座NAGANOでの農泊推進PRイベントの実施
10月4日 参加者 16名
3月16日 参加者 15名

9 体験型農業支援補助金

(1) 体験型農園整備のため、認定を受けた農家に対し支援をした。

- ア 補助金額 200,000円
- イ 補助率 3分の2以内
- ウ 補助内容 農園看板の設置等
- エ 対象農家数 1

10 特産品の開発

市内企業からフード乾燥機(ドライマン)の寄附を受けたことに伴い、果物等の加工品の普及を図るため、貸し出しを行った。

利用件数 11件

6-1-4 (目) 畜産振興費

単位：円

当初 予算額	4,387,000	予算 現額	4,387,000	決算額	3,803,352	前年度 決算対比	115.4%	前年度 決算額	3,295,232
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

■ 畜産総合対策事業

単位：円

当初 予算額	4,387,000	予算 現額	4,387,000	決算額	3,803,352	前年度 決算対比	115.4%	前年度 決算額	3,295,232
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

畜産の振興、放牧の推進、畜産疾病の発生防止及び畜産公害の防止を図る。

II 事業の成果等

関係団体と連携し、畜産振興、放牧の推進、畜産疾病の発生及び畜産公害の防止が図られた。

III 事業の実績

1 防疫事業等の実施

関係団体と連携し、家畜の法定伝染病予防及び防疫事業等を実施した。

- 予防注射 延 7回
- 放牧牛の衛生検査 延 3回

2 畜産振興事業の実施

関係団体と連携し、公害対策としてハエ等を駆除するため、畜舎消毒を実施した。

実施主体 須坂畜舎消毒実行組合

事業内容 畜舎消毒 14回

3 須坂市そのさと有機センターの指定管理の状況

(1) 指定管理者 ながの農業協同組合

(2) 指定の期間 平成28年4月1日から令和3年3月31日まで

4 そのさと有機センター敷地の土地借上げの状況

土地所有者 7人 借地面積 7,790.93㎡ 土地借上料 461,900円

5 市が実施した須坂市そのさと有機センターの修繕等

(1) 攪拌装置乾燥装置設備保守点検 130,464円

(2) 発酵棟屋根修繕工事 763,776円

6-2-1 (目) 土地改良事業費

単位：円

当初 予算額	125,587,000	予算 現額	115,054,000	決算額	103,981,519	前年度 決算対比	153.4%	前年度 決算額	67,772,866
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	------------

■ 農道改良事業

単位：円

当初 予算額	3,000,000	予算 現額	3,000,000	決算額	2,959,200	前年度 決算対比	197.4%	前年度 決算額	1,499,040
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

農道改良により農業経営の合理化と農業所得の向上を図る。

II 事業の成果等

地域要望箇所の農道の改良により、農作業の軽減と機械化の促進が図られた。

III 事業の実績

1 農道改良事業の実施状況

事業名		委託先	事業内容	事業費(円)
委託	相之島沼目線用地測量業務委託(沼目町)	長野県土地改良事業団体連合会	用地測量 一式	378,000
	農業基盤整備促進事業(須坂地区)用地測量業務委託(沼目町)	長野県土地改良事業団体連合会	用地測量 一式	453,600
	農道村前横巻1号線用地測量業務委託(村石町)	(有)須高測量	用地測量 一式	151,200
	市道村前横巻1号線用地修正業務委託(村石町)	(有)須高測量	用地登記資料測量 一式	486,000
合 計				1,468,800

事業名		事業内容	事業費(円)
工事	村前横巻1号線農道整備工事(村石町)	舗装工 一式	205,200
	豊丘町水路修繕工事(豊丘町)	土工 一式	486,000
	沼目用水路修繕工事(沼目町)	用水路工 L=40m	799,200
合 計			1,490,400

■ 農道舗装事業

単位：円

当 初 予算額	3,000,000	予算 現額	3,000,000	決算額	345,600	前 年 度 決算対比	12.6%	前年度 決算額	2,735,068
------------	-----------	----------	-----------	-----	---------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

農道舗装の推進により農業経営の合理化と農作業の効率化を図る。

II 事業の成果等

地域要望箇所の農道舗装により、農作業の軽減と機械化の促進及び農作物の荷傷み防止が図られた。

III 事業の実績

1 農道舗装事業の実施状況

事 業 名		事 業 内 容	事業費 (円)
工 事	相之島舗装修繕外工事 (相之島町)	舗装・路肩修繕工 一式	345,600

■ 水路改修事業

単位：円

当 初 予算額	8,000,000	予算 現額	8,000,000	決算額	7,646,400	前 年 度 決算対比	99.6%	前年度 決算額	7,678,800
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

排水の悪い水路や老朽化した水路の改修により農作業の効率化を図る。

II 事業の成果等

地域要望箇所の水路の改修により、農作業の軽減と機械化、合理化の促進が図られた。

III 事業の実績

1 水路改修事業の実施状況

事 業 名		事 業 内 容 等	委託先	事業費 (円)
測 量 等 委 託	市道須坂駅旭ヶ丘線側溝測量設計業務委託 (南小河原町)	測量設計業務 一式	(有)須高測量	496,800
	用水路台帳作成業務委託	用水路台帳業務 一式	(有)須高測量	2,440,800
	小 計			2,937,600
工 事	幸高町外水路改修工事 (幸高町) ほか6件	水路改修工 一式		4,708,800
合 計				7,646,400

■ 農道・水路補修事業

単位：円

当 初 予算額	24,366,000	予算 現額	34,036,000	決算額	28,282,080	前 年 度 決算対比	382.7%	前年度 決算額	7,389,960
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

農道・水路の補修、修繕により農業施設の利用効率の向上を図る。

II 事業の成果等

農道・水路の補修、修繕により地域の要望を実現し、農作業の軽減が図られた。

III 事業の実績

1 農道・水路補修事業の実施状況

(1) 測量等委託

事業名		事業内容	委託先	事業費(円)
測量等委託	農業水利施設長寿命化計画 作成業務委託	長寿命化計画作 成 一式	長野県土地改良事業 団体連合会	3,402,000
	土地改良施設維持管理適正 化事業 塩野ため池浚渫 測量設計業務委託	測 量 設 計 業 務 一式	長野県土地改良事業 団体連合会	1,468,800
	農村地域防災減災事業(調 査計画事業) 野下原2号 ため池耐震化計画策定費 作成業務委託	耐 震 化 計 画 策定費作成業務 一式	長野県土地改良事業 団体連合会	5,076,000
	須坂市農道台帳補正委託	農道台帳整備	(株)パスコ	28,080
	団体営農村地域防災減災事 業 ため池ハザードマップ 作成業務委託	ため池ハザード マップ作成 一式	長野県土地改良事業 団体連合会	0 (5,170,000 全額31年度 繰越明許)
合 計				9,974,880

(2) 工事

事業名	事業場所	事業内容	事業費(円)
権五郎川浚渫工事ほか4件	村山町ほか	水路浚渫 一式	4,114,800
土地改良施設維持管理適正化事業 塩野ため池浚渫工事	塩野町	堆積土浚渫工 $V=54\text{ m}^3$ 防水シート補修工 $A=105\text{ m}^2$	10,584,000
竜ヶ池防水シート補修工事	小山町	防水シート補修工 一式	1,792,800
合 計			16,491,600

■ 基盤整備促進事業

単位：円

当初 予算額	22,150,000	予算 現額	10,045,000	決算額	9,555,800	前年度 決算対比	38.7%	前年度 決算額	24,701,880
-----------	------------	----------	------------	-----	-----------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

農作業の合理化・機械化のために農業基盤の整備促進を図る。

II 事業の成果等

沼目地区の農道整備工事を進め、荷傷み防止により営農の改善が図られた。

III 事業の実績

1 基盤整備促進事業の実施状況

事業名		委託先	事業内容	事業費(円)
委 託	農業基盤整備促進事業 須坂 地区 設計業務委託 (沼目町)	長野県土地改良 事業団体連合会	設計業務 一式	486,000
小 計				486,000

事業名		事業内容	事業費(円)
工 事	農業基盤整備促進事業(須坂地 区) 相之島沼目線農道整備工事 (沼目町)	農道整備工 $L=106\text{m}$	9,028,800
合 計			9,028,800

■ 県営土地改良事業

単位：円

当初 予算額	17,565,000	予算 現額	9,227,000	決算額	8,343,070	前年度 決算対比	811.4%	前年度 決算額	1,028,230
-----------	------------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

県営一般農道整備事業の須高地区において、農産物輸送の円滑化と、荷傷み防止による品質の向上により、農業経営の合理化と生産性の向上を図る。

II 事業の成果等

須高地区農道整備事業を進め、荷傷み防止により営農の合理化と生産性の向上が図られた。

III 事業の実績

1 県営土地改良事業の実施状況

(1) 負担状況

事業名	事業内容	事業費（円）	負担率（%）	負担金額（円）
一般農道整備事業 （須高地区）	負担金	33,198,280	25.0	8,299,570

事業名	事業内容	事業費（円）	負担金額（円）
県土地改良連合会賦課金	負担金	一般賦課金市町村割 9,500 農道台帳管理事業賦課金 19,000 県営事業割 15,000	43,500

■ 排水機場維持管理事業

単位：円

当初 予算額	29,957,000	予算 現額	30,197,000	決算額	29,598,931	前年度 決算対比	149.0%	前年度 決算額	19,861,080
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

湛水防除施設（排水機場）の維持管理と機能強化を図り、湛水による被害を未然に防止する。

II 事業の成果等

日常的に施設の維持管理を行うとともに、必要な機器の修繕を行い出水に備えた。

III 事業の実績

1 排水機場の管理業務委託

(1) 電気保安業務委託	中部電気保安協会	467,208 円
(2) 技術管理業務委託	河東土地改良区	99,000 円
(3) 保守管理業務委託	富士工機㈱	388,800 円

2 排水機場の設備点検等手数料

(1) 排水機場消防用設備点検業務委託	三益消防機材㈱須坂支店	51,840 円
(2) 排水機場危険物施設点検業務委託	富士工機㈱	518,400 円

3 湛水防除施設（排水機場）の機能強化及び修繕実績

実施機場名	工事等の内容	事業費（円）
相之島排水機場ほか	相之島排水機場4号機修繕及び空気圧縮機分解整備工事	2,894,400
	相之島排水機場2号機エンジン修繕工事	5,464,800
	相之島排水機場3号機エンジン整備工事	1,641,600
	相之島排水機場空気系統整備工事	378,000
	相之島排水機場冷却水用表示板設置工事	766,800
	相之島・福島北排水機場エアタンク用部品交換工事	810,000
	福島機場除塵機1・3号修繕工事	9,072,000
	福島北排水機場真空ポンプ用給水槽修繕外工事ほか 6件	2,997,810
合 計		24,025,410

4 稼働実績

大雨による湛水を防除するため、排水ポンプを稼働した。

月日	相之島排水機場	北相之島排水機場	福島排水機場	福島北排水機場	中島排水機場
7月6日 台風7号	4号ポンプ運転 7:00～16:00	稼働なし	稼働なし	稼働なし	稼働なし
10月1日 台風24号	4号ポンプ運転 7:00～19:00	稼働あり	稼働なし	稼働なし	稼働なし

■ 排水機場整備事業

単位：円

当初 予算額	17,470,000	予算 現額	17,470,000	決算額	17,172,000	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

湛水防除施設（排水機場）の更新整備と機能強化を図り、湛水による被害を未然に防止する。

II 事業の成果等

老朽化している施設の更新整備を行い出水に備えた。

III 事業の実績

1 湛水防除施設（排水機場）の更新整備実績

事業名		事業内容等	委託先	事業費（円）
測量等 委託	相之島排水機場実施計画書策定業務委託	実施計画書策定業務一式	長野県土地改良事業団体連合会	17,172,000
合 計				17,172,000

■ 農林漁業資金償還事業

単位：円

当初 予算額	79,000	予算 現額	79,000	決算額	78,438	前年度 決算対比	2.7%	前年度 決算額	2,878,808
-----------	--------	----------	--------	-----	--------	-------------	------	------------	-----------

I 事業の目的

過去に実施した土地改良事業に伴う農林漁業資金の借入金を償還する。

II 事業の実績

農林漁業資金償還金額 78,438 円 未償還金額 78,438 円

6-3-1 (目) 林業振興費

単位：円

当初 予算額	78,073,000	予算 現額	71,864,000	決算額	69,323,895	前年度 決算対比	132.4%	前年度 決算額	52,340,685
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 林業振興対策事業

単位：円

当初 予算額	6,545,000	予算 現額	6,513,000	決算額	6,028,287	前年度 決算対比	243.1%	前年度 決算額	2,479,413
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

森林の持つ公益的機能を維持・強化させるため、森林の整備を行う。

II 事業の成果等

長野県森林づくり県民税（森林税）の「森林づくり推進支援金事業」を活用し、間伐材を利用した木材製品（丸太ベンチ）の作製や、予防治山として周辺景観と調和を図りつつ設置した里山の遊歩道の落石防止用の丸太柵などの設置を実施することができた。

森林整備の推進による森林の公益的機能の維持・増進を図るため、国の「地域林政アドバイザー制度」を活用し、森林・林業に関して専門知識や豊富な経験を持つ林務行政経験者を任用することで、森林経営計画の認定の指導・助言等地域林政支援活動ができた。

市内林業事業体及び庁内担当者を対象とした森林税活用事業説明会を開催し、事業の円滑な導入と効果的な運用が図れた。

また、林地台帳公表に向けた準備に伴う林地台帳管理システム整備業務として、森林の土地所有者や境界に関する情報などを一元的に取りまとめる「林地台帳」制度が創設され、平成31年4月から市町村において森林所有者や林業事業体等に対して公表・情報提供することが定められたことから、既存の地理情報システム（GIS）に機能追加を行い、林地台帳管理システムの構築を行った。

III 事業の実績

1 森林づくり推進支援金事業

事業名	事業内容	事業費（円）	事業費内訳（円）	
			県補助金	市費
木を活かした力強い 産業づくり	臥竜公園遊歩道丸太柵設置工事 3段 22 m 間伐材ベンチ 6台	429,624 110,160	502,000	37,784
合 計		539,784	502,000	37,784

2 その他業務委託等

事業名	事業内容	委託料（円）
坂田山共生の森業務委託 （委託先：NPO法人坂田山共生の森を愛する会）	遊歩道・作業道脇の除草と刈り払い、倒木の処理	100,000
坂田山共生の森施設整備委託 （委託先：長野森林組合）	支障木（松くい虫被害木）の除去等	235,000
亀倉通学路林内整備業務委託 （委託先：長野森林組合）	道路際の雑木の伐採、林内整理、下刈り	324,000
林地台帳管理システム作成等業務委託 （委託先：HARVEY(株)長野支店）	既存の地理情報システム（GIS）に「須坂市林地台帳管理システム」での管理上必要となる、機能を追加設定	3,078,000

3 みんなで支える里山整備事業全体計画承認

- (1) 離山を守る会（豊丘町）
- (2) 塩野地区里山整備利用推進協議会（塩野町）
- (3) 臥竜公園里山整備利用推進協議会

■ 松くい虫防除対策事業

単位：円

当初 予算額	19,726,000	予算 現額	19,770,000	決算額	19,704,216	前年度 決算対比	100.3%	前年度 決算額	19,648,003
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

松くい虫による被害の予防と駆除により、健全な松林を育成させる。

II 事業の成果等

松くい虫による被害を抑えるための防除対策として、国や県の補助事業を活用しながら、地上薬剤散布による予防と被害木の伐倒駆除により被害拡大の防止に努めた。長野県森林づくり県民税（森林税）の「森林づくり推進支援金事業」を活用し、市内の公園等の危険性・公益性の高い場所の立ち枯れしている松の伐倒処理等を実施した。

しかし、媒介するマツノマダラカミキリの発生が広範囲に及ぶため、被害を完全に撲滅させることは難しい状況にある。

III 事業の実績

1 松くい虫防除事業の実施状況

区 分	事業量	事業費（円）	事業費内訳（円）		
			国補助金	県補助金	市費
被害木伐倒駆除事業 （井上・坂田・豊丘・大日向・八町ほか）	448.54 m ³ 、440 本	12,818,520	1,844,000	4,888,600	6,085,920
森林づくり推進支援金事業（臥竜山・給食センターほか）	31.8 m ³ 、31 本	1,123,200	0	1,070,000	53,200
地上薬剤散布事業（臥竜山外4か所）	18.36ha（2回）	2,980,800	1,449,000	0	1,531,800
合 計		16,922,520	3,293,000	5,958,600	7,670,920

■ 市単治山事業

単位：円

当初 予算額	500,000	予算 現額	500,000	決算額	499,932	前年度 決算対比	129.4%	前年度 決算額	386,424
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

森林がもつ公益的機能を維持するため、自然災害による被災箇所の復旧を図る。

II 事業の成果等

坂田山共生の森において、周辺景観との調和を考慮しつつ、山地災害による被害を防止・軽減する事前防災・減災の考え方に立ち、必要な予防治山として間伐材を利用した落石防止用の丸太柵を設置し、土砂流失、落石防止の措置を図ることができた。

Ⅲ 事業の実績

1 治山事業の実施状況

事業名	事業費（円）
坂田山遊歩道丸太柵設置工事（坂田町） 丸太柵工 3段 L=22m	499,932

■ 間伐対策事業

単位：円

当初 予算額	2,520,000	予算 現額	2,622,000	決算額	1,643,982	前年度 決算対比	81.7%	前年度 決算額	2,012,617
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

間伐を実施し、災害防止や水資源涵養（かんよう）などに向けた森林整備を行い、健全な森林の維持育成を図る。

II 事業の成果等

間伐を実施し、森林の持つ公益的機能の確保と維持育成が図られた。

また、平成31年度から始まる森林経営管理制度（新たな森林管理システム）導入に伴い、森林所有者の意向調査対象箇所の候補地として、坂田地区の事業面積69haを対象に情報収集等の準備作業を行うとともに、地区説明会を開催し森林所有者の事業に対する理解を深めることができた。

Ⅲ 事業の実績

1 間伐対策事業補助金

施業地（施業者）	事業面積（ha）	総事業費（円）	補助金内訳（円）	
			国県補助金	市補助金額
豊丘・米子・亀倉 （長野森林組合）	26.49	19,489,684	10,752,000	1,037,410

2 森林整備地域活動支援交付金

事業内容（事業主体）	対象面積（ha）	交付金（円）	交付金内訳（円）		
			国交付金	県交付金	市費
意向調査の準備推進支援事業（長野森林組合）	69.0	550,800	550,800	0	0

■ 緑化推進事業

単位：円

当初 予算額	606,000	予算 現額	0	決算額	0	前年度 決算対比	皆減	前年度 決算額	536,238
-----------	---------	----------	---	-----	---	-------------	----	------------	---------

I 事業の目的

緑が豊かで潤いのある街づくりの推進を図る。

II 事業の成果等

市町村が事業実施主体となって実施していた本事業は緑の募金地区事業交付金を活用した事業であるが、その実施主体はあくまでも「民間の団体」であって、市町村は事業主体になることはできないとの県の指導により、須高地区の3市町村で組織する「須高緑化推進連絡会」において事務を行うこととなったため、予算額を全額減額した。

■ 林道管理事業

単位：円

当初 予算額	48,176,000	予算 現額	42,459,000	決算額	41,447,478	前年度 決算対比	152.0%	前年度 決算額	27,277,990
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

森林整備の基盤となる林道の維持、管理を図る。

II 事業の成果等

降雨・降雪による被害を早期に復旧し、林道の維持管理が図られた。

III 事業の実績

1 林道管理事業の実施状況

事業名		事業内容	事業費(円)
工事	29年度繰越明許 地方創生道整備推進交付金事業 林道米子不動線法 面整備工事(米子町)	法面保護工 L=13.0m 簡易 法枠工 A=130 m ²	2,166,400
	地方創生道整備推進交付金事業 林道米子不動線法 面整備工事(米子町)	法面保護工 L=40.4m 落 石防止網 A=398 m ²	21,765,240
	地方創生道整備推進交付金事業 林道米子不動線道 路改良工事(亀倉町)	道路改良 L=40.7m W=5.0m	2,750,760
	林道月生線崩落土砂撤去工事(豊丘町)	崩落土砂撤去 一式	421,200
	林道戸谷沢線外崩落土撤去工事(米子町)	崩落土砂撤去 一式	507,600
	林道米子不動線崩落土砂撤去工事(米子町)	崩落土砂撤去 一式	367,200
	林道米子不動線落石撤去工事(米子町)	落石撤去 一式	615,600
	林道月生線法面工事(豊丘町)	法面整備工 一式	918,000
	林道米子不動線崩落土及び倒木片付工事(亀倉町)	崩落土砂、倒木片付工 一式	388,800
	林道米子不動線落石防止網設置工事(亀倉町)	落石防止網設置 一式	1,252,800
	横見沢川河床整備工事(仁礼町)	河床整備工 一式	1,058,400
	林道うつくし線法面整備工事(仁礼町)	法面整備繕工 一式	777,600
	林道うつくし線路肩修繕工事(仁礼町)	路肩修繕工 一式	1,080,000
	林道米子不動線道路改良工事その2(亀倉町)	道路改良工事関連工事 一式	1,036,800
	林道米子不動線路肩擁壁復旧工事(亀倉町)	擁壁工 一式	993,600
	林道米子不動線舗装修繕工事(亀倉町)	舗装工 一式	507,600
	林道米子不動線法面整備工事その2(米子町)	法面整備工 関連工事 一式	129,600
	林道下八町線遮断機設置工事(下八町)	遮断機設置工 一式	961,200
	計		37,698,400

事業名		委託先	事業内容	事業費(円)
草刈等 委託	林道月生線草刈等業務委託(豊丘上町)	豊丘上町区	草刈業務 一式	80,000
	林道栃平線草刈等業務委託(塩野町)	塩野町区	草刈業務 一式	100,000
	林道戸谷沢線草刈等業務委託(米子町)	米子町区	草刈業務 一式	100,000
	林道乳山線草刈業務委託(豊丘・塩野町)	長野森林組合	草刈業務 一式	48,600
	林道米子不動線草刈業務委託 (亀倉・米子町)	長野森林組合	草刈業務 一式	226,800
	林道大谷不動線草刈業務委託(仁礼町)	(一財)仁礼会	草刈業務 一式	95,040
計				650,440

事業名		委託先	事業内容	事業費(円)
測量 設計 委託	米子橋橋梁補修(高欄補修他)設計委託 (米子町)	(株)アンダー長野営業所	設計業務 一式	272,160
	林道米子不動線道路改良工事に伴う測量 設計業務委託(亀倉町)	(一社)長野県林業コンサルタント協会	設計書作成 一式	108,000
	林道米子不動線道路法面整備に伴う測量 設計業務委託(米子町)	(一社)長野県林業コンサルタント協会	設計書作成 一式	475,200
	林道米子不動線道路改良工事に伴う監督 補助業務委託(亀倉町)	(一社)長野県林業コンサルタント協会	監督補助業務 一式	483,840
	林道米子不動線道路法面整備に伴う監督 補助業務委託(米子町)	(一社)長野県林業コンサルタント協会	監督補助業務 一式	496,800
	林道施設長寿命化計画作成業務委託 (奈良橋外9橋)	(一社)長野県林業コンサルタント協会	長寿命化計画(個別 施設計画)作成 一式	172,800
	林道台帳電子ファイリング作成業務委託	(有)須高測量	ファイリング業務 一式	496,800
	林道台帳作成業務委託(奈良線他2路線)	(有)須高測量	台帳作成 一式	486,000
計				2,991,600

立木補償料 28,080 円 内訳：米子山国有林 立木 22 本 $V=7.77 \text{ m}^3$

土地借上料 3,000 円／年 内訳：米子不動線道路防災施設敷 $A=1,364 \text{ m}^2$

款 7 商 工 費

(款7) 商工費

単位：円

当 初 予算額	1,490,326,000	予算 現額	1,689,892,800	決算額	1,623,867,484	前 年 度 決算対比	113.0%	前年度 決算額	1,437,378,796
------------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	---------------	--------	------------	---------------

7-1-1 (目) 商工総務費

単位：円

当 初 予算額	92,377,000	予算 現額	100,979,000	決算額	100,862,036	前 年 度 決算対比	109.4%	前年度 決算額	92,236,798
------------	------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	--------	------------	------------

7-1-2 (目) 商工業振興費

単位：円

当 初 予算額	1,257,817,000	予算 現額	1,245,520,000	決算額	1,218,521,067	前 年 度 決算対比	107.0%	前年度 決算額	1,138,295,209
------------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	---------------	--------	------------	---------------

■ 工業振興事業

単位：円

当 初 予算額	33,461,000	予算 現額	31,418,000	決算額	29,805,713	前 年 度 決算対比	171.1%	前年度 決算額	17,418,264
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

工業の振興を図るため、工業振興に係る諸調査と企業動向の把握を行うとともに、意欲のある企業の研究開発や販路拡大などの支援を積極的に行うことにより、産業の活性化と雇用の創出を図る。

II 事業の成果等

定期の企業動向調査により市内企業の経済状況等を把握した。

市内企業が産業フェアなどの展示会、見本市に工業製品等の出展に対し支援を行うことで、新たなビジネスチャンスにつながっている。

工業団地等内の緑地・公園等の維持管理（除草、病虫害防除、支障木伐採等業務等）を随時で行い、団地内企業の従業員が働きやすい環境と良好な景観を維持することができた。

III 事業の実績

1 企業動向の把握と施策の周知

企業動向調査 市内の企業動向を把握、分析するため、年4回動向調査を実施する。

	実施月	企業数（社）	回答数（社）	回収率（%）
製 造 業	4 月	104	83	79
	7 月	104	85	81
	10 月	104	81	77
	1 月	104	83	79
建 設 業	4 月	47	31	65
	7 月	47	34	72
	10 月	47	28	59
	1 月	47	32	68

(1) 企業訪問

ア (株)ヒーテック	5月9日	臭気対策について
イ (株)エコ・ジャパン・システム	5月18日	臭気対策について
ウ アスザックフーズ(株)	5月29日、9月4日	補助金説明及び補助金検査等
エ (株)角藤	5月30日、8月7日	補助金説明及び補助金検査等
オ (株)コヤマ	5月31日、9月26日	補助金説明及び補助金検査等
カ オシキ電機設備(株)	6月27日	補助金説明
キ (株)山二	10月5日、12月28日	情報交換等
ク オリオン機械(株)	11月22日、2月15日、3月6日	インター周辺開発について
ケ ディーアイシージャパン(株)	12月3日	企業相談
コ テクノエクセル(株)	2月6日	プレジョブに関する協力要請
サ (株)鈴木	2月15日、3月6日	補助金等制度説明等
シ (株)ショーシン	3月6日	企業相談
ス 大福食品(株)	3月18日	企業相談

(2) 企業情報取得のため東京商工リサーチ、八十二ビジネススクエアの企業情報サービスを利用

(3) 各種相談窓口の設置

ア 総合経済対策工業相談室

(ア) 設置日 平成23年4月1日

(イ) 相談日 随時

イ 消費税の適正な転嫁に関する相談窓口

(ア) 開設日 平成25年12月2日

(イ) 相談項目 市内製造業における価格転嫁拒否の相談

(ウ) 相談日 随時

(4) 企業振興ニュースの発行 6月28日(製造業等543社)、1月30日(製造業等540社)

2 既存工業団地、産業団地の維持管理等

(1) 日滝原産業団地

ア 雨水排水管理設土地借上料 面積1,302.8㎡(980.64㎡+322.16㎡)
面積1,302.8㎡×2,153円×6%≒168,296円

イ 除草等業務委託

業務名 日滝原産業団地 除草等業務委託(年2回)

委託先 (公社)須高広域シルバー人材センター

業務内容 除草作業等

委託料 951,349円

ウ 支障木伐採・剪定業務委託

業務名 日滝原産業団地 支障木伐採及び剪定業務委託

委託先 (株)長原電設、長野森林組合

業務内容 交通等の支障になっている樹木の伐採及び剪定業務

委託料 726,840円(松川分含)

エ 公園周辺・公衆トイレ清掃業務委託

業務名 日滝原産業団地 公園周辺・公衆トイレ清掃業務委託

委託先 (公社)須高広域シルバー人材センター

業務内容 公園周辺及び公衆トイレの清掃(毎月、週1~2回)

委託料 105,300円

- オ 水道開栓手数料 900 円 (6 月)
- カ 日滝原産業団地レッドロビン剪定業務委託
委託先 (公社) 須高広域シルバー人材センター
業務内容 レッドロビンの剪定作業等
委託料 47,880 円
- (2) 塩野工業団地
- ア 用地借上、企業への賃貸 借上面積 42,971.46 m² (12,998.87 坪)
区画数 36 区画 (28 社及び集会場)
- イ 借上料 5,886,280 円 (内訳) 固定額 @87.72/m²×42,457.92 m²≒3,724,410 円
固定資産税相当額 154,418,799 円×1.4%≒2,161,870 円
賦課した土地 大字塩野 1119-2 30,854.63 m²
大字塩野 1119-3 12,116.83 m²
- ウ 土地貸付料収入未済額 152,430 円 (1 社)
- エ 除草等業務委託
業務名 塩野工業団地調整池除草等業務委託
委託先 (公社) 須高広域シルバー人材センター
業務内容 除草作業等
委託料 54,680 円
- (3) 横松原建設工業団地
- ア 用地借上、企業への賃貸 借上面積 5,114.29 m² (1,547.07 坪)
区画数 11 区画 (10 社)
- イ 借上料 891,390 円 (内訳) 固定額 @395/坪×1,547.07 坪≒611,090 円
固定資産税相当額 17,521,373 円×1.6%≒280,300 円
- ウ 通常総会に出席 5 月 25 日
- エ 横松原防風林組合総会に出席 8 月 11 日
- (4) 松川林間・小島工業団地
- ア 除草等業務委託料
業務名 松川林間・小島工業団地 除草等業務委託 (年 2 回)
委託先 (公社) 須高広域シルバー人材センター
業務内容 除草作業等
委託料 711,336 円
- イ 支障木伐採・剪定業務委託
業務名 松川林間工業団地 枯れ松等伐採業務委託
委託先 (株)長原電設
業務内容 枯れ松等樹木の伐採及び剪定業務
委託料 270,000 円 (インター分含む)
- ウ 病虫害防除委託料
業務名 松川林間工業団地 マツカレハ防除消毒作業業務委託
委託先 (株)アグロ信州
業務内容 工業団地内の松の防除消毒作業 (7 月)
委託料 254,880 円
- エ 通常総会に出席 6 月 1 日
- オ 三者懇談会に出席 7 月 26 日
- カ 新春懇談会に出席 2 月 15 日

(5) インター須坂流通産業団地

ア 調整池排水ポンプ及び水位計更新工事

請負額 13,413,600 円

委託先 (株)マナテック

業務内容 排水ポンプ2基、水位計2基、交換工事一式

工 期 7月27日～12月26日

イ 調整池排水ポンプ保守点検委託料

業務名 インター須坂流通産業団地 調整池ポンプ保守点検業務委託

委託先 (株)マナテック

業務内容 調整池のポンプ点検3回/年

委託料 37,800 円

ウ 除草等業務委託料

業務名 インター須坂流通産業団地 緑地公園内除草業務委託

委託先 須坂水の会

業務内容 緑地公園内の除草作業(4月～9月)

委託料 120,000 円

エ 公衆トイレ清掃業務委託料

業務名 インター須坂流通産業団地 緑地公衆トイレ清掃業務委託

委託先 (公社)須高広域シルバー人材センター

業務内容 緑地公衆トイレの清掃(毎月、週2回)

委託料 115,992 円

オ 遊具点検委託料

業務名 インター須坂流通産業団地 緑地公園内遊具点検 業務委託

委託先 日本体育産業(株)

業務内容 緑地公園内の遊具点検業務

委託料 16,200 円

カ 支障木伐採・剪定業務委託

業務名 インター須坂流通産業団地内緑地公園 支障木伐採業務委託

委託先 (株)長原電設

業務内容 緑地公園内の樹木の伐採及び剪定業務

委託料 167,400 円(松川分、日滝分含む)

キ 通常総会に出席 5月23日

ク 緑地公園駐車場使用許可 随時

ケ インター須坂流通産業団地緑地公園 意見交換会 5月17日

3 工業団体等の支援

(1) 須坂工業クラブ(会員企業15社)

ア 通常総会に出席 8月23日

イ 行政懇談会に出席 11月8日

ウ 新春懇談会に出席 1月24日

(2) 旭豊会(旭ヶ丘工業団地)

ア 定期総会に出席 5月23日

イ 経済懇談会に出席 2月26日

4 工場立地法に基づく工場の新增設の届出受理

- (1) 12月7日 須坂帝通㈱ 生産施設の建替による緑地面積等の変更
- (2) 1月10日 ㈱鈴木 新工場増築による生産施設面積等の変更

5 火薬類の譲渡し、譲受及び消費許可等

煙火消費許可 3件

6 電気用品販売業者への立入検査

電気用品安全法に基づきPSEマーク等の表示のない電気用品を販売していないか確認

- (1) 検査日 10月31日
- (2) 検査販売店 蔦屋書店須坂店
- (3) 検査重点品目 1品目
直流電源装置（ACアダプター）

7 休廃止鉱山跡地周辺の水質調査

米子鉱山跡地周辺から流出する酸性水の水質を把握するため継続して調査を実施

- (1) 調査日 5月31日、10月10日、10月15日
- (2) 調査結果 (PH)

調査箇所	5月31日	10月10日	10月15日
大黒抗上	——	——	2.32
大黒疎水口	——	——	3.32
5号沢合流前大黒沢	2.89	2.80	——
大黒沢末（大黒橋）	2.87	2.55	——
権現沢末	3.53	3.48	——
堆積浸透水合流米子川	2.86	5.05	——
不動沢末	4.32	4.40	——
不動沢合流点後米子川 （奥萬橋）	3.11	3.21	——
奇妙滝下流浦の沢末 （熊野権現橋）	4.33	4.32	——
米子橋下米子川	3.19	3.31	——

■ 金融対策事業

単位：円

当初 予算額	1,037,991,000	予算 現額	1,037,698,000	決算額	1,024,103,860	前年度 決算対比	99.0%	前年度 決算額	1,033,940,399
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	-------	------------	---------------

I 事業の目的

中小企業者が経営上必要とする資金供給の適正円滑化を期し、資金の融資あっせん保証料・利子補給による事業支援により、中小企業の振興を図る。

II 事業の成果等

融資枠を金融機関の協調を得て45億円（預託金10億円、融資倍率4.5倍）とし、融資枠の範囲内で融資あっせん事業を行った。

Ⅲ 事業の実績

1 市及び県制度資金に対する利子補給金等の状況

区 分		市	県	計	前年度比(%)
利子補給金	件数(件)	17	－	17	188.9
	金額(円)	646,354	－	646,354	274.6
保証料補給金	件数(件)	161	1	162	87.6
	金額(円)	20,710,013	171,940	20,881,953	67.5
計	件数(件)	178	1	179	92.3
	金額(円)	21,356,367	171,940	21,528,307	69.0

※利子補給金は、市の制度資金が対象

2 中小企業振興資金等の融資あっせん状況

制 度 資 金 名		件数(件)	金額(円)	前年度比(%)	
				件数	金額
市 制 度 資 金	普 通 資 金 (運 転)	9	100,000,000	47.4	62.0
	普 通 資 金 (設 備)	3	39,050,000	75.0	103.7
	特 別 小 口 資 金 (運 転)	90	323,750,000	97.8	103.2
	特 別 小 口 資 金 (設 備)	16	51,950,000	84.2	59.8
	経 営 安 定 資 金 (運 転)	5	74,000,000	100.0	56.9
	経 営 安 定 資 金 (設 備)	0	0	皆減	皆減
	独 立 開 業 資 金 (運 転)	10	20,400,000	250.0	226.7
	独 立 開 業 資 金 (設 備)	10	50,360,000	333.3	474.6
	特 別 運 転 対 策 資 金	5	38,700,000	55.6	65.6
	特 別 借 換 資 金	13	75,740,000	59.1	29.3
合 計		161	773,950,000	90.4	71.5
県 制 度 資 金	経 営 健 全 化 支 援 資 金	0	0	皆減	皆減
	経 営 改 善 サ ポ ー ト 資 金	0	0	0	0
	創 業 支 援 資 金	1	7,500,000	20.0	34.7
	合 計	1	7,500,000	14.3	27.3

3 中小企業振興資金融資等のための預託状況

預託先	預託金額(円)
八 十 二 銀 行 須 坂 支 店	91,700,000
長 野 銀 行 須 坂 支 店	142,600,000
長 野 信 用 金 庫 須 坂 支 店	608,000,000
長 野 県 信 用 組 合 須 坂 支 店	133,800,000
商 工 組 合 中 央 金 庫 長 野 支 店	23,900,000
計	1,000,000,000

4 中小企業振興資金の制度改正

(1) 限度額の見直し

- ア 特別小口資金 変更前 1,250 万円 変更後 2,000 万円
- イ 独立開業資金(運転) 変更前 1,500 万円 変更後 2,000 万円
- ウ 独立開業資金(設備) 変更前 3,000 万円 変更後 3,500 万円

(2) 対象要件の見直し

- ア 経営安定資金 「信用保険法第2条6項に該当する認定中小企業者」を追加
- イ 独立開業資金 「市内に商業・法人登記する中小企業者」「(開業後の場合について)市内での事業実態が認められること」を追加

5 中小企業信用保険法第2条第5項（セーフティネット）の認定件数

第5号（通年） 2件

第7号 0件

■ 商業振興事業

単位：円

当初 予算額	20,541,000	予算 現額	22,938,000	決算額	21,228,954	前年度 決算対比	106.0%	前年度 決算額	20,036,121
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

商業者及び商業団体等が実施する事業を支援するとともに、商業に係る諸調査による現状把握及び課題対応により、商業の振興を図る。

市街地の活性化に向けた、具体的な取り組みの支援を行う。

サービス産業振興につながる商店主、NPO法人、商業団体等の活動に対し、関係機関との連携を図り、相談・支援体制の整備を行うとともに、起業支援や活動支援を通じて商業の振興を図る。

II 事業の成果等

地域おこし協力隊制度の活用などにより、空き店舗の情報収集及び情報提供を行うとともに、創業用店舗、既存店舗の改修費補助、家賃補助を実施することにより、空き店舗の解消、賑わいの創出が図られた。

須坂商工会議所による具体的な事業のほか、地域の情報発信や商業団体等が開催するイベント等を支援することにより、賑わいと活力の創出が図られた。

商店街街路灯の維持管理に対し支援することにより、商店街環境の向上が図られた。

特定創業支援事業者等と連携し、セミナーや創業希望者等の相談・支援を行い、5名の創業につなげた。

III 事業の実績

1 商業振興対策

(1) 商店街環境整備事業

街路灯 LED 化事業（桜木町商盛会、須坂駅前南本通り商店会） 補助額 1,630,000 円

(2) 商業団体等への活動支援

ア 街路灯電気料補助事業

No.	団 体 名	電気料(年額：円)	補助額(円)
1	青木新道商盛会	50,772	10,000
2	須坂駅前末広会	242,069	48,000
3	末広共栄会	106,614	21,000
4	駅前通り竜盛会	36,790	7,000
5	須坂駅前南本通り商店会	190,201	38,000
6	要町新生会	126,021	25,000
7	銀座通り振興会	98,440	19,000
8	須坂劇場通り商店街	68,941	13,000
9	桜木町商盛会	62,552	12,000
10	須坂本町通り商盛会	77,259	15,000
11	宗石会	51,506	10,000
12	中央通り発展街	125,560	25,000
13	春木町商工親交会	242,830	48,000
14	八幡商工振興会	327,431	65,000
15	梨ノ木街道管理委員会	73,340	14,000
16	武津美会	107,282	21,000
17	市役所西通り街路灯委員会	113,940	22,000

No.	団 体 名	電気料(年額：円)	補助額(円)
18	平和会	71,076	14,000
19	蔵の町中央通り商店会	62,556	12,000
20	寿町通り街路灯委員会	25,753	5,000
21	延命町街燈会	48,123	9,000
22	広小路広親会	54,990	10,000
23	北原町商盛會	152,098	30,000
	合 計	2,516,144	493,000

2 調査の実施

(1) 商店街等の振興整備計画調査

商店街等における 31 年度の補助金の要望を把握するため、商店街等を対象に県、市の補助事業導入希望等について調査を行った。

3 企業（商店）訪問の実施 随時

4 商店街の活性化活動支援

(1) 活性化、賑わい創出のための実践及び支援

ア ワインフェア須坂 2019 3月2日 補助額 299,707 円

「楠わいなりー」を中心とした実行委員会によるイベントの開催を支援した。

イ 信州須坂蔵のまち春まつり 2019 3月24日 補助額 325,219 円

「信州須坂蔵のまち春まつり実行委員会」を中心とした、市内外で活動している各種団体によるイベントの開催を支援した。

5 空き店舗対策

(1) 空き店舗情報の提供及び誘致支援 相談件数 46 件

(2) わざわざ店等開設支援事業

店 舗 名	補助額 (円)		備 考
	店舗改修費への補助	店舗家賃への補助	
T.bridge life hair :美容室	1,000,000		30年度新規出店
kitchen futariya :イタリアン	1,000,000		〃
Leo Coffee Roasters :カフェ	860,000		〃
casablanca :鍼灸整骨院	840,000		〃
café ピリカ :カフェ	1,500,000	600,000	〃
Lotta Hair		530,000	〃
カットサロン Y's		600,000	
普遍と静謐		95,000	
三男坊		600,000	
Rivvy		440,000	
KINU suzaka japan		480,000	
キタザワ美容室	455,000		既存店改修
合 計	5,655,000	3,345,000	

6 創業支援事業計画（産業競争力強化法）

(1) 計画期間：平成 26 年(2014 年)10 月 31 日から令和 5 年(2023 年) 3 月 31 日

(2) 変更認定：構成団体から小布施町を除外(変更認定日：平成 30 年 12 月 26 日)

(3) 特定創業支援事業者：須坂商工会議所、NPO 法人信州 SOHO 支援協議会

(4) 須高創業セミナー：創業予定者、創業後間もない事業者、創業に関心がある者等を対象に実施

- ア 期 日 創業塾（8講座） 9月15日・22日・29日
- イ 会 場 須坂市技術情報センター
- ウ 参加者 7名
- エ 主 催 須坂商工会議所
- オ 共 催 須坂市・NPO 法人信州 SOHO 支援協議会

7 まちの駅活動事業

まちの賑わいを生み出すため、平成29年度「全国まちの駅連絡協議会」の認定を受け、官民連携による須坂市の「まちの駅」活動を展開。

- (1) 参加 商店等民間事業者 16 か所、公共施設 9 か所
- (2) 打ち合わせ会議実施 6月5日、9月27日、11月12日、2月13日
- (3) 活動

- ア 休憩機能の充実のための椅子提供依頼と設置
- イ 店舗及び施設見学会 9月27日
- ウ 須坂市商店会連合会との合同視察 10月3日 視察先：富山県高岡市「まちの駅ネットワーク高岡」

8 地域おこし協力隊活動

空き家・空き店舗等の活用や情報発信、関係機関等との連携によるまちの賑わいを生み出すため、平成30年10月1日より地域おこし協力隊1名が着任し活動をスタートした。

(1) 活動

- ア 空き家・空き店舗活用セミナー 2月20日
- イ 旧小田切家住宅 和〜クショップまつり出展 3月24日
- ウ 空き家めぐり実施準備

(2) 視察研修

- ア 経済産業省主催 まちげんき座学研修 10月17日
- イ 下諏訪町移住交流スペース等視察 11月9日
- ウ 長野市門前空き家見学会 12月16日

(3) その他活動

広報雑誌制作、各種取材対応、市内高校との連携活動等、地域の方々と連携し活動を展開。

9 商業団体活動への協力

信州須坂みそ料理乃會の活動を支援し、観光イベント時のパンフレット配布や来訪者へ紹介などみそ料理の情報発信を行った。

銀座通り秋まつり（うまいもん市）への出店を支援し、情報発信と販路拡大を図った。

■産業連携事業

単位：円

当 初 予算額	38,518,000	予算 現額	40,527,000	決算額	34,034,760	前 年 度 決算対比	85.8%	前年度 決算額	39,645,265
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

産業の連携により意欲のある企業の研究開発や販路拡大などの支援を積極的に行い、産業の活性化を図り、併せて産学官・産学・産産・産学官金の連携による新産業の創出を図る。

II 事業の成果等

須坂市の産業構造を自律発展型産業構造へと変換していくため、意欲のある企業への積極的な支援により、市内の産業の振興を図った。

産業コーディネート・アドバイス事業を実施し、産学官・産学・産産・産学官金の連携による新産業創出や研究開発の推進、既存補助制度を活用した支援を行った。その結果、新技術、新事業の開発及び新製品の開発などの成果が生まれた。

企業や団体が技術開発や設備導入等をするため、国等の提案公募型事業への申請書作成等の導入支援を積極的に行った。

須坂創成高等学校創造工学科デュアルシステムにおける2年生の就業体験、3年生の企業実習の実施にあたり、デュアルシステム受入れ企業と連携し、生徒受入れの支援を行った。

市内企業等のAI（人工知能）、IoT（モノのインターネット）等を活用した産業の高度化、利用拡大・普及等を図るため、ICTビジネス研究会を発展的解消し、須坂AI・IoT活用研究会として設立した。

須坂産の果物を使用した発泡酒を製造販売することによる新規雇用の創出、須坂の果物のPRによる果実振興、市内飲食店、温泉施設を中心に販売することによる賑わい創出に寄与することを目的に、信州須坂フルーツエール推進協議会において、フルーツエール事業の推進を行った。

III 事業の実績

1 産業連携の推進及び振興

- (1) 産業コーディネータ1人、産業アドバイザー4人を配置し、産学官金等の連携による産業の活性化を図るため「産業コーディネート・アドバイス事業」を実施した。

ア 産学官連携のコーディネート案件

「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」のコーディネートを行い、申請書作成支援等を行った。

- (2) 信州大学、長野県工科短期大学校、長野工業高等専門学校との包括連携協定事業

研究会顧問、講演会等の講師選定及び派遣、技術開発支援に関するアドバイザー依頼（イノベートSUZAKA、須坂地域ものづくり人材育成ネットワーク）

- (3) 須坂創成高等学校創造工学科への支援

企業と学校が連携して就業体験や企業実習を通じて地域一体となった人材育成を行う。

デュアルシステム協力企業会に協力をいただき、2年生の就業体験、3年生の企業実習を行い、次年度の2年生就業体験、3年生の企業実習に向けての事前説明会、企業との懇談会等を実施した。

ア デュアルシステム協力企業会

(ア) 参加企業 54社（市内41社、市外13社）

(イ) 協力団体 須坂商工会議所、須坂工業振興会、須坂工業クラブ、須坂地域ものづくり人材育成ネットワーク、イノベートSUZAKA

(ウ) 3年生企業実習 5月8日～7月17日の期間中、火曜日10日間
協力企業32社、実施生徒37人

(エ) 2年生就業体験 1回目 7月30日～8月10日の中で3日または5日間
協力企業34社、実施生徒34人
2回目 10月15日～19日の中で3日または5日間
協力企業34社、実施生徒34人

(オ) 企業との懇談会・平成31年度3年生企業実習の事前説明会 10月2日

(カ) 幹事会 11月1日

(キ) 報告会・懇談会 12月7日

(ク) 生徒向け企業プレゼンテーション 1月8日・15日・22日・28日 実施企業20社

(ケ) 役員会・講演会 2月15日

(コ) 総会・平成31年度2年生就業体験の事前説明会 3月22日

(4) 市内企業が中心となって進めている以下の事業や研究会に参画し、支援を行った。

ア イノベートSUZAKA

- (ア) 参加企業 34 社 (市内 29 社、市外 5 社)
- (イ) 特別顧問 信州大学工学部
- (ウ) 技術顧問 長野工業高等専門学校
- (エ) 総 会 4 月 24 日
- (オ) 定例会 7 月 9 日、10 月 15 日、1 月 22 日
- (カ) 長野しんきんビジネスフェア 2018 への出展 5 月 16 日
- (キ) 産業フェア in 信州 2018 への出展 10 月 26 日・27 日

イ 須坂地域ものづくり人材育成ネットワーク

- (ア) 参加企業 38 社 (市内 31 社、市外 7 社)
- (イ) 教育機関 信州大学工学部、長野工業高等専門学校、長野県工科短期大学校、須坂創成高等学校、長野工業高等学校、中野立志館高等学校
- (ウ) 支援機関 ポリテクセンター長野、長野県工業総合技術センター、長野地域振興局、(一財)長野経済研究所、須坂商工会議所
- (エ) 会員企業の連携推進事業 短期インターンシップ 4 社 (長野工業高等学校 6 名)
- (オ) 先進企業視察 7 月 6 日 山梨県韮崎市内の企業
- (カ) 技術講座検討委員会 2 月 21 日
- (キ) 総 会 3 月 15 日

ウ 須坂経営革新塾

- (ア) 参加企業 15 社 (市内 14 社、市外 1 社)
- (イ) 支援機関 長野県工業総合技術センター、長野地域振興局
- (ウ) 総 会 6 月 5 日
- (エ) 定例会 8 月 3 日、10 月 1 日、12 月 26 日、1 月 31 日、3 月 26 日

エ 須坂 AI・IoT 活用研究会 (旧 ICT ビジネス研究会)

- (ア) 参加企業 31 社 (市内 17 社、市外 14 社)
- (イ) 教育機関 信州大学工学部、長野工業高等専門学校、長野県工科短期大学校
- (ウ) 支援機関 ポリテクセンター長野、長野県工業総合技術センター、
- (エ) 設立総会 8 月 27 日
- (オ) 定例会・分科会 6 月 20 日 (ICT ビジネス研究会)、11 月 30 日、1 月 25 日

オ 長野県中温高压処理活用研究会

- (ア) 参加企業 3 社 (市内 1 社、市外 2 社)
- (イ) アドバイザー 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
- (ウ) 支援機関 日本貿易振興機構長野貿易情報センター、(一社)長野県農村工業研究所、長野県工業技術総合センター、(公財)長野県中小企業振興センター、長野地域振興局
- (エ) 研究会 5 月 30 日、11 月 29 日、3 月 14 日

(5) 銀座NAGANO「信州須坂 食と農でおもてなし」の開催

ア 開催日 10 月 4 日、5 日

イ 内 容

- (ア) 信州須坂フルーツエールを楽しむ会 参加者 23 人
- (イ) 信州須坂フルーツエール商談会 参加者 9 人

(6) 須坂工業ブランド化支援事業

ア 産業フェア in 信州 2018 への出展

- (ア) 開催日 10 月 26 日・27 日
- (イ) 会 場 ビッグハット (長野市)

- (ウ) 来場者数 計 13,714 人 (主催者発表)
- (エ) 出展者数 須坂市・須坂商工会議所共同ブース (市内企業 4 社、3 団体)、市内企業単独出展 8 社
- イ 全国発酵食品サミット in NAGANO への出展
- (ア) 開催日 11 月 16 日～18 日
- (イ) 会場 若里公園 (長野市)
- (ウ) 出展内容 須坂産の発酵食品、発酵飲料等の販売
- (7) 地域研究開発促進支援事業
- ア 中小企業や大学・高等専門学校等の研究テーマに対して、製品化・事業化に向けた本格的な研究開発の前段階としての試作・実験等の可能性を探り、産学官連携促進に寄与する。
- イ 案件 「安全性及び生産効率を考慮した AC モーター制御基盤の開発」
- (8) 新技術・新製品開発事業
- ア 目的 市内中小企業の技術開発を促進し、企業体質の強化を支援
- イ 案件 (ア) 「無線仕様の起床装置の開発」
(イ) 「小規模製造業向け IoT 汎用サービスシステムの開発」
(ウ) 「自然調和型太陽エネルギー高効率利用システムの開発」
- ウ 審査日 6 月 12 日、8 月 10 日
- エ 審査機関 長野県工業技術総合センター、須坂商工会議所中小企業相談所
- (9) 信州須坂フルーツエール推進協議会
- ア 目的 須坂産果物を使用したフルーツ発泡酒の製造販売することによる新規雇用の創出、須坂産の果物の PR による果実振興、市内飲食店、宿泊施設を中心に販売することによる賑わい創出
- イ 協議会 5 月 18 日、1 月 29 日
- ウ 商談会 6 月 18 日
- エ 新商品発表会 7 月 30 日、11 月 19 日
- オ 信州クラフトビール飲みくらべトレイン 9 月 22 日
- カ モニターツアー 9 月 26 日、10 月 3 日、10 月 13 日
- キ 主な出店イベント 善光寺花回廊、須坂カッタカタまつり、須坂みんなの花火大会、松本城クラフトビールフェス、信州須坂ハーフマラソン、全国発酵食品サミット in NAGANO
- (10) 信州大学のものづくり振興会および食・農産業の先端学際研究会 F A I D への参加
- 地域の科学技術の発展と産業の振興のため、大学、企業、自治体等が三位一体となって産学官連携を推進する。
- (11) 先端設備等導入計画の認定
- 生産性向上特別措置法 (平成 30 年 6 月 6 日施行) に基づき、市内中小企業者等の生産性向上に向けた設備投資を促進するため、市で導入促進基本計画を策定し、市内中小企業者等が策定する先端設備等導入計画の認定をした。
- ア 説明会 7 月 13 日
- イ 認定件数 22 件

■ 企業立地推進事業

単位：円

当初 予算額	127,306,000	予算 現額	109,404,000	決算額	109,347,780	前年度 決算対比	401.2%	前年度 決算額	27,255,160
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

企業誘致を推進し地域経済の活性化や雇用の創出を図ることで、市財政の健全化や定住人口の増加につなげる。

II 事業の成果等

長野県、須坂商工会議所、金融機関等と連携し、工業系用途地域の空き工場や工場立地が可能な未利用地の情報を収集し、希望する企業へ情報提供を行った。

また、須坂市へ立地を希望する企業や企業誘致を推進するための工業用地確保のため、新産業団地開発に向けて調査を行い、開発手法の研究を行った。

III 事業の実績

1 工業の立地振興

(1) インター須坂流通産業団地

(株)山二 貸付土地の期間満了に伴う処分（公有財産移動）

平成30年4月4日 処分価格 166,151,920円 面積3,776㎡ まちづくり課契約

（貸付特約付土地売買契約：平成20年4月1日、貸付期間の更新：平成30年3月31日まで）

(2) 須坂長野東インターチェンジ周辺開発計画に関する取組み

ア 須坂長野東インターチェンジ周辺地区開発推進プロジェクトチーム会議

（ア）開催日 4月11日、11月19日、2月21日（3回開催）

（イ）内 容 インターチェンジ周辺地区開発計画進捗状況報告及び今後の予定について

イ 理事者を交えた庁内定例会議及び随時会議

（ア）開催日 原則、毎週水曜日

（イ）出席者 まちづくり課、農林課、農業委員会、産業連携開発課の担当職員

ウ 先進地視察

（ア）イオンモール常滑

a 日時 5月25日

b 内容 イオンモール(株)開発本部、東海・長野開発部担当者による視察案内及び行政と地域の関わりについての説明

（イ）福井県永平寺町

a 日時 9月19日

b 内容 土地利用調整計画についての協議

（ウ）アウトレット広島（イオンモール）

a 日時 9月20日

b 内容 イオンモール(株)開発本部、東海・長野開発部担当者による視察案内及び行政と地域の関わりについての説明

エ 須坂長野東インターチェンジ周辺地区開発計画に係る地権者説明会

（ア）インター周辺地区開発計画変更（拡大）説明会

a 開催日 平成30年11月20日

b 場 所 井上地域公民館

c 内 容 産業団地予定区画拡張について

（イ）インター周辺地区開発計画の取り組み状況等に関する地権者説明会

a 開催日 平成31年2月21日、22日（両日とも午後、夜の部）、3月20日（全市民対象）

b 場 所 井上地域公民館、須坂市文化会館（小ホール）

c 内 容 開発計画の取り組み状況等について

d 出席者 開発計画予定地区地権者299名中184名、井上地域住民102名、各町役員等関係者13名、報道機関等11社、市民48名（3月20日）

オ 「地域未来投資促進法」に係る取組

（ア）土地利用調整計画の県の承認

a 承認日 2月12日

b 所 管 長野地域振興局商工観光課

- (イ) 基本計画の国の変更同意（長野地域）
 a 承認日 3月25日
 b 所 管 経済産業省、農林水産省他
- (ウ) 経済産業省、内閣府との土地利用調整計画等に関する打合せ
 a 開催日 8月24日
 b 場 所 経済産業省及び内閣府 東京都千代田区霞が関
- (エ) 経済産業省関東経済産業局との土地利用調整計画に関する打合せ
 a 開催日 1月24日
 b 場 所 さいたま市中央区新都心 合同庁舎
- (3) 企業誘致に関する研修等
 ア 県・市町村産業誘致担当職員スキルアップ研修会
 (ア) 期 日 5月28日
 (イ) 場 所 長野県松本合同庁舎
 (ウ) 内 容 国・県の支援制度説明及び地方拠点強化税制について
- イ 地域未来投資促進法 ミニセミナー参加
 (ア) 期 日 3月26日
 (イ) 場 所 (一財)日本立地センター 東京都
 (ウ) 内 容 地域未来投資促進法地域経済牽引事業について

7-1-3(目)観光費

単位：円

当初 予算額	128,664,000	予算 現額	332,675,800	決算額	294,033,414	前年度 決算対比	150.8%	前年度 決算額	194,951,614
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 観光施設管理事業

単位：円

当初 予算額	78,177,000	予算 現額	76,528,000	決算額	56,612,612	前年度 決算対比	95.6%	前年度 決算額	59,201,767
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

観光施設の適切な維持管理により施設の機能を維持し、利用者の安全確保を図る。

II 事業の成果等

適切な維持管理を実施した結果、施設の機能維持及び利用者の安全確保が図れた。

III 事業の実績

1 施設等の管理(整備)委託

施 設 名	委 託 先	委託料(円)
峰の原高原自然散策遊歩道	峰の原高原区	無 償
峰の原高原スキー場公衆トイレ	(一財)仁礼会	無 償
米子大瀑布公衆トイレ等	米子区	250,000
前山つつじ山公園	下八町区	50,000
峰の原高原公衆トイレ	峰の原高原区	50,000
峰の原高原こもれび広場遊具点検	日本体育産業(株)	59,400
五味池破風高原周辺施設	五味池破風高原管理委員会	600,000
林道米子不動線支障枝刈り払い	長野森林組合	70,200
登山道整備	長野森林組合 根子岳周辺登山道整備の会	1,158,400
米子大瀑布周遊道整備	(公社)須高広域シルバー人材センター	61,236
米子大瀑布駐車場整理	(公社)須高広域シルバー人材センター	183,600
合 計		2,482,836

2 須坂市ふれあい健康センター（湯っ蔵んど）の保守点検業務委託

業 務	委 託 先	委託料(円)
電気工作物保安管理	(一財) 中部電気保安協会	623, 376
エレベーター保守管理	(株) 日立ビルシステム	699, 840
自動ドア保守点検	(株) 長野ナブコ	233, 280
建築物環境衛生管理	(株) 第一エンジニアリング	206, 280
浴槽等水質検査	(株) 科学技術開発センター	206, 604
飲料水水質検査	(株) 科学技術開発センター	65, 880
水道法(水槽点検)簡易専用水道検査	(株) 科学技術開発センター	14, 040
煤煙測定	(株) 科学技術開発センター	181, 440
地下タンク及び埋設配管漏洩検査	(株) 科学技術開発センター	45, 360
空調機ヒートポンプ冷媒ガス点検	(株) 信東産業	118, 800
受水槽清掃点検整備	(株) 信東産業	476, 928
ヒートポンプ冷房切替作業	(株) 信東産業	451, 440
ヒートポンプ暖房切替作業	(株) 信東産業	451, 440
ヒートポンプ点検整備	(株) 信東産業	498, 960
ボイラー点検整備	(株) 信東産業	218, 592
濾過器装置点検	(株) 信東産業	205, 524
空調機点検	(株) 信東産業	70, 740
ポンプ類点検	(株) 信東産業	238, 248
合 計		5, 006, 772

3 観光施設の維持修繕等

事 業 名	金額 (円)
商業観光課公用車（ボンゴ）テールランプ修繕	8, 046
峰の原高原 こもれび広場展望台床修繕工事	49, 356
〃 こもれび広場遊具修繕工事	561, 600
五味池破風高原 男子トイレ洋式便器修繕工事	58, 968
〃 第一駐車場男子トイレ小便器エアーフラッシュ取替	61, 344
〃 トイレ便器つまり修繕工事	16, 200
〃 トイレ便器つまり修繕工事	8, 640
米子大瀑布 公衆トイレ男子小便器修理	44, 172
〃 遊歩道奥万橋橋台修繕工事	658, 800
〃 駐車場トイレ取水口修繕工事	226, 800
〃 案内看板止め金具設置修繕工事	235, 980
〃 駐車場トイレ受水槽バルブ修繕工事	63, 720
登山道 米子大瀑布小根子岳北肩登山道修繕工事	1, 144, 800
〃 浦倉山登山道橋床板張替修繕工事	205, 200
市営駐車場 市営駐車場ブロック塀改修工事	1, 087, 560
(小計)	(4, 431, 186)
湯っ蔵んど 電気設備修繕	17, 280
〃 事務所エアコン修繕	496, 800
〃 シャワー混合栓取替修繕	972, 000
〃 2階パントリー内ダクト接続替え修繕	122, 040
〃 給湯循環ポンプ部品交換修繕	59, 400
〃 給水ポンプユニット修繕	1, 123, 200
〃 スチームサウナ入口吊戸修繕	44, 280
〃 脱衣室洗面器用混合水栓取替修繕	70, 200
〃 個室付福祉浴室バスリフト修繕	239, 220
〃 洗面器用混合水栓修繕	87, 877

事業名	金額 (円)
湯っ蔵んど 厨房照明器具修繕	19,008
〃 女子トイレ手洗い排水金具修繕	26,992
〃 臥竜の湯源泉湯手摺り修繕	18,900
〃 サウナ丁番修繕	21,870
〃 源泉ポンプユニット緊急修繕	248,400
〃 源泉用自動給水ポンプ取替修繕	961,200
〃 源泉ポンプ制御盤ユニット取替修繕	913,680
〃 冷温水発生機点検整備緊急修繕	172,800
〃 サウナ入りロドアガラス修繕	135,000
〃 ブレーカー交換修繕	52,380
〃 サウナ室 12 分計修繕	17,280
〃 プラ竹組修繕	18,360
〃 スチームサウナ入口引戸フレーム修繕	21,600
〃 鎌田の湯露天風呂パーゴラ修繕	223,560
〃 鎌田の湯サウナベンチ修繕	111,240
〃 鎌田の湯自動ドア部品修繕	8,640
〃 露天風呂温度計修繕	64,206
〃 福祉浴室リフト浴修繕	16,200
〃 マグナム大浴場ポンプ 1 及びポンプ 2 修繕	548,640
〃 給湯用ポンプユニット修繕	1,047,600
〃 福祉風呂あすなろ温度計修繕	64,206
〃 浴槽昇温ポンプ 1 及びポンプ 2 修繕	810,000
〃 臥竜の湯高温サウナ入口ガラス修繕	82,080
〃 1F 男子トイレ小便器修繕	154,710
〃 1F 多目的トイレ便座・リモコン修繕	182,174
〃 洗面水栓・シャワー水栓修繕	146,283
〃 エレベーター定電圧電源装置修繕	61,560
〃 煙感知器修繕	135,000
(湯っ蔵んど小計)	(9,515,866)
計	13,947,052

*湯っ蔵んど 自動火災報知設備緊急修繕 修繕費 4,698,000 円 (2019 年度へ全額繰越)

4 観光地の安全点検

関係機関と合同で観光地の安全点検を実施した。

- | | | | | |
|-------------------|-----|----------|----|-----------|
| (1) 観光客安全対策パトロール | 実施日 | 7 月 2 日 | 場所 | 峰の原高原 |
| | | 7 月 3 日 | | 米子大瀑布 |
| (2) スキー場安全対策パトロール | 実施日 | 1 月 10 日 | 場所 | 峰の原高原スキー場 |

5 須坂市ふれあい健康センター（湯っ蔵んど）の管理運営

(1) 指定管理者の状況

指定管理者 蔵のさと温泉共同企業体

指定の期間 平成 29 年(2017 年) 4 月 1 日～令和 9 年(2027 年) 3 月 31 日

指定管理者委託料 無し

(2) 管理の状況

入館者数 284,433 人 (前年度比 98.8%) うち福祉浴室利用者 3,909 人

利用料(入館料) 108,634,940 円 (前年度比 96.6%)

(3) 施設維持協力金 5,120,000 円

(4) 営業定額納付金 1,200,000 円

(5) 利益配分制納付金 96,200 円

6 関谷温泉源泉の管理

関谷温泉の源泉湧出量等を調査した。 実施日 1 月 21 日 自噴量 278.8 リットル／分、湯温 39.0 度

7 須坂市営駐車場の管理運営

(1) 指定管理者の状況

指定管理者 一般財団法人 須坂市文化振興事業団

指定の期間 平成 29 年(2017 年) 4 月 1 日～令和 4 年(2022 年) 3 月 31 日

指定管理者委託料 791,000 円

(2) 管理の状況

総出庫台数 6,996 台 (前年度比 123.9%)

利用料 1,385,500 円 (前年度比 131.1%)

8 峰の原高原クロスカンントリーコースの管理運営

(1) 指定管理者の状況

指定管理者 峰の原高原クロスカンントリー場維持管理組合

指定の期間 平成 26 年(2014 年) 4 月 1 日～平成 31 年(2019 年) 3 月 31 日

指定管理者委託料 5,356,000 円

(2) 管理の状況

利用人数 20,567 人 (前年度比 118.1%)

利用料 3,045,830 円 (前年度比 122.4%)

9 蔵のまち観光交流センターの管理運営

(1) 指定管理者の状況

指定管理者 須坂市観光協会

指定の期間 平成 26 年(2014 年) 4 月 1 日～平成 31 年(2019 年) 3 月 31 日

指定管理者委託料 8,755,000 円

(2) 管理の状況

利用人数 12,636 人 (前年度比 90.1%)

ホール利用料 107,400 円 (前年度比 115.9%)

10 五味池破風高原のレンゲツツジ保護 (笹刈り)

貴重な観光資源であるレンゲツツジの樹勢を確保し保護するため、地元財産区、民間企業等との連携により、笹刈りを行った。 9 月 9 日 参加者 25 人

11 米子大瀑布シャトルバスの運行

米子大瀑布アクセス路の交通混雑解消と観光客の安全確保のため、紅葉期にマイカー規制を行い、湯っ蔵んどから米子大瀑布駐車場までシャトルバスを運行した。

(1) 運行日 10 月 13 日、14 日、20 日、21 日 計 4 日間

(2) 利用者 933 人

(3) 米子シャトルバス業務委託

ア シャトルバス運行業務委託 長電バス (株) 3,460,968 円

イ 駐車場誘導業務委託 アンゼン産業 (株) 505,440 円

ウ 林道入口マイカー規制案内業務委託 米子大瀑布誘客促進有志の会 80,000 円

合 計 4,046,408 円

(4) シャトルバス乗車券売上金 1,136,850 円

12 米子大瀑布駐車場整理業務委託

紅葉期の米子大瀑布駐車場の混雑対策として駐車場整理業務及び駐車協力金収受を行った。

(1) 期 間 10月6日～12日、10月15日～19日、10月22日～28日 計19日間

(2) 委託先 アンゼン産業(株)

委託料 1,516,320 円

(3) 協力金 731,000 円 1,462 台

13 市民無料入浴券の発行

(1) 広報すざか刷込み 4月号・10月号(1世帯2枚)

配布枚数 39,672 枚、 使用枚数 湯っ蔵んど 11,513 枚

須坂温泉 2,675 枚

合 計 14,188 枚(利用率 35.8%)

14 須坂温泉株式会社との連絡調整

須坂温泉株式会社と随時連絡調整を取った。また、取締役・監査役合同会議にオブザーバーとして参加した。

(株)古城荘との事業賃貸に係る契約2年目となる。

また、地方創生拠点整備交付金事業による「健康長寿食の研究開発拠点」&「農家チャレンジショップ」に対する負担金を支出した。

貸付金については、利子分のみの収入となった。

(1) 株主総会 5月30日

(2) 取締役・監査役合同会議 5月8日、5月30日、8月9日、11月5日、2月4日

■ 観光・誘客宣伝事業

単位：円

当初 予算額	48,687,000	予算 現額	49,659,000	決算額	46,632,130	前年度 決算対比	92.9%	前年度 決算額	50,214,687
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

観光宣伝及びイベント等の開催により観光誘客を図る。

II 事業の成果等

観光宣伝及びイベント等の開催、また、関係団体と連携して観光誘客が図れた。

III 事業の実績

1 宣伝用パンフレット等の作成・配布及び観光広告看板の掲出

市内外の宿泊施設や飲食店・コンビニ等に配布、設置するとともに、観光イベント等において来場者に配布して情報の提供・誘客宣伝を行った。

(1) 宣伝用パンフレット等の作成・配布

ア 総合観光パンフレット 1,371,600円 (50,000部)

イ さくらマップ 187,380円 (15,000部)

ウ 米子大瀑布パンフレット 160,920円 (10,000部)

エ 米子大瀑布ポスター 116,640円 (300枚)

オ 米子大瀑布駐車券（駐車場協力金）	61,560円	（1,000部）
カ 英語版観光パンフレット	212,004円	（1,000部）
キ 峰の原高原パンフレット	440,856円	（13,000部）
ク 五味池破風高原パンフレット	182,520円	（10,000部）
合 計	2,733,480円	

(2) 観光広告看板の掲出

ア 須坂駅構内「ようこそ信州すざかへ」	29,500円
イ 長野市柳原国道18号「産業遺産蔵の町並み須坂」	29,500円
合 計	59,000円

2 誘客イベントの広告宣伝

観光イベント等への効果的な集客を図るため、観光協会等と連携を図りながら新聞及び雑誌広告への掲載や、マスコミ関係者への情報の提供・広報・宣伝を行った。

3 テレビ・雑誌等の取材協力

テレビ、雑誌等マスコミの取材に対し、観光協会等と連携を図りながら協力した。

4 観光情報の提供

観光メールマガジンの発行や「観光だより」ホームページの更新により情報提供を行った。

電話や電子メールでの問い合わせに対し、情報の提供、パンフレット等の送付を行った。

- (1) 観光メールマガジンの発行 8 件
- (2) パンフレット等の送付 531 件（観光協会対応分含む）

5 観光案内誘客業務委託

観光客の利便を図るとともに、魅力ある観光商品の造成と旅行会社への商談や積極的な誘客宣伝活動により一層の観光振興を図るため、観光案内誘客業務を委託した。

- (1) 委託先 須坂市観光協会
- (2) 委託料 21,400,000 円

6 観光PR業務委託（信州須坂プロモーション事業）

県外でのイベントによる情報発信、マスコミを積極的に活用した誘客宣伝を全国に向け行うため、観光PR業務を委託した。

- (1) 委託先 (株)Goolight
- (2) 委託料 7,999,992 円

7 第41回記念須坂カッタカタまつり（実行委員会事務局）

- (1) 期 日 7月21日
- (2) 参加人員 2,906人（48連）

8 第31回記念信州須坂大菊花展（実行委員会事務局）

- (1) 期 間 10月25日～11月12日
- (2) 会 場 臥竜公園内特設会場
- (3) 出展作品数 227点（612鉢）

9 第13回信州須坂・シルクと蔵のまちツーデーウオーキング（実行委員会）

- (1) 期 日 3月23日～24日
- (2) 参加人員 2日間で延べ534人

10 観光年賀はがきデザイン募集

観光宣伝とイメージアップを図るため、年賀はがき用の図案を募集し、ホームページで公開した。

- (1) 応募数 3作品（3名）
- (2) 謝 礼 9,000 円（3,000 円×3名）

11 観光宣伝、物産販売

観光協会等と共催で、各地で実施される観光PRを兼ねた物産販売等のイベントに参加した。

- 7月15～16日 「塩竈みなと祭り」（塩竈市）
- 9月29日 「おいでよ信州キャンペーン（連携中枢都市合同会議）」（金沢市近江町市場）
- 10月6～7日 「清水港マグロまつり2018」（静岡県静岡市）
- 1月15日 関東ブロック連絡協議会定例記者会見 PR活動（東京都千代田区）
- 1月26日 上信越ふるさと街道協議会 PR活動（東京都千代田区）
- 2月13～14日 須高地域広域観光協議会静岡県内マスメディア PR活動（静岡県内）

12 広域観光の推進

長野県観光部及び長野県観光機構並びに近隣市町村、関係観光協会等と連携し、広域的な誘客宣伝を行った。

- (1) （一社）長野県観光機構（長野県観光協会）
しあわせ信州アルクマファンクラブへの参加
- (2) 北信濃観光連盟
「な・に（ながの・にいがた）うみやま」イラストマップ作成・実施への協力
- (3) 新幹線上田駅観光案内所運営委員会
「信州上田周辺ぐるりまっふ」タイ語 繁体字・簡体字版パンフレット作成・実施への協力
- (4) 上信越ふるさと街道協議会
パンフレットの作成協力、観光PR及び情報の提供
- (5) 須高地域広域観光協議会
静岡県内観光PRキャラバンの実施
- (6) 絹のみち広域連携プロジェクト 絹のみちPRイベント
高速道路を利用して県内を訪れる観光客を誘客するため、高速道路SAで観光PRイベントやスタンプラリーへの協力
- (7) 信州シルクロード連携協議会
パンフレットの作成協力、絹のみち広域連携プロジェクトとの連携
- (8) 信州フルーツ王国推進会議
くだものまつり パンフレットの作成協力、PR活動協力
- (9) その他
JR東日本「駅からハイキング」への参加

13 須坂市観光協会連携事業

須坂市観光協会と連携し事業等を行った。

- (1) 臥竜公園さくらまつり
- (2) レンゲツツジ in 五味池
- (3) 須坂の夏祭り（祇園祭・第41回須坂カッタカタまつり・第31回みんなの花火大会）
- (4) フルーツ大国くだものまつり（りんご・ぶどう・さくらんぼ・ももまつり）
- (5) 第31回信州須坂大菊花展
- (6) 第18回信州須坂「わくわく」おひなめぐり

- (7) 観光キャラバン、観光キャンペーン
- (8) 第13回信州須坂・シルクと蔵の町ソーデーウオーキング
- (9) 学習教育旅行の受入れ

14 地域おこし協力隊活動

須坂温泉古城荘を拠点とした、国の生産性革命に資する地方創生拠点整備交付金事業「信州須坂 健康長寿食の研究開発拠点&農家チャレンジショップ」の活用や観光振興、農業振興、地域振興などを通じて地域を盛り上げるため、平成30年8月1日より地域おこし協力隊1名が着任し活動をスタートした。

■ 観光施設整備事業

単位：円

当初 予算額	1,800,000	予算 現額	206,488,800	決算額	190,788,672	前年度 決算対比	223.1%	前年度 決算額	85,535,160
-----------	-----------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

観光地における観光基盤施設の整備を図るとともに、観光案内板・案内標識の整備による観光客の誘導、回遊を促進し、観光振興を図る。

II 事業の成果等

魅力ある観光地づくりと観光振興を図るため、峰の原高原クロスカントリーコースの整備等を行った。
米子大瀑布への来訪客の安全確保のため、遊歩道の整備と看板設置を行った。
須坂温泉への支援として、地方創生拠点整備交付金事業を活用した整備を行った。

III 事業の実績

1 峰の原高原クロスカントリーコース全天候型走路増設工事（辺地債事業）

延長：2.0 km 幅員：4.0m ゴムチップ弾性舗装	契約額	198,568,800 円（平成29年度）
	前払金	75,300,000 円（平成29年度）
	精算払	123,268,800 円（平成30年度～繰越）

2 米子大瀑布遊歩道落石除去工事 301,320 円

3 米子大瀑布遊歩道橋設置工事 982,800 円

4 米子大瀑布案内看板設置工事 486,432 円

5 須坂温泉古城荘の整備

(1) 地方創生拠点整備交付金事業

国の地方創生拠点整備交付金を活用し、須坂温泉古城荘に「信州須坂 健康長寿食の研究開発拠点及び農家チャレンジショップ」の整備を行った。

負担金 65,749,320 円（平成29年度繰越事業）

内訳

工事設計費 3,092,040 円

工事費 62,186,400 円

工事監理費 470,880 円

(2) 須坂温泉指定避難所整備事業

災害時における指定避難所として、安心安全の確保と機能向上を図るため、国の緊急防災・減災事業債を活用し、須坂温泉古城荘の耐震補強工事、バリアフリー化等の改修を行うための設計業務を行う。

負担金 12,300,000 円（2019年度～全額繰越）

7-1-4 (目) シルキーホール費

単位：円

当初 予算額	11,468,000	予算 現額	10,718,000	決算額	10,450,967	前年度 決算対比	87.9%	前年度 決算額	11,895,175
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ シルキーホール管理事業

単位：円

当初 予算額	11,468,000	予算 現額	10,718,000	決算額	10,450,967	前年度 決算対比	87.9%	前年度 決算額	11,895,175
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

シルキーホールを多目的集会施設として広く市民に開放し、利用の推進に努める。

市民プラザにより須坂市の歴史、文化、自然、観光及び蔵の町すざかの情報等を提供するとともに、市民ギャラリーを市民に開放し、文化的意識の高揚を図る。

II 事業の成果等

シルキーホールは、多目的集会施設として広く市民に開放し、諸会議・各種研修会・サークル活動等の研鑽の場として利用された。

市民プラザを須坂市観光協会に委託し須坂市の情報提供をするとともに、市民ギャラリーの貸し出しを行い、市民の作品を展示したことにより文化的意識を高めることができた。

しかし、12月に発生したシルキーホール第1ホールの空調設備配管破損による故障のため、今後設備更新が必要となってしまった。

III 事業の実績

1 シルキーホールの管理運営

- (1) 指定管理者 須坂市観光協会
- (2) 指定の期間 平成28年(2016年)4月1日から令和3年(2021年)3月31日
- (3) 指定管理者委託料 4,673,000円

2 第1、第2ホール利用状況

- (1) 利用料等 2,617,350円 (施設2,336,750円、ピアノ利用料 6,000円、冷暖房274,600円)
- (2) 利用者数 25,517人 前年度比86.4% (有料12,196人、無料13,321人)

3 市民プラザの管理運営

(1) 市民ギャラリー展示事業

写真愛好会展	4月11日	～	4月26日
絵の会作品展	5月1日	～	5月30日
人権啓発パネル展	6月1日	～	6月14日
十の会展	6月2日	～	6月30日
切絵作品展	7月1日	～	7月30日
桐里墨心会水墨画展	8月1日	～	8月31日
東山会書作展	9月1日	～	9月30日
鉄道フェア	10月6日	～	10月21日
写真クラブ展	10月19日	～	10月28日
楽しむ書の会展	11月1日	～	11月14日
丸山久雄写真展	11月1日	～	11月30日
人権啓発パネル展	11月30日	～	12月14日

明るい選挙啓発ポスター展	12月 1日 ～ 12月 26日
萩の会日本画展	12月 1日 ～ 12月 27日
須高書道大会	1月 4日 ～ 1月 30日
水墨画合同展	2月 1日 ～ 2月 28日

(株)Goolight への貸付面積拡張のともない、市民プラザでの展示は平成 30 年度で終了とした。

(2) アートギャラリー展示事業

福井敬一展

4月 1日～ 5月 31日 「福井敬一の軌跡」

6月 2日～ 9月 30日 「福井敬一の軌跡 2」

11月 23日～ 31年 4月 14日 「旅先の風景」

常設展示 中国四平市コーナー展示

4 開館日数及び入館者数

- | | | |
|---------------|----------|-------------|
| (1) 開館日数 | 361 日 | |
| (2) 入館者数 | 13,603 人 | 前年度比 104.3% |
| (3) 1 日平均入館者数 | 37 人 | |

5 観光案内

市外より訪れる観光客に観光案内を実施した。 3,380 人

6 住民票等証明書交付取次ぎ状況

住民票 1 通、印鑑証明 1 通

利便性が低く、利用が少ないため、平成 30 年度で廃止した。

7 シルキー第 1 ホール空調設備故障

平成 30 年 12 月、4 階にある第 1 ホール空調設備配管破損による不凍液漏水が発生し、3 階及び 2 階で漏水被害発生。配管交換修繕及び漏水により汚れた天井や壁、床の修繕は緊急修繕にて対応した。

配管破損以降空調設備は使用できず、ジェットヒーターを借用し、暖房機器の代用として対応した。

款 8 土 木 費

(款8) 土木費

単位：円

当初 予算額	2,153,037,000	予算 現額	2,293,215,200	決算額	2,153,015,581	前年度 決算対比	87.9%	前年度 決算額	2,448,023,745
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	-------	------------	---------------

8-1-1 (目) 土木総務費

単位：円

当初 予算額	33,994,000	予算 現額	33,444,000	決算額	33,048,999	前年度 決算対比	97.5%	前年度 決算額	33,883,028
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	6,420,000	予算 現額	5,889,000	決算額	5,715,334	前年度 決算対比	78.5%	前年度 決算額	7,280,302
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

土木工事の設計業務を実施し、事業の推進を図る。

II 事業の実績

- 補助及び単独土木工事の設計積算を実施し、工事の推進が図られた。
- ラウンドアバウトに関する研修会「ラウンドアバウトサミット in 軽井沢町」へ10月25日～26日に参加し、須坂市のラウンドアバウトの状況報告及び情報交換を行った。須坂市より2名参加。

3 要望の実施状況

月 日	内 容	陳情等先
5月8日	ラウンドアバウトの普及促進について 於：東京都千代田区 [ラウンドアバウト普及促進協議会] 須坂市より1名参加	警察庁、国土交通省

■ 道路整備促進事業

単位：円

当初 予算額	102,000	予算 現額	102,000	決算額	101,400	前年度 決算対比	100.0%	前年度 決算額	101,400
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

要望活動を積極的に行うことにより、道路整備の促進を図る。

II 事業の成果等

道路の整備促進を図るため、各同盟会等において要望活動等を行った。

III 事業の実績

1 陳情、要望の実施状況

(1) 道路等整備促進の提言及び要望

月 日	内 容	陳情等先
7月24日	千曲大橋建設に向けての取組み強化について [千曲大橋（長野市長沼・須坂市豊洲間）県道建設促進期成同盟会] 参加総数 61 名	長野県知事、長野・須坂建設事務所長、地元選出国会議員・県議会議員
8月6日	道路事業等の整備促進について [市単独] 11 名参加	長野県建設部長
8月29日	建設事業の早期事業化・事業の促進について [近隣市町村] 5 名参加	長野県議会
8月31日	道路整備の促進に関する要望 [関東国道協会長野県地区協議会] 2 名参加	長野県選出国会議員、国土交通省長野国道事務所長、長野県建設部長

月 日	内 容	陳情等先
10 月 15 日	国道 403 号及び 406 号道路整備の促進について [道路関係 4 同盟会合同] 1 名参加	長野県知事、県議会
10 月 25 日	国道 403 号及び 406 号道路整備促進について [道路関係 4 同盟会合同] 2 名参加	国土交通省、財務省、関東地方整備局、地元選出国會議員
12 月 6 日	国県市道に係る事業の予算確保について [市単独] 12 名参加	国土交通省、財務省
1 月 28 日	県道大前須坂線、牧干俣線整備改良の促進について [婦恋・高山・須坂間県道整備促進期成同盟会] 3 名参加	長野県建設部長、群馬県建設部長

8－1－2 (目) 地籍調査費

単位：円

当 初 予算額	4,605,000	予算 現額	4,633,000	決算額	3,756,360	前 年 度 決算対比	88.9%	前年度 決算額	4,223,393
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

■ 地籍調査事業

単位：円

当 初 予算額	4,605,000	予算 現額	4,633,000	決算額	3,756,360	前 年 度 決算対比	88.9%	前年度 決算額	4,223,393
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

土地の基礎情報である地籍を調査した結果により、実態を正確に反映した地籍図を作成し法務局に備え付け、登記簿を書き改めることにより、土地に関するあらゆる行為で発生している問題を解消する。

II 事業の成果等

日滝 4 区は、H 工程の成果閲覧を実施し、地籍図及び地籍簿を作成した。

III 事業の実績

1 事業実施状況

調査区域	実施工程	面積	縮尺
日滝 4 区	H 工程	0.17 km ²	1/500

※C 工程：地籍図根三角測量 D 工程：地籍図根多角測量 E 工程：一筆地調査

F I 工程：細部図根測量 F II－1 工程：一筆地測量 F II－2 工程：地籍図原図作成

G 工程：地積測定 H 工程：成果の閲覧、地籍図及び地籍簿の作成

2 主な事業内容

事業名	事業内容	委託先	事業費 (円)
地籍調査事業日滝 4 区測量業務委託	地籍調査事業 H 工程	(株)協同測量社 須坂営業所	464,400
地籍調査事業に係る附帯測量業務委託 (日滝 5 区)	宅地造成地の座標値入力・点検作業	黒田整地開発 (株)須坂支社	334,800
未登記道路地積測量図等作成業務委託 (日滝 6 区)	未登記道路の地積測量図等作成	黒田整地開発 (株)須坂支社	432,000
地籍調査事務支援システム等保守点検委託	事務支援システム及び成果管理システム保守点検	(株)協同測量社 須坂営業所	324,000
合 計			1,555,200

8－2－1 (目) 道路橋梁総務費

単位：円

当 初 予算額	129,099,000	予算 現額	128,767,000	決算額	127,491,629	前 年 度 決算対比	101.9%	前年度 決算額	125,159,190
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	--------	------------	-------------

■ 道路橋梁管理事業

単位：円

当初 予算額	20,129,000	予算 現額	21,626,000	決算額	20,505,306	前年度 決算対比	104.0.％	前年度 決算額	19,711,026
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	---------	------------	------------

I 事業の目的

都市の基本的施設としての道路橋梁等を適切に管理することにより、安全で快適な市民生活を確保する。

II 事業の成果等

事業目的達成のため、道路橋梁施設の管理、道路愛護思想の普及事業、道水路の占用許可に係る調整等を実施した。

III 事業の実績

- 官民境界立会申請受理件数 121 件
- 道水路占用許可受理件数 246 件（道路 229 件、準用河川 0 件、普通河川 17 件）
- 道路河川占用料収入未済

現年度	8 件	15,150 円
過年度	1 件	2,440 円

4 市道の認定・廃止・路線変更数

区分	路線数（線）	延長（m）
認定	11	587.7
廃止	1	△74.5
路線変更	8	△0.9
増減	10	512.3

5 測量業務等の委託状況

事業名	事業内容等	委託先	事業費（円）
大字塩川 150-2 外 測量業務委託（塩川町）	調査・測量業務 一式	（有）須高測量	437,400
大字塩川 149-1 外 測量業務委託（塩川町）	調査・測量業務 一式	同 上	324,000
市道春木町南小河原線 未登記道路用地測量業務委託（春木町）	調査・測量業務 一式	同 上	318,600
市道春木町 1 号線支線 道路後退用地測量業務委託（春木町）	調査・測量業務 一式	（公）長野県公共職 記士地家屋調査士協会	156,146
市道小山 2 号線道路後退用地測量業務委託（小山町）	調査・測量業務 一式	同 上	191,602
市道内堀 1 号線道路後退用地測量業務委託（九反田町）	調査・測量業務 一式	同 上	485,071
市道小山裏道線 道路後退用地測量業務委託（小山町）	調査・測量業務 一式	同 上	84,412
水路未登記に伴う用地測量業務委託（幸高町）	調査・測量業務 一式	同 上	187,131
水路未登記に伴う用地測量業務委託（八幡町）	調査・測量業務 一式	同 上	315,910
未登記道路に伴う用地用地測量業務委託（八幡町）	調査・測量業務 一式	同 上	300,703
未登記道路に伴う用地用地測量業務委託（豊丘町）	調査・測量業務 一式	同 上	559,548
未登記道路に伴う用地用地測量業務委託（下八町）	調査・測量業務 一式	同 上	690,260
未登記道路に伴う用地用地測量業務委託（小河原町）	調査・測量業務 一式	同 上	695,174
未登記道路に伴う用地用地測量業務委託（春木町）	調査・測量業務 一式	（有）須高測量	496,800
市道塩野明光寺線他 1 路線 未登記道路用地測量業務委託（塩野町）	調査・測量業務 一式	同 上	496,800
未登記道路に伴う用地用地測量業務委託（横町）	調査・測量業務 一式	（公）長野県公共職 記士地家屋調査士協会	181,504
未登記道路に伴う用地用地測量業務委託（南原町）	調査・測量業務 一式	同 上	63,396
合 計			5,984,457

6 道水路敷地の払下げ等の状況

道路敷地

種 別	件 数	面 積 (㎡)	金 額 (円)
交換	0	0	—
払下げ	7	531.55	4,678,467
寄附	26	1,008.05	—

水路敷地

種 別	件 数	面 積 (㎡)	金 額 (円)
交換	1	45.49	—
払下げ	0	0	—
寄付	1	4.04	—

※交換は市が取得した面積

7 道路台帳等補正業務の委託状況

事業名	事業内容	委託先	事業費(円)
道路台帳補正	新設改良補正 1710m 認定路線変更補正 1170m 廃止路線 450m 交差台帳補正 1箇所	(株)パスコ 長野支店	4,937,960

8 法定外公共物管理システム補正業務等の委託状況

事業名	事業内容	委託先	事業費(円)
法定外公共物管理システム補正	道路台帳平面図・路線網図、地番図のデータセットアップ	HARVEY(株) 長野支店	1,242,000

8-2-2 (目) 道路維持費

単位：円

当 初 予算額	272,474,000	予算 現額	301,020,000	決算額	283,375,821	前 年 度 決算対比	180.1%	前年度 決算額	157,324,550
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	--------	------------	-------------

■ 道路管理事業

単位：円

当 初 予算額	15,583,000	予算 現額	15,573,000	決算額	14,058,113	前 年 度 決算対比	101.1%	前年度 決算額	13,904,476
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

道路施設等を適切に維持管理することで、安心安全な住環境整備を確保する。

II 事業の成果等

道路路側帯等の除草、街路樹の剪定等を行い、通行の安全、環境整備に努めた。

III 事業の実績

1 道路維持工事等の実施状況

(1) 街路樹補植工事

事業名	事業か所	事 業 内 容	事業費 (円)
市内街路樹補植工事等	市内一円	街路樹の補植等	292,680

(2) 道路側溝浚渫工事

事業名	事業場所	事業内容	事業費 (円)
市内道路側溝浚渫工事等	市内一円	道路側溝浚渫	432,000

(3) 道路後退舗装工事

事業名	事業場所	事業内容	事業費 (円)
市内道路後退舗装工事	市内一円	道路後退舗装工事	993,600

2 道路路側帯の除草等の管理委託状況

(1) 道路路側帯の草刈等委託状況

事業名	事業場所	事業内容	実施時期	委託先	事業費（円）
街路樹等剪定業務委託	市道高梨小山線外	剪定、伐採等	5月	(有)日新グリーン	475,200
	市道本郷宮原滝ノ入線外		8月	同 上	345,600
	市道豊島団地16号線外		9月	同 上	237,600
	峰の原、宮坂橋 蜂の巣駆除		9月	ライフサポート	31,000
	市道健康福祉ランド3号線外		9月	(有)日新グリーン	367,200
	市道桜木町線外		1月	同 上	155,520
	市道幸高福島線外		1月	同 上	308,880
	市道夏端団地1号線外		1月	同 上	260,280
	市道須坂駅旭ヶ丘線外		2月	同 上	312,120
	市道屋部八幡境線外		2月	同 上	339,120
	望岳台市道しだれ桜		3月	長野森林組合	100,440
計				2,932,960	

(2) 街路樹管理等 (公社) 須高広域シルバー人材センターへの委託状況

事業名	事業か所	事業内容	実施時期	事業費（円）
市道沿い除草等 業務委託	須坂駅跨線橋、幸高福島線周辺、 臥竜線、和合橋下河原線、井上 松宮中島線、須坂駅旭ヶ丘線、 和合橋野下原線、相之島堤防沿 線、高甫橋県民運動場線、村山 八町線 延べ31か所	市道沿い草刈り、草 取り、清掃、剪定等	4月	1,836
			5月	158,490
			6月	590,553
			7月	45,323
			8月	1,836
			9月	199,326
			10月	465,898
			11月	2,295
			12月	12,204
			1月	16,929
			2月	4,428
計				1,499,118

■ 除雪事業

単位：円

当初予算額	166,891,000	予算現額	165,447,000	決算額	150,286,623	前年度決算対比	204.7%	前年度決算額	73,408,050
-------	-------------	------	-------------	-----	-------------	---------	--------	--------	------------

I 事業の目的

冬季の適切な維持管理により、安全で円滑な道路交通を確保する。

II 事業の成果等

除雪及び凍結防止剤散布を行い、冬期間の安全な交通確保を図った。

Ⅲ 事業の実績

1 除融雪作業

(1) 除雪業務の状況

地 区		12 月		1 月		2 月		3 月		計		委託料 (円)
		日数	時間	日数	時間	日数	時間	日数	時間	日数	時間	
直営	市街地 東地区			5	18	3	2			8	20	直営
委託	[交付金] 東地区 市街地			7	162	2	27			9	189	5,695,045
	[市単独] 東地区 市街地			7	188	2	17	1	5	10	210	11,964,508
	峰の原 地 区	3	31	16	168	6	40	7	63	32	302	4,073,760
	排 雪	2	13	4	69	3	15	1	5	10	102	133,109
合 計		5	44	39	605	16	101	9	73	69	823	21,866,422

※〔交付金〕は社会資本整備総合交付金事業

除雪業務委託先

(株)北條組須坂支店・(有)筑波道路・マツナガ建設(株)・(株)ハヤシコーポレーション・(株)浦野商会・市川建設(株)・相原建設(株)・(有)河東工業・(有)東工務店・(有)アースコン・藤沢電気工業(株) (11 社)

排雪業務委託先

(株)北條組須坂支店・(有)筑波道路・マツナガ建設(株)・(株)ハヤシコーポレーション・(株)浦野商会・相原建設(株)・(有)河東工業・(有)東工務店・藤沢電気工業(株)・(有)アースコン・市川建設(株)・(株)旭建設・旭日管機(株)・(有)田中興業・須高建設(株)・水越建設(株)・(株)中沢工務店・宮澤建工・(株)信東産業・(有)明峰・(株)巴工業・(株)井中工業・岡田産業(株)・(株)青葉組・(株)環境クリエーション・陣工建・幸興業・(有)ACEN・(株)MIYABI・西田管業(株)・(有)羽生田建業・(株)タマキ・(株)樋口建設・須坂土建工業(株)・村山建設(株)・(有)二幸商事 (36 社)

(2) 凍結防止剤散布

地 区		散布日数 (日)	散布延長 (km)	散布量 (kg)	委託料 (円)
峰の原高原	委託	77	1,871	65,500	除雪委託に含む
市街地		23	1,413	24,000	440,000
東地区(峰の原地区を除く)		13	2,211	43,500	1,922,964
	直営	3	106	1,000	直営
市内				21,300	市民の方へ配布
計		116	5,601	155,300	2,362,964

※峰の原地区は除雪・凍結防止剤散布を合わせて(一財)仁礼会へ委託

※市街地は、(公社)須高広域シルバー人材センター委託

※東地区は、平成30年12月から平成31年3月まで須坂市建設業協会へ委託

2 備品の購入状況

(1) 除雪機械等の購入

機 種	規格・仕様	数量	金額 (円)	備考
中型除雪機	11.8PS、83 t/h 除雪幅 92 cm	2 台	1,192,488	塩野町、仁礼町へ譲与

機 種	規格・仕様	数量	金額 (円)	備考
小型除雪機	8.6 PS、55 t/h 除雪幅 71 cm	3 台	1,041,492	豊丘上町、高梨町、小島町へ譲与
凍結防止剤散布車	2.5m3 級	1 台	25,704,000	辺地債 峰の原高原除雪組合へ貸与

3 除雪事業に伴う設計業務委託

業務内容	委託先	事業か所	事業内容	事業費 (円)
辺地対策事業 峰の原高原除雪基地建設工事監理業務委託	R R A 宮本設計	峰の原高原	監理 一式	1,188,000

4 機器賃借

業務内容	委託先	配置か所	事業内容	事業費 (円)
除雪機械 除雪ドーザ 8 t 級 除雪グレーダー 3.1m 級	(株)前田製作所	(有)筑波道路 相原建設(株)	2 台	3,123,936

5 除雪事業に伴う工事請負費

業務内容	委託先	事業か所	事業内容	事業費 (円)
辺地対策事業 峰の原高原除雪基地建設工事	村山建設(株)	峰の原高原	建設 一式	74,239,200

■ 道路維持補修事業

単位：円

当初 予算額	90,000,000	予算 現額	120,000,000	決算額	119,031,085	前年度 決算対比	170.0%	前年度 決算額	70,012,024
-----------	------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

道路施設等を適切に維持管理することで、安心安全な住環境整備を確保する。

II 事業の成果等

道路、側溝等の維持修繕や道路パトロールによる道路補修を行い、安心安全な住環境整備を図った。

III 事業の実績

1 道路維持・修繕工事等の実施状況

事業名	件 数	事業か所	事 業 内 容	事業費 (円)
道路修繕工事	小規模工事等 26 件	市内一円	路肩・擁壁・土留め等修繕	15,422,400
側溝修繕工事	小規模工事等 14 件	市内一円	蓋・側溝・集水桝等修繕	6,401,160
水路修繕工事	小規模工事等 18 件	市内一円	水路修繕	12,972,960
舗装修繕工事	小規模工事等 35 件	市内一円	オーバーレイ工、舗装打換工等	77,657,400
計	93 件			112,453,920

2 道路舗装・補修の状況

原材料費 5,623,720 円

(内訳) 直営等による実施 5,490,135 円

手づくり普請による支給実施 133,585 円

3 道路パトロールに基づく対応状況

区 分	件数 (件)	割合 (%)
側溝・水路補修	11	2.0
路面・路肩補修	430	79.0
土砂・ごみ処理	85	15.6
その他 (倒木撤去等)	18	3.4
計	544	100.0

4 路面清掃（直営）

スィーパー（路面清掃車両）による路面清掃 稼働日数 10 日 延長 404 km

5 維持管理に伴う測量調査業務委託状況〔市単独事業〕

業務内容	委託先	事業場所	事業内容	事業費（円）
市道新田松川線土質調査業務委託	ワールド開発(株)	松川町	調査 一式	499,845
市道関谷湯河原線土質調査業務委託	(株)HOJYO コーポレーション	仁礼町	調査 一式	453,600
計				953,445

8-2-3 (目) 道路新設改良費

単位：円

当初予算額	212,060,000	予算現額	184,288,000	決算額	116,343,196	前年度決算対比	31.1%	前年度決算額	373,766,234
-------	-------------	------	-------------	-----	-------------	---------	-------	--------	-------------

■ 道路改良事業

単位：円

当初予算額	205,560,000	予算現額	182,338,000	決算額	115,282,801	前年度決算対比	31.1%	前年度決算額	370,914,758
-------	-------------	------	-------------	-----	-------------	---------	-------	--------	-------------

I 事業の目的

道路は地域経済を支え、市民生活を維持するために欠くことのできない施設であるため、幹線道路から生活道路まで計画的・機能的に整備を図る。

II 事業の成果等

事業推進にあたり建設コストの縮減や、円滑な事業執行による遅延コストの縮減に努め、各町からの要望事項や整備場所について限られた事業費の中で計画的に実施した。

III 事業の実績

1 市道の新設改良・側溝改良工事等の実施状況

(1) 道路新設改良

事業名	事業場所	事業内容	事業費（円）
橋梁長寿命化修繕事業	野辺町	〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕 工 事 上鮎川橋修繕工事 L=49.75m 7,560,000 円	7,560,000
高甫南原線	野辺・村石町	〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕 工 事 L=530.0m 37,044,000 円	37,044,000
橋梁長寿命化修繕計画更新事業	市内一円	〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕 委 託 1 件 4,241,160 円 委託先 (株)アスコ大東長野営業所	4,241,160
米持東中学校線	夏端町	〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕 工 事 道路改良工事 L=175.0m 24,656,400 円 (うち、31 年度への繰越明許) 16,156,400 円 用 地 2 件 153,095 円	8,500,000 153,095
		〔市単独事業〕 委 託 1 件 486,000 円 委託先 (株)テクノマップ長野	486,000

事業名	事業場所	事業内容	事業費（円）
北組沖1号線	小河原町	〔社会資本整備総合交付金事業（狭あい）〕 工 事 H29 年度繰越 L=129.8m 6,000,000 円 道路改良工事 L=165.0m 5,022,800 円	11,022,800
		〔市単独事業〕 委 託 1 件 329,400 円 委託先 (株)ダイエー測量設計	329,400
郷原1号線外	大谷町	〔市単独事業〕 測 量 郷原1号線外2路線 用 地	9,968,400 4,181,760 1,728,986
御蔵町穀町線外	穀町	〔国土強靱化〕 測 量 449,000 円 (うち、31 年度への繰越明許) 側溝改良工事 L=520.0m 49,571,000 円 (うち、31 年度への繰越明許)	

(2) 道路側溝新設改良

事業名	事業場所	事業内容	事業費（円）
南小河原町水路改良工事	南小河原町	水路改良工 L=77m	8,272,800
市道高畑北小河原線水路改良工事 ほか5件	小河原町 ほか5件	水路改良工 一式	6,706,800

(3) 辺地対策事業

事業名	事業場所	事業内容	事業費（円）
市道峰の原線側溝改良工事に伴う 測量設計業務委託	峰の原高原	測量設計業務 一式	496,800
市道峰の原線側溝改良工事		委託先 (有)須高測量 水路改良工 L=159m	14,256,000
市道峰の原線側溝改良工事に伴う 付帯工事		附帯工 一式	334,800

■ 屋代線跡地活用事業

単位：円

当 初 予算額	500,000	予算 現額	500,000	決算額	490,155	前 年 度 決算対比	108.6%	前年度 決算額	451,368
------------	---------	----------	---------	-----	---------	---------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

長野電鉄旧屋代線跡地活用基本構想に基づき、活力ある地域づくりと交通体系の充実を図る。

II 事業の成果等

定期的な草刈により、適正な維持管理ができた。

III 事業の実績

維持管理のため旧屋代線跡地の除草等業務委託 (公社) 須高広域シルバー人材センター 490,155 円

■ 県事業負担金

単位：円

当 初 予算額	6,000,000	予算 現額	1,450,000	決算額	570,240	前 年 度 決算対比	23.8%	前年度 決算額	2,400,108
------------	-----------	----------	-----------	-----	---------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の実績

事業名	路線名	事業費	事業内容
県単道路改築事業	(国)406号 (仁礼町)	工事費 3,801,600円 負担工事費 570,240円	道路改築

※工事費×15%

8-2-4(目)交通安全施設費

単位：円

当初 予算額	8,000,000	予算 現額	9,800,000	決算額	9,774,702	前年度 決算対比	109.9%	前年度 決算額	8,895,657
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

■ 交通安全施設整備事業

単位：円

当初 予算額	8,000,000	予算 現額	9,800,000	決算額	9,774,702	前年度 決算対比	109.9%	前年度 決算額	8,895,657
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

市道に付帯する交通安全施設を整備することにより、安全で円滑な交通の確保を図る。

II 事業の成果等

道路反射鏡、防護柵、視線誘導標、区画線等の交通安全施設の設置整備を行い、道路を通行する人や車両の安全向上を図った。

III 事業の実績

1 交通安全施設の整備状況

区分	種別	新設工事		修繕工事	
		数量	事業費(円)	数量	事業費(円)
道路反射鏡	カーブミラー	37基	3,217,840		
防護柵	ガードレール等	10m	332,610		
	ガードパイプ等	4か所	520,417	1か所	19,398
視線誘導標	ポストコーン等	25か所	830,438	1か所	103,553
	標識等	11か所	896,404	1か所	103,396
区画線	中央線、外側線、 ドットライン			5,689m	1,440,651
その他	路面標示(停止線等)	3か所	94,771	54か所	881,221
	カラー舗装等			599m	1,033,639
	標示撤去等			3か所	208,942
計			5,892,480		3,790,800

8-3-1(目)河川総務費

単位：円

当初 予算額	17,472,000	予算 現額	23,002,000	決算額	22,937,055	前年度 決算対比	133.0%	前年度 決算額	17,244,205
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 河川管理事業

単位：円

当初 予算額	3,647,000	予算 現額	8,668,000	決算額	8,628,563	前年度 決算対比	245.6%	前年度 決算額	3,513,904
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

河川堤防等の強化改修を期するため、関係機関への陳情の実施により流域の災害を未然に防ぎ、住民の生命財産を洪水等の被害から守り民生の安定を図ると共に河川愛護のための事業推進を図る。

II 事業の成果等

- 千曲川堤防対策期成同盟会及び千曲川改修期成同盟会の一員として、千曲川改修事業及び市内河川の内水対策促進のため、関係市町村と共に、国土交通省、地元選出国會議員、県議會議員、建設事務所長へ要望を行い、整備促進が図られた。
- 豊丘ダム周辺の公園の清掃草刈等の業務委託を行い環境美化が図られた。
- 水路修繕と、住民による清掃が困難な暗渠等の浚渫を行い環境改善が図られた。

III 事業の実績

1 国、県への陳情活動

月 日	内 容	陳情等先
7 月 18 日	千曲川本堤防及び低水護岸の早期強化改修促進について 〔千曲川堤防対策期成同盟会〕 会員 50 名、来賓 12 名	千曲川河川事務所長、 (長野及び中野出張所長含む) 地元選出国會議員、県議會議員、 須坂建設事務所長
7 月 26 日	中央要望活動 〔千曲川改修期成同盟会〕 2 名参加	国土交通省、財務省、地元選出国會議員
7 月 27 日	千曲川改修整備の促進について 〔千曲川改修期成同盟会〕 4 名参加	北陸地方整備局
11 月 7 日	北陸直轄河川治水期成同盟会連合会 長野県治水事業整備促進意見交換会 〔千曲川改修期成同盟会〕 3 名参加	北陸地方整備局
11 月 19 日	千曲川右岸堤防改修事業について 18 名参加	北陸地方整備局

2 豊丘ダム周辺の公園の環境美化業務

事 業 名	事 業 内 容	委託先	事業費 (円)
豊丘ダム周辺環境整備委託	豊丘ダム周辺の公園の清掃・草刈等	豊丘地域づくり推進委員会	760,000

3 水路浚渫工事の実施状況

事 業 名	事業か所	事 業 内 容	事業費 (円)
小島町内水路浚渫工事外 4 件	小島町外	水路等浚渫 7 か所	1,972,080

4 河畔林整備工事の実施状況

事 業 名	事業か所	事 業 内 容	事業費 (円)
県単河畔林整備事業 準用河川山崎川河畔林整備工事	坂田町・穀町	河畔林整備工 L=370m	4,989,600

8-4-1 (目) 都市計画総務費

単位：円

当初予算額	1,097,266,000	予算現額	1,097,567,000	決算額	1,086,628,447	前年度決算対比	94.8%	前年度決算額	1,146,666,042
-------	---------------	------	---------------	-----	---------------	---------	-------	--------	---------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	7,415,000	予算 現額	5,997,000	決算額	5,865,878	前年度 決算対比	82.6%	前年度 決算額	7,100,481
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

- 1 須坂市都市計画マスタープランの基本理念・基本構想に基づき、都市計画道路や都市公園等の都市基盤整備を図り、第五次総合計画に盛り込まれた『みんなが快適に生活できるまちづくり』を推進する。
- 2 建築工事における設計・監督業務を実施する。

II 事業の成果等

- 1 農林漁業との健全な調和を図りつつ、健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動の確保のため、都市計画事務の適切な執行を行った。
- 2 他課等からの依頼により建築工事の設計・監督業務を行った。

III 事業の実績

1 都市計画審議会の開催

- (1) 同審議会事前説明会（都市計画マスタープラン改定等に関する説明会）

ア 開催日時 11月14日

イ 開催場所 須坂市役所3階305会議室

ウ 説明案件

(ア) 須坂市都市計画マスタープランの改定について

(イ) 須坂長野東インターチェンジ周辺開発の進捗状況について

2 都市計画施設の区域内における建築許可（都市計画法第53条第1項）

都市計画施設名	許可件数(件)
3・5・3号 駅前線	1
3・5・9号 井上線	1
3・4・4号 山田線	1
合 計	3

3 建築確認申請に伴う道路証明件数

区 分	住 宅		その他	
	件数(件)	面積(㎡)	件数(件)	面積(㎡)
新 築	150	16,906.97	11	2,376.43
増 築	26	6,614.78	12	42,272.62
(うち増築 部面積)	-	(2,420.43)	-	(1,707.54)
改 築	4	272.77	0	0.00
用途変更	0	0.00	2	280.74
合 計	180	23,794.52	25	44,929.79

4 東地区における届出件数

- (1) 確認申請件数 0件
- (2) 建築工事届出件数 19件

5 宅地開発計画協議件数 16件

6 開発行為の許可等の件数

- | | |
|------------------|-------------------------|
| (1) 都市計画法第 29 条 | 19 件 (うち 34-11 適用は、9 件) |
| (2) " 第 43 条 | 11 件 (うち 34-11 適用は、8 件) |
| (3) " 施行規則第 60 条 | 41 件 |
| (4) " 第 42 条 | 0 件 |

7 建築工事の設計・監督業務の状況

区 分	設 計 (件)	監 督 (件)
総 務 課	7	3
財 政 課	7	0
福 祉 課	4	0
高 齢 者 福 祉 課	3	0
市 民 課	7	0
生 活 環 境 課	2	2
生涯学習スポーツ課	16	4
中 央 公 民 館	5	0
農 林 課	2	0
商 業 観 光 課	20	0
道 路 河 川 課	2	2
ま ち づ くり 課	2	1
学 校 教 育 課	25	11
子 ど も 課	7	0
消 防 本 部	5	3
選 挙 管 理 委 員 会	1	0
合 計	115	26

■ 調査・計画策定事業

単位：円

当 初 予算額	11,061,000	予算 現額	11,061,000	決算額	299,859	前 年 度 決算対比	1.4%	前年度 決算額	21,002,002
------------	------------	----------	------------	-----	---------	---------------	------	------------	------------

I 事業の目的

須坂市都市計画マスタープランの基本理念・基本構想に基づき、都市計画道路や都市公園等の都市基盤整備を図り、第五次総合計画に盛り込まれた『みんなが快適に生活できるまちづくり』を推進するため、調査、計画策定を行う。

II 事業の成果等

- 1 長野都市圏の新たな総合都市交通計画を策定するため、2017 年度に作成された計画案について幹事会、委員会、協議会にて検討が行われ、新たな交通計画が策定された。
- 2 県が行っている第 7 回目の区域区分（線引き）の定期見直しに伴い、都市計画法第 15 条の 2 第 2 項の規定に基づき、県に対し関係資料の提出等により協力を行った。
- 3 須坂市の都市計画の基本的な方針を示すため、都市計画法第 18 条の 2 の規定に基づき 2000 年度に策定（2011 年度に一部改定）された「須坂市都市計画マスタープラン」について、2017 年度に引き続き改定に向けた取り組みを進め改定案を作成した。
- 4 須坂長野東インターチェンジ周辺地区の開発を推進するため、プロジェクトチーム会議を開催するなど関係課が連携し、土地利用の調整に向けて地域未来投資促進法に基づく土地利用調整計画を作成し県の同意を得た。

Ⅲ 事業の実績

1 長野都市圏の新たな総合都市交通計画の策定

第2回調査から概ね10年が経過し、今後、大幅に減少する人口と高齢化の進展、また2015年3月の北陸新幹線（長野ー金沢）開業による交流人口の増加など、都市圏を取り巻く社会や経済の状況が大きく変化していることから新たな総合都市交通計画を策定する。

2018年度は、2017年度に作成された計画案についてパブリックコメントを実施した。また、意見集約を行い、幹事会、委員会及び協議会で検討を重ね、新たな総合都市交通計画を策定した。

(1) 長野都市圏総合都市交通体系調査負担金 1,721 円

(2) 幹事会 8月1日、8月28日、12月6日

(3) 委員会 1月10日

(4) 協議会 3月13日

2 第7回区域区分（線引き）の定期見直しによる市の原案作成

2017年度から県が行っている第7回目の区域区分（線引き）の定期見直しに伴い、都市計画法第15条の2第2項の規定に基づき、県に対し関係資料の提出等により協力を行った。2018年度は、県の見直し方針に基づき須坂都市計画区域に関する人口及び産業フレームについて、都市計画基礎調査の結果などを踏まえた市の原案作成を行い、県へ資料提供を行った。

3 須坂市都市計画マスタープランの策定

須坂市都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2の規定に基づき2000年度に策定（2011年度に一部改定）された。社会・経済情勢が大きく変化する中、2020年に目標年次を迎えることや、須坂長野東インターチェンジ周辺地区において土地利用の変更が求められていることなどから、時代の変化に対応した、新たな将来都市像を描き、その実現のためのまちづくりの基本的な方針を示すため、2040年を目標年次とする計画の全面改訂について2017年から着手している。

2018年度は、市民等からの様々な意見を反映し、改定案の策定を行った。2017年度に実施した都市計画基礎調査の調査結果をはじめとした現状分析に基づき、須坂市都市計画マスタープラン検討委員会を開催して改定案の策定に向けて素案を作成し、地域づくり市民会議やパブリックコメントにより素案に対する市民からの意見を募集した。

また、須坂市都市計画審議会の委員を対象とした説明会を開催し、素案に対する委員からの意見を求めるとともに、上位計画との整合を図るため、長野県知事へ協議を行った。

(1) 委託関係

業務名	委託先	業務内容	委託料（円）
平成29年度 須坂市都市計画マスタープラン・土地利用調整計画作成業務委託	国際航業（株） 長野営業所	都市計画マスタープラン・土地利用調整計画作成	24,840,000 円 （うち、債務負担契約による30年度支払額9,861,480 円を、全額31年度への繰越明許）

(2) 庁内調整会議 5月30日、9月25日、1月21日

(3) 検討委員会 6月27日、10月3日、2月5日

(4) 地域づくり市民会議（全12回） 7月～8月

(5) 須坂市都市計画審議会事前説明会 11月14日

(6) 長野県知事協議 2月20日（回答3月29日）

(7) パブリックコメント 3月11日～29日

4 須坂長野東インターチェンジ周辺地区の開発に向けた取り組み

須坂長野東インターチェンジ周辺地区の開発を推進するためプロジェクトチーム会議を開催し、開発手法の検討などを行った。

また、土地利用の変更に向けた取り組みとして、地域未来投資促進法に基づく特例措置を受けるため、平成29年度に策定された長野県須坂市地域基本計画に基づき、高速道路西側の開発予定地に関して土地利用調整計画を作成し長野県の同意を得た。これにより、農振除外及び農地転用に向けて一定の目途が付いた。

- (1) 須坂長野東インターチェンジ周辺地区開発推進プロジェクトチーム会議開催（3回） 4月11日、11月19日、2月21日
- (2) 県との協議（14回） 6月28日、8月28日、11月2日、11月8日、11月9日、12月13日、12月14日、12月21日、1月7日、1月11日、1月17日、1月21日、1月25日、2月20日
- (3) 国との協議（3回） 8月24日、11月28日、1月24日
- (4) 長野県警との協議（2回） 12月27日、1月16日
- (5) 先進都市視察 9月19日（福井県永平寺町）、9月20日（広島県広島市）
- (6) 地域未来投資促進法に基づく土地利用調整計画への県同意 2月12日
- (7) 関係地権者説明会（4回） 2月21日、22日（両日とも、14:00 井上地域公民館、19:00 メセナホール小ホール）
- (8) 市民説明会（1回） 3月20日（19:00 メセナホール小ホール）

■ 蔵の町並みキャンパス運営助成事業

単位：円

当初予算額	900,000	予算現額	900,000	決算額	900,000	前年度決算対比	94.7%	前年度決算額	950,000
-------	---------	------	---------	-----	---------	---------	-------	--------	---------

I 事業の目的

歴史と文化の遺産である蔵造り等の建物を活用し、須坂市を大学等のキャンパスとして学生が研究・交流する中で、21世紀を担う知の創出と情報発信を行う。また、文化・産業遺産として次世代へ継承するとともに、新たな研究・教育機能を持った都市づくりを産・学・官・民の協働により行う。

II 事業の成果等

13年目を迎えた蔵の町並みキャンパスは、信州大学工学部・教育学部、長野県立大学・長野県短期大学、清泉女学院大学、長野工業高等専門学校、文化学園大学、東京工科大学、名古屋大学の教員、学生の皆さんの参加により、それぞれの特色をいかした取組が行われた。

大学生等の来訪は、延約1,300人と前年と比べ増加し、賑わいの創出の一助となった。

III 事業の実績

1 蔵の町並みキャンパス推進協議会

- (1) 第1回推進協議会 5月29日
- (2) 第2回推進協議会 1月7日

2 蔵の町並みキャンパス作品展

- (1) 日程 5月12日～6月3日
- (2) 場所 旧上高井郡役所
- (3) 内容 信州大学工学部3年生「街区の再生」「民家の再生」「地域に関わるデザイン」作品展示
長野工業高等専門学校4年生
「須坂の蔵の町並み景観に配慮した木造住宅の設計」作品展示
長野工業高等専門学校5年生
「多世代が蔵の街で共存する集合住宅の設計」作品展示
長野県短期大学多文化コミュニケーション学科日本語日本文化専攻2年生
「ポストカード作品」作品展示

3 信州大学工学部建築学科

(1) 建築設計製図第4

ア 日 程 9月27日、10月4日・11日・18日、11月15日・22日・29日、12月6日・13日、
1月17日

イ 場 所 旧上高井郡役所及び現地

ウ テ ー マ 「街区の再生」「民家の再生」「工芸デザイン製図Ⅱ」
「街区の再生」春木町・太子町周辺の歴史的市街区を題材とする
「民家の再生」旧越家住宅を題材とする

エ 参 加 者 学生74人 教員5人 アシスタント2人 須坂景観づくりの会2人 計83人

(2) 建築心理学演習

ア 日 程 7月17日、11月20日、12月18日・26日、1月18日、3月27日

イ 場 所 須坂図書館

ウ 内 容 地域にかかわるデザイン（須坂図書館に設置する机・椅子の製作）

エ 参 加 者 学生9人 教員1人 計10人

4 信州大学教育学部

(1) 山岸研究室卒業研究

ア 日 程 11月17日

イ 内 容 歴史的建造物を活用した小学生を対象とした地域の歴史文化を学ぶ活動に関する研究
ー須坂市旧小田切家住宅を対象とした検討ー

ウ 参 加 者 大人3人 小学生4人 学生6人 教員1人 計14人

5 長野県立大学・長野県短期大学

(1) 長野県立大学健康発達学部

ア 日 程 9月21日

イ 内 容 体験学習（おやきづくり）
施設見学（塩屋醸造、旧小田切家住宅、蔵の町並み散策）

ウ 参 加 者 学生29人 教員4人 計33人

(2) 長野県短期大学多文化コミュニケーション学科日本語日本文化専攻学外行事

ア 日 程 6月20日

イ 内 容 施設見学（市内オープンガーデン2ヶ所、旧小田切家住宅、世界の民俗人形博物館、
須坂版画美術館）
ポストカードの作成

ウ 参 加 者 学生19人 教員3人 計22人

6 清泉女学院大学

(1) 日 程 10月27日、11月9日・10日

(2) 内 容 「まちづくりを文化の視点で考える」
八丁鎧塚祭り・文化財保存活用倉庫特別公開運営事業
行政（文化財担当）との意見交換、蔵の町並み散策

(3) 参 加 者 学生12人 教員1人 計13人

7 長野工業高等専門学校

(1) 建築設計製図（4年生）

- ア 日 程 4月23日
イ 場 所 旧小田切家住宅、須坂クラシック美術館、旧上高井郡役所ほか
ウ 内 容 建築設計製図Ⅰ 須坂の蔵の町並み景観に配慮した木造住宅の設計
エ 参 加 者 学生41人 教員1人 計42人

8 文化学園大学・東京工科大学「古民家再生プロジェクト」

(1) 夏季合宿

- ア 日 程 8月9日～13日
イ 内 容
（ア）古民家の再生（土間の改修・縁側の作成）
（イ）ワークショップの開催
a 開催日時 8月12日
b 開催場所 仁礼町古民家
c 開催内容 ドラム缶を使ったピザ釜製作とピザづくり
d 参 加 者 地元住民12人
ウ 参 加 者 学生15人 教員5人 副手3人 計23人

9 名古屋大学

- (1) 日 程 4月22日、5月27日、6月24日、7月22日、8月12日・26日、9月23日、
10月28日、11月25日、12月16日
(2) 内 容 「ICTの利活用による蔵の町の魅力発信と地域情報化」
須坂JAPAN健康応援教室、お花市出展
(3) 参 加 者 学生2名、教員2名、計4名

10 信州須坂の町並み魅力再発見フォーラム（共催事業）

- (1) 日 程 7月14日
(2) 内 容
ア 町並み散策
（ア）参 加 者 30名
イ シンポジウム
（ア）参 加 者 71名
（イ）開催内容 須坂の町並みの個性と魅力

11 蔵の町並みキャンパス成果発表会

- (1) 日 時 2月9日午後1時から4時30分
(2) 場 所 シルキー3階 シルキーホール（第1ホール）
(3) 発表内容
ア 清泉女学院大学
（ア）まちづくりを文化の視点で考える
イ 信州大学工学部建築学科
「民家の再生」
「街区の再生」
「工芸デザイン製図Ⅱ」
「地域にかかわるデザイン」

ウ 長野県立大学・長野県短期大学

(ア) 長野県立大学健康発達学部

「須坂の食材を使った伝統食と健康食」

(イ) 長野県短期大学多文化コミュニケーション学科日本語日本文化専攻

「旧小田切家住宅、世界の民俗人形博物館、

オープンガーデンは見どころ一杯～ポストカードにしました～」

エ 信州大学教育学部

「小学生を対象とした歴史文化を学ぶ活動による歴史的建造物の活用に関する研究

ー須坂市旧小田切家住宅を対象とした検討ー」

オ 文化学園大学・東京工科大学

「須坂市古民家再生プロジェクト『平成 30 年度活動報告』」

カ 名古屋大学

「ICTの利活用による蔵の町の魅力発信と地域情報化」

(4) 交流会 立食形式で開催し、交流を図った。

(5) 参加者数 約 150 人

12 主な成果物

(1) 長野県短期大学多文化コミュニケーション学科日本語日本文化専攻

ポストカード 14 枚×200 セット

(2) 信州大学工学部 建築学科

テーブル 3 台及び天板 4 枚 1 セット 椅子 6 脚 (須坂図書館に設置)

■ 公共下水道事業

単位：円

当初 予算額	986,500,000	予算 現額	986,500,000	決算額	986,500,000	前年度 決算対比	96.0%	前年度 決算額	1,028,000,000
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	---------------

I 事業の目的

下水道事業会計における処理施設の維持管理経費の不足分を負担することにより、同会計の健全性を確保し、処理施設の適切な維持管理に資する。

II 事業の成果等

下水道事業会計の健全な運営のため、補助金を支出した。

III 事業の実績

1 下水道事業会計補助金 986,500,000 円

■ 都市下水路維持管理事業

単位：円

当初 予算額	1,002,000	予算 現額	1,002,000	決算額	994,710	前年度 決算対比	100.0%	前年度 決算額	994,710
-----------	-----------	----------	-----------	-----	---------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

管路施設の適正な維持管理を行う。

II 事業の成果等

管路施設の点検、適正な維持管理を実施した。

III 事業の実績

事業名	事業場所	事業内容	事業費 (円)
中央都市下水路浚渫工事	馬場町	都市下水路浚渫工 一式	993,600
合 計			993,600

8-4-2 (目) 街路事業費

単位：円

当初 予算額	80,030,000	予算 現額	210,440,000	決算額	174,121,867	前年度 決算対比	55.8%	前年度 決算額	312,140,035
-----------	------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 街路整備事業

単位：円

当初 予算額	80,030,000	予算 現額	88,611,000	決算額	52,292,867	前年度 決算対比	17.1%	前年度 決算額	306,684,027
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

幹線道路の役割を果たす街路を整備することにより、中心市街地の活性化、円滑な交通網の形成と安全な交通の確保及び都市防災機能の向上を図る。

II 事業の成果等

八町線(泉小路) について、道路事業用地の買収や道路改良工事を実施し、事業の推進を図った。

III 事業の実績

事業名	事業費及び事業内容	事業費(円)
八町線	〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕 (29年度繰越明許費)	
	工事 2件	64,204,124円
	用地 3件	7,125,569円
	補償 10件	50,499,307円
	〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕	
	工事 29年度繰越道路改良	
	その1 L=158.3m W=16.0m	38,470,800円
	(現年増工分)	9,493,200円
	その2 L=165.0m W=16.0m	25,733,324円
	(現年増工分)	8,350,560円
	舗装工事	38,803,760
	歩道舗装等 L=193.0m	48,006,000円
	(うち、31年度への繰越明許)	30,306,000円
	道路改良工事	
	2工区 L=56.4m W=16.0m	9,255,600円
	(うち、31年度への繰越明許)	5,995,600円
	用地 1件	4,605,300円
	補償 9件	8,873,807円
計		174,111,867

8-4-3 (目) 公園事業費

単位：円

当初 予算額	15,897,000	予算 現額	15,083,000	決算額	14,717,877	前年度 決算対比	101.0%	前年度 決算額	14,573,619
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 公園管理事業

単位：円

当初 予算額	5,719,000	予算 現額	5,305,000	決算額	5,034,661	前年度 決算対比	97.4%	前年度 決算額	5,170,369
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

安心で安全な公共施設として市民に親しまれる憩いの場となる公園づくりを推進する。

II 事業の成果等

- 1 遊具の管理は、専門技術者による年1回の定期点検や職員による毎月の日常点検を行い、点検結果に基づいて修繕等の安全管理を図った。
- 2 公園の施設管理は、施設修繕のほか樹木枯枝の整枝剪定及び草刈り等の清掃委託などにより、誰もが安心して気持ちよく利用できる公園に努めました。

III 事業の実績

1 都市公園等の管理

(1) 修繕関係

修繕件名	修繕内容	修繕料 (円)
芝宮中央公園公衆トイレ男子便器修繕	男子トイレ便器修繕	16,740
塩川上部公園時計修繕	時計修繕	145,800
新町公園ベンチ修繕	ベンチ修繕 (2脚)	120,960
屋部団地幼児公園B複合遊具修繕	丸太吊り橋落下防止ネット修繕	45,360
光ヶ丘ニュータウン公園防球ネット修繕	防球ネット修繕	114,264
夏端南公園フェンス修繕	フェンスの基礎クラック部撤去	17,820
屋部団地幼児公園B複合遊具修繕	滑り面ローラー交換	27,000
明德団地公園ブランコ修繕	ブランコシャフトピン交換	5,400
チェンソー修繕	チェンソー修繕	59,400
北山道公園砂場縁石修繕	砂場縁石修繕	8,640
蒔田公園東南防風防球ネット修繕	防風防球ネット修繕	156,027
八木沢公園遊具塗装修繕	健康遊具塗装	17,820
芝宮中央公園公衆トイレ解体工事等修繕	公衆トイレの解体及び手洗い場設置	222,687
合 計		957,918

(2) 委託関係

事業名	委託先	事業内容	委託料 (円)
臥竜山緑地公園土手部松伐採	協同組建匠須高	枯れた松の伐採	92,880
豊丘イズミ団地公園緑地内竹藪枝おろし	協同組建匠須高	竹の伐採	113,400
八幡児童公園ケヤキ枯枝除去及び道路側枝下し業務	長野森林組合	ケヤキの枝伐採	593,784
塩川上部公園藤棚剪定	協同組建匠須高	藤の剪定	12,960
公園砂場清掃業務	(株) 東洋安全防災	砂場清掃 (中央、森田、長者、田の神、北山道、蒔田、宮原、塩川上部、旭ヶ丘、旭ヶ丘ニュータウン団地、日滝原団地、サンライズ須坂団地、市営住宅A、B)	442,800
公園遊具点検業務	日本体育産業(株)	公園遊具点検 (長者西除く13街区公園、16 開発行為公園、5 市営住宅公園その他公園1)	494,640

事業名	委託先	事業内容	委託料（円）
公園等の管理業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	草刈り、巡回見回り、清掃、搬出、切り分け、耕運	724,146
都市公園清掃業務	NPO 法人 障害者サポートクラブ ゆめ	清掃作業、遊具見回り（森田、八幡公園）	195,750
合 計			2,670,360

(3) 遊具の新設工事

事業名	事業内容	事業費（円）
八幡公園スプリング遊具新設	スプリング遊具設置（1 台）	432,000

(4) 遊具の点検記録、遊具履歴書の作成

点検を行った結果について、点検の状況を記録簿に整理して保管した。

また、点検結果により修繕、交換等の安全対策を行った場合には履歴簿に記入して保管した。

(5) 育成会による街区公園の管理

公園名	謝礼先	管理業務	清掃日	謝礼金（円）
中央公園	春木町	草刈り、ごみ拾い	年 1 回	1,500
中央公園	馬場町	〃	年 1 回	1,500
八幡公園	八幡町	〃	年 1 回	1,500
森田公園	高橋町	〃	年 2 回	1,500
塩川上部公園	塩川町	〃	年 2 回	1,500
長者公園				
蒔田公園	高梨町	〃	年 3 回	1,500
田の神公園	田の神町	〃	年 1 回	1,500
旭ヶ丘公園	旭ヶ丘町	〃	年 1 回	1,500
合 計				12,000

(6) 土地貸借料

公園名	面積（㎡）	借入金（円）	土地所有者	契約終了期間
中央公園	385.96	90,000	芝宮墨坂神社	平成 31 年 3 月 31 日
八幡公園	3,541	201,000	墨坂神社	平成 31 年 3 月 31 日
百々川緑地公園	1,225	無料	中沢忠治	平成 31 年 6 月 25 日

2 河東線記念公園

平成 24 年に廃線となった長野電鉄旧屋代線跡地の活用と日常的な管理を行うため、近隣企業、地元自治区、市により設立した河東線記念公園運営協議会と管理運営業務契約を締結しました。また、長野県地域発元気づくり支援金を活用して同協議会をはじめ須坂創成高校の生徒や地域住民等の協働により公園の整備や同協議会が主催したイベントに協力した。

(1) 管理業務契約

ア 契約相手 河東線記念公園運営協議会（事務局 （株）サンジュニア）

イ 契約期間 平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

(2) 公園整備

芝張り、植樹、芝桜の植栽、花壇及び枕木を利用した歩道の整備

(3) 公園イベント

河東線記念公園完成式典 10 月 13 日 午前 9 時～12 時

青空マルシェ 11 月 23 日、3 月 23 日 午前 10 時～11 時

■ 花と緑のまちづくり事業

単位：円

当初 予算額	10,178,000	予算 現額	9,778,000	決算額	9,683,216	前年度 決算対比	103.0%	前年度 決算額	9,403,250
-----------	------------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

市民参加による花を育て愛する感性ある人づくりによって、快適な生活環境と訪れる人にやさしく温かい魅力ある「ふるさと」となるまちづくりを推進する。

II 事業の成果等

- 市内の花壇やフラワーロードは、80 か所を超えている。この花づくりに対する成果が認められ「みどりの愛護」功労者表彰（建設大臣及び国土交通大臣表彰）は、これまでに 17 団体が受賞し対外的に高い評価を得ている。
- オープンガーデンの取組みは、市街地と峰の原高原で 45 庭園の皆さんに参加をいただいている。
各庭園を紹介する「信州須坂オープンガーデン」マップを作成し、市内の公共施設等へ設置及び市外のオープンガーデン取組み団体へ送付し情報発信に努めた。その結果、県内外から多くのお客様が訪れ、花に関する情報交換が行われた。また、「オープンガーデンマップのウェブ版」を作成し、ホームページで公開している。
- 国道 403 号線の須坂長野東 I C から幸高町信号までの道路改良に伴い、ボランティア及び井上小学校児童と親との協働により、道路沿いの花壇にカンナやブルーサルビアを植栽することにより、地域を美化する心と須坂を訪れる方の心を和ませることができた。また、須坂駅前ロータリー花壇についてもボランティアグループとの協働により、四季の花を植栽して駅前の活性化に努めた。

III 事業の実績

1 花壇等の整備

事業内容	場所	備考
花壇の整備	八重森花壇	アジサイ、ラベンダー等の宿根草
	市役所東交差点花壇	チューリップ他
	須坂駅前ロータリー花壇	須坂ガーデンプラネットのボランティア活動により季節ごとに葉ボタン、ダリア、パンジー等の植栽を実施
	ちょうちん屋南側花壇	ジニア、チューリップ等
フラワーロードの整備	県道長野須坂インター線（上八町 大宮橋付近～仁礼町 枋倉下橋）約 1.1 km	須坂建設事務所、須坂創成高校の協力を得て、サルビア 8,000 本、琉球アサガオ 250 本を植栽、抜根を実施
	国道 403 号線（幸高町信号～須坂長野東 I C）両側花壇 700m	井上区、幸高区、アイフルホーム須坂店、J Aながの井上支所、井上小学校児童及び親、ボランティア、須坂建設事務所との協働により、かんな 2,800 株、ブルーサルビア 2,000 本を植栽、堀上等を実施

2 花壇等の管理委託

事業名	事業内容	委託先	委託料（円）
花壇等の管理業務	株分け、耕運、草刈	（公社）須高広域シルバー人材センター	368,988

3 花苗の援助等

(1) 花苗の援助

援助の対象	援助を受けた団体等	援助花苗
花壇関係	小山町友和会ほか 32 団体	サルビア（赤、青）、マリーゴールド（オレンジ、黄）アゲラタム、ペコニア（赤、白、ピンク）、日々草（赤、白、ピンク）
プランター関係	望岳台区自治会ほか 15 団体	
合計 49 団体（重複団体あり）		20, 279 本

(2) カンナの球根支援

市内外を含め、51 団体・個人に対しカンナの球根（22, 000 株）の支援を行った。

4 第 22 回須坂市花のまちづくりコンクール

(1) 募集期間 9 月 3 日～9 月 26 日

(2) 応募数・入選数

部門		応募数	入選数
ア	大規模花壇の部	11 点	5 点
イ	中規模花壇の部	10 点	3 点
ウ	小規模花壇の部	10 点	3 点
エ	プランターの部	7 点	3 点
オ	学校の部	7 点	5 点
合 計		45 点	19 点

(3) 審査日 事務局による一次審査 10 月 5 日

委員による審査会 10 月 12 日

(4) 審査結果

ア 大規模花壇の部

最優秀賞	南原町老人クラブ寿会
優秀賞	上八町老人クラブ明徳長寿会 仁礼宿・花いちもんめの会
奨励賞	邑守の里・花の会 相之島町区

イ 中規模花壇の部

最優秀賞	相森町花街道同好会 A グループ
優秀賞	森上小学校 P T A 八幡町支部・八幡町子ども会
奨励賞	下八町シニアクラブ

ウ 小規模花壇の部

最優秀賞	小山町友和会
優秀賞	須坂駅前ビル「シルキー」管理組合
奨励賞	南小河原町長生会

エ プランターの部

最優秀賞	望岳台区自治会
優秀賞	森上小学校 P T A 東横町支部及び子ども会東横町老人クラブ「東寿会」
奨励賞	立町清交会

オ 学校の部

最優秀賞	日滝小学校
優秀賞	豊丘小学校
奨励賞	井上小学校 常盤中学校 東中学校

(5) 表彰式

10 月 31 日 市役所 305 会議室

5 コンテナガーデン・ハンギングバスケット作品展

(1) 展示期間・展示場所

5 月 25 日～5 月 27 日 ふれあい館「まゆぐら」

- (2) 出展数 8点
 ア コンテナガーデニングの部 8点
 イ ハンギングバスケットの部 0点

6 信州須坂オープンガーデン

- (1) 募集期間
 11月1日～12月3日
- (2) 参加庭園数
 42庭園（市街地 31庭園、峰の原高原 11庭園）
- (3) オープンガーデン実施期間
 通年（峰の原高原は6月1日～9月30日。各庭園の花等の状況による。）
- (4) オープンガーデンマップの作成
 以前はA4版であったマップを本年度よりA5版にサイズ変更を行いました。
 2019 信州須坂オープンガーデンマップを3月末に印刷 9,000部 750,384円
- (5) 参加者（庭園開放者）間の情報交換と交流の場作り
 ア 研修視察 7月11日 11人参加
 峰の原高原のオープンガーデン5軒、小諸市 サムズガーデン、夢ハーベスト農場
 イ 事業検討会 今年度の事業反省と今後について意見交換及び交流会を開催
 11月14日（水） 須坂市役所305会議室 11人参加
- (6) オープンガーデン参加者友の会16軒の有志による「おもてなしの日」開催
 6月2日～6月3日

7 ガーデンづくり講習会

- (1) 募集期間 3月1日～3月29日
- (2) 応募者 14人
- (3) 受講料 1回800円
- (4) 講師 野辺町 ガーデンソイル 片岡邦子氏、田口勇氏
- (5) 講習内容

回	月日	内容	場所	参加者数（人）
1	4月10日	全7回の総合説明、庭づくりの基本プラン	ガーデンソイル庭園	13
2	5月8日	宿根草と小低木の選び方と使い方	〃	12
3	6月5日	植物の植え方で変わる庭の雰囲気	〃	9
4	7月3日	最小限の手入れの仕方	〃	10
5	9月4日	峰の原高原のオープンガーデン参加者宅見学・秋の庭の楽しみ方	〃	6
6	10月2日	アンティークな小物を使ったコーナー作り	〃	9
7	11月6日	来春に向けての準備	〃	11

8 善光寺花回廊 ながの花フェスタ 2018

会場内で県内の市や町が特徴あるガーデンを設置し、各地の見どころを紹介する「各地からの花たより」のコーナーへ作品の出展を行った。

須坂創成高校の生徒と協働でりんごをイメージした花壇を出展しました。また、須坂市の観光PRポスターの展示やオープンガーデンマップの無料配布により観光客の誘致に努めた。

- (1) 出展期間 5月3日～5月5日
- (2) 出展場所 善光寺表参道（中央通り）周辺

9 カンナの花による交流

市内の花の植栽団体の他に長野市、信濃町、小川村などの団体へかんなの球根を提供することにより、各地で平和の花「かんな」を咲かせるカンナプロジェクトに協力しました。

10 マスコットキャラクター「かんなちゃん」の活用

花と緑のまちづくり事業のマスコットキャラクター「かんなちゃん」の着ぐるみを活用し、須坂市のイベントへの出演やインターネット総選挙へ応募してPRに努めた。

(1) 主な参加イベント

長野刑務所矯正展、スマイル・ママフェスタ、ドリームセーフティーフェスティバル、竜の里須坂健康マラソン、河東線記念公園完成式典他

(2) 貸出・活用回数 26回

(3) インターネット総選挙によるPR

ゆるキャラグランプリ 2018

主催：ゆるキャラグランプリ実行委員会 投票期間：8月1日～11月19日

ご当地部門 145位/507体中（昨年 165位/681体中）

8-4-4 (目) 臥竜公園管理事務所費

単位：円

当初予算額	142,434,000	予算現額	152,667,200	決算額	150,649,170	前年度決算対比	109.7%	前年度決算額	137,327,166
-------	-------------	------	-------------	-----	-------------	---------	--------	--------	-------------

■ 臥竜公園管理事業

単位：円

当初予算額	33,772,000	予算現額	40,585,200	決算額	40,155,659	前年度決算対比	143.5%	前年度決算額	27,983,263
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

I 事業の目的

市民の憩い、健康づくりの場である臥竜公園、百々川緑地及び望岳公園の適切な維持管理を行ない、快適で安全な環境整備に努める。また、市民との協働で臥竜公園の桜の樹勢回復、竜ヶ池の水質浄化及び花の植栽を進める。さらに博物館、南部地域公民館と連携し、臥竜公園の魅力向上を図るイベントを開催する。

II 事業の成果等

- 1 桜樹勢回復検討会を開催し、専門的見地から樹勢回復事業について実施内容等を決定し、臥竜公園桜守りの会や須坂創成高等学校の協力を得て、病害虫対策、EMボカシ肥の施肥、壺肥による土壌改良、整枝剪定を実施した結果、樹勢回復の傾向が見られた。
- 2 第7回臥竜公園フェスティバル実行委員会を、臥竜公園管理事務所、市立博物館、南部地域公民館、須坂市観光協会、博物館ボランティア会、臥竜公園商店会により結成し、7月29日、竜ヶ池周辺で様々なイベントを開催した。
 - (1) はじご車に乗ってみよう
 - (2) ボート無料開放
 - (3) ロバ（アイボン）の竜ヶ池散歩

- (4) 我竜神スザカイザーとのふれあい
- (5) かななちゃんとのふれあい
- (6) 世界の昆虫標本の販売
- (7) 紙芝居、親子灯ろう作り教室、折り紙教室、親子エコ体験教室
- (8) 臥竜公園商店会による割引サービス

3 前年度に引き続き竜ヶ池の水の入れ替えを行った結果、水質の改善が図られた。

4 臥竜公園の活性化（魅力アップ）対策として、長野県森林づくり県民税県民協働による里山の整備・利用事業を活用し、臥竜公園里山整備利用推進協議会（平成30年9月26日結成）や須坂創成高等学校の皆様と臥竜公園里山整備利用促進基本構想を策定した。また、臥竜山の樹木対策として長野県森林づくり県民税観光地等魅力向上森林景観整備事業を活用し、臥竜山の眺望を確保するための立木等の伐採や遊歩道沿いにある危険木、倒木等の景観保全森林整備を実施した。

5 竜ヶ池の浚渫や水質改善等の課題解決のため、社会資本整備総合交付金公園施設長寿命化対策支援事業を活用するため、臥竜公園竜ヶ池周辺施設長寿命化計画を策定した。

6 臥竜公園の更なる活性化や、臥竜公園への愛着心の向上及び愛護精神の高揚、環境意識の向上、地域の交流促進に資することを目的とし、長野県地域発元気づくり支援金を活用し、立入り防護柵の補修や樹木管理の協働事業をボランティアの皆様と実施した。

Ⅲ 事業の実績

1 竜ヶ池遊船所ボート貸出し関係

- (1) 池開き式 4月4日
- (2) 供用期間 4月4日から11月4日
6月～7月及び9月は月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）休み、10月1日～11月4日は、土曜日・日曜日・祭日のみ

(3) ボート使用状況

区 分	時間(分)	単価(円)	隻数(隻)	金額(円)
手漕ぎボート	30	250	1,062	265,500
	60	400	34	13,600
ペダルボート	30	500	2,872	1,436,000
	60	800	30	24,000
合 計			3,998	1,739,100

(前年度対比 92.0%)

2 親しまれる公園づくり

- (1) 臥竜公園さくらまつりゴミ拾いたい！ 4月1、8、15、22日 延べ200人参加（ごみ約20kg回収）
- (2) ブログ「臥竜公園の四季」、フェイスブック、ツイッター等による情報発信

3 桜の樹勢回復事業

(1) 臥竜公園桜守りの会

ア	4月7日～25日	さくらまつり期間中の桜ガイド（5回）	延5参加
イ	5月8日	コスカシバ防除作業（須坂創成高等学校と合同）	5人参加
ウ	9月26日	2018年度総会	7人参加
エ	11月15日	EMボカシ肥の作成作業	7人参加
オ	2月28日	EMボカシ肥の施肥作業	11人参加
カ	2月28日	2019年度総会	11人参加

(2) 桜樹勢回復検討会

ア	9月26日	現地踏査及び対策検討	10人参加
---	-------	------------	-------

4 臥竜公園の活性化（魅力アップ）対策事業

(1) 臥竜公園里山整備利用推進協議会

ア	9月26日	臥竜公園里山整備利用推進協議会発足準備会・設立	14人参加
イ	3月14日	第1回協議会	20人参加

5 長野県 地域発 元気づくり支援金を活用した協働事業

(1) 立入り防護柵の補修協働事業

ア	11月4日	動物園本園立入り防護柵ペンキ塗り	30人参加
---	-------	------------------	-------

(2) 樹木管理協働事業

ア	1月17日	墨坂中学校生徒及びボランティアの皆様と看板のアイディアソンの実施	50人参加
イ	3月16日	樹木（桜）看板設置	20人参加

6 都市公園等の管理状況

(1) 施設整備の実績

ア 修繕関係

事業名	事業内容	事業費（円）
仮設トイレ設置に伴う給排水設備改修	仮設トイレ設置に伴う給排水設備改修	87,480
望岳台公園水道施設修繕	水道施設破損に伴う修繕	20,284
臥竜公園複合遊具修繕	複合遊具 ワーム登り改善	27,000
臥竜公園観音橋落下防止柵修繕	観音橋の落下防止柵修繕	10,800
臥竜公園除草用草刈機修繕その1	草刈機の修繕	5,400
臥竜公園除草用草刈機修繕その2	草刈機の修繕	3,218
臥竜公園管理事業作業車両修繕	作業車両の修繕	64,551
臥竜公園除草用草刈機修繕その3	草刈機の修繕	7,560
動物園南園男子トイレ洗浄便座修繕	洋式トイレの洗浄便座故障に伴う修繕	38,232
臥竜公園遊歩道案内看板修繕	案内看板の破損に伴う修繕	86,400
臥竜公園蛍光水銀ランプ等修繕その1	水銀灯修繕	36,720
臥竜公園蛍光水銀ランプ等修繕その2	水銀灯修繕	10,800
臥竜公園除草用草刈機修繕その4	草刈機の修繕	4,320
臥竜公園管理事務所FAX修繕	FAX修繕	8,532
臥竜公園除草用草刈機修繕その5	草刈機の修繕	8,532
臥竜公園蛍光水銀ランプ等修繕その3	水銀灯修繕	42,120
臥竜公園男子トイレ小便器排水詰り修繕	小便器の排水詰り修繕	113,400
臥竜公園蛍光水銀ランプ等修繕その4	水銀灯修繕	62,640
臥竜公園事務所前女子トイレ便座修繕	洋式トイレの便座故障に伴う修繕	29,160
臥竜公園センサーライト修繕	東屋のセンサーライト修繕	25,920
臥竜公園蛍光水銀ランプ等修繕その5	水銀灯修繕	199,800
臥竜公園施設修繕	動物園獣舎囲い幕修繕	141,480
臥竜公園内修繕	水路及びベンチの修繕	97,200
合 計		1,131,549

イ 工事関係

事業名	事業内容	事業費（円）
竜ヶ池周遊路舗装工事	竜ヶ池の周遊路の舗装工事	2,710,800

(2) 委託業務の実績

業 務 名	委 託 先	業 務 内 容	委託料 (円)
竜ヶ池周辺施設長寿命化計画策定業務委託	東日本総合計画(株)長野支店	竜ヶ池及び竜ヶ池周辺施設の長寿命化計画策定業務	4,633,200
臥竜公園ごみ運搬処理業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	臥竜公園（動物園含む）で発生したゴミの運搬処理（年間）	265,594
廃棄物等収集運搬処理業務	(株)タケモト	花見期間中のゴミ収集運搬	46,440
臥竜公園清掃業務	NPO 法人 障害者サポートクラブゆめ	竜ヶ池周辺公衆トイレ（3か所）の清掃（年間）	273,000
百々川緑地清掃業務	(社福)育護会須坂技術学園	百々川緑地の清掃（年間）	365,000
臥竜公園の桜樹勢回復業務	(公財)日本花の会	樹勢回復に向けた肥料作り、技術指導等（年間）	495,800
百々川緑地除草業務	協同組建匠須高	百々川緑地の除草（年5回）	2,995,315
百々川緑地ニセアカシヤ等伐採除去業務	協同組建匠須高	百々川左岸のニセアカシヤ等伐採除去	120,960
臥竜公園内除草等業務	(有)日新グリーン	多目的広場等の除草等	428,760
臥竜山北斜面除草業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	山びこ幼稚園付近の市道沿いの除草	4,578
竜ヶ池水質調査業務	(株)公害技術センター	竜ヶ池の遊船所前及びあずまや前の水質調査（6項目、年4回）	77,760
事業所排水水質検査	(一社)長野市薬剤師会	動物園排水水質検査（4か所）	38,880
事業所排水水質調査	(株)環境クリエーション	動物園排水対策用水質調査	44,280
公園遊具点検業務	日本体育産業(株)	臥竜公園、動物園南園、望岳公園の遊具点検	153,360
臥竜公園桜土壌改良業務	(有)日新グリーン	壺肥 150 穴	475,200
観光地等魅力向上森林景観整備事業臥竜山支障木伐採業務	長野森林組合	森林づくり県民税を活用し臥竜山の危険木や枯木、被害木等伐採し景観森林整備の実施	378,000
臥竜公園桜整枝剪定業務	(有)日新グリーン	桜の整枝剪定（秋、冬）	941,760
臥竜公園内台風 21 号による倒木処理業務委託	(有)日新グリーン	台風21号による倒木した処理	475,200
百々川緑地松剪定業務その1	(有)日新グリーン	百々川緑地松の剪定	490,320
臥竜山折損木伐採整理業務	長野森林組合	もみじ谷付近の折損木の伐採整理	61,689
百々川緑地松剪定業務その2	(有)日新グリーン	百々川緑地松の剪定	492,480
望岳台公園イチョウ整枝剪定業務	(株)井中工業	望岳台公園イチョウ整枝剪定業務	29,160
臥竜公園支障木伐採・運搬業務	長野森林組合	臥竜橋東側の支障木伐採・運搬業務	18,360
臥竜山満蒙開拓碑付近支障木伐採業務	長野森林組合	満蒙開拓碑付近支障木伐採	29,700
臥竜山支障木伐採業務	長野森林組合	臥竜山昇竜坂等の支障木伐採	108,000

業 務 名	委 託 先	業 務 内 容	委託料 (円)
百々川緑地松剪定業務その3	(有)日新グリーン	百々川緑地松の剪定	492,480
百々川緑地松剪定業務その4	(有)日新グリーン	百々川緑地松の剪定	456,840
弁天島等剪定伐採業務	長野森林組合	弁天島等の折損木等の剪定伐採	496,800
臥竜山南斜面支障木伐採業務	長野森林組合	臥竜山南斜面等の折損木等の剪定伐採	83,160
百々川緑地松剪定業務その5	(有)日新グリーン	百々川緑地松の剪定	477,360
臥竜公園内支障木剪定伐採等業務	(有)日新グリーン	多目的広場等の支障木や折損木等の剪定伐採	389,880
望岳台公園松等剪定業務	(有)日新グリーン	松等の折損木等の剪定伐採	280,800
合 計			16,120,116

(3) 竜ヶ池の水の入れ替えを行った。(12月6日排水開始 2月22日入水開始)

■ 動物園管理運営事業

単位：円

当初予算額	53,960,000	予算現額	56,354,000	決算額	55,152,319	前年度決算対比	102.4%	前年度決算額	53,866,254
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

I 事業の目的

動物を見たり触れたりすることにより、動物への理解や関心を高め、生命の大切さや自然環境への理解を深める。

II 事業の成果等

- 「動物園代表動物選挙」や「動物園まつり」、「サタデー・ナイト・ズー」、「動物園でハッピーニューイヤー」等のイベントを実施するとともに、積極的なパブリシティを行い事業の充実と誘客宣伝を図った。
- 毎日「ふれあいタイム」や「動物の解説」等の定例イベントを実施し、来園者の満足度を向上させた。
- 小学生の夏休み自由研究の場を提供したり、中学校・高校等の体験学習や専門学校の実習を受入れる等、学習・教育の場としての動物園の機能向上が図れた。
- 障がいがあるお子さんとその家族を閉園後の動物園に招待し、気兼ねなく楽しいひと時を過ごしてもらうことを目的に「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」を開催し、親子や動物とのふれあいの場を提供できた。

III 事業の実績

1 動物の飼育状況 (平成31年3月31日現在)

種 類	種数 (種)	点数 (点)
哺乳類	23	130
鳥 類	26	145
合 計	49	275

2 傷病鳥獣保護収容の状況

鳥類 1件、獣類 0件

3 動物園体験学習等受入れの状況

団 体	延べ日数	人 数
(1) 市内中学校（5回）	9 日	10 人
(2) 市外中学校（7回）	18 日	13 人
(3) 市内高校（3回）	11 日	5 人
(4) 市外高校（2回）	5 日	4 人
(5) 専門学校（2回）	44 日	2 人
(6) 異業種研修（1回）	1 日	3 人

4 写生大会の開催

動物愛護及び描画教育のため、幼稚・保育園児、小・中学生を対象に実施

事 業 名	事 業 内 容	実 施 日 等	実 施 場 所
第 67 回春の臥竜公園写生大会	応募 317 点	5 月 13 日	臥竜公園及び動物園
平成30年度中部ブロック写生コンクール出品	出品 4 点 入賞 4 点	〃	〃
春の臥竜公園写生大会入賞作品展	展示 150 点	6 月 14 日～6 月 22 日	旧上高井郡役所
第 67 回秋の臥竜公園写生大会	応募 200 点	9 月 9 日	臥竜公園及び動物園
秋の臥竜公園写生大会入賞作品展	展示 129 点	10 月 13 日～10 月 21 日	旧上高井郡役所

5 ドリームナイト・アット・ザ・ズーの開催

事業名	実施内容	実施日	参加者数（人）
ドリームナイト・アット・ザ・ズー	ラマ・ヒツジのガイド、カピバラのエサやり体験、トビとふれあい、ウサギ・モルモットとふれあおう、ロバ・ウマのエサやり体験、トナカイのエサやり体験、楽しいバルーンアート、ベンガルトラのディナータイム、おみやげプレゼント	7 月 28 日	114 名 (内招待者 47)

6 動物園まつりの開催

事業名	実施内容	実施期間	入園者数（人）
秋の動物園まつり	動物パレード、身近な生き物展、もってけ市、犬と遊ぼう、各種工作教室、動物ガイド・ふれあい・エサやり体験等	10 月 6 日～8 日	4,057
春の動物園まつり	動物園代表動物選挙、飼育員による立会演説、みんなで投票しよう！動物パレード、桜せん定枝の無料配布、カピバラ温泉「華の湯」、各種動物工作教室、もってけ市、動物ガイド・ふれあい・エサやり体験等	3 月 16 日、17 日	1,092

7 親しまれる動物園づくり

- (1) 動物園情報紙「すざかしどうぶつえん」の発行
- (2) 動物園ホームページの更新
- (3) ブログ「動物園日記」、フェイスブック、ツイッター等による情報発信
- (4) 定例イベントの開催
 - ア 動物のガイド
 - イ 動物のエサやり体験
 - ウ 動物のぱくぱくタイム
 - エ うさぎ・モルモットのふれあいタイム
 - オ ポニーの乗馬体験
 - カ カピバラ温泉「華の湯」（冬期限定）
- (5) 飼育の日イベント 4 月 19 日 入園者数 223 人

- (6) ゴールデンウィークだよ！ワクワクふれあいフェア 4月28日～5月6日 入園者数 延13,915人
 (7) 母の日イベント 5月12日、13日(13日は母親の入園料無料) 入園者数 延1,705人(内無料207人)
 (8) オウム・インコデー 6月15日～17日 入園者数 延2,082人
 (9) 父の日イベント 6月16日、17日(17日は父親の入園料無料) 入園者数 延1,876人(内無料225人)
 (10) 家畜動物たちを学ぼう 7月14日～16日 入園者数 延1,007人
 (11) 土用うしの日イベント 7月20日、21日、8月1日 入園者数 延295人
 (12) 夏休みの自由研究を動物園でしよう 7月27日～29日 申込者30人
 (13) サタデー・ナイト・ズー 8月毎週土曜日及び8月14日(午後9時まで延長) 入園者数 延976人
 (14) ハッチのお墓参り 8月13日 入園者数50人
 (15) 身近な生き物展 9月1日～9月30日
 (16) ご長寿動物をお祝いしよう 9月15日～17日 入園者数 延2,519人
 (17) ハロウィンZOO(仮装者無料) 10月26日～28日、31日 入園者数 延2,966人(内無料440人)
 (18) カピバラ温泉オープン 11月1日～
 (19) いい夫婦の日 11月22日、23日 入園者数 延1,056人(内無料184組)
 (20) 出張ふれあい動物園 12月～2月 6回実施(160人)
 (21) 動物たちに年賀状を送ろう 12月15日～1月15日
 (22) 冬至イベント 12月22日 入園者数 458人
 (23) メリークリスマスZOO 12月22日～24日 入園者数 延1,319人
 (24) 干支の引継ぎ式 12月24日 入園者数417人
 (25) 動物園でハッピーニューイヤー 1月1日～3日 入園者数 延1,088人
 (26) 節分イベント 2月3日 入園者数 402人
 (27) バレンタインZOO 2月11日、14日 入園者数 延512人

8 入園状況

区 分		入園者数(人)	入園料(円)
個人	一 般	56,101	11,220,200
	中学生以下	12,586	881,020
	計	68,687	12,101,220
団体	一 般	467	81,420
	中学生以下	2,047	123,963
	計	2,514	205,383
有 料 入 園 者		71,201	12,306,603
無 料 入 園 者		63,718	—
合 計		134,919 (前年度対比94.5%)	12,306,603 (前年度対比89.0%)

9 年間入園券(パスポート)の販売状況

区 分	単価(円)	販売枚数(枚)	販売金額(円)
一 般	1,000	705	705,000
中学生以下	300	121	36,300
合 計		826 (前年度対比94.9%)	741,300 (前年度対比92.7%)

10 遊園地遊具の利用状況

区 分	1回当り単価(円)	回数(回)	使用料(円)
バッテリーカー等	100	39,544	3,954,400
木 馬	30	7,953	238,590
合 計		47,497 (前年度対比93.0%)	4,192,990 (前年度対比94.4%)

11 動物園の施設管理等の状況

(1) 施設整備の実績

ア 修繕関係

事業名	事業内容	事業費(円)
ヤギ舎修繕	ヤギ舎床張り修繕	169,192
ふれあいほうす入口修繕	ふれあいほうす入口扉蝶番修繕	35,640
仮設テント修繕	テントの天幕の破れ修繕	9,720
放送設備修繕	放送スピーカーコード断線の修繕	6,000
住宅デーによる修繕	ウマ舎床板修繕	19,016
クジャク舎フェンス修繕	クジャク舎フェンス修繕	39,852
S L主連棒研磨修繕	S L主連棒研磨修繕	54,000
放送設備修繕	放送スピーカーコード断線の修繕	8,640
南園散水整備配管修繕	南園散水整備配管修繕	237,600
動物園入口トイレ扉修繕	アコーディオン扉の修繕	61,797
南園遊具広場修繕	南園遊具広場修繕	97,200
軽トラック修繕	軽トラックタイヤ修理	1,080
キツネ舎フェンス修繕	キツネ舎フェンス修繕	22,756
カピバラ温泉架台修繕	カピバラ温泉架台修繕	32,832
ハクビシン舎鉄骨修繕	ハクビシン舎鉄骨修繕	128,844
調理室暖房修繕	調理室暖房修繕	187,704
南園大型遊具修繕	大型遊具ターザンロープ修繕	237,600
拡声器コード修繕	拡声器コード修繕	1,382
カンガルー舎暖房修繕	カンガルー舎暖房修繕	38,880
軽トラックライト修繕	軽トラックのライト修繕	810
ペンギン舎・フラミンゴ舎排水管修繕	ペンギン舎・フラミンゴ舎排水管修繕	410,400
南園遊具広場修繕	南園遊具広場修繕	54,000
休憩所囲い幕修繕	休憩所囲い幕修繕	97,200
ペンギン舎修繕	ペンギン舎配管修繕	15,120
小型無線機修繕	小型無線機基盤修繕	13,554
ロングシールド修繕	防護用盾修繕	127,440
小型無線機修繕	小型無線機アンテナ修繕	4,752
ペンギン舎修繕	ペンギン舎給水コック修繕	18,360
遊具修繕	遊具のボルトキャップ修繕	20,520
動物園インターホン修繕	インターホン修繕	98,000
フラミンゴ舎修繕	フラミンゴ舎給水管修繕	170,640
トラ舎ゲート修繕	トラ舎ゲート扉修繕	206,064
フェンス撤去修繕	フェンス撤去修繕	32,400
動物園内石積等修繕	動物園内石積等修繕	120,960
合 計		2,779,955

(2) 委託業務の実績

業務名	委託先	業務内容	委託料(円)
動物園機械警備 (正面・南口)	(株)全日警	正面・南園の管理事務所の警報 機械警備	362,880
動物園巡回警備	(株)全日警	動物園内の夜間の巡回警備	573,804
GW期間駐車場警備	アンゼン産業(株)	GW期間中の駐車場内の車両 誘導、交通整理、駐車場警備	1,477,440
高圧ミストメンテナンス	(株)コウサカ	休憩所の高圧ミストメンテナ ンス及び設置	32,400
廃棄物処理収集運搬委託	(株)タケモト	医療廃棄物の収集、処理委託	21,600
庭球場駐車場トイレ清掃	(公社)須高広域シルバー人 材センター	動物園南園の庭球場駐車場ト イレ清掃	249,480

業務名	委託先	業務内容	委託料(円)
写生大会賞状等筆耕 (春・秋)	(公社)須高広域シルバー人材センター	写生大会の入賞者の賞状筆耕	105,840
動物園内支障木伐採	長野森林組合	動物園網トンネル支障木の伐採	327,240
南園内支障木伐採	長野森林組合	高所作業車使用による高木の伐採	496,800
合 計			3,647,484

(3) 備品購入の状況

物品名	数量	金額 (円)
トナカイ (動物購入)	1	1,296,000

8-4-5 (目) まちづくり推進費

単位：円

当初 予算額	8,763,000	予算 現額	8,475,000	決算額	7,919,909	前年度 決算対比	59.3%	前年度 決算額	13,348,067
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	------------

■ まちづくり推進事業

単位：円

当初 予算額	5,630,000	予算 現額	5,475,000	決算額	5,444,998	前年度 決算対比	52.0%	前年度 決算額	10,462,749
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

- 歴史的・文化的資産である蔵の町並みを活用した周辺環境の整備により、住みよい活力あるまちづくりを推進する。
- 市内に存する貴重な市民の財産である歴史的建造物を活かしたまちづくりを推進する。

II 事業の成果等

- 須坂市歴史的建造物審査会の審査を経て、建造物の登録及び公表を行い、歴史的な景観や文化等を周知することができた。
- 須坂市歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金により歴史的建造物の活用が図られた。

III 事業の実績

1 須坂市歴史的建造物審査会

(1) 第9回

- ア 開催日 5月22日
- イ 場所 須坂市防災活動センター
- ウ 内容 歴史的建造物登録抹消（1件）
歴史的建造物登録要綱の改正

(2) 第10回

- ア 開催日 9月27日
- イ 場所 旧上高井郡役所
- ウ 内容 歴史的建造物登録審査
補助金審査

2 須坂市歴史的建造物の登録

4 件

No.	名 称	登録番号	登録数	登録年月日
34	神尾家（本上町）	第 30-001 号	1	10 月 23 日
35	神林家（十二屋）（上中町）	第 30-002～005 号	4	
36	牧家（春木町）	第 30-006～007 号	2	
37	小林家（鍛冶屋）（春木町）	第 30-008 号	1	

3 須坂市歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金

- (1) 名称 荒井家（八幡屋金物店）（横町）
 (2) 交付決定日 10 月 16 日
 (3) 決定額 5,000,000 円
 (4) 交付額 5,000,000 円

■ 街なみ施設管理事業

単位：円

当 初 予算額	3,053,000	予算 現額	2,985,000	決算額	2,461,711	前 年 度 決算対比	85.7%	前年度 決算額	2,873,218
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

街なみ環境整備事業で整備した地区施設、生活環境施設等は管理業務の一部を地元のまちづくり推進協議会及び団体に委託し、施設の有効活用を図る。

II 事業の成果等

ふれあい館まゆぐらでは、県内外からの観光客や住民同士の交流が促進された。また、ふれあい館しらふじは、市内のグループやサークルの活動の場として活用された。

III 事業の実績

1 ふれあい館まゆぐら

- (1) 委託先 蔵の町中央通りまちづくり推進協議会
 (2) 委託料 805,125 円
 (3) 入館者数 6,381 人
 (4) 企画展等の開催 信州須坂しあわせ雛祭り、サラエボ入賞作品展、中村政雄絵手紙展、
宮下芳一写真展

2 ふれあい館しらふじ

- (1) 委託先 ふれあい館しらふじを守る会
 (2) 委託料 805,125 円
 (3) 入館者数 1,876 人（うち施設利用者数 954 人）

3 施設管理等

- (1) ふれあい館まゆぐら、しらふじ消防用設備保守点検 60,480 円
 (2) ふれあい館まゆぐら、しらふじ剪定等業務委託 155,672 円

4 蔵の町中央通りまちづくり推進協議会研修視察

- (1) ふれあい館まゆぐらスタッフ研修視察（1 回目）
 ア 開催日 10 月 25 日
 イ 視察先 大町市「大町市文化財センター、旧塩の道博物館」
小谷村「千国の庄史料館、牛方宿」
ウ 参加者数 11 人

(2) ふれあい館 まゆぐらスタッフ研修視察（2回目）

ア 開催日 3月12日

イ 視察先 坂城町「鉄の展示館」

ウ 参加者数 10人

■ 景観事業

単位：円

当初 予算額	80,000	予算 現額	15,000	決算額	13,200	前年度 決算対比	109.1%	前年度 決算額	12,100
-----------	--------	----------	--------	-----	--------	-------------	--------	------------	--------

I 事業の目的

景観計画に基づき、建築物や屋外広告物の事前届出や指導、新たな景観育成住民協定の締結に向けた支援、景観に関する啓発活動等の事業を推進し、豊かな自然と歴史、文化を反映した良好な景観を保全、育成し、それらをより良い姿で後世に伝える。

II 事業の成果等

- 1 景観法・景観をいかにしたまちづくり条例・景観計画に基づく届出制度により、地域特性をいかにした景観行政に取り組むことができた。
- 2 須坂市景観育成推進委員会を通じて先進地研修等を実施し、各区の推進委員会相互の交流や情報交換をすることができた。
- 3 屋外広告物表示禁止物件の一斉点検を行い、適正な表示と良好な景観の維持に努めた。

III 事業の実績

1 景観計画関係

- (1) 景観法に基づく行為の事前届出件数 30件（うち変更届0件）

ア 地域別

一般地域	景観育成重点地区	計
22	8	30

イ 行為の種類別

行為の種類	件数	（うち特定外観意匠）
建築物	15	
工作物	3	(2)
開発行為	14	
土石の採取	0	
屋外における物件の堆積	0	
土地の形質の変更	0	
合 計	32	(2)

2 まちづくり景観啓発関係

- (1) 景観育成推進委員会

ア 総会 6月4日

- (2) 景観育成に向けた研修会（先進地視察）の開催

ア 景観育成推進委員会

（ア）開催日 11月7日

（イ）視察先 富山県高岡市「山町筋」（重要伝統的建造物群保存地区）

（ウ）参加者数 18人

3 屋外広告物関係

(1) 屋外広告物適正化旬間 9月1日～9月10日

ア 屋外広告物表示禁止物件の一斉点検 9月6日実施

イ 違反広告物除去件数

はり紙	はり札	立看板等	計
0	0	0	0

(2) 屋外広告物の相談（随時）

設置方法等について、業者等から相談を受けた。

(3) 屋外広告物設置許可更新申請書の受付

ア 許可申請 1件

イ 更新申請 2件

8-5-1 (目) 住宅管理費

単位：円

当初 予算額	80,179,000	予算 現額	73,265,000	決算額	71,486,942	前年度 決算対比	145.4%	前年度 決算額	49,158,992
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 市営住宅管理事業

単位：円

当初 予算額	20,319,000	予算 現額	20,933,000	決算額	20,325,910	前年度 決算対比	103.2%	前年度 決算額	19,696,417
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で住宅を賃貸し、市民生活の安定と社会福祉の増進を図る。

II 事業の成果等

- 市営住宅使用料・敷地使用料の滞納額の解消に努め、継続した訪問徴収、連帯保証人への請求、支払督促を行い、新規の滞納者を増やさぬよう努めた。
- 修繕等を行い施設の維持管理に努め、快適な居住環境の整備を図った。また、退去後の修繕等を素早く行い期間を置かないで次の募集につなげることができた。

III 事業の実績

1 市営住宅の管理状況 (3月31日現在)

単位：戸

区 分	木造	簡耐平屋	簡耐二階	中層耐火	高層	合計	備 考
公営住宅	10	258	102	162	35	567	国庫補助住宅
特定公共賃貸住宅				2	3	5	〃
その他住宅	14		3			17	市単独住宅
合 計	24	258	105	164	38	589	

2 市営住宅の住宅使用料等収納状況

区 分	調定額(円)	収入済額 (円)	不納欠損額 (円)	収入未済額 (円)	徴収率 (%)
住宅使用料現年度分	111,392,300	107,267,000		4,125,300	96.3
〃 滞納繰越分	13,279,870	2,301,800	450,780	10,527,290	17.3
敷地使用料現年度分	9,973,823	9,760,823		213,000	97.8
〃 滞納繰越分	908,000	101,600		806,400	11.1
合 計	135,553,993	119,431,223	450,780	15,671,990	88.1

3 市営住宅の入退去状況

退去明渡戸数（戸）	募集戸数（戸）	申込者数（人）	応募倍率（倍）
35	34	43	1.26

4 市営住宅の使用料減免状況

区 分	件数（件）	月数（月）	減免額（円）
60歳以上	121	1,392	6,542,500
障がい者等	33	361	2,171,400
母子家庭	44	500	3,272,400
合 計	198	2,253	11,986,300

5 市営住宅の修繕状況

区 分	件 数（件）	事業費（円）
退去に伴う修繕等	141	10,639,603

6 退去に伴う修繕料立て替え分

区 分	件 数（件）	金 額（円）
30年度中 返済分	3	115,087
年度末現在 残件数・残額	5	857,178

7 市営住宅管理に係る委託

業 務 名	委 託 先	業務内容	委託料（円）
公営住宅システム管理	(株)BSNアイネット	公営住宅システムソフトウェア保守 (4月～9月)	181,440
公営住宅システム管理	(株)電算	公営住宅システムソフトウェア保守 (10月～3月)	141,264
給水装置保守点検	(株)荏原製作所	末広団地給水ポンプ保守点検	129,600
エレベータ保守点検	東芝エレベータ(株)	末広団地エレベータ保守点検	865,080
非常用発電設備保守点検	ミツワヤンマー(株)	末広団地非常用発電設備保守点検	86,400
電気保安業務	(一財)中部電気保安協会	末広団地電気保安業務	130,896
緊急通報システム保守点検	愛知時計電機(株)	末広団地シルバーハウジング緊急通報システム保守点検	402,084
支障木伐採	造園 松澤	樹木伐採等	147,960
管理業務	(社)須高広域シルバー人材センター	市営住宅空き家の草刈り、中低木の剪定等	385,534
合 計			2,470,258

8 市営住宅管理業務及び共同施設の管理・指定管理に関する状況

市営住宅及び特定公共賃貸住宅、その他の市営住宅の管理を管理代行、指定管理により行うための準備を1年間かけて行った。

- (1) 先進市への視察 5月
- (2) 6月議会、経済建設委員会において管理代行及び指定管理業務委託導入について説明。
- (3) 条例及び規則の改正 9月
- (4) 須坂市指定管理者庁内検討委員会による審査 10月

- (5) 行政改革推進本部会議へ管理代行業務、指定管理業務委託の説明 10 月
 (6) 12 月須坂市議会において指定管理住宅等の指定管理者の指定について議決
 (7) 須坂市指定管理住宅等の指定管理者の指定に関する公告 1 月
 (8) 協定締結に向けた準備、広報・HP、入居者への説明等 1 月～3 月

■ コミュニティ住宅管理事業

単位：円

当初 予算額	1,428,000	予算 現額	1,376,000	決算額	1,269,630	前年度 決算対比	91.3%	前年度 決算額	1,391,158
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

穀町・上町コミュニティ住宅入居者の良好な生活環境を確保するため、住宅の維持・管理を行う。

II 事業の成果等

コミュニティ住宅の維持管理及び植栽の剪定など周辺環境の整備を、入居者・管理人と連絡を取りながら実施した。

III 事業の実績

1 コミュニティ住宅の管理状況 (3 月 31 日現在)

区 分	構 造	棟数 (棟)	戸数 (戸)
穀町コミュニティ住宅	中層耐火 5 階建	1	20
上町コミュニティ住宅	中層耐火 3 階建	1	9
合 計		2	29

2 コミュニティ住宅の入退去状況

退去明渡戸数 (戸)	募集戸数 (戸)	申込者数 (人)	応募倍率 (倍)
2	2	2	1.00

3 コミュニティ住宅の使用料減免状況

区 分	件数 (件)	月数 (月)	減免額 (円)
60 歳 以 上	5	59	761,000
障 が い 者 等	3	32	431,600
母 子 家 庭	4	41	562,100
生 活 保 護	5	60	507,600
合 計	17	192	2,262,300

4 コミュニティ住宅の修繕状況

区 分	件数 (件)	事業費 (円)
退去に伴う修繕等	12 件	413,655

5 コミュニティ住宅管理に係る委託

業務名	委託先	業務内容	委託料 (円)
エレベータ保守点検	(株)日立ビルシステム	穀町コミュニティ住宅エレベータ保守	550,800
給水装置保守点検委託	(株)荏原製作所	穀町コミュニティ住宅給水装置保守点検	84,240
合 計			635,040

■ 住宅・建築物耐震改修事業

単位：円

当初 予算額	26,900,000	予算 現額	23,586,000	決算額	22,611,925	前年度 決算対比	491.4%	前年度 決算額	460,130
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

地震に強いまちづくりを推進するため、「須坂市耐震改修促進計画」に基づき、住宅・建築物の耐震改修を促進し倒壊等の被害防止を図る。

II 事業の成果等

- 耐震診断士を派遣し、木造住宅4戸、避難施設（須坂温泉）2棟の耐震診断を実施した。
- 耐震診断の結果、耐震改修（建替え）を希望する住宅2戸、避難施設（地区公会堂）1棟に対し耐震改修補助金を交付した。

III 事業の実績

1 住宅の耐震診断

- 耐震診断実施戸数 4戸
- 委託料 256,000円

2 耐震診断結果

総合評価	判定	判定結果(戸)	割合(%)
1.5以上	安全だと思われます	0	0
1.0以上1.5未満	一応安全だと思われます	0	0
0.7以上1.0未満	やや危険だと思われます	0	0
0.7未満	倒壊又は大破壊の危険があると と思われます	4	100
合計		4	100

3 避難施設（須坂温泉）の耐震診断

- 耐震診断実施棟数 2棟
- 委託料 8,256,600円

4 耐震改修補助

市が実施した耐震診断士による耐震診断の結果、木造住宅は、総合評点が1.0未満で耐震補強工事を行うことにより総合評点が0.7以上となり、かつ工事前の総合評点を上回る工事に対し補助を行った。また、避難施設（非木造）は、耐震診断及び耐震改修を図るための基本的な方針（平成18年国土交通省告示第184号）別表第6(3)に該当する工事に対し補助を行った。

- 補助件数 住宅2件、避難施設（地区公会堂）1件
- 補助額 10,070,000円

5 ブロック塀改修補助

- 補助件数 46件
- 補助額 4,028,000円

■ 多世帯同居・近居支援事業

単位：円

当初 予算額	5,002,000	予算 現額	501,000	決算額	500,000	前年度 決算対比	20.0%	前年度 決算額	2,500,771
-----------	-----------	----------	---------	-----	---------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

子育て支援と高齢者が安心して暮らせる環境づくり及び本市への定住の促進を図る目的で、他市町村から転入し多世帯同居又は近居するための住宅の改修、建築、購入に係る経費の一部を助成する。

II 事業の成果等

市報・ホームページ等で広報し、4月から12月末まで申請を受け付けた。

III 事業の実績

- 1 補助額 住宅の改修費の3分の1以内の額(上限50万円)
住宅の建築・購入費(上限50万円)

- 2 補助件数 1件

- 3 補助実績

補助対象	補助額(円)	居住形態	転入元自治体	転入人数(人)
住宅の改修費	500,000	同居	長野市	3

■ 空家対策事業

単位：円

当初 予算額	68,000	予算 現額	29,000	決算額	12,750	前年度 決算対比	35.9%	前年度 決算額	35,500
-----------	--------	----------	--------	-----	--------	-------------	-------	------------	--------

I 事業の目的

適切な管理が行われていない空家等が防災・衛生・景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすことから、空家等に関する施策を総合的に推進する。

II 事業の成果等

須坂市空家等対策協議会条例に基づき、市長を会長に、区長会・司法書士会・建築士会・宅建協会・社会福祉協議会・警察署・消防本部・県・市の有識者等を委員とする協議会を開催した。

III 事業の実績

- 1 須坂市空家等対策協議会の開催 (委員数 10人)

- (1) 第1回協議会 出席委員 8人

ア 開催日 7月31日

イ 内 容

(ア)空家等に関する国の動向について

(イ)相続放棄等による所有者不在の空家等について

(ウ)今後の予定について

- 2 協定の締結

空家等の適正管理のため、9月10日に「NPO法人 空き家ものがたり」と、「空き家等の適正管理と有効活用に関する協定」を締結した。

■ 住宅防災対策事業

単位：円

当 初 予算額	1,164,000	予算 現額	1,164,000	決算額	1,132,563	前 年 度 決算対比	163.1%	前年度 決算額	694,451
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

北相之島団地内の降雨及び水防壁横を流れる農業用水路の満水による浸水を防ぎ、安全・安心して生活できる住環境を保つ。

II 事業の成果等

水害等の緊急事態に備え、北相之島水防壁に係る排水施設の維持管理を行った。

III 事業の実績

- 1 北相之島団地水防壁に係る排水施設の維持管理のため、5月から11月の間定期点検を行った。
- 2 台風・大雨等による緊急出動 なし
- 3 水防施設の管理業務委託 富士工機㈱ 248,400 円
- 4 記録計更新工事 富士工機㈱ 388,800 円

8－5－2(目)住宅建設費

単位：円

当 初 予算額	50,764,000	予算 現額	50,764,000	決算額	50,763,607	前 年 度 決算対比	93.5%	前年度 決算額	54,313,567
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

■ 市営住宅長寿命化事業

単位：円

当 初 予算額	50,764,000	予算 現額	50,764,000	決算額	50,763,607	前 年 度 決算対比	93.5%	前年度 決算額	54,313,567
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

市営住宅の長寿命化と入居者の快適な生活環境を確保するため、長寿命化工事、環境整備工事を実施する。

II 事業の成果、実績等

- 1 市営住宅北旭ヶ丘団地及び旭ヶ丘団地のリフォーム事業に係る購入費を支出した。50,763,607 円

款 9 消 防 費

(款9) 消防費

単位：円

当 初 予算額	955,530,000	予算 現額	936,652,000	決算額	932,177,846	前 年 度 決算対比	104.1%	前年度 決算額	895,849,986
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	--------	------------	-------------

9－1－1(目) 常備消防費

単位：円

当 初 予算額	531,205,000	予算 現額	525,232,000	決算額	522,857,265	前 年 度 決算対比	99.3%	前年度 決算額	526,352,880
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	-------	------------	-------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当 初 予算額	62,227,000	予算 現額	63,059,000	決算額	60,911,113	前 年 度 決算対比	89.5%	前年度 決算額	68,021,762
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

市民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、災害による被害の軽減を図る。

II 事業の成果等

各種研修を通じて専門知識を習得するとともに、技術及び資質の向上を図った。特に、救急救命士1人を養成、特定行為拡大に伴う追加教育2人を実施し、救急業務の高度化を図ることで、これまでに 救急救命士有資格者数26人中、追加教育修了者が24人で、更にそのうち指導救命士は3人となった。

防火対象物、危険物施設等の立入検査を行い、指導事項の改修と未改修指導について追跡調査を実施し、防火安全対策を推進するとともに、住宅防火訪問を行い、住宅用火災警報器の設置と適正な維持管理を促進し、広く市民に対し火災予防の啓発を行い、住宅用火災警報器の設置率が80%から82%となった。

救急救命講習を開催して市民への応急手当の普及を図るなか、市内すべての11 小学校において救急救命に関する授業（命の教育）を6年生児童463人に行うことで、学齢期からの応急手当の普及啓発及び救急車の重要性の理解拡大に努めた。

III 事業の実績

1 消防職員委員会

(1) 開催日 7月25日 消防本部 小会議室

(2) 審議案件 18件

区分1 消防職員の勤務条件及び福利厚生 13件

区分2 消防職員の職務遂行上必要な被服及び装備品 3件

区分3 消防の用に供する設備、機械器具その他の施設 2件

2 須高広域消防運営協議会

(1) 幹事会 8月8日、11月19日、2月4日

(2) 協議会 2月20日 出席者27人

3 消防職員意見発表会

(1) 県消防職員意見発表会代表選考会 12月6日 消防本部大会議室 発表者6人

(2) 県消防職員意見発表会 2月12日 上田市 1人 (優良賞)

4 職員研修

(1) 県消防学校

研修名	期	期 間	人数 (人)
操法指導員講習	22	4 月 5 日 ～ 4 月 6 日	3
初任科	61	4 月 12 日 ～ 10 月 7 日	3
山岳救助科	1	6 月 27 日 ～ 6 月 29 日	1
危険物科	35	10 月 15 日 ～ 10 月 19 日	3
火災調査科	46	11 月 20 日 ～ 12 月 4 日	3
救急科	22	1 月 8 日 ～ 3 月 6 日	3
予防査察科	51	1 月 28 日 ～ 2 月 8 日	1
救急高度化研修	18	3 月 11 日 ～ 3 月 15 日	2

(2) 救急救命研修所

研修名	期	期 間	人数 (人)
救急救命士受験資格取得研修	30-2	8 月 30 日 ～ 3 月 11 日	1

(3) その他

研修名	期 間	人数 (人)
消防本部の幹部・管理職員向け説明会及びハラスメント等相談窓口相談員向け研修会（東京都）	6 月 8 日	1
県救急活動研究会救急担当者研究会議（佐久市）	9 月 27 日	3
消防職員委員会の組織及び運営の基準改正等に係る全国説明会（東京都）	10 月 12 日	1
県高速道路消防連絡協議会視察研修（千葉県市川市、東京都練馬区）	10 月 23 日	2
全国消防長会関東支部消防長研修会（横浜市）	11 月 6 日	2
県救急活動研究会救急救命士研修会（木曽町）	11 月 16 日	6
全国消防救助シンポジウム（東京都）	11 月 26 日	1
消防団員等公務災害補償実務研修会（安曇野市）	12 月 5 日	1
県救急活動研究会産科救急講習会（佐久市）	2 月 21 日	2

5 庁舎管理

(1) 修繕等

ア 庁舎施設修繕 29,192 円

イ 機器等修繕 76,356 円

(2) 委託

ア 庁舎

業 務 名	委 託 先	業務内容	委託料 (円)
清掃業務委託	黒崎商会	床清掃	97,200
電気保安業務委託	(一財) 中部電気保安協会	定期点検A（年6回）、定期点検B（年1回）	185,328

業 務 名	委 託 先	業務内容	委託料 (円)
自動扉保守点検委託	(株)長野ナブコ	定期点検 (年2回)	90,720
非常用自家用発電設備 保守点検委託	ミツワヤンマー(株)	定期点検 (年2回)	84,240
冷暖房設備保守点検委託	(有)テラエンタープライズ	保守、点検	162,000
合 計			619,488

イ その他

業 務 名	委 託 先	業 務 内 容	委託料 (円)
階級昇任試験委託	(株)公職研	階級昇任試験 (消防司令補 6人・消防士長2人)	435,456

(3) 賃借等

ア 土地

内 容	場 所	面積 (㎡)	賃 借 料 (円)
消防本部庁舎	須坂市大字小山字屋部浦 1305 番地 1	685	1,402,000
	須坂市大字小山字屋部浦 1305 番地 2	960	
	須坂市大字小山字屋部浦 1341 番地 2	310	
	須坂市大字小山字屋部浦 1307 番地	747	535,000
	須坂市大字小山字屋部浦 1309 番地 1	77	652,000
	須坂市大字小山字屋部浦 1310 番地 2	833	
合 計		3,612	2,589,000

イ その他

業 務 名	内 容	賃借料 (円)
電話機等賃借	電話機、複写機、印刷機	803,350
寝具等借上	寝具、清掃用具	221,688
合 計		1,025,038

6 須高地区山岳遭難防止対策協会

(1) 会議

ア 救助隊役員会議 4月12日、1月25日

イ 定期総会 5月24日

ウ 遭難防止対策五署並びに関係遭対協連絡会議 10月26日 (下高井郡木島平村・志賀高原地区開催)

エ 峰の原、菅平地区遭難防止対策連絡会議 11月19日

(2) 救助訓練

ア 夏季救助訓練 7月6日 中止 (荒天のため)

イ 冬季救助訓練 2月26日 参加者 26人

(3) 相談活動

地域の相談員が遭難防止に関する相談活動を随時行った。

(4) 遭難防止活動

高山地区でタケノコ採り入山者にチラシを配布し、遭難防止を啓発した。

第1回目 6月2日 参加者 25人

第2回目 6月10日 参加者 23人

(5) 研修会及び連絡会議への参加

長野県山岳遭難防止対策協会等主催の研修会並びに会議に参加し、救助隊員及び相談員の資質の向上と広域的な連携を行った。

(6) 遭難救助活動事例

発生日時	遭難者（人）	遭難場所	入山目的	出動人員（人）
6月22日	男性2人 （救助）	高山村大字奥山田 笠ヶ岳北方の山林内	タケノコ採り	遭対協 9 消防 2 警察 10 高山村役場 2
6月26日	男性1人 （救助）	高山村大字牧 県道大前須坂線第12号カーブ北方 の山林内	タケノコ採り	遭対協 7 消防 2 警察 12 高山村役場 2

7 予防活動

(1) 防火対象物立入検査状況

須坂市、小布施町及び高山村の合計数、（ ）は須坂市分

区 分	令 第 1 0 条 該 当 数	立 入 検 査 事 業 所		
		実 施 数	内 是 正 指 導 数	内 改 修 済 数
劇 場 ・ 映 画 館	1 (1)			
公 会 堂 ・ 集 会 場	140 (92)	18 (8)	6 (2)	6 (2)
遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ール	4 (4)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス	1 (1)			
料 理 店	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
飲 食 店	69 (49)	13 (8)	11 (7)	10 (7)
店 舗	114 (92)	15 (8)	8 (4)	5 (4)
旅 館 ・ ホ テ ル	107 (72)	28 (20)	24 (19)	7 (4)
寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅	461 (396)	9	4	4
病 院 ・ 診 療 所	51 (40)	4 (2)	1	1
自 力 困 難 者 入 所 施 設	24 (16)	5 (1)		
老 人 ・ 児 童 福 祉 施 設	59 (43)	18 (12)	8 (5)	8 (5)
幼 稚 園	10 (10)	1 (1)	1 (1)	
小 中 高 等 学 校	89 (74)			
図 書 館 ・ 博 物 館	15 (5)	3	2	2
公 衆 浴 場	7 (1)	1	1	1
神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	47 (34)	2	2	2
工 場 ・ 作 業 場	697 (511)	24 (3)	14 (3)	11 (2)
自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	27 (20)	1		
倉 庫	343 (242)	7 (2)	3 (1)	2 (1)
前各項に該当しない事業場	235 (186)	9 (7)	6 (5)	6 (5)
複合用途の特定防火対象物	135 (101)	29 (22)	26 (21)	12 (8)
複合用途の非特定防火対象物	57 (42)	4 (3)	4 (3)	3 (2)
文 化 財 建 造 物	30 (16)	4 (1)		
合 計	2,724 (2,049)	197 (100)	123 (73)	82 (42)

ア 特定防火対象物 劇場・映画館、公会堂・集会場、遊技場・ダンスホール、カラオケボックス、料理店、飲食店、店舗、旅館・ホテル、病院・診療所、自力困難者入所施設、老人・児童福祉施設、幼稚園、公衆浴場等の用途に該当する防火対象物

イ 非特定防火対象物 上記アに掲げる用途以外の防火対象物

ウ 複合用途 二つ以上の用途又は一部が用途以外（店舗と住宅など）

エ 令第10条 消防用設備等（消火器）を設置しなければならない防火対象物

(2) 防火対象物定期点検報告状況

須坂市、小布施町及び高山村の合計数、()は須坂市分

区 分	該 当 数	点検報告済数	特例認定報告免除数	点検未報告数
劇 場 ・ 映 画 館	1 (1)	1 (1)		
公 会 堂 ・ 集 会 場	55 (43)	28 (25)	20 (15)	7 (3)
遊技場・ダンスホール	2 (2)	2 (2)		
料 理 店	1 (1)	1 (1)		
飲 食 店	4 (4)	2 (2)		2 (2)
店 舗	11 (10)	6 (6)	2 (2)	3 (2)
旅 館 ・ ホ テ ル	12 (5)	5 (3)		7 (2)
病 院 ・ 診 療 所	4 (3)	3 (2)		1 (1)
自力困難者入所施設	2 (2)	1 (1)	1 (1)	
老人・児童福祉施設	2			2
複合用途の特定防火対象物	23 (18)	9 (8)	2 (2)	12 (8)
合 計	117 (89)	58 (51)	25 (20)	34 (18)

(3) 危険物施設立入検査状況

須坂市、小布施町及び高山村の合計数、()は須坂市分

製造所等 区 分	施 設 数	立入検査施設		
		実 施 数	内 是正指導数	内 改修済数
屋 内 貯 蔵 所	26 (25)	2 (1)		
屋外タンク貯蔵所	10 (8)	6 (5)	1 (1)	
屋内タンク貯蔵所	7 (4)	2 (1)	1 (1)	1 (1)
地下タンク貯蔵所	102 (74)	22 (13)	15 (10)	10 (7)
簡易タンク貯蔵所	7 (5)			
移動タンク貯蔵所	48 (45)	6 (4)	3 (3)	3 (3)
屋 外 貯 蔵 所	2 (2)			
給 油 取 扱 所	22 (17)	13 (8)	7 (6)	4 (4)
自家用給油取扱所	15 (12)	8 (8)	3 (3)	3 (3)
一 般 取 扱 所	42 (27)	9 (5)	5 (3)	5 (3)
合 計	281 (219)	68 (45)	35 (27)	26 (21)

(4) 危険物施設の許可等規制状況

須坂市、小布施町及び高山村の合計数、()は須坂市分

製造所等 区 分	規 制 区 分 件 数					
	許 可		完 成		仮 使 用	廃 止
	設 置	変 更	設 置	変 更		
屋 内 貯 蔵 所		1 (1)		1 (1)		
地下タンク貯蔵所						2 (1)
自家用給油取扱所						1 (1)
移動タンク貯蔵所	1 (1)	4 (4)	1 (1)	4 (4)		
給 油 取 扱 所		4 (4)		3 (3)	3 (3)	
一 般 取 扱 所		1		1		
屋外タンク貯蔵所						
屋内タンク貯蔵所						
合 計	1 (1)	10 (9)	1 (1)	9 (8)	3 (3)	3 (2)

(5) 危険物タンク完成検査済証の交付状況

単位：件

政令タンク（危険物の規制に関する政令第8条の2）	22
条例タンク（須坂市火災予防条例第52条）	19

(6) 建築確認等同意件数

単位：件

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新 築	須坂市	1	3	3	5	2	5	5	3	4	1	7	39
	小布施町		1	1	1		5	1		1	1		12
	高山村												
	計	1	4	4	6	2	10	6	3	5	2	7	51
増 築	須坂市	2	2		1			1	2	1	1		10
	小布施町												
	高山村												
	計	2	2		1			1	2	1	1		10
その他	須坂市						1	1	1			1	4
	小布施町								1				1
	高山村												
	計						1	1	2			1	5
合 計	須坂市	3	5	3	6	2	5	6	5	6	2	8	52
	小布施町		1	1	1		5	1	3	1	1		14
	高山村												
	計	3	6	4	7	2	10	7	9	3	2	8	66

(7) 消防用設備等検査済証の交付状況

単位：件

須 坂 市	小布施町	高 山 村	合 計
37	7	2	46

(8) 甲種防火管理新規講習会 6月28日、6月29日 88人修了証交付

8 予防広報活動

(1) 火災予防運動等

ア 春の特別火災予防運動	4月17日～4月23日
イ 危険物安全週間	6月3日～6月9日
ウ 秋季火災予防運動	11月9日～11月15日
エ 危険物運搬車両立入検査	11月20日
オ 春季火災予防運動	3月1日～3月7日

(2) 住宅防火対策

防火訪問（上中町、太子町、春木町、本上町、中町）

訪問世帯数（戸）	在宅世帯数（戸）	留守世帯数（戸）
1,030	577	453

(3) 年末防火パトロール 12月1日～12月25日

(4) 賃借等

業 務 名	内 容	賃借料（円）
消防予防台帳等電子化システム ハードウェアリース	図面等電子化用スキャナーリース	281,232
同上 ソフトウェア・リース	システムソフトウェアリース	330,480
同上ハードウェアリース（サーバ）	サーバリース	442,192
合 計		1,053,904

9 火災発生状況

月	須 坂 市		小 布 施 町		高 山 村		合 計	
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)
4 月	1	12	1	0	1	0	3	12
5 月	1	0			1	200	2	200
6 月	2	0	2	150	1	852	5	1002
7 月	2	2,284					2	2,284
8 月	2	3,753	2	0			4	3,753
9 月	1	0			1	351	2	351
10 月					1	11,125	1	11,125
11 月	1	1,350			1	2,305	2	3,655
12 月								
1 月	3	4,445					3	4,445
2 月								
3 月	1	0	1	0	1	312	3	312
合計	14	11,844	6	150	7	15,145	27	27,139
前年度比	△4	△2,076	△6	△136	5	14,755	△5	12,543

10 警防活動

(1) 緊急通報覚知状況

119 専用	119 携帯	その他	合 計 (件)
1,917	1,048	410	3,375

(2) 災害等に対する警戒

ア 大雨・台風警戒

大雨警報 (7月5日)、暴風警報 (9月4日、9月30日)

台風 (第21号 9月4日、第24号 10月1日、第25号 10月7日)

イ その他

歳末警戒 (12月26日～12月30日)

(3) 消防訓練

ア 春の特別火災予防運動山林火災防ぎょ訓練 4月22日 井上町 消防職員 28人

イ 消防団との合同消防訓練 9月1日～9日 市内3か所 消防職員 24人

ウ 県消防相互応援隊合同訓練 10月20日～21日 塩尻市 消防職員 7人

エ 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練 11月30日～12月1日 神奈川県 消防職員 7人

オ 秋季火災予防運動消防訓練 11月10日 社会福祉法人りんどう信濃会須坂悠生寮 消防職員 30人

カ 春季火災予防運動消防訓練 3月2日 社会福祉法人なずな

地域密着型特別養護老人ホーム そのさと 消防職員 28人

(4) 訓練指導

ア 市内学校防災訓練指導 18件 参加者 6,296人

イ 市内公共施設防災訓練指導 21件 参加者 1,637人

ウ 自主防災組織防災指導 70件 参加者 4,886人

(5) 長野地域メディカルコントロール協議会

ア 協議会 5月29日 長野市消防局中央消防署

11月30日 メルパルク NAGANO

イ 専門部会、事後検証会議

6月27日 信州医療センター
9月5日 長野市民病院
12月4日 千曲中央病院
3月4日 長野赤十字病院

(6) 委託

業 務 名	委 託 先	内 容	委託料 (円)
消防緊急通信指令施設 保守点検業務委託	(株)富士通ゼネラル	年2回の定期点検 緊急時の対応 (通年)	9,180,000
消防救急デジタル無線設備 保守点検業務委託	(株)富士通ゼネラル	年2回の定期点検 緊急時の対応 (通年)	4,752,000
救急車搭載機器 保守点検委託	日本光電工業(株)北関東支店	定期点検 (年2回)	576,190
救急車搭載ストレッチャー 保守点検委託	日本船舶薬品(株)横浜支店	定期点検 (年1回)	75,600
救急車搭載人工呼吸器 保守点検委託	共栄医科器械(株)	定期点検 (年1回)	64,800
梯子車性能検査委託	(株)小林ポンプ防災	保守点検 (年2回)	453,600
気管挿管実習委託	信州医療センター	病院実習	20,000
職員健康診断委託	西沢内科胃腸科医院	Q F T結核検査	13,800
救命士再教育病院実習委託	信州医療センター	病院実習	300,000
合 計			15,435,990

(7) 賃借等

業 務 名	内 容	賃借料 (円)
発信地表示システム	@35,683×12月	428,196
自動体外式除細動器	@5,292×12月	63,504
救急救助情報管理システム	@54,000×12月	648,000
合 計		1,139,700

11 各種統計

(1) 火災出動の状況

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
火 災	1	2	4	2	4	1	1	2		4		1	22
前年度比	△1		2		1	1	1	1	△2	1	△3	△6	△5

(2) 調査出動の状況

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
風 害						9							9
危 険 物	1	1	1		2	3	5	1	1	1	2	1	19
ベル鳴動		1	1	1		2			1		3	1	10
怪 煙	3	3	2	1	2	2	3	4	3	1		4	28
ガ ス	1												1
水 害							1						1
そ の 他	2			1	1		2	1		1		1	9
合 計	7	5	4	3	5	16	11	6	5	3	5	7	77
前年度比	△3	△4	△6	△6	3	3	△1	1	△5	△2	△2		△22

(3) 救急出動の状況

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
急 病	114	112	121	154	154	120	136	89	125	157	149	138	1,569
交 通	13	10	11	14	10	4	11	10	12	9	8	3	115
一般負傷	22	35	30	25	29	33	23	25	37	34	24	32	349
加 害			1		1	1	1						4
自損行為	3	2	3	1	1	1	2	2	3	1			19
労働災害			2	2	1	3	1	2	3	2		4	20
運動競技	2	2	3	3	4		2		1		1	2	20
そ の 他 ()は 転院搬送	16 (16)	25 (22)	11 (10)	20 (20)	20 (20)	21 (19)	21 (20)	21 (21)	22 (21)	19 (16)	16 (15)	20 (20)	232 (220)
合 計	170	186	182	219	220	183	197	149	203	222	198	199	2,328
前年度比	△12	13	8	15	47	15	29	△27		2	17	8	115

(4) 救助出動の状況

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
交 通	2	1	2	1	1		1		2	1	1		12
そ の 他		4			1	1			1				7
合 計	2	5	2	1	2	1	1		3	1	1		19
前年度比	2	5	△1	△1	2			△4		△1	△4	△2	△5

12 普及啓発活動

(1) 応急手当

ア 救命講習等

講習種別	開催回数 (回)	受講数 (人)
応急手当普及員講習	6	31
普 通 救 命 講 習 I	22	283
普 通 救 命 講 習 III	1	7
入 門 コ ー ス	2	21
救 急 講 習	74	2,571
合 計	105	2,913

イ 命の教育

市内全小学校（11校）6年生 6月26日～12月20日 11回 463人

(2) 救急広報

ア 救急医療週間 9月9日～9月15日

イ 救急の日 9月8日

(3) その他 保育園防火指導 11月1日～11月29日 12園 12回

13 車両装備等整備状況

(1) 指令車修繕 12,744円

(2) 機械器具修繕 38,880円

14 備品購入状況

品 名	数 量	金 額 (円)
上下式防火衣	11 式	2,791,800
救命講習用訓練人形（小児）	1 式	180,360
除雪機	1 式	488,160
合 計		3,460,320

■ 消防機械力整備事業

単位：円

当 初 予算額	43,301,000	予算 現額	38,723,000	決算額	38,722,075	前 年 度 決算対比	100.5%	前年度 決算額	38,516,950
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

消防機械器具等の整備充実を図り、消防防災体制の向上を図る。

II 事業の成果等

経年老朽した救急車の更新と梯子車の保守点検を行い、多様化する災害に対する消防機械力の強化と性能維持を図った。

III 事業の実績

1 備品購入状況

品 名	数 量	金 額 (円)
救急車	1 台	38,621,835

9-1-2 (目) 非常備消防費

単位：円

当 初 予算額	94,462,000	予算 現額	85,898,000	決算額	85,009,419	前 年 度 決算対比	92.7%	前年度 決算額	91,733,509
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

■ 消防団員人件費

単位：円

当 初 予算額	56,538,000	予算 現額	50,408,000	決算額	50,406,559	前 年 度 決算対比	88.6%	前年度 決算額	56,875,350
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

消防の常備化が進展した今日であるが、地域の消防防災の中核として消防団の果たす役割は大きく、消火活動を始め大規模災害発生時における人命救助等、消防団ならではの活動を実施する一方、地域に密着した消防機関として火災予防啓発等に努める。

Ⅱ 事業の成果等

地域特性に応じた消防団運営を進め、消防団活動への参加意欲の高揚を図り、消防団の活性化と団員の資質向上に努めた。

Ⅲ 事業の実績

1 分団別消防団員数（定数 881 人）

（平成 30 年 4 月 1 日現在）

階級 職名 区 分 (分団定数)	団 長	副 団 長	分 団 長			副 分 団 長			部 長				班 長				団 員		計 (人)
	団 長	副 団 長	ラ ッ パ 長	音 楽 隊 長	分 団 長	副 ラ ッ パ 長	音 楽 副 隊 長	副 分 団 長	音 楽 部 長	分 団 部 長	分 団 ラ ッ パ 長	部 長	音 楽 副 部 長	音 楽 班 長	副 部 長	班 長	音 楽 隊 員	団 員	
団 本 部 (5)	1	1	1			1													4
音 楽 隊 (32)				1			1		1				1	2			24		30
第 1 分団 (40)					1			1		1	1	2			2	5		27	40
第 2 分団 (42)					1			1		1	1	2			2	4		27	39
第 3 分団 (53)					1			1		1	1	3			3	6		36	52
第 4 分団 (55)					1			1		1	1	2			2	7		40	55
第 5 分団 (133)					1			1		1	1	4			4	16		105	133
第 6 分団 (90)					1			1		1	1	5			5	12		64	90
第 7 分団 (154)					1			1		1	1	7			7	17		118	153
第 8 分団 (88)					1			1		1	1	4			4	12		61	85
第 9 分団 (70)					1			1		1	1	3			3	10		50	70
第 10 分団 (56)					1			1		1	1	3			3	7		39	56
第 11 分団 (63)					1			1		1	1	2			2	6		46	60
合 計 (881)	1	1	1	1	11	1	1	11	1	11	11	37	1	2	37	102	24	613	867

2 消防団員報酬支払状況

階 級	職 名	年 額 (円)	支給総額 (円)
団 長	団 長	176, 000	176, 000
副 団 長	副 団 長	121, 100	151, 375
分 団 長	ラ ッ パ 長	89, 000	89, 000
	音 楽 隊 長		89, 000
	分 団 長		979, 000
副 分 団 長	副 ラ ッ パ 長	55, 000	41, 250
	音 楽 副 隊 長		55, 000
	副 分 団 長		605, 000
部 長	音 楽 部 長	42, 100	42, 100
	分 団 部 長		463, 100
	分団ラッパ長		463, 100
	部 長		1, 557, 700
班 長	音 楽 副 部 長	32, 600	32, 600
	副 部 長		1, 206, 200
	音 楽 班 長	26, 100	52, 200
	班 長		2, 662, 200
団 員	音 楽 隊 員	21, 400	518, 950
	団 員		13, 098, 584
合 計			22, 282, 359

3 消防団員退職報償金支給状況

在職年 階級	5年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上 20年未満		20年以上		支給人数 及び総額	
	人数 (人)	支給 (千円)	人数 (人)	支給 (千円)	人数 (人)	支給 (千円)	人数 (人)	支給 (千円)	人数 (人)	支給 (千円)
分団長	1	219	3	954	2	826			6	1,999
部 長			5	1,415	3	1,074	4	1,752	12	4,241
班 長			2	566	5	1,790	2	876	9	3,232
団 員	4	800	2	528			1	409	7	1,737
合 計	5	1,019	12	3,463	10	3,690	7	3,037	34	11,209

■ 消防団運営事業

単位：円

当 初 予算額	21,935,000	予算 現額	21,477,000	決算額	20,592,520	前 年 度 決算対比	93.7%	前年度 決算額	21,976,759
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

消防団の安定した運営と地域に根ざした防災活動を支援し、区及び自主防災組織との連携により、地域での防災体制の万全を期する。

II 事業の成果等

消防団を中心とした地域防災力の向上を目的として、春及び秋季火災予防運動中における防災訓練及びラッ

パパレード等の地域に根ざした予防啓発活動等を計画的に実施し、長野県消防ポンプ操法・消防ラッパ吹奏大会では、消防ラッパ吹奏の部において出場2連覇を達成した。

Ⅲ 事業の実績

1 消防団員研修、訓練等の状況

(1) 県消防学校研修

科 目	期	期 間	人数 (人)
操法科	185	4 月 21 日	5
訓練札式科	94	11 月 16 日 ～ 11 月 17 日	3
女性団員科	17	10 月 13 日	2
ラッパ科	97	12 月 14 日 ～ 12 月 15 日	3
指揮幹部科分団指揮課程	4	3 月 7 日 ～ 3 月 8 日	5

(2) 消防技術大会等

- ア 市消防技術大会 6 月 10 日 723 人 須坂小学校・常盤中学校グラウンド
 小型ポンプ操法 優勝 第 8 分団
 ラッパ吹奏 優勝 第 1 分団
- イ 須高消防協会消防ポンプ操法・消防ラッパ吹奏大会 6 月 24 日 84 人 高山村高山小学校グラウンド
 小型ポンプ操法 須坂市 優勝
 ラッパ吹奏 須坂市 優勝
- ウ 県消防ポンプ操法・消防ラッパ吹奏大会 7 月 22 日 88 人 木曽郡大桑村スポーツ公園
 小型ポンプ操法 11 位
 ラッパ吹奏 優勝
- エ 自治体消防制度 70 周年記念長野県大会 9 月 24 日 ラッパ隊 19 人 長野市・ホクト文化ホール
 上田市及び辰野町消防団ラッパ隊と合同吹奏

(3) 訓練

- ア ラッパ隊、音楽隊訓練 通年 延 908 人 各分団等
- イ カラーガード隊訓練 定例会及び定例訓練（月 2 回）、事業前訓練
- ウ 山林火災防ぎょ訓練 4 月 22 日 75 人 井上町
- エ 須高消防協会幹部研修 5 月 6 日 195 人 森上小学校グラウンド
- オ 須高消防協会山林火災防ぎょ訓練 5 月 27 日 180 人 高山村「山田温泉キッズスノーパーク」
- カ 須坂市消防技術大会訓練 5 月 28 日 ～ 6 月 9 日 延 867 人 各分団
- キ 須坂市総合防災訓練 8 月 26 日 71 人 常盤中学校
- ク 消防署との合同消防訓練 9 月 1 日、9 月 2 日、9 月 9 日 延 39 人 市内 3 か所
- ケ 秋季火災予防運動 11 月 9 日 ～ 11 月 15 日 延 573 人 各分団
- コ 機械器具点検・取扱訓練 2 月 1 日 ～ 3 月 11 日 延 257 人 各分団
- サ 春季火災予防運動 3 月 1 日 ～ 3 月 7 日 延 635 人 各分団
- シ 救命講習 3 月 10 日 12 人 各分団

(4) 水火災出動

11 件 延 284 人

(5) その他出動

- ア 分団ラッパパレード 第 5 分団管内ラッパパレード 4 月 22 日 66 人
- イ 管轄町内の特別警戒 通年 全分団
- ウ 須坂みんなの花火大会の煙火打ち上げ警戒 7 月 22 日 60 人 第 1 分団、第 2 分団、第 11 分団
- エ 消防団音楽隊定期演奏会 11 月 11 日 メセナホール
- オ 歳末警戒 12 月 26 日 ～ 12 月 30 日 全分団

(6) 親子写生大会

6 月 10 日 須坂小学校 応募作品 44 点、入賞 24 点

2 防火成績優良表彰

(1) 無火災区特別表彰

10 年 本上町、二睦町、明德町

(2) 無火災区表彰

ア 4年 上中町、新町、高畑町、相之島町、松川町、二睦町、豊丘上町

イ 3年 夏端町

ウ 2年 北相之島町、豊丘町、井上町

エ 1年 北旭ヶ丘町、亀倉町、高梨町、南原町、屋部町、旭ヶ丘町、塩川町、米持町、馬場町、高橋町

(3) 無火災分団表彰

第2分団、第5分団、第6分団、第7分団、第8分団

(4) 無火災部特別表彰

第6分団3部、第7分団7部

(5) 無火災部表彰

ア 4年 第6分団3部、第7分団7部

イ 3年 第8分団2部、第11分団2部

ウ 2年 第5分団4部、第6分団5部、第8分団4部、第11分団1部

エ 1年 第1分団2部、第2分団2部、第4分団1部、第5分団1部、第6分団2部、第7分団1部、第10分団1部

3 消防団活性化推進の会議と事業

- | | |
|------------------------|----------------|
| (1) 都市消防長、消防団長、事務主任者会議 | 5月17日（大町市） |
| (2) 上田市との消防相互応援連絡会議 | 5月29日（こもれびホール） |
| (3) 消防団サポート事業 | 通年（33事業所） |
| (4) 消防団協力事業所表示制度 | 通年（8事業所） |
| (5) 長野県消防団長・事務担当者研修大会 | 11月3日（駒ヶ根市） |

4 車両装備等整備の状況

- | | |
|---------------|-----------|
| (1) 車両機械器具等修繕 | 115,452 円 |
| (2) 器具置場等修繕 | 127,710 円 |
| (3) 音楽隊楽器修繕 | 149,680 円 |

5 備品購入状況

品 名	数 量	金 額 (円)
バスドラム	1 式	142,400
シンバル	1 式	57,600
合 計		200,000

6 消防コミュニティセンターの利用状況 74 件 延 352 人

■ 消防団機械力整備事業

単位：円

当 初 予算額	15,989,000	予算 現額	14,013,000	決算額	14,010,340	前 年 度 決算対比	108.8%	前年度 決算額	12,881,400
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

消防団業務を円滑に遂行するため、機械器具等の整備充実を図る。

Ⅱ 事業の成果等

災害時に迅速に対応できる小型動力消防ポンプ付積載車及び小型動力消防ポンプを更新し、災害対応力の強化を図った。

Ⅲ 事業の実績

備品購入状況

品 名	数 量	金 額 (円)
小型動力消防ポンプ付積載車	2 台	11, 836, 800
小型動力消防ポンプ	2 台	2, 127, 600
合 計		13, 964, 400

9－1－3 (目) 消防施設費

単位：円

当 初 予算額	35,147,000	予算 現額	32,381,000	決算額	32,302,317	前 年 度 決算対比	167.5%	前年度 決算額	19,283,150
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

■ 消防施設管理事業

単位：円

当 初 予算額	25,445,000	予算 現額	23,622,000	決算額	23,545,037	前 年 度 決算対比	122.1%	前年度 決算額	19,283,150
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

消防施設の適正な維持管理と災害時への対応に万全を期する。

Ⅱ 事業の成果等

老朽した消防施設等の修繕を行い、適正な維持管理に努めた。

Ⅲ 事業の実績

1 修繕

- (1) 坂中中継局空中線修繕 134, 784 円
- (2) 消防庁舎施設・設備修繕 630, 028 円
- (3) 防火水槽修繕 194, 400 円

2 消防団器具置場及び防火水槽等の土地借上げ状況

借上用途	町名	面積(㎡)	契約年月日	借受期間	借上料(円)
器具置場・警鐘楼敷地	本郷町	59.4	3. 12. 24	23. 1. 1～31. 2. 19	13, 650
警鐘楼敷地	本上町	13.2	3. 12. 24	23. 1. 1～R2. 12. 31	8, 500
器具置場敷地	塩川町	56.0	10. 9. 10	30. 9. 10～R1. 9. 9	45, 500
防火水槽敷地	仁礼町	24.7	3. 12. 24	23. 1. 1～30. 9. 30	1, 125
防火水槽敷地	相森町	26.0	4. 3. 31	24. 4. 1～R4. 3. 31	2, 000
防火水槽敷地	仁礼町	15.0	4. 3. 31	24. 4. 1～R4. 3. 31	1, 500
器具置場・警鐘楼敷地	坂田町	100.2	3. 3. 16	28. 4. 1～R2. 3. 31	54, 000
器具置場・警鐘楼敷地	亀倉町	35.0	10. 3. 31	20. 4. 1～31. 3. 31	4, 000
防火水槽敷地	亀倉町	40.0	3. 4. 30	22. 4. 1～R2. 3. 31	1, 500
器具置場・警鐘楼敷地	塩野町	22.8	3. 4. 30	22. 4. 1～R2. 3. 31	3, 200
器具置場敷地	豊丘町	16.0	3. 4. 30	22. 4. 1～R2. 3. 31	1, 500
防火水槽敷地	豊丘町	20.0	3. 4. 30	22. 4. 1～R2. 3. 31	1, 500
防火水槽敷地	仁礼町	30.0	3. 5. 8	22. 4. 1～R2. 3. 31	1, 500

借上用途	町名	面積(㎡)	契約年月日	借受期間	借上料(円)
防火水槽敷地	豊丘町	30.0	3. 4. 30	22. 4. 1～R2. 3. 31	1,500
防火水槽敷地	豊丘町	25.0	3. 4. 30	22. 4. 1～R2. 3. 31	1,500
防火水槽敷地	豊丘町	30.0	3. 4. 30	22. 4. 1～R2. 3. 31	1,500
防火水槽敷地	小河原町	24.7	19. 2. 15	28. 4. 1～R8. 3. 31	1,700
防火水槽敷地	仁礼町	33.8	9. 11. 10	10. 4. 1～R2. 3. 31	1,500
器具置場・警鐘楼敷地	米子町	53.0	2. 3. 26	23. 4. 1～R3. 3. 31	10,400
防火水槽敷地	豊丘町	30.0	3. 4. 30	22. 4. 1～R2. 3. 31	1,500
防火水槽敷地	豊丘町	30.0	3. 3. 7	23. 4. 1～R3. 3. 31	1,500
防火水槽敷地	仁礼町	30.0	3. 3. 16	23. 4. 1～R3. 3. 31	1,500
防火水槽敷地	小島町	27.4	2. 10. 15	22. 10. 1～R2. 9. 30	2,000
器具置場・警鐘楼敷地	豊丘町	62.5	2. 10. 1	22. 10. 1～R2. 9. 30	2,600
器具置場詰所敷地	本上町	41.5	3. 4. 15	30. 4. 1～R4. 3. 31	120,000
防火水槽敷地	相之島町	42.0	5. 10. 1	25. 10. 1～R5. 9. 30	1,500
器具置場敷地	仁礼町	21.7	9. 4. 1	30. 4. 1～R3. 3. 31	2,900
防火水槽敷地	坂田町	42.0	12. 12. 7	12. 12. 1～R2. 11. 30	3,000
防火水槽敷地	小河原町	9.6	2. 10. 15	22. 10. 1～R2. 9. 30	1,000
防火水槽敷地	塩野町	35.0	27. 12. 18	28. 1. 1～R8. 12. 31	1,500
合 計					296,575

3 備品購入費

品 名	数 量	金 額 (円)
半鐘打鳴装置	5 基	982,800

4 消火栓設置及び維持管理負担金

- (1) 設 置 17 基 14,916,190 円
(2) 維持管理（修繕） 20 基 4,813,460 円

■ 消防施設整備事業

単位：円

当 初 予算額	9,702,000	予算 現額	8,759,000	決算額	8,757,280	前 年 度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	----	------------	---

I 事業の目的

消防施設等の整備を図り、災害時の対応に万全を期する。

II 事業の成果等

消防団詰所の老朽化に伴う移転新築により防災基盤を強化した。

III 事業の実績

1 委託

業 務 名	委 託 先	業 務 内 容	委託料 (円)
消防団詰所建設工事 設計業務委託	(有)緑地計画研究所	消防団詰所及び警鐘ポールの 設計業務	446,040
消防団詰所建設工事 監理業務委託	(有)緑地計画研究所	工事監理業務	311,040
合 計			757,080

2 工事請負

工 事 名	工事場所	金 額 (円)
消防団詰所移転、器具置場建設工事 (第4分団2部)	本郷町及び大谷町	7,981,200

9-1-4 (目)水防費

単位：円

当 初 予算額	533,000	予算 現額	531,000	決算額	516,181	前 年 度 決算対比	35.4%	前年度 決算額	1,458,933
------------	---------	----------	---------	-----	---------	---------------	-------	------------	-----------

■ 水防対策事業

単位：円

当 初 予算額	533,000	予算 現額	531,000	決算額	516,181	前 年 度 決算対比	35.4%	前年度 決算額	1,458,933
------------	---------	----------	---------	-----	---------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

千曲川等の現地調査を行い重要水防箇所の把握及び水防活動方法を検討し、出水期を前に水防倉庫の点検及び管理委託を行うことにより水防資器材の整備をする。

II 事業の成果等

千曲川等重要水防箇所の現地調査を関係機関と実施し、水防活動時の協力体制を確認した。
水防資器材の備蓄状況の点検結果により適正な整備を行った。

III 事業の実績

1 委託

業 務 名	委 託 先	内 容	委託料 (円)
水防倉庫管理委託	須坂市消防団 第2.3.4.5.6.7.8.9.11分団	境沢町 外13か所 備蓄資材及び建物の点検管理等 @1,900	26,600
合 計			26,600

2 工事請負費

なし

3 備品購入状況

なし

4 重要水防箇所現地調査

5月20日 参加者65人

5 水防活動用品購入

品 名	数 量	金 額 (円)
土のう用品 (土のう袋、砂、砂利)	2,000枚、7.5 m ³ 、4.5 m ³	218,160
水防原材料 (シート、ワラ縄 他)	8枚、240m	43,886
合 計		262,046

9-1-5 (目) 小布施分署費

単位：円

当初 予算額	177,082,000	予算 現額	175,113,000	決算額	174,547,773	前年度 決算対比	124.0%	前年度 決算額	140,720,123
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 小布施分署運営事業

単位：円

当初 予算額	45,612,000	予算 現額	41,320,000	決算額	40,913,691	前年度 決算対比	379.7%	前年度 決算額	10,774,038
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

町民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、災害による被害の軽減を図る。

II 事業の成果等

災害に対する対応力の向上と強化を図るため、自治会、事業所の消防訓練を23回の参加者3,102人、消防団との合同消防訓練1回の団員39人参加で実施した。

防火対象物、危険物施設等の立入検査を実施し、防火安全対策を推進するとともに、住宅防火訪問を行い住宅用火災警報器の設置と適正な維持管理を促進し、広く町民に対し火災予防を啓発した。

救急救命講習を開催し、町民への応急手当の普及を図るなか、町内小学校1校において6年生114人を対象に救急救命に関する授業(命の教育)を行い、学齢期からの応急手当及び救急車の重要性の理解拡大に努めた。

III 事業の実績

1 研修

研 修 名	期 日	人 数 (人)
県救急活動研究会救急担当者研究会議 (佐久市)	9月20日	1
県救急活動研究会救急救命士研修会 (飯山市)	11月28日	1

2 庁舎管理

(1) 修繕等なし

(2) 委託

業 務 名	委 託 先	内 容	委託料 (円)
清掃業務委託	(株)岩野商会	床清掃	20,520

(3) 賃借等

業 務 名	内 容	賃借料 (円)
複写等賃借	複写機、庁内電話機、自動体外式除細動器	373,268
寝具等借上	寝具、清掃用具	87,156
合 計		460,424

3 予防広報活動

(1) 火災予防運動等

ア 春の特別火災予防運動	4月17日 ～ 4月23日
イ 危険物安全週間	6月 3日 ～ 6月 9日
ウ 秋季火災予防運動	11月 9日 ～ 11月15日
エ 春季火災予防運動	3月 1日 ～ 3月 7日

(2) 住宅防火対策

ア 防火訪問（東町、上町、中町、中央）

訪問世帯数（戸）	在宅世帯数（戸）	留守世帯数（戸）
538	394	144

イ 一人暮らし家庭防火訪問（65歳以上）（東町、上町、中町、中央）

訪問世帯数（戸）	在宅世帯数（戸）	留守世帯数（戸）
41	29	12

(3) 年末防火パトロール 12月1日～25日

4 警防活動

(1) 消防出初式兼検閲式 1月20日 松村公園駐車場他 参加者186人

(2) 消防訓練

ア 小布施町総合防災訓練 6月3日 町内全域 参加者1,007人

イ 県消防相互応援隊合同訓練 10月20日～21日 塩尻市 職員1人

ウ 消防団との合同消防訓練 10月28日 特定医療法人 新生病院 参加者53人

エ 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練 11月30日～12月1日 神奈川県 職員1人

(3) 訓練指導

区、事業所等への消防訓練指導 23件 参加者3,102人

(4) 保守点検委託

業 務 名	委 託 先	内 容	委託料（円）
救急車搭載機器保守点検委託	日本光電工業(株)北関東支店	定期点検（年2回）	134,568
救急車搭載ストレッチャー 保守点検委託	日本船舶薬品(株)横浜支店	定期点検（年1回）	75,600
救急車搭載人工呼吸器 保守点検委託	共栄医科器械(株)	定期点検（年1回）	64,800
合 計			274,968

5 各種統計

(1) 火災出動の状況

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
火 災	2		1		3							1	7
前年度比	1	△1	1		1			△2		△2		△4	△6

(2) 調査出動の状況

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
風 害					1	3							4
危 険 物	1	1			2	1							5
怪 煙	1			1	1	1		1	1				6
そ の 他		1							1				2
合 計	2	2		1	4	5		1	2				17
前年度比	1	△1	△1	△1	2	2	△4		△1	△1	△2		△6

(3) 救急出動の状況

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
急 病	18	19	17	25	29	17	16	17	31	23	24	20	256
交 通		4	5	4	5	2	2		3	1	3	3	32
一般負傷		5	4	3	2	6	10	6	4	6	5	5	56
自損行為										1			1
労働災害		1		3		1	1	1	1				8
運動競技	1			2									3
火 災				1									1
そ の 他 () は 転院搬送	3 (2)	2 (2)	7 (7)	8 (8)	11 (11)	6 (6)	8 (8)	8 (8)	6 (6)	7 (7)	7 (7)	7 (7)	80 (79)
合 計	22	31	33	46	47	32	37	32	45	38	39	35	437
前年度比	△17	△18	△12	3	9		8	△5	12	△4		△8	△32

6 普及啓発活動

(1) 応急手当

ア 救命講習等

講習種別	開催回数 (回)	受講数 (人)
応急手当普及員講習	1	2
普通救命講習 I	8	123
救急講習	9	845
合 計	18	970

イ 命の教育

栗ガ丘小学校 6年生 1月18日 1回114人

(2) 救急広報

ア 救急医療週間 9月9日～9月15日

イ 救急の日 9月9日

(3) その他

ア 保育園防火指導 10月31日、11月2日、11月6日 3園 3回

イ 消防ふれあい広場 9月30日

7 車両装備等整備状況

- (1) タンク車修繕 28,101 円
 (2) 救急車修繕 57,240 円
 (3) 査察車修繕 34,344 円

8 備品購入状況

品 名	数 量	金 額 (円)
救急車	1 台	34,753,365
空気呼吸器	2 器	490,320
空気呼吸器用軽量ボンベ	3 本	534,600
合 計		35,778,285

9-1-6 (目) 高山分署費

単位：円

当初 予算額	117,101,000	予算 現額	117,497,000	決算額	116,944,891	前年度 決算対比	100.5%	前年度 決算額	116,301,391
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 高山分署運営事業

単位：円

当初 予算額	6,347,000	予算 現額	6,468,000	決算額	6,077,682	前年度 決算対比	85.8%	前年度 決算額	7,082,376
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

村民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、災害による被害の軽減を図る。

II 事業の成果等

災害に対する対応力の向上と強化を図るため、自治会、事業所の消防訓練 17 回の参加者 1,929 人、消防団との合同消防訓練 1 回の団員 44 人参加で実施した。

防火対象物、危険物施設等の立入検査を実施し、防火安全対策を推進するとともに、住宅防火訪問を行い住宅用火災警報器の設置と適正な維持管理を促進し、広く村民に対し火災予防を啓発した。

救急救命講習を開催し、村民への応急手当の普及を図るなか、村内小学校 1 校において 5、6 年生 136 人を対象に救急救命に関する授業（命の教育）を行い、学齢期からの応急手当及び救急車の重要性の理解拡大に努めた。

III 事業の実績

1 研修

研 修 名	期 日	人 数 (人)
救急医学研修会	9 月 18 日	13
県救急活動研究会救急担当者研究会議 (佐久市)	9 月 20 日	1
県救急活動研究会救急救命士研修会 (飯山市)	11 月 28 日	1

2 庁舎管理

(1) 庁舎施設修繕 93,312 円

(2) 委託

業 務 名	委 託 先	内 容	委託料 (円)
清掃業務委託	(株)岩野商会	床清掃	29,970
自動扉保守点検委託	(株)長野ナブコ	定期点検 (年 2 回)	45,360
合 計			75,330

(3) 賃借等

業 務 名	内 容	賃借料 (円)
複写機等賃借	複写機、庁内電話機、印刷機、自動体外式除細動器	284,337
寝具等借上	寝具、清掃用具	67,080
合 計		351,417

3 予防広報活動

(1) 火災予防運動等

ア 春の特別火災予防運動	4月17日～4月23日
イ 危険物安全週間	6月3日～6月9日
ウ 秋季火災予防運動	11月9日～11月15日
エ 春季火災予防運動	3月1日～3月7日

(2) 住宅防火対策

ア 防火訪問 (14 自治区)

訪問世帯数 (戸)	在宅世帯数 (戸)	留守等世帯数 (戸)
345	173	172

イ 一人暮らし家庭防火訪問 (65 歳以上) 村内全域

訪問世帯数 (戸)	在宅世帯数 (戸)	留守等世帯数 (戸)
173	142	31

(3) 年末防火パトロール 12月1日～27日

4 警防活動

(1) 消防出初式兼検閲式 4月8日 高山村役場駐車場他 参加者 130 人

(2) 消防訓練

ア 高山村総合防災訓練	8月26日	高山村健康福祉総合センター	参加者 403 人
イ 消防団との合同消防訓練	9月29日	堀之内公会堂周辺	参加者 44 人
ウ 県消防相互応援隊合同訓練	10月20日～21日	塩尻市	職員 1 人
エ 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練	11月30日～12月1日	神奈川県	職員 1 人

(3) 訓練指導

区、事業所等への消防訓練指導 17 件 参加者 1,929 人

(4) 保守点検委託

業 務 名	委 託 先	内 容	委託料 (円)
救急車搭載機器保守点検委託	日本光電工業(株)北関東支店	定期点検 (年2回)	150,314
救急車搭載ストレッチャー保守点検委託	日本船舶薬品(株)横浜支店	定期点検 (年1回)	81,000
救急車搭載人工呼吸器保守点検委託	日本光電工業(株)北関東支店	定期点検 (年1回)	45,360
合 計			276,674

5 各種統計

(1) 火災出動の状況

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
火 災	2	2	1				1	1		1		1	9
前年度比	1	2	1	△1	△1		1	1			△1	1	4

(2) 調査出動の状況

種 別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計 (件)
危 険 物										1			1
怪 煙	2	2		1				3			1		9
そ の 他					1	1	1						3
合 計	2	2		1	1	1	1	3		1	1		13
前年度比		△1	△2	△1	1	△1	△1	1		1		△4	△7

(3) 救急出動の状況

種 別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計 (件)
急 病	23	21	18	20	29	16	19	16	20	21	20	11	234
交 通	1	1	1	2	3		1	2		1	4		16
一般負傷	2	5	8	3	5	4	4	3	3	6	6	6	55
加 害													
自損行為				2	2	1	1						6
労働災害		1		1			1			1			4
運動競技	1		3		1								5
火 災										1			1
そ の 他 () は 転院搬送		1 (1)	1 (1)		1 (1)	1 (1)	1 (1)				2 (2)	1 (1)	8 (8)
合 計	27	29	31	28	41	22	27	21	23	30	32	18	329
前年度比	△2	4	3	1	12	△12	△13	△7	3	2	△2	△17	△28

6 普及啓発活動

(1) 応急手当

ア 救命講習等

講習種別	開催回数 (回)	受講数 (人)
普通救命講習Ⅰ	8	86
普通救命講習Ⅱ	1	2
救急講習	14	161
合 計	23	249

イ 命の教育

高山小学校 5年生 11月15日 68人
6年生 11月22日 68人

(2) 救急広報

ア 救急医療週間 9月9日～9月15日

イ 救急の日 9月9日

(3) その他

ア 保育園防火指導 1園 11月13日、1月11日 2回
イ 広報紙発行 年3回隣組回覧 864部

7 車両装備等整備状況

- (1) ポンプ車修繕 104,058円
(2) 救急車搭載輸液ポンプ修繕 34,171円

8 備品購入状況

品 名	数 量	金 額 (円)
空気呼吸器用軽量ボンベ	3本	534,600
LED 喉頭鏡セット	1式	131,760
発電機	1台	91,800
仮眠室床暖房用ボイラー	1式	245,376
合 計		1,003,536

款 10 教 育 費

(款10) 教育費

単位：円

当 初 予算額	2,417,324,000	予算 現額	3,219,258,271	決算額	2,414,903,510	前 年 度 決算対比	100.5%	前年度 決算額	2,401,924,792
------------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	---------------	--------	------------	---------------

10-1-1(目)教育委員会費

単位：円

当 初 予算額	4,043,000	予算 現額	4,043,000	決算額	3,775,320	前 年 度 決算対比	92.7%	前年度 決算額	4,071,022
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

■ 教育委員会運営費

単位：円

当 初 予算額	4,043,000	予算 現額	4,043,000	決算額	3,775,320	前 年 度 決算対比	92.7%	前年度 決算額	4,071,022
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

教育行政に市民要望を反映させ、子どもたちや市民に豊かな教育を施すため、教育委員会の円滑な運営を図る。

II 事業の成果等

月1回の定例教育委員会及び4回の臨時教育委員会を開催し、教育委員会の円滑な運営を図り、教育行政の進展に資することができた。

III 事業の実績

1 教育委員会の開催

定例教育委員会 12回 臨時教育委員会 4回

2 審議の内訳

議題 46件 協議事項 15件 報告事項 49件 その他 77件 計 187件

3 教育委員会の人事

小林雅彦教育長の教育委員任期が平成30年3月31日に満了となり、須坂市教育委員会教育長は平成30年4月1日付けで新教育長制度に移行した。同日付けで新制度による教育長に小林雅彦氏が就任し、4月2日の臨時教育委員会において神戸要子委員が教育長職務代理者に指名された。また、岡部昭弘委員の教育委員任期が平成30年9月30日に満了となり、新たに二ノ宮邦彦氏が10月1日付けで教育委員に就任した。

平成31年3月31日現在

職 名	氏 名	就 任	任 期
教 育 長	小 林 雅 彦	平成30年4月1日	令和3年3月31日
教育長職務代理者	神 戸 要 子	平成28年10月1日	令和2年9月30日
委 員	丸 山 浩 恵	平成27年10月1日	令和元年9月30日
委 員	土 屋 保 男	平成29年6月21日	令和3年6月20日
委 員	二ノ宮邦彦	平成30年10月1日	令和4年9月30日

4 総合教育会議の開催

開催回数 1回 12月27日

主な内容 小学校通学用「標準かばん」について
全国学力・学習状況調査について

5 総会・大会等への参加

- (1) 長野県市町村女性教育委員連絡協議会総会 6月22日
小諸市 神戸教育長職務代理者・丸山委員出席
- (2) 長野県市町村女性教育委員連絡協議会研修会 10月19日
坂城町 神戸教育長職務代理者・丸山委員出席
- (3) 長野県市町村教育委員会研修総会 10月12日 安曇野市 教育長・教育委員全員出席
- (4) 教育委員行政視察 10月16日～17日 埼玉県白岡市、川越市 教育長・教育委員全員参加

6 須高市町村教育委員会研究協議会

期 日	12月18日	須高3市町村教育長・教育委員全員
場 所	須坂迎賓館	
研究内容	合同部活動の現状と新たな指針への対応について 学校における働き方改革の推進について 統合型校務支援システムの導入について 小学校での英語の授業について 恵まれた自然環境を活かした教育活動について 学校施設等の長寿命化対策と新たな設備投資について 特別支援や増加する不登校への対応について 朝食を食べて来ない児童に対する対応について 小中学校における広報活動について 放課後児童クラブの職員確保について	

7 小・中・高等学校競技会等出場選手激励金の交付

全国的な競技会等に出場する児童・生徒に激励金を交付することにより、スポーツ・文化活動の振興を図った。

大 会 名	出場期間	区分	金額
平成30年度 全国高等学校総合体育大会 陸上競技大会	8月2日～6日	1個人	3,000円
第39回 文部科学大臣杯少年少女囲碁大会	7月31日～8月1日	1個人	3,000円
第15回 文部科学大臣杯小・中学生囲碁団体戦全国大会	7月29日～30日	1団体	9,000円
第87回 全国高等学校卓球選手権大会	8月3日～8日	3個人	9,000円
第65回 全国高等学校珠算・電卓競技大会	8月1日	1個人	3,000円
第41回 全国高等学校総合文化祭 吟詠剣詩舞部門	8月11日	2個人	6,000円
第49回 全国中学校卓球大会	8月22日～25日	1団体 1個人	53,000円
平成30年度 全日本卓球選手権大会	11月2日～4日	3個人	9,000円
第69回 日本学校農業クラブ全国大会 クラブ員代表者会議	10月23日～25日	1個人	3,000円
第69回 日本学校農業クラブ全国大会 農業鑑定競技会	10月23日～25日	1団体	12,000円

大会名	出場期間	区分	金額
第19回 全国中学生創造ものづくり教育フェア「あなたのためのおべんとう」コンクール	1月26日～27日	1団体	9,000円
第20回 全国中学選抜卓球大会	3月23日～24日	1団体	18,000円
計			137,000円

10-1-2(目)事務局費

単位：円

当初予算額	109,501,000	予算現額	107,561,000	決算額	106,392,855	前年度決算対比	93.2%	前年度決算額	114,148,129
-------	-------------	------	-------------	-----	-------------	---------	-------	--------	-------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初予算額	19,513,000	予算現額	17,074,000	決算額	15,955,024	前年度決算対比	86.9%	前年度決算額	18,370,016
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	-------	--------	------------

I 事業の目的

教育委員会事務局としての事務を処理し、教育行政の円滑な推進を図る。

II 事業の成果等

教育委員会事務局として各課等との連携調整を図り、教育行政の円滑な推進に資することができた。

III 事業の実績

1 「須坂市の教育」平成29年度版の作成

教育委員会、教育財政、学校教育、社会教育、人権同和教育、社会体育等、当市の教育の全内容を網羅した「須坂市の教育」を作成し、須坂市のホームページに掲載した。

2 電気保安業務委託

小・中学校等の電気保安管理業務を委託した。 16施設 2,226,528円

3 訴訟代理業務委託料

事件名 長野地方裁判所 平成30年（ワ）第135号 損害賠償請求事件

代理人 弁護士 藤原寛史氏、弁護士 北村純子氏

内容 須坂市を被告とする損害賠償請求事件に対し、平成30年7月9日の第1回口頭弁論から平成31年1月15日の結審まで裁判対応

平成31年3月5日判決（原告の請求は棄却。訴訟費用は原告の負担。）

委託料 原告が控訴したため、契約に基づき着手金のみ支出 270,000円

10-1-3(目)教育奨励費

単位：円

当初予算額	197,512,000	予算現額	196,949,000	決算額	186,946,932	前年度決算対比	100.8%	前年度決算額	185,423,734
-------	-------------	------	-------------	-----	-------------	---------	--------	--------	-------------

■ 教育奨励事業

単位：円

当初 予算額	15,846,000	予算 現額	14,224,000	決算額	13,388,785	前年度 決算対比	105.3%	前年度 決算額	12,709,639
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

地域に開かれた特色ある教育・学校づくりや、学校・家庭・地域が、それぞれ果たす役割を自覚し、ともに連携し、子どもたちの「生きる力」を育み、将来を見据えて、育て合い・生き合う教育を推進する。

II 事業の成果等

各小・中・支援学校における特色ある教育・学校づくり推進事業及び信州型コミュニティスクールの運営・学習活動により、地域に開かれた学校づくり、心豊かでたくましく、国際的視野をもち、主体性ある人材育成が一層進むとともに、総合学習への積極的な取り組みにより推進が図られた。

III 事業の実績

1 特色ある教育・学校づくり推進事業負担金

児童・生徒の「生きる力」を育むための事業と学校評議員制度に代わる信州型コミュニティスクールの運営・学習活動を核とした、特色ある教育・学校づくり推進のための活動に対して、各小学校に 31 万円、各中学校に 61 万円、須坂支援学校に 23 万円の負担金を交付した。

各学校の主な活動

	特色ある教育・学校づくり推進事業に係る主な事業内容
須坂小学校	1 地域の人材をいかした活動 3～6年生の縦割り総合「くぬぎの時間」（総合的な学習の時間）に地域の講師を招き、体験型の学習活動を実施した。「くぬぎ祭」に保護者や地域の方を招いて発表会を実施した。 2 安全で安心できる学校環境づくり 冬季降雪時に安全確保と教育活動維持のため、重機をリースし、大規模な除雪作業を行った。また、児童の安全確保のため、特別教室の窓ガラスに飛散防止フィルムを貼った。 3 栽培及び環境整備活動 苗や肥料を購入し、きゅうり、さつまいもなどの栽培活動を行った。また、栽培収穫活動を題材として、絵画、各種コンクールに出品した。 4 特別支援教育の推進 教員補助員にも引率していただき、社会見学を行った。また、福祉学習の講師を招き、講演会を行った。 5 学力向上 児童の家庭学習やドリル学習で使えるプリント集を更新した。 6 健康教育などの推進 歯科衛生士による歯科指導を実施した。また、学校保健安全講演会を実施し、松代総合病院池野先生にご講演いただいた。 7 文化的活動 市の学芸展に児童の作品を出品した。 8 学校運営委員会の運営 くぬぎの森学園運営委員会（信州型コミュニティスクール運営委員会）を4回開催した。学校行事の参観してもらい、地域との連携のみでなく、学校の活動についても幅広く意見交換ができた。 9 学習環境支援 社会見学の市バスに乗りきれない児童のために、ジャンボタクシーを手配した。総合的な学習の時間の学習の資材として、耐火煉瓦などを購入した。

	特色ある教育・学校づくり推進事業に係る主な事業内容
小山小学校	1 栽培及び環境整備活動 学校農園整備のためのマルチシート、田んぼ用防水シートなどの設置を行った。また、不登校児童の居場所づくりのための活動で、学校環境整備のための木工材を購入し、読み聞かせ用本棚の制作を行った。 2 地域の人材を活かした活動・特色ある教育振興活動 クラブ活動（囲碁将棋、ゲートボール、調理）に地域の講師を招き、専門分野でのご指導をいただいた。ゲートボールは、昨年度権利を得た全国大会出場を果たした。今年度の地区大会3位、県大会出場など、今年度も活躍を見せた。また、書写指導、灯籠作り、本の読み語り、絵手紙指導、家庭科支援、戦争体験講話、雅楽・神楽鑑賞、総合的な学習など様々な学習の場面で、地域の講師を招く学習活動を行った。合唱団がNHK合唱コンクール（銀賞）と、ボーカルアンサンブルフェスティバル、合唱リーダー講習会に参加した。小山小信州型コミュニティスクールを「とちのきコミュニティスクール」とし、拡大・充実させるための運営委員会の実施や、読み語りボランティア「とちのみ」の会の活動支援を行った。 3 自然や動物とのふれあい活動 学級農園で、さつまいも、とうもろこし、じゃがいも等を栽培し、その調理や交流活動としての焼き芋大会を姉妹学級で実施した。また、地域から頂いた鈴虫等の生き物、ウコッケイ等の飼育を始め、生き物とのふれあいを通して命の大切さを学んだ。 4 社会との豊かなふれあい事業 学芸展・あゆみ展の児童作品制作を通して、児童の情操を育て、多数出展した。また、地域の講師にご指導いただいた灯籠を、竜ヶ池の「灯籠流しの夕べ」で飾り、地域の方々とともにその風情を楽しんだ。
森上小学校	1 公開参観・ふれあいの日の運営 地域の特技を持つ方（名人）や高齢者を講師にし、保護者とともに体験活動を通じて交流を行った。 2 総合的な学習の時間・生活科・生活単元学習推進 サツマイモの栽培、味噌作り、りんご収穫、親子食育学習、灯籠作り、須坂の歴史学習などを行った。 3 教育振興活動 合唱コンクール、自転車大会に参加した。あゆみ展や学芸展に出品した。また、家庭学習プロジェクトを推進した。 4 環境教育・緑化栽培 正門周辺、あいさつ道路、体育館裏、校庭南側側溝の整備を行った。校地内の畑や花壇、池を利用したの花の栽培を行った。 5 勤労生産・飼育活動 さつまいもの栽培を通して、姉妹兄弟学級で交流した。うさぎの飼育、蛙や植物の観察を行った。 6 情報教育活動 児童のための情報モラル学習、薬物防止教室、万引き防止、心の教育等の講演会を行った。 7 音楽教育・道徳教育 音楽会のための講師指導、合唱コンクール参加のための伴奏者補助を受けた。また、道徳科の教科化による資料の整備を行った。

	特色ある教育・学校づくり推進事業に係る主な事業内容
日滝小学校	1 地域の人材を生かした活動 外部講師による9つのクラブ活動を行った。また、書き初め指導や、箏、尺八の和楽器の体験を専門の先生から指導を受けることで、興味や関心を持ち取り組み、上達に結び付いた。 2 子どもたちの健康を考える活動 歯科衛生士を招き、歯の健康教室を実施し、歯磨きの大切さや正しい磨き方を学んだ。 3 栽培活動及び環境整備活動 全校でさつまいもを栽培し、姉妹学級で焼き芋大会を行い交流した。2年生はトマトを一人一鉢植え、植物の成長について学習した。図書館に大型絵本を展示するためのディスプレイ棚を購入し、利用しやすいように環境整備を行った。 4 特色ある学校の中核活動 トウモロコシ、りんごの栽培体験、収穫後の調理活動のほか、蛙の飼育、手作り楽器による音楽会での演奏、自分の学習の足跡などを綴った自分だけのポートフォリオを制作した。 5 特別支援教育の推進 タイムタイマーを支援学級の全クラスに設置、ユニバーサルデザイン化を図った。また、ハムスターを購入し、飼育活動を始めた。 6 学力向上 宿題用プリント冊子を購入した。 7 文化的活動 学芸展への参加、情報モラルの学習、また、地域のみなさんによる「見守り隊」が発足した。 8 学校運営委員会の運営 年3回の信州型コミュニティスクールの開催、多くの地域の講師、ボランティアとともに、児童の育成ができた。
豊洲小学校	1 俳句学習 毎月、「俳句の日」に作品展示や、外部講師による俳句学習を行った。各種俳句大会へ応募し多数入選した。俳句集会では講師の講演のほか、俳句発表を行い、代表児童が大きな声で堂々と自分の作品を発表、児童相互に感想を伝え合い、今年度の課題であった自分の考えを発表する力の育成につながった。 2 JRC（ボランティア）活動の充実 JRC登録式、朝のVS活動（ごみ拾い、草取り、グラウンド整備、廊下や壁の汚れ落としなど）を行う中で、児童に奉仕の心の高まりが見られた。 3 環境・栽培活動 各学年花壇の整備、学校農園で野菜（さつまいも、じゃがいも、きゅうり、大根など）を栽培し、季節の野菜を使ったいろいろな料理に挑戦した。 4 生活科学習・総合的な学習 アサガオ学習、大豆栽培、りんごの栽培と収穫、参観日での2分の1成人式、豊洲フェスティバルの計画・準備や、カッタカタまつりに参加したことで、自分の住む地域への愛着をもち、その中で安全で適切な行動ができるようになってきた。また、活動や体験を通じて、表現力や思考力が育まれた。 5 学力定着 学習プリントを購入し、清掃後の全校一斉ドリルの時間や、水曜日を清掃不用日としたスーパードリルタイムを設け、英語の教科化に向けた国語（漢字学習）のモジュール化を図った。また、児童の実態に応じたプリントなどを活用することで、目当てをもって自主的に学習を進める姿や、意欲的に取り組む姿が見られるようになった。

	特色ある教育・学校づくり推進事業に係る主な事業内容
日野小学校	1 地域との融合及び環境教育 地域の講師から、ヨガ、カヌー、和太鼓、書初めを指導していただいた。 「いずみまつり」を日野地域づくり文化祭に合わせて開催した。「名人講座」では地域の方を名人として講師に迎え、16の講座（手芸、水・空気鉄砲、わりばし鉄砲、竹とんぼ等）でご指導いただいた。普段の授業とは違った雰囲気の中で児童は楽しみ、地域の良さを感じることができた。PTAも事業（出店等）を催した。 地域の書道会から講師を招聘し、書き初めの指導を受けた。 2 校内環境・環境教育 地域の魚等の生き物を集めたアクアワールドの維持管理を行い、児童の環境教育に役立てた。また、児童会が中心となり、中庭中央花壇の手入れを行った。 3 特別支援教育 特別支援学級拠点校として、児童の個々に応じた特色ある教育を進めたほか、登校支援の必要な児童の居場所や活動の場（相談室）を設け、活動を支援した。 4 生活科、総合的な学習、特別活動 地域産業を学ぶ地域学習や村山早生ごぼう栽培体験、地域の郷土食など招聘した地域の講師を通して、地域学習の充実を図ることができた。また、特別支援学校に通っている校区の子どもを招き居住地交流を活発に行い、地域の子どもたちとのつながりを深めた。 5 日野小コミュニティスクール運営 日野小コミュニティスクール運営委員会定例会の運営費補助、運営委員を運動会、他の学校行事や授業参観等に招待し、児童の様子をご覧いただき、広い見地からのご意見を頂くことができた。
井上小学校	1 地域の人材を活かした活動 月2回の学校便りを地域回覧用として地域に配布、地域の講師を招き、学校行事や体作り運動、書写、味噌作りなどの指導をしていただいた。地域ボランティアの協力により、5年生の田植え、稲刈り、脱穀、餅つきを体験した。 2 安全で安心できる学校環境づくり 地域安全ネットワーク総会で地域の関係者と児童の安全確保に向けた取り組みを進めている。 図書館利用者のための環境改善として、畳の表替えを行った。 3 栽培・環境づくり活動 5年生が井上保育園年長とさつまいもの栽培を行い、秋の収穫祭で交流した。「人権の花」運動に参加し、姉妹学級で土作りから花植えまで行った。 4 特別支援教育の推進 特別支援学級において、生活単元学習や日々の授業に必要な消耗品（ファイル、バインダーなど）を購入した。 5 学力向上 学力向上に向けた資料収集及び資料を作成した。 家庭科では、地域支援ボランティアが裁縫のお手本にお手玉を作り、児童は意欲的に学習に取り組んだ。 6 特色ある課外活動の推進 クラブ（ゲートボール、手芸、かご作り、将棋、音楽）活動に地域の講師を招き、年6回指導をしていただいた。また、1年生は保育園年長児と学校のプールで交流学習を複数回行った。 7 文化的活動 学校寄席で落語家と切り絵師の芸能に触れ、情操を養うことができた。また、市の学芸展に児童の作品を出品した。 8 学校運営委員会の運営 学校運営委員会を開催し、意見交換、学校支援活動内容の検討や調整、学校関係者評価等を行った。

	特色ある教育・学校づくり推進事業に係る主な事業内容
高甫小学校	1 全校登山 全校登山をPTAと共催で実施し、児童・教職員のほか、地域の方々や保護者も多数参加した。 2 地域交流活動 児童の健全育成として「高甫ふれあい委員会」では、児童の学習状況や地域における生活面及び安全面での情報交換を丁寧に行い、地域での指導協力をいただいた。また、毎月11日に高甫交通安全の日（お地蔵さん供花）を設定し、お参りと清掃、交通安全の確認などの活動を行った。毎年、交通安全への意識向上のために交通安全標語を募集し、優秀作品への表彰のほか、高甫地域の全家庭に標語ポスターを配布した。クラブ活動では、8つのクラブ（生け花、お茶、手作りブローチ、手作りおもちゃ、郷土の料理、オカリナ、探検、スラックライン）の指導を地域の方にお願ひし、専門的な知識や技術を教えていただく良い機会となり、充実した活動となった。 3 学芸交流活動 学芸展・あゆみ展などへの出品、合唱コンクール、ボーカルアンサンブル、陸上大会などに参加して多数入賞した。また、高学年を対象に、地域の講師に書き初めの指導をしていただき、見違えるような上達ぶりが見られた。 4 栽培飼育活動 地域づくり推進委員の皆さんの協力を得て、3年生がヤマメの飼育を行った。 5 特別支援教育活動 今年度自情障学級「夢組」が開設され、入級したそれぞれの児童の興味関心や学習進度に合わせた学習環境を整えるため、iPadなどの教材の導入を進めてきた。 6 教育振興活動 雨天時の屋外で遊べない児童の遊び場として、玄関に卓球台を常設、多くの児童が利用し、日々の体力向上に役立てている。
旭ヶ丘小学校	1 栽培・飼育活動の充実 信州型コミュニティスクールでの取り組みの一環として、旭ヶ丘地域づくり推進プロジェクトの方々の協力を得て、中庭花壇の整備を行った。フラワーブラボーコンクールで県教育委員会賞を受賞した。 育てた花の苗を地域に配付したり、プランターを地域の施設に設置したりし、協力いただいた方々を招待して「感謝の会」を開催した。 学級の活動として農園の土作り、さつまいもや大豆栽培を行った。また、マツバギクの苗を育て、旭ヶ丘地域づくり推進プロジェクトの方々とイチヨウ並木に植栽した。環境委員会が中心になって校内美術サロンや職員玄関の水槽の魚のほか、うさぎの飼育に取り組んだ。 2 ボランティア活動の充実 生活科で地域のお年寄り（すこやかさん）との交流を行い、運動会や音楽会等に招待して交流を深めた。クリーンデーは登校時のごみ拾い、アルミ缶回収（本年度は1,040 kg回収）の収益でやすらぎ園に車イス2台を寄贈した。 3 地域の人材を活かした活動 地域の方々の指導を受けながら、農作物の栽培、工場や商店の見学など様々な体験学習を行った。 4 文化的活動 市内学芸展、あゆみ展、親善音楽会への参加、校内における版画展、描画展等の実施、音楽家による演奏と指導等を通して他校との交流を深めた。 5 特色ある課外活動の推進 地域の講師を招き、クラブ活動の自転車とゲートボールの練習に取組み、各大会に出場した。金管バンドでは、音楽演奏の技能を高めながら、音楽会などで成果を披露した。フロアホッケーも練習をつんで大会に参加、県内各地の小学校と交流を深めた。 6 学力・体力の向上、指導力向上のための活動 年間11回の補充学習の時間を設定し、不得意分野等の克服に努めた。外国語教育推進のため、校務用とは別に、教材を入れたPCを準備し、文科省の教材や絵カードなどのデジタルデータをインストールした。今後、教材研究を重ね、来年度の授業で本格的に活用する。 7 安全・安心、健全育成活動の充実 PTAと協力して安全マップの作成や交通安全教室の実施した他、CAP講習を受けた。 8 学校運営委員会の運営 信州型コミュニティスクール運営委員会を開催、継続的な地域交流・連携ができるよう打合せ、学校評価の関係者評価にも関わっていただいた。

	特色ある教育・学校づくり推進事業に係る主な事業内容
仁礼小学校	- 福祉・交流 福祉施設（グリーンアルム、ぬくもり園）と交流を行った。豊丘小学校、仁礼保育園や須坂支援学校と交流を行った。 - 栽培活動・環境整備活動 みどりの少年団活動で花壇づくりを行った。うさぎや金魚の飼育、農園でさつまいも等を栽培し調理した。 - 学校環境づくり 大雪の際、地域の方々に通学路の除雪を行っていただき、児童登下校時の安全を図った。 - 読書活動支援事業 読書活動の振興に努めた（図書貸出数：一人あたり7.8冊／月）。ボランティアによる読み聞かせを9回実施した。また、年2回全校集会行事として読み聞かせスペシャルを行った。 - 特別支援教育の推進 子どもの困り感や危機回避の観点から特別支援教室の環境整備を行った。また、不登校傾向の児童のための個別学習教室を設置した。 - 地域の方から学ぶ 地域の講師から、おやき作り、土笛活動、書初めの指導をしていただいた。 - 課外活動 合唱部がNHKコンクール、ボーカルアンサンブルフェスティバル（銀賞）に参加した。自転車は大会に2チームが参加した。陸上部は須高大会で多数入賞した。 - 学力向上 外部講師を招き、授業力向上研修を行った。 - 楽しい学校・児童理解 全学年でハイパーQ-U調査を行い、一人一人の特性に合わせた指導に努めた。
豊丘小学校	- 連学年、縦割り活動 低学年、中学年で班を作り遠足を実施した。縦割り班ごとに、校庭で飯ごう炊さんによるカレー作りを行った。年2回、縦割り清掃の期間を設定し、低学年が清掃の仕方を学ぶ良い機会となった。 - 講座体験学習「園里っ子」 地域の方々の協力を得て、おやき、そば、やしょうまなど地域に伝わる食べ物づくりの他、羊毛フェルト、切り絵、絵手紙、豆本作り、木工、理科実験など9講座を開設し、交流を深めた。 - 花づくり 中庭の花壇作りに取り組み、須坂市花のまちづくりコンクールで優秀賞を受賞した。 - 豊丘の自然や地域の方々とのふれあい 栽培活動（だいこん、さつまいも、大豆、なすなど）、収穫祭、地域巡り等を実施した。地域の講師を招いて、味噌作り、ぶどうづくり、書写学習、読み聞かせ・紙芝居を行った。 - 各種大会参加 陸上競技大会（須高、北信、県）、須高自転車大会、ボーカルアンサンブルフェスティバル（金賞）、金管バンドは豊丘ふれあいまつりに参加した。

	特色ある教育・学校づくり推進事業に係る主な事業内容
常盤中学校	1 教科指導、体験的・自主的な学習の充実と学力の向上 キャリア教育で2年は先輩の話を、3年は外部講師の講話を聴き、将来の生き方を見つめる機会となった。また、各学級の音楽会での合唱について、地域の講師に講評をいただいたことで、技能の向上につながった。 2 特別支援教育の充実 特別支援学級の生徒たちが学習しやすい環境を整えたり、教材・材料等を購入したりして、自立活動や生活単元学習の充実を図った。また、自情障学級で使用する衝立を購入し、クールダウン用のスペースを設置した。 3 生徒指導、心の教育、保健教育の充実 生徒指導の充実を図るためにハイパーQ-Uを実施、より客観的に学級集団の状況を把握したりして学級指導に生かしたほか、学級の合唱活動充実のために、1学年の学級に1台ずつCD ラジカセを導入、生徒の意欲や技術の向上に役立てた。 4 地域に学び、地域の保護者と協働する学校 地域ボランティア、先生方とのコミュニケーションの場として、ボランティアルームを整備した。また、年3回ある信州型コミュニティスクールでは、これからの学校運営等の学校と地域の絆をより深めるための指針をいただいた。
相森中学校	1 授業内容の充実と改善 学力向上に向けて授業づくり（改善）を推進し、必要となる学習用長机などの備品を導入し、環境整備を行った。また、人権教育をより効果的に進めていくうえで、人権教育DVDなどの備品を導入し、6・11月の人権教育月間を中心に、日頃から人権感覚の育成に取り組んだ。 2 特色ある学校行事の充実 校庭大運動会は、生徒会役員を中心に生徒全員で作り上げて、達成感と所属感を味わうことができ、生徒の自信を深めた。学校体育館で行った音楽会は、講師・審査の先生を迎え、コンクール形式で行った。また、将来につながるキャリア教育を展開し、学年ごとに講演会を実施した。 3 生徒指導の充実 生徒指導の充実を図るために年2回のQ-Uを実施した。また、情報モラル教育やおくすり教育などの講演会を開催し、生徒自身が、今後の生活を送るうえで、大切にしたいことを考える良い機会となった。 4 交流教育の充実 学芸展、あゆみ展に積極的に出品した。 5 体験学習の充実 相森中コミュニティスクールの導入により、地域支援ボランティアの方々に、放課後学習会や家庭科の授業での学習支援をいただいた。 6 専門部活動の充実 保護者を含めた全校生徒を対象に、メンタル面の強化や持ち方に焦点をあてた講演会を開催した。 7 学校環境の整備 昨年度の防災機能強化工事によって、学校トイレの改修が行われたことから、将来にわたって清潔に維持できるように清掃用具などの備品を購入した。 8 学校運営委員会の運営 信州型コミュニティスクールを3回開催し、運営委員の方々から学校の運営面に関する貴重なご意見をいただくことができた。

	特色ある教育・学校づくり推進事業に係る主な事業内容
墨坂中学校	- 心の学力の育成 夏休みにJRCトレセンに参加してボランティア研修を受けた。学芸展やあゆみ展に出品した。小中連携学力向上事業の一環として、小学生のドリルを中学生が採点した他、校内放送の英語アナウンス等に取組んだ。また、校内音楽会をコンクール形式でメセナホールで行った。 - 生徒指導の充実 専門の講師を招き、インターネット社会でのマナー・モラル意識の向上に努めた。性教育講座を行い、あらためて命の尊さを学んだ。 - 特別支援教育・交流活動 墨坂中学校区の特別支援学級の生徒・児童と交流活動を行ったほか、生活単元で育てた作物の収穫祭を行った。 - 総合的な学習の時間、体験学習の充実 キャリア教育の一環として、1学年は地域の方々から働くことの意味や、さまざまな職種の具体的な話を聞いた。2学年は職場体験学習を2日間の日程で行った。 - 部活動の充実 卓球、水泳、柔道、体操が北信越大会、ソフトテニスが県大会に出場した。 - 地域の人材を活かした活動 地元企業に出向き職場体験学習を行い、生徒が地域や社会に貢献できることを学ぶことができた。また、地域の学習支援ボランティアにより、放課後の補充的学習サポートをしていただいた。 - 職員研修 インクルーシブ教育について職員研修のほか、非違行為防止研修を毎月1回実施した。指導力向上、専門的知識の向上を図るため各種研修に参加した。
東中学校	- 学力向上 外部講師を招き、1つの問いについて多面的に考える哲学対話のご指導をいただいた。外国の方々を招き、ネイティブな英語、外国文化について学び、交流を深めた。また、数学学習の充実のため、放課後などの時間に、タブレットやパソコン教室で生徒が学べるように学習システム環境を整えた。 - キャリア教育の充実 職場体験見学（市内6事業所）を市生涯学習推進センターと連携して行った。地域の講師による手話指導・交流会、高齢者疑似体験を行った。現役高校生に高校の様子を聞いたり、事業所の方々に働くことの意義等を学んだ。 - 信州型コミュニティスクール 運営に係る話し合い、学校評価アンケート結果からの活動の見直し等についてご意見をいただくことができた。併せて、学校支援ボランティアの活動保健に加入したほか、ボランティアルームを整備した。 - 地域体験 地域の講師を招き、伝統楽器（箏や尺八）の演奏や、縄文文化、異文化交流、サバイバル炊き出し等さまざまな体験学習を行った。 - 防災教育・人権学習 東日本大震災や56災害で被災された方を講師に迎え、当時の状況や自然災害への備えについて学んだ。 - 部活動の充実など 各部活動の備品購入や大会参加費補助を行った。
須坂支援学校	- 地域における特別支援教育のセンター的役割の推進 地域の小中学校等からの要請による児童生徒の教育相談、保護者を対象とした研修を実施した。特別支援教育に関する視察や研修に対応した。 - 須坂ふれジョブ推進会議への連携 ふれジョブときわ事務局及び定例会を推進した。須坂ふれジョブ推進会議との連絡調整を行った。ふれジョブときわ・おおもりへ生徒が参加した。 - 須坂小学校、常盤中学校及び居住地校との交流及び共同学習の推進 併設校の須坂小学校、隣接校の常盤中学校等との日常的な交流や学校行事での交流、授業での交流及び共同学習を推進した。居住地校との交流及び共同学習を推進した。 - 地域のイベントへの参加、地域の方々との交流の推進 PTA祭り、常盤祭、ふれあい広場、あゆみ展などに参加し、手作り品・作業学習製品等を出品したほか、校歌作者の春畑セロリさんと、音楽を通じた交流を行った。

2 中学生平和学習事業

中学生代表8人（3年生）を8月5日から6日にかけて広島市に派遣し、平和学習を行った。

本年度から広島までの移動を電車で替え、1泊2日の日程とした。

平和記念式典参列、原爆ドーム・平和記念資料館等見学、被爆体験語り部のお話を拝聴。

ここで学んだことを、各学校の平和学習で発表するとともに、平和学習感想文集を発行し各校へ配布した。

3 峰の原高原高等学校等生徒通学費補助金給付

峰の原高原の高校生の保護者に対し、通学に要する経費の負担を軽減するため補助金を交付した。

高校生1人 72,000円

4 防犯ブザーの配付

「SBCこども未来プロジェクト」の一環として、SBC信越放送から小学校1年生全員に防犯ブザーの無料配付が行われた（小学校1年生415名）。

小学校において毎月携帯調査を実施し、携帯率向上に努めた。（約90%）

5 ふれジョブへの支援

負担金を交付するとともに、定例会に出席し活動の支援を行った。（負担金10万円×4地区）

6 峰の原高原自然体験学習事業

市内小学校・特別支援学校の5年生が、1泊2日の宿泊を伴う自然体験学習を経験し、地元の自然等、地域資源に目を向けるきっかけとなった。宿泊は、峰の原高原のペンションに分宿し、ペンションオーナーとクラフト作り等で触れ合うことができた。

(1) 実施期間 6月25日～7月12日

(2) ペンション利用児童数 482人

■ 教育支援事業

単位：円

当初 予算額	664,000	予算 現額	532,000	決算額	521,746	前年度 決算対比	109.9%	前年度 決算額	474,586
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

須坂市教育支援委員会条例に基づき、心身に障がいのある来入児、児童・生徒の適切な就学に関する判断を行う。

II 事業の成果等

市内小・中学校及び教育相談専門委員会より提出された資料を基に、当該来入児、児童・生徒の就学に関し協議、判断を行い、保護者への十分な説明に努めることにより、当該来入児、児童・生徒にふさわしい学級・学校への進路を決定することができた。

III 事業の実績

1 適切な就学を図るための相談事業の状況

区 分	申込者数 (人)	辞退者数 (人)	相談実施者数 (人)	通常学級適当者 (人)	入級・入校適当者 (人)	左のうち入級・ 入校した者の数(人)
来入児	13	4	9	3	6	6
児 童	49	2	47	12	35	34
生 徒	5	0	5	2	3	3
計	67	6	61	17	44	43

※入級とは特別支援学級に入ること。入校とは特別支援学校(養護学校等)に入ること。

2 教育支援委員会の体制整備

知的障がい、情緒障がい、肢体不自由等児童・生徒の様態が多様化してきており、知能検査の結果分析や多種類の検査による総合判定をより適切に行うため、医師等の専門家を加えた教育支援委員会を開催した。

- (1) 教育支援委員会の開催 7回
- (2) 教育支援小委員会の開催 3回
- (3) 校内教育支援委員会の開催

小学校名	回数	中学校名	回数	須坂支援学校	回数
須坂小学校	3	常盤中学校	3	小・中学部	1
小山小学校	3	相森中学校	6		
森上小学校	7	墨坂中学校	4		
日滝小学校	3	東 中学校	6		
豊洲小学校	13				
日野小学校	4				
井上小学校	3				
高甫小学校	14				
旭ヶ丘小学校	5				
仁礼小学校	16				
豊丘小学校	10				

- (4) 特別支援教育コーディネーター等連絡会全体会の開催 3回

3 通級指導教室

まなびの教室：通級人数 28名(内須坂市内17人)

ことばの教室：通級人数 16名(内須坂市内13人)

■ 不登校児童生徒支援事業

単位：円

当初 予算額	22,261,000	予算 現額	22,223,000	決算額	21,566,165	前年度 決算対比	101.8%	前年度 決算額	21,183,652
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

不登校や学級不適応などの児童生徒に対応するため、不登校児童生徒支援員や中間教室適応指導員を配置し、問題解決に努める。

II 事業の成果等

不登校児童生徒支援員や中間教室適応指導員を配置し、不登校や学級不適応の原因の究明や不登校や学校を休みがちな児童生徒、学級に入れない児童生徒に対し相談を行いながら、教職員や家庭と連携を図り、児童生徒の安心できる居場所づくりを行って、登校に向けた環境作りが行えた。

III 事業の実績

1 不登校児童生徒支援員等の配置

各中学校に不登校児童生徒支援員計7名（県費2名・市費5名）を配置した。

相森中学校(中間教室)に中間教室適応指導員（市費1名）を配置した。

2 不登校児童生徒支援員の情報交換会

4月10日 平成29年度不登校の状況について

学校での活動状況について

11月6日 須坂市教職員会「心の部会」へ参加

3 登校支援会議の開催

児童生徒一人ひとりの「生きる力」を育み、不登校児童生徒の減少の成果を認識・共有するために開催した。

全体会 5月31日

2月4日

※校区別支援全体会議は必要に応じて校区別に開催。

4 中間教室（フレンドリールーム）活動状況

登校しづらくなっていたり、登校することができない状態が続いている児童生徒を対象に、通室者による集団生活を通して、人との交わりや共に生きることの喜び、勇気を持てるよう援助を行うとともに、保護者等からの相談に応じ、悩みや問題等の解消に努めた。

(1) 通室状況

学年	性別		月別通室人数及び日数												備 考
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
小学校	男	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		通室 日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	人	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	2	2	
		通室 日数	0	0	0	0	0	0	9	18	17	20	29	15	
中学校	男	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		通室 日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	人	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	
		通室 日数	16	21	20	14	5	18	32	40	33	31	38	16	
計	人 数		1	1	1	1	1	1	3	3	3	4	4	4	
	開室日数		16	21	20	14	5	18	20	21	18	18	19	9	

(2) 相談状況

・保護者相談 4回 ・見学者 3名 ・通室者 4名

5 知能テストの実施

小学校2年生、5年生、中学校1年生を対象に実施した。

6 Q-U検査の実施

小中学校全学級を対象に、Q-U「楽しい学校生活を送るためのアンケート」を年2回実施した。
アンケートの結果を、学級経営に活かしたり、児童生徒指導や個別相談に活用した。

7 笑顔で登校支援事業

(1) 不登校・ひきこもりのための発達心理とカウンセリング講座及び個別相談会（県共催事業）の開催状況

ア 場 所 中央公民館

イ 講 師 NPO法人 長野県子どもサポートセンター 飯田俊穂 氏

開催日	セミナー演題	参加人数	
		セミナー	個別相談
4月24日	前半：子どもとのかかわりのために発達心理を学ぼう	23	2
5月10日		22	1
6月7日		25	2
7月12日		23	1
8月9日		17	0
9月13日		16	1
10月11日		20	1
11月8日	後半：子どもの気持ちを受けとめ・寄り添うためのテクニック	16	1
12月13日		17	0
1月10日		20	0
2月14日		18	0
3月5日		19	0
計		236	9

(2) いじめ・不登校の状況（3月31日現在）

ア いじめ	小学校 84 件（前年 24 件）	中学校 47 件（前年 53 件）
イ 不登校	小学校 30 件（前年 17 件）	中学校 42 件（前年 40 件）

■ 教育活動支援事業

単位：円

当初 予算額	80,036,000	予算 現額	80,719,000	決算額	79,046,130	前年度 決算対比	104.0%	前年度 決算額	76,005,855
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

- 1 特別支援学級や通常学級に在籍する支援を必要とする児童生徒に対し教員補助員を配置し、学級担任のみでは支援しきれない個別に支援を必要とする児童生徒の支援に当たり、個々に寄り添ったきめ細かい支援を行い、スムーズな学級運営を図る。
- 2 日本語の読み書きが十分でない外国籍等の児童生徒に対し外国籍児童生徒支援員を配置し、専門的な指導と支援を行い、授業の補助や保護者との意思疎通を図る。
- 3 教育委員会へ指導主事を配置し、小・中・支援学校への巡回、学校長や教頭との学級・学校運営に係る相談及び指導、問題を抱える児童生徒及び保護者や担任との懇談・指導・助言にあたり、円滑な学校・学級運営を図る。

II 事業の成果等

- 1 須坂支援学校への6名を含め、計40名の教員補助員を配置し、障がい・多動行動児童等の学校生活における学級担任の補助を行うことで、教育活動の充実が図られた。
- 2 日本語の読み書きが十分でない外国籍等の児童生徒に対し日本語の指導を行うことにより、授業や保護者との意思疎通が図られた。
- 3 指導主事が学校への指導・助言を行うことにより、円滑な学校・学級運営が図られた。

III 事業の実績

- 1 教員補助員の配置 配置人数 40名

(1) 配置校

学 校 名	人 員 (人)	賃金総額 (円)
須坂小学校	3	61,205,198
須坂支援学校	6	
小山小学校	2	
森上小学校	3	
日滝小学校	2	
豊洲小学校	2	
日野小学校	3	
井上小学校	2	
高甫小学校	1	
旭ヶ丘小学校	1	
仁礼小学校	3	
豊丘小学校	0	
常盤中学校	2	
相森中学校	4	
墨坂中学校	4	
東中学校	2	

(2) 教員補助員等研修会

ア 日 時	8月10日
イ 場 所	消防本部大会議室

ウ 内 容

講 演 演題 最後は子どもが決める特別支援教育
～指示・命令的ではなく、対話的に子どもに向き合う日々～

講 師 山梨大学 教育人間科学部 教授 広瀬信雄 氏

エ 参加人数 34 人

2 外国籍児童生徒支援員の配置

タイ語支援 小山小学校・常盤中学校・相森中学校 へ1名配置

ポルトガル語支援 須坂小学校・森上小学校・豊洲小学校・旭ヶ丘小学校・相森中学校・須坂支援学校へ2名配置

中国語支援 常盤中学校・相森中学校へ1名配置

配置時間 452 時間 45 分 謝礼総額 679,125 円

3 指導主事の配置

学校における教育課程、学習指導その他学校教育に関する専門的事項の指導をするため、教育委員会に2名を配置した。

(1) 校長会・教頭会での指示伝達及び情報提供

校長会、教頭会に出席し、教育委員会の施策・方針の説明、各種調査の依頼と報告、学習指導、生徒指導、危機管理等学校運営に関する情報提供を行った。

(2) 教育委員会での報告

毎月、教育委員会に出席し、学校教育に関する諸問題について、調査結果や現状等を報告した。

(3) 学校訪問

校長・教頭との懇談及び授業参観を通して、学校運営全般の助言を行った。

(4) 学習指導・学力向上・進路指導

ア 進路状況のまとめ

イ 小学校英語活動担当者会議の実施

ウ 全国学力学習状況調査の考察、NRT、Q-Uの分析と活用

(5) 生徒指導

ア 「いじめ」に関する調査の実施 (6月、11月)

イ 校長会で毎月実施する「不登校」に関する調査の集計と解消への取り組み

ウ 「保健室・学習室等別室登校」の状況把握 (各学期)

エ 家庭状況・通塾等の把握

オ 校内支援会議・ケース会議への参加

カ 実務担当者会議 (年4回)

キ スクールカウンセラーの状況把握

(6) 学校・学級運営の指導・助言

(7) 教育相談・就学相談・電話相談の実施

(8) 研修会等への参加

4 子どもの生活・学習支援

(1) 委託先

マイサボ塾

(2) 業務内容

ひとり親家庭の子どもの基本的な生活習慣の習得支援、学習支援に関する事業委託

ア 生活習慣支援、生活指導

イ 学習支援

(3) 委託料 309,000 円

(4) 補助率 県 3/4

5 学力向上に向けた先進地視察

小中学生の学力向上に資するために、学力向上に関し先進的な取り組みをしている県外の学校現場を、市内小中学校の教諭が視察した。

(1) 小学校

視察先：富山県富山市立堀川小学校

視察日：7月6日

視察者：市内小学校教諭 8人、教育委員会事務局 1人

(2) 中学校

視察先：富山県富山市立堀川中学校

視察日：7月6日

視察者：市内中学校教諭 4人、教育委員会事務局 1人

■ 奨学金事業

単位：円

当初 予算額	11,008,000	予算 現額	11,251,000	決算額	11,248,869	前年度 決算対比	93.3%	前年度 決算額	12,050,934
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

高等学校及び高等専門学校並びに大学に在学又は進学する者で、経済的理由によって修学が困難なものに対して奨学金を貸与する。

II 事業の成果等

7人に対して奨学金を貸与し、修学を援助することができた。

III 事業の実績

貸与・償還等の状況

貸 与		償 還	
人 数	金 額 (円)	人 数	金 額 (円)
7 (0)	3,876,000	28	8,515,000

※ () 内は、内数で30年度新規貸与者

■ 教育相談事業

単位：円

当初 予算額	8,089,000	予算 現額	8,231,000	決算額	7,356,443	前年度 決算対比	94.5%	前年度 決算額	7,780,597
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

児童生徒及び保護者からの相談に応じ、健やかな成長のための方向付けや、悩みの解決により心の安定を図り、明るい生活ができるよう助言を行う。

II 事業の成果等

小学校に入学後、個別配慮・支援・継続観察が必要と思われる児童については、5歳児すこやか相談事業から小学校へ引き継ぐとともに教育相談員の巡回を実施。幼・保・小が連携し、一人ひとりの児童に寄り添った継続支援ができた。

スクールカウンセラー、心の教室相談員を配置し、児童生徒の悩みについて共感し助言や指導をすることに

より、多くの児童・生徒の心の安定が得られた。

さらに、スクールカウンセラーは、保護者や教職員を含めた相談事業により、相談者の悩みや訴えを聞きながら、指導助言を行うことができた。

また、いじめ防止対策推進法第 28 条第 1 項に規定する重大事態を疑う事案が発生したため、学校問題解決支援チーム会議を開催し、事実関係を調査した。

Ⅲ 事業の実績

1 スクールカウンセラーによる相談

臨床心理士 4 名（県費・市費）をスクールカウンセラーに委嘱し、主に拠点校の常盤中学校・相森中学校・墨坂中学校・東中学校に設置された相談室で、悩みを抱える児童生徒及び保護者等との懇談や指導・助言を行った。

相談内容別・相談者別人員						
相 談 内 容	児童生徒	教職員	母親	父親	その他	計
1. 不登校・不登校傾向	48	39	88	6	1	182
2. いじめ（被害・加害）	1	1	2	0	0	4
3. 暴力行為	0	0	0	0	0	0
4. 児童虐待	0	0	0	0	0	0
5. 友人関係	41	21	14	0	0	76
6. 貧困の問題	0	0	0	0	0	0
7. 非行不良行為	0	0	0	0	0	0
8. 家庭環境	25	13	30	2	0	70
9. 教職員との関係	0	0	4	0	0	4
10. 心身の健康状態	29	3	10	0	0	42
11. 学業進路	36	12	13	0	0	61
12. 発達障がい等	18	13	10	1	0	42
13. その他	22	12	11	1	0	46
相 談 実 人 数	220	114	182	10	1	527
そ の 他 の 内 容	・母親自身のこと（不安定さ、対人関係） ・性格 ・教室へ入れない ・部活動 ・自傷行為 ・保護者とのやりとり ・子どもとの関わり方 ・強迫神経症 など					

2 心の教室相談員による相談

各中学校に心の教室相談員（司書員兼務）を 1 名配置し、生徒が時間や内容を問わず気軽に訪問し、話し相手や相談相手となることで、生徒の心の安定を図り、安定した学校生活を送れるよう支援を行った。

対応人数

(人／年)

常盤中学校	243	相森中学校	304	墨坂中学校	388	東中学校	395
-------	-----	-------	-----	-------	-----	------	-----

計 1,330 人

3 教育相談員(巡回)による相談

内 容	人 数	回 数
性向・生活習慣	28	33
知的発達遅滞	27	30
学校・園 生活	87	112
非 行	0	0
家 庭 関 係	5	7
環 境 福 祉	0	0
身 体 障 が い	1	1
情 緒 障 が い	3	3
そ の 他	3	3
計	154	189

4 学校問題解決支援チーム会議

委 員 7名

回 数 年6回 (ほか聞き取り調査 2回)

■ 就学援助事業

単位：円

当 初 予算額	59,608,000	予算 現額	59,769,000	決算額	53,818,794	前 年 度 決算対比	97.5%	前年度 決算額	55,218,471
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

経済的に苦慮している保護者に就学援助を、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に就学奨励費を支給し、教育の機会均等を図る。

II 事業の成果等

保護者からの申請に基づき認定作業を行い、対象者に就学援助費及び就学奨励費を支給することで、経済的負担の軽減が図られた。

III 事業の実績

1 要保護及び準要保護の児童生徒に対する就学援助

学 校 名	学用品費等		給 食 費		医 療 費		修 学 旅 行 費 (小学校 6 年生及 び中学校 3 年生)		計
	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	金額(円)
須坂小学校	21	342,850	21	1,094,216	4	22,032	6	128,940	1,588,038
小山小学校	69	1,368,501	69	3,611,072	4	15,468	11	236,390	5,231,431
森上小学校	40	697,726	40	2,128,672	6	35,253	7	150,430	3,012,081
日滝小学校	35	674,145	36	1,777,792	8	28,506	2	42,980	2,523,423
豊洲小学校	27	560,320	27	1,428,000	4	9,927	6	128,940	2,127,187
日野小学校	39	595,396	39	1,966,016	1	17,547	8	171,920	2,750,879
井上小学校	23	356,033	22	1,119,280	4	15,420	2	42,980	1,533,713
高甫小学校	13	180,104	13	581,536	8	24,636	6	128,940	915,216
旭ヶ丘小学校	52	1,025,368	51	2,663,738	5	62,160	6	128,940	3,880,206
仁礼小学校	24	389,067	24	1,247,327	15	44,813	6	128,940	1,810,147
豊丘小学校	9	132,590	9	484,976	1	11,034	3	64,470	693,070
市外小学校	2	64,958	-	-	-	-	-	-	64,958
来入児	23	933,800	-	-	-	-	-	-	933,800
小学校計	377	7,320,858	351	18,102,625	60	286,796	63	1,353,870	27,064,149
常盤中学校	49	1,460,289	49	2,830,836	0	0	18	1,036,620	5,327,745
相森中学校	57	1,972,280	56	3,249,642	1	11,241	11	633,490	5,866,653
墨坂中学校	67	1,847,376	66	3,810,297	2	30,579	21	1,209,390	6,897,642
東中学校	28	854,242	28	1,726,104	5	30,765	15	863,850	3,474,961
市外中学校	1	41,092	-	-	-	-	-	-	41,092
来入生	33	1,564,200	-	-	-	-	-	-	1,564,200
中学校計	235	7,739,479	199	11,616,879	8	72,585	65	3,743,350	23,172,293
合 計	612	15,060,337	550	29,719,504	68	359,381	128	5,097,220	50,236,442

※ 要保護とは、生活保護法により保護を必要とする状態にある児童生徒の世帯。30年度の就学援助の該当世帯8世帯11人で医療費・修学旅行費のみ支給。

準要保護とは、要保護に準じる程度に生活が困窮しており、経済的理由によって就学が困難と認められる児童生徒の世帯。

2 特別支援学級に在籍する児童生徒に対する就学援助

学 校 名	学用品費等		通 学 費		給 食 費		修 学 旅 行 費 (小学校6年生及 び中学校3年生)		計
	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	金額(円)
須坂小学校	4	31,400	0	0	4	106,352	1	10,590	148,342
小山小学校	5	34,285	0	0	5	129,984	2	21,180	185,449
森上小学校	4	24,905	0	0	3	75,112	3	31,770	131,787
日滝小学校	7	33,314	1	570	7	126,480	2	21,180	181,544
豊洲小学校	4	28,614	2	2,948	4	108,256	0	0	139,818
日野小学校	4	24,382	3	9,641	4	87,040	0	0	121,063
井上小学校	6	46,866	1	2,164	7	187,544	2	21,180	257,754
高甫小学校	1	12,990	4	53,243	2	53,176	0	0	119,409
旭ヶ丘小学校	0	0	3	7,180	0	0	0	0	7,180
仁礼小学校	2	14,400	2	5,321	2	54,400	0	0	74,121
豊丘小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
来 入 児	4	81,200	-	-	-	-	-	-	81,200
小学校計	41	332,356	16	81,067	38	928,344	10	105,900	1,447,667
常盤中学校	1	38,405	0	0	3	90,153	1	28,335	156,893
相森中学校	3	50,330	1	5,227	4	121,158	2	56,670	233,385
墨坂中学校	13	136,575	0	0	12	338,829	5	141,675	617,079
東 中 学 校	3	48,750	1	2,499	4	118,948	0	0	170,197
来 入 生	4	94,800	-	-	-	-	-	-	94,800
中学校計	24	368,860	2	7,726	23	669,088	8	226,680	1,272,354
合 計	65	701,216	18	88,793	61	1,597,432	18	332,580	2,720,021

10-1-4(目)教員住宅費

単位：円

当 初 予算額	700,000	予算 現額	700,000	決算額	216,540	前 年 度 決算対比	64.2%	前年度 決算額	337,284
------------	---------	----------	---------	-----	---------	---------------	-------	------------	---------

■ 教職員住宅事業

単位：円

当 初 予算額	700,000	予算 現額	700,000	決算額	216,540	前 年 度 決算対比	64.2%	前年度 決算額	337,284
------------	---------	----------	---------	-----	---------	---------------	-------	------------	---------

I 事業の目的

教職員の住宅希望に応えるため、教職員住宅を確保するとともに維持管理を図る。

II 事業の成果等

教職員住宅7戸（春木町に2戸、常盤町、小河原町、野辺町、村石町、村山町に各1戸）の維持管理を行い、教職員の入居希望に対応することで、教職員の福利厚生に資することができた。

また、平成30年11月に野辺町教職員住宅を農林課へ所管替えした。

III 事業の実績

1 教職員住宅整備の状況

維持修繕 春木町教職員住宅外2戸 216,540円

10-2-1(目)学校管理費

単位：円

当 初 予算額	222,699,000	予算 現額	694,934,000	決算額	219,154,832	前 年 度 決算対比	108.7%	前年度 決算額	201,545,008
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	--------	------------	-------------

■ 小学校管理運営事業

単位：円

当初 予算額	182,118,000	予算 現額	179,342,000	決算額	173,584,335	前年度 決算対比	105.3%	前年度 決算額	164,824,311
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

小学校における教育環境整備等の管理運営を行う。

信州少人数教育推進事業を活用することで、個に応じた細やかな指導による学習習慣・生活習慣の定着と、基礎学力の向上を図る。

II 事業の成果等

各小学校の規模及び設備の状況に応じた予算を配当し、学校毎の効率的な管理運営を図り、経費の節減に努めた。また、危険箇所や傷みの著しい箇所を優先的に、順次修繕を行なった。

全ての学年において30人規模学級編制を導入し、これにより、個に応じた細やかな指導と学習習慣の定着、基礎学力の向上を図ることができた。

III 事業の実績

1 小学校学年別学級数及び児童数（5月1日現在）

（通常学級）

学 校 名	1 年 生		2 年 生		3 年 生		4 年 生		5 年 生		6 年 生		計	
	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数
須坂小学校	1	30	*2	38	1	30	1	33	2	43	*2	36	9	210
小山小学校	2	56	2	48	2	62	2	58	2	69	*3	77	13	370
森上小学校	2	55	2	45	2	50	2	41	2	61	2	57	12	309
日滝小学校	2	57	2	58	2	56	2	46	2	56	2	51	12	324
豊洲小学校	1	26	1	24	1	24	1	21	1	29	1	24	6	148
日野小学校	2	52	2	47	2	70	2	69	2	60	2	61	12	359
井上小学校	1	30	2	42	2	46	1	33	2	46	*2	36	10	233
高甫小学校	1	24	1	29	1	27	1	28	1	32	1	25	6	165
旭ヶ丘小学校	1	35	2	42	1	27	2	43	1	28	1	33	8	208
仁礼小学校	1	31	2	43	1	34	2	42	1	35	*2	37	9	222
豊丘小学校	1	10	1	13	1	9	1	13	1	12	1	16	6	73
計	15	406	19	429	16	435	17	427	17	471	19	453	103	2,621

*印は、30人規模学級編制実施

（特別支援学級）

学 校 名	知的障害学級		自閉症・情緒障害学級		肢体不自由学級		計	
	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数
須坂小学校	1	4	1	4	—	—	2	8
小山小学校	1	3	1	6	—	—	2	9
森上小学校	1	1	2	9	—	—	3	10
日滝小学校	1	2	1	5	—	—	2	7
豊洲小学校	1	3	1	4	—	—	2	7
日野小学校	1	2	1	7	—	—	2	9
井上小学校	1	3	1	7	—	—	2	10
高甫小学校	1	1	1	3	—	—	2	4
旭ヶ丘小学校	1	2	1	2	—	—	2	4
仁礼小学校	1	1	1	3	—	—	2	4
豊丘小学校	—	—	1	1	—	—	1	1
計	10	22	12	51	—	—	22	73

2 学校用地借上状況

使用目的	面 積 (㎡)	金 額 (円)	地権者数 (人)
須坂小学校用地	9,681.23	8,163,119	2
日野小学校用地	33.00	1,500	1

3 峰の原高原児童の教育事務委託

峰の原高原の児童について、菅平小学校への区域外就学を上田市へ教育事務委託した。

30 年度負担金 1,282,000 円

学 校 名	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	5 年 生	6 年 生	計
	児童数	児童数	児童数	児童数	児童数	児童数	
菅平小学校	0	1	1	0	1	1	4

4 小学校校舎施設等の修繕の状況

学 校 名	工 事 概 要	修 繕 費	
		件数 (件)	金 額 (円)
須坂小学校	消防設備修繕 外	26	4,540,839
小山小学校	消防設備修繕 外	20	4,353,933
森上小学校	漏水修繕 外	18	3,038,942
日滝小学校	チャイム改修 外	19	3,560,965
豊洲小学校	消火ポンプ等緊急修繕 外	13	6,822,822
日野小学校	プール用ろ過循環ポンプ交換 外	17	1,642,968
井上小学校	消防設備修繕 外	10	1,572,039
高甫小学校	コンテナ室スライディングドア修繕 外	12	1,074,319
旭ヶ丘小学校	昇降口修繕 外	19	8,058,474
仁礼小学校	消防設備修繕 外	16	2,340,089
豊丘小学校	消防設備修繕 外	12	1,356,609
計		182	38,361,999

うち大規模な修繕

修 繕 名	概 要	工 期	金 額 (円)
豊洲小学校消火ポンプ等緊急修繕工事	消火ポンプ設備修繕一式	4 月 11 日～ 7 月 31 日	4,860,000
旭ヶ丘小学校昇降口修繕	2 階昇降口前土間補強等修繕一式	4 月 11 日～ 8 月 17 日	4,104,000
小山小学校消防設備修繕工事	屋内消火栓設備等修繕一式	11 月 19 日～ 3 月 29 日	3,275,640
須坂小学校消防設備修繕工事	屋内消火栓設備等修繕一式	11 月 19 日～ 2 月 22 日	1,555,200

5 児童用・学校用各種備品の購入状況

学 校 名	主 な 購 入 備 品	購入金額 (円)
須坂小学校	階段昇降車、テント 外	3,068,284
小山小学校	シュレッダー、冷蔵庫 外	463,987
森上小学校	視力計、ディスプレイラック 外	359,227
日滝小学校	視力計、ホワイトボード 外	367,867
豊洲小学校	会議テーブル、ベンチ 外	360,955
日野小学校	衣類乾燥機、ストーブ 外	340,219
井上小学校	ベンチ、身長計 外	464,695
高甫小学校	マット、ブックトラック 外	409,987
旭ヶ丘小学校	除雪機、ロッカー 外	861,925
仁礼小学校	断裁機、刈払機 外	475,607
豊丘小学校	体育用マット、シュレッダー 外	408,799
計		7,581,552

■ 小学校施設整備事業

単位：円

当初 予算額	33,100,000	予算 現額	508,047,000	決算額	38,040,840	前年度 決算対比	129.8%	前年度 決算額	29,309,040
-----------	------------	----------	-------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

児童が安全で快適に学校生活が送れるよう施設整備を行う。

II 事業の成果等

高甫小学校のプールシート防水工事を実施して、経年劣化による不具合を解消した。

日滝小学校、旭ヶ丘小学校、仁礼小学校の放送設備を入替え校内放送の不具合を解消した。

国の補正予算である特例交付金を活用した全小学校の空調設置工事に向け、設計業務を実施した。また、工事については予算を2019年度へ繰越して実施する。

その他、2019年度に実施する井上小学校のプールシート防水工事に向け、設計業務を実施した。

III 事業の実績

1 小学校施設整備に係る業務委託の状況

業 務 名	金額 (円)
市内11小学校空調設備設置工事設計業務委託	11,664,000
井上小学校プールシート防水工事設計業務委託	494,640
計	12,158,640

2 小学校校舎等施設の工事の状況

工 事 名	概 要	工 期	金 額 (円)
高甫小学校プールシート防水工事	プールシート防水工事一式	7月20日～ 10月19日	22,237,200
計			22,237,200

3 小学校備品購入の状況

業 務 名	金額 (円)
日滝小学校、旭ヶ丘小学校、仁礼小学校校内放送設備入替	3,645,000
計	3,645,000

10-2-2(目)教育振興費

単位：円

当初 予算額	66,674,000	予算 現額	68,054,000	決算額	66,624,976	前年度 決算対比	92.2%	前年度 決算額	72,264,024
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 小学校教育振興事業

単位：円

当初 予算額	20,743,000	予算 現額	22,123,000	決算額	21,001,883	前年度 決算対比	71.0%	前年度 決算額	29,574,644
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

教材備品の整備により教育効果を高めるとともに、児童の学力・学習状況を把握し、教育指導や学習状況の改善を図る。

II 事業の成果等

各種教材備品の整備により教育効果が高まった。また、2学年から6学年で標準学力テストを、6学年は併せて全国学力・学習状況調査を実施し、各学校において基礎・基本の学力定着が図れた。

Ⅲ 事業の実績

1 教材備品の購入状況

学校名	主 な 購 入 備 品	一般教材 備品(円)	理科設備 備品(円)	計 (円)
須坂小学校	電子ピアノ、ロイター板 外	563,992	124,200	688,192
小山小学校	トーンチャイム、指揮台 外	327,224	0	327,224
森上小学校	オルガン、ドラム 外	350,114	68,040	418,154
日滝小学校	オルガン、ミシン 外	336,744	0	336,744
豊洲小学校	プールフロア、ティンパニ 外	858,176	230,580	1,088,756
日野小学校	プールフロア、オルガン 外	994,096	35,316	1,029,412
井上小学校	プールフロア、跳び箱 外	316,548	0	316,548
高甫小学校	オルガン、i-Pad 外	268,682	52,380	321,062
旭ヶ丘小学校	プールフロア、オルガン 外	823,288	49,680	872,968
仁礼小学校	オルガン、音楽折りたたみボード 外	267,591	0	267,591
豊丘小学校	ホルン、オルガン 外	283,480	128,736	412,216
計		5,389,935	688,932	6,078,867

2 図書費購入費及び図書蔵書率 (※学級数は文部科学省基準、特別支援学級含む)

学校名	学級数	標準冊数(冊)	蔵書冊数(冊)	蔵書率(%)	図書購入費(円)
須坂小学校	9	6,520	9,386	144.0	405,000
小山小学校	14	8,760	10,658	121.7	430,600
森上小学校	15	9,160	11,215	122.4	422,000
日滝小学校	14	8,760	9,234	105.4	421,817
豊洲小学校	8	6,040	9,111	150.8	388,000
日野小学校	14	8,760	10,010	114.3	429,000
井上小学校	11	7,480	9,052	121.0	413,556
高甫小学校	8	6,040	7,366	122.0	355,662
旭ヶ丘小学校	10	7,000	9,560	136.6	405,000
仁礼小学校	10	7,000	11,488	164.1	416,000
豊丘小学校	7	5,560	8,998	161.8	382,000
計	120	81,080	106,078	130.8	4,468,635

3 標準学力テストの実施

小学校1年生を除く学年で実施した。

小学校2～6年生 国語・算数・意識調査 2,238人 2,349,900円

4 全国学力・学習状況調査の実施

児童の学力・学習状況を把握・分析し、各校の教育の成果と課題、教育指導や学習状況の改善に役立てるため、小学校6年生を対象に、全国学力・学習状況調査を実施した。

実施日 4月17日

実施教科 国語・算数・理科・生活習慣や学校環境に関する質問紙調査

■ 小学校情報教育事業

単位：円

当初 予算額	36,005,000	予算 現額	36,005,000	決算額	35,697,165	前年度 決算対比	101.2%	前年度 決算額	35,278,316
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

小学校の教育用パソコンや校務用パソコンを整備することで情報教育を推進する。

II 事業の成果等

情報教育をより一層推進するため、小学校 11 校のパソコン教室にパソコンを継続配置し、授業で有効活用した。また、校務処理の効率化と教育活動の質の向上を図るため、校務用パソコンも継続配置した。

III 事業の実績

1 ケーブルインターネットの利用

情報教育を一層推進するため、昨年度に引き続き、高速インターネット回線を利用した。

ケーブルインターネット利用料 2,171,664 円

2 パソコンの配置及び保守点検

パソコン教室のパソコンを各校 36 台、教職員用として校務用パソコン約 220 台を継続配置し、校務や授業等において活用を図った。

小学校 11 校の機器賃借料 25,928,520 円（パソコン教室、校務用）

センターサーバ賃借料 4,046,881 円（光ファイバー芯線含む）

事務機器保守点検委託料 2,561,652 円（校務用パソコン、センターサーバ保守）

■ 小学校国際化教育推進事業

単位：円

当初予算額	9,926,000	予算現額	9,926,000	決算額	9,925,928	前年度決算対比	133.9%	前年度決算額	7,411,064
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	--------	--------	-----------

I 事業の目的

市内小学校に国際化教育推進のため外国語指導助手（A L T）を派遣する。児童が直接外国人に接し、言語や文化について体験的に理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に親しみながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てていく。

新しい学習指導要領による小中学校での外国語教育に対応するため、外国語教育に精通しているアドバイザーから、英語学習指導計画策定のアドバイス、教員研修、授業指導等を行っていただく。

II 事業の成果等

全小学校に外国語指導助手（A L T）を派遣し、担任教師と外国語指導助手のチーム・ティーチングを行い、多くの小学生が直接外国人と接することで、外国の言語や文化に触れて親しみ、文化の違いを通して自国の文化についても理解を深められた。外国語の音声や基本的な表現に親しみ、コミュニケーション能力を育むことができた。

また、契約内容を委託契約から派遣契約に変更し、1 日の勤務時間を 1 時間増やして打ち合わせ時間等を確保したことで、担任教師とのチーム・ティーチングが充実した。

アドバイザーによる教員研修、授業指導等を年 4 回実施し、小中学校英語教育へ積極的な取り組みを推進することができた。

III 事業の実績

1 外国語指導助手の派遣

A L T 2 名を、市内小学校へ派遣した。各学校への派遣日数は以下のとおり。

須坂小	小山小	森上小	日滝小	豊洲小	日野小	井上小	高甫小	旭ヶ丘小	仁礼小	豊丘小
36 日	46 日	42 日	41 日	27 日	41 日	36 日	26 日	26 日	36 日	27 日

2 外国語指導計画策定等アドバイザーによる指導研修の実施

アドバイザー：信州大学学術研究院教育学系言語教育グループ教授 酒井 英樹 氏

日 時	場 所	内 容
7 月 12 日	小山小学校	英語専科とALTによる授業公開
8 月 6 日	上高井教育会館	夏季英語研修会
10 月 26 日	須坂小学校	学級担任による外国語授業研究会
2 月 21 日	須坂小学校	英語教育指導

10-3-1(目)学校管理費

単位：円

当 初 予算額	285,100,000	予算 現額	526,749,000	決算額	271,888,443	前 年 度 決算対比	229.9%	前年度 決算額	118,243,953
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	--------	------------	-------------

■ 中学校管理運営事業

単位：円

当 初 予算額	97,904,000	予算 現額	99,693,000	決算額	94,848,303	前 年 度 決算対比	99.0%	前年度 決算額	95,851,125
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

中学校における教育環境整備等の管理運営を行う。

信州少人数教育推進事業を活用することで、個に応じた細やかな指導による学習習慣・生活習慣の定着と、基礎学力の向上を図る。

II 事業の成果等

各中学校の規模及び設備の状況に応じた予算を配当し、学校毎の効率的な管理運営を図り、経費の節減に努めた。また、危険箇所や傷みの著しい箇所を優先的に、順次修繕を行なった。

全ての学年において 30 人規模学級編制を導入し、個に応じた細やかな指導と学習習慣の定着、基礎学力の向上を図ることができた。

中学校部活動に部活動指導員制度を導入することで、中学校教員の時間外勤務を削減し、教員が生徒と向き合う時間を増やすとともに、部活動指導の充実を図った。

III 事業の実績

1 中学校学年別学級数及び生徒数（5月1日現在）

（通常学級）

学 校 名	1 年 生		2 年 生		3 年 生		計	
	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数
常盤中学校	*4	116	3	103	*4	117	11	336
相森中学校	*4	109	3	91	*4	108	11	308
墨坂中学校	*5	149	4	137	*6	179	15	465
東中学校	2	45	2	54	2	65	6	164
計	15	419	12	385	16	469	43	1,273

*印は、30 人規模学級編制実施

（特別支援学級）

学 校 名	知的障害学級		自閉症・情緒障害学級		肢体不自由学級		計	
	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数
常盤中学校	1	2	1	6	—	—	2	8
相森中学校	1	2	1	7	—	—	2	9
墨坂中学校	1	6	2	13	—	—	3	19
東中学校	1	1	1	3	—	—	2	4
計	4	11	5	29	—	—	9	40

2 峰の原高原生徒の教育事務委託

峰の原高原の生徒について、菅平中学校への区域外就学を上田市へ教育事務委託した。

30 年度負担金 1,565,000 円

学 校 名	1 年 生	2 年 生	3 年 生	計
	生徒数	生徒数	生徒数	
菅平中学校	0	1	1	2

3 中学校校舎施設等の修繕の状況

学校名	工 事 概 要	修 繕 費	
		件数 (件)	金 額 (円)
常盤中学校	非常放送設備動作不良に伴う修繕 外	24	3,021,018
相森中学校	パソコン教室空調機器修繕 外	16	2,257,895
墨坂中学校	墨坂中学校フェンス復旧工事 外	24	2,963,268
東 中 学 校	校内放送設備修繕 外	17	1,731,126
計		81	9,973,307

うち大規模な修繕

修 繕 名	概 要	工 期	金 額 (円)
墨坂中学校フェンス復旧工事	グラウンドフェンス復旧一式	10月26日～ 12月14日	1,209,600

4 生徒用・学校用各種備品の購入状況

学 校 名	主 な 購 入 備 品	購入金額 (円)
常盤中学校	除雪機、配膳台 外	1,671,035
相森中学校	体育館用ひな壇、発電機 外	1,261,850
墨坂中学校	会議用テーブル、プリンター 外	578,448
東 中 学 校	大型スクリーン、書架 外	943,315
計		4,454,648

5 部活動指導員制度の導入

中学校教員の負担軽減と部活動指導の充実を図るため、部活動の顧問を教員以外が担うことができる部活動指導員制度を導入した。

導入部活動 常盤中学校：剣道部

相森中学校：女子バレー部

墨坂中学校：女子バスケットボール部、ソフトテニス部

※女子バレー部で試行した合同部活動の指導も部活動指導員が行った。

報酬 1,939,200 円

■ 中学校施設整備事業

単位：円

当 初 予算額	180,200,000	予算 現額	419,998,000	決算額	169,997,400	前 年 度 決算対比	2510.8%	前年度 決算額	6,770,520
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	---------	------------	-----------

I 事業の目的

生徒が安全で快適に学校生活が送れるよう施設整備を行う。

II 事業の成果等

常盤中学校及び相森中学校の防災機能強化工事を実施して、トイレ改修等による避難場所としての機能強化を図った。また、2019 年度に実施する墨坂中学校及び東中学校の防災機能強化工事に向け、設計業務を実施した。

国の補正予算である特例交付金を活用した全中学校の空調設置工事に向け、設計業務を実施した。また、工事については予算を2019年度へ繰越して実施する。

その他、東中学校の放送設備を入替え校内放送の不具合を解消した。

Ⅲ 事業の実績

1 中学校施設整備に係る業務委託の状況

業 務 名	金額 (円)
墨坂中学校防災機能強化工事設計業務委託	2,883,600
東中学校防災機能強化工事設計業務委託	2,516,400
市内4中学校空調設備設置工事設計業務委託	4,536,000
計	9,936,000

2 中学校校舎等施設の工事の状況

工 事 名	概 要	工 期	金 額 (円)
常盤中学校防災機能強化工事	トイレ改修工事・スロープ設置工事一式	5月3日～ 9月28日	76,118,400
相森中学校防災機能強化工事	トイレ改修工事・スロープ設置工事一式	5月2日～ 9月21日	82,728,000
計			158,846,400

3 中学校備品購入の状況

業 務 名	金額 (円)
東中学校校内放送設備入替	1,215,000
計	1,215,000

10-3-2 (目) 教育振興費

単位：円

当初予算額	50,120,000	予算現額	50,473,000	決算額	49,283,536	前年度決算対比	106.7%	前年度決算額	46,197,520
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

■ 中学校教育振興事業

単位：円

当初予算額	16,206,000	予算現額	16,559,000	決算額	15,378,567	前年度決算対比	112.8%	前年度決算額	13,634,363
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

I 事業の目的

教材備品の整備により教育効果を高めるとともに、生徒の学力・学習状況を把握し、教育指導や学習状況の改善を図る。

II 事業の成果等

各種教材備品の整備により授業等が円滑に行われ教育効果が高まった。また、全学年で標準学力テストを、3学年は併せて全国学力・学習状況調査を実施し、各学校において基礎・基本の学力定着が図られた。

Ⅲ 事業の実績

1 教材備品の購入状況

学 校 名	主 な 購 入 備 品	一般教材 備品 (円)	理科設備 備品 (円)	計 (円)
常盤中学校	配膳台、マット 外	992,336	604,908	1,597,244
相森中学校	ティンパニ、ミシン 外	699,820	518,724	1,218,544

学 校 名	主 な 購 入 備 品	一般教材 備品(円)	理科設備 備品(円)	計 (円)
墨 坂 中 学 校	i-Pad、スクリーンボード 外	1,463,900	166,860	1,630,760
東 中 学 校	サックス、アンプ 外	590,112	613,440	1,203,552
計		3,746,168	1,903,932	5,650,100

2 図書購入費及び図書蔵書率 (※学級数は文部科学省基準、特別支援学級含む)

学 校 名	学級数	標準冊数(冊)	蔵書冊数(冊)	蔵書率(%)	図書購入費(円)
常 盤 中 学 校	11	10,160	12,047	118.6	798,000
相 森 中 学 校	11	10,160	11,201	110.2	805,000
墨 坂 中 学 校	16	12,640	14,109	111.6	833,000
東 中 学 校	8	8,480	11,185	131.9	763,000
計	46	41,440	48,542	117.1	3,199,000

3 標準学力テストの実施

中学校1年生	国語・数学・社会・理科・意識調査	424人
中学校2年生	国語・数学・英語・社会・理科・意識調査	392人
中学校3年生	国語・数学・英語・社会・理科	457人 2,359,000円

4 全国学力・学習状況調査の実施

生徒の学力・学習状況を把握・分析し、各校の教育の成果と課題、教育指導や学習状況の改善に役立てるため、全国学力・学習状況調査を、中学3年生を対象に実施した。

実施日 4月17日

実施教科 国語・数学・理科・生活習慣や学校環境に関する質問紙調査

■ 中学校情報教育事業

単位：円

当 初 予算額	24,068,000	予算 現額	24,068,000	決算額	24,059,041	前 年 度 決算対比	100.6%	前年度 決算額	23,905,229
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

中学校の教育用パソコンや校務用パソコンを整備することで情報教育を推進する。

II 事業の成果等

情報教育をより一層推進するため、中学校4校のパソコン教室にパソコンを継続配置し、授業で有効活用した。また、校務処理の効率化と教育活動の質の向上を図るため、校務用パソコンも継続配置した。

III 事業の実績

1 ケーブルインターネットの利用

情報教育を一層推進するため、昨年度に引き続き、高速インターネット回線を利用した。

ケーブルインターネット利用料 789,696円

2 パソコンの配置及び保守点検

パソコン教室のパソコンを各校36台、教職員用として校務用パソコン約150台を継続配置し、校務や授業等において活用を図った。

中学校4校の機器賃借料 20,231,952円 (パソコン教室、校務用)

センターサーバ賃借料 1,418,497円 (光ファイバー芯線含む)

事務機器保守点検委託料 1,146,528円 (校務用パソコン、センターサーバ保守)

■ 中学校国際化教育推進事業

単位：円

当 初 予算額	9,846,000	予算 現額	9,846,000	決算額	9,845,928	前 年 度 決算対比	113.7%	前年度 決算額	8,657,928
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

市内中学校に国際化教育推進のため外国語指導助手（A L T）を派遣する。生徒が直接外国人に接し、英語を聞いたり話したりすることで、言語や文化の理解や積極的なコミュニケーション能力の育成、4技能の基礎能力を高めていけるように役立てていく。

II 事業の成果等

全中学校に語学指導を行う外国語指導助手（A L T）を配置し、日本人英語教師とのチーム・ティーチングにより、「聞くこと・話すこと」の質と語学力の向上及び国際理解の向上が図れた。

また、契約内容を委託契約から派遣契約に変更し、1日の勤務時間を1時間増やして打ち合わせ時間等を確保したことで、日本人英語教師とのチーム・ティーチングが充実した。

III 事業の実績

1 外国語指導助手の派遣

A L T 2人を市内中学校へ派遣した。各中学校への派遣日数は以下のとおり。

常盤中学校	相森中学校	墨坂中学校	東中学校	須坂支援学校
91 日	93 日	111 日	77 日	5 日

10-4-1(目)特別支援学校費

単位：円

当 初 予算額	9,544,000	予算 現額	7,952,000	決算額	7,810,534	前 年 度 決算対比	91.1%	前年度 決算額	8,572,033
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

■ 特別支援学校管理運営事業

単位：円

当 初 予算額	9,544,000	予算 現額	7,952,000	決算額	7,810,534	前 年 度 決算対比	91.1%	前年度 決算額	8,572,033
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

「地域の子どもは地域で育てる」の理念の実現に向け、平成 23 年度に開校した県内初の市立特別支援学校として須高地域全体の特別支援教育の充実を図る。また、特別支援学校における教育環境整備等の管理運営を行う。

II 事業の成果等

障がいのある子どもも障がいのない子どもも、地域でともに生活し、ともに育ち、ともに学ぶ環境づくりが進んだ。

学校の規模及び設備の状況に応じた予算を配当し、効率的な管理運営が図られた。

III 事業の実績

1 須坂支援学校の学級数及び児童生徒数（5月1日現在）

小学部（単式学級）

1 年生		2 年生		3 年生		4 年生		5 年生		6 年生		計	
学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数
1	1	1	1	1	3	1	3	1	1	1	1	6	10

小学部（複式学級）

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	
児童数	児童数	児童数	児童数	児童数	児童数	学級	児童数
1	1	1	0	1	2	2	6

中学部（単式学級）

1年生		2年生		3年生		計	
学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数
2	4	1	4	1	4	4	12

中学部（複式学級）

1年生	2年生	3年生	計	
生徒数	生徒数	生徒数	学級	生徒数
0	2	1	1	3

2 学校備品・教材備品・図書等の購入状況

備品区分	主 な 購 入 備 品	購入金額（円）
学 校 備 品	スクリーン 外	107,800
教 材 備 品	キーボード 外	244,080
図 書	教材用図書	192,636

3 ケーブルインターネットの利用

情報教育を一層推進するため、高速インターネット回線を利用した。

ケーブルインターネット利用料 194,400 円

4 パソコンの配置及び保守点検

情報教育推進のため、教職員用として校務用パソコン約 20 台を継続配置し、校務や授業等において有効活用を図った。

機器賃借料 686,400 円

センターサーバ賃借料 260,792 円

10-5-1 (目) 幼稚園費

単位：円

当 初 予算額	93,896,000	予算 現額	108,068,000	決算額	105,244,999	前 年 度 決算対比	41.8%	前年度 決算額	251,665,543
------------	------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	-------	------------	-------------

■ 幼稚園助成事業

単位：円

当 初 予算額	5,874,000	予算 現額	3,991,000	決算額	3,465,525	前 年 度 決算対比	1.9%	前年度 決算額	181,196,288
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	------	------------	-------------

I 事業の目的

幼児教育の振興を図るため、幼稚園事業に要する経費のうち、給料、職員手当、社会保険料、報酬、賃金に要する経費に対して補助する。

II 事業の成果等

市内の3私立幼稚園と2認定こども園の運営の安定化が図れた。また、特別支援保育対策事業補助金を交付して特別に支援が必要な児童の受け入れの促進を図った。

III 事業の実績

1 私立幼稚園補助金 2,250,900 円

2 特別支援保育対策事業補助金 1,214,625 円

■ 幼稚園就園援助事業

単位：円

当初 予算額	16,022,000	予算 現額	16,677,000	決算額	16,057,920	前年度 決算対比	47.9%	前年度 決算額	33,513,480
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

幼稚園教育の振興に資するため、私立幼稚園の設置者が徴収する入園料・保育料を、幼児の属する世帯の所得の状況に応じて減免する事業に要する経費に対して補助する。

II 事業の成果等

保護者の経済的負担の軽減が図れた。

III 事業の実績

幼稚園就園奨励費補助金 16,057,920 円

■ 施設型給付等事業

単位：円

当初 予算額	72,000,000	予算 現額	87,400,000	決算額	85,721,554	前年度 決算対比	232.0%	前年度 決算額	36,955,775
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園や認定こども園への教育認定を受けた児童の受け入れに対して施設型給付を行う。

II 事業の成果等

市内2認定こども園、市外5認定こども園、1幼稚園へ施設型給付を行い、幼児期における学校教育と保育の総合的な提供に資することができた。

III 事業の実績

1 施設型給付の状況

委 託 先	定員 (人)	平成31年3月対象児童 (人)	延児童数 (人)	施設型給付費 (円)
マリアこども園	90	68	815	28,388,052
双葉幼稚園	105	115	1,388	51,270,284
長野市（認3・幼1）		8	77	5,338,534
中野市（認1）		1	14	701,314
小布施町（公認1）		1	1	23,370
計	195	193	2,295	85,721,554

10-6-1 (目) 社会教育総務費

単位：円

当初 予算額	87,685,000	予算 現額	98,800,000	決算額	98,640,558	前年度 決算対比	98.2%	前年度 決算額	100,418,073
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	737,000	予算 現額	565,000	決算額	471,013	前年度 決算対比	6.7%	前年度 決算額	6,982,548
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	------	------------	-----------

I 事業の目的

第五次須坂市総合計画に掲げる、「生涯学習・文化芸術を核としたまちづくりの推進」を図る。

II 事業の成果等

生涯学習推進センターや公民館等をはじめとする社会教育施設と連携し、生涯学習の普及推進を図ることで生涯学習・文化芸術を核としたまちづくりの推進をした。

各種大会や研修に参加することで、社会教育委員の見識を高めるとともに、今後の社会教育委員の活動の参考となった。

III 事業の実績

1 社会教育委員関係

委員 8人（任期 平成29年6月1日～令和元年5月31日）

(1) 会議 4回開催

開催日	議 題
7月6日	第1回定例会 平成30年度社会教育関係事業等について 平成30年度各種研修会等の予定について
8月24日	第1回臨時会 関東甲信越静社会教育研究大会長野大会について 須高地区社会教育委員情報交換会について
11月28日	第2回臨時会 生涯学習業務等見直しに関する中途報告
1月23日	第2回定例会 教育委員との懇談会 蔵の町並み施設見学

(2) 総会・研究大会等への参加

ア 県社会教育委員連絡協議会総会及び講演会

6月20日 県総合教育センター 委員6人、事務局1人参加

イ 北信地区社会教育委員連絡協議会総会・地区研修会

6月29日 信濃町総合会館 委員4人、事務局1人参加

ウ 地域ぐるみの共育フォーラム

8月24日 山ノ内町文化センター 委員4人、事務局1人参加

エ 関東甲信越静社会教育研究大会長野大会 兼長野県社会教育研究大会・北信地区社会教育研究大会

11月15日、16日 ホクト文化ホール、長野バスターミナル会館他 委員6人、事務局2人参加

2 公益信託駒沢嘉須坂生涯学習振興基金による助成

(1) 運営委員会の開催

4月6日 信託管理人、運営委員4人、事務局3人参加

6月4日 書面決議

3月26日 信託管理人、運営委員5人（内1人委任状出席）、事務局3人参加

(2) 助成の状況

8団体へ総額 1,045,000 円を助成することで、生涯学習の推進を図った。

3 旧長野県須坂青年の家

(1) 市へ譲渡後の施設利用と閉鎖

ア 市は普通財産として保有し、公共的団体である峰の原高原観光協会へ平成29年4月1日から31年3月31日まで貸付し、山岳観光の観光拠点などとして活用していく予定であったが、観光協会の申し出により30年10月末をもって貸付契約を解除し市へ返却されたため、施設を閉鎖した。

■ 文化活動振興事業

単位：円

当初 予算額	26,404,000	予算 現額	25,548,000	決算額	25,521,840	前年度 決算対比	99.1%	前年度 決算額	25,749,936
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

市民の文化芸術への関心を高めるとともに、市民の生き生きとした自主的な文化芸術活動や、優れた芸術鑑賞活動等を支援し、豊かな市民生活を実現する。

II 事業の成果等

ボランティア団体等との共催事業である「第20回記念 信州岩波講座2018」においては、3回の講座と高校生編の4講座を開催し、市内外に広くアピールしながら、市民が中心となり地域社会の日常に根ざした文化活動としての取組みが図れた。

子どもの読書活動を推進するため、子ども読書活動支援研究会の活動を支援するとともに、「すざか子ども読書ちゃれんじ（乳幼児版、中学生版含む）」を実施し、幅広い子どもの読書活動支援を行った。

また、（一財）須坂市文化振興事業団が行なう自主事業を支援し、市民に文化芸術鑑賞・発表の場を提供することから文化意識を高め、市民による文化活動の促進が図れた。

III 事業の実績

1 第20回記念 信州岩波講座2018の開講

須坂から文化的情報の発信をめざし、岩波書店、信濃毎日新聞社、NPO 法人ふおらむ集団 999 等と実行委員会を組織して講座を開講し、実行委員会へ負担金を支出した。 負担金 2,500,000 円

(1) 《基本テーマ》今、くにかたちは—歴史と向き合う

会場	開催日	内 容	聴講者数（人）
講座 I メセナホール	9月8日	講演 「日本の国是と未来の姿」 丹羽宇一郎 氏	446
講座 II メセナホール	9月15日	講演 「戦後日本」を「保守」することの意味 樋口陽一 氏 「死者の立憲主義」 中島岳志 氏 対談 樋口陽一 氏／中島岳志 氏	457
講座 III メセナホール	9月23日	講演 「生きることと学ぶこと—個人の尊厳から考える」 前川喜平 氏 「学びが世界を変えていく—一日豪往復で見たこと」 小島慶子 氏 対談 前川喜平 氏／小島慶子 氏	975

(2) 高校生編

会場	開催日	内 容	聴講者数（人）
メセナホール	8月25日	講演 「本は友だち—少年の日々、読書の日々—」 夏川草介 氏	175

(3) 図書の贈呈

子どもの読書活動支援として、絵本館おはなしの森・長野刑務所に図書156冊（セット）を贈呈した。

2 文化芸術活動の支援および育成

(1) 文化振興事業団自主事業活動の支援

市民の自主的な文化活動を支援し、優れた芸術鑑賞活動を行う（一財）須坂市文化振興事業団の自主事業に対し補助金 20,000,000 円を交付した。

ア 公演事業

「童謡誕生100年 みんなの童謡コンサート」ほか17公演を実施。

イ 育成事業・支援事業等

メセナホール友の会、メセナ少年少女合唱団、ジュニアオーケストラ、市民交響楽団、須坂メセナホールオーケストラ、ゴスペルクワイア、ウインドオーケストラ、ビッグバンドを支援した。
「メセナの風」、「森の中のクラフトフェア 2018」等を開催した。

3 「須坂市子ども読書活動推進計画」の推進

(1) 須坂市子ども読書活動支援研究会の活動支援

読書支援団体による効果的かつ具体的な推進方法を研究するとともに、研究会が支援活動に資する事業を行い読書環境の整備・促進を図った。また、子どもの読書力を高めることにより、感性と表現力を磨き、人とつながる力の成長を支援することを目的に行なった活動を支援した。

ア 参加団体数 16 団体

イ 研究会開催状況 12 回開催

ウ すざかしどうぶつえんかるた（平成 25 年度地域発元気づくり支援金助成）、すざかしどうぶつえんえほん『トットト』（平成 26 年度地域発元気づくり支援金助成）の活用・販売
11 月 10 日 豊かな心を育む教育フォーラム、市内幼保育園保護者会

エ 各種読み聞かせ等の実施

学校（読書旬間）等での読み聞かせ、図書館や地域公民館等のイベントでおはなし会を行った。

5 月 5 日 図書館おたのしみ会

8 月 30 日 東日本大震災被災地支援（岩手県山田町立船越保育園）

10 月 6 日 創造の家秋のフェスティバル

1 月 7 日 新春お話の広場（高甫地域公民館）

3 月 8 日 すざか子ども読書ちゃれんじ表彰式おはなし会

オ 各種講演会の企画・開催

駒澤嘉須坂生涯学習振興基金及びふおらむ集団 999 の助成を受け、読み聞かせスキルアップ講演会を 2 回企画開催した。

7 月 7 日 講師 山浦美幸 氏

演題 絵本の力を活かそう!!読み聞かせに向く絵本・ひとり読みに向く絵本

参加者 43 人

12 月 1 日 講師 聞かせ屋。けいたろう 氏

演題 「聞かせ屋。けいたろう」さんの親子おはなし会&大人向け読み聞かせ講座

参加者 104 人

カ 読み聞かせ勉強会等への参加 年 2 回

9 月 1 日 上高井教育研究集会 分科会「子どもと本」内ビブリオトーク

11 月 10 日 豊かな心を育む教育フォーラム

キ 読んであげたいオススメの絵本「小学 1・2・3 年生」「小学 4・5・6 年生」の作成・配布

年齢別に選書した読んであげたいオススメの絵本リストを冊子にし、小学校及び市内公共施設等に配布し、読み聞かせの促進に努めた。

ク 研究会文庫の管理・活用

信州岩波講座寄贈図書及び安心子ども基金の活用による図書を、湯っ蔵んど 1 階市民ギャラリーと旧上高井郡役所 1 階市民交流室に設置し、絵本等を自由に手に取って読み聞かせられる場を提供した。

ケ すざか子ども読書ちゃれんじ協力

すざか子ども読書ちゃれんじコメントカードの選考およびコメントカード紹介コーナーの設置に協力した。中学生版「やってみよう！聞いてみよう！ビブリオトーク」に関わる取り組みに協力した。

(2) すざか子ども読書ちゃれんじ（幼児版、中学生版含む）の実施

子どもの読書活動を推進し、よりよい読書環境づくりと継続的な読書活動を支援することを目的に継続実施している。

ア すざか子ども読書ちゃれんじ（対象：市内在住小学生及び須坂支援学校小中学部）

読書冊数に応じて認定証を交付し、殿堂級達成者には市長から親子表彰を行った。小学生の認定基準（冊数）を3つに分けることで、学年に適した文字数・厚みの本が読める環境を目指している。学年ごとにポイントカードのデザインを変えることで次年度への参加意欲向上に努め、認定時には学校掲示用一覧表を配布し周知を促し、各認定者には「しおり」を配布し意欲向上に努めた。

コメントカード募集を秋の読書週間（10月27日～11月9日）に行い、読んだ本の数だけではなくコメントの内容も求めた。応募されたコメントは、須坂市子ども読書活動支援研究会会員で選考しホームページで紹介するほか、市立須坂図書館ではコメントカード紹介コーナーを設置し、本の帯にして紹介した。掲示期間終了後、本の帯は学校を通して児童に贈呈した。

（ア）実施期間 4月23日（子ども読書の日）から2月15日

（イ）認定者数

学 年 \ 認定基準	名人級（人）	達人級（人）	殿堂級（人）
小学1・2年生	(40冊) 229	(100冊) 123	(200冊) 56
小学3・4年生	(30冊) 112	(75冊) 49	(150冊) 16
小学5・6年生	(20冊) 99	(50冊) 35	(100冊) 17
須坂支援学校小学部	(40冊) 16	(100冊) 6	(200冊) 6
須坂支援学校中学部	(30冊) 0	(75冊) 0	(150冊) 0

（ウ）表彰日 3月8日 190人（対象児童95人、保護者95人）表彰（※表彰式当日参加者122人）

イ すざか家族で読書ちゃれんじ（対象：市内乳幼児のいる家庭）

家族で楽しく読書活動に取り組み、読書に対するモチベーションを引き上げ、親子で本を読む環境づくりと継続的な読書活動を支援する。また、小学校から実施する「すざか子ども読書ちゃれんじ」へのスムーズな移行を目指した。

（ア）実施期間 4月23日（子ども読書の日）から3月10日

（イ）参加家族数 5家族

（ウ）賞状 保育園および郵送で送付

ウ やってみよう！聞いてみよう！ビブリオトークーすざか子ども読書ちゃれんじ中学生版ー

（発表対象：市内在住中学生）

ゲーム感覚で読書の楽しさを発信しあう場所の提供及び、読書力の向上・読書の内容を深めることを目的に行った。

（ア）開催日時 11月3日

（イ）会場 市立須坂図書館西館（旧職業訓練校）2階会議室

（ウ）参加者 発表者2名、見学者17名（大人も含む）当日、須坂高校生徒3名の協力によりビブリオバトルを実施した。

10-6-2(目) 公民館費

単位：円

当初予算額	168,834,000	予算現額	167,133,840	決算額	162,899,549	前年度決算対比	85.6%	前年度決算額	190,410,336
-------	-------------	------	-------------	-----	-------------	---------	-------	--------	-------------

■ 公民館管理事業

単位：円

当初予算額	36,573,000	予算現額	37,677,840	決算額	35,155,602	前年度決算対比	106.0%	前年度決算額	33,180,149
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

I 事業の目的

公民館を学習の場、交流の拠り所として使用する地域住民や団体が、より安全安心で快適な環境で学習できるよう施設、設備等の維持管理に努める。

II 事業の成果等

使用団体による積極的な利用を促し、施設の維持修繕等に心掛ける事により、使用者の利便を図る事ができた。小中学生へは学習室として施設を開放し、公民館が身近な施設であることを周知できた。

III 事業の実績

1 施設の管理等

(1) 施設等の修繕

施 設 名	事 業 内 容	事 業 費 (円)
中央公民館	2階大講習室網戸修繕	8,100
中央公民館	外部手摺修繕	3,240
中央公民館	視聴覚室スイッチ（リモコンリレー改修）修繕	11,858
中央公民館	3階ホール冷暖房機器故障修繕	23,824
中央公民館	3階ホール舞台修繕（住宅デー）	19,008
中央公民館	事務室ブラインド修繕	7,560
中央公民館	2階網戸修繕	15,660
中央公民館	3階アコーディオンカーテン改修	420,984
中央公民館	案内表示板作成・修繕（部屋名変更による修繕）	125,820
中央公民館	公衆街路灯改修（LED工事）	92,197
中央公民館	照明器具改修（LED工事）	65,232
中央公民館	託児室床改修	215,946
中央公民館	駐車場東側照明改修（LED工事）	31,838
井上地域公民館	雨樋修繕	54,000
井上地域公民館	実習室・湯沸し室床修繕	118,463
井上地域公民館	漏水修繕	41,040
井上地域公民館	シャワートイレ修繕	29,160
井上地域公民館	印刷機修繕	19,440
井上地域公民館	男子トイレウォシュレット修繕	5,940
井上地域公民館	放送設備スピーカー配線断線修理	46,440
井上地域公民館	漏電火災警報器取替修繕	103,356
南部地域公民館	3階大ホール暗幕カーテン修繕	191,354
南部地域公民館	網戸改修	368,280
南部地域公民館	建具（開き戸）修繕	4,860
豊洲地域公民館	印刷機修繕	19,440
日滝地域公民館	駐車場車止め修繕	21,600
日滝地域公民館	調理室流し台シンク蓋修繕	23,760
日滝地域公民館	玄関開き戸修繕	3,240
日滝地域公民館	駐車場点字ブロック修繕	41,040
高甫地域公民館	ピアノのカギ加工修繕	3,240
高甫地域公民館	階段手摺その他修繕	301,428
高甫地域公民館	事務室壁修繕	41,878
高甫地域公民館	自動火災報知設備及び非常放送設備バッテリー交換	52,812
日野地域公民館	バレーボールネット交換	29,970
日野地域公民館	外灯不点改修	9,169
日野地域公民館	硬式テニス用ネットロープ修繕	32,400
日野地域公民館	自動火災報知機電源修繕	29,160
日野地域公民館	卓球台修繕	47,520
日野地域公民館	駐車場修繕	19,440
日野地域公民館	敷地内北側側溝修繕	21,060
旭ヶ丘ふれあいプラザ	ふれあいルーム床カーペット修繕	179,442
旧上高井郡役所	駐車場碎石修繕	33,480
計		2,933,679

(2) 施設管理の手数料

施 設 名	事 業 内 容	事 業 費 (円)
中央公民館	公用車 12 ヶ月定期点検	19,656
中央公民館	襖張り替え手数料	24,840
中央公民館	クリーニング手数料 (5回)	41,472
中央公民館	3 階ブレーカー交換、蛍光管交換手数料	14,040
中央公民館	冷蔵庫廃棄手数料	7,884
中央公民館	GHP 空調機保守定期点検	48,600
中央公民館	防火設備 (防火シャッター・防火扉) 定期点検手数料	109,080
中央公民館及び地域公民館	防火対象物定期点検 (年間 2 回)	119,880
中央公民館及び地域公民館	消防用設備点検 (年間 2 回)	718,200
中央公民館及び地域公民館	ピアノ調律 年 1 回 一台 10,800 円×12 台	129,600
南部地域公民館	受水槽清掃及び水質分析	57,240
南部地域公民館	防火設備 (防火扉) 定期点検手数料	90,720
日野地域公民館	自動火災報知設備改修手数料	603,612
旭ヶ丘ふれあいプラザ	公用車 12 ヶ月点検 (車検に伴う整備)	60,014
旭ヶ丘ふれあいプラザ	産業廃棄物処理	11,880
計		2,056,718

(3) 施設管理の委託

業 務 名	委 託 先	業務内容	委 託 料 (円)
中央公民館 南部地域公民館 カーペット等床清掃業務委託	(有)長野グリーンプラン	年 1 回	259,200
中央公民館電話保守点検委託料	石田通信機機	定期点検年 5 回	62,208
中央公民館、旭ヶ丘ふれあいプラザ 自動扉保守点検委託	(株)長野ナブコ	定期点検年 3 回	122,040
中央公民館エレベーター保守点検委託	日本オーチス・エレベータ(株)	定期点検毎月	751,680
中央公民館 事務機器保守点検委託	(資)カミヤ長張商店	電子コピー機保守点検	230,696
中央公民館、南部地域公民館 電気保安業務委託	(一財) 中部電気保安協会	電力デマンド監視業務	483,408
中央公民館、各地域公民館 庭木剪定等委託	(公社) 須高広域シルバー人材センター	庭木手入れ、剪定等	165,604
計			2,074,836

(4) 施設管理の機器賃借

施 設 名	事 業 内 容	事 業 費 (円)
中央公民館及び地域公民館	コピー機、印刷機賃借	2,835,000
中央公民館、南部地域公民館、 日滝地域公民館、日野地域公民館、 旭ヶ丘ふれあいプラザ	AED 賃借	562,464
計		3,397,464

(5) 備品購入の状況

施 設 名	物 品 名	数量	金 額 (円)
井上地域公民館	会議用テーブル	5	129,600
井上地域公民館	エアコン	1	699,840
高甫地域公民館	ブルーヒーター	1	149,472
日野地域公民館	冷蔵庫	1	69,984
計			1,048,896

2 用地の借上げ

使 用 目 的	面 積 (㎡)	金 額 (円)	地権者数 (人)
中央公民館、西館、駐車場	4,468.53	4,253,300	6

3 小中学生への施設開放（夏休み中の学習のため） 期間：7月25日～8月20日

施 設 名	利用者数 (人)	
中央公民館	小学生 19	中学生 20
仁礼コミュニティセンター	小学生 60	中学生 41
井上地域公民館	小学生 19	中学生 0
南部地域公民館	小学生 2	中学生 9
豊洲地域公民館	小学生 2	中学生 7
日滝地域公民館	小学生 55	中学生 2
高甫地域公民館	小学生 12	中学生 5
豊丘地域公民館	小学生 117	中学生 10
日野地域公民館	小学生 114	中学生 17
旭ヶ丘ふれあいプラザ	小学生 159	中学生 8
計	小学生 559	中学生 119

4 大掃除

使用団体の代表者により清掃を実施した。

第1回 6月 8日 67人

第2回 11月16日 65人

5 その他事業の実施状況

(1) ロビーコンサート

サークル等が練習した成果を、広く市民や来館者に発表する場として、1階ロビーをコンサートの場として提供した。

開催期日	出 演 団 体	参加人数 (人)
4月17日	シニアアンサンブル須坂	37
3月13日	ハーモニーコスモス	31

6 市民ギャラリー臥竜公園使用状況

期 間	内 容	来館者数
4月4日～4月10日	「生き物たちの写真展」写真愛好家（写真展示）	202
4月12日～4月25日	「風景写真展」日本風景写真協会長野支部（写真展示）	447
8月2日～8月10日	「山の写真展」写真愛好家（写真展示）	209
11月1日～11月7日	「絵画パレットグループ展」絵画パレット（絵画展示）	468

7 公民館使用料

- (1) 施設等の冷暖房使用料 980,900円 （中央公民館及び地域公民館）
- (2) 白布クリーニング料 39,036円 （中央公民館）
- (3) 施設等の照明使用料 252,120円 （日野地域公民館）

■ 公民館活動事業

単位：円

当 初 予算額	73,637,000	予算 現額	72,608,000	決算額	70,917,958	前 年 度 決算対比	93.1%	前年度 決算額	76,184,139
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

少子高齢化、情報化、国際化など社会環境が急速に変化する中、市民が生涯にわたり生きがいを求め、様々な学習活動、文化活動、ボランティア活動、地域づくり活動等に取り組む意欲に応えるため事業を推進する。

II 事業の成果等

- 1 「須坂市民学園」は、26 人の新入生を迎え、「郷土の良さを知り、この地に生まれ育ったこと、住んでいることに誇りの持てる人づくり」を目標に、公開講演会・学級会活動・自治会活動・クラブ活動を通して活発な学習・交流が図られた。
- 2 10 年目を迎えた須坂市文化芸術協会との連携による「文化芸術講座」は、「謡曲」や「日本舞踊」など7 講座を開講し、伝統ある文化芸術へのきっかけ作りの更なる提供をおこない、終了後にサークルができるなど文化芸術の継承と後継者の育成に寄与することができた。
- 3 新成人スタッフが企画運営するアトラクションにより成人式を盛り上げることができた。

III 事業の実績

1 公民館運営審議会 委員数 17 人

- (1) 第1回 7月11日 内容 平成30年度事業計画、事業実施状況について
11人出席
- (2) 第2回 11月6日 内容 平成30年度事業実施状況報告、定期監査結果報告、公民館条例の一部改正、2019年度の事業計画等について
12人出席

2 講座開設（学習支援）の状況

(1) 階層別講座開催

ア 少年の講座

21世紀を担う子どもたちの「生きる力」を育てるため、学校、家庭、地域の連携により実施した。

事業名	学習内容	開催期日	参加人数(人)
水生生物を採集し育ててみよう	水の少なくなったプールからヤゴなどを採集し育てる 講師 田中裕義氏	6月10日	40
せせらぎサイエンス（生活環境課と共催）	鮎川水系に住む水生生物の観察を親子で行った。 講師 酒巻裕三氏	7月22日	28
星空観望会（夏の星空）	夏の星空観察とタブレットを使用した室内学習 講師 すざか天文部、名古屋大学安田・遠藤研究室	7月27日	23

イ 成人の講座

「郷土の良さを知り、この地に住んでいることに誇りを持てる人づくり」を目標に須坂市民学園を開講したほか、生涯学習時代の地域課題に対応し、明るい地域づくりに関わる講座・高齢化社会に向けた講座・地域課題に取り組む学習活動・支援を通して、地域相互・住民相互の連帯感を深め、情操豊かな人間形成を図った。

事業名	学習内容	開催期日・回数等	参加人数(人) ()内は一般参加者数
須坂市民学園	学園生 68人 自治会活動、学級会活動、クラブ活動、学園祭、館外学習等自主的な活動を通して交流と仲間づくりを行った。	4月～3月 12回 (クラブ活動は随時)	延 446 (延 51)

事業名	学習内容	開催期日・回数等	参加人数(人) ()内は一般参加者数
須坂市民学園	公開講演会 ①「なぜ減らない特殊詐欺―事例と予防策―」 講師 須坂警察署生活安全課長 近藤俊也 氏 「知って撃退！悪質商法～手口と対処法～」 講師 須坂市消費生活・特殊詐欺被害防止センター相談員 坂田亜弥 氏 ②「直虎・一茶・覚之丞―ラジオ・ドラマ制作譚―」(博物館・生涯学習推進センター共催) 講師 武田徹 氏 ③「長野県全市町村で聞いた戦争体験、平和の話、夢の話」 講師 清水まなぶ 氏 ④「介護する覚悟、介護される覚悟」 講師 八木裕子 氏 ⑤「山頭火の須坂」 講師 堀井正子 氏 ⑥「須坂発 138 億光年宇宙の旅～つながっている宇宙・社会・いのち」 講師 縣秀彦 氏 ⑦「窪田空穂～くらし・家族・うた～」 講師 臼井和恵 氏	5 月 19 日 6 月 16 日 8 月 18 日 9 月 15 日 12 月 15 日 1 月 19 日 2 月 16 日	61(7) 65(149) 59(73) 55(90) 53(62) 58(67) 59(76)
菊作り講座	菊作りの準備、消毒についてほか 講師 吉田寅雄 氏	4 月～10 月 6 回	延 74
おでかけパソコン講座 (委託事業)	はじめての LINE 講座 パソコン相談室 年賀状宛名面作成講座 デジカメ写真整理術&フォトアルバム作成講座 講師 NPO 法人信州 SOHO 支援協議会	7 月 20 日 9 月 7 日 12 月 2 回 1 月 5 回	10 1 延 13 延 25
苔玉づくり講座 (すざか女性未来館共催)	苔玉づくりの実践と手入れの仕方 講師 塩島淳志 氏 須坂創成高等学校生徒	8 月 7 日	25
スマートフォン講座 (市文化振興事業団・旧小田切家住宅・生涯学習推進センター共催)	スマートフォンで写真を撮って、加工しよう 講師 田子忍 氏	9 月 18 日	5
すざかマイ・ノート活用講座 (高齢者福祉課と共催)	いまから是非考えておきたい自分のこと家族のこと～「エンディングノート」を書いてみませんか～ 講師 宮原則子 氏	12 月 22 日	43

(2) 教養講座開催

市民の学習参加への意欲の高揚を図るため、社会教育団体等と連携し開催した。また、新しい仲間づくりのきっかけづくりとなった。

事業名	学習内容	開催期日・回数等	参加人数(人)
おとなのピアノ教室	「もしもピアノが弾けたなら」と思っている大人向け、超初心者講座 講師 田所恵美子 氏	5 月～8 月 10 回	延 91

事業名	学習内容	開催期日・回数等	参加人数（人）
文化芸術講座	須坂市文化芸術協会との連携による講座	6月～9月	
	さわやか謡曲講座（観世流） 講師 村石武志 氏	8回	延 49
	仲間づくり謡曲塾（宝生流） 講師 宮澤正幸 氏	8回	延 23
	ザ・尺八 講師 南澤汎山 氏	12回	延 63
	楽しいいけ花（池坊） 講師 高野博子 氏	7回	延 19
	気軽に楽しむ日本舞踊（藤間流） 講師 藤間千勢津 氏	8回	延 50
	歌謡曲のやさしい日本舞踊（花房流） 講師 花房多都蔵 氏	8回	延 42
	茶席入門（石州流） 講師 北原勲 氏	6回	延 21

(3) 国際化講座開催

国際化社会に対応して、様々な国の文化や習慣等の理解を深める講座を開催した。また、市民の国際交流の機会と国際感覚の向上を図るため、講座等の企画運営を市民ボランティアの参画を得て実施した。

事業名	学習内容	開催期日・回数等	参加人数（人）
異文化理解講座	アメリカの文化と日本 講師 古橋昌尚 氏	7月4日	7
オリンピック・パラリンピックホストタウン事業	中央「中国の文化と肉まん作り」 （すざか女性未来館と共催） 講師 北山宏恵 氏、北山智恵 氏	9月9日	12
	井上「水ギョーザ作り教室」 講師 須坂市日中友好協会女性委員会	6月21日	14
	「望郷の鐘」上映会 講師 須坂市日中友好協会	7月20日	14
	南部「心を養う太極拳」 講師 山崎優子 氏	6月20日	18
	「イスハチ」 講師 山崎優子 氏	9月12日	10
国際交流パーティー（支援）	市内外の在住外国人との交流を通して、互いの文化への理解を深めることを目的に、市民ボランティアの実行委員会が主体となって行った。	11月10日	150
日本語教室（支援）	日本語ボランティア主体による外国人のための日本語学習支援	4月～3月 29回	延 52

(4) 地域・まちづくり講座

地域づくりの拠点となるべき公民分館のあり方を見つめ直すために、公民分館の役員を対象に開催した。

事業名	学習内容	開催期日	参加人数（人）
第42回須坂市公民館研究集会（公民分館長会と共催）	講演・分散会 「今の公民館に託されるもの ～今、なぜ地域づくりか～」 講師 筒井美保子 氏	3月3日	135

3 文化活動の実績

視聴覚教育の一環として、公民分館を始めとする社会教育団体の学習機会に利用していただくため、映画等の映像作品を購入し、年間を通して貸し出しを行った。

(1) 購入作品

3作品（DVD） 100,548円（「のっぺらぼう」「ハルをさがして」「ドナルドの磁石騒動」）

(2) 活用事業

事業名	学習内容	回数	参加人数（人）
映像作品の貸し出し	親子映画会等に対する貸し出し 「のっぺらぼう」「ドナルドダック」ほか	地域公民館 10回 公民分館・育成会等 1回	延 746

4 公民分館・ブロック活動支援の状況

(1) 研修会等開催の実績

生涯学習時代の中にあつて、魅力ある公民分館活動を支援するために、公民分館長・主事等を対象に次の研修を行った。

事業名	活動及び学習内容	開催期日	出席者数（人）
公民分館長会総会	平成 30 年度公民館事業計画について等	4 月 12 日	82
	平成 31 年成人式について等	12 月 6 日	64
	正副会長の選出等	1 月 24 日	78
公民分館長会役員会	公民分館長会総会について	1 月 17 日	15
公民分館報編集研修会	文章デザインと編集のワン・ツー・スリー 講師 カワモト ポーリン・ナオミ 氏	1 月 30 日	78

(2) 分館交付金の交付状況

公民分館活動の一層の充実を図るため、69 公民分館及び 12 ブロックに次のとおり交付金を交付した。

区 分	1 期概算払 (円)	2 期精算払 (円)	計 (円)
交付金額	6,852,420	2,553,000	9,405,420
69 公民分館	6,561,420	2,493,000	9,054,420
12 ブロック	291,000	60,000	351,000

5 広報活動の状況

生涯学習の啓発と公民館事業及び各種学習会等の講座内容を周知するため、次の広報活動を行った。

- (1) 公民館だより 毎月 1 回発行（4 月～3 月号 7 頁） 19,700 部
公民館だよりスタッフ編集会議 月 1 回 スタッフ 9 人
- (2) ホームページ、まなびず情報等を活用し、公民館活動の啓発に努めた。
- (3) 2 階ロビーに各町公民分館報を展示（随時）
- (4) 「広報須坂」モニター会議（政策推進課） 4 月 23 日、 モニター 10 人

6 社会教育団体等支援の状況

(1) 公民館使用団体代表者会議

公民館使用団体の相互の連携と学習、文化活動の向上と活性化を支援するために、公民館使用団体代表者を対象に説明会を開催し参加者の理解を図った。

開催期日	内 容	参加人数（人）
3 月 22 日	中央公民館使用、避難路について	昼の部 115
	使用団体による発表 「ハーモニカ演奏」（昼の部のみ）	夜の部 32

(2) 須坂市連合婦人会、須坂市文化芸術協会への支援

補助金の交付とともに、各団体の活動に対する相談等の支援を行った。

団 体 名	補助額（円）
須坂市連合婦人会	450,000
須坂市文化芸術協会	450,000

(3) 地域づくり須坂未来塾への支援

魅力と活力ある地域づくりに寄与することを目的に活動する地域づくり須坂未来塾の将来的な自立に向けて支援を行った。

学 習 内 容	開催期日	参加人数（人）
第12回すざかのこども七夕まつり （生涯学習推進員会中央分会共催）	7月29日	12
ファミリー電波教室 （生涯学習推進員会中央分会共催）	11月10日	9
第12回もちつき大会 （須坂中央地域づくり推進委員会と共催）	12月9日	60
第12回須坂発地域づくりリレー講演会 講演会「輝け！須坂産フルーツ」 講師 小川秀和 氏 鼎談 小川秀和 氏、市川めぐみ 氏、小林敏 氏	2月24日	16
バルーン教室：出前講座（市内保育園、市内小学校 PTA、各町 公民分館、各児童センター、えびす講 ほか）	8月～3月 12回	延1,168

7 成人式開催の状況

- (1) 期日 1月13日
- (2) 場所 メセナホール
- (3) 内容 オープニングセレモニー（須坂東高等学校ウインドアンサンブル）
式典
アトラクション（新成人スタッフによる企画運営 思い出のビデオ上映・抽選会・恩師紹介）
- (4) 新成人該当者 554人（男272人、女282人）
- (5) 新成人参加人員 404人（男192人、女212人） 出席率72.9%（H29 73.8%、H28 68.9%）
- (6) 新成人20年のあゆみパンフレットを作成し配布した。

8 その他事業の実施状況

(1) 展示スペースの提供

個人やサークルが講座や趣味等で作成した作品などを展示する場として、1・2階ロビーを提供した。

月	内 容
6月	長野県教育委員会（教科書展示）
2月	竜画会（絵画展示）
通年	須坂市生涯学習推進員会他、各団体の活動を紹介する展示

(2) 新生活運動の推進

新生活運動の申合せ事項の徹底を図るため、中央公民館・各地域公民館等にポスターを掲出し周知を図り、香典袋等を販売した。

9 地域事業の活動状況

身近な生活課題や地域の学習ニーズに応えるため、地域特性を考慮し、次の事業を実施した。

(1) 少年の講座

地 域 公民館名	学 習 内 容	講 師 等	回数	参加人数 (人)
中 央	須坂小学校学習支援、夏休み親子映画会	寺子塾、にこにこす ざか食、常盤町神楽 保存会、田中裕義 氏、西村直利 氏、今 井彰 氏、中村道夫 氏 生涯学習まなび 一号（隊）インスト ラクター、社会福祉 協議会 ほか	56	延1,491

地 域 公民館名	学 習 内 容	講 師 等	回数	参加人数 (人)
仁 礼	仁礼地区子育て広場、夏休み映画会、春休みお楽しみ会、おやきづくり教室、ニューススポーツ体験会、仁礼小学校学習支援	清水順子 氏、スポーツ推進員、食改仁礼会員、生涯学習推進員会仁礼分会 ほか	16	延 521
井 上	子育て支援「あそびの広場」、マジックショー及び映画会、夏休み親子映画会、井上小学校学習支援（史跡めぐり・地域学習）ほか	保健補導員、子育て支援センター、長野市マジック愛好家、市川寛一 氏、幸高郷土史研究会 ほか	22	延 574
南 部	夏休み親子読み聞かせ&映画会、バルーンアート、春休み親子読み聞かせ&映画会	須坂あかりの会、須坂未来塾、キラキラぱ〜く ほか	3	延 300
豊 洲	子育て広場、夏休み親子映画会、元気いっぱい昼ごはん、おおむかしの漢字であそぼう、夏休み理科工作教室、おやきづくり講座、ピンホールカメラで写真を撮ろう、子ども囲碁教室、お話を聞く会、マレットゴルフ交流会	保健補導員、中島弘氏、豊洲マレットゴルフ愛好会 ほか	11	延 248
日 滝	親子映画会、こどもフェスタ in ひたき、こどもやんしゃ 2018	安野悦子 氏、日滝地域づくり推進委員、日滝史蹟保存会 ほか	4	延 229
高 甫	高甫っこ広場、子育て広場、夏休み子ども映画劇場、お菓子作り教室、お話し広場、しめ縄学習会、卓球教室、春休み凧作り、高甫小学校支援 ほか	稲葉智子 氏、保健補導員、子育て支援センター、村石后恵氏、キラキラぱーく、中澤秀樹 氏、寺子塾、地域づくり推進委員 ほか	98	延 2,048
豊 丘	囲碁教室、子どもお茶教室（お茶ごっこ）、子ども夏（冬・春）のお楽しみ会、豊丘小学校支援 ほか	常長虎徹 氏、長谷部貞夫 氏、江森愛子氏、小林道男 氏、小山秀司 氏ほか	16	延 395
日 野	初心者箏教室、初心者太鼓教室、親子映画会、日野小学校支援 ほか	南澤雅尚 氏、田村憲雄 氏、松井弘 氏、佐藤利彦 氏、 ほか	32	延 600
旭ヶ丘	読み聞かせ&太巻き寿司	アップルパイ、食改 ほか	1	50
合 計			259	延 6,456

(2) 女性の学習支援

地 域 公民館名	学 習 内 容	回数	参加人数 (人)
中 央	穀町女性学級	8	延 80
井 上	手芸、きりのさと女性学級	9	延 116
南 部	編み物、手袋シアターづくり教室	6	延 59
日 滝	高橋女性学級、ひまわり女性学級	23	延 223
高 甫	キルト教室、やしょうま作り、和菓子作り、味噌づくり	7	延 60
豊 丘	中田女性学級、五味の会女性学級、明光寺女性学級	12	延 142
日 野	盆花アレンジ、正月盛花講座	2	延 23
旭ヶ丘	光ヶ丘女性学級、松川女性学級、旭ヶ丘女性学級	33	延 320
合 計		100	延 1,023

(3) 成人の講座

地 域 公民館名	講座数	学 習 内 容	回数	参加人数 (人)
仁 礼	10	パソコン、地域めぐり、史跡探訪、アコースティックギター、寄せ植え、ワイン、スイーツ、やしょうま	30	延 308
井 上	12	おやき作り、パソコン、健康教室、地元企業講演会、視察研修会、陶芸、がまぐち作り教室、ソーセージ作り教室、アレンジフラワー、やしょうま作り、映画上映会、原子力発電所視察	33	延 328
南 部	9	映画上映会、歴史講座、四阿カルデラ・ハッ場バム見学、根子岳登山、パソコン、しめ縄づくり、健康教室、発酵と糀の話	21	延 280
豊 洲	10	健康教室、大人のための漢字教室、パソコン、名画鑑賞会、平和の学習映画会、シュートレンを作ろう、トールペイント、やしょうまづくり、ふるさと豊洲講座、平和学習会	36	延 412
日 滝	9	料理、パッチワーク、水曜日のシークレットサロン、パソコン、スロージョギング、ハーバリウム、お正月の花、健康教室、ウクレレ教室	46	延 633
高 甫	6	パソコン、平和の願い学習会、謡曲、歌声喫茶、終活講座	20	延 254
豊 丘	8	切り絵、唱歌、パソコン、健康教室、エクササイズ、紙芝居の地巡り、麻雀教室	53	延 375
日 野	7	郷土史、スポーツ吹き矢、パソコン、スロージョギング、ソーセージ作り、そば打ち、こんにゃく	60	延 308
旭ヶ丘	4	パソコン、健康教室、健康講座、高齢者体操教室	9	延 114
合 計	75		308	延 3,012

(4) 高齢者の学習支援

地 域 公民館名	学 習 内 容	回数	参加人数 (人)
仁 礼	ブロック高齢者学級、いにしえの映画上映会	2	延 216
井 上	寿学級	1	31
南 部	ブロック高齢者学級	7	延 120
豊 洲	豊洲サロン（脳活性、軽運等）、エンディングノート、栄養講座	26	延 173
日 滝	パソコン教室	38	延 107
高 甫	ブロックシニアクラブ「ことぶき学級」	2	延 85
日 野	落語鑑賞	1	39
旭ヶ丘	木曜会、高齢者学級、松川ひまわり学級	58	延 972
合 計		135	延 1,743

(5) 文化・体育・レクリエーション活動

地 域 公民館名	事 業 内 容	回数	参加人数 (人)
仁 礼	球技大会、文化祭、どろんこソフトバレー、大道芸人パフォーマンス講座、懐かしの名画上映会	7	延 980
井 上	球技大会、文化祭	3	延 368
南 部	球技大会、文化祭、須坂市民ギャラリー絵画展	8	延 1,244
豊 洲	球技大会、文化祭、春季ふれあい体育祭	3	延 815
日 滝	球技大会、文化祭、メセナの風コンサート	3	延 709
高 甫	運動会、球技大会、八丁鎧塚祭り	4	延 797
豊 丘	球技大会（豊丘町・豊丘上町）、三町球技大会、豊丘町文化祭、三町マレットゴルフ大会、三町卓球大会	6	延 830
日 野	球技大会、文化祭、初心者日本舞踊教室	5	延 1,342
旭ヶ丘	球技大会、文化祭	2	延 795
合 計		41	延 7,880

10 地域づくり事業支援

生涯学習の成果を生かして行う、地域の活性化、地域に根ざした歴史・文化・体育・ボランティア活動及び地域で子どもを育てる事業等の地域づくり事業を支援するとともに、地域課題の発見と解決に向けた活動が自らできるよう地域づくり推進委員会に対して支援を行った。また、信州型コミュニティースクールへ事業の支援を行った。

地区名	事業内容
須坂中央	須坂小職場体験学習、町並み小散歩、花火職人さんのお話を聞こう、歴史映画会、県立信州医療センター見学体験ツアー、郷土食作り、キッズヨガ、いろいろな遊びと駄菓子屋さん等
仁 礼	東中前バス停留所修繕、仁礼小花壇支援、史跡説明版等
井 上	マップ作製委員会、ふれあい教室、井上小クラブ支援、水稻づくり等
南 部	竜ヶ池灯籠流し、文化祭、文化講演会、しめ縄づくり等
豊 洲	東北視察研修、地域学習、カシス事業、ふれあい体育祭、推進委員会だより発行等
日 滝	こどもフェスタ、こどもやんしゃ、健康教室、公共交通利用研修会、日滝小クラブ支援等
高 甫	イワナ放流、栃ノ木探訪、道路整備、ホテル観察会、鮎川で遊ぼう、史跡整備、八丁鎧塚祭り等
豊 丘	観桜会ひんのべ祭り、豊丘ダムまつり、豊丘ダム環境整備、新そば祭り、群馬研修視察等
日 野	地区卓球大会、地域づくり講演会、いずみの里事業等
旭ヶ丘	地域づくり推進プロジェクト、ふれあいミニコンサート、プラザ食堂、夏休み子どもイベント等

11 事業の委託

業務名	委託先	業務内容	金額(円)
平成30年度 世代間情報格差是正事業「おでかけパソコン教室」委託業務	特定非営利活動法人 信州 SOHO支援協議会	中央公民館及び地域公民館との調整によって決定する、初級者に対するICT講座	3,434,400

12 施設の使用状況

(1) 公民館及び各地域公民館使用実績

公民館名	登録団体数	使用回数	使用人数(人)	公民館名	登録団体数	使用回数	使用人数(人)
中 央	261	6,477	71,637	日 滝	54	847	10,536
仁 礼	78	1,027	12,240	高 甫	43	664	9,171
井 上	50	566	7,310	豊 丘	63	483	6,680
南 部	70	1,026	12,037	日 野	80	1,541	21,272
豊 洲	47	460	5,115	旭ヶ丘	68	1,249	14,635
				合 計	814	14,340	170,633

(H29 173,100 人)

(H28 177,313 人)

(2) 図書の貸出実績

地 域 公民館名	登録者数 (人)	貸出冊数	地 域 公民館名	登録者数 (人)	貸出冊数
仁 礼	190	436	高 甫	243	313
井 上	376	6,460	豊 丘	281	571
豊 洲	113	630	日 野	337	812
日 滝	71	185	旭ヶ丘	168	864
			合 計	1,779	10,271

(3) 旧園里学校入館の実績（開館日数 244 日）

入館者内訳(人)	一 般	団 体	合 計
	237	286	523

13 備品の購入

施 設 名	購 入 品 目	事 業 費 (円)
中央公民館	映画等作品3本	100,548

10-6-3(目)図書館費

単位：円

当 初 予算額	55,994,000	予算 現額	56,254,000	決算額	54,986,741	前 年 度 決算対比	99.0%	前年度 決算額	55,554,039
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

■ 図書館管理運営事業

単位：円

当 初 予算額	47,961,000	予算 現額	47,942,000	決算額	46,740,871	前 年 度 決算対比	98.8%	前年度 決算額	47,306,569
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

市民に親しみをもって利用される公共図書館として、各種行事や読書相談等のサービスの充実、ボランティア団体の育成等にも努めるとともに、多様な資料の収集と適切な提供により、市民の生涯学習に役立つ図書館事業を推進する。

II 事業の成果等

子ども読書のつどい、おとなのための朗読会、文学講座等を開催し、市民が本とふれあうことができた。

本館2階の改修工事を行い、新たに休憩コーナーを設置し、来館者の利便性の向上、ゆったり過ごせる空間を提供するとともに、1階車庫内を改修し、ボランティアの活動スペースを2階から移設した。また、西館の消防設備改修工事を行い、自主的・自発的な学習活動を行う団体に講習室を貸し出した。

蔵の町並みキャンパス事業で、信州大学大学院理工学系研究科建築学専攻の学生に、テーブル、椅子10脚をデザイン・作成していただき、本館2階の休憩コーナーに設置した。

III 事業の実績

1 図書館協議会の開催状況 委員 7人

(1) 第1回協議会 8月8日 5人出席

29年度事業報告並びに30年度事業計画について協議した。

(2) 第2回協議会 11月13日 4人出席

30年度事業執行状況並びに31年度事業計画について協議した。

2 蔵書冊数

(単位 本：冊 ソフト等：点)

	分類	29年度末	購入	寄贈	計	除籍	総冊数
本館用 図書 蔵書 冊数	一般図書	89,507	1,754	55	91,316	1,213	90,103
	小説	12,514	431	45	12,990	6	12,984
	参考図書	5,085	63	10	5,158	20	5,138
	郷土資料	6,263	7	86	6,356	0	6,356
	一般小計	113,369	2,255	196	115,820	1,239	114,581
	児童図書	31,545	672	39	32,256	31	32,225
	絵本	16,328	358	4	16,690	22	16,668
	紙芝居	1,713	5	1	1,719	2	1,717
	児童小計	49,586	1,035	44	50,665	55	50,610

	分類	29年度末	購入	寄贈	計	除籍	総冊数
本館 用 図 書 蔵 書 冊 数	雑誌	5,165	1,071	25	6,261	1,008	5,253
	ビデオテープ	26	0	0	26	0	26
	C D	1,923	78	7	2,008	8	2,000
	テープ図書	395	0	0	395	0	395
	D V D	1,875	2	0	1,877	12	1,865
	行政資料	1,644	8	16	1,668	0	1,668
	合 計	173,983	4,449	288	178,720	2,322	176,398
配本室用		29,867	324	5	30,196	4	30,192
図書総数		203,850	4,773	293	208,916	2,326	206,590

3 図書館の利用状況

(1) 図書館等の登録者数（30年度新規）

区 分	図書館(人)	地域館(人)	計 (人)	団体 (団体)
登録者数	1,232	1,779	3,011	5

※図書館電算化後の登録者数（平成12年度以降30年度末）と地域公民館等の登録者数

合計 25,648件 [図書館(個人 23,582、団体 287)、地域公民館等 1,779人]

(2) 図書貸出状況

単位：冊

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	個 人	21,227	21,196	21,793	16,676	23,325	22,473	21,636	20,904	22,427	21,244	22,730	25,324	260,955
	団 体	519	351	493	256	217	230	273	431	640	329	454	182	4,375
配本室	地域公民館等	738	1,119	1,036	870	699	704	782	1,075	987	949	742	609	10,310
計		22,484	22,666	23,322	17,802	24,241	23,407	22,691	22,410	24,054	22,522	23,926	26,115	275,640

(3) 本館の分類別図書貸出状況

分 類	貸出冊数(冊)	分 類	貸出冊数(冊)	分 類	貸出冊数(冊)
一般・総記	2,347	児童・総記	719	雑 誌	11,750
一般・哲学	3,646	児童・哲学	1,013	ビデオテープ	39
一般・歴史	9,986	児童・歴史	4,494	C D	5,662
一般・社会	8,197	児童・社会	1,736	テープ図書	8
一般・自然	6,797	児童・自然	5,274	D V D	3,560
一般・技術	16,577	児童・技術	2,218	行政資料	2
一般・産業	5,694	児童・産業	915	その他	0
一般・芸術	13,241	児童・芸術	5,368		
一般・言語	1,440	児童・言語	527		
一般・文学	14,945	児童・文学	23,054		
小 説	50,798	絵 本	59,435		
参考図書	36	紙芝居	5,683		
郷土資料	18	児童・参考	151		
一般小計	133,722	児童小計	110,587	その他小計	21,021
				合 計	265,330

4 開館日数及び入館者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
開館日数 (日)	25	25	24	18	26	25	25	25	23	23	23	26	288
利用者数 (人)	8,720	8,743	9,096	7,356	11,673	10,240	9,661	9,626	9,194	8,972	9,815	10,164	113,260

5 図書館利用状況推移

年度	年度末蔵書数 (冊)	登 録 者 数		貸出冊数 (冊)	市民1人当たり	
		団体(団体)	個 人(人)		貸出冊数(冊)	蔵書冊数(冊)
25	188,698	242	22,399	287,103	5.48	3.60
26	192,659	247	22,909	271,600	5.21	3.70
27	196,220	253	23,414	266,323	5.15	3.79
28	200,730	265	24,414	264,340	5.13	3.90
29	203,850	282	23,956	254,783	4.97	3.98
30	206,590	287	23,582	265,330	5.21	4.05

※人口は、毎年度4月1日現在を基準とし、30年度は4月1日現在50,963人

6 蔵書整理の実施

図書の除籍基準により、保存期間の経過、紛失、破損等による蔵書を整理し除籍した。

除籍した図書はブックリサイクル市等で、学校図書館、どこでも図書館、市民等に提供した。

(1) 整理期間 6月29日～7月9日

(2) 除籍図書の内訳

本館用図書 2,200冊 配本所用図書 0冊

その他、期間外での除籍図書 本館 122冊 配本所 4冊 計 2,326冊

除籍・リサイクル図書から、長野刑務所内の図書コーナーへ300冊(11月20日)、
友好都市中国吉林省四平市へ189冊(3月29日発送)、寄贈した。

7 「すぎかびとの本」コーナーの充実

須坂市在住者、出身者、及びゆかりのある人の著作を積極的に収集し、市民等に、著者を知り、郷土に興味を持っていただけるよう、展示・貸出を行った。

著者 201人(団体も含む) 339冊

8 講座の開催

講座等名	学習内容	開催時期 回数等	参加(人)
わらべうた遊びと絵本講座	親子等で手遊び、わらべうたを学ぶ 1回を前編「わらべうた」、後編「絵本」 に分けて行った 講師 佐藤月子 氏	5月～6月 4回	延131
ラベンダースティック講座	図書館の庭で収穫したラベンダーで、香り を楽しむラベンダースティックを作成し た 講師 西沢朋子 氏	6月22日 1回	12
文学講座 大人が楽しむ国語 教科書 古典編	高校の国語教科書をテキストに、もう一度 教科書に採録されている文学作品を学ぶ 講師 田子修一 氏	6月～8月 5回	延112
やさしい朗読講座	音読の基礎について学ぶ 講師 今井理恵子 氏	1月10,17日 2回	延44
おとなのための朗読会	5組の出演者の競演 文学作品を耳から 楽しむ ゲスト 今井理恵子 氏	1月26日 1回	90
野菜づくりのコツと裏ワザ講 座	野菜づくりのコツと裏ワザを学ぶ データベース「ルール」の使い方を学ぶ 講師 三浦渉 氏	2月27日 1回	23

9 読書感想文コンクール（須高図書館協会として小布施町立図書館・高山村公民館と共催）

(1) 応募作品数

小中学生の部 226 編（小学生 160 編 中学生 66 編）

(2) 入選作品数

小中学生の部 72 編（小学生 52 編 中学生 20 編）

(3) 入選作品は、作品集「心のふれあい」として須高図書館協会より 180 部発刊

10 子ども読書のつどい

(1) おはなしの会

ボランティアグループの協力を得て、毎週土曜日 午前 11 時から開催

小学校低学年以下の児童（親子）対象 45 回開催 延参加者 739 人

(2) 春のおたのしみ会

期 日 5 月 5 日（こども読書週間中）

内 容 パネルシアター、大型絵本ほか

参加者 15 人

(3) 夏休みこどものつどい親子たなばたまつり

期 日 8 月 4 日

内 容 パネルシアター、うた、たなばたかざりづくり、手品

参加者 15 人

(4) こどもクリスマス会

期 日 12 月 8 日

内 容 人形劇、うた、手品、サンタさんからのプレゼント、ハンドベル演奏

参加者 102 人

11 テーマコーナーの設置（展示と貸出）

季節や行事、時流に合わせた、タイムリーなコーナーを設置して、利用者に提供した。

時 期	テーマ	内 容
4 月	応援、春からの新生活 ガーデニングをはじめよう 青春小説	スタートの春にふさわしい本を様々な分野から集めた。また、今年度より、ロビーで、毎月ちがうテーマの小説を特集していくことにした。
4 月～5 月	年齢別おすすめの本 科学道ジュニアおすすめの本	こどもの読書週間(4 月 24 日～5 月 12 日)に毎年更新している年齢別リストに掲載した本の展示・貸出とリストの配布。児童室では、科学の本を特集。
5 月	家族小説	家族連れの来館者が増えるシーズンに合わせた。
6 月	おとなの手習い 長編・シリーズ小説	入梅に合わせ、室内での楽しみをテーマに特集。蔵書点検に合わせ、長編小説を特集。
7 月	相撲 短編小説	御嶽海関の活躍に合わせてコーナーをつくった。暑い季節に一気に読める短編小説を特集。
7 月～8 月	読書感想文コンクール課題図書 山の日	全国及び長野県で選ばれた課題図書を一堂に集めた。「山の日」に合わせて、山の本を特集。
8 月	戦争 ぞっとする話	毎年、8 月は、戦争をテーマに広く特集。読んで涼しくなる小説を特集。
8 月～9 月	信州岩波講座 20 回記念	20 年間に招かれた講師 100 名のリストと著作を、閲覧コーナーに展示・貸出。
9 月	夏川草介氏推薦本 まちゼミ 防災 シルバー小説	信州岩波講座・高校生編で、講師が講演中に紹介した本を展示・貸出。 須坂商工会議所のまちゼミを後援し、ゼミの内容に関連する本を特集。「防災の日」「敬老の日」に合わせたコーナーを設置。

時 期	テーマ	内 容
10 月	1 年以上利用のない小説	貸出のなかった残念な本にスポットを当てた。
11～12 月	平成映像化小説	改元ムードの高まりとともに、平成をキーワードにコーナーづくりをすすめていくことにした。
1 月	平成デビュー作家	平成時代にデビュー・活躍した作家の作品。
1～2 月	すぎか子ども読書ちゃれんじ	コメントを本の帯に巻いて展示・貸出
2 月	まちゼミ 平成を駆け抜けた作家たち	須坂商工会議所と連携してのコーナーが定着した。 平成に亡くなった作家の作品を展示・貸出。
3 月	ブックセラピー 昭和文学賞受賞作	自殺予防強化月間に合わせ、健康づくり課と連携し、「読む薬」として本を薬袋に入れて貸出。

12 信州須坂図書館まつり 2018(秋の読書週間)

子どもから高齢者まで誰もが読書に親しめるよう、読書週間にあわせて行事を行った。

(1) 期 間 10 月 27 日～ 11 月 9 日

(2) 内 容

ア おはなしびっくり箱

期 日 11 月 3 日

内 容 小学校低学年以下の児童（親子）を対象にした、子ども向けのメインイベント。
毎週土曜日に開催している「おはなしの会」の登録団体の育成を兼ね、ボランティア同士の
交流と研鑽を積む場として開催。全団体が実行委員会を組織して、発表しあった。

場 所 中央公民館 3 階ホール

参加者 77 人

イ 信濃毎日新聞データベースの活用講座

期 日 11 月 4 日

内 容 新聞にまつわる雑学講座（現在の新聞・瓦版について等）
データベースの使い方講座

参加者 5 人

ウ ブックリサイクル市の開催

図書館の除籍本に加え、市民から受け入れた不要本を来場者に配布した。

図書館入口に常時設置のブックリターンポストで 1 年間に受け入れた本 2,920 冊

期 日 10 月 27 日 本の受入 730 冊（当日受入分）

学校図書館、地域公民館、どこでも図書館への支援(事前配布)

10 月 28 日 本の配布 3,634 冊

エ 「すぎかのお殿さま」堀直虎没後 150 年記念パネル展

ロビーにて、須坂藩第 13 代藩主・堀直虎公に関する資料を特集。

年表・相関図等の作成。須坂市立博物館や奥田神社からも資料やパネルを借り受け展示した。

期 日 10 月 27 日～11 月 9 日

オ 平成映像化小説特集

特集コーナーにて、平成以降、映像化された小説を展示・貸出

映像化された作品のテーマ別リスト（朝ドラ編、大河ドラマ編、ドラマ編、アニメ編）も配布。

期 日 10 月 27 日～11 月 9 日

カ その他

閲覧コーナーにて、「ほのぼの川柳ほくしん流」1 年間の優秀賞を掲示。

来館者の投票によって、年間大賞を決定。

13 職場体験学習等の受入れ

小中学生及び小学校教員を受入れ、書架整理・カウンター業務等を体験してもらった。

期 日	学 校	体験者数 (人)
7月18、19日	相森中学校	2
8月1日	須坂小学校	1
8月9、17日	井上小学校教員	1
8月29、30日	常盤中学校	2
6月～11月	須坂支援学校(ふれジョブ)	1

延7人 延29日

14 小中学校との連携

調べ学習や読書活動等に必要な本を、市のメールカーを使って貸出した。

日滝小学校へ2回 計60冊

須坂小学校の「くぬぎの時間」(信州型コミュニティスクール)への協力。

15 地域との連携

「ほのぼの川柳ほくしん流」を須坂新聞社と共催。

2か月に1度お題を決めて川柳を募集している。

選評会を開いて優秀賞を決定し、須坂新聞紙上で発表した。

須坂商工会議所の「まちゼミ」を後援。

年に2回、まちゼミコーナーを設けて関連図書を展示、支援している。

16 広報活動

図書館事業(行事・講座等)の内容をお知らせし、参加を呼びかけるとともに、読書意欲を高めるため広報活動を行った。

(1) 広報須坂に「図書館だより」を毎月掲載した。

(2) 館内での催し物案内用に「としょかんだより」(児童版、一般版)を毎月発行し、館内掲示や公民館、小中学校への配布、市ホームページへの掲載などを行った。

(3) ホームページなどを活用し、図書館事業の広報に努めた。

17 配本活動

地域公民館の図書室の利用者や障がい者等、図書館に来館しない人の利便を図るため次の事業を行った。

(1) 地域公民館等 実施8館の配置冊数 18,602冊 貸出冊数 10,310冊

(2) その他の施設 上高井教育研究集会、きのこ展、手話サークルへの協力・配本・展示

18 調査相談活動(レファレンス)

利用者の調べもののお手伝いや、資料や図書の探し方等を案内するサービスを行った。

随時実施 3,204件

19 図書の確保

サービス名	内 容	件 数 等
予 約	貸出中などにより図書がない場合は予約申込を受け、返却されしだい貸出しをした。	3,672件(内、インターネットによるもの 1,160件)
リクエスト	蔵書していない図書の利用希望があるときはリクエストができる。他館からの借用または購入により対応し貸出しをした。	585件
相互貸借	図書貸出の希望に対し、当館にその図書がないときは、県立長野図書館、信州大学図書館及び他市町村の図書館が蔵書する図書を借り、申込者に貸出しをした。また逆に、他の図書館からの依頼にも対応した。	他市町村から借用した件数 31件 48冊 他市町村に貸出した件数 26件 46冊

20 各種サービス

サービス名	内 容	件数等
インターネット利用サービス	情報検索、調査研究のため、インターネットを無料で利用できる。	592 件
複写サービス	著作権法により、その目的が調査研究で図書館資料に限る等の制約の中で、図書の一部の複写サービスを行った。 1枚 10 円	614 件 3,763 枚
障がい者サービス	音訳ボランティア「須坂あかりの会」の協力により、須坂新聞、社協報などの音訳CDを作成し、視覚障がい者9人へ送付した。	72 回

21 信州須坂どこでも図書館の実施

参加状況 店舗等 37 か所 行政機関等 30 か所 計 67 か所

22 信濃毎日新聞データベースの活用 使用料 453,600 円 延184人(2,688件)
(文化財係及び文書館でもライセンス使用)

23 機器の賃借状況

機 器 名	金 額 (円)
図書検索返却システム賃借	4,432,320
複写機・パソコン・印刷機賃借	442,584
図書検索用ソフト賃借	259,200
発注管理データ・典拠ファイル賃借	356,400
AED賃借	60,912

24 土地の借上げ状況

使用目的	面 積 (㎡)	金 額 (円)	地権者数
利用者駐車場	473.91	359,703	1

25 備品購入状況

品 名	数 量	金 額 (円)
図書、雑誌、DVD、CD、紙芝居等	4,773 点	10,694,155
書架(休憩コーナー)	5 点	532,440

26 業務の委託

(1) 施設管理関係の委託

業 務 名	委 託 先	業 務 内 容	金額 (円)
館内清掃委託(床清掃・ワックスがけ)	黒崎商会	館内床清掃	151,200
冷暖房設備保守点検委託(室内機フィルター)	黒崎商会	エアコン室内機フィルター保守点検	102,060
警備保障委託	新日本警備保障(株)	警備委託	298,080
リフト装置保守点検委託	クマリフト(株)	荷物専用エレベータ保守点検	149,040
自動扉保守点検委託	(株)長野ナブコ	自動ドア保守点検	69,120
電気保安業務委託	(一財)中部電気保安協会	電気保安管理	119,232
冷暖房設備保守点検委託	三菱重工冷暖(株)	エアコン保守点検	124,200
電動書架保守点検業務委託	(株)薦友	電動書架保守点検	346,572
清掃業務委託	(公社)須高広域シルバー人材センター	館内トイレ清掃	311,040

(2) その他の委託

業 務 名	委 託 先	業 務 内 容	金 額 (円)
図書検索返却システム・機器保守委託	アネックスインフォメーション㈱	システム保守点検	968, 112
図書マーク作成委託	㈱図書館流通センター	マーク作成業務	387, 936
書架整理業務委託	(社福)すこう福祉会	書架整理	27, 000
配本作業委託	(公社)須高広域シルバー人材センター	配本作業	58, 104

27 工事・修繕等

(1) 工事

内 容	金 額 (円)
読書室パーテーション移設工事	495, 720
車庫間仕切り工事	333, 246
誘導灯設置工事	291, 600

(2) 修繕

内 容	金 額 (円)
正面玄関自動ドア修繕 (計数カウンター)	64, 800
正面玄関自動ドア修繕 (ワイヤレスタッチスイッチ)	60, 480
正面口階段タイル修繕	70, 200
電話機修繕	17, 064
誘導灯バッテリー修繕	13, 176
事務室サッシ修繕	7, 182
湯沸器修繕	54, 367
西館建具修繕	39, 484
児童室照明器具修繕	68, 947

28 西館講習室貸出状況 (2月～) 13件

10-6-4 (目) 博物館費

単位：円

当 初 予算額	20,243,000	予算 現額	18,710,600	決算額	18,420,381	前 年 度 決算対比	95.6%	前年度 決算額	19,271,363
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

■ 博物館管理運営事業

単位：円

当 初 予算額	14,374,000	予算 現額	13,322,600	決算額	13,048,156	前 年 度 決算対比	96.8%	前年度 決算額	13,481,838
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

生涯学習の総合的な推進体制の確立が求められているなか、市民の利用に供し、その教養・調査研究・レクリエーション等に資する立場から、資料の収集及び調査研究、収蔵品の保管に努めたうえ、展示活動・博物館講座等を通じて、市民の学習活動に役立つこと基本とした事業を推進する。

II 事業の成果等

須坂藩 13 代藩主堀直虎没後 150 周年及び明治 150 年記念事業として、長野県地域発 元気づくり支援金を活用し、堀直虎の生涯を題材に市民が制作した「紙芝居」や「語りと創作音楽」の上演、歴史文化講演会や記念展示「幕末・明治期の須坂」を開催した。記念展示では、直虎没後の須坂藩の動向等について紹介し、郷土の歴史について市民等が理解と関心を深める機会を提供した。また、合わせて市民ボランティアの研究発表の場を設けテーマ展示を行い、市民が歴史文化について主体的に学習を深めることができた。

講座活動では、記念展示をより深く理解するため「ギャラリートーク」の開催や、文化財保存活用倉庫に保管されている大型製糸機械、民具・農機具等の収蔵品を公開した。また、「臥竜山たんけん」では、対象を小学生（3年生以上）から一般にも拡大し、臥竜公園の自然や文化財等を学ぶことができた。

開館 50 年を経過し老朽化した博物館について、今後のあり方について検討し、基本計画を策定するため、昨年度から継続して、須坂市立博物館基本計画策定委員会を開催し、基本計画を策定した。

博物館が長期休館中であることから、平成 30 年 4 月 27 日から博物館事務室を南部地域公民館 1 階へ移転した。

Ⅲ 事業の実績

1 博物館協議会等の開催の状況

委員 6 人

- (1) 第 1 回協議会 7 月 24 日 出席人数 6 人

平成 29 年度事業報告及び平成 30 年度事業執行状況と今後の計画について研究協議した。

また、須坂市立博物館基本計画策定委員会の状況について報告した。

- (2) 第 2 回協議会 12 月 21 日 出席人数 5 人

平成 30 年度事業執行状況、平成 31 年度事業計画について研究協議した。また、須坂市立博物館基本計画について報告した。

- (3) 研修視察（隔年） 10 月 11 日 出席人数 3 人

博物館ボランティア会と合同で飯田市美術博物館、上郷考古博物館（飯田市）、駒ヶ根シルクミュージアムを研修視察した。

2 特別展示活動

名 称	開 催 期 間	入館者数	事業内容による効果等
堀直虎没後 150 周年・明治 150 年記念展示（館外企画展） 「幕末・明治期の須坂」	9 月 8 日～ 11 月 11 日 開館日数 65 日	4,285 人 平均 65.9 人	須坂藩第 13 代藩主堀直虎の没後 150 周年と明治 150 年に際し、幕末から明治にかけての関係資料を展示。直虎没後の須坂藩の動向等について紹介した。また、市民ボランティアによる研究発表の場としてテーマ展示のスペースも設けた。なお、須坂市立博物館は休館中のため、笠鉾会館 3 階を会場に入館無料で開催したが、好評だったため、会期を 11 月 4 日から 11 月 11 日まで延長した。
館外企画展 「第 49 回須坂きのこ展」	10 月 6 日・7 日	544 人	北信地方一帯の野生きのこの実物および生態写真等を展示し、きのこの生態や自然界での役割を学んだ。 採収・展示きのこ 174 種 主催 須坂きのこ展実行委員会 会場 勤労青少年ホーム創造の家

3 講座活動

(1) 博物館講座

名 称	期 日	参加者数	事業内容による効果等
堀直虎没 150 周年・明治 150 年記念事業 「紙芝居および語りと邦楽コンサート」	4 月 15 日 11 月 3 日	84 人 110 人	須坂藩 13 代藩主堀直虎の生涯について紙芝居や語りと邦楽コンサートで周知を図った。臥竜公園さくらまつりなど、観光イベント等で市民等が多く集まる機会に行った。 口演 蔵の町すざか昔を語る会 演奏 南澤汎山 氏、南澤雅尚 氏 他

名 称	期 日	参加者数	事業内容による効果等
文化財保存活用倉庫公開 (大型製糸機械等公開)	6 月 10 日 11 月 10 日	9 人 30 人	文化財保存活用倉庫（須坂市大字小山 507-1）内に収蔵されている元北村製糸使用の自動繰糸機械等を特別公開し、製糸業で栄えた須坂について、また、製糸の過程について解説を行った。 解説 博物館学芸員
直虎没後 150 周年・明治 150 年記念事業 歴史文化講演会 「市民学園」公開講演会・「市民総合大学」公開必修講座	6 月 16 日	214 人	人気のラジオパーソナリティー・武田徹さんを講師としてお招きし、堀直虎などドラマを通じた歴史上の人物について講演いただき、より身近に郷土史について親しんでいただく機会とした。中央公民館、生涯学習推進センターと連携して開催。 講師 フリーパーソナリティー 武田徹 氏 会場 中央公民館 3 階ホール
共催講座 「歴史文化講座」	7 月 7 日	97 人	文書館、生涯学習スポーツ課、市立須坂図書館及び旧上高井郡役所と共催で開催。「西郷隆盛因縁ばなし」の演題で講演いただき、歴史文化への理解を深めた。 講師 東京都江戸東京博物館名誉館長 竹内 誠 氏 会場 中央公民館 3 階ホール
臥竜公園フェスティバル 紙芝居の口演	7 月 29 日	50 人	臥竜公園フェスティバルに際し、「須坂の名馬 井上黒」、「臥竜山」、「善兵衛さんの善光寺参り」の紙芝居口演を行った。 口演 蔵の町すざか昔を語る会
記念展 展示解説 「ギャラリートーク」	9 月 8 日 10 月 13 日	19 人	堀直虎没後 150 周年・明治 150 年記念展示「幕末・明治期の須坂」及び「テーマ展示」について、博物館学芸員及び市民ボランティアが解説を行った。 会場 笠鉾会館ドリームホール 3 階
館外企画展 関連企画 きのこ現地学習会	9 月 29 日	中止	きのこ狩りを行い、実際に野生きのこが自生する状況を観察し、採集したきのこを鑑別することで、きのこへの知識を深める。台風接近により中止。 講師 須坂きのこの会 会場 カヤの平高原（木島平村）
館外企画展 講演会 「きのこ中毒の防止について」 「野生きのこについて」	10 月 7 日	34 人	きのこ展に合わせ、きのこ中毒やきのこの生態についてより深く学んだ。 講師 長野県保健福祉事務所食品・生活衛生課 乳肉・動物衛生係長 阿部理恵 氏、長野県きのこ衛生指導員 須山正男 氏
館外講座 「八丁鎧塚古墳ガイド ポイント講座」	10 月 25 日	63 人	「八丁鎧塚まつり」に向けた八丁鎧塚まつり実行委員会を対象とした学習会。古墳の概要と出土品について、ガイドのポイントを学んだ。 講師 博物館学芸員
展示資料活用事業 「第 9 回八丁鎧塚まつり」	10 月 27 日	1500 人	八丁鎧塚古墳を地域の歴史文化資源ととらえ、地域と一体となって活用を図った。 主催 八丁鎧塚まつり実行委員会 内容 古墳ガイド、ワークショップ、ステージイベント（紙芝居・コーラス等）、吟行俳句大会、物産販売 他

(2) 臥竜山たんけん

名 称	期 日	参加者数	事業内容による効果等
臥竜山たんけん（１） 「夜明けのお散歩」	４月 28 日	36 人	夜明けに臥竜山を散策し、普段見ている昼間の様子とは違った須坂の自然について学んだ。 講師 長野自然観察の会
臥竜山たんけん（２） 「臥竜山ウォークラリー」	６月 9 日	48 人	タイムを競いながら臥竜公園や博物館の収蔵品に関するクイズに答えることで、動植物や文化財について学んだ。 講師 長野自然観察の会、コープながのいんぷり連絡会グループやまならし
臥竜山たんけん（３） 「見えないけど『ある』」	７月 7 日	中止	臥竜山の中で身近にあっても見つけにくい自然について観察し、地域の自然について理解を深める機会とした。雨天により中止。 講師 コープながのいんぷり連絡会グループやまならし
臥竜山たんけん（４） 「みんなで！昆虫採集」	７月 28 日	27 人	雨天により、南部地域公民館にて昆虫の標本づくりを行った。普段は見るだけの標本を実際に自分で作り、地域に生息する生き物について理解を深めた。 講師 蝶の民俗館館長 今井彰 氏、昆虫研究家 田中裕義 氏、長野自然観察の会
臥竜山たんけん（５） 「セミのふしぎ」	８月 11 日	昼の部 15 人 夜の部 18 人	昼の部では、臥竜公園でセミの抜け殻を集め、種類・雌雄の分類集計を通してセミの生態を学んだ。 夜の部では、夜間のセミの羽化の様子を実地で観察し、生命の神秘を学んだ。 講師 長野自然観察の会
臥竜山たんけん（６） 「アサギマダラのマーキング」	９月 22 日	9 人	蝶の民俗館を見学した後、坂田山・フジバカマ園にて長距離移動する大型の蝶「アサギマダラ」の採集を試み、地域の自然への理解を深めた。 講師 蝶の民俗館館長 今井彰 氏、昆虫研究家 田中裕義 氏
臥竜山たんけん（７） 「臥竜山の岩石」	11 月 10 日	33 人	臥竜山で岩石や化石の観察をしたり、砂鉄の採取を行うことで、多様な須坂の地質を学んだ。 講師 長野自然観察の会

４ 須坂市立博物館基本計画の策定

(1) 開館 50 年を経過し老朽化した須坂市立博物館について、今後のあり方について検討し、基本計画を策定するため、昨年度から継続して委員会を開催した。

委員 16 人

ア 第 5 回委員会 ５月 11 日 出席人数 12 人

蔵のまち観光交流センター等の現地視察を行った。基本計画（素案）について検討した。

イ 第 6 回委員会 ６月 6 日 出席人数 13 人

中間報告（提言）に対する市民からの意見を踏まえ、基本計画（素案）について検討した。

ウ 第 7 回委員会 ８月 28 日 出席人数 12 人

基本計画（素案）に対する市民からの意見を踏まえ、基本計画（案）について検討した。

エ 第 8 回委員会 ９月 21 日 出席人数 11 人

基本計画（案）について検討した。

オ 第9回委員会 10月30日 出席人数 15人

基本計画（案）について検討した。

カ 第10回委員会 11月30日 出席人数 13人

基本計画（案）について決定した。

- (2) 須坂市立博物館基本計画策定委員会の基本計画（案）について、教育委員会の議決を経て「須坂市が目指す新しい博物館～須坂市立博物館基本計画～」として決定した。

ア 教育委員会の議決 12月27日

イ 計画の決定 12月28日

5 堀直虎没後150周年・明治150年記念事業

須坂藩13代藩主堀直虎没後150周年及び明治150年記念事業として、長野県地域発 元気づくり支援金を活用し、堀直虎の生涯を題材に市民が制作した「紙芝居」や「語りと創作音楽」の上演、歴史文化講演会や記念展示を開催した。

(1) 創作音楽の上演 4月15日・11月3日

(2) 紙芝居の上演 4月15日・11月3日

(3) 歴史文化講演会の開催 6月16日

(4) 記念展示 9月8日～11月11日

ア 記念展示「幕末・明治期の須坂」

イ テーマ展示「私たちの町 須坂の幕末・明治時代」（市民ボランティア）

6 「博物館ボランティア会」支援事業

「臥竜公園桜まつり」での「姦譜ポストカード」等のオリジナルグッズ販売、八丁鎧塚ほか須坂の古墳・出土品をテーマにしたオリジナルカレンダーの製作など、須坂市の自然・文化・歴史を広く紹介する博物館ボランティア会会員の活動を支援した。

また、小学校の社会科単元「昔の暮らし」での体験学習や「糸取り体験出前講座」ではボランティア会会員が講師を行い、「臥竜山たんけんウォークラリー」「八丁鎧塚まつり」「臥竜公園フェスティバル」などの博物館関連事業にも積極的に関わった。

あわせて、会員の資質向上のため、各種学習会を開催した。

(1) 会員数（3月31日現在） 18人

(2) 学習活動

ア 6月23日 「わたしたちが望む博物館を語る」開催
博物館の今後について、意見交換した。

イ 10月11日 研修視察

須坂市立博物館協議会と合同で、飯田市美術博物館・上郷考古博物館（飯田市）・駒ヶ根シルクミュージアムを視察した。

7 収蔵品整理

博物館は長期休館中であることから、収蔵品の整理および台帳化を進めた。

8 職場体験学習等の受入れ

中学校職場体験学習の生徒を受入れ、博物館周辺清掃、埋蔵文化財（出土品）整理作業等を通じて博物館業務の一端を学んだ。

受入数 2件

7月3日、4日 墨坂中学校 2学年 2人

8月29日、30日 常盤中学校 2学年 4人

9 協力事業

第4回叡譜の杜桜まつりに協力するとともに、信州須坂紙芝居のさとプロジェクトに協力した。

(1) 第4回「叡譜の杜 桜まつり」 5月12日

(2) 信州須坂紙芝居のさとプロジェクト

ア 塩崎源一郎氏寄贈紙芝居『山中鹿之助』等複製作成協力

10 研修・学習活動等の受入れ

名称	期 日	受 講 者 名	人数	講 座 名
出張 出前 講座	4月14日	須坂学舎10期生	14人	須坂市の古墳文化
	4月26日	井上小学校6年生	39人	八丁鎧塚、米持天神1号墳見学
	4月27日	鎌田地区福祉ひろば推進協議会	33人	臥竜公園散策
	6月5日	生涯学習出前講座	18人	臥竜公園散策
	6月23日	須坂学舎10期生	18人	収蔵品説明
	8月22日	井上地区老人会寿学級	31人	須坂 いま・昔
	9月8日	塩川町公民分館	38人	須坂 いま・昔
	10月12日	井上小学校3年生	49人	まゆぐら見学、糸取り体験
	10月20日	日滝小学校PTA	72人	糸取り体験、須坂 いま・昔、 まゆストラップづくり ※笠鉾会館と連携して実施
	11月15日	南部地域づくり推進委員会	27人	須坂 いま・昔
	1月19日	市民学園	19人	須坂 いま・昔
	1月31日	森上小学校3年生	52人	昔の道具
	2月1日	小山小学校3年生	58人	昔の道具
	2月21日	日野小学校3年生	74人	昔の道具
	2月28日	日野小学校3年生	74人	須坂 いま・昔、糸取り体験
	3月4日	日野小学校4年生	71人	まゆぐら見学、糸取り体験
	3月5日	小山小学校4年生	64人	まゆぐら見学、糸取り体験

11 入館者数と入館料

月	大 人			小人	本館 博物館 計	分館 まゆぐら 入館者	合計	入館料 (円)	開館 日数	館外企画展 及び講座 参加者数
	一般	団体	減免等							
4	0	0	0	0	0	561	561	0	0	192
5	0	0	0	0	0	548	548	0	0	0
6	0	0	0	0	0	600	600	0	0	289
7	0	0	0	0	0	391	391	0	0	244
8	0	0	0	0	0	392	392	0	0	33
9	0	0	0	0	0	531	531	0	0	1,472
10	0	0	0	0	0	697	697	0	0	3,968
11	0	0	0	0	0	836	836	0	0	1,257
12	0	0	0	0	0	169	169	0	0	0
1	0	0	0	0	0	168	168	0	0	71
2	0	0	0	0	0	359	359	0	0	208
3	0	0	0	0	0	1,129	1,129	0	0	135
計	0	0	0	0	0	6,381	6,381	0	0	7,869
博物館事業参加者 総合計										14,250

12 入館料

- | | | | | |
|----------------|---------------------------------|-------|-------|----|
| (1) 常設展 | 大人 | 100 円 | 小・中学生 | 無料 |
| (2) 特別展 | 大人 | 300 円 | 小・中学生 | 無料 |
| (3) 企画展・特集展示 | 大人 | 200 円 | 小・中学生 | 無料 |
| (4) 館外企画展・館外講座 | 入場無料 | | | |
| (5) 団体割引 | (常設展・特別展・企画展・特集展示とも)20 名以上 2 割引 | | | |

13 資料頒布代

月別収入金額(円)											
4	18,150	5	4,300	6	6,000	7	8,200	8	2,200	9	2,000
10	16,800	11	48,000	12	3,000	1	5,500	2	1,600	3	200
合計										115,950	

14 業務委託

業務名	委託先	業務内容	委託料 (円)
警備保障委託	新日本警備保障(株)	館内機械警備	375,840

15 備品購入状況

- (1) 業務用ストーブ 74,952 円

16 工事

- (1) 須坂市立博物館屋根上部相輪撤去工事 345,600 円
- (2) 事務室移設電気設備等改修工事 496,800 円

10-6-5 (目)文化財保護費

単位：円

当初予算額	46,619,000	予算現額	50,810,415	決算額	42,356,593	前年度決算対比	86.3%	前年度決算額	49,089,975
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	-------	--------	------------

■ 文化財調査研究事業

単位：円

当初予算額	34,194,000	予算現額	38,869,415	決算額	31,008,552	前年度決算対比	87.5%	前年度決算額	35,444,101
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	-------	--------	------------

I 事業の目的

文化財のよりよい保存と活用施策を講じるために、各種調査及び研究を行う。

II 事業の成果等

埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施し、適切な保護が図れた。また、歴史的な町並みを後世に伝えるため、須坂地区の伝統的建造物群及びこれと一体をなしてその価値を形成している環境の保存対策調査を実施し、重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けての準備を進めることができた。

III 事業の実績

1 文化財審議委員会の開催（委員 5 人）

(1) 第 1 回審議委員会（委員 4 人）

ア 期日 7 月 23 日

イ 場所 防災活動センター 活動室 1

ウ 協議事項

(ア) 指定文化財候補物件等の協議

- a 法然堂孝子善之丞感得御絵伝
- b 市神社
- c 市指定文化財「小坂神社社叢」保存管理計画について
- d 本郷地区市道歩道設置及び交差点改良整備計画について
- e 井上地区民間会社新工場建設計画について

(イ) 現地視察

(ウ) 報告

- a 高頭寺の桜新品種認定について
- b 須坂市立博物館基本計画素案について

(2) 第2回審議委員会（委員5人）

ア 期日 11月7日

イ 場所 防災活動センター 活動室1

ウ 協議事項

(ア) 市指定天然記念物「小坂神社社叢」保存管理と今後の方針について

(イ) 市指定天然記念物「延命地藏堂の桜」の維持管理について

(ウ) 市指定文化財候補物件等について

- a 法然堂孝子善之丞感得御絵伝
- b 市神社

(エ) 報告

- a 台風21号による市指定文化財等の被害状況について
- b 「旧小田切家住宅」県宝指定に伴う市指定解除について
- c 埋蔵文化財包蔵地における開発行為について
 - (a) 井上地区民間会社新工場建設計画
 - (b) 本郷地区市道交差点改良工事計画

2 長野県宝の指定等

(1) 長野県宝「旧小田切家住宅」の指定

ア 長野県教育委員会教育長宛に長野県宝指定申請書を提出 平成30年1月12日

イ 長野県文化財保護審議会より長野県教育委員会へ答申 8月29日

ウ 指定 9月27日

(2) 市指定有形文化財「旧小田切家住宅」の指定解除

ア 指定解除 9月27日

3 文化財看板作成設置業務委託

文化財等の保存と活用を図るため案内看板等を設置した。

業 務 名	委託先	業務内容	金額(円)
須坂市文書館 看板制作業務委託	(有)吉池看板企画	施設入口に表札を設置	75,600
「旧小田切家住宅」駐車場看板書換え業務委託	(有)吉池看板企画	旧越家住宅駐車場案内板に追記	52,704
「上原古墳」標柱作成設置業務委託	(有)吉池看板企画	標柱を設置	21,600

4 埋蔵文化財の保護措置

周知の埋蔵文化財包蔵地内で土木工事等を実施する開発事業者からの文化財保護法第93条又は94条の届

出等を、長野県教育委員会に意見を付して進達し、取扱いの決定通知に従って埋蔵文化財の保護措置を図った。

(1) 文化財保護法第93条の届出及び94条の通知の進達と取扱いの状況 72件

- ア 慎重工事 1件（道路1件）
- イ 工事立会い 66件（個人住宅50件、その他16件）
- ウ 試掘・発掘調査 5件（宅地造成1件、道路1件、その他3件）

(2) 発掘・整理受託事業 1件

- ア 遺跡名 小河原遺跡群（整理調査：面積748.5㎡）
 - （ア）業務箇所 （一）新田春木線 須坂市 小河原その2
 - （イ）委託者 須坂建設事務所長
 - （ウ）受託期間 平成29年8月7日～平成31年3月15日
 - （エ）受託金額 18,730,000円
 - うち 平成29年度事業費分 6,182,225円
 - 平成30年度繰越明許費 12,340,415円
 - 平成30年度事業費分 207,360円

5 伝統的建造物群保存対策調査の実施

歴史的な町並みを後世に伝えるために重要伝統的建造物群保存地区の選定を目指し、建築や歴史などの専門的な知識を持つ学識経験者や地元関係者による調査委員会による、学術上及び文化財上必要な助言及び指導のもと、必要な調査を行った。また、町並みの重要性和文化財保存について周知を図るため、地域説明会と長野県地域発元気づくり支援金を活用してフォーラムを開催した。

(1) 委員会の開催（委員15人）

ア 第2回須坂市須坂地区伝統的建造物群保存対策調査委員会の開催（委員12人）

- （ア）期日 5月22日
- （イ）場所 須坂市防災活動センター2階 活動室1
- （ウ）協議事項
 - a 29年度調査結果確認について
 - b 30年度調査方針について

イ 第3回須坂市須坂地区伝統的建造物群保存対策調査委員会の開催（委員12人）

- （ア）期日 12月19日
- （イ）場所 本庁舎3階 305会議室
- （ウ）協議事項
 - a 平成30年度調査実施状況について
 - b 保存対策調査報告書の章立てについて

(2) 調査委託

ア 須坂市須坂地区伝統的建造物群保存対策調査委託

- （ア）委託期間 4月1日～3月22日
- （イ）委託金額 2,500,000円
- （ウ）受託者 国立大学法人 信州大学
- （エ）委託内容 伝統的建造物の実測など詳細調査、所有者及び地域住民への聞き取り、工作物・環境物件の調査

(3) 信州須坂町並み魅力再発見フォーラムの開催

- ア 期日 7月14日
- イ 場所 須坂市街地及び中央公民館3階ホール
- ウ 内容 町並み探索、シンポジウム（基調講演、パネルディスカッション）

エ 参加者 町並み探索 30 人
シンポジウム 71 人

(4) 伝統的建造物群保存地区制度町別説明会の開催

ア 期間等 8月20日～9月3日（7会場）

イ 対象地区 11 町

（春木町、太子町、上中町、横町、中町、新町、常盤町、本上町、上町、東横町、立町）

ウ 延参加人数 62 人

6 修繕工事等

(1) 修繕関係

ア 「時の鐘の鐘楼」看板修繕 27,000 円

イ 埋蔵文化財整理室正面出入口鍵修繕 14,580 円

■ 文化財保存活用事業

単位：円

当初 予算額	9,513,000	予算 現額	9,893,000	決算額	9,412,141	前年度 決算対比	81.0%	前年度 決算額	11,625,356
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

文化財を本来の姿に近い状態で後世に伝えとともに、その文化財が市民にとって身近なものとなるよう、文化財の調査研究及び指定文化財の公開を行い、その情報を学習教材としてわかりやすく市民に提供し、文化財を愛護し生かす。

II 事業の成果等

市内の文化財についてウェブサイト「信州須坂のおたから」等により情報発信を行ってきた。また、文化財保存活用倉庫の一般公開等により文化財の保存と活用をすすめることができた。

III 事業の実績

1 第4回叡譜の杜桜まつりの共催及び「須坂藩時の鐘をついてみよう」の開催

(1) 主催 叡譜の杜桜まつり実行委員会

(2) 期日 5月12日 午前10時30分～午後8時

(3) 場所 奥田神社

(4) 共催イベント 「須坂藩時の鐘をついてみよう」

ア 内容 市指定有形文化財『時の鐘の「鐘楼」』を一般に開放し、市民が正午、午後2時、午後4時、午後6時に時刻の数だけ鐘をうつ体験を開催した。

イ 参加人数 延べ60人

2 県天然記念物「ベニヒカゲ」「ミヤマモンキチョウ」（高山蝶）の保護

(1) 保護対象種及び地域 「ベニヒカゲ」（破風高原・峰の原高原）、「ミヤマモンキチョウ」（峰の原高原）

(2) 保護対策会議の開催

ア 第1回保護対策会議 5月31日（パトロール員4人）

イ 第2回保護対策会議 10月18日（パトロール員7人）

(3) パトロール（パトロール員15人委嘱）の実施

ア 峰の原高原 6月18日～9月6日（計16回）

イ 破風高原 7月15日～8月14日（計6回）

ウ 合同パトロール

(ア) 峰の原高原 7月2日

(イ) 破風高原 8月9日(台風接近のため中止)

(4) 自然観察会「破風高原の大自然と高山蝶ベニヒカゲに会おう」の開催

ア 主催 須坂市・須坂市豊丘財産区(共催:須坂市観光協会)

イ 期日 8月12日

ウ 講師 永田栄一氏(永田バイオ研究所所長)、高山蝶パトロール員

エ 場所 上信越高原国立公園 五味池破風高原自然園

オ 参加人数 18人

3 旧越家住宅等の管理及び活用

(1) 旧越家住宅管理業務の一部委託

ア 委託期間 4月1日～3月31日

イ 委託金額 846,400円

ウ 受託者 旧越家ふれあいクラブ

エ 委託内容 旧越家住宅の使用、清掃、見学者の対応、施錠及び開錠等

オ 入館者数 3,079人

(2) 「ふれあい講座」の開催

ア 主催 須坂市・旧越家ふれあいクラブ

イ 期日 7月12日

ウ 講師 春木町史談会 話し手:金田 勝良氏
聞き手:小林 謙三氏

エ 内容 「須坂のご祭礼 今・昔」

オ 参加者 40人

4 旧園里学校の活用等

(1) 旧園里学校の一部貸借

ア 使用者 豊丘地域活性化連絡協議会

イ 使用目的 豊丘地域の郷土資料展示

ウ 使用期間 4月1日～3月31日

エ 使用面積 56.2㎡

オ 使用料 全額減免

(2) 旧園里学校の臨時開館及び管理業務の一部委託

ア 委託期間 4月21日～5月6日の土・日・祝日(9日間)

イ 委託金額 25,200円

ウ 受託者 豊丘地域活性化連絡協議会

エ 委託内容 旧園里学校の使用、見学者の対応、施錠及び開錠等

5 文化財管理等業務委託

(1) 県史跡樹木伐採等業務委託

ア 委託金額 59,400円

イ 受託者 長野森林組合

ウ 場所 長野県天然記念物「井上の枕状溶岩」

エ 委託内容 樹木伐採及び除草

(2) 文化財施設等管理業務委託

- ア 委託金額 464,924 円
イ 受託者 (公社) 須高広域シルバー人材センター
ウ 場所 旧越家住宅、ポケットパーク、八丁鎧塚史跡公園、天神1号墳史跡公園、文化財保存活用倉庫
エ 委託内容 植栽剪定、消毒、除草

(3) 天然記念物樹木病虫害防除委託

- ア 委託金額 32,400 円
イ 受託者 (株)第一緑地
ウ 場所 市指定天然記念物「延命地藏堂の桜」
エ 委託内容 樹木消毒

(4) 旧越家住宅高木転倒防止対策保護養生業務委託

- ア 委託金額 183,600 円
イ 受託者 (株)第一緑地
ウ 場所 旧越家住宅
エ 委託内容 高木転倒対策

(5) 延命地藏堂の桜折損枝一部伐採養生業務委託

- ア 委託金額 21,600 円
イ 受託者 (株)第一緑地
ウ 場所 市指定天然記念物「延命地藏堂の桜」
エ 委託内容 樹木伐採

(6) 第二期旧小田切家住宅襖レプリカ製作修繕業務委託

- ア 委託金額 216,000 円
イ 受託者 協同組合建匠須高
ウ 場所 旧小田切家住宅
エ 委託内容 襖レプリカ製作修繕

(7) 須坂市文化財保存活用倉庫敷地防草シート設置業務委託

- ア 委託金額 250,000 円
イ 受託者 (同) ケイ・アイ・ナーセリー
ウ 場所 須坂市文化財保存活用倉庫
エ 委託内容 防草シート設置

(8) 長野県宝旧小田切家住宅置き看板作成業務委託

- ア 委託金額 99,954 円
イ 受託者 (有) 吉池看板企画
ウ 場所 須坂市旧小田切家住宅
エ 委託内容 置き看板作成

6 国指定文化財の現状変更等の届出・進達等

(1) 国指定特別天然記念物「カモシカ」の保護

- ア 滅失処理 4件
イ 生息区域帰還処理 0件

(2) 国特別天然記念物「カモシカ」 現状変更許可申請届 進達 1件

(3) 国指定名勝「米子瀑布群」 現状変更許可申請 4件

うち文化庁進達 1件

市許可 3件

7 ウェブサイトによる情報発信

記録写真等をデジタルアーカイブとして保存するとともに、市ホームページ「信州須坂のおたから」において市内の各種文化財等を紹介して活用を図った。

- (1) 「信州須坂のおたから」及び「須坂市文化財等台帳管理システム」の加除・修正

8 福井敬一作品展示

シルキーホール2階展示ギャラリーにおいて展示を行った。

期 日	タイトル	展示作品数
平成30年2月1日～5月31日	福井敬一の軌跡	6
6月2日～9月30日	福井敬一の軌跡2	6
11月23日～平成31年4月14日	福井敬一絵画展「旅先の風景」	9

9 笹本恒子写真展の開催

- (1) 笹本恒子氏東京都名誉都民決定記念 笹本恒子写真展

ア 期日 11月9日～2月3日
イ 会場 旧小田切家住宅 3号土蔵
ウ 展示内容 45点（一部入替）

10 小林創映画コレクションの展示

須坂市旧上高井郡役所1階廊下において小林創氏寄贈の映画ポスター等の展示を行った。

期 日	タイトル	展示数
4月20日～8月19日	追悼 高畑 勲 アニメ映画特集	38
8月23日～12月16日	80年代アイドル♪映画特集	34
12月20日～平成31年4月14日	人生、惟、笑い 喜劇映画特集	40

11 文化財の用地借上げ

使用目的	面積 (㎡)	金額 (円)	地権者数 (人)
「井上枕状溶岩」見学用地	110.00	15,000	1
時の鐘「鐘楼」用地	66.25	62,790	1
計	176.25	77,790	2

12 文化財保存活用倉庫の管理及び活用

- (1) 業務委託

業務名	委託先	業務内容	金額 (円)
警備保障業務委託	新日本警備保障㈱	監視機械及び巡回による警備	162,000

- (2) 公開事業「文化財保存活用倉庫公開」

期 日	参加者数	内 容
6月10日	6人	大型製糸機械、映写機、民具・米子鉦山関係資料等の展示 映画ポスターコレクション等の展示 「伊丹十三 山田洋次監督作品特集」(小林創コレクションより) 「明治150年特集」(須坂映劇より)
11月10日	30人	大型製糸機械、映写機、民具・米子鉦山関係資料等の展示 映画ポスターコレクション等の展示 「懐かしの映画コレクション+ジブリ特集」(小林創コレクションより) 「日本4大監督作品特集(今村昌平・黒沢明・木下恵介・市川崑監督)」 (須坂映劇より) 街頭紙芝居「信州須坂紙芝居のさとプロジェクト」による口演

13 蔵の町並みキャンパス事業への協力事業

清泉女学院大学（川北研究室）の学生が研究・交流する場とした。

(1) 文化財保存活用倉庫ポスター整理

文化財倉庫に収蔵している映画ポスターを活用するため整理を行った。

ア 期日 10月5日

イ 参加者 生徒10名 教員1名 計11人

(2) 文化財担当者との懇談会

須坂市の文化財保護に係る取り組みについて見つめる場とした。

ア 期日 11月9日

イ 参加者 生徒13名 教員1人 計14人

14 蔵の町並みと歴史・文化を核とした地域活性化に係る意見交換会の開催

蔵の町並み整備を進めてきた中で、市ではクラシック美術館始め7施設を取得し、美術館、観光交流施設等として供用している。重要伝統的建造物群保存地区の選定を目指す中で、これら施設について須坂の歴史・文化を背景に、周辺住民との一層の活用と、蔵の町並みの魅力向上を図るため意見交換会を開催した。

(1) 参集範囲

市（商業観光課、農林課、まちづくり課、中央公民館、生涯学習スポーツ課）、（一財）須坂市文化振興事業団、須坂市観光協会、まちづくり活動団体（3団体）、中央地区地域づくり推進協議会、関係商店会（6団体）

(2) 意見交換会の開催状況

期 日	内 容
11月8日	博物館について 重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた取り組みについて 平成30年度の残りのイベントについて 緑の一鉢運動について まちの駅について
3月19日	博物館について 重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた取り組みについて 平成31年度のイベントについて 信州須坂 蔵のまち春まつり 2019 について

15 修繕工事等

(1) 修繕関係

ア	文化財保存活用倉庫消防設備修繕（2件）	33,480円
イ	旧越家住宅照明スイッチ修繕	3,240円
ウ	旧越家住宅母屋屋根瓦並びに壁左官/土蔵左官修繕	524,961円
エ	旧越家住宅西駐車場車止め設置修繕	300,000円
オ	旧園里学校2階建具（太鼓楼窓）修繕	45,835円
カ	旧園里学校階段手摺及び2階展示室床修繕	496,800円
キ	井上歴史の道トイレ（浄運寺内）窓ガラス修繕	4,320円

■ 米子瀑布群保存活用計画策定事業

単位：円

当初 予算額	2,912,000	予算 現額	2,048,000	決算額	1,935,900	前年度 決算対比	95.8%	前年度 決算額	2,020,518
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

平成28年10月3日に官報告示をもって指定された国の名勝「米子瀑布群」について、保存活用計画を策定し、適切な保存と活用を図る。

II 事業の成果等

専門家及び地権者からなる名勝米子瀑布群保存活用計画策定委員会を設置し、関係行政機関等のオブザーバーを加えた計画策定委員会を開催し、計画策定にむけて準備を進めることができた。また、庁内関係各課による庁内会議を開催し、連絡調整が図れた。

III 事業の実績

1 保存活用計画策定に係る専門委員会の開催（委員6人）

(1) 第3回名勝米子瀑布群保存活用計画策定委員会の開催 出席人数9人（委員5人 オブザーバー4人）

ア 期日 8月2日

イ 場所 防災活動センター2階 活動室1

(2) 第4回名勝米子瀑布群保存活用計画策定委員会の開催 出席人数7人（委員4人 オブザーバー3人）

ア 期日 11月21日

イ 場所 本庁舎3階 305会議室

(3) 第5回名勝米子瀑布群保存活用計画策定委員会の開催 出席人数7人（委員4人 オブザーバー3人）

ア 期日 2月13日

イ 場所 防災活動センター2階 活動室1

2 庁内関係課会議の開催

(1) 名勝「米子瀑布群」保存活用計画策定に係る第2回庁内関係課会議の開催

ア 期日 10月18日

イ 場所 本庁舎3階 305会議室

3 計画策定に係る業務委託

(1) 米子瀑布群保存活用計画策定業務委託

ア 委託期間 5月30日～3月22日

イ 委託金額 1,836,000円

ウ 受託者 (株)KRC

エ 委託内容 会議運営支援、計画作成等計画策定の支援

10-6-6(目)児童青少年総合対策費

単位：円

当初 予算額	19,610,000	予算 現額	18,021,000	決算額	16,983,016	前年度 決算対比	98.8%	前年度 決算額	17,194,062
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 健全育成推進事業

単位：円

当初 予算額	15,125,000	予算 現額	14,451,000	決算額	13,815,887	前年度 決算対比	96.9%	前年度 決算額	14,259,878
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

未来を担う児童・青少年が自主性や社会性、協調性を身につけ、個性豊かにたくましく成長するため、子ども会・育成会を中心とする地域活動を支援するとともに、子育てセミナーや「家庭の日」普及実践活動を行い、家庭教育力の向上を図る。

II 事業の成果等

少年・ジュニアリーダー養成研修会を行い、次年度の地域子ども会のリーダー（子ども会の役員など）になる子どもたちを養成することができた。

また、「子どもの手による子ども会活動」を実践する場として、子ども会長と少年・ジュニアリーダー養成研修会参加者が中心になって企画運営した第15回すざか子どもフェスティバルでは、大勢の子どもと大人が来場し、地域一体となって盛大に開催することができ、企画運営した子どもたちも達成感を味わい自己肯定感の醸成を図ることができた。

少年球技大会の内容再編で平成28年度から開催している「すざか子どもスポーツフェスティバル」において、「ドッジビー交流会」を今年度も開催し、小学校低学年から高学年まで、勝敗をつけないゲーム形式で一緒に参加し、親睦・交流ができた。

各町育成会・保育園・幼稚園・認定こども園、各種団体で「子育てセミナー」を多数開催し、地域の皆さんや乳幼児の保護者が現在の子育てを振り返るきっかけとなった。

Ⅲ 事業の実績

1 子ども会育成連絡協議会

各町育成会長で組織し、各町育成会相互の連絡提携を図り、子ども会の活動を助成し育成する。

- (1) 総会 4月12日 シルキー第1ホール
- (2) 役員会 5月10日、3月14日 シルキー第2ホール

2 研修会等への参加

- (1) 長野地方子ども会育成指導者研修会（長野県子ども会指導者講習会）
4月21日 日野地域公民館 育成会長等22人、須坂リーダーズクラブ4人（運営補助）、事務局
- (2) 長野県子ども会育成研究協議会
5月26日 長野市バスターミナル会館 子ども会連絡協議会会長・事務局
- (3) 長野地方子ども会ジュニアリーダー養成研修会
8月8日・9日 千曲市大池自然の家
須坂リーダーズクラブ5人、須坂リーダーズクラブ4人（運営補助）
- (4) 長野県青少年健全育成県民大会
11月10日 諏訪市文化センター 育成委員等17人

3 子育てセミナー

子育てに関する問題や課題の解決に向けて、親が自ら研鑽できる場となるよう、昨年度から引き続き、全体テーマを「今、親力をみがく」とした。

- (1) 育成会関係 45町ほか3団体 33回 1,037人
- (2) 幼稚園・保育園・認定こども園関係 15園 18回 540人
- (3) 入学に備える子育て講座
ア 期日・場所 6月3日 中央公民館3階ホール
イ 参加者 小学校来入児保護者 33人
ウ 演題・講師 「今 子どもたちに必要な力ってなあに」 日滝小学校教頭 佐藤利恵氏

4 青少年健全育成合同研修会

- (1) 期日・場所 10月2日 メセナホール（小ホール）
- (2) 参加者 育成会長、児童青少年育成委員、小・中学校関係者及びPTA等 60人
- (3) 演題・講師 「性教育いつどのように？」 「川中島の保健室」代表 白澤章子氏

5 子ども会長会

「子どもの手による子ども会活動」の推進及び第15回すざか子どもフェスティバルの運営準備のため開催した。

- (1) 期 日 5月13日、6月17日、7月8日、8月19日、9月9日、9月22日、9月23日
(9月23日は、第15回すざか子どもフェスティバルの運営)
- (2) 参加者 各町子ども会長(70人)

6 子ども会少年・ジュニアリーダー養成研修会

「子どもの手による子ども会活動」推進のため、子ども会運営の中心となる少年リーダー(小学4・5年生)と子ども会活動をサポートするジュニアリーダー(小学6年生)を養成する研修を行った。

- (1) 期 日 5月13日、6月17日、7月8日、8月19日、9月9日、9月22日、9月23日、10月14日、11月4日、11月25日(9月23日は、第15回すざか子どもフェスティバルの運営)
- (2) 参加者 少年リーダー11人、ジュニアリーダー11人

7 須坂リーダーズクラブ

市子ども会育成連絡協議会に所属する組織で、子ども会リーダーとしての資質向上を目指すとともに、須坂市の子ども会活動の活性化に寄与すること及び将来にわたって地域で活躍するリーダーを育成する目的で、年間をとおして活動している。

- (1) 会員 中学生以上20人

(2) 活動内容

- ア 三浦市親善交流事業への協力(訪問・受入)
- イ 須坂市子ども会会長会・リーダー養成研修会への協力(企画・運営)
- ウ すざか子どもフェスティバルの運営協力
- エ 単位子ども会行事への協力(派遣活動) 北横町・立町・亀倉町へ派遣
- オ 各種研修会(長野地方子ども会育成連絡協議会等主催)への参加
- カ 会報の発行 「Smile(スマイル)」第16号発行
- キ 会議 総会(4月28日)、役員会(4回)、定例会(31回)

8 第15回すざか子どもフェスティバル

子どもたちが運動や遊びを通じて自主性と連帯意識を高めるために開催した。子ども会長及び子ども会少年・ジュニアリーダー養成研修会参加者が中心となって運営し、地域の皆さんや大学生の協力を得ることにより、世代間交流ができた。

- (1) 期日・場所 9月23日 北部体育館・北部運動広場

- (2) 参加者 子ども・保護者等あわせて約400人

(3) 内容

- ア すざかフレンドパーク
やかんカーリング、ストラックアウト等(全6種類の手づくりゲーム)
- イ 昔あそび体験 押し花、お手玉、折り紙、だいこん鉄砲等
- ウ ロボットショー(信州大学工学部ロボット研究会の協力)
- エ 工作コーナー、自由遊び

9 「家庭の日」普及実践活動

- (1) 作文・ポスターの募集 8月18日～31日
- (2) 応募総点数 作文459点、ポスター432点
- (3) 応募点数(学校審査を経て、市へ応募があった点数) 作文91点、ポスター123点
- (4) 作文・ポスター審査会 9月10日 審査結果:作文29点・ポスター34点入選
- (5) 一席入選者表彰式 10月21日 16人出席
- (6) ポスターの展示会 11月3日～11日 旧上高井郡役所

10 子どもスポーツフェスティバル

スポーツの楽しさをあじわい、互いに交流を深めるとともに、心美しい人間性とたくましい身体をつくることを目的として、ニュースポーツのドッジビーによる交流会を開催した。

- (1) 審判団事前打ち合わせ会 8月9日
- (2) 参加チーム代表者会議 7月5日
- (3) 子どもスポーツフェスティバル（ドッジビー交流会）
9月2日 市民体育館・須坂小学校体育館・北部体育館 40町48チーム 735人

11 各ブロック児童青少年健全育成協議会

各小学校単位で、児童青少年育成委員が中心となり、地域の育成会やPTA、民生児童委員、区役員、学校関係者など青少年を取り巻く大人たちを横断的にした組織を立ち上げ活動を行っている。地域の子どもたちは地域で守り育てる活動に対し活動費の一部を補助した。 11ブロック 57,000円

12 啓発事業

- (1) 12月～2月 「家庭の日」作文・ポスター入賞者の発表及び代表作品の紹介（須坂新聞・Goolight）
- (2) 「家庭の日」ポスター入選作品及び作文入賞者名を掲載したカレンダーを作成し、関係者及び施設等へ配布した。
- (3) 子どもフェスティバル開催のポスターを子どもたちが作成し各所へ提示した。

13 大切なじかん創造事業

子どもたちや保護者が電子メディアとの接触時間を減らすことにより、家族との会話や家事の手伝い、また、友達との外遊びなどの時間に変えていくことを目的とし、子育てセミナー等を開催した。

- (1) 育成会関係の子育てセミナー
 - ア 「ネット依存」北信圏域こころの相談センター 小巻佳人氏 3会場 64人
 - イ 「子どものストレスと親子関係」北信圏域こころの相談センター 小巻佳人氏 1会場 15人
 - ウ 「上手なインターネットとのつきあい方」NPO法人信州 SOHO 支援協議会職員 2会場 54人
- (2) 保育園・幼稚園・認定こども園関係の子育てセミナー
 - ア 「子どもと楽しむ絵本の世界」読み聞かせグループ「たんぽぽ」代表 清水美奈子氏 4会場 151人

■ 親善交流事業

単位：円

当初 予算額	1,389,000	予算 現額	990,000	決算額	960,316	前年度 決算対比	101.5%	前年度 決算額	946,574
-----------	-----------	----------	---------	-----	---------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

姉妹都市三浦市の児童・生徒との交流を通して、須坂の良さを再認識するとともに、姉妹都市の文化や生活への理解を深め、交流の中から新しい友人をつくり、豊かな心を育む。

II 事業の成果等

三浦市との交流に参加した児童・生徒は、民泊した家庭・生徒、同じ班で活動した三浦市、須坂市の児童・生徒との友情を育み、互いの市の良いところを教えあうなど、交流をとおして地域に目を向けることができた。

積極的な参加者の減少や民泊協力家庭の確保が困難といった課題を解消するため、三浦市の児童生徒の民泊受入れができることを条件に参加希望者を募った。積極的に学習・交流しようという意欲のある児童が参加し、民泊についても、初めて知らない家庭に泊まらせていただく機会として、児童・生徒や受け入れた家庭にとって貴重な経験となり、両市の参加者がより深く交流することができた。

また、須坂リーダーズクラブも三浦市の青年リーダーの積極的な行動に刺激を受け、受入の際は小・中学生をまとめリーダーシップを発揮できた。

Ⅲ 事業の実績

1 三浦市親善交流

- (1) 三浦市へ訪問 7月26日～28日（2泊3日）
小学5年生から中学3年生の希望者及び引率者 14人
（小学生8人（男5・女3）、中学生1人（女）、引率教頭1人、須坂リーダーズクラブ1人、看護師1人、事務局2人）
- (2) 三浦市から来須 8月3日～5日（2泊3日）
小学5年生から中学3年生の各地区子ども会等の希望者及び引率者 17人
（小学生6人（男4・女2）、中学生4人（男2・女2）、三浦ジュニアリーダーズクラブ2人、引率者5人）

2 会議の開催

- (1) 引率者打ち合わせ会 6月14日 引率教諭、須坂リーダーズクラブ、看護師、教育長、事務局
- (2) 参加児童事前研修会 7月7日 参加児童、引率教頭、須坂リーダーズクラブ、看護師、事務局
7月22日 参加児童、引率教頭、須坂リーダーズクラブ、看護師、事務局
- (3) 民泊受入家庭説明会 7月22日 参加児童の保護者、事務局

■ 児童青少年育成センター事業

単位：円

当初予算額	2,006,000	予算現額	1,577,000	決算額	1,268,212	前年度決算対比	96.5%	前年度決算額	1,314,776
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	-------	--------	-----------

I 事業の目的

児童・青少年の非行防止、健全育成への市民の理解を深め、児童青少年育成委員会を中心とする街頭巡視補導活動を通して児童・青少年が非行に走らないよう予防活動に努める。

また、環境浄化活動の一環として、有害図書等自動販売機、酒類・たばこの販売方法等児童・青少年に有害な環境のチェックを行い、商店等に対し改善をお願いする中で、地元の住民の不買・撤去活動の支援を行う。

II 事業の成果等

「長野県子どもを性被害から守るための条例」が平成28年度に制定されたことにより、県民運動の活性化がさらに重要な位置づけとされる中で、各区及び市内小中高の学校長から推薦された83人に委嘱している須坂市児童青少年育成委員（任期2年間）による、下校時間や休日、夜間等の街頭巡視補導活動では、子どもたちへ「愛の声かけ」を積極的に行い子どもたちを見守るとともに、非行の未然防止に努めることができた。

また、県単位での研修会への参加や自主開催の研修会を開催し、子どもたちを取り巻く現状や接し方などを学び活動に繋げることができた。

平成18年度から実施している「善行賞」表彰では、3件の表彰を行い、地域の子どもたちが取り組んでいる善い行い（活動）に対して大人がしっかりと褒めることで、子どもたちの自己肯定感の高揚と活動意欲向上にも繋がった。

Ⅲ 事業の実績

1 児童青少年育成センター・同育成委員会運営に関する会議の開催

- (1) 総会 4月19日
- (2) 役員会 5月10日、6月28日、8月21日、1月21日
- (3) 児童青少年育成委員会・子ども会育成連絡協議会役員合同会議 5月10日

2 研修会等への参加

- (1) 第43回長野県青少年補導活動推進大会
7月12日 諏訪市文化センター 育成委員13人、育成センター所長、事務局

- (2) 長野県青少年補導センター・同補導委員会両連絡協議会合同理事会
5月16日、6月19日 諏訪市 育成委員会会長、育成センター所長、事務局
2月13日 小諸市 育成委員会会長、事務局
- (3) 長野県青少年補導センター所長及び同補導委員会会長等視察研修
10月11日～12日 愛知県愛知法務少年支援センターほか 育成委員会会長、育成センター所長
- (4) 北信ブロック青少年補導委員会正副会長・事務局担当者合同会議
10月15日 千曲市 育成委員会正副会長、事務局
- (5) 長野県青少年補導委員会会長・事務局担当者会議
8月20日 小諸市 育成委員会会長、事務局

3 児童青少年育成委員会「善行賞」表彰

- (1) 9月表彰 奉仕賞2件
ア 相之島町児童会・支部生徒会（長年にわたり県道沿いの相之島町の花壇づくり活動に参加）
イ 中島町子ども会（多年にわたり「中島町クリーン作戦」で町内のごみ拾い活動に参加）
- (2) 2月表彰 奉仕賞1件
ア 村山町子ども会（多年にわたり公会堂花壇の維持管理、町内の美化活動に参加）

4 街頭巡視補導活動

児童・青少年の非行防止（非行の早期発見・未然防止）のため、児童青少年育成委員による街頭巡視補導活動を行った。

- (1) 年間巡視活動回数（ブロック単位で活動） 99回 延べ521人
- (2) 夜間合同巡視補導活動 7月21日・22日 延べ59人

5 有害環境チェック活動

青少年の健全育成にとって有害と思われる出版物、酒又はタバコ自販機等の有無と配慮状況についてチェック活動を行った。

8月、11月、2月 実施件数70件、延べ176人

6 有害環境浄化活動支援

高甫地区に設置されている有害図書等自動販売機の撤去運動は、地元地区が独自に行っている。

児童青少年育成センターとしても、有害環境浄化活動の一環として地元地区と相互に連携・協力を図るとともに、児童青少年育成委員会と子ども会育成連絡協議会との連名で有害図書等自動販売機の設置業者に撤去要請文を送付した。また、「高甫地域健全育成に係わる有害環境を排除する会」の活動費について一部を補助し運営面での支援をした。 青少年環境浄化事業補助金 12,000円

7 啓発事業

- (1) 育成センターだよりの発行 11回（5月～3月） 育成委員及び各町区長等へ配布
- (2) 青少年の非行・被害防止全国強調月間に伴う早朝街頭啓発活動（啓発物品配布）
7月2日 須坂駅前 育成委員会正副会長、事務局
- (3) 子ども・若者育成支援強調月間に伴う早朝街頭啓発活動（啓発物品配布）
11月1日 須坂駅前 育成委員9人、事務局
- (4) 「有害自動販売機NO」チラシ隣組回覧 11月（高甫地区は7月に全戸配布）
- (5) 全県で推進する「信州あいさつ運動」を早朝街頭啓発活動や子ども会長会等の事業の開催時にあわせて、7月と11月に行った。

■ 農業小学校運営事業

単位：円

当初 予算額	1,090,000	予算 現額	1,003,000	決算額	938,601	前年度 決算対比	139.5%	前年度 決算額	672,834
-----------	-----------	----------	-----------	-----	---------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

農業小学校は、子どもたちの健やかな成長に欠かせない、自然・体験活動不足の現状を考慮し、子どもたちがたくましい精神力・創造力等を身につけ、また、異年齢の子どもたちや保護者、地域の大人(主に高齢者)とふれあうことにより、相互の仲間づくりや世代間交流、地域連帯感を養い豊かな人格形成を図ることとともに、地域の文化に触れることにより、ふるさと須坂の良さを再発見する機会とする。

II 事業の成果等

農業体験を通じ、食べ物の大切さや伝統食などを学ぶことができた。子どもたちと地域の大人(主に高齢者)、保護者等とのふれあいを促進させるとともに、高校生も指導に加わるなど、異年齢の子ども同士の仲間づくりと心の絆を深めさせ、ふるさと須坂の良さを再発見することができた。また、教える農家先生方も、この農業小学校を通し、子どもとのふれあい、生きがいを感じていただけた。さらに、収穫した作物（ジャガイモ、玉ねぎなど）を保育園給食に提供し、地産地消（賞）の実践ができた。

また、参加児童だけでなく、保護者も一緒に作業に取り組むこととし、家族のコミュニケーションを図る場づくりにもなった。

III 事業の実績

1 農業小学校の概要

- (1) 児童数 32 人（小学校 1 年生～6 年生 市内 29 人、市外 3 人）
- (2) 授業等の内容

回数	月 日	内 容	参加 児童数 (人)
1	4 月 21 日	入校式、ジャガイモ植付け、めん羊見学、にら収穫	28
2	5 月 12 日	トウモロコシ種まき、ネギ・レタス植付け、離山散策	24
3	5 月 19 日	みそ仕込み	23
4	5 月 27 日	田植え（モチヒカリ：もち米）	26
5	6 月 16 日	豆種まき、サツマイモ植付け、玉ネギ・レタス収穫、じゃがいも花摘み	24
6	7 月 14 日	玉ネギ収穫、園里郷土資料館見学・散策	25
7	8 月 5 日	トウモロコシ（約 200 本）・ジャガイモ（約 460 キロ）収穫、ソバ種まき、ジンギスカン焼肉会、花火会、星空観察会	27
8	8 月 25 日	御射山祭伝統行事、ため池・古墳見学・散策	15
9	9 月 8 日	大根・野沢菜種まき、白菜定植（※雨天のため中止）、おやき作り、保育園で野菜贈呈式	21
10	9 月 24 日	稲刈り、はぜかけ、落穂ひろい	30
11	10 月 6 日	サツマイモ（約 185 キロ）収穫、稲脱穀（約 460 キロ）	22
12	10 月 20 日	ソバ刈り取り、干し柿作り	19
13	11 月 3 日	「うまいもん祭り」で収穫物の販売体験	8
14	11 月 4 日	大豆（11 キロ）刈り取り、玉ネギ苗植付け、ソバ（8.8 キロ）脱穀	22
15	11 月 17 日	大根・白菜・ネギ収穫、焼きいも大会、豆（アオバタ・クラカケ）刈り取り、大豆脱穀	24
16	11 月 23 日	「豊丘新そばまつり」で収穫物の販売体験	9
17	12 月 1 日	そば打ち体験、豆脱穀、石臼で製粉体験	18
18	12 月 15 日	もちつき大会、薪割り	23
19	1 月 12 日	まゆ玉作り、どんど焼き、やぐら作り、修了式	22
計			410

2 農家先生との会議の開催

- (1) 職員会議 4月9日
(2) 役員会議 5月2日、7月4日、9月19日、11月22日

3 姉妹校との交流（荒城農業小学校／岐阜県高山市・桜柿羊の里農業小学校／松本市）

6月16日・17日 安曇野市啼鳥山荘・飯田市柿野沢改善センターほか 農家先生16人、事務局

4 農地管理運営委託料

委託先 信州すざか農業小学校豊丘校
委託金額 500,000円

10-6-7(目)臥竜山公会堂費

単位：円

当初 予算額	1,606,000	予算 現額	1,501,000	決算額	1,460,401	前年度 決算対比	101.1%	前年度 決算額	1,444,434
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

■ 臥竜山公会堂管理事業

単位：円

当初 予算額	1,606,000	予算 現額	1,501,000	決算額	1,460,401	前年度 決算対比	101.1%	前年度 決算額	1,444,434
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

利用者が安心安全で快適な環境の中で使用できるよう施設、環境整備に努める。

II 事業の成果等

施設等の点検整備に努め、使用者の利便を図ることができた。

III 事業の実績

1 施設の管理等

(1) 施設等の修繕

施設名	事業内容	事業費(円)
臥竜山公会堂	網戸修繕	22,680
臥竜山公会堂	ドアノブ修繕工事	19,256
計		41,936

(2) 施設管理の委託

業務名	委託先	業務内容	委託料(円)
植木剪定業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	松の剪定	29,160

2 施設の使用状況

区分	松1号	松2号	松3号	あやめ	舞台	2部屋 以上	合計
使用回数	5 (1)	2 (1)	12 (4)	5 (0)	1 (1)	33 (21)	58 (28)
使用人数(人)	202 (62)	170 (56)	633 (317)	68 (0)	8 (8)	3,005 (1,470)	4,086 (1,913)

()内は減免件数

3 使用料合計 284,105円（施設使用料 211,405円 冷暖房使用料 72,700円）

10-6-8(目)生涯学習推進費

単位：円

当初 予算額	8,372,000	予算 現額	8,846,000	決算額	8,782,813	前年度 決算対比	109.0%	前年度 決算額	8,056,383
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

■ 生涯学習推進事業

単位：円

当初 予算額	8,372,000	予算 現額	8,846,000	決算額	8,782,813	前年度 決算対比	109.0%	前年度 決算額	8,056,383
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

市民の生涯学習を啓発、生涯学習情報の収集・提供・相談、講座の開設などにより多面的に支援し、併せて各自の学習活動を高めながら、自己の学習の成果を地域や社会に活かす「生涯学習のまちづくり」が展開できるよう各種の事業を推進する。

II 事業の成果等

市民の生涯学習に対する理解を一層深め、学習の実践を促すための啓発活動や学習情報等の提供は、各種講座などの積極的な開催と、生涯学習推進委員会などの学習ボランティアとの協働、共創により、一定の成果をあげることができた。また、各種講座においては幅広い年代の市民の積極的参加により、生涯学習への関心と学ぶ意欲の高まりがみられた。

「生涯学習のまちづくり」の展開については、9月から11月の生涯学習推進期間に「まなびーず情報」による積極的広報や、長野県の地域発元気づくり支援金活用事業としてのまちづくり実践講座「地域学・地元学」（須坂市民総合大学としても）4回シリーズの実施、「生涯学習市民のつどい」の開催など、地域で活動する方たちに積極的に参加の呼びかけを行い、「学びを広げる」活動を推進した。

III 事業の実績

1 生涯学習の啓発

(1) 生涯学習推進センターだよりの発行 No. 218～No. 229

生涯学習推進センターだよりを広報須坂に掲載し生涯学習の啓発に努めたほか、各種主催事業などの参加者及び受講者募集や、生涯学習推進委員会による生涯学習実践団体の紹介などの情報を提供した。

(2) 「生涯学習推進期間」の設定と啓発

日常生活上でのあらゆる分野で学ぶ行為が、生涯学習である。既存の生涯学習関連のイベントを大きく束ね、そこに参加する市民全てが、生涯学習実践者であると認識してもらうため、9月から11月を「生涯学習推進期間」とし、「地域学・地元学講座（全4回）」の開催や「周知用ポスター」や「まなびーず情報」により啓発活動を行った。

ア ポスター作成部数 200枚 97,200円

(3) 第22回生涯学習市民のつどいの開催

「過去・現在・未来へつなぐ須坂の文化」をテーマに、生涯学習推進委員会主催で企画・立案から運営まで行い、生涯学習、須坂市生涯学習推進委員会の存在、活動を市民にアピールするため、次の内容により中央公民館で開催した。

ア 開催日 11月24日 参加人数 約130人

イ つどいに3本の柱を決めた。

(ア) 食文化グループ「食文化と健康長寿～須坂食を楽しもう～」

(イ) 映像グループ「映像から学ぶ須坂の歴史」

(ウ) 地域学グループ「須坂の魅力、再発見」

ウ オープニングセレモニー

食文化グループによるダンス、野菜ウーマン

エ まちづくり実践講座の発表

「須坂のまちづくりについて」小学生、高校生、地域学グループ

オ 講演 演題 「須坂市の地域特性と可能性～須坂学を核とした町づくりに向けて～」

講師 金沢大学地域連携推進センター准教授 蜂屋大八 氏

カ 実践活動の発表と郷土料理の試食

食文化グループによる「食文化と健康長寿」の発表と村山ごぼうの炊き込みご飯の試食

キ 上映会

(ア) テレビ信州制作『信州 2230TV 北信の製糸王「開かれた土蔵」～越寿三郎の生涯～』

(イ) 「土石流災害の記録 S56.8.23 宇原川」(生涯学習推進員の中山氏所有)

ク 展示

(ア) 食文化グループ(実践活動の写真、レシピほか)

(イ) 映像グループ(昭和 30、40 年代の映写機、撮影カメラ、土石流災害の資料ほか)

(ウ) 地域学グループ(写真で見る須坂の文化、全て見せます 103 点ほか)

(エ) 生涯学習推進センターだよりからサークル訪問を拡大して掲示(平成 29、30 年度取材分)

ケ 販売

(ア) 須坂支援学校・須坂創成高等学校による手作り作品や物産品等の販売

(イ) 市内の菓子店などの和菓子やパン等の販売

コ チラシ作成部数 3,000 枚 75,600 円

2 生涯学習情報の収集・提供

(1) 生涯学習ボランティアの登録

生涯学習の講師等で活躍できる人材を募り、登録するとともに必要に応じて紹介し、出前講座の講師への活用を図った。

ア 年度末登録者累計 17 団体、10 個人、27 企業

(2) 「まなびーず情報」の発行

民間を含めた団体などが市内で開催する生涯学習情報をまとめ、3 回(4、9、12 月)発行、「広報 須坂」へ挟み込み全戸配布した。

特に生涯学習期間に合わせ積極的に広報するため、9～11 月の特別号を発行した。

作成部数 58,800 部 1,128,253 円

3 生涯学習相談

市民の求める講座・講師等について必要に応じて紹介するとともに各種生涯学習の相談に応じている。

相談内容 学習相談 3 件

生涯学習まちづくり出前講座の相談と紹介 随時

4 生涯学習講座

(1) 生涯学習須坂学舎 10 期生の 2 年次継続実施

「ふるさと須坂」を学習材にし、講義と現地学習をまじえて「須坂のよさ」をより深く学び、体系的に深めながら、文化継承について進んで語れるようになったり、「地域学」「地元学」からの拡がりのある「まちづくり活動」や「地域づくり活動」への参加できるようになったりでき、「まちづくり」の一環としての各自のボランティア活動や実践的活動のできるような人材育成を目的に、より一層の活動内容を充実させてアプローチしてきた。

ア 受講生 18 人(男 6 人 女 12 人) 修学年限 2 年の 2 年次 延受講者数 395 人

イ 講座数 31 講座(うち信州岩波講座 3 講座 まちづくり講座 3 講座:自主参加)

月 日	学 習 内 容	講 師	受講人数
4月14日	須坂市の古墳②	村木真由 氏	14
4月15日	天然記念物の桜巡り	石田秀明 氏	11
4月28日	須坂市の地理②	渡辺敏泰 氏	16
5月12日	但唱上人と千体佛	藤澤袈裟一 氏	17
5月19日	特色ある町づくり	田幸賢一 氏・宮本圭子 氏	16
5月26日	寺社建築と彫刻	藤澤袈裟一 氏	14
6月9日	須坂市の自然・植物観察	堀米富平 氏	15
6月23日	碑が語る庶民信仰②	涌井二夫 氏	14
7月14日	四阿山信仰と米子不動信仰②	涌井二夫 氏	11
7月28日	製糸業に学ぶ②	井上光由 氏	17
8月9日	須田氏に学ぶ①	藤澤袈裟一 氏	12
8月25日	絵図から読む須坂藩史①	丸山文雄 氏	15
9月8日	絵図から読む須坂藩史 1	丸山文雄 氏	15
9月8日	信州岩波講座Ⅰ	丹羽宇一郎 氏	6
9月9日	まちづくり講座Ⅰ	蜂屋大八 氏	1
9月15日	信州岩波講座Ⅱ	樋口陽一 氏・中島岳志 氏	2
9月22日	須田氏に学ぶ②	藤澤袈裟一 氏	16
9月23日	信州岩波講座Ⅲ	前川喜平 氏・小島慶子 氏	7
10月13日	須坂市の寺社	涌井二夫 氏	17
10月14日	まちづくり講座Ⅱ	蜂屋大八 氏	1
10月27日	谷街道と甲越時代の争い	馬場廣幸 氏	12
10月28日	まちづくり講座Ⅲ	蜂屋大八 氏	1
11月9日	須坂市の企業（会社訪問、工場見学）	企業2社	15
11月24日	第22回須坂市生涯学習市民のつどい	生涯学習推進委員会	17
12月8日	製糸業に学ぶ②	井上光由 氏	12
12月22日	須坂市の民俗芸能	涌井二夫 氏	15
1月12日	須坂の伝説・民俗	上中町文化財保存会 蔵の町すざか昔を語る会	17
1月26日	明治維新期の須坂	丸山文雄 氏	17
2月9日	伊能忠敬公と須坂	市川美津夫 氏	17
2月23日	実践活動（テーマ）発表会	東海林文子 氏	17
3月9日	閉講式並びに修了証書授与式	市長・推進センター	18

(2) 生涯学習「須坂市民総合大学」の開講

須坂を“まるごと”学びの場として、「まなび一ず情報」「広報須坂」に掲載された講座や講演会、イベントに参加し、「須坂人(すざかびと)手形(てがた)」に、学習の成果を記録することで、その学習履歴や学習目標達成度を振り返りながら、須坂を知り、誇りに思う人＝「須坂人」になることを目指して学習意欲を高めている。

また、参加講座数が必修講座10講座を含む50講座受講者を「須坂人」に認定し、表彰することにより一層学習する意欲が高揚し、学習成果を生かす場を広げることができる。

「須坂人手形」所有者 135人（男74人、女61人） 「須坂人」認定者 9人

ア 自由共通講座 「広報須坂」「まなび一ず情報」等に掲載された講座・講演会・イベント等
イ 必修講座（10講座）

月 日	講 座 名 ・ 内 容 (会 場)	講 師	受講人数
6月16日	第1回 公開必修講座 堀直虎没後150周年・明治150年記念事業 直虎、一茶、覚之丞 (中央公民館3階ホール) ※須坂市立博物館共催	武田 徹 氏	214

月 日	講 座 名 ・ 内 容 (会 場)	講 師	受講人数
8月18日	第2回 公開必修講座 長野県全市町村で聞いた戦争体験、平和の話、夢の話 (中央公民館3階ホール) ※須坂市民学園共催	清水まなぶ 氏	132
9月9日	第3回 公開必修講座 まちづくり実践講座～私たちが探す、地域のすばらしさ、魅力再発見～(全4回) (長野県地域発元気づくり支援金活用事業) ①スザッピー探検隊Ⅰ「まち歩きから私たちの地域を知ろう、みつめよう」 (旧小田切家住宅・須坂市内)	蜂屋大八 氏	55
10月14日	②スザッピー探検隊Ⅱ「私たちに何かできないかな。提案、提言を考える」 小学生・大人…須坂の町を明るくしたいという提案で「ランプシェードづくり」に挑戦 高校生…須坂のまちづくりについて話し合う (中央公民館西館)		46
10月28日	③スザッピー探検隊Ⅲ「私たちの考えを聞いてくれる大人を探そう」&「郷土食のおやきづくり体験」 小学生・大人…市内の商店や個人宅に手づくりのランプシェードをつけてもらえるようお願いに行く 高校生…自分達が考えるまちづくりについて、具体的にまとめる (中央公民館3階ホール・須坂市内)		27
11月24日	④スザッピー探検隊Ⅳ「私たちが伝えたい地域の良さ、私たちの考えたまちづくり」 「第22回須坂市生涯学習市民のつどい」にて ・まちづくりの活動について実践発表 ・講演「須坂の地域特性と可能性～須坂学を核とした町づくりに向けて～」 (中央公民館3階ホール)		36 (つどい参加者130人)
9月15日	第4回 公開必修講座 介護する覚悟、介護される覚悟 (中央公民館3階ホール) ※須坂市民学園共催	八木裕子 氏	102
9月18日	第5回 公開必修講座 スマホで写真を撮ってみよう!in 旧小田切家住宅 (須坂市旧小田切家) ※中央公民館共催	田子 忍 氏	5
11月17日	第6回 公開必修講座 一茶の時代の須坂の文化 (旧上高井郡役所)	田子修一 氏	22
12月15日	第7回 公開必修講座 山頭火の須坂 (中央公民館3階ホール) ※須坂市民学園共催	堀井正子 氏	145
1月19日	第8回 公開必修講座 138億光年宇宙の旅 (中央公民館3階ホール) ※須坂市民学園共催	縣 秀彦 氏	125

月 日	講 座 名 ・ 内 容 (会 場)	講 師	受講人数
2月16日	第9回 公開必修講座 歌人・国文学者 窪田空穂に学ぶ老い (中央公民館3階ホール) ※須坂市民学園共催	臼井和恵 氏	125
2月20日 2月23日	第10回 公開必修講座 男女共同参画社会づくり事業 会議術・心が伝わる話し方講座 (シルキーホール) ※男女共同参画課共催	山田千津子 氏	19 27

5 生涯学習指導者の養成

(1) 生涯学習支援実践講座/生涯学習コーディネーター新支援技法研修の受講者支援

生涯学習指導者の養成を図るため、通信講座「生涯学習支援実践講座／生涯学習コーディネーター新支援技法研修」を導入し、修了者へは「公益信託駒澤嘉須坂生涯学習振興基金」の助成を受け、受講料の一部（1/2以内）を補助した。 講座修了者3人 生涯学習推進員委嘱者2人

ア 平成30年度 講座修了式 平成31年4月8日

イ 開講式 平成31年1月18日

ウ スクーリング（集合学習） 平成30年12月から平成31年2月まで毎月1回程度（計4回開催）

6 生涯学習まちづくりの推進

(1) 生涯学習まちづくり出前講座

市や各種機関が行っている業務の内容と、団体・個人が有する知識・技能を講座として出前することにより、地域の人材の活用と市民の多様な学習ニーズに応えるための取り組みとして実施している。

市民の学習機会の提供を充実するため、市民自らの学習成果を生かし、まちづくりに貢献していただく市民の団体・個人が講師となる講座、さらに市内企業の協力を得て、市民が地元企業への関心を高めていただくための製品、製作工程を知る工場見学の講座を揃えて「生涯学習まちづくり出前講座」を開設した。

ア 講座開設数 140 講座を開設した。

イ 「出前講座パンフレット」の発行

小中学生向けの講座を充実し、市民に対する利便性を図るため、講座メニューを掲載した冊子を発行し全戸配布した。

作成部数 19,600部 402,192円

ウ 実施件数 213件 延受講者数 7,408人

(2) 「生涯学習市内見学まなび一号・まなび一隊」の実施

市民対象に、生涯学習の一環として須坂市の自然、歴史、文化などのすばらしさを再発見していただくため、ボランティア・インストラクター運営委員がインストラクターとなって、内容の検討からガイド企画・運営を行っている。市内の施設や史跡等を市のバスで案内し、後世への文化の伝承と継承を担うため「生涯学習市内見学まなび一号・一隊」を結成し、実践活動の内容充実を図った。

ア 市内見学実施回数等 (敬称略) 延参加者数 117人

月 日	見学コース (内容)	インストラクター	参加人数
4月24日	そば切り体験と瞑想体験	荻原勇二・田中定勝・田所とみ枝	10
5月5日	子ども達に教えられるやさしい須坂の歴史 (市街地)	石田秀明・荻原勇二・佐藤政世	8
6月2日	扇状地の里巡り (小河原方面)	高橋新勝・高橋典子・田中定勝	13
6月30日	町並み観光スポット巡り	石田秀明・高橋典子・小林義則・廣間軌子	17
9月15日	初秋の大笹街道	岡沢和子・田中定勝・田所とみ枝 橋本洋子	22

月 日	見学コース (内容)	インストラクター	参加人数
9月29日	須田氏の里巡り (本郷方面)	高橋新勝・田中定勝	16
10月14日	高甫地区・古墳の里巡り	佐藤政世・田所とみ枝・石田秀明	21
11月2日	企業・工場見学 (豊丘・仁礼地区)	2企業工場長	10

イ 運営委員会・学習会の開催 (敬称：略) 延参加者数 69人

月 日	運営委員会・学習会内容	学習会講師他	参加人数
5月8日	当面の行事や説明のあり方について	センター職員	11
8月3日	課題解決型学習の進め方・子ども理解	センター職員	10
11月20日	まちなみ散策の説明について	インストラクター佐藤政世	8
12月19日	日本の神様 (神道思想) について	インストラクター石田秀明	11
1月15日	高甫の地域学習①	インストラクター田所とみ枝	10
2月12日	来年度の実施予定/公運協の案内他	センター職員	9
2月26日	高甫の地域学習②	インストラクター田中定勝	10

7 その他生涯学習の推進

(1) 生涯学習推進員の委嘱等

4月17日、任期 (2年間) 満了に伴う生涯学習推進員 (2期生2人、4期生1人、6期生3人、8期生3人、10期生2人、12期生2人、14期生4人、16期生4人) 21人の再委嘱を行った。

生涯学習推進員46人 (上記のほか1期生1人、3期生3人、5期生4人、7期生4人、9期生3人、11期生2人、13期3人、15期1人、17期生4人) は、生涯学習期間のまちづくり実践講座 (生涯学習推進員会連携講座) や第22回須坂市生涯学習市民のつどい等の各種イベントの企画・運営を行った。

(2) 生涯学習推進員会議等の開催

ア 定期総会 (4月17日) 推進員46人

イ 臨時総会 (平成31年3月28日) 38人

ウ 総務会 (会長・副会長・書記) 12回

エ 全体会 12回 (お楽しみ会含む)

オ つどいグループ代表者会 5回

カ 幹事会 2回

キ 生涯学習実践団体への取材

中央・地域公民館等、公民分館などで学習するサークル・団体などを「生涯学習推進センターだより」で市民に紹介するため取材訪問した。 随時

(3) 各分会の活動

ア 中央分会

月	学 習 内 容
6	生涯学習推進センターだより取材訪問 (パッチワーク教室 蔵キルト)
10	区秋葉神社祭イベント参加 (豚汁250人分を作る)
11	春木町区文化祭に参加 (会員の作品展示、舞台に歌で出演)
1	書初めを書こう (小学生を対象に書初め学習)
3	さくら草を広めよう (さくら草の苗配布)
通年	須坂中央地域づくり推進委員会事業に参加、地域づくり須坂未来塾の活動に協力参加

イ 南部分会

月	学 習 内 容
4	坂田山共生の森散策学習会
6	第14回竜ヶ池灯籠流し実行委員会、開催要綱、担当役員、灯籠作りについて
7	森上小学校3年生灯籠づくり教室指導
7	小山小学校2年生灯籠づくり教室指導
8	第14回竜ヶ池灯籠流し
8	生涯学習推進センターだより取材訪問 (唱歌と童謡を愛する会須坂支部)
6・12	南部分会の親睦会開催 しなの鉄道のイベント乗車体験と軽井沢散策・小布施で昼食会

ウ 旭ヶ丘分会

月	学 習 内 容
4	地域づくり推進委員会に出席
5	ふれあいプラザ運営会議に出席
6	地域づくり推進委員会に出席
7	打ち合わせ会
8	旭ヶ丘ふれあいプラザで紙芝居、読み聞かせ。太巻きづくり協力
8	市民会議に出席
8	地域づくり推進委員会に出席
7	打ち合わせ会 紙芝居練習
8	旭ヶ丘夏休み子供会 読み聞かせ会、太巻き作り
8	市民会議に出席
8	地域づくり推進委員会に出席
10	地域文化祭、ふれあい市協力
10	生涯学習推進センターだより取材訪問（ファミリーバンド おたまじゃくし）豊洲、日野分会
11	ふれあいコンサート協力
3	地域づくり推進委員会に出席
3	ふれあいプラザ運営会議に出席
通年	毎月第一月曜日 旭ヶ丘小学校へ読み聞かせ参加

エ 井上分会

月	学 習 内 容
7	井上地域づくり推進委員会（五色百人一首、ボーリングゲームほか 井上小児童クラブ）
9	今後の予定打合せ
9	生涯学習推進センターだより取材訪問（井上小坂神社 浦安の舞）
11	井上地域づくり推進委員会（収穫祭 井上小5年生と餅つき大会）
12	フラワーアレンジメント教室開催（講師：小森推進員クリスマスのフラワーアレンジ）
2	手芸教室開催（講師：山岸推進員 干支の亥制作）
2	井上ブロック文化祭 干支人形出品・推進員の作品出品（書道・絵手紙等）

オ 高甫分会

月	学 習 内 容
5	高甫地域公民館運営委員会 平成30年度事業計画ほか
5	生涯学習推進センターだより取材訪問（高甫ハーモニカグループ）
6	高甫小学校クラブ活動支援事業（～11月） 料理実習を担当
12	高甫地域公民館との懇談会 分会活動としての係わり方についてほか
12	生涯学習推進センターだより取材訪問（鮎川吟友会）
3	高甫地域公民館運営委員会 平成30年度事業報告ほか
3	料理講習会 やししょうま作り

カ 仁礼分会

月	学 習 内 容
4	須坂荘ひな壇片付けボランティア
4	第1回仁礼地域づくり推進委員会に出席
4	生涯学習推進センターだより取材訪問（関谷料理クラブ）
5	第1回仁礼分会総会 郷土食実習、懇親会
6	生涯学習推進センターだより取材訪問（関谷料理クラブ）
7	せせらぎサイエンスのボランティア
8	文化学園大学との交流会 郷土料理指導、交流会
8	仁礼ブロック市民会議に出席
9	仁礼ブロック文化祭準備委員会に出席
10	仁礼ブロック文化祭参加（展示、農産物販売、ステージ発表紙芝居）
11	仁礼町・塩野町文化祭参加（紙芝居）
1	仁礼小学校5年生おやきづくり教室の指導

月	学 習 内 容
2	須坂荘ひな壇飾りボランティア（インフルエンザのため中止）
3	第2回仁礼分会総会に併せて郷土食料理実習、懇親会
3	第2回仁礼地域づくり推進委員会総会に出席

キ 豊丘分会

月	学 習 内 容
4	三原道学習会 ～9月 月1回 昨年の継続、明光寺～中村～金田～中田の現地を歩く。
7	生涯学習推進センターだより取材訪問（ファミリーバンド ドンキーズ）
8	仁礼分会との合同、文化学園大学との交流会
1	生涯学習推進センターだより取材訪問（豊丘に移住した家族）

10-6-9(目)すざか女性未来館費

単位：円

当 初 予算額	4,171,000	予算 現額	4,555,000	決算額	4,234,063	前 年 度 決算対比	105.2%	前年度 決算額	4,023,315
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	--------	------------	-----------

■ 女性未来館運営事業

単位：円

当 初 予算額	3,371,000	予算 現額	3,755,000	決算額	3,528,142	前 年 度 決算対比	114.4%	前年度 決算額	3,084,381
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

勤労女性及び勤労者家庭の福祉の増進を図るために必要な事業を実施するとともに、円滑な施設運営を推進する。

II 事業の成果等

施設使用者等と活発な意見交換を行い、講座運営及び施設使用、整備が円滑に実施できた。

III 事業の実績

1 すざか女性未来館運営委員会 委員 8人

(1) 第1回運営委員会

期日 6月4日 6人出席

議題 ア 正副会長の選出について

イ 平成29年度事業報告について

ウ 平成30年度事業計画について

(2) 第2回運営委員会

期日 3月19日 6人出席

議題 ア 平成30年度事業報告について

イ すざか女性未来館の廃止と運営委員会について

2 使用団体代表者会 団体数 17団体

(1) 第1回使用団体代表者会

期日 4月19日 17団体（17人）出席

議題 ア 役員選出について

イ すざか女性未来館の使用方法及び事業内容について

(2) 第2回使用団体代表者会

期日 2月12日 15団体（14人）出席

議題 ア 第36回すざか女性未来館のつどいの会計報告と反省

イ すざか女性未来館の廃止と今後の使用について

3 使用団体研修会

期日 2月12日 14人出席
 内容 「レッツ・マジック」
 講師 すいせんマジックサークル

■ 教室等開催事業

単位：円

当初 予算額	800,000	予算 現額	800,000	決算額	705,921	前年度 決算対比	75.2%	前年度 決算額	938,934
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	-------	------------	---------

I 事業の目的

勤労女性及び勤労者家庭の福祉の増進を図るため、職業生活や家庭生活に必要な知識や諸技能の習得のための事業を推進する。

II 事業の成果等

- 1 家庭生活・職業生活に必要な広い知識と諸技能の習得、仲間作り、憩いの場、交流の場のために、講座を実施した。すべての講座に無料の託児を行った。

昨年に引き続き、就労支援講座として「資格取得講座」を実施した。3回目となる「ファイナンシャルプランニング技能士3級資格取得を目指す」講座は、「全員受験・合格」を目指して14名が受講・13名が受験し7名合格した。また、「履歴書に書けるパソコン講座」「日商パソコン検定3級取得（文書作成・データ活用級）」を実施。「可否に関係なく試験まで受けよう」を目標に今年度は昼のみで開講。文書作成は、4名受講、3名受験、2名合格。データ活用は、4名受講、4名受験、3名合格した。

- 2 使用団体が日頃の学習成果を発表する場として、工夫を凝らした「すざか女性未来館のつどい」が開催できた。多くの市民に学習成果の発表をするとともに活発な交流もできた。

III 事業の実績

1 講座

事業名		講座内容	講師	開催期	回数	参加人数	託児人数
就労支援	資格取得講座	①履歴書に書けるパソコン講座「日商パソコン検定3級」 *文書作成 *データ活用	寺島広美氏	9月	8	延38	0
		②ファイナンシャルプランニング技能士3級資格取得を目指す	(株)ライフインターナショナル 塚口秀彦氏	1～2月	8	延27	12
				6～9月	10	延100	57
生活・文化	お出かけパソコン講座	①ゆっくり初心者編	NPO 法人信州 SOHO 支援協議会	5月	7	延21	0
		②ワード入門		7・8月	5	延44	0
		③エクセル入門		8月	5	延27	0
		④総合実践編(夜)		10月	8	延30	0
		⑤総合実践編(昼)		2月	8	延60	10
	生活いきいき講座	①絵手紙体験 ②美文字レッスン(ボールペン字) ③つるし雛を作ってみよう	絵遊び 萩の会 吉池久美子氏 ひな細工の会	5月17日 10・11月 11月	1 4 3	5 延44 延50	0 13 0

事業名		講座内容	講師	開催期	回数	参加人数	託児人数
生活・文化	うちエコ講座	①取れすぎ野菜を使った料理	浜岡一美 氏	8月20日	1	11	0
		②「なべ帽子」を使ったエコ調理体験	須坂友の会	9月26日	1	11	0
		③なべ帽子を作ろう	須坂友の会	10月	2	延24	0
		④白菜を使った料理	浜岡一美 氏	2月6日	1	14	4
子育て	子育て応援講座	①飾り巻きずし	ふかりまり 氏	6月25日	1	15	8
		②親子クッキング	食生活改善推進協議会	9月1日	1	9	0
		③親子で指編みマフラーに挑戦	魔法の一本針	11月11日	1	13	0
		④お菓子の家を作ってみよう	アトリエトンガリ 久保田知子 氏	2月24日	1	10	2
料理	料理講座	①和菓子作り	越たけ子 氏	4月24日	1	12	0
		②お弁当作り	浜岡一美 氏	5月25日	1	5	3
		③簡単おせち	食生活改善推進協議会	11月21日	1	8	0
		④クリスマス料理	山岸袈佐義 氏	12月14日	1	15	6
	郷土食講座	①おやきづくり	食生活改善推進協議会	7月23日	1	15	3
		②みそ味コロッケを作ろう	みそと伝統食	9月14日	1	7	1
		③やしょうまづくり	食生活改善推進協議会	2月23日	1	18	2
		④みそづくり	みそと伝統食	2月28日	1	19	1
共催	オリパ・ラホストタウン事業 異文化理解講座 (中央公民館と共催)	肉まんづくり	北山宏恵 氏 北山智恵 氏	9月9日	1	12	2

2 第36回すざか女性未来館のつどい

- (1) 期日 12月1日
- (2) 参加者 市民約270人
- (3) テーマ 「楽しもう世代を越えて！ 2018」
- (4) 内容

内 容	参加団体数
ステージ発表（大正琴演奏・ファッションショー・オカリナ演奏・須坂エクササイズ・チアダンス）	5
展示発表	14
体験コーナー（和紙絵・編物・押し花・七宝・手まり）	5
料理試食	1
茶席発表（石州流）	1

- (5) 実行委員会 期日 9月20日、11月13日
- (6) 参加団体 すざか女性未来館使用団体 16団体
賛助団体 4団体 ○須坂市連合婦人会【貸出用花嫁衣裳展示】
○須坂市保健補導員会【ステージ発表】
○オカリナ「カモミール」【ステージ発表】
○信州チアダンス教室COSMOS須坂校【ステージ発表】

3 施設使用状況

学習や交流の場として、施設の貸し出しを行った。

- (1) 使用回数 延 2,692 回（平成 28 年度 延 2,146 回 平成 29 年度 延 2,590 回）
- (2) 使用人数 延 24,637 人（平成 28 年度 延 20,069 人 平成 29 年度 延 21,803 人）
- (3) 施設等の冷暖房使用料 189,600 円

10-6-10(目)文化施設管理費

単位：円

当初 予算額	195,887,000	予算 現額	197,015,056	決算額	196,730,899	前年度 決算対比	94.8%	前年度 決算額	207,497,701
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 文化施設管理事業

単位：円

当初 予算額	195,887,000	予算 現額	195,015,056	決算額	195,846,379	前年度 決算対比	97.6%	前年度 決算額	200,693,701
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

市民による文化活動推進、文化意識の向上のため、芸術文化関連施設の適切な維持管理を行う。

II 事業の成果等

須坂市文化会館、須坂クラシック美術館、旧小田切家住宅、須坂版画美術館、歴史的建物園、世界の民俗人形博物館、笠鉾会館ドリームホールの管理運営は、指定管理者の一般財団法人須坂市文化振興事業団が行い、「須坂市文化芸術振興ビジョン」に基づき、各館連携事業の推進並びに地域文化の振興等に努めることにより、芸術文化施設の充実が図られた。

III 事業の実績

1 須坂市文化会館（メセナホール）の管理運営

(1) 指定管理者の状況

指定管理者 (一財)須坂市文化振興事業団
 指定の期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
 指定管理委託料 95,750,000 円

(2) 管理の状況

入場者数 79,251 人（対前年比 118.9%）
 利用料等収入 9,162,264 円（対前年比 117.0%）

(3) 土地借上料

使用目的	面積 (㎡)	金額 (円)	地権者数 (人)
文化会館案内板設置用地	1.00	1,300	1
文化会館用地	19,227.93	14,010,000	3
計	19,228.93	14,011,300	4

2 美術館等文化施設の管理運営

(1) 指定管理者の状況

指定管理者 (一財)須坂市文化振興事業団
 指定の期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
 指定管理委託料 49,600,000 円

(2) 各施設の管理状況

ア 須坂版画美術館・平塚運一版画美術館

(ア) 入館者数 22,565 人（対前年比 103.6%）

(イ) 観覧料等収入 3,689,303 円 (対前年比 97.6%)

(ウ) 土地借上料

使用目的	面積 (㎡)	金額 (円)	地権者数 (人)
駐車場用地	3,221.00	853,000	1

イ 須坂クラシック美術館

(ア) 入館者数 5,275 人 (対前年比 91.4%)

(イ) 観覧料等収入 921,293 円 (対前年比 81.3%)

(ウ) 収蔵品寄附受納

寄贈日	寄贈品	評価額 (円)
4月20日	現金	1,000,000

ウ 世界の民俗人形博物館の管理運営

(ア) 入館者数 22,868 人 (対前年比 98.0%)

(イ) 利用料等収入 3,662,849 円 (対前年比 110.8%)

(ウ) 土地借上料

使用目的	面積 (㎡)	金額 (円)	地権者数 (人)
管理道路用地	1,210.00	148,000	3

3 笠鉾会館ドリームホールの管理運営

(1) 指定管理者の状況

指定管理者 (一財)須坂市文化振興事業団

指定の期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日

指定管理委託料 16,670,000 円

(2) 管理の状況

入館者数 17,792 人 (対前年比 98.3%)

利用料等収入 224,487 円 (対前年比 112.5%)

4 旧小田切家住宅の管理運営

(1) 指定管理者の状況

指定管理者 (一財)須坂市文化振興事業団

指定の期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日

指定管理委託料 14,830,000 円

(2) 管理の状況

入館者数 12,104 人 (対前年比 107.0%)

利用料等収入 2,550,879 円 (対前年比 96.6%)

5 業務委託関係

業務名	委託先	委託内容	金額 (円)
メセナホール小ホール 非構造部材耐震化調査 業務委託	(株)幸建築設計	非構造部材の 耐震化調査	435,240
メセナホール大ホール 非構造部材耐震化調査 業務委託	(株)幸建築設計	非構造部材の耐震 化調査	449,280
須坂アートパーク枯木 伐採業務委託	協同組建匠須高	枯木の伐採	183,600

6 修繕関係

(1) 旧小田切家住宅壁補修工事	29,160 円
(2) 旧小田切家住宅壁修繕（玄関前庭）	164,052 円
(3) 須坂市文化会館吸収式冷温水機冷却水処理装置緊急修繕（R-1、R-2）	237,600 円
(4) 市営駐車場看板修繕	16,200 円
(5) 須坂版画美術館副変電設備劣化部品交換	93,312 円
(6) アートパーク構内第1柱および主変電設備劣化部品交換	69,120 円
(7) 笠鉾会館ドリームホール非常放送設備交換	761,400 円
(8) 須坂クラシック美術館 土蔵西面・破風等修繕	200,253 円
(9) 須坂クラシック美術館 主屋2階南面壁左官修繕	46,440 円
(10) 須坂市文化会館 吸収式冷温水機（R-2号機）油電磁弁交換	154,440 円
(11) メセナホール大ホール搬入口前地盤沈下補修	460,080 円
(12) 旧小田切家住宅2号土蔵展示ケース配線緊急修繕	10,800 円
(13) メセナホール中庭ステージタイル修繕	247,104 円

7 備品購入費

(1) メセナホール屋外物置（台風21号被害による再設置）	295,056 円
-------------------------------	-----------

■ 文化施設整備事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	1,000,000	決算額	884,520	前年度 決算対比	13.0%	前年度 決算額	6,804,000
-----------	---	----------	-----------	-----	---------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

文化環境の向上、芸術文化施設の充実のため、文化施設の整備を行う。

II 事業の成果等

メセナホールの長寿命化工事実施に向け、工事優先度調査及び基本設計を行い、今後の改修に向けて準備ができた。

III 事業の実績

1 業務委託関係

業 務 名	委託先	委託内容	金額（円）
メセナホール小ホール 長寿命化計画基本設計業務委託	(株)幸建築設計	長寿命化基本設計	435,240
メセナホール大ホール 長寿命化計画基本設計業務委託	(株)幸建築設計	長寿命化基本設計	449,280

10-6-11(目)旧上高井郡役所費

単位：円

当初 予算額	9,043,000	予算 現額	9,435,000	決算額	8,946,234	前年度 決算対比	103.5%	前年度 決算額	8,645,301
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

■ 旧上高井郡役所管理事業

単位：円

当初 予算額	9,043,000	予算 現額	9,435,000	決算額	8,946,234	前年度 決算対比	103.5%	前年度 決算額	8,645,301
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

歴史的建造物である旧上高井郡役所を市民交流施設として活用する。

II 事業の成果等

市民ギャラリーや交流施設として、気軽に市民に利用していただける施設運営に努め、施設の維持管理及び環境設備を図り、歴史的建造物として位置付けることができた。

III 事業の実績

1 主催事業

(1) 高校生への施設開放（夏休み中の勉強のため）

ア 期 日 7月26日～8月26日
イ 場 所 市民交流室1
ウ 利用者 126人

(2) ひな人形展（七段飾り）

ア 期 日 平成31年2月2日～4月3日
イ 場 所 市民交流室1
ウ 展示品 昭和50年代の七段飾りのひな人形を展示
エ 見学者 56人（2月2日～15日分）

(3) 谷本美代子氏作ミニ和紙人形展

ア 期 日 平成31年2月16日～4月3日
イ 場 所 市民交流室1
ウ 展示品 谷本美代子氏作ミニ和紙人形 新作「ラッピングファッションショー」・
ひな人形・童謡シリーズ他
エ 見学者 1,146人

2 共催事業

(1) 歴史文化講座（文書館、市立博物館、市立図書館との連携事業）

開催日	講 座 内 容	講 師 名	参加人数（人）
7月7日	西郷隆盛 因縁はなし (会場：中央公民館3階)	元東京都江戸東京博物館 名誉館長 竹内誠氏	97人

(2) ウォーム*ハーツとの共催事業

開催日	内 容	参加人数（人）
4月14日	市民演奏会 第45回	29
5月26日	市民演奏会 第46回	29
6月23日	市民演奏会 第47回	28
7月29日	市民演奏会 第48回	28
8月26日	市民演奏会 第50回	24
1月27日	市民演奏会 第53回	32
2月17日	市民演奏会 第54回	42
3月23日	市民演奏会 第55回	39

(3) 須坂市文化振興事業団との共催事業

開催日	内 容	参加人数(人)
7月15日	まちじゅうがメセナホール2018	120

(4) コスライとの共催事業

開催日	内 容	参加人数(人)
6月10日	コスプレ撮影会	70
12月2日	コスプレ撮影会	80

(5) ハナウタとの共催事業

開催日	内 容	参加人数(人)
4月18日	Hana uta VOL6 清水まなぶコンサート	55
8月7日	Hana uta VOL8 清水まなぶコンサート	50

3 使用状況

(1) 部屋別使用状況

区 分	市民 交流室1	市民 交流室2	多目的 ホール1	多目的 ホール2	会議室	合 計
使用団体数	8 (4)	112 (88)	599 (459)	123 (112)	312 (171)	1,154 (834)
使用人数	1,409	3,072	11,505	1,441	1,459	18,886

() 内は減免件数

(2) 使用料合計 1,022,800 円 (施設使用料金: 841,800 円 冷暖房費: 181,000 円)

4 委託関係

業 務 名	委 託 先	業 務 内 容	委 託 料(円)
日直業務委託	(公社)須高広域シルバー人材センター	日直、平日夜間、休日	3,807,162
雑草等業務委託	(公社)須高広域シルバー人材センター	草取り、植木剪定、花壇耕運、床ワックス掛け	96,895
計			3,904,057

5 工事、修繕等の状況

事 業 内 容	金 額 (円)
外壁塗装工事	400,000
史料整理室(文書館)北窓修繕工事	2,700
女性トイレ排水詰り修理	3,240
玄関前外灯 LED電球交換	3,700
計	409,640

6 備品購入の状況

物 品 名	数 量	金 額 (円)
ワイヤレスシステム	1	86,400
エアコン	1	207,900
計		294,300

10-6-12(目)文書館費

単位: 円

当 初 予算額	4,412,000	予算 現額	4,461,000	決算額	4,308,093	前 年 度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	----	------------	---

■ 文書館管理運営事業

単位: 円

当 初 予算額	4,412,000	予算 現額	4,461,000	決算額	4,308,093	前 年 度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	----	------------	---

I 事業の目的

須坂市の歴史的資料として重要な非現用公文書や古文書等を収集・保存し、市民の財産として後世に伝えるとともに公開して文化の振興に資する。

II 事業の成果等

須坂市文書館を4月1日に設置し、10月1日から一般の利用に供した。

また、閲覧等の申請に必要な各種文書目録の作成を行うとともに、個人などが所蔵する古文書等の情報収集及び整理・目録化を進めることにより、資史料の散逸防止等を図った。

III 事業の実績

1 文書館運営に係る基本づくり

例規に対する職員意識の平準化に向け、閲覧等許可に係る手順、利用制限の基準、文書目録の作成と考え方、文書等の寄贈及び寄託に関する要綱などの基本ルールを整備した。

2 閲覧に係る目録の作成等

古文書等については、既存の「須坂市域の史料目録」をベースに、各種の閲覧申請用目録を整備作成した。また、行政文書についても新たに閲覧申請用目録を整備作成した。

(1) 古文書等の閲覧申請用目録

文書館資料目録、文書館複製文書目録

(2) 行政文書等の閲覧申請用目録

旧町村別行政文書目録、移管行政文書目録、文書館蔵書台帳目録

(3) 蔵書点数（閲覧申請用目録点数 平成30年度末）

移管文書（非現用公文書）	5,530 点
所蔵文書（古文書）	17,327 点
寄託文書（古文書）	4,916 点
複製文書（古文書）	6,620 点
蔵書図書	4,447 点
合計点数	38,840 点

3 閲覧コーナーと開架図書の選定等

一般利用者の閲覧場所として閲覧コーナーを設置するとともに、自由に閲覧できる開架図書を選定し、開架図書として配置した。

開架図書 約870冊

4 文書館の利用状況（10月から3月）

利 用 者	82 人
うち閲覧申請者	15 人
行政等関係機関利用	7 件
計	89 人（件）

5 古文書等の情報収集と目録化

(1) 古文書等史料の目録化

市誌編さん事業から継続して、個人などが所蔵する古文書等の情報収集及び整理、目録「須坂市域の史料目録」等の作成を進め、資史料の散逸防止等を図った。

ア 吉池一彦家文書、岡澤健治家文書・・・目録化（平成29年度からの継続）

- イ 関谷和子家文書、神尾經子家文書・・・目録化
- ウ 坂本康之家文書、山岸孝爾家文書・・・目録化継続中

(2) 移管行政文書収集と目録化

平成 30 年度移管行政文書・・・目録化

6 寄附採納等

名称等	点数等
牧幸一郎家文書（追加分）	69 点
岡澤健治家文書	161 点
関谷和子家文書	102 点
神尾經子家文書	204 点
丸山文雄家寄贈図書	228 点
安西もと子家寄贈図書	9 点

7 関係機関との連携と普及・啓発事業

(1) 博物館・図書館・旧上高井郡役所・文書館連携事業

文書館及び生涯学習スポーツ課、市立博物館、市立須坂図書館、旧上高井郡役所と共催で「歴史文化講座」を開催した。

期 日 7月7日

講 師 東京都江戸東京博物館名誉館長 竹内誠 氏

内 容 「西郷隆盛 因縁ばなし」

会 場 中央公民館 3階ホール

参加者 97 人

(2) 文書等の紹介展示

ア 市川幸夫家文書 平成 29 年度から継続展示～1 月 31 日
江戸・明治期の訴訟関連、明治期の切り絵図

イ 吉池一彦家文書 2 月 1 日～
江戸時代の村の暮らし

8 広報関係

文書館の事業紹介と、文書の散逸防止に向けて「広報すざか」やホームページ等で広報を行なった。

(1) 「広報すざか」10月号、3月号及び須坂市ホームページへの掲載

文書館の開館、文書・展示紹介、文書整理・目録作成の案内

(2) 国立公文書館 アーカイブス 71 号（web 版・3 月）への寄稿

須坂市文書館の紹介

(3) 文書整理、文書寄贈、寄託等の周知チラシの配布

博物館等社会教育施設への設置

10-7-1 (目) 保健体育総務費

単位：円

当 初 予算額	64,656,000	予算 現額	64,053,000	決算額	63,262,687	前 年 度 決算対比	99.2%	前年度 決算額	63,784,202
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

■ 健康管理事業

単位：円

当 初 予算額	25,042,000	予算 現額	23,926,000	決算額	23,581,743	前 年 度 決算対比	96.9%	前年度 決算額	24,337,354
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

児童・生徒・学校職員の健康管理の増進を図る。

II 事業の成果等

児童・生徒・学校職員の疾病の早期発見及び健康管理の増進が図られた。

III 事業の実績

1 定期健康診断の実施

学校保健安全法に基づき、内科、眼科、耳鼻科、歯科等の学校医による定期健康診断を行い、異常がある者には治療を促すとともに、経過観察、保健指導を行った。

内科健診時に結核健診を同時に行い、長野地区市町村教育委員会合同結核対策委員会を開催し、結核の早期発見とそれに基づく指導を行うことができた。

結核健診実施状況（小・中学生全員）

受診者数（人）	要精検者数（人）	うち要医療（人）
4,008	0	0

※ 以下の表において「要精検」とは、「要精密検査」のこと。

2 各種検診の実施

(1) 尿検査実施状況（小・中学生全員）

区 分	受診者数 （人）	第1次陽性者			第2次陽性者		
		蛋白（人）	糖（人）	潜血（人）	蛋白（人）	糖（人）	潜血（人）
児 童	2,709	20	3	46	1	1	18
生 徒	1,320	41	5	40	10	1	9
学校職員	305	0	5	10	0	1	4
計	4,334	61	13	96	11	3	31

(2) 貧血検査（小学校5年生、中学生全員）

受検者数（人）	要精検者数（人）	うち要医療（人）
1,794	36	15

(3) 心臓検診（小学校1・4年生、中学1年生）

受診者数（人）	要精検者数（人）	うち要医療（人）
1,291	21	8

(4) 生活習慣病検査（小学5年生、中学2年生）

受検者数（人）	要精検者数（人）	うち要医療（人）
886	52	7

※検査項目：血糖、総コレステロール、中性脂肪等7項目

指導が必要な児童・生徒には、養護教諭が食事・運動・生活等の指導を行っている。

3 自動体外式除細動器（AED）の配備

小・中学校15校に、レンタルによるAED各1台を継続配備した。

機器賃借料 413,424 円

4 インフルエンザ発生に伴う、閉鎖措置の状況（4月1日～3月31日）

	学校閉鎖	学年閉鎖	学級閉鎖
小学校	なし	8 学年	13 学級
中学校	なし	1 学年	7 学級

5 心の健康チェック事業

市内 小・中・支援学校の県費教職員を対象にストレスチェックを実施

実施期間 第1回目 7月16日～7月29日、第2回目 11月19日～12月2日

延べ実施者数

小学校	181 人
中学校	95 人
支援学校	18 人

■ 学校保健事業

単位：円

当初 予算額	8,522,000	予算 現額	8,408,000	決算額	7,978,787	前年度 決算対比	90.6%	前年度 決算額	8,809,991
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

学校において、児童・生徒の保健衛生の保持及び災害共済の給付を行う。

II 事業の成果等

児童・生徒の保健衛生の保持及び災害共済の給付を適切に実施することができた。

III 事業の実績

1 プールの水質管理

学校保健安全法に基づく環境衛生検査として、プール水質検査を実施した。また、プール用消毒薬品を購入し、小・中学校のプールの水質管理に努めた。

プール水質検査（PH値、大腸菌等） 495,720 円

消毒薬品購入（次亜塩素酸ソーダ等） 1,637,634 円

2 災害共済の状況

児童・生徒の学校における事故等の災害に伴う負担の軽減を図るため、日本スポーツ振興センター災害共済に加入し、共済金の給付を行った。

(1) 共済掛金

一般世帯 @945円×3,514人＝ 3,320,730円

準要保護世帯 @945円×515人－（控除額）@230円×101人＝ 463,445円

要保護世帯 @ 65円× 9人－（控除額）@ 10円× 9人＝ 495円

前年度途中加入者 @945円× 13人＝ 12,285円

信州大学附属長野特別支援学校通学生徒世帯 @460円× 1人＝ 460円

信州大学附属長野小学校通学児童世帯 @460円× 18人＝ 8,280円

信州大学附属長野中学校通学生徒世帯 @460円× 31人＝ 14,260円

菅平小中学校通学児童・生徒世帯 @460円× 6人＝ 2,760円

学校法人長野日本大学学園 @455円×26人＝ 11,830円

計 4,133人 3,834,545円

(2) 災害共済金給付件数と給付額 581 件 3,691,472 円

10-7-2(目) 体育施設費

単位：円

当初 予算額	66,589,000	予算 現額	142,980,360	決算額	137,885,383	前年度 決算対比	126.7%	前年度 決算額	108,870,046
-----------	------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 体育施設管理事業

単位：円

当初 予算額	66,589,000	予算 現額	64,082,360	決算額	58,987,383	前年度 決算対比	106.4%	前年度 決算額	55,414,046
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

市民の体育・スポーツのニーズに対応した体育施設の貸出し及び施設の維持修繕・定期的な点検等を行い、施設使用により、社会体育の振興と健康・体力づくりの向上を図り、健康で豊かな生活を送れるように努める。

II 事業の成果等

体育施設の適正な貸出しと、施設の修繕や整備、備品・機器類の定期的な点検等により、安全・快適にスポーツができる環境が整えられた。また、これにより市民の体育振興と健康増進・体力づくりに対するニーズに応えられた。

III 事業の実績

1 体育施設使用状況及び使用料

施設名	①開館(場) 日数	②使用 日数	③使用率 ②/①(%)	使用者 数	使用料 (円)	維持管理費 (円)
市民体育館	280	277	98.9	28,472	2,278,459	10,464,040
北部体育館	358	353	98.6	39,192	3,130,655	8,598,389
勤労青少年体育センター	358	314	87.7	8,942	845,660	2,204,602
卓球場	358	338	94.4	7,339	566,636	317,142
柔道場	358	262	78.8	5,053	61,385	302,220
剣道場	358	267	74.6	6,466	52,390	159,000
弓道場	361	361	100	5,225	178,020	118,322
臥竜公園庭球場	327	327	100	19,116	1,754,480	6,865,164
墨坂庭球場	—	155	—	6,845		215,784
県民須坂運動広場	—	133	—	13,301	155,110	1,865,905
北部運動広場	—	84	—	4,605	133,245	9,034
野球場	—	136	—	11,321	419,730	3,461,490
須坂小学校・常盤中学校 夜間照明	—	177	—	11,672	872,488	86,533
米持マレットゴルフ場	—	160	—	2,253	0	1,516,634
松川マレットゴルフ場	—	113	—	797	0	866,455
福島スポーツ広場(芝生広場)	—	56	—	7,811	77,590	10,412,890
〃 (ｸﾞﾚｲ広場)	—	25	—	318	13,000	3,083
〃 (ﾏﾚｯﾄｺﾞﾙﾌ場)	—	193	—	2,665	0	2,764,121
百々川緑地マレットゴルフ場	—	214	—	10,505	0	249,684
マレットゴルフ用具使用料					26,750	
全施設に係る維持管理費 (消耗品費、燃料費、修繕料、消防設備点検手数料、除雪・除草委託料、車両借上料)						2,386,055
合 計	—	3,945	—	191,898	10,565,598	52,866,547

2 施設修繕

(1) 野球場観客席ベンチ修繕	1,188,000 円
(2) 県民須坂運動広場Aコートバックネット修繕	712,800 円
(3) 市民体育館防球ネット修繕	702,000 円
(4) 県民須坂運動広場Bコートバックネット修繕	669,600 円
(5) 野球場ピッチャーマウンド修繕	419,040 円
(6) 臥竜公園庭球場砂入り人工芝コート定期整備	280,800 円
(7) 勤労青少年体育センター自動火災報知設備修繕	215,460 円
(8) 市民体育館屋内消火栓ホース修繕	190,080 円
(9) 市民体育館屋内消火栓エンジン修繕	140,400 円
(10) 市民体育館入口ドア修繕	120,960 円
(11) 柔剣道場駐車場区画線修繕	107,460 円
(12) 北部体育館玄関階段修繕	102,600 円
(13) 市民体育館トイレ等感知器修繕	84,240 円
(14) 臥竜公園庭球場通路修繕	76,680 円
(15) その他修繕 46 件	1,145,120 円
計	6,155,240 円

3 委託関係

(1) 除雪関係

業務名	委託先	金額
社会体育施設駐車場除雪業務	藤沢電気工業(株)	59,292 円

(2) 福島スポーツ広場関係

業務名	委託先	金額
除草等業務	福島町区	100,000 円
管理業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	2,617,015 円
芝生広場 芝活性化業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	994,880 円
芝生広場 土壌改良剤散布業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	899,400 円
芝生広場 施肥及び除草剤散布業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	3,110,800 円
芝生広場 芝張替業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	1,950,000 円
クレイ広場 除草剤散布業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	180,000 円
風倒木処理業務	(株)あかね苑	1,827,360 円
ヤナギ剪定業務委託	(株)あかね苑	140,400 円

(3) マレットゴルフ場関係

業務名	委託先	金額
野球場周辺 赤松整枝業務委託	(株)あかね苑	483,840 円
百々川マレットゴルフ場 枯松等伐採業務委託	(株)あかね苑	155,520 円
松川マレットゴルフ場 支障木等伐採業務	(株)長原電設	625,320 円
〃 マツカレハ防除業務	(株)アグロ信州	49,680 円

(4) その他

業務名	委託先	金額
市民体育館・北部体育館・庭球場管理業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	13,519,267 円
市民体育館・北部体育館・体育センター清掃業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	1,200,603 円
北部運動広場・県民須坂運動広場除草剤散布業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	470,000 円
県民運動広場及び野球場整備業務	野球協会	122,000 円
勤労青少年体育センター 警備(火災監視)業務	新日本警備保障(株)	198,288 円
勤労青少年体育センター周辺 マツカレハ防除作業	(株)あかね苑	80,190 円
電気工作物保安管理業務	(一財)中部電気保安協会	343,440 円

4 土地借上料

種 別	面積(㎡)	借受料(円)	使用目的
雑種地・山林	7,964	1,448,010	米持マレットゴルフ場
原野・保安林	17,181	154,629	松川マレットゴルフ場
雑種地	59,414	800,000	福島スポーツ広場
畑	2	269	福島スポーツ広場（飲料施設用地）
計	84,561	2,402,908	

5 機器賃借料

AED（自動体外式除細動器） 8台 280,664 円
（市民体育館、北部体育館、勤労青少年体育センター、卓球場、
柔道場、臥竜公園庭球場、県民須坂運動広場、野球場）

6 受信料（市民体育館・北部体育館 テレビ受信料・インターネット利用料） 166,466 円

7 清掃用具借上料 207,136 円
（市民体育館、北部体育館、体育センター、卓球場、
柔道場、剣道場、弓道場）

8 その他借上料 536,760 円
（車両借上、簡易トイレ借上（福島スポーツ広場、百々川マレットゴルフ場冬期））

9 役務費

(1) 郵便料 12,811 円
(2) 電話料（市民体育館、北部体育館、体育センター、臥竜庭球場） 152,970 円
(3) 手数料（車検、消防設備等点検、し尿処理、枝剪定、蜂駆除等） 1,080,444 円
(4) 保険料（乗用草刈機搭乗者保険、車検自賠責） 127,500 円

10 原材料費 450,953 円
（庭球場整備用塩化カルシウム、マレットゴルフ場整備用土、
その他体育施設整備用資材等購入）

11 備品購入状況

(1) 北部体育館 会議室エアコン 2台 831,600 円
(2) 臥竜公園庭球場 硬式テニスネット 2個 81,734 円
計 913,334 円

■ 体育施設整備事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	78,898,000	決算額	78,898,000	前年度 決算対比	147.6%	前年度 決算額	53,456,000
-----------	---	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

老朽化した体育施設の調査・測量設計及び施設整備を計画的に行う。

II 事業の成果等

老朽化した体育施設について大規模な改修を行うことにより、使用者の利便性向上と施設の長寿命化が図られた。

Ⅲ 事業の実績

1 施設工事関係

(1) 改修工事[緊急防災・減災事業]

市民体育館非構造部材耐震化工事（天井耐震化、照明LED化他） 78,898,000 円
（全体事業費 128,898,000 円、うち前年度からの繰越事業費 78,898,000 円）

10-7-3 (目) 体育振興費

単位：円

当初 予算額	56,160,000	予算 現額	53,087,000	決算額	51,070,997	前年度 決算対比	113.5%	前年度 決算額	45,010,723
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	3,627,000	予算 現額	3,490,000	決算額	3,155,139	前年度 決算対比	83.3%	前年度 決算額	3,785,939
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

須坂市スポーツ推進委員は、市民に対してスポーツの実技指導や助言指導を行い、地域スポーツの振興や健康づくりのための重要な担い手であるため、資質の向上に努めるとともに、市主催のスポーツ大会や事業の企画・運営に参画する。

II 事業の成果等

長野県スポーツ推進委員協議会及び須高スポーツ推進委員協議会の研修会や、長野県体育センター及び北信教育事務所の研修会への出席を通じて資質の向上が図れた。

Ⅲ 事業の実績

1 会議等

諸事業を企画、推進するため会議を開催したほか、市の体育大会等に参画した。

- (1) スポーツ推進委員会議 6回 4月5日・5月19日・8月9日・10月12日・11月22日・2月7日
- (2) スポーツ推進委員役員会議 6回 4月5日・5月19日・8月9日・10月12日・11月22日・2月7日
- (3) 体育部長会議 1回 4月11日
- (4) 参画した体育大会等 ゲートボール&ニュースポーツフェスティバル、壮年ソフトボール大会、女性ソフトバレーボール大会、ニュースポーツふれあい大会、町別卓球大会、信州須坂ハーフマラソン

2 研修等

(1) 長野県体育センター

研 修 名	人数	開催日	実施場所
いざという時の普通救命講習	6	6月19日	長野県体育センター (スカイパーク体育館)
みんなで気軽にはじめるニュースポーツ	13	6月30日	
スポーツパフォーマンス向上とスポーツ障害予防	8	8月4日	
ピラティスで体と心をエクササイズ!	8	8月25日	
体験! 体感! メンタルトレーニング入門	3	11月27日	長野県総合教育センター

(2) 長野県スポーツ推進委員協議会

研 修 名	人数	開催日	実施場所
長野県スポーツ推進委員女性研修会	5	6月23日	伊那市 (サンビレッジ体育館 ほか)
長野県スポーツ推進委員研究協議会	15	11月11日	松本市 (松本市総合体育館 ほか)

(3) 須高地区スポーツ推進委員協議会

研 修 名	人数	開催日	実施団体及び場所
須高地区スポーツ推進委員協議会研修会	8	3月24日	須高地区スポーツ推進委員協議会 (小布施町公民館)

3 地域おこし協力隊によるスポーツ振興事業

地域のスポーツニーズに対応するため、スポーツ教室を開催し、ルール説明や実技指導を行った。

(1) 日時 5月29日、6月4日

(2) 会場 豊洲小学校体育館

(3) 内容 ソフトバレーボール教室 参加人員 延べ53人

■ 生涯スポーツ事業

単位：円

当初 予算額	39,869,000	予算 現額	36,933,000	決算額	35,261,858	前年度 決算対比	123.4%	前年度 決算額	28,569,024
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

スポーツ大会の開催や学校施設開放等により、市民のだれもがライフステージに応じたスポーツ活動に親しみ、健康の増進や豊かなスポーツライフの実現を図ることを目的とする。

II 事業の成果等

市民がスポーツを通じて楽しみながら親睦が図れる諸事業を主催、共催、委託したほか、小・中学校の体育施設の開放により、競技力の向上と生涯スポーツの振興が図れた。

第五次須坂市総合計画後期基本計画の目標値である「日頃からウォーキングや競技スポーツ、スポーツ観戦、大会ボランティアなどのスポーツ活動をしている人の割合 65%」の達成をめざし、ニュースポーツ用具の貸し出しや、スポーツ指導者を派遣したほか、冬季スポーツ振興等のため、峰の原高原スキー場のリフト利用負担を行った。

また、スポーツ競技の全国大会等への出場に激励金を交付することにより、スポーツ競技の振興が図れた。

III 事業の実績

1 峰の原高原スキー場リフト利用料負担

地域資源を活かした冬季スポーツ振興、子育て世帯支援及び市内唯一の峰の原高原スキー場の利用促進を図るため、一日リフト券に対し市が負担した。

種別	利用者数(人)	金額(円)	備考
大人(一部負担)	303	303,000	一人あたり 1,000円
中学生(全額負担)	47	195,800	平日 4,000円 休日 4,200円
小学生(〃)	439	916,200	平日 2,000円 休日 2,100円
合 計	789	1,415,000	

2 スポーツ教室

(1) 地域別スポーツ教室

ニュースポーツの普及と体力の向上を図るため、地域からの要望に応じ随時スポーツ教室を開催する。
開催なし(要望した地域が無かったため)

(2) スポーツリーダーバンク

公民分館・PTA・地域スポーツクラブからの要請に対して指導者を派遣した。

ニュースポーツ 5回 延8人

(3) ニュースポーツ用具貸出

ニュースポーツの普及や各団体の行事のため、ニュースポーツ用具の貸出を行った。

使用団体	使用件数	使用人数	貸出用具
市内の小・中学校、高等学校	10	907	囲碁ボール、スマイルボウリング、ドッジビー、ディスクッター9、スポーツガラッキー、シャッフルボード、ワンバウンドふらば〜るバレー等
市内各区の公民分館	7	595	
その他	21	883	
合 計	38	2,385	

3 学校体育施設開放使用状況及び使用料

小・中学校の体育施設を、学校教育に支障のない範囲で開放し、地域のスポーツ振興を図った。

学校名	体育館（下段は武道場）					運動場				
	開放 日数 A	使用 日数 B	使用率 B/A(%)	使用 回数	使用料 (円)	開放 日数 A	使用 日数 B	使用率 B/A(%)	使用 回数	使用料 (円)
須坂小	310	276	89.0	462	127,980	234	163	69.7	286	4,000
小山小	287	243	84.7	471	83,430					
森上小	310	256	82.6	391	59,290	269	35	13.0	42	2,200
日滝小	313	288	92.0	429	43,370	275	118	42.9	139	6,000
豊洲小	301	186	61.8	216	19,780	268	78	29.1	113	4,400
日野小	331	293	88.5	376	20,670	275	68	24.7	85	200
井上小	333	295	88.6	519	64,640	275	75	27.3	97	5,400
高甫小	301	255	84.7	325	42,860	249	25	10.0	26	200
旭ヶ丘小	316	226	71.5	344	25,440	254	74	29.1	136	9,200
仁礼小	323	271	83.9	380	27,340	275	12	4.4	7	600
豊丘小	320	170	53.1	196	32,790	271	21	7.7	13	1,000
常盤中	295	279	94.6	294	58,300	267	147	55.1	218	0
	333	84	25.2	113	35,650					
相森中	338	309	91.4	479	131,520	274	22	8.0	28	3,200
	338	300	88.8	308	2,120					
墨坂中	329	252	76.6	353	88,780	267	28	10.5	51	4,800
	247	195	78.9	285	17,160					
東 中	336	255	75.9	224	63,190	262	0	0.0	0	0
	335	321	95.8	324	55,650					
合 計	5,996	4,754	79.3	6,489	889,380 110,580	3,715	866	23.3	1,241	41,200

(使用料合計 1,041,160 円)

(延使用者数 110,780 人)

4 主催した大会・行事

次の大会を開催し、各種スポーツの普及発展と、市民の明るい交流と健康増進・相互の親睦を図った。

大会・行事名	開催日	参加状況
ゲートボール&ニュースポーツフェスティバル (新・体力運動能力調査)	5月20日	421人 ゲートボール 38チーム (新・体力運動能力調査 22人)
第47回壮年ソフトボール大会	8月19日	24チーム 422人
第34回女性ソフトバレーボール大会	8月19日	24チーム 314人
第2回須坂市ニュースポーツふれあい大会	12月2日	5チーム 27人
第49回須坂市町別卓球大会	2月17日	33チーム 490人

5 子ども向けスポーツ教室開催委託

子ども向けスポーツ教室（アクティブキッズプログラム）を（一社）須坂市体育協会に委託した。

(1) 教室開催委託料 1,400,000 円

(2) 開催内容

教室名	開催日	回数	申込人数	延参加人数
バスケットボール	4月21日～7月28日	8	27	146
ドッジボール	4月28日～8月18日	8	30	182
空手	5月8日～6月26日	8	15	107
サッカー	5月13日～10月13日	8	25	128
ティーボール	5月19日～7月14日	4	8	23
バレーボール	6月2日～7月7日	4	30	72
たいそう	9月29日～12月1日	8	21	137
バドミントン	10月4日～11月22日	8	19	134
インドアソフトテニス	10月9日～1月22日	8	11	61
卓球	10月15日～12月3日	8	15	117
スポーツチャンバラ	10月4日～1月29日	4	10	35
チアダンス	11月5日～12月3日	4	16	61
スキー	1月5日	1	39	35
特別講座（陸上短距離）	5月12日、9月9日	2	96	83
特別講座（陸上長距離）	9月22日、9月29日	2	50	29
計		85	412	1,350

6 備品購入状況

アルミバレーボール支柱

1組2本

174,960円

7 共催した大会・教室

次の大会・教室を共催し、競技力の向上とスポーツ振興を図った。

(1) (一社)須坂市体育協会主催

大会名	開催日及び期間	参加状況
須坂市長杯高校野球春季・秋季トーナメント大会	4月1日、7月29日	3チーム 100人
第53回空手道須坂市長杯大会	4月8日	920人
第41回壮年ナイターリーグ大会	5月12日～10月3日	28チーム 617人
第22回須坂市長杯争奪テニス大会兼 第45回須坂市民テニス大会	5月13日	33組 66人
須坂市長杯争奪ゲートボール大会	6月6日	20チーム 140人
峰の原高原レングツツジウォーク	6月24日	19人
第12回須坂市長杯太極拳大会	6月24日	65人
第64回須坂市長杯争奪ソフトテニス大会	7月1日	137組 274人
第49回須高陸上競技選手権大会	7月8日	350人
第47回須坂市少年軟式野球大会	8月14日	中止
第58回弓道須坂大会（高校の部）	8月25日	433人
〃（一般の部）	8月26日	48人
第42回須坂市民水泳大会	8月26日	171人
第47回須坂市長旗争奪ソフトボール大会	9月2日、10月13日	23チーム 500人
第64回須坂市民ソフトテニス大会	9月9日	145組 290人
第50回須坂市民(区対抗)バスケットボール大会	9月9日	10チーム 138人
区対抗マレットゴルフ大会	9月9日	34チーム 136人
第12回竜の里須坂ダンススポーツ大会	9月17日	118組 236人
第10回臥龍杯ジュニアサッカー大会(U12)	9月22日、23日	28チーム 370人
第22回須坂市長杯争奪軟式野球大会	9月23日	6チーム 80人
第51回須坂市長杯争奪バスケットボール大会	9月29日、30日	13チーム 195人
第52回須坂市剣道大会	9月30日	26チーム 130人
第11回須高小中学校クロスカントリー駅伝競走大会	9月30日(台風のため中止)	46チーム 221人
第42回須坂市少年少女サッカーフェスティバル	10月7日	19チーム 250人
第50回須坂市長杯争奪卓球大会	10月8日	45チーム 236人

大会名	開催日及び期間	参加状況
第28回須坂市長杯争奪マレットゴルフ大会	10月20日	115人
第60回須坂市長杯争奪高校男女6人制バレーボール大会	10月28日	4チーム 100人
第13回須坂市長杯争奪ママさんバレーボール秋季大会	10月28日	10チーム 114人
第45回須坂市長杯争奪サッカー大会	10月28日～11月18日	8チーム 120人
第51回須坂市柔道大会	11月4日	137人
第2回北信ロードレース須高大会	11月11日	196人
須坂市9人制ソフトバレーボール大会	11月11日	5チーム 120人
第46回市民ハイキング	11月11日	16人
第67回長野県縦断駅伝競走	11月17、18日	44人
須坂市民スキー教室	1月6日	60人
第26回須坂市長杯中学生バレーボール大会	2月2日	29チーム 450人
第48回須坂市インドアソフトテニス大会	2月3日	48チーム 96人
第41回須坂市長杯争奪バドミントン大会	3月17日	128人

(2) (一社)須坂市体育協会加盟団体主催・主管 51大会

(3) 信州須坂ハーフマラソン

第30回 信州須坂ハーフマラソン (旧名称：竜の里須坂健康マラソン全国大会)

日 時 10月21日(日) 8時から

場 所 臥竜公園庭球場駐車場及び周辺

種 目 ハーフマラソン、5kmマラソン、3kmマラソン、ウォーキング(6km)

ゲストランナー 中島史恵氏(須坂市出身)、早稲田大学競走部 女子選手2名

参加者数 2,294人

(スポーツ振興くじ助成金 6,302,000円)

8 スポーツ競技全国大会等出場激励金

出場者氏名・団体	大会名	激励金(円)
須坂卓翔会	第37回全日本クラブ卓球選手権大会(男子50代の部)	30,000
須坂卓翔会	〃 (女子50代の部)	30,000
濱野 愛里奈	第45回全国高等学校総合体育大会空手道競技大会	3,000
富沢 里乃	〃	3,000
井上 友博	第18回 全国障害者スポーツ全国大会(福井しあわせ元気大会)	3,000
中島 拓哉	2018 パラ卓球 中国オープン	10,000
古澤 憲章	第73回国民体育大会 山岳競技	3,000
山口 岳斗	〃	3,000
原山 八重美	全日本卓球選手権大会(マスターズの部)	3,000
高橋 千恵	〃	3,000
樋口 圭子	〃	3,000
藤本 赫子	〃	3,000
大島 武留	第25回全国クラブチームサッカー選手権大会	3,000
山田 洋	第74回国民体育大会冬季大会スキー競技会	3,000
橋本 潤也	JFA 第24回全日本フットサル選手権大会	3,000
木戸 汰哉	〃	3,000
富澤 茜里	第16回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会	3,000
田子 寿梨香	〃	3,000
中澤 海音	〃	3,000
横田 友愛	〃	3,000
土屋 正史	〃	3,000
須坂コルツ(フェアリースマイル)	オールジャパンアリーディング&ダンスチャンピオンシップ 2019 ミニ編成	50,000
須坂コルツ(スパーク)	オールジャパンアリーディング&ダンスチャンピオンシップ 2019 ジュニア編成	50,000
合 計		224,000

9 長野県日中友好都市中学生卓球交流大会

長野市で開催された「長野県日中友好都市中学生卓球交流大会」に、来日した四平市選手団と須坂市の合同チームにより参加し、予選リーグ及び交流トーナメントを通じて選手団の交流を図り、友好都市間の親善に寄与した。

また、前日には須坂市卓球協会の協力により、四平市選手団を交えて須高地区の中学校卓球部による交流試合を行い国際交流を図った。

- (1) 日 程 8月18日 須高地区交流大会（須坂市市民体育館）約120人参加
 8月19日 長野県卓球交流大会（長野吉田高校戸隠分校体育館）
- (2) 選手団 四平市 役員2名 中学生選手2名
 須坂市 役員2名 中学生選手2名（東中学校男子、墨坂中学校女子）

10 プロバレーボールチーム「長野ガロンズ」支援

地域スポーツの振興のため、須坂市をホームタウンとする「長野ガロンズ」の活動を支援した。

- (1) ホームゲーム開催場所の優先確保、サポーター会員募集の広報や試合等活動の広報協力
 (2) 地域貢献活動（子どもたちへのバレーボール教室等）への協力・市報などでの活動紹介

■ 体育団体等助成事業

単位：円

当初 予算額	12,664,000	予算 現額	12,664,000	決算額	12,654,000	前年度 決算対比	100.0%	前年度 決算額	12,655,760
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

体育団体の活動に対し助成し、社会体育の振興を図る。

II 事業の成果等

体育団体の活動を支援したほか、駅伝大会への参加を通じて、競技力の向上と市民の体力向上が図れた。

III 事業の実績

- 1 体育協会に補助し、加盟競技団体の育成や大会の開催、競技者の養成を図った。

補助金 6,284,000 円

- 2 競技団体への行政連絡業務・市民の体力向上及び競技者の競技力向上等、スポーツ振興に関する業務等について体育協会へ委託した。

委託料 6,020,000 円

- 3 第28回長野県市町村対抗駅伝競走大会及び第14回市町村対抗小学生駅伝競走大会へ須坂陸上競技協会と協力して選手を派遣した。

市町村対抗駅伝 56チーム中11位 市町村対抗小学生駅伝競走大会 63チーム中12位

負担金 150,000 円

- 4 第67回長野県縦断駅伝競走大会へ須高地区の教育委員会、体育協会と協力して「須坂上高井チーム」として選手を派遣した。 15チーム中8位

負担金 200,000 円

10-7-4(目)学校給食費

単位：円

当初 予算額	550,071,000	予算 現額	540,732,000	決算額	509,464,345	前年度 決算対比	101.4%	前年度 決算額	502,652,078
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 学校給食センター管理事業

単位：円

当初 予算額	429,604,000	予算 現額	427,628,000	決算額	412,285,021	前年度 決算対比	97.5%	前年度 決算額	422,754,365
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

安全でおいしく、できるだけ手作りで、真心のこもった学校給食を提供するとともに、学校給食をととして児童生徒の食育推進を図る。

II 事業の成果等

「須坂市学校給食センター食育活動」の計画を策定し、学校と連携して児童生徒の食育指導を計画的に進めることができた。

また、地域食材の活用や行事献立等をととして、地域や伝統文化などを考える機会を提供することができた。給食を提供するために必要な修繕を行い、安全な給食を提供することができた。

III 事業の実績

学校給食摂取基準にもとづいた給食を提供することにより、児童生徒の健康増進や、体力の向上を図るとともに、日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を身に付けることを目標として、学校給食を実施した。

1 学校給食の実施状況

小学校・支援学校(小・中学部)2,722人、中学校1,313人、教職員等416人、合計4,451人(平成30年5月1日現在)の給食を実施した。

(1) 学校別給食日数

小学校名	給食日数	中学校名	給食日数	支援学校	給食日数
須坂小学校	205	常盤中学校	196	須坂支援学校	197
小山小学校	203	相森中学校	196		
森上小学校	204	墨坂中学校	199		
日滝小学校	204	東中学校	199		
豊洲小学校	204				
日野小学校	203				
井上小学校	204				
高甫小学校	201				
旭ヶ丘小学校	204				
仁礼小学校	204				
豊丘小学校	203				
平均	203.5	平均	197.5		

(給食センター給食実施日数 209日)

(2) 延べ給食数

単位：食

小学校	中学校	試食	センター	合計
591,279	274,480	384	8,411	874,554

※須坂支援学校は小学校の給食数に含む。

(3) 配送車(7台所有)稼働台数 1日6台 延べ1,255台

2 会議開催状況

(1) 須坂市学校給食センター運営委員会 2回 委員12人

納入業者や給食費の見直しなど、学校給食センターの運営に関して必要な事項を調査、審議をした。

(2) 献立作成委員会 11回 委員17人

学校給食の献立内容等について検討した。

- (3) 衛生管理研究会 1回
講師：(元)文部科学省 スポーツ・青少年局学校健康教育課学校給食調査官 田中延子先生
- (4) 食物アレルギー講演会（教職員合同研修会）1回
講師：昭和大学医学部准教授 今井孝成先生
- (5) 須坂市学校給食食物アレルギー対応研究会 2回
設置要綱を策定し、基本方針・対応方針・マニュアルを策定

3 食育・啓発事業

学校や家庭、地域との連携を深め、楽しく豊かで魅力ある学校給食を推進しながら、食に関心を持ちバランスよく食えることのできる児童生徒の育成のため、「須坂市学校給食センター食育活動」の計画に基づく事業を行った。

(1) 学校との連携づくり

- ア 学校保健委員会・講演会 3校3回
イ 学校からの依頼で全校、学年集会時等 7回
ウ 教室訪問（指導＋給食） 16校45回
エ 授業（＋給食） 6校51回
オ 授業＋親子給食講話 2回
カ 親子給食講話（リーフレット説明含む）9回
親子給食（資料のみ）2回
キ 施設見学受入れ 16回
ク 中学生職場体験受入れ 3校 7日 12人
ケ 学校給食センターだより発行 4月～3月 毎日
コ 希望献立実施 8回

月	学 校 名	月	学 校 名
6	日野小	11	日滝小
7	井上小	12	相森中
9	高甫小	1	豊洲小
10	森上小	2	常盤中

サ 行事献立実施 24回

月	献 立 名	月	献 立 名
4	入学進級お祝い、お花見	11	和食の日
5	子どもの日	12	冬至、クリスマス、お年取り
6	むし歯予防、入梅、食育の日、がんばれ（中学校のみ）	1	新春、大寒、給食記念日
7	七夕、土用の丑	2	節分、がんばれ
9	十五夜、がんばれ	3	ひな祭り、卒業お祝い
10	ハロウィン、目の愛護デー		

シ ゆっくりしっかり噛んで食べる「かみかみ須坂っ子の日」（毎月）

ス 県産食材を使用した「地域食材の日」（9～11月 毎月1回実施）

「地域食材週間」（小学校6月・11月）

(2) 家庭との連携づくり

- ア 献立表配布 毎月各家庭へ配布
イ 市ホームページに掲載するとともに、ケーブルテレビで翌日の献立を放映

(3) 地域との連携づくり

- ア 地域食材の活用（通年）
イ 郷土食の実施

4 食物アレルギーを有する児童生徒への対応

- (1) 希望する児童生徒の保護者に対して、使用食材がわかる献立表と材料表を毎月事前に学校を通して配布するとともに、学校と連携し対応を図った。
- (2) 令和2年2学期からのアレルギー対応食の提供に向け、アレルギー対応研究会を2回開催。基本方針・実施要綱・マニュアルを策定。

5 地産地消の推進

- (1) 良質で安全・安心な地元農産物を学校給食に取り入れた。

単位：kg

区 分 種 別	全体購入量 (%)	県 外 産 (%) (%・H29 年度比較)	県 内 産 (%)	
			(%・H29 年度比較)	うち市内産 (%)
野 菜 類	131,109.6 (100)	81,491.1 (62.2) (2.4)	49,618.5 (37.8) (△2.4)	18,560.5 (14.2) (0.9)
果 物 類	6,657.2 (100)	3,321.2 (49.9) (△0.9)	3,336.0 (50.1) (0.9)	2,261.0 (34.0) (1.9)
合 計	137,766.8 (100)	84,812.3 (61.6) (2.3)	52,954.5 (38.4) (△2.3)	20,821.5 (15.1) (0.7)

品 目	購 入 量 (kg)
米 (風さやか) 須高産	38,769

単位：円

区 分 種 別	全 体 購 入 額 (%)	県 外 産 (%) (%・H29 年度比較)	県 内 産 (%)	
			(%・H29 年度比較)	うち市内産 (%)
野 菜 類	28,157,057 (100)	15,738,305 (55.9) (△6.4)	12,418,752 (44.1) (6.4)	4,738,099 (16.8) (1.3)
果 物 類	3,774,490 (100)	1,826,570 (48.4) (△ 2.6)	1,947,920 (51.6) (2.6)	1,360,150 (36.0) (△0.9)
合 計	31,931,547 (100)	17,564,875 (55.0) (△5.7)	14,366,672 (45.0) (5.7)	6,098,249 (19.1) (0.6)

学校給食における県内産農産物利用率 (全県・食品数ベース)

単位：%

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度
須 坂 市	67.9	74.2
県 平 均	45.9	46.8
目標値 (長野県食育推進計画)	45.0	46.0

- (2) 学校給食における地産地消の打ち合わせ会議

ながの農協職員、市農林課職員、学校給食センター職員で地産地消の推進に関する打ち合わせを行った。

6 学校給食費の納入状況

単位：円

区 分	調 定 額	収 入 済 額	還付未済額	収入未済額	収 納 率 (%)
現年度分	251,190,009	250,878,328	0	311,681	99.9
過年度分	304,525	244,819	0	59,706	80.4
計	251,494,534	251,123,147	0	371,387	99.9

7 施設等の修繕状況 (10 万円以上)

- | | |
|--------------|-----------|
| (1) 蒸気ボイラー修繕 | 345,600 円 |
| (2) シャッター修繕 | 360,720 円 |
| (3) 真空冷却機修繕 | 146,880 円 |

(4) ボイラー薬注ポンプ修繕	129,600 円
(5) 自動ロースター修繕	132,840 円
(6) 中学校コンテナ室外部框ゴム改修工事	137,160 円
(7) 小学校コンテナ室オーバースライダー改修工事	407,484 円
(8) 中学校コンテナ室オーバースライダー改修工事	428,544 円
(9) 調理場給水・給湯管ストレーナー交換工事	226,800 円

8 委託業務の状況

(1) 調理業務等委託	(株)東洋食品	101,412,000 円
(2) 給食配送業務委託	長野タクシー(株)	11,391,840 円
(3) 施設警備委託	新日本警備保障(株)	414,720 円
(4) 生ごみ処理委託	ながの農協	102,140 円
	高山村	327,245 円

9 備品の購入状況

品 名	数 量 (台)	金 額 (円)
縦型冷蔵庫	1	273,240
コンテナ車	1	225,720
ジェットヒーター	1	129,600

■ 学校給食センター施設整備事業

単位：円

当 初 予算額	102,504,000	予算 現額	94,798,000	決算額	78,909,780	前 年 度 決算対比	127.8%	前年度 決算額	61,730,015
------------	-------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

I 事業目的

安全な給食を提供するため、施設・機械器具等の整備を計画的に行う。

II 事業の成果等

学校給食センターは昭和 51 年建設の施設であり、現在の衛生基準に則した新しいセンターの建設は急務である。新センターの建設にあたり、P F I 手法での整備事業を進めるとともに、先進地への視察、建設に伴う一次造成・上下水道整備等の工事を行った。

III 事業の実績

1 新学校給食センター建設

(1) 先進地視察	長野市第 4 学校給食センター	6 月 11 日
	高山村学校給食センター	6 月 11 日
	千曲市第 1 学校給食センター	6 月 20 日
	福島県伊達市学校給食センター	1 月 23 日
	宮城県東松島市学校給食センター	1 月 24 日

(2) 新学校給食センター建設に関する工事

市単独事業（新）学校給食センター造成等工事	15,951,600 円	工期：5 月 21 日～10 月 19 日
市単独事業（新）学校給食センター建設に伴う配水管布設・布設替工事	10,972,800 円	工期：10 月 23 日～3 月 15 日
市単独事業（新）学校給食センター建設に伴う下水道施設整備事業	20,854,800 円	工期：10 月 23 日～3 月 15 日

造成に伴う整地工事	1,296,000 円	工期：9月3日～10月12日
造成等工事に伴う附帯工事	1,285,200 円	工期：9月25日～10月26日
南側仮設水路工事	1,296,000 円	工期：10月15日～11月22日
敷地内水路工事	1,285,200 円	工期：10月29日～10月12日
水路改修工事	1,297,080 円	工期：12月3日～3月15日

2 新学校給食センターPFI事業

(1) 委託関係

(新) 学校給食センター整備運営事業に係るPFIアドバイザー業務委託 13,610,000 円
業務期間：H29年4月26日～H30年9月30日 (契約額 19,440,000 円)

(新) 学校給食センター整備運営事業に係るPFIモニタリング業務委託 8,610,000 円
業務期間：H30年10月1日～R2年8月31日 (契約額 28,728,000 円)

(2) 事業の公表・説明会等

6月29日 第2回PFI事業者検討委員会

7月11日 第3回PFI事業者検討委員会

7月18日 PFI事業者決定

8月20日 特別目的会社（SPC：(株)須坂スクールランチサービス）と仮契約締結

9月26日 市議会事業契約議案可決

2月19日 須坂市宅地開発等指導指針第13条に基づく地元説明会開催

(3) 会議の開催状況

ア (新)学校給食センター整備運営事業に係るPFIアドバイザー業務 打合せ会議 4回実施
(業務期間内 19回実施)

イ (株)須坂スクールランチサービスとの打合せ会議 10回

ウ (新) 学校給食センター整備運営事業に係るPFIモニタリング業務 10回

10-8-1 (目) 人権同和教育総務費

単位：円

当初 予算額	11,278,000	予算 現額	11,296,000	決算額	11,208,135	前年度 決算対比	101.0%	前年度 決算額	11,101,919
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	3,334,000	予算 現額	3,304,000	決算額	3,220,110	前年度 決算対比	102.2%	前年度 決算額	3,150,376
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

人権問題の解決のために、学校人権教育と社会人権教育との連携を図り、市民が自主的に学習できるような環境を整える。

II 事業の成果等

須坂市人権政策推進基本方針及び須坂市人権教育推進計画に基づき事業を進め、学習会・研修会等へ指導員を派遣し、さまざまな人権問題の解決に向けて人権教育の推進が図られた。

III 事業の実績

町別人権問題学習会（69町）、学校・団体・市職員の研修会（24回）に指導員を派遣し助言・指導を行った。

10-8-2(目)学校人権同和教育費

単位：円

当初 予算額	1,911,000	予算 現額	1,861,000	決算額	1,854,492	前年度 決算対比	81.9%	前年度 決算額	2,263,426
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

■ 学校人権教育推進事業

単位：円

当初 予算額	1,911,000	予算 現額	1,861,000	決算額	1,854,492	前年度 決算対比	81.9%	前年度 決算額	2,263,426
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

部落差別をはじめあらゆる差別や偏見を具体的に取り上げ、正しく理解するとともに、差別意識の解消に向け日々実践できる力を育成するため、各小・中・須坂支援学校の計画に基づいて、児童・生徒と教職員が積極的に人権教育に関わり、学校間や地域社会と連携して推進する。

II 事業の成果等

各学校では、平成22年度に須坂市が作成した「人権同和教育指導計画（改訂版）」や長野県同和教育推進協議会編集の副読本「あけぼの」を活用して、カリキュラムを作成し指導している。また、新任教職員人権教育研修会等を開催し、学校人権教育の充実と指導力の向上を図ることができた。市内6学年担任者会では、新しい部落観や高学年での人権教育の進め方等についての学習会を行い、指導力の向上を図った。

学校・PTA人権教育推進校の2校において、学校とPTAが連携した人権教育の取り組みを「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会」等で発表し、学校人権教育の理解を深めることができた。

III 事業の実績

1 学校人権教育教材の購入(あけぼの)

学校では、「あけぼの」を活用し人権教育の推進を図っている。そのため、「あけぼの」を補充配布した。

小学生低学年用 29冊 小学生中学年用 16冊 小学生高学年用 21冊 中学生用 10冊
小学生指導手引 3冊 中学生指導手引 3冊

2 学校・PTA人権教育推進校の指定

常盤中学校は「心の花を育てよう - とともに語り合い、心をかよわせ、新たな一歩を踏み出す」をテーマに、井上小学校は「子どもと共に学び深める人権教育」をテーマに、それぞれ、学校・PTAの人権教育の取り組みを実践し人権意識を高め、「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会」及び「人権を考える市民のつどい」において実践発表をした。

3 教職員人権教育研修

人権教育主任会	5月 7日	21人	人権交流センター
	10月 9日	21人	人権交流センター
小・中・須坂支援学校長との懇談会	6月 18日	21人	人権交流センター
新任教職員人権教育研修会	8月 2日	45人	人権交流センター
研修Ⅰ 須坂市人権教育の推進について～地域ぐるみの人権教育に向けて～			
研修Ⅱ 講演「差別解消に向けた新3法について」			
講師 人権交流センター指導員 畠山 信重			
研修Ⅲ DVD「あなたがあなたらしく生きるために - 性的マイノリティと人権」視聴と意見交換			
講師 人権同和教育課指導員 山岸 周一			

4 学校人権教育活動費交付金及び中学校ブロック人権教育研修費交付金

学校人権教育の均衡ある発展と内容の充実を図るため、小・中・須坂支援学校に交付金を交付した。

(1) 学校人権教育活動費交付金一覧表

	教員数 (人)	平均割 (円)	教職員数割 (円)	地区校 (円)	推進校 (円)	合 計 (円)
須坂小学校	19	65,000	10,000			75,000
小山小学校	22	65,000	11,500			76,500
森上小学校	21	65,000	11,000			76,000
日滝小学校	20	65,000	10,500	10,000		85,500
豊洲小学校	12	65,000	6,300			71,300
日野小学校	20	65,000	10,500			75,500
井上小学校	17	65,000	8,900	10,000	30,000	113,900
高甫小学校	13	65,000	6,800			71,800
旭ヶ丘小学校	15	65,000	7,900			72,900
仁礼小学校	15	65,000	7,900			72,900
豊丘小学校	13	65,000	6,800			71,800
常盤中学校	22	65,000	11,500	10,000	30,000	116,500
相森中学校	25	65,000	13,100			78,100
墨坂中学校	34	65,000	17,800	10,000		92,800
東 中学校	18	65,000	9,500			74,500
須坂支援学校	19	65,000	10,000			75,000
合 計	305	1,040,000	160,000	40,000	60,000	1,300,000

(2) 中学校ブロック人権教育研修費交付金

4中学校 1校 交付金額 50,000円 計 200,000円

5 人権教育啓発標語・ポスター

(1) 標語・ポスターの募集

＜小中学生＞ 応募数 標語 99点 ポスター 51点

＜一般＞ 応募数 標語 28点

(2) 人権教育啓発資料の作成

須坂市人権のまちづくり推進会議及び須坂市企業人権教育推進会議と合同で、標語・ポスターの最優秀作品で人権教育啓発標語・ポスターを作成し、学校や区、企業等に配布し啓発を図った。

(3) 学校巡回

市内小・中・須坂支援学校児童生徒の作成による人権教育啓発標語・ポスターの巡回展示を通して、人権教育への関心を高め、人権感覚を磨き、差別をなくすことを図った。

6 人権教育研究指定校事業

文部科学省の人権教育研究指定校事業の委託を前年度に引き続き今年度も受け、旭ヶ丘小学校において、人権意識を培うために学校教育の実践的な研究を実施し、2年間の発表を行った。

10-8-3(目)社会人権同和教育費

単位：円

当初 予算額	2,765,000	予算 現額	2,594,000	決算額	2,553,099	前年度 決算対比	96.6%	前年度 決算額	2,642,862
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

■ 人権教育推進事業

単位：円

当初 予算額	2,276,000	予算 現額	2,147,000	決算額	2,119,213	前年度 決算対比	96.9%	前年度 決算額	2,187,904
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

市民一人ひとりが人権問題を共通の課題として理解し、すべての家庭、地域、職場において、部落差別をはじめあらゆる差別をなくす必要性を、社会生活や歴史・文化等に関連して学び、あらゆる差別を許さない意識の高揚を図る。

II 事業の成果等

町別人権問題学習会への支援、人権を考える市民のつどい等の開催、ポスター・標語の募集など、さまざまな機会をとらえて学習し啓発することにより、家庭、地域、職場において人権教育を推進することができた。

III 事業の実績

1 人権教育推進員の活動

(1) 町別人権問題学習会

学習会推進協力者として町別人権問題学習会の開催を支援した。

(2) 人権教育連絡会議及び人権教育推進員連絡会議

人権教育推進員 17 人、人権同和教育課、人権交流センター、中央公民館、地域公民館等が連携し、各町の人権問題学習会等の開催を支援するため、連絡会議を開催した。

人権教育連絡会議及び人権教育推進員連絡会議 4月10日、2月25日開催

(3) 人権教育研修

【須坂市】人権教育リーダー研修会 4月20日 参加者 17人

内容 須坂市人権教育の推進について

町別人権問題学習会の開催に向けて

講演「笑顔あふれる地域づくり - 身近な人権について考えよう」

【長野県】人権教育実践カススキルアップ講座① 6月7日 参加者 10人

内容 オリエンテーション

講座1 基礎講座「同和問題から学ぶ」

講座2 応用講座「長野県人権同和教育の再スタート～かわり続ける実践から～」

北信地区人権教育研修会 7月19日 参加者 3人

内容 分科会 第1「学校における人権同和教育の取組」

第2「企業における若者支援の取組」

第3「性的マイノリティの方々のつながり作りの取組」

第4「障がい者スポーツ支援施設見学・体験」

第5「ワークショップ『語り合い気づこう人権』」

講演「部落差別解消推進法の施行における社会の変化と課題」

人権教育リーダー研修会 8月30日 参加者 5人

内容 講演「人権について考える（障がい者の人権）」

分科会 第1「子どもをいじめの被害者にも傍観者にもしないために」

第2「外国人をとりまく人権について考える」

第3「少年院を一步外に出た日」

第4「参加体験型学習（ワークショップ）」

- 人権教育実践力スキルアップ講座② 10月5日 参加者 5人
 内容 現地研修「長野市における差別と現実」
- 人権教育実践力スキルアップ講座③ 1月17日 参加者 5人
 内容 講演「子どもの権利保障から考える」
 実践発表と情報交換

2 町別人権問題学習会

区、公民分館主催 69町で原則年2回実施

人権同和教育課指導員、人権交流センター指導員を助言者として派遣し、町別人権問題学習会の充実を図った。

3 人権教育リーダー研修会

実施日	場所	内容	講師等	人数 (人)
4月20日	メセナ 小ホール	・須坂市人権教育の推進について ・町別人権問題学習会の開催に向けて ・講演「笑顔あふれる地域づくり」	人権同和教育課長 人権同和教育課係長 北信教育事務所生涯学習課 指導主事 小島 豪 氏	221

4 人権を考える市民のつどい

部落解放同盟須坂市協議会と共催し「第13回人権を考える市民のつどい」を開催した。

実施日及び場所 1月26日 メセナ大ホール 参加者 520人

内容 学習発表「子どもと共に学び深める人権教育」

井上小学校児童・PTAのみなさん

講演「誇りをもって生きてほしい - 同和教育の可能性」

講師 東京都立南葛飾高等学校 定時制元教師 申谷 雄二 氏

展示 市内小・中・須坂支援学校児童生徒の作成による人権教育啓発標語・ポスター、人権啓発パネル及び人権教育促進事業活動作品

5 人権教育促進事業

対象地域住民の人権学習及び地域住民が福島人権ふれあいセンターで交流活動を行い、相互理解の推進に努めた。

開催回数(回)	参加延人数(人)	主な事業内容
25	104	人権学習、民踊

6 人権教育強調月間の実施

(1) 期間 11月15日～12月14日

(2) 内容 啓発活動の実施

ア 小・中・須坂支援学校、中央公民館・各地域公民館に、人権教育強調月間の立て看板を掲出した。また、企業人権教育推進会議会員企業にのぼり旗を掲出した。

イ 第46回部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会を開催

11月17日 メセナ大ホール 参加者 630人

(ア) 人権教育啓発標語・ポスター最優秀作品の表彰

(イ) 学習発表「心の花を育てよう - とともに語り合い、心をかよわせ、新たな一步を踏み出す」

常盤中学校生徒・PTAのみなさん

(ウ) 講演「私たちはなぜ生まれてきたのか?小説『あん』でハンセン病快復者の人生を描いた意味」

講師 作家・詩の道化師 ドリアン助川 氏

(エ) 展示 市内小・中・須坂支援学校児童生徒の作成による人権教育啓発標語・ポスター、人権啓発パネル及び人権教育促進事業活動作品

7 人権教育啓発資料の作成

(1) 人権教育啓発用ビデオ解説を作成し、学習会等に活用した。

(2) 須坂市人権のまちづくり推進会議及び須坂市企業人権教育推進会議と合同で、須坂市人権のまちづくり推進会議の役割や事業を紹介し、多くの市民や団体が互いに連携を図り人権尊重のまちづくりを目指すことの大切さ及び標語・ポスターの最優秀作品等を掲載した人権教育啓発資料を作成し、全戸配布し啓発及び周知を図った。

8 備品購入

町別人権問題学習会等で視聴し人権意識を高めるため、啓発用DVDを購入した。

「考えよう!私の性みんなの性」 67,716 円

9 須坂市人権のまちづくり推進会議の活動支援

部落差別をはじめあらゆる差別をなくすために行う活動に対し、負担金を交付した。また、事務局として理事会、総会、現地研修会（事前学習含む）、人権教育講座（3回）、部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会の開催を支援し、人権のまちづくりの意識を高めることができた。

負担金 800,000 円

10 須坂市企業人権教育推進会議の活動支援

会員企業の人権教育推進のために行う活動に対し、補助金を交付した。また、事務局として、理事会、総会、現地研修会（事前学習含む）、経営者研修会、指導者養成講座（2回）の開催を支援し、人権が尊重される職場づくりのための取り組みを進めることができた。

補助金 150,000 円

■ 解放子ども会等推進事業

単位：円

当初 予算額	489,000	予算 現額	447,000	決算額	433,886	前年度 決算対比	95.4%	前年度 決算額	454,958
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	-------	------------	---------

I 事業の目的

対象地域児童・生徒の差別撤廃につながる学力の向上と、差別に立ち向かう自覚と力の育成を図る。

II 事業の成果等

解放子ども会を開催、指導者を派遣し基礎学習と解放学習を行い、対象地域児童の差別撤廃につながる学力の向上と、差別に立ち向かう自覚と人権尊重の意識を高めることができた。

III 事業の実績

1 解放子ども会

開催場所		本郷学習センター
児童・生徒数(人)	小学生	1
	中学生	2
指導者		日滝小・常盤中学校教諭他

		基礎学習	解放学習等	担当教員活動謝礼
指導回数 (回)	小学生	30	22	—
	中学生	32		
指導者謝金 (円)		186,000	66,000	80,000 (2人)

2 解放子ども会活動事業

解放子ども会保護者会が行う自主活動に対し、補助金を交付した。

補助金 57,000 円

3 高校生等学級の開設

高校生以上を対象に、解放子ども会の解放学習等の開催にあわせて学習を行い、さらに差別に立ち向かう
自覚と人権尊重の意識を高めた。

参加者 1人

10-8-4 (目) 公民館人権同和教育費

単位：円

当初 予算額	1,629,000	予算 現額	1,629,000	決算額	1,516,064	前年度 決算対比	99.3%	前年度 決算額	1,526,304
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

■ 公民館人権教育推進事業

単位：円

当初 予算額	1,629,000	予算 現額	1,629,000	決算額	1,516,064	前年度 決算対比	99.3%	前年度 決算額	1,526,304
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

地域住民一人ひとりが人権問題を共通の課題として理解し、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくす意識の高揚を図る。

II 事業の成果等

市内全町で学習会を実施し、同和問題を初め、様々な人権問題についての学習を行い、延べ 3,861 人（内、初めて参加した者 590 人）が参加し、学習を深めることができた。

III 事業の実績

各町の分館に対して、町別人権問題学習会を年 2 回以上の実施を依頼し、この活動を推進するため、交付金（69 町 1,340,000 円）を交付した。

事業名	参加対象	開催回数 (回)	参加人数 (人)
町別人権問題学習会	各町区民	134	延 3,861

款	11	公	債	費
款	12	予	備	費

(款11) 公債費

単位：円

当 初 予算額	1,988,273,000	予算 現額	1,980,776,000	決算額	1,979,775,396	前 年 度 決算対比	103.4%	前年度 決算額	1,914,522,664
------------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	---------------	--------	------------	---------------

1 1－1－1 (目) 元金

単位：円

当 初 予算額	1,882,595,000	予算 現額	1,884,048,000	決算額	1,884,047,803	前 年 度 決算対比	104.9%	前年度 決算額	1,796,498,785
------------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	---------------	--------	------------	---------------

1 1－1－2 (目) 利子

単位：円

当 初 予算額	105,678,000	予算 現額	96,728,000	決算額	95,727,593	前 年 度 決算対比	81.1%	前年度 決算額	118,023,879
------------	-------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	-------------

(款12) 予備費

単位：円

当 初 予算額	20,000,000	予算 現額	6,756,274	決算額	0	前 年 度 決算対比	0.0%	前年度 決算額	0
------------	------------	----------	-----------	-----	---	---------------	------	------------	---

1 2－1－1 (目) 予備費

単位：円

当 初 予算額	20,000,000	予算 現額	6,756,274	決算額	0	前 年 度 決算対比	0.0%	前年度 決算額	0
------------	------------	----------	-----------	-----	---	---------------	------	------------	---

I 事業の目的

予算編成のときには予期しなかった、予算外の支出に対応する。

II 事業の成果等

緊急を要する事案において、早期に対応することができた。

III 事業の実績

充当先 (款)	事 業 名	予算科目 (節)	充当額 (円)
総務費	災害復旧支援事業	旅費	112, 230
総務費	公共交通対策事業	負担金補助及び交付金	5, 501, 690
総務費	賦課徴収事務費	償還金利子及び割引料	1, 908, 062
衛生費	ごみ処理施設管理事業	備品購入費 外	1, 328, 688
土木費	臥竜公園管理事業	委託料	475, 200
教育費	一般管理事務費 (事務局費)	委託料	540, 000
教育費	公民館管理事業	備品購入費	699, 840
教育費	博物館管理運営事業	工事請負費	345, 600
教育費	文化施設管理事業	備品購入費	295, 056
教育費	旧上高井郡役所管理事業	備品購入費	210, 000
教育費	体育施設管理事業	委託料	1, 827, 360
合 計			13, 243, 726

2 国民健康保険特別会計

2 国民健康保険特別会計

単位：円

当 初 予算額	5,427,536,000	予算 現額	5,417,365,000	決算額	5,249,684,479	前 年 度 決算対比	84.2%	前年度 決算額	6,234,102,172
------------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	---------------	-------	------------	---------------

(款1)総務費

単位：円

当 初 予算額	27,033,000	予算 現額	29,399,000	決算額	28,063,523	前 年 度 決算対比	76.2%	前年度 決算額	36,833,494
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

国民健康保険制度に関する事業全般の事務及び国民健康保険税の徴収事務を行う。

II 事業の成果等

事業全般の事務を円滑に実施するため、資格や給付等の管理、国民健康保険税の賦課徴収、各種申請手続きや周知のための広報等を実施した。また、平成30年度からの国保制度改革に対応し、円滑な移行や制度の安定化を図ることができた。

III 事業の実績

1 主な事務経費

(1) 委託料

国民健康保険資格システム運用サポート	(株)B S Nアイネット	194,400 円
国民健康保険資格システム保守	(株)B S Nアイネット	116,640 円
国民健康保険給付システム運用サポート	(株)B S Nアイネット	64,800 円
国民健康保険給付システム保守	(株)B S Nアイネット	77,760 円
国民健康保険電算処理業務	(株)B S Nアイネット	361,800 円
国民健康保険高額システム改修業務	(株)B S Nアイネット	918,000 円
国保実績報告システム保守	(株)電算	216,000 円
国保実績報告システム改正対応改修業務	(株)電算	324,000 円
国民健康保険資格システム運用サポート	(株)電算	865,080 円
国民健康保険給付システム運用サポート	(株)電算	77,760 円
データ連携用パソコン Java 有償サポート	(日本オラクル(株))	27,216 円
国保保険者事務電算共同処理事業手数料	(国保連合会)	2,162,700 円
第三者行為損害賠償求償給付事務共同事業手数料	(国保連合会)	42,625 円
国保情報集約システム運用手数料	(国保連合会)	1,840,780 円
国民健康保険税計算業務等委託料	(株)B S Nアイネット	3,151,440 円
国民健康保険税計算業務等委託料	(株)電算	1,874,664 円

2 国民健康保険税

(1) 課税状況(現年課税分)

区 分	医療分 (円)	支援金分 (円)	介護分 (円)	計 (円)
所得割額 ①	492,780,979	193,115,351	52,480,524	738,376,854
資産割額 ②	0	0	0	0
均等割額 ③	213,947,735	67,562,500	27,356,603	308,866,838
平等割額 ④	124,268,580	39,242,750	19,932,450	183,443,780
総課税額 ⑤	830,997,294	299,920,601	99,769,577	1,230,687,472
⑤=①+②+③+④				

区 分			医療分 (円)	支援金分 (円)	介護分 (円)	計 (円)
軽減額	均等割	7 割軽減	31, 935, 571	10, 084, 900	4, 424, 483	46, 444, 954
		5 割軽減	18, 493, 353	5, 840, 000	1, 981, 340	26, 314, 693
		2 割軽減	6, 091, 736	1, 923, 700	619, 606	8, 635, 042
	平等割	7 割軽減	22, 928, 409	7, 240, 538	3, 532, 914	33, 701, 861
		5 割軽減	9, 443, 010	2, 982, 000	1, 451, 336	13, 876, 346
		2 割軽減	2, 971, 610	938, 400	437, 154	4, 347, 164
計 ⑥		91, 863, 689	29, 009, 538	12, 446, 833	133, 320, 060	
限度超過額 ⑦		39, 482, 590	18, 967, 869	4, 426, 931	62, 877, 390	
減 免 額 ⑧		450, 500	145, 400	37, 800	633, 700	
月割増減額 ⑨		△ 2, 500, 283	△ 1, 218, 194	724, 455	△ 2, 994, 022	
減額分 計 ⑩ ⑩=⑥+⑦+⑧-⑨		134, 297, 062	49, 341, 001	16, 187, 109	199, 825, 172	
年税額 計 ⑪ ⑪=⑤-⑩		696, 700, 232	250, 579, 600	83, 582, 468	1, 030, 862, 300	
遡及課税分 ⑫		12, 140, 004	4, 518, 688	2, 916, 708	19, 575, 400	
現年調定額 ⑬ ⑬=⑪+⑫		708, 840, 236	255, 098, 288	86, 499, 176	1, 050, 437, 700	

(2) 国民健康保険税の減免状況

申請減免 125 件 2,392,000 円

条例減免 0 件 0 円 ※30 年度より廃止

(3) 滞納処分執行停止状況

30 年度中		30 年度末 累計	
件数(件)	金 額 (円)	件数(件)	金 額 (円)
2,582	56,796,486	3,972	53,342,448

(4) 不納欠損処分の状況

地方税法第 15 条の 7		地方税法第 18 条		計	
件数(件)	金 額 (円)	件数(件)	金 額 (円)	件数(件)	金 額 (円)
565	8,034,075	703	6,890,286	1,268	14,924,361

(5) 国民健康保険税の徴収状況

区分	調定額 (円)	収入済額 (円)	不納欠損額 (円)	還 付 未済額 (円)	収入未済額 (円)	収納率 (%)	前年度 収納率 (%)
現年分	1,050,437,700	996,907,724	0	69,000	53,598,976	94.90	94.65
滞繰分	232,485,893	65,241,647	14,924,361	0	152,319,885	28.06	27.02
計	1,282,923,593	1,062,149,371	14,924,361	69,000	205,918,861	82.79	82.35

(6) 短期被保険者証交付状況 239 世帯 (3 月末)

(7) 被保険者資格証明書交付状況 22 世帯 (3 月末)

3 国民健康保険の被保険者異動届出状況

増減内訳	年度中増	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		343	1,344	20	27	0	143	1,877
	年度中減	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計
		235	1,215	36	82	640	190	2,398

4 国民健康保険運営協議会開催状況

(1) 第1回開催 8月21日 12人出席

- ア 平成29年度須坂市国民健康保険特別会計決算（案）について
- イ 平成30年度須坂市国民健康保険特別会計9月補正予算（案）について
- ウ その他
 - （ア）平成29年度須坂市国民健康保険医療費の動向について
 - （イ）須坂市国民健康保険特別会計の財政見通しについて
 - （ウ）特定健康診査・特定保健指導について
 - （エ）国民健康保険運営協議会委員等研修会について

(2) 第2回開催 2月14日 11人出席

- ア 国民健康保険事業費納付金について
- イ 2019年度須坂市国民健康保険特別会計当初予算（案）について
- ウ 須坂市国民健康保険医療費等の動向について
- エ 特定健康診査・特定保健指導実施報告等について
- オ 2019年度国民健康保険の制度改正について
（賦課限度額及び低所得者に係る軽減判定所得の見直し）

(3) 委員研修

- ア 長野県と長野県国民健康保険団体連合会が主催する国民健康保険運営協議会委員研修会の参加
4人出席
時期 11月8日
研修先 茅野市 茅野市民館

5 医療費適正化特別対策事業

(1) レセプト点検の充実

- ア 長野県国民健康保険団体連合会へ業務委託 1,687,624円
委託内容 レセプトの単月点検・縦覧点検・突合点検
レセプト点検件数 一般・退職 210,953件
- イ (株)ニチイ学館へ業務委託 972,000円
委託内容 柔道整復施術療養費支給申請書の点検
点検件数 一般・退職 6,351件

ウ 再審査状況

区 分	再審査請求		決定金額 (円)	効果額 (円)
	件 数	金 額 (円)		
原 審	135	19,945,114	19,945,114	0
査 定	359	30,314,594	28,596,731	1,717,863
返 戻	22	965,326	0	
計	516	51,225,034	48,541,845	

(2) 紙レセプト検算 362件

(款2) 保険給付費

単位：円

当 初 予算額	3,922,310,000	予算 現額	3,749,978,000	決算額	3,592,379,040	前 年 度 決算対比	96.9%	前年度 決算額	3,707,159,898
------------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	---------------	-------	------------	---------------

I 事業の目的

被保険者の疾病、負傷、出産、死亡等に関して国民健康保険の給付を行う。

Ⅱ 事業の成果等

被保険者に対し国民健康保険の給付として療養の給付、療養費、高額療養費、葬祭費、出産育児一時金等を支給した。

Ⅲ 事業の実績

1 国保加入状況

(1) 全被保険者

区 分		前年度末 現 在	本 年 度 中 増 減	本年度末 現 在	年間平均
世 帯 数 (世帯)		7,053	△201	6,852	7,010
被 保 険 者 数	総 数 (人) A	11,738	△521	11,217	11,573
	退職被保険者等 (人) B	150	△112	38	101
	一般被保険者 (A-B) C	11,588	△409	11,179	11,472
介 護 2 号 被 保 険 者 数		3,568	△146	3,422	3,546

(2) 退職被保険者分 (再掲)

区 分		前年度末 現 在	本 年 度 中 増 減	本年度末 現 在	年間平均
世帯数	単 独 世 帯 (世帯)	58	△42	16	42
	混 合 世 帯 (世帯)	66	△45	21	46
退職被保 険者等数	退職被保険者 (人)	127	△89	38	90
	被 扶 養 者 (人)	23	△23	0	11
	計 (人)	150	△112	38	101

(3) 未就学児被保険者、70歳以上被保険者分 (再掲)

平成30年度末現在

区 分		未就学児被保険者	70歳以上 一般	70歳以上 現役並み所得者
一 般 被 保 険 者 (人)		279	2,775	153
退 職 被 保 険 者 等 (人)		0	0	0
	退 職 被 保 険 者 (人)	0	0	0
	被 扶 養 者 (人)	0	0	0
計 (人)		279	2,775	153

2 保険給付状況

(1) 一般被保険者分

ア 医療給付の状況

区 分		件 数 (件)	費 用 額 (円)	保険者負担分 (円)	一部負担金 (円)	他法負担分 (円)
療養の給付等		207,765	4,130,614,976	3,028,144,010	1,025,470,713	77,000,253
療 養 費 等	食事療養 ・生活療養	230		1,572,220	△1,572,220	0
	診 療 費	77	958,939	678,121	280,161	657
	補 装 具	157	4,769,099	3,483,501	1,271,153	14,445
	柔道整復師	5,301	41,783,483	30,730,751	10,782,552	270,180
	アソマ・マッサージ	260	7,176,675	5,351,844	1,743,442	81,389
	ハリ・キュウ	555	4,835,740	3,624,978	1,174,908	35,854
	そ の 他	0	0	0	0	0
	小 計	6,350	59,523,936	43,869,195	15,252,216	402,525
	移 送 費	0	0	0	0	0
計		214,345	4,190,138,912	3,073,585,425	1,039,150,709	77,402,778

イ 高額療養費の状況

区 分		世 帯 合 算 分		多数該当	長期疾病	入院分	その他	他 法 併用分	合計
		多数該当	その他						
総 数	件 数 (件)	433	2,560	896	838	1,171	879	551	7,328
	高額療養費 (円)	7,842,902	23,292,074	82,417,727	65,073,991	167,332,011	28,489,544	47,767,333	422,215,582
(再掲) 前期高齢者	件 数 (件)	259	2,476	322	343	847	811	262	5,320
	高額療養費 (円)	3,571,593	20,009,039	33,038,255	23,916,907	122,022,442	24,569,967	9,656,837	236,785,040
(再掲) 70歳以上 一般	件 数 (件)	120	2,397	64	137	541	739	216	4,214
	高額療養費 (円)	808,166	17,301,590	4,577,132	8,735,742	65,538,168	20,033,918	4,759,734	121,754,450
(再掲) 70歳以上 現役並み 所得者	件 数 (件)	5	28	6	1	16	9	0	65
	高額療養費 (円)	101,691	545,254	1,143,768	45,451	2,648,246	1,268,691	0	5,753,101
(再掲) 未就学児	件 数 (件)	0	4	1	0	3	0	10	18
	高額療養費 (円)	0	74,457	10,080	0	102,691	0	2,187,899	2,375,127

※長期高額疾病該当者数（年間平均）36人

ウ その他保険給付の状況

区 分	出産育児一時金	葬 祭 費	計
件 数 (件)	26	76	102
給 付 額 (円)	10,888,000	3,800,000	14,688,000

エ 療養の給付等内訳

区 分		件 数	日 数	費 用 額(円)
診 療 費	入 院	2,707	43,560 日	1,499,878,126
	入 院 外	110,237	162,637	1,457,295,186
	歯 科	21,077	37,690	252,371,820
	小 計	134,021	243,887	3,209,545,132
調 剤		73,607	(86,164) 枚	835,129,811
食事療養・生活療養		(2,588)	(117,137) 回	77,640,363
訪 問 看 護		137	746	8,299,670
合 計		207,765	244,633	4,130,614,976

注：()は合計に含めない。

オ 高額介護合算療養費の状況

件数 (件)	給付額 (円)
20	548,111

(2) 退職被保険者分

ア 医療給付の状況

区 分		件 数 (件)	費 用 額 (円)	保険者負担分 (円)	一部負担金 (円)	他法負担分 (円)
療養の給付等		2,001	40,439,168	28,136,151	12,111,140	191,877
療 養 費 等	食事療養 ・生活療養	1		10,500	△10,500	0
	診 療 費	0	0	0	0	0
	補装具	1	15,091	10,563	4,528	0
	柔道整復師	49	390,503	273,348	117,155	0
	アロマ・マッサージ	0	0	0	0	0
	ハリ・キュウ	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
	小 計	50	405,594	283,911	121,683	0
移 送 費		0	0	0	0	0
計		2,052	40,844,762	28,430,562	12,222,323	191,877

イ 高額療養費の状況

区 分		世 帯 合 算 分		多数該当	長期疾病	入院分	その他	他法 併用分	合計
		多数該当	その他						
総 数	件数 (件)	15	4	8	7	14	5	0	53
	高額療養費 (円)	454,887	103,955	477,693	516,673	2,870,670	409,332	0	4,833,210

※長期高額疾病該当者数 (年間平均) 0 人

ウ 療養の給付等内訳

退職被保険者分	区 分		件 数	日 数	費 用 額(円)
	診療費	入 院	29	344 日	15,660,230
		入 院 外	883	1,299	13,869,030
		歯 科	218	403	2,843,280
		小 計	1,130	1,976	32,372,540
	調 剤		597	(738) 枚	5,233,820
	食 事 療 養		(28)	(831) 回	571,978
	訪 問 看 護		0	0	0
計 A			1,727	1,976	38,178,338
被扶養者分	診療費	入 院	0	0 日	0
		入 院 外	127	150	807,920
		歯 科	53	94	582,910
		小 計	180	244	1,390,830
	調 剤		94	(106) 枚	870,000
	食 事 療 養		(0)	(0) 回	0
	訪 問 看 護		0	0	0
計 B			274	244	2,260,830
合 計 A+B			2,001	2,220	40,439,168

注：()は合計に含めない。

エ 高額介護合算療養費の状況

件数 (件)	給付額 (円)
0	0

3 高額医療費資金貸付基金運用状況

平成 30 年度中		年度末現在 (円)
貸付金額 (円)	回収金額 (円)	
0	0	30,000,000

平成 30 年度貸付件数 0 件

4 出産費資金貸付基金運用状況

平成 30 年度貸付件数 0 件

5 納付金・返納金・徴収金・加算金

(1) 事故給付に対する加害者納付金

一般被保険者 請求額 4,393,793 円、納付済額 4,388,452 円、収入未済額 5,341 円 (1 件)

退職被保険者等 請求額 0 円、納付済額 0 円、収入未済額 0 円

(2) 保険給付費返納金

一般被保険者 請求額 2,965,143 円、納付済額 2,057,321 円、収入未済額 886,304 円 (69 件)

不納欠損額 21,518 円 (1 件)

退職被保険者等 請求額 0 円、納付済額 0 円、収入未済額 0 円

(款 3) 国民健康保険事業費納付金

単位：円

当 初 予算額	1,399,285,000	予算 現額	1,398,891,000	決算額	1,398,889,508	前 年 度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
------------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	---------------	----	------------	---

I 事業の目的

平成 30 年度から都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等、国保運営の中心的な役割を担い、制度の安定化を図るため、国民健康保険事業費納付金を納付する。

II 事業の成果等

国保事業費納付金は、医療費分、後期高齢者支援金分、介護納付金分にそれぞれ算定され、保険者負担金として、長野県へ納付した。

III 事業の実績

一般被保険者医療給付費分	985,037,436 円
退職被保険者医療給付費分	8,688,995 円
一般被保険者後期高齢者支援金等分	302,882,254 円
退職被保険者後期高齢者支援金等分	2,616,847 円
介護納付金分	99,663,976 円

(款 4) 保健事業費

単位：円

当 初 予算額	70,415,000	予算 現額	69,822,000	決算額	65,779,034	前 年 度 決算対比	100.5%	前年度 決算額	65,461,685
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

保健事業を実施し被保険者の健康づくり、健康保持を図る。

平成 20 年度から特定健康診査及び特定保健指導を実施し、生活習慣病の発病や重症化を予防する。

国保保健指導事業は、受診が必要な方に重点的に保健指導を行い生活習慣病予防及び重症化予防を図る。

II 事業の成果等

保健センターを拠点に被保険者の健康づくり、健康保持のために保健事業を推進した。

第2期保健事業実施計画と第3期特定健康診査等実施計画に基づき、特定健康診査と保健指導を実施し、生活習慣病の発症予防を推進した。

須高地域で糖尿病性腎症重症化予防プログラムを策定し、特定健診受診者のうち糖尿病性腎症等による治療中で重症化するリスクの高い方に対して、主治医と連携して、保健指導を行なった。

III 事業の実績

1 特定健康診査

受診場所は、個別健診と集団健診の選択性とし、個別健診は、須高医師会の協力を得て医療機関で、集団健診は、長野県厚生農業協同組合連合会へ委託し公会堂等 13 会場（9 日間）で実施した。うち1日は、休日の午後に実施した。

- (1) 対象者 40 歳～74 歳の国民健康保険加入者
- (2) 実施期間 6 月～1 月
- (3) 受診内容 **【基本健診】** 問診、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査、聴打診
【詳細健診】 心電図検査、眼底検査
(前年度の検査結果、当日の検査値および医師の判断により実施)

(4) 受診者・受診率

対象者数（40 歳～74 歳の国保加入者） 9,540 人

受診者数 4,395 人 受診率 46.1%（特定健診実績報告値）

受診者の内訳 ア 個別健診 3,155 人 イ 集団健診 330 人 ウ 人間ドック 910 人

(5) 詳細健診受診者数

ア 心電図検査 1,213 人

イ 眼底検査 309 人

(6) 委託料 34,393,853 円

2 特定保健指導

特定健康診査の結果、肥満・血圧・脂質・血糖と問診の結果から、生活習慣改善の必要がある人に対して、対象者自身で自分の健康を見直し目標を設定し行動変容できるよう支援した。

(1) 29 年度保健指導利用者の6か月後の評価実施結果

	支援レベル	対象者数 (人)	利用人数 (人)	利用率 (%)	終了人数 (人)	終了率 (%)
40～64 歳	動機づけ	80	43	53.8	40	50.0
	積極的	96	33	34.4	11	11.5
65～74 歳	動機づけ	342	235	68.7	199	58.2
全 体		518	311	60.0	250	48.2

(2) 30 年度保健指導実施結果

	支援レベル	対象者数 (人)	利用人数 (人)	利用率 (%)	終了人数 (人)
40～64 歳	動機づけ	80	22	27.5	0
	積極的	87	24	27.6	0
65～74 歳	動機づけ	337	139	41.3	5
全 体		504	185	36.7	5

(3) 集団運動実践

ア 対象者 特定保健指導、国保保健指導対象者

イ 実施内容 健康運動指導士による運動指導

ウ 実施結果 実施回数 46 回 参加実人員 36 人 参加延人員 306 人

エ 委託料 173,880 円

- (4) 個別支援担当者会議
保健指導の内容の統一と質向上のために開催
5回開催 参加者 延 91 人

3 全自動血圧計の利用状況

市民ホール等に設置した全自動血圧計により、市民の生活習慣病予防に対する意識の高揚を図った。

全自動血圧計年間利用延人員 (本 庁) 1,527 人 (1 か月平均 127 人)
〃 (中央公民館) 1,243 人 (1 か月平均 103 人)

4 健康づくり広報の発行

広報すざかに健康だより (7 回) を掲載し、市民に対し健康に関する啓発を行った。

支出額 155,432 円

5 保健事業の推進役である保健補導員会に活動費を負担した。

(1) 保健補導員会研修費負担金

研修活動に対する負担金 3,180,000 円

保健補導員 1 人 12,000 円 現役会員 265 人分

(2) 保健補導員会広報費負担金

広報活動に対する負担金 200,000 円

保健補導員会だよりの発行

ア 発行部数 年 2 回 (9 月、2 月) 各 8,100 部

イ 配布先 隣組回覧、保健補導員経験者、現役保健補導員

(3) 保健補導員経験者研修費補助金 1 件 150,000 円

6 医療費適正化対策

(1) 受診者全員に医療費通知を送付。該当受診月 1 月～10 月

該当通知件数 27,897 件 委託料 558,940 円

(2) 先発薬と後発薬の 1 レプトの差額が 100 円以上の服薬者全員に、ジェネリック(後発)医薬品利用差額通知を送付。 該当調剤月 4 月、10 月 該当通知件数 781 件 委託料 45,356 円

(3) 重複多受診

重複服薬者 該当者 15 名 相談件数 11 名 (内訳 訪問 10 人 電話 1 人 関係機関へ確認 2 名 レセプト確認 2 名)

7 70 歳健康教室

国民健康保険高齢受給者証の交付に併せ、医療制度の説明、健康相談、健康教室を実施した。

開催回数 12 回 参加者 168 人

8 国保被保険者の健康増進のため、人間ドックを受診した 35 歳以上の被保険者に対し受診補助を行った。

対象人間ドック	上限補助額(円)	人数(人)	補助額総計(円)
半日又は 1 日	15,000	888	13,320,000
1 泊 2 日又は 2 日間通院	30,000	136	4,080,000
計		1,024	17,400,000

9 国保保健指導事業

心筋梗塞等の心血管疾患、脳梗塞等の脳血管疾患、人工透析を必要とする腎不全などへの進展や重症化を予防するために医療機関へ受診が必要な基準値に該当された方へ、受診勧奨と保健指導を実施した。

(1) 保健指導の実施

対象者	対象者数	利用人数（人）
血圧、血糖等の検査項目が 受診勧奨値の方	559	236

(2) 集団運動実践（特定保健指導事業と同時に実施）

ア 対象者	特定保健指導、国保保健指導対象者				
イ 実施内容	健康運動指導士による運動指導				
ウ 実施結果	実施回数	46 回	参加実人員	36 人	参加延人員 306 人
エ 委託料	173,880 円				

(3) 糖尿病性腎症重症化予防の取組み

特定健診受診者で、糖尿病性腎症重症化予防プログラムの対象者に対し、主治医との連携のもと、栄養士、保健師による保健指導（個別支援）を実施した。

対象者 49 人

支援開始者 12 人

(款5) 基金積立金

単位：円

当 初 予算額	193,000	予算 現額	75,265,000	決算額	75,265,000	前 年 度 決算対比	33.2%	前年度 決算額	226,729,000
------------	---------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

基金を積み立て国民健康保険事業の健全な運営を図る。

II 事業の成果等

国民健康保険事業の健全な運営のため積み立てた。

III 事業の実績

積立金 75,265,000 円

(款6) 諸支出金

単位：円

当 初 予算額	5,300,000	予算 現額	91,205,965	決算額	89,308,374	前 年 度 決算対比	470.0%	前年度 決算額	19,000,889
------------	-----------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

I 事業の実績

- 1 被保険者の前年度以前の資格喪失等に伴い国民健康保険税を還付した。

区分	還 付 金		還付加算金		合 計	
	件 数 (件)	金 額 (円)	件 数 (件)	金 額 (円)	件 数 (件)	金 額 (円)
一般分	376	3,300,600	111	102,400	487	3,403,000
退職分	0	0	0	0	0	0
合 計	376	3,300,600	111	102,400	487	3,403,000

2 療養給付費等負担金等を前年度精算により国へ返還した。また、一般会計へ繰出金等を支出した。

療養給付費等負担金返還金	74,434,646 円
療養給付費交付金返還金	10,094,763 円
特定健診等国庫負担金返還金	313,000 円
一般会計繰出金	867,000 円
未支給等給付金	195,965 円

(款7) 予備費

単位：円

当 初 予算額	3,000,000	予算 現額	2,804,035	決算額	0	前 年 度 決算対比	0.0%	前年度 決算額	0
------------	-----------	----------	-----------	-----	---	---------------	------	------------	---

I 事業の目的

予算編成のときには予期しなかった、予算外の支出に対応する。

II 事業の実績

充当先 (款)	事業名	予算科目	充当額(円)
諸支出金	未支給等給付金	負担金補助及び交付金 未支給等給付金	195,965 円

3 井上、幸高、九反田、中島財産区特別会計

3 井上、幸高、九反田、中島財産区特別会計

単位：円

当 初 予算額	7,694,000	予算 現額	8,368,000	決算額	8,162,916	前 年 度 決算対比	99.9%	前年度 決算額	8,172,351
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

1－1－1 (目)財産管理費

単位：円

当 初 予算額	7,694,000	予算 現額	8,368,000	決算額	8,162,916	前 年 度 決算対比	99.9%	前年度 決算額	8,172,351
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

財産区財産の適正な管理及び有効活用を図る。

II 事業の成果

長びく景気低迷により厳しい経営環境の中、経費節減及び資産の有効活用を図った。

III 事業の実績

1 財産区管理会 2回 7月13日・1月24日

2 財産区有地下草刈、枝打 2回 9月23日・11月11日

3 有権者研修会 9月27日 参加者 59人

4 財産の状況

- (1) 山 林 1,449,750 m²
- (2) 宅地・その他 183,286 m²
- (3) 長野森林組合出資金 20,500 円
- (4) 基金の状況

単位：円

基 金 名	29年度末現在高	30 年 度		30年度末現在高
		積 立 額	取崩し額	
井上、幸高、九反田、 中島財産区基金	200,091,000	4,838,000	0	204,929,000

5 財産の貸付状況

- (1) 裏太郎駐車場用地

契約の相手方	株式会社ハーレスキーリゾート
期 間	平成29年8月1日から平成32年7月31日（自動更新）
貸付面積	5,812 m ²
貸付料	3,113,403 円

契約の相手方	有限会社菅平サンホテル
期 間	平成29年7月1日から平成30年6月30日（自動更新）
貸付面積	2,200 m ²
貸付料	350,196 円（駐車場部分） 33,349 円（通路部分）

(2) 裏太郎スキー場用地	契約の相手方	株式会社ハーレスキーリゾート
	期 間	平成 29 年 12 月 1 日から平成 32 年 11 月 30 日（自動更新）
	貸 付 面 積	129,208 m ²
	貸 付 料	年額 1,870,540 円（ゲレンデ部分） 年額 102,300 円（保護管理部分）
(3) 峰の原ラグビー・サッカーグラウンド用地	契約の相手方	峰村山荘
	期 間	平成 28 年 9 月 1 日から平成 31 年 8 月 31 日（自動更新）
	貸 付 面 積	9,856 m ²
	貸 付 料	年額 1,000,000 円
(4) クロスカントリーコース・グラウンド用地	契約の相手方	有限会社 山光館
	期 間	平成 29 年 6 月 1 日から平成 32 年 5 月 31 日（自動更新）
	貸 付 面 積	9,860 m ²
	貸 付 料	年額 1,000,000 円
(5) その他	個人、法人貸付及び電柱・電話柱貸付料等（5 件）	
	貸 付 料 合計	214,028 円

4 介護保険特別会計

4 介護保険特別会計

当 初 予算額	4,539,301,000	予算 現額	4,468,802,000	決算額	4,270,044,223	前 年 度 決算対比	101.8%	前年度 決算額	4,196,051,566
------------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	---------------	--------	------------	---------------

(款1)総務費

単位：円

当 初 予算額	60,188,000	予算 現額	59,848,000	決算額	58,899,616	前 年 度 決算対比	92.9%	前年度 決算額	63,400,408
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

介護保険制度に関する事業全般の事務及び介護保険料の賦課徴収事務の円滑な遂行。

II 事業の成果等

第7期介護保険事業計画の初年度として、広報をはじめ、資格・給付等の管理や認定調査を実施したほか、介護保険料の賦課と適正な徴収に努めた。

III 事業の実績

1 第1号被保険者の状況（年度末現在）

年 齢 区 分	平成30年3月（人）	平成31年3月（人）
65歳以上75歳未満	7,769	7,589
75歳以上	8,115	8,367
（再掲）外国人被保険者	15	19
（再掲）住所地特例被保険者	76	84
計	15,884	15,956

2 第1号被保険者の増減（年間）の状況

区 分	計（人）	区 分	計（人）
増	754	減	683
転 入	73	転 出	95
職権復活	0	職権喪失	1
65歳到達	651	死 亡	584
適用除外	0	適用除外	0
そ の 他	30	そ の 他	3

※その他は、住所地特例者による増減者

3 介護保険料

(1) 所得段階別第1号被保険者の状況（年度末現在）

所 得 段 階	被保険者数（人）	構成比（%）	平成30年度保険料（円）
第1段階	1,671	10.48	25,700
第2段階	1,121	7.03	36,280
第3段階	1,081	6.77	39,310
第4段階	2,139	13.41	53,520
第5段階	3,037	19.03	60,480
第6段階	1,876	11.76	73,780
第7段階	1,254	7.86	77,410
第8段階	1,012	6.34	83,460
第9段階	905	5.67	86,480

所得段階	被保険者数（人）	構成比（％）	平成30年度保険料（円）
第10段階	631	3.95	96,760
第11段階	453	2.84	99,790
第12段階	267	1.67	102,810
第13段階	509	3.19	127,000
計	15,956	100.00	

※基準額（第5段階）・・・本人が住民税非課税で前年の課税年金収入等が80万円超の者

(2) 賦課等の状況

区分	特別徴収(円)	普通徴収(円)	現年分合計(円)	滞納繰越分 普通徴収(円)	年度総合計(円)
調定額累計	949,527,810	63,455,610	1,012,983,420	8,461,024	1,021,444,444
収納額累計	950,117,850	59,916,950	1,010,034,800	3,588,665	1,013,623,465
還付未済額	590,040	4,200	594,240	0	594,240
不納欠損額	0	0	0	1,578,680	1,578,680
未納額	0	3,542,860	3,542,860	3,293,679	6,836,539
減免額	0	51,400	51,400	0	51,400
収納率	100.00%	94.42%	99.65%	42.41%	99.18%

※収納率の算定は、(収納額累計－還付未済額)÷調定額累計

※滞納者数 104人（前年度 170人）

(3) 不納欠損処分の状況

件数（件）	金額（円）	人数（人）
364	1,578,680	56

(4) 減免の状況

対象者（人）	減免額（円）
5	78,320

4 要介護認定等

(1) 申請件数の状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
申請件数	170	177	176	175	209	187	192	181	166	264	145	189	2,231
取下件数	9	11	8	3	5	8	4	8	7	7	1	7	78
却下件数	0	0	2	1	0	1	1	0	1	2	0	3	11

(2) 要介護認定調査（件）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市	177	173	163	162	81	150	187	183	156	171	171	171	1,945
委託	13	15	9	0	4	11	16	13	12	11	14	11	129
計	190	188	172	162	85	161	203	196	168	182	185	182	2,074

※市については、調査員7名（嘱託3名、臨時4名）・地域包括支援センター職員により対応

※委託については、事業所・管外の官公庁により対応

5 要介護（要支援）認定者数の状況

区分	平成30年3月（人）	平成31年3月（人）
要支援1	141	168
要支援2	277	305
要介護1	504	534
要介護2	346	332
要介護3	320	321
要介護4	378	362
要介護5	226	200
計	2,192	2,222

6 委託料の状況

- (1) 介護保険システム処理業務委託料 (株)BSNアイネット 2,160,000 円
 (2) 介護保険システム保守・運用委託料 (株)BSNアイネット 1,516,320 円
 (3) 介護保険システム保守・アウトソーシング委託料 (株)電算 1,031,616 円
 (4) 介護保険制度改正に係るシステム改修委託料 (株)BSNアイネット 3,516,480 円
 // (株)電算 183,600 円
 (5) 第三者行為損害賠償求償事務共同事業委託料 (長野県国民健康保険団体連絡会へ委託) 0 円
 (6) 要介護認定調査委託料

委 託 先	認定調査委託件数 (件)			委 託 料 (円)
	在 宅	施 設	計	
(福)睦会 須坂やすらぎの園	35	0	35	105,840
長野広域連合特別養護老人ホーム須坂荘	9	0	9	27,216
(福)グリーンアルム福祉会	72	0	72	217,728
市外委託先	5	14	19	75,166
計	121	14	135	425,950

7 手数料の状況

- (1) 介護保険料口座振替手数料 67,711 円
 (2) 主治医意見書作成手数料 9,444,200 円

8 認定調査員研修の状況

認定調査に従事する者が、要介護認定調査における公平、公正かつ適切な認定調査を実施するために必要な知識技能を習得・向上させるため、県等の研修会へ出席した。

県認定調査員新規研修	4 月 18 日	参加者	3 人
県認定調査員新規研修(臨時)	7 月 25 日	参加者	1 人
県認定調査員現任研修会	12 月 5 日	参加者	13 人

9 須坂市地域密着型サービス運営委員会

開催日 7 月 18 日 【須坂市消防本部大会議室】

出席委員 17 人中 15 人

議事内容 (1) 地域密着型サービス事業所の指定状況について
 (2) 地域密着型サービス事業所への運営指導の実施について
 (3) 第七期介護保険事業計画における、地域密着型認知症対応型共同生活介護施設について

10 広報等の状況

毎月 65 歳到達予定者への介護保険制度説明会の開催 対象者 647 名 出席者 220 名 (34.0%)
 4 月 「安心を支える介護保険」パンフレットを作成し、介護サービス利用者等に随時配付
 10 月 「須坂市の介護保険事業の運営状況」について広報すざかに掲載

(款2) 保険給付費

単位：円

当 初 予算額	4,207,228,000	予算 現額	4,078,350,000	決算額	3,900,686,769	前 年 度 決算対比	101.5%	前年度 決算額	3,841,175,799
------------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	---------------	--------	------------	---------------

I 事業の目的

被保険者に適正な介護サービスの提供を図る。

II 事業の成果等

要介護、要支援と認定した被保険者に対し、保険給付を行った。

III 事業の実績

1 居宅介護（予防）サービス受給者の状況（3月審査分）

区 分	平成 30 年 3 月（人）	平成 31 年 3 月（人）
計	1,379	1,357

2 地域密着型（予防）サービス受給者の状況（3月審査分）

区 分	平成 30 年 3 月（人）	平成 31 年 3 月（人）
計	424	413

3 施設介護サービス受給者の状況（3月審査分）

区 分	平成 30 年 3 月（人）	平成 31 年 3 月（人）
介護老人福祉施設	219	213
介護老人保健施設	192	193
介護療養型医療施設	31	24
介護医療院	0	0
計	442	430

4 食費、居住費に係る負担限度額認定件数（年度末現在）

区 分	平成 30 年 3 月（件）	平成 31 年 3 月（件）
利用者負担第3段階	242	241
利用者負担第2段階	110	102
利用者負担第1段階	6	8
計	358	351

5 介護老人福祉施設旧措置入所者に係る減額、免除認定件数（年度末現在）

区 分	特定負担限度額（件）		利用者負担（件）	
	食費	居住費	減額	0
利用者負担第3段階	0	0	免除	0
利用者負担第2段階	1	1	計	0
老齢福祉年金受給者等	0	0		
合 計	1	1		

※介護保険制度前の費用徴収額を上回らないようにしているため食費と居住費の段階が異なる場合がある。

6 保険給付の状況

(1) 介護給付、予防給付（ ）内は昨年度

区 分	件数	費 用 額（円）	支 給 額（円）
訪問通所サービス	16,862 (17,002)	950,536,670 (987,234,422)	844,565,515 (880,619,032)
短期入所サービス	3,068 (3,258)	308,769,693 (339,712,419)	275,626,363 (303,808,063)
地域密着型サービス	5,383 (5,255)	896,243,126 (835,180,388)	797,748,069 (744,511,841)
特定施設入居者生活介護	609 (426)	109,599,460 (71,462,408)	97,265,512 (63,901,462)
その他の居宅サービス	26,467 (26,829)	315,751,304 (316,697,147)	301,923,323 (303,583,572)
福祉用具購入費	229 (214)	5,119,618 (5,015,402)	4,550,839 (4,480,375)

区 分	件数	費 用 額 (円)	支 給 額 (円)
住宅改修費	121 (117)	12,789,819 (12,083,203)	11,409,311 (10,711,498)
施設介護サービス費	5,252 (5,253)	1,525,019,088 (1,481,485,981)	1,366,470,769 (1,326,642,381)
介護老人福祉施設	2,641 (2,592)	703,118,686 (677,131,581)	629,468,800 (605,504,678)
介護老人保健施設	2,302 (2,319)	708,184,108 (679,714,718)	635,160,671 (609,072,992)
介護医療院	0	0	0
介護療養型医療施設	309 (342)	113,716,294 (124,639,682)	101,841,298 (112,064,711)
合 計	57,991 (58,354)	4,123,828,778 (4,048,871,370)	3,699,559,701 (3,638,258,224)

(2) 高額介護（予防）サービス費 （ ）内は昨年度

区 分	件数	支 給 額 (円)
利用者負担第5段階	0 (43)	0 (449,559)
利用者負担第4段階	923 (1,058)	14,150,753 (13,191,282)
年間高額・年間事業 高額サービス費	23	563,604
利用者負担第3段階	1,575 (1,411)	9,602,035 (9,030,368)
利用者負担第2段階	3,872 (3,939)	46,977,132 (46,863,830)
利用者負担第1段階	86 (62)	1,063,148 (560,643)
合 計	6,459 (6,513)	71,793,068 (70,095,682)

(3) 高額医療介護（予防）合算サービス費 （ ）内は昨年度

区 分	件数	支 給 額 (円)
現役並み所得者（上位所得者）	0 (8)	0 (187,057)
一般	7 (40)	181,515 (791,027)
低所得者Ⅱ	44 (87)	1,618,115 (2,349,908)
低所得者Ⅰ	82 (223)	1,951,563 (6,600,743)
計	133 (358)	3,751,193 (9,928,735)

(4) 特定入所者介護（予防）サービス費 （ ）内は昨年度

区 分	件数	支 給 額 (円)
食費	3,873 (3,794)	80,370,493 (79,612,340)
居住費（滞在費）	2,864 (2,805)	41,899,180 (39,890,540)
計	6,737 (6,599)	122,269,673 (119,502,880)

- 7 手数料の状況 ()内は昨年度
審査支払手数料 3,313,134 円 (3,340,278 円)

8 地域密着型サービス事業所の指導

集団指導 平成 31 年 3 月 25 日実施 31 事業所 34 名 事業所運営に必要な事務手続き、社会保険
労務士による労務管理に関するセミナー

実地指導 8 事業所 ((介護予防) 認知症対応型共同生活介護、(介護予防) 小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護)

(款 3) 地域支援事業費

単位：円

当 初 予算額	261,209,000	予算 現額	255,891,000	決算額	245,947,751	前 年 度 決算対比	106.3%	前年度 決算額	231,461,441
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	--------	------------	-------------

■ 介護予防・生活支援サービス事業

単位：円

当 初 予算額	133,696,000	予算 現額	137,707,000	決算額	135,010,772	前 年 度 決算対比	111.2%	前年度 決算額	121,393,744
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

予防給付のうち訪問介護、通所介護について、地域の実情に応じた取り組みができるよう地域支援事業へ移行された。要支援認定を受けた者・基本チェックリスト該当者（事業対象者）を対象に適切な介護予防サービスを提供し、活動的な生活が送れるように支援する。

II 事業の成果等

事業対象者については、基本チェックリストにより訪問型サービス・通所型サービスを受けることができるようになり、スムーズなサービスの実施につながっている。通所型サービスについては指定事業者による実施のほか委託事業での実施など、多様なサービスの提供を行った。

III 事業の実績

1 介護予防・日常生活支援総合事業の対象者の状況

基本チェックリスト実施者数 248 人（うち総合事業対象者数 248 人）

2 事業者指定によるサービス事業

区 分	件数 (件)	支 給 額 (円)
訪問型サービス (従前相当)	1,023	15,282,663
訪問型サービス A (緩和した基準)	390	8,270,388
通所型サービス (従前相当)	2,467	56,464,708
通所型サービス A (緩和した基準)	426	15,039,734
合 計	4,306	95,057,493

3 委託による通所型サービス事業

委託料 27,159,000 円

各教室等を委託し、要支援認定を受けている者及び事業対象者で運動器の機能向上、認知機能低下予防、閉じこもり予防、うつ予防及び支援が必要な方へサービスを提供した。

事業名	委託先	金額(円)	開催場所	実施回数 (回)	実人数 (人)	延人数 (人)
はつらつ若返り 教室	(福)睦会 総合 福祉施設 須坂 やすらぎの園	2,484,000	日滝地域公民館	46	14	347
			旭ヶ丘ふれあいプ ラザ	46	17	415
	(株)ケアネット長 野サービスセン ター	1,288,000	ケアネット長野第 1 サービスセンタ ー	46	11	243
	(福)グリーンア ルム福祉会	2,484,000	高甫地域公民館	46	11	303
			グリーンアルム	46	17	401
	(株)長電スイミン グスクール須坂	3,680,000	人権交流センター (2回)	92	18	432
			ながでんスイミン グスクール	46	8	275
筋力向上トレー ニング「いきいき 教室」	(株)ケアネット長 野サービスセン ター	1,656,000	ケアネット長野第 1 サービスセンタ ー	46	13	175
認知症予防「脳げ んき教室」	(福)睦会 総合 福祉施設 須坂 やすらぎの園	2,484,000	中央公民館	46	15	247
			やすらぎふれあい センター	46	8	275
	(福)須坂市社会 福祉協議会	1,196,000	仁礼コミュニティ センター	46	10	312
	NPO 法人 良風来	1,196,000	日野地域公民館	46	13	266
生きがい活動支 援通所事業「ミニ デイサービス」	(福)須坂市社会 福祉協議会	10,691,000	くつろぎ荘	190	54	1,523
合 計		27,159,000		788	209	5,214

4 委託の教室における担当者会議の出席及び個別計画書の作成

委託料 498,500 円

担当者会議の出席 実数 144 件

個別計画書の作成 実数 113 件

5 訪問型サービス

事業名	従事職員	実人員 (人)	延人員 (人)
短期集中型訪問指導	保健師、看護師等	1	7
訪問指導	保健師、看護師等	55	141
合 計		56	148

6 介護予防ケアマネジメント業務

委託料 4,947,100 円

介護予防・生活支援サービス事業利用者のケアプラン作成件数 実数 594 件

(居宅介護支援事業所への委託分を含む) 延数 4,209 件

委託内訳

事業所名	延件数 (件)	金 額 (円)
総合福祉施設 須坂やすらぎの園	155	679,000
居宅介護支援事業所 須坂荘	100	442,500
須坂市社会福祉協議会居宅介護支援事業部	89	385,200

事業所名	延件数(件)	金額(円)
須坂市社会福祉協議会ぬくもり園居宅介護支援事業部	152	663,600
ケアネット長野サービスセンター	41	188,800
グリーン在宅介護支援センター	331	1,458,300
轟居宅介護支援事業所	44	194,200
居宅介護支援事業所 たのし家	34	151,200
居宅介護支援事業所 豊洲	52	228,600
居宅介護支援事業所 STARS	21	100,300
居宅介護支援事業所 かえですぞか	5	21,500
居宅介護支援事業所 しらかば	45	201,000
居宅介護支援事業所 かえで	31	133,300
こもれび指定居宅介護支援事業所	22	99,600
合 計	1,122	4,947,100

7 その他のサービス費

- (1) 高額サービス費 26件 90,345円
(2) 高額医療合算サービス費 1件 2,022円

■ 介護予防ケアマネジメント事業

単位：円

当初 予算額	10,239,000	予算 現額	7,789,000	決算額	6,643,431	前年度 決算対比	73.8%	前年度 決算額	8,998,013
-----------	------------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を維持することができるように、要介護状態になることをできる限り予防するため、ケアマネジメント作成業務を行う。

II 事業の成果等

介護支援専門員、保健師の確保ができ、在宅介護支援システムを活用し適切な給付管理事務を行うことができた。

III 事業の実績

1 在宅介護支援システムの保守点検業務委託

4月～9月	委託業者	(株)BSNアイネット上越支社
	委託料	330,480円
10月～3月	委託業者	(株)電算
	委託料	104,328円

■ 一般介護予防事業

単位：円

当初 予算額	11,534,000	予算 現額	11,462,000	決算額	10,961,990	前年度 決算対比	135.8%	前年度 決算額	8,074,347
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

高齢者の介護予防に関する理解を深めるとともに、介護予防に関するボランティアの育成及び活動支援を行うことにより、高齢者になっても生きがいや役割をもって生活できる地域を目指す。

II 事業の成果等

地域リハビリテーション活動支援事業をリハビリテーション専門職が関与し実施することで、地域における

介護予防の取り組みの強化を図った。また、介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業を実施することにより、介護予防（ロコモティブシンドロームや認知症予防等）に関する知識の普及と参加者の生活の質の向上を図った。

Ⅲ 事業の実績

1 介護予防把握事業

区 分	基本チェックリスト 実施者数（人）	介護予防が必要な 支援者数（人）
教室・相談等	932	443

2 介護予防普及啓発事業

(1) 教室関係

事 業 名	開催場所	回数(回)	延人数（人）
さわやか貯筋教室 65 歳以上の方を対象に転倒予防の体操や介護予防に関する講話などを実施 【株長電スイミングスクール須坂へ委託 委託料 3,384,000 円】	老人福祉センター 人権交流センター シルキーホール	72	1,560
65 歳健康教室	保健センター等	12	220
高齢者健康教室	保健センター等	12	589
老人会等健康講座	各町公会堂等	28	944
ひとり暮らし高齢者交流会食会健康教育	老人福祉センター等	2	98
すこやかふれあい広場	旭ヶ丘ふれあいプラザ	100	1,293
合 計		226	4,704

(2) 相談等

事 業 名	開催場所	回数（回）	延人数（人）
健康相談	各町公会堂等	13	130

3 地域介護予防活動支援事業

事 業 名	回数（回）	実人数（人）	延人数（人）
介護予防サポーター養成教室	6	24	136
パワーアップ研修	6	65	185

4 地域リハビリテーション活動支援事業

区 分	実施回数（回）	延人数（人）
住民運営の通いの場への関与	18	258

■ 総合相談事業

単位：円

当 初 予算額	11,903,000	予算 現額	11,896,000	決算額	11,710,486	前 年 度 決算対比	100.8%	前年度 決算額	11,617,025
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

高齢者が住み慣れた地域で生活をしていくうえで必要な介護保険サービス、医療サービス、生活援助サービス、地域のインフォーマルなサービス等について情報を提供する。また、相談、訪問、関係機関との連絡調整を通して総合的な支援を行う。

II 事業の成果等

介護に関する総合的な相談に応じ、各種サービスの連絡調整を図るとともに、様々な機関と連携しながら、問題解決へ向けての取り組みをした。

Ⅲ 事業の実績

1 総合相談

(1) 総合相談内容別状況

	内 容	件 数 (件)		方 法 (件)	
相 談	実態把握	1,921	3,726	来 所 648 電 話 2,433 訪 問 1,321 その他 443	
	在宅サービス利用	865			
	介護相談	107			
	疾病・医療	177			
	施設・病院関係	118			
	心理的問題	9			
	経済的・生活問題	68			
	介護支援専門員支援	40			
	虐待・権利擁護	87			
	認知症関係	195			
	地域ケア会議	1			
	その他	138			
連 絡 調 整	本人・家族	187	1,119		
	病院・施設関係	186			
	民生児童委員	22			
	介護予防・地域支え合い事業	228			
	各地域在介等	15			
	居宅介護支援事業所	413			
	その他	68			
対 応 総 件 数		4,845			

(2) 施設別相談状況

市内3か所の在宅介護支援センター等に、介護相談受付、訪問調査、後期高齢者実態調査等、地域からの相談受付窓口としての業務を委託した。

施設名	委託先	件数 (件)	割合 (%)	金額 (円)
地域包括支援センター		4,447	91.8	
在宅介護支援センター須坂やすらぎの園	(福)睦会総合福祉施設 須坂やすらぎの園	65	1.3	2,400,000
長野広域連合特別養護老人ホーム須坂荘	長野広域連合特別養護 老人ホーム須坂荘	261	5.4	2,400,000
グリーン在宅介護支援センター	(福)グリーンアルム福祉会	72	1.5	2,400,000
合 計		4,845	100.0	7,200,000

(3) 地域包括支援センター業務連絡会

開催回数 (回)	出席者数 (人)
12	延 113

2 須坂市地域包括支援センター運営協議会

開催日 7月18日 【須坂市消防本部大会議室】

出席委員 17人中15人

議事内容 (1) 平成29年度事業報告について
(2) 平成30年度事業計画について
(3) 平成29年度地域支援事業決算及び平成30年度地域支援事業予算について

3 地域ケア会議

開催日	出席者数（人）	内 容	場 所
10月23日	3	小規模多機能型居宅介護施設における対応について	悠々オアシス
11月14日	11	峰の原高原地区の高齢者の生活について	ペンション四季
12月10日	6	厚生労働大臣が定める回数以上の訪問介護を位置づけた居宅介護サービス計画の届け出に係る検討会議	須坂市役所
1月9日	5		
2月6日	4		

※その他個別ケースの会議 9回開催（出席者延人数 74人）

■ 権利擁護事業

単位：円

当 初 予算額	630,000	予算 現額	338,000	決算額	61,767	前 年 度 決算対比	124.4%	前年度 決算額	49,666
------------	---------	----------	---------	-----	--------	---------------	--------	------------	--------

I 事業の目的

高齢者の人権擁護に関する啓発に努めるとともに、高齢者に対する虐待の防止や早期発見のために関係機関と連携を図る。成年後見制度についての情報提供及び高齢者の権利擁護の支援を行う。

II 事業の成果等

処遇困難ケースや虐待・権利擁護に関するケースに関わり支援をした。

III 事業の実績

1 虐待に関する相談・支援（相談等の分類のため実際に虐待ありと判断した数ではない）

相談・支援	実件数（件）	虐待の類型※重複あり（件）				
		身体的	放棄	心理的	性的	経済的
新規相談・通報	13	10	1	3	0	1
継続支援	6	3	1	1	0	1

※養介護施設従事者による虐待相談1件を含む。

2 権利擁護に関する相談・支援

相談・支援	実件数（件）	相談内訳
新規相談	7	成年後見制度関係4件、金銭管理2件、保証人関係1件
継続支援	3	成年後見制度関係1件、金銭管理2件

3 高齢者虐待防止研修会（兼介護支援専門員研修会）

開催日 2月14日 【中央公民館】

参加者 118人

内容 講演会 「介護家族を支える視点」

講師 長野大学 社会福祉学部

准教授 端田 篤人 氏

4 成年後見制度利用支援事業

市長申立 1件

■ 包括的・継続的ケアマネジメント事業

単位：円

当 初 予算額	282,000	予算 現額	282,000	決算額	217,126	前 年 度 決算対比	92.8%	前年度 決算額	233,891
------------	---------	----------	---------	-----	---------	---------------	-------	------------	---------

I 事業の目的

介護支援専門員や主治医等との多職種協働や、地域の関係機関との連携を通じてケアマネジメントの支援を行う。介護支援専門員のネットワークをつくり、専門職としての質の向上を図る。

II 事業の成果等

地域の介護支援専門員に対して、日常的個別支援や相談、支援困難事例への助言等を行った。また、介護支援専門員研修会、介護支援専門員業務連絡会を定期的に開催し、専門職としての知識及び技術の向上、情報交換等を行った。

III 事業の実績

1 介護支援専門員研修会

開催日	内容	講師	出席人数（人）
6月19日	摂食嚥下障害について～嚥下機能評価・訓練と在宅ケアマネとの連携～	県立信州医療センター 主任言語聴覚士 北田将広 氏	46
7月26日	排尿・排便障害について	宮下医院 院長 宮下大輔 氏 須高訪問看護ステーション 看護師 中沢里美 氏	52
9月11日	パーソナル障がい、コミュニティ障がい等を持つ利用者への関わり・自立支援に向けてのプラン作成や支援方法について学ぶ	新潟医療福祉大学 准教授 河野聖夫 氏	50
10月16日	事例を通して自立支援に向けたプラン作成を学ぶ		33
11月20日			34
2月14日	介護家族を支える視点 (高齢者虐待防止研修会)	長野大学 社会福祉学部 准教授 端田篤人 氏	55
延出席人数			270

2 介護支援専門員業務連絡会

開催回数（回）	出席者数（人）
6	延 160

3 介護支援専門員個別支援 40回

■ 任意事業

単位：円

当初 予算額	80,634,000	予算 現額	75,389,000	決算額	72,747,779	前年度 決算対比	97.7%	前年度 決算額	74,496,554
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

地域の実情に応じた様々な事業を行うことで、高齢者が住み慣れた地域で安心した暮らしを継続することを支援する。

II 事業の成果等

1 おおむね 65 歳以上の寝たきり及び認知症のある高齢者、重度の心身障がい者を在宅で介護している者を対象に、介護体験、健康相談、介護技術、各種保険福祉制度等の知識・技術の取得、学習機会を提供するとともに介護者同士の交流を図った。

2 介護相談員派遣事業では、4名の介護相談員が市内の特別養護老人ホーム5施設、老人保健施設2施設、グループホーム5施設を月2回、2人1組で訪問し利用者等との面談や施設サービスの現状把握を行った。また、毎月1回介護相談員全体会議を開催して、活動状況報告と意見交換を実施し、活動に伴う助言や情報提供を行うことができた。

- 3 寝たきり高齢者等家族介護者の労をねぎらい、家族介護慰労金を支給した。
- 4 居宅介護支援事業所7事業所のケアプラン点検を行い、ケアプランの質の向上と介護給付費の適正化を図った。
- 5 緊急通報システム事業や「食」の自立支援事業等を行うことにより、ひとり暮らし高齢者等が在宅で安心して生活できるための支援を行った。
- 6 要介護認定を受けた寝たきり及び認知症の方を対象に、おむつ給付券を給付した。

Ⅲ 事業の実績

- 1 家族介護者交流事業（(福)須坂市社会福祉協議会へ委託） 委託料 190,615 円
家族を介護している介護者の孤独感の解消や交流の場を設ける。また、相談業務を行い介護者の負担を軽減する。

実施日	内 容	参加者(人)
7月11日	湯っ蔵んどに於いて、講演「イスハチ太極拳」	12
11月7日	別所温泉「旅館花屋」へ(昼食会、入浴)→徒歩で北向観音→安楽寺拝観	14

- 2 介護教室 委託料 120,000 円

実施日	内 容	主催	参加者 (人)	内訳 (円)
5月22日	事例から介護保険の利用について考えよう 会場：保健センター	須坂市地域包括支援センター	9	
6月25日	排泄介助について 会場：県立信州医療センター	(福)睦会総合福祉施設 須坂やすらぎの園	13	20,000
7月19日	認知症の介護を考えよう 会場：中央公民館	県立信州医療センター	23	
8月24日	聞いてみよう 認知症のケア ～本人の思い・家族の本音・つながりあえる地域～ 会場：保健センター	須坂市地域包括支援センター	30	
9月10日	どうすれば眠れる？ 眠れない理由のあれこれ 会場：保健センター	(福)グリーンアルム福祉会	27	20,000
10月15日	血圧はどうして高くなるの？ ～知ろう、血圧のこと、身体のこと～ 会場：県立信州医療センター	長野広域連合 特別養護老人ホーム須坂荘	19	20,000
11月16日	高齢者に多い皮膚のトラブルの 対処法・ケアを学びましょう 会場：県立信州医療センター	県立信州医療センター	35	
12月13日	アロマ足浴で心も体もあたたまりませんか 会場：県立信州医療センター	(福)睦会総合福祉施設 須坂やすらぎの園	22	20,000
1月18日	転倒予防について～高齢者になると転びやすくなるのはなぜ？～ 会場：県立信州医療センター	長野広域連合 特別養護老人ホーム須坂荘	29	20,000
2月15日	血液検査で見る糖尿病との付き合い方 会場：保健センター	(福)グリーンアルム福祉会	27	20,000
		計	234	120,000

※ 在宅介護支援センター等3か所へ委託

※ 県立信州医療センターは共催事業として開催

3 高齢者住宅等安心確保事業(シルバーハウジング生活援助員派遣事業)

シルバーハウジングの入居者に対して生活指導・相談・安否の確認、緊急時の対応を必要に応じて提供する。

((福)須坂市社会福祉協議会へ委託)

委託料 2,143,000 円

- (1) シルバーハウジング入居者 (18 戸) 19 人
- (2) ふれあいサロンの開催 (延べ参加人数 54 人) 11 回
- (3) 緊急システム作動件数 (電話対応 1 件、水センサー 5 件、誤報 11 件) 17 件
- (4) 支援事業

支援内容	件数・回数
安否確認	0 件
生活指導・相談	0 回
一時的家庭援助	1 件
家族へ連絡	7 回
関係機関等との連絡	14 回

4 介護相談員派遣事業

- 4 月～3 月 4 人の相談員による訪問活動と毎月 1 回の全体会議を開催、延べ訪問回数 132 回
- 2 月 28 日 地域密着型特別養護老人ホームぬくもりで 3 者による意見交換会
- 3 月 27 日 地域密着型特別養護老人ホームそのさとで 3 者による意見交換会

5 家族介護支援事業

介護度 3 以上で認定された者を 3 か月以上同居し介護している方、若しくは同居に準ずる方へ月額 8,000 円を支給した。

	要 介 護 3		要 介 護 4		要 介 護 5	
	人 数(人)	給 付 額(円)	人 数(人)	給 付 額(円)	人 数(人)	給 付 額(円)
3 か月	11	264,000	2	48,000	6	144,000
4 か月	13	416,000	9	288,000	6	192,000
5 か月	10	400,000	9	360,000	5	200,000
6 か月	20	960,000	7	336,000	6	288,000
7 か月	13	728,000	15	840,000	10	560,000
8 か月	12	768,000	4	256,000	4	256,000
9 か月	10	720,000	11	792,000	2	144,000
10 か月	13	1,040,000	13	1,040,000	5	400,000
11 か月	13	1,144,000	10	880,000	2	176,000
12 か月	42	4,032,000	30	2,880,000	23	2,208,000
合 計	157	10,472,000	110	7,720,000	69	4,568,000
対象者数 336 人 支給額 22,760,000 円						

6 介護給付等費用適正化事業

居宅介護支援事業所に対し、ケアプランの質の向上と介護給付費の適正化を図るため指導を行った。
事業を適切に実施するため、本事業に精通した長野県介護支援専門員協会に講師派遣を依頼した。
訪問事業所 7 事業所 講師謝礼 165,000 円

7 緊急通報システム事業

ひとり暮らし高齢者等の急病・災害等、緊急における連絡及び日常生活における相談を行い、救急及び救助活動を円滑に進め、高齢者等の福祉の増進を図った。

設置台数 32 台、撤去台数 34 台 (累計設置台数 262 台)

保守点検委託料 3,906,240 円（富士通ソーシャルライフシステムズ㈱へ委託）
 通報件数（誤報・連絡通報を除く） 緊急ボタン・無線ペンダントによる通報 14 件
 生活リズムセンサーによる通報 4 件

8 「食」の自立支援事業

委託料 25,037,922 円

65 歳以上の高齢者等で、虚弱、心身の障がい、傷病等の理由により食事の調理が困難な方に、配食サービスを行い栄養の偏りがちな食生活の改善を図り、併せて安否確認を行う。

事業の内容	委託先	金額（円）
配食数 ご飯とおかず 1 食 410 円 18,555 食 おかずのみ 1 食 360 円 18,718 食 計 37,273 食 利用実人数 160 人	(福)須坂市社会福祉協議会 若松屋 共同組合須坂給食センター	配達委託 10,691,892 給食製造委託 7,098,780 7,247,250

9 おむつ券給付事業

要介護認定を受けた寝たきり及び認知症の方を対象に、おむつ給付券を給付した。（年 48 枚）

（要介護 3 1,050 円、要介護 4・5 で市民税非課税世帯 1,500 円）

申請者数 584 人 利用数 14,890 枚

事業費 16,454,557 円

■ 在宅医療・介護連携推進事業

単位：円

当初 予算額	4,503,000	予算 現額	4,235,000	決算額	3,992,848	前年度 決算対比	104.8%	前年度 決算額	3,808,165
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

市町村が主体となり郡市医師会等と連携し、住民が安心して医療・福祉・介護サービスを受けられるための在宅医療・介護連携の推進に取り組む。

II 事業の成果等

リビング・ウィルの普及啓発、地域の医療・福祉・介護の資源の把握のための冊子改訂版の発行、医療・福祉・介護等の多職種連携の推進、須高地域リハビリテーション連絡会の発足、住民への普及啓発、在宅療養 24 時間サポート体制の運用等に取り組んだ。

III 事業の実績

1 在宅医療福祉介護の推進

(1) 第 2 専門委員会（在宅医療福祉介護）の定例開催 11 回開催 県立信州医療センター講堂

4 月 19 日 5 月 17 日 6 月 21 日 7 月 19 日 9 月 20 日 10 月 18 日 11 月 15 日

12 月 20 日 1 月 17 日 2 月 21 日 3 月 20 日

(2) 須高地域医療福祉を考える集い 9 月 22 日 須坂市メセナホール（小ホール）参加者 307 人

テーマ 「在宅で看取りができる地域をめざして」

ア 講演 「『い（生・逝）きかた』は自分で決める～私たちが行うアドバンス・ケア・プランニング～」

講師 終活ジャーナリスト 金子稚子 氏

イ オリジナル寸劇「リビング・ウィルってなあに？」

(3) 冊子「須高地域で安心して医療・福祉・介護が受けられるために」一部改訂

内容の見直しを行い、7 月に改訂版を発行

須高地域の関係機関等へ配付、地域内外の希望者に配布

- (4) 「リビング・ウィル～生前の意思表示～」(携帯カード付)、看取りに関する普及啓発
- ア 須高地域の病院、訪問看護ステーション、居宅介護事業所、市役所等を通じリーフレット配布
エンディングノート活用講座(地域包括支援センターと公民館の共催)での紹介
「須高地域医療福祉を考える集い」での寸劇による紹介・配布
 - イ 須高三市町広報誌への特集掲載による普及・啓発(広報須坂は9月号)
 - ウ 訪問看護ステーション、居宅介護事業所等職員の学習会等で配付
- (5) 医療・介護関係者の研修(各種研修会の実施等)
- ア 多職種研修会
 - (ア) 食支援に関する研修会(事例紹介と講演)
 - 12月20日 県立信州医療センター講堂 出席者70人
 - 事例紹介発表者 新生病院 管理栄養士、須坂やすらぎの園 作業療法士
 - 演題 「健康余命と口腔/摂食～口腔・摂食・栄養を取り入れた包括ケアシステム～」
 - 講師 信州大学医学部歯科口腔外科学教室 教授 栗田浩 氏
 - (イ) 事例検討会(事例紹介とグループワーク)
 - 1月17日 県立信州医療センター講堂 出席者47人
 - テーマ 「リハビリテーション専門職、訪問介護・通所介護関係職員が生活支援上の課題からみた多職種連携について」
 - 事例紹介発表者 県立信州医療センター 理学療法士、高山村社会福祉協議会 介護士
- (6) 医療・介護関係者の情報共有の支援
- ア 須高地域医療・福祉施設栄養関係職員連絡会
 - 12月20日 県立信州医療センター講堂 出席者14人
 - 内容 須高地域栄養サマリー、食形態一覧を活用しての改善点・成果・課題等について
 - イ 須高地域リハビリテーション連絡会(5月発足)
 - 第1回 5月7日 県立信州医療センター講堂 出席者20人
 - 内容 情報交換・意見交換、診療報酬・介護報酬の改定について
 - 第2回 11月22日 県立信州医療センター講堂 出席者19人
 - 内容 共通サマリー様式について、情報交換・意見交換
 - 研修会 3月19日 県立信州医療センター講堂 出席者39人
 - 内容 心不全～心臓リハビリテーションについて～
 - 演題 「心不全について～おさえておきたい基礎知識～」
 - 講師 県立信州医療センター 第一循環器内科部長 丸山隆久 氏
 - 県立信州医療センター 理学療法士による心臓リハビリテーションの紹介
- (7) 在宅療養24時間サポート体制(須高在宅ネットワーク)
- 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進と医療・介護関係者の情報共有の支援
情報共有システム(在宅医療安心ネット)を活用した在宅療養の24時間サポート体制の運用
- (8) 在宅医療安心ネット運用状況
- 参加機関：須高地域の3病院、18診療所、6訪問看護事業所、11居宅介護支援事業所
登 録 者：102人(うち須坂市47人)

2 その他

- (1) 「地域医療福祉ネットワークの窓」の掲載(再掲)
- 広報すざかに「地域医療福祉ネットワークの窓」を掲載し、須高地域の医療・福祉・介護情報等を紹介(7.8.9.10月)

■ 生活支援体制整備事業

単位：円

当初 予算額	4,120,000	予算 現額	4,120,000	決算額	2,157,221	前年度 決算対比	85.1%	前年度 決算額	2,535,410
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

地域の資源を活用し、地域の活性化及び互助によるコミュニティの構築を促進するために集い場創造事業を行う団体等に対し、補助金を交付する。

生活支援コーディネーターを配置し、地域の中で支え合いによるサービスを提供できる体制を整備する。

II 事業の成果等

地域ニーズと担い手を把握し、必要なサービスをマッチングさせるため、地域のサロンへ出向き、ニーズ調査等を行う。

サロン情報などを含む「地域助け合い情報」の更新を行った。

III 事業の実績

- 生活支援基盤整備業務の委託（(福)須坂市社会福祉協議会へ委託） 委託料 2,149,521 円
高齢者の介護予防・生活支援体制の整備を推進することにより、高齢者に限らず生活支援が相互になされる地域づくりを図るため、地域ニーズと担い手を把握し、必要なサービスをマッチングさせることができるよう、生活支援コーディネーターを設置し、基盤整備を行った。

- 須坂市生活支援ネットワーク会議講師打ち合わせ

7月13日 信州大学

- 地域ケア会議へ参加

開催日	出席者数（人）	内容	場所
11月14日	11人	峰の原高原地区の高齢者の生活について	ペンション四季

- 地域包括支援センター業務連絡会へ参加 9回

- 地域ニーズと担い手を把握するため、地域のサロンへ出向き、ニーズ調査等を行う。

実施日	サロン名	会場
4月12日	ランチサロン	茶房てらす
4月19日	米持町ふれあいサロン	米持町公会堂
4月25日	亀倉ふれあいサロン	亀倉町公会堂
5月10日	八重森サロン	八重森町公会堂
6月1日	大谷町ふれあいサロン	大谷町研修センター
6月22日	サロン代表者会議	シルキーホール
7月23日	相森町ふれあいサロン	相森町公会堂
8月1日	北横町ぬくもりの会	北横町公会堂
12月5日	豊丘サロン	旧JA豊丘支所
1月10日	50サロン	南小河原公会堂
2月20日	野辺町サロン	野辺町公会堂

- サービスのマッチング

豊丘サロンを拠点とした買い物支援（移動販売）の検討、調整を行った。

7 社会福祉協議会支部総会へ参加し、ニーズ調査を行う。

開催日	支部名	会場
4月6日	旭ヶ丘 総会	旭ヶ丘ふれあいプラザ
4月13日	東部 総会	太子町公会堂
5月19日	上部 総会	上中町公会堂
5月19日	豊丘 総会	豊丘地域公民館
5月21日	日野 総会	日野地域公民館
5月29日	井上 総会	井上地域公民館
6月4日	日滝 総会	大谷町研修センター
6月22日	西部 総会	立町公会堂
6月26日	仁礼 総会	仁礼コミュニティーセンター
6月28日	豊洲 総会	豊洲地域公民館
9月6日	東部 役員会	太子町公会堂
11月13日	上部 役員研修	上中町公会堂
11月27日	旭ヶ丘 総会	旭ヶ丘ふれあいプラザ
11月28日	東部 反省会	太子町公会堂
12月4日	日滝 総会	大谷町研修センター
1月16日	上部 総会	上中町公会堂

■ 認知症総合支援事業

単位：円

当初 予算額	3,668,000	予算 現額	2,673,000	決算額	2,444,331	前年度 決算対比	960.0%	前年度 決算額	254,626
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を地域包括支援センターに設置し、早期診断、早期対応に向けた支援体制の構築を図る。

II 事業の成果等

- 1 「認知症高齢者の家族のつどい」を開催し、介護者同士の交流を図った。
- 2 認知症サポーター養成講座を、一般市民、民生児童委員やシルバー人材センターなど各種団体を対象に開催し、認知症に対する正しい知識の普及を図った。また、キャラバン・メイトの知識向上のため、フォローアップ研修会を開催した。
- 3 毎月第4水曜日を「もの忘れ相談日」として実施した。
- 4 認知症初期集中支援チーム員会議を開催し、市内認知症サポート医、社協との間で地域の認知症支援のとりくみについて情報交換と個別のケース検討を実施した。
- 5 安心みまもるシール事業等により、徘徊のおそれのある認知症高齢者等の見守り支援を行った。

III 事業の実績

1 認知症高齢者の家族のつどい

開催回数 (回)	延参加者数 (人)
4	43

2 認知症サポーター養成講座

開催回数 (回)	延参加者数 (人)
33	917

3 キャラバン・メイトフォローアップ研修会

開催回数 (回)	参加者数 (人)
1	28

4 認知症関係相談

区 分		もの忘れ相談日	相談日以外
実施回数 (回)		12	随時
相談件数 (件)		9	64
相談者	本人・家族からの相談 (件)	9	46
	その他 (施設・警察) (件)	0	18
相談後の対応 (重複あり)	医療受診が必要 (件)	2	10
	経過観察 (件)	3	35
	介護保険・総合事業 (件)	5	19

5 認知症初期集中支援チーム員会議

初期集中支援ケース 19 件

(1) A会議

開催回数 11 回

内容 高齢者福祉課、地域包括支援センター職員による支援等の検討

(2) B会議

開催回数 6 回

内容 高齢者福祉課、地域包括支援センター職員、認知症サポート医、社協職員による検討会議

6 「安心みまもるシール」事業

平成 29 年 2 月 20 日に須坂警察署と協定を締結し事業を開始。徘徊のおそれのある認知症高齢者等の見守り支援のためアイロンシール、および反射シールを配布した。

申請者 14 人 (配布枚数 アイロンシール 168 枚、反射シール 117 枚)

事業費 38,988 円

7 徘徊高齢者家族支援助成事業

徘徊高齢者を介護している家族に、民間の会社でサービスを提供している人物探索装置を利用するにあたり必要な費用を助成する事業。

対象者数 0 人 支給額 (初期費用) 0 円

(款 4) 基金積立金

単位：円

当 初 予算額	76,000	予算 現額	23,423,000	決算額	23,423,000	前 年 度 決算対比	133.8%	前年度 決算額	17,510,000
------------	--------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

(款 5) 予備費

単位：円

当 初 予算額	10,000,000	予算 現額	10,000,000	決算額	0	前 年 度 決算対比	0.0%	前年度 決算額	0
------------	------------	----------	------------	-----	---	---------------	------	------------	---

(款6) 諸支出金

単位：円

当 初 予算額	600,000	予算 現額	41,290,000	決算額	41,087,087	前 年 度 決算対比	96.7%	前年度 決算額	42,503,918
------------	---------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の実績

- 1 被保険者の前年度以前の資格喪失等に伴い介護保険料を還付した。
第1号被保険者保険料還付金 398,950 円
- 2 前年度精算等により、国へ返還した。
国庫支出金返還金（介護給付費分） 28,254,714 円
- 3 前年度精算等により、社会保険診療報酬支払基金へ返還した。
社会保険診療報酬支払基金交付金返還金（介護給付費分） 189,776 円
- 4 前年度精算等により、県へ返還した。
県支出金返還金（介護給付費分） 6,913,469 円
- 5 前年度繰入金精算により、一般会計へ返還した。
介護給付繰入金分 6,302,025 円
地域支援事業費繰入金分 △5,893,459 円
事務費繰入金分 4,921,612 円

5 後期高齢者医療特別会計

5 後期高齢者医療特別会計

当 初 予算額	618,717,000	予算 現額	650,946,000	決算額	649,617,519	前 年 度 決算対比	107.0%	前年度 決算額	607,198,161
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	--------	------------	-------------

(款1)総務費

単位：円

当 初 予算額	6,259,000	予算 現額	6,710,000	決算額	6,595,680	前 年 度 決算対比	89.0%	前年度 決算額	7,406,792
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

後期高齢者医療制度に関する窓口事務及び後期高齢者医療保険料の徴収事務を行う。

II 事業の成果等

後期高齢者医療制度を長野県後期高齢者医療広域連合と協力して円滑に運営するため、後期高齢者医療保険料の徴収、各種申請、届け出の受付や制度に関する広報を行った。

III 事業の実績

1 被保険者の状況

年 齢 区 分	前年度末(人)	本年度末(人)	年間平均(3-2)(人)
75歳以上	8,063	8,316	8,169
65歳以上75歳未満で障害認定を受けた者	53	55	57
(再掲)一般(負担割合1割)	7,653	7,884	7,756
(再掲)現役並み所得者(負担割合3割)	463	487	470
(再掲)被扶養者であった者	823	783	809
計	8,116	8,371	8,226

2 各種申請・届出の受付送付の状況

資 格 関 係 区 分	件数(件)	給 付 関 係 区 分	件数(件)
障害認定申請書	26	葬祭費支給申請書	502
負担区分等証明書交付申請	5	高額療養費支給申請書	528
被保険者証等再交付申請書	301	療養費支給申請書	2,232
基準収入額適用申請	58	振込口座変更届	37
特定疾病認定申請書	13	誓約書兼振込口座届	510
限度額認定申請書	206	高額介護合算療養費支給申請書	276
送付先変更届	63	第三者行為による被害届	3
その他	16		

3 後期高齢者医療保険料

(1) 被保険者均等割額の軽減区分の状況

区 分	被保険者数(人)	構成比(%)
9割軽減	1,436	16.29
8.5割軽減	1,792	20.33
5割軽減	1,079	12.24
2割軽減	847	9.61
被扶養者	498	5.65
上記以外	3,163	35.88
計	8,815	100

※保険料の徴収対象者のため、1の被保険者数と一致しない。

(2) 徴収等の状況

区 分	特別徴収 (円)	普通徴収 (円)	現年分合計(円)	滞納繰越分(円)	年度総合計(円)
調定額累計	335,276,000	181,973,700	517,249,700	1,146,370	518,396,070
収納額累計	335,578,600	181,461,200	517,039,800	411,700	517,451,500
還付未済額	302,600	5,600	308,200	0	308,200
不納欠損	0	0	0	6,900	6,900
未納額	0	518,100	518,100	727,770	1,245,870
収 納 率	100.00	99.72	99.90	35.91	99.76

※収納率の算定は、(収入額累計－還付未済額) ÷ 調定額累計

(3) 不納欠損処分状況

件数 9件(2名) 不納欠損額 6,900円

4 医療費の状況(平成30年3月～平成31年2月診療分)

区 分	件 数 (件)	日 数 (日)	費 用 額 (円)
療養給付費	入 院	5,563	88,796
	入 院 外	133,466	222,841
	歯 科	16,844	31,480
	小 計	155,873	343,117
調 剤	93,637	—	1,179,909,667
食事療養・生活療養	5,260	222,190	149,306,626
訪 問 看 護	230	1,512	17,230,410
療 養 費	6,862	—	90,387,199
計			6,570,402,707

※ 諸 率

- 年間平均対象人数 8,226人
- 受診率(100人当たり件数：医科・歯科分) 1,894.9
- 1件当たり費用額(医科・歯科分) 32,934円
- 1人当たり費用額(全体) 798,736円

5 委託料の状況

- 後期高齢者医療システム委託料 (株)BSNアイネット 946,080円
- 後期高齢者医療保険料帳票作成等委託料 (株)BSNアイネット 1,384,560円
- 後期高齢者医療システム運用サポート (株)電算 45,360円
- 後期高齢者医療システムアウトソーシング (株)電算 480,168円

6 手数料の状況

- 後期高齢者医療保険料口座振替手数料 125,955円

7 後期高齢者医療制度説明会

75歳到達予定者へ被保険者証及び健康手帳の交付に併せ、後期高齢者医療制度の説明、健康相談、健康教室を実施した。

開催回数 12回 参加者 195人

8 広報等の状況

市報に後期高齢者医療制度について掲載し広報を行った。

- 4月 「後期高齢者医療保険料の改定」について
- 7月 「後期高齢者医療保険料及び保険証更新」について
- 10月 「後期高齢者医療の決算状況」について

(款2) 後期高齢者医療広域連合納付金

単位：円

当 初 予算額	612,098,000	予算 現額	643,758,000	決算額	642,760,831	前 年 度 決算対比	107.3%	前年度 決算額	598,877,458
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

後期高齢者医療の費用負担のため、後期高齢者医療保険料及び保険料の軽減分を納付する。

II 事業の成果等

後期高齢者医療の費用に充てるため、徴収した後期高齢者医療保険料及び保険基盤安定事業で繰り入れた保険料軽減分を、後期高齢者医療広域連合へ納付した。

III 事業の実績

後期高齢者医療広域連合納付金 642,760,831 円

(款3) 諸支出金

単位：円

当 初 予算額	360,000	予算 現額	478,000	決算額	261,008	前 年 度 決算対比	28.6%	前年度 決算額	913,911
------------	---------	----------	---------	-----	---------	---------------	-------	------------	---------

I 事業の実績

1 所得更正等に伴い、過年度分の保険料額が変更となり過誤納金が発生し、被保険者に保険料を還付した。

(1) 誤納還付金	37 件	133,200 円
(2) 還付加算金	0 件	0 円

2 事務費の前年度精算に伴い、一般会計へ繰出した。

一般会計繰出金 127,808 円

Ⅱ 参 考 资 料

1 一般会計決算の状況

(1) 決算収支の状況

単位:千円、%

		30 年度	29 年度	増減
歳 入 総 額	A	21,962,436	21,660,960	301,476
歳 出 総 額	B	21,134,931	20,979,117	155,814
歳 入 歳 出 差 引	C (A-B)	827,505	681,843	145,662
翌年度へ繰越すべき財源	D	207,665	7,647	200,018
実 質 収 支	E (C-D)	619,840	674,196	△ 54,356
単 年 度 収 支	F	△ 54,356	115,996	△ 170,352
財 政 調 整 基 金 積 立 金	G	588,960	179,967	408,993
繰 上 償 還 金	H	0	0	0
財政調整基金取崩し金	I	612,172	254,157	358,015
実 質 単 年 度 収 支	J (F+G+H-I)	△ 77,568	41,806	△ 119,374
標 準 財 政 規 模		12,002,427	11,937,632	64,795
財 政 力 指 数		0.572	0.563	0.009
積 立 金 現 在 高		5,244,577	5,457,033	△ 212,456
地 方 債 現 在 高		16,442,367	16,841,915	△ 399,548
債務負担行為現在額		408,429	274,788	133,641
実 質 収 支 比 率 (普通会計)		5.2	5.6	△ 0.4
経 常 収 支 比 率 (")		92.8	93.4	△ 0.6
健全化判断比率	実 質 赤 字 比 率	-	-	-
	連結実質赤字比率	-	-	-
	実 質 公 債 費 比 率	9.0	8.6	0.4
	将 来 負 担 比 率	28.6	33.1	△ 4.5

(2) 自主財源と依存財源

単位:千円

自 主 財 源		依 存 財 源	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
市 税	6,249,214	地 方 譲 与 税	193,680
分 担 金 及 び 負 担 金	471,448	利 子 割 交 付 金	12,164
使 用 料 及 び 手 数 料	371,053	配 当 割 交 付 金	20,678
財 産 収 入	25,384	株式等譲渡所得割交付金	17,365
寄 附 金	493,865	地 方 消 費 税 交 付 金	990,766
繰 入 金	1,328,254	ゴルフ場利用税交付金	4,235
繰 越 金	681,843	自 動 車 取 得 税 交 付 金	45,984
諸 収 入	1,921,465	地 方 特 例 交 付 金	39,828
		地 方 交 付 税	4,535,425
		交通安全対策特別交付金	7,460
		国 庫 支 出 金	1,932,408
		県 支 出 金	1,135,417
		市 債	1,484,500
計	11,542,526	計	10,419,910
構成比(%)	52.56	構成比(%)	47.44

(3) 歳入の状況

区 分	30 年度		29 年度		増 減	
	決算額 (千円)	構成比 (%)	決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	増減率 (%)
市 税	6,249,214	28.45	6,208,467	28.66	40,747	0.66
地 方 譲 与 税	193,680	0.88	192,261	0.89	1,419	0.74
利 子 割 交 付 金	12,164	0.06	10,510	0.05	1,654	15.74
配 当 割 交 付 金	20,678	0.09	25,076	0.11	△ 4,398	△ 17.54
株式等譲渡所得割交付金	17,365	0.08	27,181	0.12	△ 9,816	△ 36.11
地方消費税交付金	990,766	4.51	949,775	4.38	40,991	4.32
ゴルフ場利用税交付金	4,235	0.02	4,061	0.02	174	4.28
自動車取得税交付金	45,984	0.21	49,398	0.23	△ 3,414	△ 6.91
地方特例交付金	39,828	0.18	30,883	0.14	8,945	28.96
地 方 交 付 税	4,535,425	20.65	4,541,442	20.97	△ 6,017	△ 0.13
交通安全対策特別交付金	7,460	0.03	7,931	0.04	△ 471	△ 5.94
分担金及び負担金	471,448	2.15	481,222	2.22	△ 9,774	△ 2.03
使用料及び手数料	371,053	1.69	384,744	1.78	△ 13,691	△ 3.56
国 庫 支 出 金	1,932,408	8.80	2,329,491	10.75	△ 397,083	△ 17.05
県 支 出 金	1,135,417	5.17	1,394,367	6.44	△ 258,950	△ 18.57
財 産 収 入	25,384	0.12	29,467	0.14	△ 4,083	△ 13.86
寄 附 金	493,865	2.25	117,492	0.54	376,373	320.34
繰 入 金	1,328,254	6.05	659,767	3.05	668,487	101.32
繰 越 金	681,843	3.10	660,143	3.05	21,700	3.29
諸 収 入	1,921,465	8.75	1,921,982	8.87	△ 517	△ 0.03
市 債	1,484,500	6.76	1,635,300	7.55	△ 150,800	△ 9.22
合 計	21,962,436	100.00	21,660,960	100.00	301,476	1.39

(4) 歳出の状況（性質別）

区 分	30 年度		29 年度		増 減	
	決算額 (千円)	構成比 (%)	決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	増減率 (%)
人 件 費	3,674,952	17.39	3,647,172	17.39	27,780	0.76
物 件 費	3,396,902	16.07	3,357,672	16.00	39,230	1.17
維 持 補 修 費	238,047	1.13	256,228	1.22	△ 18,181	△ 7.10
扶 助 費	3,640,062	17.22	3,780,651	18.02	△ 140,589	△ 3.72
補 助 費 等	2,487,896	11.77	2,420,893	11.54	67,003	2.77
普 通 建 設 事 業 費	1,788,339	8.46	2,363,225	11.26	△ 574,886	△ 24.33
補 助 事 業	449,528	2.13	1,154,482	5.50	△ 704,954	△ 61.06
単 独 事 業	1,329,898	6.29	1,199,859	5.72	130,039	10.84
県営事業負担金	8,913	0.04	8,884	0.04	29	0.33
災 害 復 旧 事 業 費	0	0	18,123	0.09	△ 18,123	皆減
補 助 事 業	0	0	2,305	0.01	△ 2,305	皆減
単 独 事 業	0	0	15,818	0.08	△ 15,818	皆減
公 債 費	1,979,776	9.37	1,906,172	9.09	73,604	3.86
積 立 金	1,109,223	5.25	293,676	1.40	815,547	277.70
投 資 及 び 出 資 金	29,915	0.14	36,222	0.17	△ 6,307	△ 17.41
貸 付 金	1,127,912	5.34	1,138,162	5.43	△ 10,250	△ 0.90
繰 出 金	1,661,907	7.86	1,760,921	8.39	△ 99,014	△ 5.62
合 計	21,134,931	100.00	20,979,117	100.00	155,814	0.74

(5) 地方交付税

ア 普通交付税

単位：千円

区 分	30 年度	29 年度	増 減 額
基 準 財 政 需 要 額	9,761,030	9,743,393	17,637
基 準 財 政 収 入 額	5,648,827	5,623,129	25,698
交 付 基 準 額	4,112,203	4,120,264	△ 8,061
普 通 交 付 税 交 付 額	4,112,203	4,112,578	△ 375

イ 特別交付税

単位：千円

区 分	30 年度	29 年度	増 減 額
特 別 交 付 税 交 付 額	423,222	428,864	△ 5,642

2 市債の状況

(1) 年度末起債残高（一般会計）

単位：千円

区 分	29 年度末現在高	30 年度		30 年度末現在高
		借 入 額	償 還 額	
(1) 普 通 債	8,173,256	762,500	1,318,723	7,617,033
ア 総 務	519,634	2,600	10,910	511,324
イ 民 生	722,035	0	123,308	598,727
ウ 保 健 衛 生	683,039	0	111,416	571,623
エ 水 道	0	18,100	0	18,100
オ 清 掃	0	1,400	0	1,400
カ 労 働	4,779	0	948	3,831
キ 農 林	351,463	18,200	71,223	298,440
ク 商 工	3,600	32,600	0	36,200
ケ 土 木	3,552,838	148,200	630,758	3,070,280
コ 消 防	321,389	23,900	61,966	283,323
サ 教 育	1,395,575	278,700	217,018	1,457,257
シ 同和对策(新築資金等貸付金)	349	0	349	0
ス 公 営 住 宅	422,484	0	67,038	355,446
セ 辺 地	196,071	238,800	23,789	411,082
(2) 災 害 復 旧	700	0	0	700
ア 農 林	700	0	0	700
(3) そ の 他	8,667,959	722,000	565,325	8,824,634
ア 市民税等減税補てん債	188,312	0	49,271	139,041
イ 臨時財政対策債	8,479,647	722,000	516,054	8,685,593
合 計	16,841,915	1,484,500	1,884,048	16,442,367

(2) 30 年度の借入状況（一般会計）

事業名	借入額 (千円)	資金区分	借入利率 (%)	交付税算入率等 (%)
1 公共事業等	139,800			
(1) 社会資本整備【県街路事業】(繰越)	27,300	銀行等	0.32	
〃 (繰越・財対分)	22,000	〃	〃	普通交付税 50
(2) 社会資本整備【地域住宅支援】(繰越)	1,600	銀行等	0.32	
〃 (繰越・財対分)	1,100	〃	〃	〃
(3) 農業農村整備事業	4,100	財政融資	0.004	
〃 (財対分)	3,300	〃	〃	〃
(4) ダム整備事業	10,000	銀行等	0.32	
〃 (財対分)	8,100	〃	〃	〃

事業名		借入額 (千円)	資金区分	借入利率 (%)	交付税算入率等 (%)
	(5)	社会資本整備【防災・安全】	15,600	銀行等	0.32～ 0.45
		〃 (財対分)	12,600	〃	〃
	(6)	社会資本整備【県街路事業】	11,700	銀行等	0.32
		〃 (財対分)	9,400	〃	〃
	(7)	社会資本整備【地域住宅支援】	1,300	銀行等	0.32
		〃 (財対分)	900	〃	〃
	(8)	社会資本整備【道路整備交付金】	6,100	銀行等	0.304
		〃 (財対分)	4,700	〃	〃
2	公共施設等適正管理推進事業		44,700		
	(1)	道路維持補修事業	44,700	金融機構	0.004 普通交付税 30～50
3	一般廃棄物処理事業		1,400		
	(1)	ごみ処理施設運営事業	1,400	振興協会	0.01 普通交付税 30
4	学校教育施設等整備事業		28,000		
	(1)	給食センター施設整備事業	28,000	振興協会	0.01 普通交付税 0
5	一般単独事業債		7,800		
	(1)	給食センター施設整備事業	7,800	振興協会	0.01 普通交付税 0
6	施設整備事業（一般財源化分）		13,300		
	(1)	消防機械力整備事業	13,300	振興協会	0.01 普通交付税 70
7	緊急防災・減災事業		256,100		
	(1)	体育施設整備事業（繰越）	78,700	金融機構	0.004 普通交付税 70
	(2)	防災施設整備事業	2,600	〃	0.002 〃
	(3)	消防団機械力整備事業	10,600	〃	〃
	(4)	学校施設整備事業	164,200	〃	0.004 〃
8	辺地対策事業		238,800		
	(1)	観光施設整備事業（繰越）	123,200	財政融資	0.03 普通交付税 80
	(2)	除雪事業	100,600	〃	0.01 〃
	(3)	道路整備事業	15,000	〃	〃
9	一般補助施設整備等事業		32,600		
	(1)	観光施設整備事業（繰越・補正予算債）	32,600	銀行等	0.32 普通交付税 50
10	臨時財政対策債		722,000		
	(1)	臨時財政対策債	603,000 119,000	財政融資 金融機構	0.01 0.01 普通交付税 100
合 計		1,484,500			

(3) 実質公債費比率等の状況

単位：千円、

項 目	30 年度	29 年度	比 較
標準税収入額等	7,167,280	7,139,139	28,141
普通交付税額	4,112,203	4,112,578	△ 375
臨時財政対策債発行可能額	722,944	685,915	37,029
災害復旧等財政需要額	915,896	898,357	17,539
事業費補正等財政需要額	215,114	277,377	△ 62,263
実質公債費比率	9.0	8.6	0.4

3 基金の運用状況

(1) 積立金

ア 基金残高の状況

単位：円

基 金 名	29 年度末現在高	30 年度		30 年度末現在高
		積 立 額	取崩し額	
財 政 調 整 基 金	2,507,090,000	588,960,000	612,172,000	2,483,878,000
減 債 基 金	116,619,000	72,000	60,000,000	56,691,000
公 共 施 設 等 整 備 基 金	1,773,791,000	59,087,000	518,000,000	1,314,878,000
職 員 退 職 手 当 基 金	105,745,000	106,000	50,000,000	55,851,000
社 会 福 祉 基 金	38,295,000	727,000	0	39,022,000
商 工 業 振 興 基 金	5,953,140	1,000	400,000	5,554,140
文 化 財 取 得 基 金	4,607,000	1,000	0	4,608,000
村 石 母 子、父 子 家 庭 特 別 奨 学 金 給 付 基 金	1,896,000	10,001,000	1,500,000	10,397,000
文 化 振 興 資 金 積 立 基 金	460,000,000	0	0	460,000,000
ふ れ あ い 地 域 福 祉 基 金	340,500,000	0	0	340,500,000
中山間ふるさと・水と土保全基金	10,050,000	0	0	10,050,000
奨 学 金 積 立 基 金	14,008,500	7,372,000	3,876,000	17,504,500
高 梨 兵 左 衛 門 奨 学 金 積 立 基 金	682,138	0	0	682,138
動 物 園 み ん な の 夢 基 金	3,423,000	164,000	2,074,000	1,513,000
蔵の町並みキャンパス事業基金	121,000	0	0	121,000
信州須坂ふるさと応援基金	73,674,000	442,525,000	73,657,000	442,542,000
新エネルギー発電事業基金	577,857	207,611	0	785,468
小 計	5,457,032,635	1,109,223,611	1,321,679,000	5,244,577,246
国 民 健 康 保 険 基 金	506,035,000	75,265,000	0	581,300,000
井上、幸高、九反田、中島財産区基金	200,091,000	4,838,000	0	204,929,000
介 護 給 付 費 準 備 基 金	396,196,000	23,423,000	0	419,619,000
合 計	6,559,354,635	1,212,749,611	1,321,679,000	6,450,425,246

イ 基金の管理状況

単位：円

区 分		29 年度末現在高	30 年度増減額	30 年度末現在高
基 金 合 計		6,559,354,635	△ 108,929,389	6,450,425,246
内訳	現 金・預 金	6,459,354,635	△ 108,929,389	6,350,425,246
	有 価 証 券	100,000,000	0	100,000,000
	ふ れ あ い 地 域 福 祉 基 金	100,000,000	0	100,000,000

(2) 用品調達基金

損 益 計 算 書 (平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで) 単位：円

費 用 の 部	金 額	収 益 の 部	金 額
期首商品棚卸高	68,007	期末商品棚卸高	353,033
仕 入	617,760	売 上	739,170
当 期 純 利 益	406,436		
計	1,092,203	計	1,092,203

貸 借 対 照 表 (平成 31 年 3 月 31 日)

単位：円

資 産 の 部	金 額	負債・資本の部	金 額
現 金	1,099,823	未 払 金	294,300
未 収 金	47,880	資 本 金	800,000
商 品	353,033	当 期 純 利 益	406,436
計	1,500,736	計	1,500,736

(当期純利益 406,436 円 一般会計へ繰入)

(3) 長野県収入証紙及び郵便切手類等購買基金

基金の設置年月日	昭和49年4月1日		
基金額	1,500,000円		
基金の目的	長野県収入証紙及び郵便切手類等の売り捌き事務を行い、市民の便宜をはかるため		
運用した額	合計	うち県収入証紙分	うち郵便切手類分
	11,954,015円	7,762,900円	4,191,115円
売り捌き手数料 (一般会計へ繰入)	合計	うち県収入証紙分	うち郵便切手類分
	636,521円	251,517円	385,004円

(4) 高額医療費資金貸付基金

単位：円

区分	29年度末現在高	30年度増減額	30年度末現在高
国民健康保険 高額医療費資金貸付基金	30,000,000	0	30,000,000

(5) 出産費資金貸付基金

単位：円

区分	29年度末現在高	30年度増減額	30年度末現在高
国民健康保険 出産費資金貸付基金	3,600,000	0	3,600,000

(6) 生活支援金貸付基金

単位：円

区分	29年度末現在高	30年度増減額	30年度末現在高
生活支援金貸付基金	500,000	0	500,000

(7) 福祉医療費資金貸付基金

単位：円

区分	29年度末現在高	30年度増減額	30年度末現在高
福祉医療費資金貸付基金	2,000,000	0	2,000,000

4 貸付金の状況

単位：円

区分	29年度末現在高	30年度		30年度末現在高
		貸付額	返済額	
奨学金貸付金	41,893,000	3,876,000	8,580,000	37,189,000
住宅新築資金等貸付金	13,805,961	0	418,056	13,387,905
社会福祉法人貸付金	10,000,000	0	357,142	9,642,858
須坂温泉貸付金	194,259,959	0	0	194,259,959

5 負担金及び補助金等に関する調

(1) 負担金

ア 一般会計 1,753,924,954 円

総務課 4,780,379 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
02. 01. 01. 02	県安全運転管理者協会 負 担 金	17, 000	長野県安全運転管理者協会会費 均等割 100 円、車両割 6, 900 円、 安管協会費 10, 000 円
	児 童 手 当 特 例 給 付 負 担 金	1, 926, 000	水道局職員の児童手当特例給付に係る負担 金 対象職員 7 人 3 歳未満の児童 児童手当額の 8/15 3 歳以上中学校修了前の児童 10/10
	平和首長会議負担金	2, 000	1 都市 2, 000 円
	会 議 等 出 席 負 担 金	31, 500	安全運転管理者等講習受講料
02. 01. 01. 03	北信三市合同研修会 負 担 金	100, 000	職員研修を合同で効率的に行う。 北信三市管理者研修会負担金 50, 000 円 北信三市主査研修会負担金 50, 000 円
	会 議 等 出 席 負 担 金	1, 081, 108	職員研修事業 出席負担金 30 件
02. 01. 01. 04	先遣隊携帯無線機 電 波 利 用 負 担 金	900	長野県市町村災害時相互応援協定に基づき 配備された無線機 @450 円×2 台（長野県市長会）
	県防災行政無線保守管 理 経 費 負 担 金	45, 090	県と市を結ぶ県防災行政無線の維持管理を 実施し、非常時の通信体制確保を図る。 県と市で折半
	会 議 等 出 席 負 担 金	24, 084	第三級陸上特殊無線技士養成講習会負担金 （1 人 日本無線協会信越支部）
02. 01. 01. 05	須 高 危 険 物 ・ 防 火 管 理 協 会 負 担 金	6, 000	事業所等における災害防止並びに防火及び 安全管理の研修並びに会員相互の協調を図 る。 会員割 3, 000 円＋危険物割 3, 000 円
	長 野 県 冷 凍 空 調 保 安 協 会 負 担 金	32, 000	冷凍・空調のための高圧ガス製造所における 事故災害を防止し、自主保安を促進する。 均等割 10, 000 円＋能力割 22, 000 円
	会 議 等 出 席 負 担 金	17, 100	エネルギー管理研修
02. 01. 08. 01	特定健診受診者負担金	8, 597	個人で人間ドックを受診した場合でも、特定 健診費用相当額は事業主負担 1 人分
02. 01. 08. 02	19 市職員体育大会参加 負 担 金	340, 000	19 市職員体育大会参加負担金 事業費×1/2×0. 953（構成団体における事 業費人数案分）
	職員体育活動負担金	382, 000	クラブ育成費、水曜エクササイズ 事業費×1/2×0. 953（構成団体における事 業費人数案分）
	職員文化活動負担金	45, 000	クラブ育成費 事業費×1/2×0. 953（構成団体における事 業費人数案分）
	職員厚生事業負担金	722, 000	食堂運営費等 事業費×1/2×0. 953（構成団体における事 業費人数案分）

政策推進課

47,176,645 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額（円）	目的及び根拠
02.01.09.01	中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会負担金	12,800	太平洋と日本海を結び、各地域の産業経済の発展と地域振興を図る。 通過市均等割 12,800 円
	信州まつもと空港利用促進協議会負担金	20,000	松本空港の利用促進を図り、空港の発展に寄与する。 均等割（県・松本市・塩尻市を除く） 20,000 円
	長野県地方自治研究センター負担金	20,000	地方自治の推進に関する調査研究を行う。 定額 5,000 円×4 口
	全国市長会負担金	357,000	全国各市の相互連帯を密にし、行政全般の調査研究を行う。 均等割 50,000 円 人口割 307,000 円
	県市長会負担金	751,000	県内各市の相互連帯を密にし、行政全般の調査研究を行う。 均等割 349,000 円 人口割 402,000 円
	各種大会等負担金	20,000	平和を守る市民のつどい
	会議等出席負担金	140,200	北信越市長会出席負担金外 7 件
02.01.09.02	長野広域連合総務管理費負担金	14,167,000	老人福祉施設の運用、介護認定審査、広域のごみ処理対策、ふるさと市町村圏計画等について長野広域圏内市町村の事務を共同処理する。 均等割 1,660,000 円 人口割 12,507,000 円
	須高行政事務組合議会費・総務費負担金	13,084,000	火葬場、休日診療所、し尿処理場、サマーランドの設置及び経営の事務を共同処理する。 保健衛生費割 2,982,000 円 清掃費割 7,465,000 円 教育費割 2,637,000 円
02.01.09.03	長野県世論調査協会負担金	60,000	協会主催事業への参加による広聴活動 定額 60,000 円
	日本広報協会負担金	24,000	協会主催事業への参加による広報活動 市（人口 10 万人未満） 24,000 円
02.01.09.04	2020 年東京オリンピック・パラリンピックホストタウン長野県実行委員会負担金	90,000	実行委員会負担金（県 1/2、構成市町人口割） 須坂市 3/18 総事業費 1,040,000×1/2×3/18
02.01.14.02	地域おこし協力隊活動負担金	2,583,907	地域おこし協力隊に係る活動負担金 実績額 豊洲地区 907,766 円、峰の原高原観光協会 1,676,141 円
	田舎暮らし「楽園信州」推進協議会負担金	30,000	移住・交流人口の拡大を図り、地域の活性化に資する。 定額 30,000 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額（円）	目的及び根拠
02.01.14.02	移住促進事業負担金	464,000	連携中枢都市圏に伴う移住支援事業及び全国地域おこしフェア等に参加し、須坂市をPRし移住者を増やす取り組みを行う。 実績額（連携中枢都市圏移住促進事業負担金 206,000 円、地域おこしフェア負担金 108,000 円、ひとり親移住支援推進協議会負担金 70,000、信州で働くフェア負担金 80,000 円） 464,000 円
	会議等出席負担金	22,000	移住・定住アドバイザーのスキルアップ研修
02.01.15.02	電子申請システムサービス利用負担金	344,138	県と市町村の共同構築により「ながの電子申請サービス」を行う。 均等割・人口割 344,138 円
	情報ブロードウェイながの利用負担金	1,629,979	県と県内市町村を接続するネットワークにより効率的なシステム運用を行う。 利用料 1,629,979 円
	県自治体情報セキュリティクラウド負担金	4,121,825	県と市町村の共同構築により長野県自治体情報 SC を運用する。 基本メニュー（人口割・均等割） 1,496,061 円 インターネット接続費用（人口割・均等割） 76,378 円 オプションメニュー 2,606,386 円
	仮想端末共同調達事業負担金	9,026,608	県と関係団体の共同構築により長野県共同 VDI を運用する。 利用料 8,986,608 円 運営管理費 40,000 円
	電子自治体推進事業負担金	208,188	電子自治体の推進に関する事務を共同処理する。 人口割 208,188 円

財政課 69,120 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額（円）	目的及び根拠
02.01.04.01	会議等出席負担金	69,120	公有財産管理実務研修負担金 外 1 件

税務課 4,526,195 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額（円）	目的及び根拠
02.02.01.02	会議等出席負担金	263,960	NOMA行政管理講座 228,960 円
			土地評価実務研修会 20,000 円
			東京税務協会セミナー 15,000 円
02.02.02.01	資産評価システム研究センター負担金	90,000	評価方法等に関する資料の提供を受け、適正な資産評価の資料・研究を行う。 人口割（5～20 万人） 90,000 円
	県税政研究会負担金	4,700	税務行政について、県と市町村の連絡を緊密にするとともに、課税・徴収事務の向上を図る。 人口割（5～20 万人） 4,700 円
	長野税務署管内地区税務協議会負担金	24,300	国税及び地方税の連絡協調を図るため、職員研修及び租税教育の推進を支援する。

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額（円）	目 的 及 び 根 拠
02.02.02.01	地方税電子化協議会 負 担 金	935,446	e L T A X会費 62,000 円 e L T A X運用関係費負担金 568,000 円 e L T A X次期更改準備資金 35,000 円 国税連携関係費負担金 116,000 円 経由機関システム運用関係費分担金 152,000 円 給与所得者の扶養親族申告書等統合様式 作成等負担金 2,446 円
	県地方税滞納整理機構 負 担 金	2,992,000	徴収が困難な滞納案件について、長野県地方 税滞納整理機構に移管し、専門的・集中的な 滞納整理により収納率の向上を図る。 基本負担額 50,000 円 処理件数割額 2,040,000 円 徴収実績割額 1,342,000 円 負担金還付額 △440,000 円
	軽自動車検査情報市区 町村提供サービス利用 負 担 金	215,789	軽自動車の新規取得・移転・抹消等の「更新 情報」等、「経年車重課」「グリーン化特例 （軽課）」課税事務に必要な検査情報提供に かかわる負担金 @11.2/件（サービス利用 約款による） 内訳 第1期 46,133 円 第2期 48,843 円 第3期 53,427 円 第4期 67,386 円

福祉課

5,343,381 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額（円）	目 的 及 び 根 拠
03.01.01.03	民 生 委 員 協 議 会 活 動 費 負 担 金	1,910,500	民生委員活動費負担金 基本 @13,500×119人=1,606,500 円 研修 @ 4,000× 76人= 304,000 円
	会 議 等 出 席 負 担 金	8,000	民生児童委員協議会 第3ブロック協議会 出席負担金ほか
03.01.01.08	就 労 準 備 支 援 事 業 負 担 金	1,150,000	県と市が共同実施する就労準備支援事業負 担金 県事業費（東北信地域分）定員割 定員総数 18 人 須坂市 3 人
03.01.02.01	長野地区障害者スポー ツ 大 会 負 担 金	60,000	障がい者の社会参加等を目的とするスポー ツ大会 参加市町村割
	会 議 等 出 席 負 担 金	500	あかりの会交流会出席負担金
03.01.02.02	須 高 地 域 自 立 支 援 協 議 会 負 担 金	744,600	障害者総合支援法に基づき、須高地区内で協 議会を設置する。 人口割 368,700 円 障害者手帳所持者割 375,900 円
	認 定 審 査 会 共 同 設 置 負 担 金	1,398,000	障害支援区分認定審査会共同設置負担金 （長野広域連合） 審査判定実績割 1,231,000 円 均等割 167,000 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
03.01.02.02	長野地域連携中枢都市圏事業負担金	68,781	地域移行支援コーディネーター設置負担金 人口割
03.02.07.01	母子自立支援員連絡協議会負担金	3,000	県母子自立支援員連絡協議会負担金 支援員割

高齢者福祉課 5,445,000 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
03.01.03.01	会議等出席負担金	4,000	長野圏域介護保険事業者連絡協議会須高地区部会出席負担金 (4,000×1名)
03.01.03.04	県シルバー人材センター連合会賛助会員負担金	19,000	長野県シルバー人材センター連合会賛助会員負担金 均等割(15,000円)に、前年度に交付された国庫補助金(14,401千円)の1000分の1の額(1,000円未満切り捨て)を加え、負担比率(0.6561)を乗じた額。 (15,000円+14,000円)×0.6561
03.01.03.05	長野広域連合特別養護老人ホーム負担金	5,422,000	施設管理費負担金 1,569,000円 ※人口割90%、均等割10% 老人ホーム入所判定委員会費負担金 4,000円 ※人口割90%、均等割10% 養護老人ホーム松寿荘運営費負担金 1,247,000円 ※H26～35年度負担金額 養護老人ホームはにしな寮運営費負担金 2,602,000円 ※H29～38年度負担金額

健康づくり課 496,879,156 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
03.01.11.01	後期高齢者医療広域連合負担金	19,753,586	広域連合の運営費を負担する。 均等割 1,132,107円 人口割 9,506,106円 後期高齢者人口割 9,115,373円
	後期高齢者医療療養給付費負担金	458,693,633	後期高齢者医療費の1/12を負担する。
04.01.01.03	須高行政事務組合診療所費負担金	4,575,000	休日の緊急患者のため、須高行政事務組合が、県立信州医療センター内に休日緊急診療室を運営する。 人口割 4,575,000円
	日本赤十字社長野県支部須坂市地区負担金	76,000	献血の推進を図るため、須坂市地区負担金を負担する。 人口割 76,000円
	県包括医療協議会須高地区協議会負担金	511,750	須高の医療関係団体及び関係機関が健康増進、保健予防を推進するため、協議会を設置する。 人口割 511,750円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額（円）	目 的 及 び 根 拠
04.01.01.03	病院群輪番制病院運営事業負担金	3,023,484	休日及び夜間の救急患者の治療確保のため、長野市ほかの7病院が輪番制で運営する。 人口割 1,464,101 円 利用割 1,559,383 円
	峰の原高原住民医療負担金	300,000	菅平診療所の負担金を負担する。 300,000 円
04.01.03.01	会議等出席負担金	5,000	子育て支援者養成セミナー 5,000 円
04.01.03.02	第25回須坂健康まつり実行委員会負担金	419,050	「第25回須坂健康まつり」開催のための実行委員会負担金 実費 419,050 円
	信州須坂健康スムージー推進協議会負担金	9,049,453	市民の健康増進、須坂産農産物の消費拡大を図るため、信州須坂健康スムージー推進協議会を設立する。 実費 9,049,453 円
	会議等出席負担金	32,240	長野県栄養改善学会出席者負担金 2,000 円 育児セミナー出席負担金 30,240 円
04.01.03.03	長野精神保健福祉連絡協議会負担金	25,000	長野圏域の精神保健福祉関係機関が資質向上及び普及啓発を推進するため、協議会を設置する。 人口割 10,000 円 均等割 15,000 円
	須高精神保健福祉連絡協議会負担金	414,960	須高の精神保健福祉の向上を図るため、協議会を設置する。 人口割 414,960 円

市民課

53,503,040 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額（円）	目 的 及 び 根 拠
02.01.11.01	須坂市交通安全協会負担金	580,000	交通事故のない安全で快適な交通社会づくりを推進する活動団体の事業に要する経費を負担する。 定額
	会議等出席負担金	2,000	須坂市交通安全協会総会出席負担金 2,000 円×1人=2,000 円
02.01.11.02	公共交通確保事業負担金	51,001,690	すざか市民バス・すざか乗合タクシーを運行する須坂市地域公共交通会議の事業に要する経費を負担する。 すざか市民バス 41,427,720 円 (費用単価×運行距離－運賃収入－国庫補助金) すざか乗合タクシー 4,333,700 円 (日数×単価+4便を超えた便数×単価+予約受付日数×単価－運賃収入) その他事業 1,627,270 円 長電バス須坂屋島線負担金 3,613,000 円 (経常費用－経常収益－国・県補助金+乗務員育成教育費用)
	地域連携長野電鉄長野線活性化協議会負担金	20,000	長野電鉄長野線沿線地域の活性化を図るため、協議会の事務費を長野電鉄㈱と沿線自治体で負担する。 均等割 市 20,000 円
02.01.11.03	須高防犯協会連合会負担金	1,732,000	犯罪のない安全な地域社会づくりを推進する活動団体の事業に要する経費を負担する。 人口割 @34×50,963人≒1,732,000 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額（円）	目的及び根拠
02.01.11.03	長野県暴力追放県民センター負担金	50,000	暴力のない安全で住みよい社会づくりのため、暴力団による不当要求等を防ぐ。 @10,000円／年間×5口=50,000円
02.01.12.01	会議等出席負担金	2,850	(独)国民生活センター消費生活相談員研修専門・事例講座 受講料 2,850円×1人
02.01.13.01	長野行政相談委員協議会負担金	12,000	相談事例の研究を通じ委員間での連携を深め、委員活動の充実を図る。 6,000円×2人=12,000円
02.03.01.02	長野県戸籍住民基本台帳事務協議会負担金	8,500	戸籍住民基本台帳に関する法令の研究と事務の統一を図る。 均等割 2,000円 人口割 @0.13×50,346人≒6,500円
	長野地方法務局直轄管内戸籍住民基本台帳事務協議会負担金	4,000	長野地方法務局直轄管内における戸籍住民基本台帳に関する法令の研究と事務の統一を図る。 均等割 市 4,000円
	地方公共団体情報システム機構負担金	90,000	地方公共団体情報システム機構会費 人口割（人口5万人以上）90,000円

生活環境課

320,828,991 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額（円）	目的及び根拠
04.01.05.02	須高食品衛生協会負担金	15,000	食品の安全性確保と食中毒防止のため、衛生管理の向上を図る。 規模割 15,000円
	環境衛生推進協議会負担金	700,000	環境衛生の向上を図るため、自主的かつ積極的な活動を行う環境衛生団体の活動事業に要する経費を負担する。 定額 700,000円
	全国都市清掃会議負担金	92,000	廃棄物処理事業を実施している市町村等が共同して、効率的な運営及び技術改善のため、調査、研究等を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。 年会費（人口割） 92,000円
04.01.05.03	会議等出席負担金	55,384	全国都市清掃会議北陸東海地区協議会総会 2,000円 全国都市清掃会議北陸東海地区協議会秋季幹事会 5,000円 準中型免許（準中型5トン限定解除）取得受講料負担金 48,384円
04.01.05.04	ペットボトル売却収入負担金	324,707	ペットボトル売払い代金のうちの高山村分 7,820kg 324,707円
04.01.05.06	須高飼犬管理対策協議会負担金	47,200	狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する条例の徹底を図り、犬による危害を防止し、公衆衛生の向上と社会生活の安全を確保する。 登録頭数×@20円(100円未満切捨て)
04.01.05.08	須高行政事務組合清掃費負担金	76,936,000	し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理するため、施設維持管理費を負担する。 均等割（10%）、投入実績割（90%）
04.01.05.09	須高行政事務組合火葬場費負担金	11,878,000	火葬場施設維持管理 構成市町村人口割（100%）
04.01.05.10	長野広域連合環境推進費負担金	230,156,000	長野広域（8市町村）におけるごみ処理の広域化を図る。 ごみ量割、均等割、人口割

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
04. 01. 05. 11	上水道施設工事費積算 負 担 金	500, 000	小規模水道施設等実施設計業務委託に係る 設計監理業務負担金 (須坂市水道局)
04. 01. 06. 01	信濃川を守る協議会 負 担 金	6, 000	信濃川水系の関係市町村で連携して、環境を 守るための活動を行う。 10 万人未満市 6, 000 円
	高山植物等保護対策 協議会北信地区協議会 負 担 金	5, 000	高山植物等の自然環境保全のため、北信地区 の関係市町村の連絡調整を行う。 一律 5, 000 円
	国立公園関係都市 協 議 会 負 担 金	20, 000	国立公園の環境保全のため、関係都市相互の 連絡調整を行う。 一律 20, 000 円
04. 01. 06. 02	長野県浄化槽推進 協 議 会 負 担 金	10, 000	県内の関係市町村により合併処理浄化槽の 普及促進のための活動を行う。 5 万人以上市 41, 000 円 ※平成 30 年度のみ 10, 000 円
04. 02. 02. 02	長野県廃棄物処理技術 研 究 協 議 会 負 担 金	6, 900	長野県廃棄物処理技術研究協議会負担金 定額割 2, 400 円 規模割 4, 500 円
	会 議 等 出 席 負 担 金	76, 800	硯原埋立地運営協議会出席負担金 12, 000 円 廃棄物処理施設技術管理者講習会受講料 破砕・リサイクル施設コース 管理課程 64, 800 円

生涯学習スポーツ課 35,020,100 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
10. 06. 01. 02	長野県社会教育委員 連 絡 協 議 会 負 担 金	10, 500	社会教育委員相互の連携と、資質の向上に努 め、社会教育の振興発展に寄与する。 均等割 3, 000 円 人口割 7, 500 円 (5 万～10 万人)
	北信地区社会教育委員 連 絡 協 議 会 負 担 金	12, 500	北信地区の社会教育委員が相互に連絡提携 し、その資質の向上を図り北信地区の社会教 育の振興発展に寄与する。 均等割 5, 000 円 人口割 7, 500 円 (5 万～5.5 万人)
	会 議 等 出 席 負 担 金	30, 000	第 49 回関東甲信越静社会教育研究大会長野 大会情報交換会参加出席負担金 5 名分
10. 06. 01. 03	共 催 事 業 負 担 金	2, 500, 000	信州岩波講座共催事業負担金 事業に要する経費の一部を負担
10. 06. 03. 02	県 公 共 図 書 館 部 会 負 担 金	13, 000	県内の公共図書館が相互連携を密にし図書 館業務の調査を行なう。 均等割 3, 000 円 人口割 10, 000 円 (5 万～10 万人)
	須高図書館協会負担金	295, 000	須高図書館協会事業として行う読書感想文 コンクールの負担金 (平成 29 年 4 月 1 日現在人口割) 須坂市 295, 000 円 小布施町 63, 000 円 高山村 42, 000 円
	県図書館協会須高支部 負 担 金	5, 000	須高地区の小中学校と図書館の相互連携を 密にし図書館業務の円滑化を図る。 1 施設 5, 000 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額（円）	目 的 及 び 根 拠
10.06.03.02	日本図書館協会負担金	23,000	日本図書館協会が相互連携を密にし図書館業務の調査研究を行う。 施設会員C 23,000 円
	会議等出席負担金	7,000	長野県図書館大会参加負担金外2件
10.06.04.02	日本博物館協会負担金	15,000	博物館振興のための調査・研究開発並びに指導・援助を行う協会の会員負担金 維持会員 15,000 円
	北信越博物館協議会負担金	3,000	北信越地区の博物館と相互連携を密にし、事業の充実を図るための協議会負担金 1施設 3,000 円
	長野県博物館協議会負担金	5,000	県内の博物館と相互連携を密にし、事業の充実を図るための協議会負担金 公共施設 1施設 5,000 円
	きのこ展共催負担金	126,000	きのこ展共催負担金 事業費相当額を負担
10.06.05.01	県文化財保護協会負担金	2,000	県内の文化財保護情報交換のための協会負担金 会費一律 2,000 円
	県史跡整備等市町村協議会会費	3,000	史跡整備を促進するための県内市町村協議会会費 会費（市） 3,000 円
	県史料保存活用連絡協議会負担金	3,000	史料保存活用に係る調査・研究・指導を連携して推進するための協議会負担金 機関会員 3,000 円
10.06.05.02	八丁鎧塚まつり共催負担金	450,000	県指定史跡「八丁鎧塚」を地域資源として活用するための「第9回八丁鎧塚まつり」共催負担金。 事業費相当分
10.07.03.01	会議等出席負担金	191,100	長野県スポーツ推進委員協議会女性スポーツ推進委員研修会出席負担金外11件
10.07.03.02	須高行政事務組合教育費負担金	18,261,000	須高広域総合プール運営費及び起債償還に係る負担金 均等割(15%) 2,739,150 円 人口割(85%) 15,521,850 円
	信州須坂ハーフマラソン負担金	10,800,000	信州須坂ハーフマラソン負担金 大会に要する経費の一部を負担
	峰の原高原スキー場リフト利用負担金	1,415,000	スキー場リフト利用に係る負担金 大人 303,000 円 中学生 195,800 円 小学生 916,200 円
	日中友好都市卓球交歓大会負担金	500,000	長野市で開催された大会への参加負担金 市町村均等割 500,000 円
10.07.03.03	市町村対抗駅伝競走大会及び市町村対抗小学生駅伝競走大会参加負担金	150,000	市町村対抗駅伝競走大会及び市町村対抗小学生駅伝競走大会への参加負担金 定額による
	長野県縦断駅伝競走大会参加負担金	200,000	長野県縦断駅伝競走大会への参加負担金 均等割 20,000 円 人口割 180,000 円

中央公民館

209,150 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
10.06.02.03	県公民館運営協議会負担金	135,150	県内の公民館活動の情報交換を行い、研修会等を実施する。 長野県公民館運営協議会負担金 均等割 3,300 円 人口割 75,450 円 北信公民館運営協議会負担金 均等割 600 円 人口割 5,500 円 須高公民館運営協議会負担金 均等割 0 円 人口割 50,300 円
	会議等出席負担金	67,000	豊洲地域公民館「社協豊洲支部役員総会」外 33 件
10.06.09.01	県働く女性の家連絡協議会負担金	7,000	県内の働く女性の家と相互の密接な連携を図り、女性労働者問題の研究及び福祉の向上等に資するため調査研究を行うための負担金。一律 7,000 円

人権同和政策課

537,070 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
03.04.01.02	長野犯罪被害者支援センター負担金	80,000	認定特定非営利活動法人長野犯罪被害者支援センターへ活動助成を行い、犯罪被害者の人権を守る活動を進める。 人口割 @2 円×40,000 人=80,000 円
	会議等出席負担金	40,000	部落差別をはじめあらゆる差別問題解消のための活動等に際し、職員の資質向上と課題解決のため講座等に出席した。 人権リーダー養成・部落問題講座出席負担金外 2 件
03.04.01.03	部落解放・人権政策確立要求須坂市実行委員会負担金	100,000	部落差別をはじめあらゆる人権問題解決のため、人権侵害救済法制定及び人権政策確立の活動を進める。 定額 100,000 円
03.04.01.04	長野人権擁護委員協議会負担金	166,070	長野地域内の人権擁護委員との連絡を密にし、人権擁護活動を推進する。 委員割 @2,500 円×5 人= 12,500 円 人口割 @3 円×51,190 人= 153,570 円
	人権擁護委員活動負担金	63,000	人権擁護委員の資質向上のための活動を支援し、あらゆる人権問題の解消を進める。 委員数 @12,000 円×5 人= 60,000 円 @3,000 円×1 人= 3,000 円
03.04.02.02	県隣保館連絡協議会負担金	88,000	県内隣保館相互の連絡と、隣保事業の効果的な推進を図る。 指導員配置館 88,000 円

男女共同参画課

96,773 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
02.01.16.01	スマイル・ママ・フェスタ in 須坂実行委員会負担金	96,773	「スマイル・ママ・フェスタ in 須坂」開催のための実行委員会負担金（実費負担分）

農林課

5,678,193 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
02.01.07.01	長野森林組合賦課金	43,190	長野森林組合運営賦課金 組合員割 200 円 面積割 42,990 円
06.01.02.02	全国山村振興連盟負担金	40,000	全国山村振興事業の推進 普通会費（市町村定額）
	水利組合負担金	110,000	北の沢水利施設維持管理の推進 60,000 円 城ヶ鼻水利施設維持管理の推進 50,000 円 水利施設維持管理に要する経費を一部負担
	会議等出席負担金	2,000	新春農政懇談会出席負担金
06.01.03.01	県営特定農業用管水路等特別対策事業負担金	273,150	土地改良事業の推進 地域割、組合員割、面積割、平均割 25%×20%×54.63%
	そば栽培振興事業負担金	214,000	須坂市農業再生協議会が実施するそば栽培振興事業に対する負担金 そば栽培振興事業に要する経費を一部負担
	須高農業振興会負担金	45,000	須高地区の農業後継者育成の推進 45,000 円 構成団体割
	農業振興事業負担金	88,080	連携中枢都市農業振興事業負担金 地場産品直売所活用事業 28,080 円 農業イベント開催事業 60,000 円
06.01.03.02	市有害鳥獣駆除対策協議会負担金	1,662,394	有害鳥獣駆除の推進（緩衝帯整備等） 実費
06.01.03.04	農地情報管理負担金	101,000	長野県農地情報管理センター負担金 面積割、平均割、システム構築割
06.01.03.05	地域農政特別対策事業負担金	200,000	市民農園の維持管理、利用申込の受付等 1/2 以内 200,000 円上限
06.01.03.06	地産地消イベント実行委員会負担金	228,641	地産地消の推進 須坂の農産物と郷土料理のPR うまいもん祭り実行委員会 300,000 円以内
	市グリーンツーリズム研究会負担金	100,000	須坂市グリーンツーリズムの推進に伴う一部負担 実費
	県農産物等輸出事業者協議会負担金	40,000	県産農産物輸出の推進 自治体会費（市町村定額）
	農産物販路開拓推進事業負担金	100,000	都市農村交流の推進 信州豊洲連携協議会 実費
06.01.04.01	須高家畜防疫協議会負担金	193,000	家畜防疫事業の推進 頭羽数割外
	北信食肉センター管理運営負担金	238,700	㈱北信食肉センターの管理運営費負担金 11 市町村保有株式数割
	家畜診療所運営費負担金	1,825,000	家畜診療所設置事業 市町村割 頭数割
06.02.01.08	農林漁業資金償還負担金	78,438	土地改良事業負担金の償還負担金 償還期間 24 年の 23 年分

款・項・目・事業	負担金名	決算額（円）	目的及び根拠
06.03.01.01	県治山林道協会負担金	1,000	県治山林道事業の推進会費 会員割
	県治山林道協会賦課金	33,600	治山事業費割（事業費の1/1,000） 33,600円
	千曲川下流流域林業活性化センター負担金	50,000	北信地域材の生産、流通加工の供給体制整備の促進 市町村割 50,000円
	須高共有林経営改善協議会費	1,000	共有林経営改善の推進 会員一律
	長野県造林協会費	10,000	適正な森林整備の拡大強化に関する対策の推進 会員一律

産業連携開発課 22,178,811円

款・項・目・事業	負担金名	決算額（円）	目的及び根拠
05.01.02.02	会議等出席負担金	2,000	須高地区労働者福祉協議会総会
05.01.02.03	須坂職業安定協会負担金	50,000	市内及び北信地区の高校等の進路指導担当者を対象に企業視察及び事業主と懇談会を行い市内企業への就職促進を図る。 人口規模に応じて負担 50,000円
	企業ガイドブック作成負担金	100,000	新規学卒者へ市内企業の求人情報の提供を行う。 人口規模に応じて負担 100,000円
	就職情報サイト運営負担金	291,800	「おしごとながの」サイト上で企業・求人情報等掲載し、市内企業への就職促進を図る。 人口規模に応じて負担 改修費 171,647円＋保守管理費 120,153円
	長野地域UJIターン就職促進事業負担金	633,000	長野地域連携中枢都市圏9市町村が連携し、地域企業の魅力と長野地域で働く魅力を発信し東京圏からUJIターン就職、長野地域への移住・定住を目的に各種イベントを行った。事業所数に応じて負担 633,000円
	会議等出席負担金	28,600	(公社)全国民営職業紹介事業協会職業紹介責任者受講料 外2件
07.01.02.01	県中小企業振興センター負担金	10,000	中小企業の受注開拓支援を行う。 製造業 500企業以下の市 10,000円
	県産業環境保全協会負担金	10,000	環境に配慮した循環型社会の実現に向けて、環境の保全を図る。 賛助会員 10,000円
	会議等出席負担金	47,500	横松原建設工業団地組合総会外8件
07.01.02.04	産業フェア in 信州実行委員会負担金	1,422,000	市内産業を県内外に発信し産業の活性化を図る。 事業所数割 472,554円＋製造品出荷額割 949,690円＝1,422,244円（千円未満四捨五入）
	須坂工業ブランド化事業負担金（ものづくり都市須坂PR事業）	158,911	産業フェア in 信州出展料 100,000円 全国発酵食品サミット in NAGANO 事業負担金 58,911円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
07. 01. 02. 04	信州須坂フルーツエール推進協議会負担金	19, 233, 000	須坂産の果実を使用したフルーツエールの製造販売することによる新規雇用の創出、須坂産の果実のPRによる果樹振興、市内飲食店、温泉施設を中心に販売することによる賑わい創出に寄与するため、フルーツエール製造に伴う費用、コンサルタント業務等の費用等を負担する。(事業費の1/2は地方創生推進交付金)
	会 議 等 出 席 負 担 金	10, 000	産業フェア in 信州実行委員会
07. 01. 02. 05	日 本 立 地 セ ン タ ー 賛 助 会 費	126, 000	(一財)日本立地センターからの情報資料の入手により、企業誘致の促進を図る。 人口5万人以上 140, 000 円 (10%縮減)
	会 議 等 出 席 負 担 金	56, 000	産業立地実務者研修会参加費 (1名分)

商業観光課 88,009,832 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
07. 01. 02. 03	県中小企業団体中央会長野支部負担金	50, 000	県中小企業団体中央会長野支部負担金 (市町村定額)
	全 国 ま ち の 駅 連 絡 協 議 会 負 担 金	112, 000	全国まちの駅連絡協議会に参画し誘客を図る。 年会費 100, 000 円 (21~50ヵ所参加の市町村会員額) 新規加入認定費 12, 000 円 (@2, 000 円×6ヵ所)
	会 議 等 出 席 負 担 金	44, 000	商工会議所新年賀詞交歓会出席負担金外3件
07. 01. 03. 01	温 泉 協 会 賛 助 会 費	4, 000	関谷温泉の保護と適正利用を図るため、協会会員との情報交換、調査研究を行う。 (定額)
	県 温 泉 協 会 負 担 金	25, 000	関谷温泉源泉の管理のための情報交換、調査研究を行う。 (入湯税徴収額に基づく算出基礎額)
	市 民 無 料 入 浴 負 担 金	9, 346, 900	市民無料入館券による入浴料並びに福祉浴室の利用料相当分を負担し、市民の健康増進を図る。 市民無料入館券負担分 湯っ蔵んど利用分 6, 525, 400 円 須坂温泉利用分 1, 337, 500 円 湯っ蔵んど福祉浴室利用負担分 1, 484, 000 円
07. 01. 03. 02	観 光 農 業 振 興 事 業 負 担 金 (信 州 フ ル ー ツ 王 国 振 興 会)	50, 000	観光農業振興事業の推進を図る。 (構成会員と同額)
	上 信 越 ふ る さ と 街 道 協 議 会 負 担 金	10, 000	当該街道に関係する地域の観光・産業の振興を図る。 (市町村定額)
	日 本 さ く ら の 会 賛 助 会 費	10, 000	桜の愛護、普及、研究を行う。 (市区定額(賛助会員規定による))

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
07. 01. 03. 02	上 田 駅 観 光 案 内 所 負 担 金	278, 000	新幹線上田駅観光案内所の運営に参画し、観光案内の充実を図る。 (構成市町村：4 市 2 町 3 村) (定額)
	須坂みんなの花火大会 負担金 (実行委員会)	2, 000, 000	須坂みんなの花火大会の実施により誘客を図る。大会に要する経費の一部を負担。
	須坂カッタカタまつり 負担金 (実行委員会)	2, 657, 000	須坂カッタカタまつりの実施により誘客を図る。まつりに要する経費を負担。
	信州須坂大菊花展 負担金 (実行委員会)	2, 000, 000	信州須坂大菊花展の実施により誘客を図る。大会に要する経費の一部を負担。
	信州須坂・シルクと 蔵のまちツーデー ウオーキング負担金 (実 行 委 員 会)	1, 000, 000	信州須坂・シルクと蔵のまちツーデーウオーキングの実施により誘客を図る。大会に要する経費の一部を負担。
	恋人の聖地プロジェク ト 参 画 負 担 金 (NPO 法人地域活性化 支 援 セ ン タ ー)	162, 000	恋人の聖地プロジェクトに参画し誘客を図る。 (定額)
	信州シルクロード連携 協 議 会 負 担 金	10, 000	信州シルクロード連携協議会に参画し誘客を図る。 (市町村定額)
	信州キャンペーン実行 委員会(信州 DC)負担金	261, 000	信州キャンペーンに参画し誘客を図る。 (均等割 25%+財政力指数割 25%+人口割 25% +利用者数割 25% (千円未満切り上げ))
	会 議 等 出 席 負 担 金	42, 000	須坂菊愛好会総会 外 11 件
07. 01. 03. 50	地 域 お こ し 協 力 隊 須 坂 温 泉 負 担 金	749, 989	地域おこし協力隊の活動費に対する負担金 (年間活動費 100 万円の内、9/12 カ月分)
	須 坂 温 泉 拠 点 整 備 負 担 金	65, 749, 320 (繰越)	地方創生拠点整備交付金事業 「信州須坂 健康長寿食の研究開発拠点&農 家チャレンジショップ」整備事業に係る負担 金
07. 01. 04. 01	共 用 管 理 費 負 担 金	2, 746, 241	シルキー市民プラザに係る共用管理費負担 金 (面積按分による管理組合請求額)
	暖 房 料 負 担 金	702, 382	シルキー市民プラザに係る暖房料負担金 (面積按分による管理組合請求額)

道路河川課

32,181,910 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
04. 03. 01. 03	県 事 業 負 担 金	20, 213, 000	豊丘ダム管理に関する協定書に基づく 負担金 堰堤改良事業費×13% 1 期分 10, 106, 500 円 2 期分 10, 106, 500 円
06. 02. 01. 04	土地改良施設維持管理 適正化事業費拠出金	1, 668, 000	38 期 中島排水機場 408, 000 円 40 期 塩野ため池施設 720, 000 円 41 期 相之島用水 540, 000 円 事業費×30%×1/5 計 1, 668, 000 円
	県 土 地 改 良 連 合 会 賦 課 金	147, 600	適正化事業費割 塩野ため池浚渫 事業費×1. 23% 12, 000, 000×1. 23%=147, 600 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額（円）	目的及び根拠
06.02.01.05	県土地改良連合会 賦課金	41,000	農業基盤整備促進事業 41,000 円 土地改良事業割 事業費/1.08×5/1,000 9,000,000/1.08×5/1,000÷41,000 円
06.02.01.06	県土地改良連合会 賦課金	43,500	市町村割 9,500 円 農道台帳管理 19,000 円 県営農道整備事業 15,000 円 県営事業割 事業費×0.5/1,000 33,198,280/1.08×0.5/1,000÷15,000 円
	県事業負担金	8,299,570	一般農道整備事業(須高地区) 事業費 33,198,280×25%=8,299,570 円
06.02.01.07	土地改良施設維持管理 適正化事業費拠出金	240,000	41 期 福島北排水機場 240,000 円 事業費×30%×1/5 = 240,000 円
08.01.01.02	長野県道路整備期成 同盟会負担金	271,000	須坂建設事務所管内市町村の土木事業の一部を共同処理、会員相互の連携、土木事業の促進 会費 4,000 円 事業費割 267,000 円 計 271,000 円
	関東国道協会負担金	36,000	関東甲信地域の国道等の早期整備促進 会費 36,000 円
	県用地対策連絡協議会 負担金	3,000	公共用地の取得に関し、関係機関の相互の連絡を図り用地取得の促進、損失補償に関する調整等 会員割 4,000 円
	ラウンドアバウト 普及促進協議会負担金	30,000	ラウンドアバウト（環状交差点）の普及促進活動 会員割 30,000 円
	会議等出席負担金	11,000	（公社）全国防災協会の平成 30 年度「防災セミナー」受講
08.01.01.03	国道 403 号（中野・千曲間）整備促進期成 同盟会負担金	14,000	国道 403 号（中野・千曲間）の早期整備促進 会員割 4,000 円 人口割 1,681 円 延長割 7,818 円 計 ≒14,000 円
	千曲大橋（長野市長沼・須坂市豊洲間）県道建設促進期成同盟会 負担金	24,000	千曲川の村山橋と小布施橋の中間地に橋梁建設の早期実現 須坂市 40% [60,000×0.4]
	嬬恋高山須坂間県道整備促進期成同盟会 負担金	30,000	群馬県嬬恋村と須坂市を結ぶ県道の整備促進 会員割 30,000 円
	豊野南志賀公園線改良促進期成同盟会負担金	5,000	豊野南志賀公園線の早期整備促進 会員割 5,000 円
	国道 406 号（白馬・小川・長野・須坂・上田間）整備促進期成同盟会 負担金	28,400	国道 406 号整備促進の早期実現 均等割 7,000 円 延長割 21,395 円 計 ≒28,400 円
08.01.02.01	県国土調査推進協議会 負担金	24,000	長野県国土調査推進協議会負担金 均等割 15,000 円 事業費割 9,000 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額（円）	目的及び根拠
08.02.02.01	有料道路時間帯割引回数券販売負担金	24,600	三才山トンネル有料道路 販売額1割負担
08.02.03.05	県事業負担金	570,240	県施行の道路改良事業に対するの負担金 工事費×15% 県単道路改築事業（国）406号（仁礼町） 570,240円
08.03.01.02	千曲川改修期成同盟会負担金	185,000	千曲川沿岸の高水及び低水護岸の改修促進 会員割 13,750円 人口割 15,142円 受益面積割 10,776円 事業費割 145,624円 計 185,000円
	長野県治水砂防協会負担金	97,000	治水砂防事業の推進 均等割 10,000円 事業費割 51,000円 全国治水砂防協会費 10,000円 計 71,000円
	千曲川堤防対策期成同盟会負担金	150,000	千曲川沿岸の本堤防及び低水護岸の早期強化改修の促進 須坂市 100%
	長野県河川協会負担金	16,000	河川事業の推進 会員割 2,000円 事業費割 19,000円 計 21,000円
08.04.02.01	全国街路事業促進協議会負担金	10,000	街路事業の速やかな整備・充実を図る 人口割（人口5万人以上～10万人未満）

まちづくり課 1,436,321円

款・項・目・事業	負担金名	決算額（円）	目的及び根拠
08.04.01.02	都市計画協会負担金	123,000	都市計画に係る知識の普及と都市計画事業の推進を図るため 基本額（人口5万人～10万人） 114,000円 補正額（道路延長等による） 9,000円
	長野県都市施設協会 会費及び事業割負担金	31,300	都市計画事業に関する調査研究と事業推進を図るため 基本会費 2,500円×1/2（下水道と折半） 1,250円 人口割（1人75銭） 37,500円×1/2（下水道と折半） 18,750円 事業割負担金 街路区画整理事業 11,300円
	会議等出席負担金	2,800	第35回関東ブロック都市交通計画担当者会議出席負担金
08.04.01.03	長野都市圏総合都市交通体系調査負担金	1,721	長野都市圏総合都市交通計画協議会に係る費用のため 人口割（協議会運営費） 1,721円
08.04.01.04	蔵の町並みキャンパス事業負担金	900,000	蔵の町並みキャンパスの推進を図るため
08.04.03.01	会議等出席負担金	16,000	労働安全衛生特別教育等出席負担金

款・項・目・事業	負担金名	決算額（円）	目的及び根拠
08.04.03.02	全日本花いっぱい連盟 負担金	8,000	花と緑のまちづくり事業の推進を図るため 法人会費一律 8,000 円
	日本花の会負担金	50,000	桜の保護、保全のため 法人会費一律 50,000 円
08.04.04.02	会議等出席負担金	2,000	山の観音祭出席負担金
08.04.04.03	日本動物園水族館協会 負担金	240,000	動物園・水族館の相互連携を密にし、管理運営等の調査研究を行うため 正会員（定額）240,000 円
	会議等出席負担金	61,500	日本動物園水族館協会中部ブロック園館長 会議出席負担金外 10 件

学校教育課

21,697,776 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額（円）	目的及び根拠
03.02.06.03	会議等出席負担金	34,000	児童厚生員等基礎研修会 @26,000×1 人 全国子どもの健全育成リーダー養成セミナー @4,000×1 人 甲種防火管理新規講習会 @4,000×1 人
10.01.01.01	県都市教育委員会 連絡協議会負担金	31,000	県内各市の教育行政に関する教育委員会の 連絡調整 人口 5 万人以上 10 万人未満
	県市町村教育委員会 連絡協議会負担金	110,460	県内市町村の教育行政に関する教育委員会の 連絡調整 人口割 80,480 円 教委割 28,000 円 時報市町村割 1,980 円
	女性教育委員連絡 協議会負担金	10,000	県内女性教育委員連絡協議会負担金 @ 5,000×2 人=10,000 円
	会議等出席負担金	13,000	県市町村教育委員会連絡協議会負担金外 2 件
10.01.02.02	県自家用自動車協会 負担金	7,900	健全な車社会の発展に寄与する事業及び会 員の利益利便を図る施策を推進するための 県自家用車自動車協会負担金 平等割 100 円 車輛割 1,800 円 安全協会費 6,000 円
	郡市 P T A 研究集会 開催後援負担金	20,000	上高井郡市 P T A 連合会研究集会開催に伴 う負担金（市 20,000 円、町村各 10,000 円）
	須高危険物・防火 管理者協会負担金	3,000	危険物・防火管理者協会負担金
	会議等出席負担金	65,900	安全運転管理者講習会負担金外 7 件
10.01.03.01	県へき地教育振興 協議会負担金	4,300	山間地の教育の充実と振興を図るための協 議会負担金
	市教職員研修負担金	130,000	教職員会研修の講演会経費の負担金
	特色ある教育・学校 づくり推進事業負担金	6,080,000	各学校が独自性をもって取り組む、信州型 CS の運営・学習活動の他、学校環境づくり、課 外活動等の事業を計画し、特色ある教育・学 校づくりを推進するための負担金 @310,000×小学校 11 校=3,410,000 円 @610,000×中学校 4 校=2,440,000 円 @230,000×支援学校 1 校=230,000 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
10.01.03.01	ふれジョブ活動負担金	400,000	@100,000×4地区=400,000円
	自然体験学習 宿泊費負担金	2,406,800	小学校5年生峰の原高原自然体験学習の際 のペンション利用負担金 児童482人 @5,000円×481人+@1,800×1人
	児童・生徒平和学習 事業負担金	520,915	生徒8人 引率教諭1人(広島)
10.01.03.07	峰の原高原児童生徒 通学費負担金	150,451	児童4人、生徒2人 (燃料単価@132×距離×通学日数)
10.02.01.02	教科研究会負担金外	1,583,076	小学校長会負担金 @76,900×11校+7,000=852,900円 県視覚・放送教育研究会負担金 @14×2,694人=37,716円 教科研究会負担金 @2,500×180人=450,000円 上高井視聴覚教育協議会負担金 @90×2,694人=242,460円
	上田市委託児童負担金	1,282,000	平成30年度分 @387,642×4人≒1,550,000円 平成29年度精算分(不足額) @△67,000×4人=△268,000円
10.03.01.02	教科研究会負担金外	1,171,957	中学校長会負担金 @128,300×4校=513,200円 教科研究会負担金 @2,500×94人=235,000円 県視覚・放送教育研究会負担金 @14×1,313人=18,382円 県中学校体育連盟負担金 @200×1,313人=262,600円 上高井視聴覚教育協議会負担金 @90×1,313人=118,170円 須高地区教科用図書採択研究協議会負担金 24,605円
	上田市委託生徒負担金	1,565,000	平成30年度分 @738,498×2人≒1,476,000円 平成29年度精算分(不足額) @44,500×2人=89,000円
10.04.01.01	教科研究会負担金外	109,600	特別支援学校長会負担金 @62,100×1校=62,100円 教科研究会負担金 @2,500×19人=47,500円
10.07.01.02	学校医会負担金	20,000	須高学校医会負担金 20,000円
	長野地区市町村合同 結核対策委員会負担金	10,500	長野地区市町村合同結核対策委員会負担金 10,500円 事務局：須坂市
	ストレスチェック 負担金	33,372	教職員ストレスチェック負担金 294人分

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
10.07.01.03	日本スポーツ振興センター共済掛金負担金	3,834,545	学校の管理下における災害に対し、医療費等を給付するための共済掛金 一般世帯 @945×3,514人=3,320,730円 準要保護世帯 @945×515人－控除23,230円=463,445円 要保護世帯 @65×9人－控除90円=495円 前年度途中加入者 @945×13人=12,285円 市外学校通学世帯（信大附属、菅平） @460×56人=25,760円 学校法人長野日本大学学園 @455×26人=11,830円
	県都市学校保健会負担金	58,000	長野県学校保健会負担金 18,000円 須高等学校保健会負担金 40,000円
10.07.04.02	県学校栄養士部会負担金	16,000	全国栄養士協議会負担金 @6,000×2人=12,000円 県学校保健会栄養教諭・学校栄養職員部会負担金 @2,000×2人=4,000円
10.07.04.03	水道事業分担金	1,026,000	水道加入者分担金 50mm 1基
	上下水道工事監理業務負担金	1,000,000	配水管布設・布設替え工事 300,000円 下水道施設整備工事 700,000円

子ども課 557,069,874 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
03.02.01.05	県家庭児童相談員連絡協議会負担金	3,000	県家庭児童相談員連絡協議会負担金 @1,000×3人=3,000円
03.02.02.01	保育所運営費負担金	465,849,780	市内7私立保育園、市外の公立・私立保育園等19園への保育実施に係る負担金 (国が定める単価及び加算額×延利用人数)
03.02.03.02	日本スポーツ振興センター共済掛金負担金	366,440	保育中の園児の怪我等に対する補償のための保険料 一般会員 @375×928人=348,000円 (人数：平成30年5月1日の園児数) 要保護会員 @65×1人=65円 前年度追加会員 @375×49人=18,375円 (人数：29年度途中入所園児数)
	保育園連盟負担金	147,400	須坂市保育園連盟負担金 施設割 @5,000×10園=50,000円 県社協会費 @500×10園=5,000円 園児割 @100×924人(4/1現在) =92,400円
	会議等出席負担金	185,000	新任保育士研修会負担金外9件
03.02.03.04	病児等保育事業負担金	4,677,000	さかた山風の子保育園及びやすらぎ病児保育園に委託している病児・病後児保育実施に係る負担金(国庫補助単価額)

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
03.02.04.02	会 議 等 出 席 負 担 金	29,700	ファミリーサポートネットワーク全国講習会負担金 29,700 円
10.05.01.03	施 設 型 給 付 負 担 金	85,721,554	市内 2 認定こども園、市外 5 認定こども園、1 幼稚園への教育認定児童の施設型給付施設に係る負担金 (国が定める単価及び加算額×延利用人数)
10.06.06.03	県青少年補導委員会連絡協議会負担金	60,000	県内 16 市補導委員会の連携を図るための協議会負担金 18,000 円 県青少年補導センター所長、同補導委員長視察研修参加負担金 @21,000×2 人=42,000 円
	県青少年補導センター連絡協議会負担金	12,000	県内 19 市補導センターの連携を図るための協議会負担金 12,000 円
	会 議 等 出 席 負 担 金	18,000	北信ブロック青少年補導委員会正副会長・事務局担当者合同会議 @5,000×3 人=15,000 円 外 1 件

人権同和教育課 835,000 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
10.08.01.02	会 議 等 出 席 負 担 金	35,000	人権リーダー養成・部落問題講座外 3 件
10.08.03.01	人権のまちづくり推進会議負担金	800,000	人権のまちづくり推進会議の活動支援を図る (所属団体 33 団体)

議会事務局 827,519 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
01.01.01.03	全 国 市 議 会 議 長 会 負 担 金	421,000	地方自治の本旨に沿い、都市の興隆発展を図る。 均等割 261,000 円 人口割 160,000 円 (5 万人以上 10 万人未満)
	北信越市議会議長会負担金	52,000	北信越 5 県 (新潟・長野・富山・石川・福井) の市議会議長をもって組織し、地方自治の本旨に沿い、都市行財政の各般にわたり調査研究し、北信越各市の伸長発展に寄与するとともに各市相互の意思の疎通を図る。 人口割 52,000 円 (5 万人以上 15 万人未満)
	北信越市議会議長会慶弔基金負担金	2,000	会員相互の親睦を図るため、会員の慶弔及び震災等に際し、規定により金品を贈る。
	長野県市議会議長会負担金	40,000	市政に関する調査研究を行い、各市が協力して都市の興隆を図り、もって地方自治の健全な発達を期する。 人口割 40,000 円 (5 万人以上 10 万人未満)
	全国広域連携市議会協議会負担金	15,000	広域連携を推進するとともに、要望事項の実現を図るため、政府並びに国会に対する要請、関係団体との連絡及び必要な調査研究を行う。(182 市加盟 H30.4.1 現在) 均等割

款・項・目・事業	負担金名	決算額（円）	目的及び根拠
01.01.01.03	北信３市議会議員研修 会開催市負担金	25,519	北信３市議会議員の研修交流を行い、各市議員の資質向上、相互の意思疎通を図る。 支出額から出席者負担金を除いた額
	須高市町村議会議員 研修交流会負担金	5,000	須高３市町村議会議員の研修交流を行い、各市町村議員の資質向上、相互の意思疎通を図る。 支出額から出席者負担金、祝儀を除いた額
	会議等出席負担金	267,000	北信越市議会議長会定期総会出席負担金外 10件

消防本部 46,307,979 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額（円）	目的及び根拠
09.01.01.02	全国消防長会負担金	163,400	全国消防の融和協調を図り、消防制度及び技術の総合的研究を行い発展に資する。 平等割 27,000 円 定員割 12,000 円 人口割 124,400 円
	全国消防協会負担金	51,200	（公財）全国消防協会は災害防除に関する研究及び防災思想の普及を推進し、消防職員の教養を高める。 都市割 32,600 円 会員割 18,600 円
	全国消防長会関東支部 負担金	24,000	全国消防長会関東支部として関東地区における消防本部の相互連携を図る。 平等割 10,000 円 定員割 8,000 円 人口割 6,000 円
	県消防長会負担金	78,020	県内消防の連絡協調を図り、採長補短、もって消防の育成強化発展に資する。 均等割 8,000 円 職員数割 13,020 円 人口割 5,000 円 救助大会負担金 30,000 円 緊急消防援助隊負担金 20,000 円 熱傷学会負担金 2,000 円
	県高速道路消防連絡 協議会負担金	8,000	道路管理者、消防及び警察が、高速道路上における災害に迅速的確な対応連携を図る。 関係各消防本部平等割 8,000 円
	県自家用自動車協会 須高支部負担金	12,200	陸運行政・警察行政と連携し、交通道德の普及高揚を図る。 平等割 100 円 車両割 2,100 円 安全運転管理者割 10,000 円
	県消防学校入校負担金	1,359,610	県消防学校への研修を通して高度専門的な消防関係技術等の修得を目指すもの。 各科入校負担金 8科19人
	県消防防災航空隊 派遣職員人件費負担金	1,365,800	長野県消防防災航空隊へ派遣する職員に係る人件費分を県内各市町村で負担する。 基準財政需要額割 617,500 円 人口割 748,300 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
09.01.01.02	長野地域メディカル コントロール協議会 負 担 金	128,300	病院前救護に係る医療機関との連絡調整、指示体制の整備検証を支援する。 本部数割 12,000 円 委員、検証医等人数割 99,800 円 救急出動件数割 16,500 円
	須高地区山岳遭難防止 対 策 協 会 負 担 金	350,000	上信連峰における山岳入山者の遭難防止を図る。(事業費 530,000 円に対する隊員割) 隊員割 350,000 円
	救急救命研修負担金	2,071,000	救急救命士国家試験受験資格取得 1 人 研修受講負担金 1,670,000 円 共 通 経 費 401,000 円
	無 線 中 継 施 設 共 同 利 用 経 費 負 担 金	603,454	長野市との無線設備等の共同利用に関する協定書に基づく按分率、使用実績等により算出した負担額
	県防災行政無線保守 管 理 負 担 金	45,090	県により設置されている設備の保守管理に係る負担金(2分の1負担) パソコン・プリンタ等整備 30,215 円 保守点検費用 14,875 円
	出 動 経 費 負 担 金	182,536	小布施分署から須坂市北部地域に救急第一出動した経費に対する負担金
	多言語コールセンター 負 担 金	20,000	県で設置している外国人との3者通話を可能としたコールセンター利用負担金 1 消防本部あたり 20,000 円
	会 議 等 出 席 負 担 金	344,250	安全運転管理者講習出席負担金 外 5 件
09.01.02.01	退 職 消 防 団 員 報 償 負 担 金	16,915,200	消防団員の退職報償支給に係る掛金 @19,200×881 人 16,915,200 円
09.01.02.02	須高消防協会負担金	808,300	須高地区の防災思想を普及徹底し、消防施設の改善と防災活動の強化を図るとともに、消防団員の福祉増進に寄与する。 団員数割 176,337 円 世帯数割 526,797 円 均等割 105,200 円 合 計 808,334 円 (負担金額は合計額 100 円未満を四捨五入)
	消防団員等公務災害 補 償 負 担 金	1,851,437	消防団員の損害補償に係る掛金 非常勤消防団員に係る分 @1,900×881 人 1,673,900 円 消防作業従事者等に係る分 @2×50,725 人 101,450 円 水防従事者に係る分 @1.5×50,725 人 76,087 円
	県消防学校入校負担金	66,340	県消防学校への研修を通して高度専門的消防関係技術等の修得を目指す。 5 科 18 人
	消 防 用 設 備 等 設 置 負 担 金	3,992	消防団第1分団1部器具置場・穀町公会堂(同一棟)の自動火災報知設備の維持管理負担金 3,992 円
	無 線 局 電 波 利 用 料 負 担 金	16,200	活動上の指揮命令統制及び情報収集用無線局の電波利用 @450×36 台

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額（円）	目 的 及 び 根 拠
09.01.02.02	会 議 等 出 席 負 担 金	108,000	長野県都市消防長消防団長事務主任者会議負担金 外 5 件
09.01.03.01	消 火 栓 設 置 維 持 管 理 負 担 金	19,729,650	消火栓設置維持管理負担金 設置 17 基 14,916,190 円 維持管理（修繕）20 基 4,813,460 円
09.01.05.02	会 議 等 出 席 負 担 金	1,000	救急救命士研修会出席負担金 @1,000×1人
09.01.06.02	会 議 等 出 席 負 担 金	1,000	救急救命士研修会出席負担金 @1,000×1人

農業委員会事務局 245,000 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額（円）	目 的 及 び 根 拠
06.01.01.03	19 市農業委員会協議会 負 担 金	10,000	県内 19 市の農業委員会相互の連携を密にし、 調査研究を行なう。 均等割 10,000 円
06.01.01.04	須高地区農業委員会 協 議 会 負 担 金	212,000	須高地区の農業委員会相互の連携を密にし、 委員研修等を行なう。 均等割 28,500 円 農家戸数割 96,700 円 耕作面積割 86,800 円
	会 議 等 出 席 負 担 金	23,000	19 市農業委員会協議会通常総会出席負担金 外 2 件

選挙管理委員会事務局 2,935,739 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額（円）	目 的 及 び 根 拠
02.04.01.02	全 国 市 区 選 挙 管 理 委 員 会 連 合 会 負 担 金	27,600	全国各市区の相互連携を図り、選挙の執行管理の適正化に努める。 均等割 19,000 円 人口割 8,600 円（17 銭×50,878 人）
	全 国 市 区 選 挙 管 理 委 員 会 連 合 会 北 信 越 支 部 負 担 金	9,300	北信越各市の相互連携を図り、選挙の執行管理の適正化に努める。 均等割 5,000 円 有権者割 4,300 円（10 銭×42,798 人）
	長 野 県 選 挙 管 理 委 員 会 連 合 会 負 担 金	6,100	県内各市町村の相互連携を図り、選挙の執行管理の適正化に努める。 均等割 1,000 円 有権者割 5,100 円（12 銭×42,798 人）
	長 野 県 19 市 選 挙 管 理 委 員 会 連 合 会 負 担 金	12,400	県内各市の相互連携を図り、選挙の執行管理の適正化に努める。 均等割 6,000 円 有権者割 6,400 円（15 銭×42,798 人）
	会 議 等 出 席 負 担 金	60,000	長野県 19 市選挙管理委員会連合会総会出席者負担金外 2 件

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
02. 04. 02. 02	選挙運動用自動車使用 公 営 費 負 担 金	406, 859	平成 31 年 2 月 3 日執行の須坂市議会議員一 般選挙における選挙公営 ・選挙運動用自動車借上負担金 15 人 195, 670 円 ・選挙運動用自動車燃料使用負担金 16 人 41, 189 円 ・選挙運動用自動車運転手雇用負担金 17 人 170, 000 円 須坂市議会議員及び須坂市長の選挙における 選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例
	選挙運動用ポスター 作 成 公 営 費 負 担 金	2, 413, 480	平成 31 年 2 月 3 日執行の須坂市議会議員一 般選挙における選挙公営 ・選挙運動用ポスター作成負担金 20 人 2, 413, 480 円 須坂市議会議員及び須坂市長の選挙における 選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条 例

監査委員事務局 34,000 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
02. 06. 01. 02	全国都市監査委員会 負 担 金	23, 000	全国各市の相互連携を密にし、監査行政の適 正化と委員の資質向上を図る。 均等割 10, 800 円 人口割 12, 600 円 30 年度のみ△調整 400 円 23, 000 円
	東 海 地 区 都 市 監 査 委 員 会 負 担 金	5, 000	東海地区各市の相互連携を密にし、監査行政 の適正化と委員の資質向上を図る。 均等割と人口割額の計
	会 議 等 出 席 負 担 金	6, 000	東海地区都市監査委員会総会・研究会出席者 負担金外 1 件

公平委員会事務局 72,000 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
02. 01. 10. 01	全国公平委員会連合会 負 担 金	31, 000	全国各市の相互連携を密にし、公平委員会の 適正化と委員の資質向上を図る。 人口段階別
	会 議 等 出 席 負 担 金	41, 000	長野県公平委員会連合会総会・研究会出席者 負担金外 3 件

イ 特別会計 659,684,271 円

国民健康保険特別会計 5,636,603 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額 (円)	目 的 及 び 根 拠
01. 01. 01. 01	長野県国保地域医療 推 進 協 議 会 会 費	7, 000	(社)長野県国保地域医療推進協議会への会 費 1 会員 7, 000 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額（円）	目的及び根拠
01.01.02.01	連合会負担金	2,059,803	長野県国民健康保険団体連合会一般負担金 平等割 112,000 円 被保険者数割 1,282,608 円 事業割 665,195 円
04.01.01.01	保健補導員会研修費負担金	3,180,000	保健補導員会の研修活動に対する負担金 12,000 円×265 人
	保健補導員会広報費負担金	200,000	保健補導員会の広報活動に対する負担金 保健補導員だより 100,000 円×2 回分
	保健補導員経験者研修費負担金	150,000	保健補導員経験者の研修に対する負担金 OB のつどいの講師謝礼等 150,000 円×1 回
	会議等出席負担金	2,000	長野県国保地域医療学会出席負担金
04.02.01.01	会議等出席負担金	37,800	保健指導者養成セミナー負担金

井上、幸高、九反田、中島財産区特別会計 1,030,490 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額（円）	目的及び根拠
01.01.01.01	須坂市観光協会負担金	20,000	観光振興のため 定額
	長野森林組合賦課金	10,490	組合員割 200 円 面積割 @200*51.42ha 10,290 円
	井上、幸高、九反田、中島共有山林管理委員会負担金	1,000,000	造林事業費等負担金 定額

介護保険特別会計 10,256,347 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額（円）	目的及び根拠
01.02.01.01	保険料特別徴収に係る 経由機関業務負担金	111,167	特別徴収業務負担金 第1号被保険者 15,881 人×単価 7.00 円
01.03.02.01	長野広域連合負担金	9,884,000	介護認定審査に係る負担金 審査件数割（90%） 均等割（10%）
03.03.01.01	県高齢者福祉協会地域 包括支援センター 協議会負担金	15,000	県高齢者福祉協会地域包括支援センター事業会費（一律） 15,000 円
	全国地域包括・在宅介護 支援センター協議会 負担金	20,000	全国地域包括・在宅介護支援センター協議会会費（一律） 20,000 円
	会議等出席負担金	10,000	長野支部ケアマネジメント研修会負担金 （1 名分） 1,000 円 全国地域包括・在宅介護支援センター研修会 負担金（1 名分） 9,000 円
03.03.02.01	会議等出席負担金	3,000	権利擁護推進基礎セミナー参加費（2 名分） 3,000 円
03.03.03.01	会議等出席負担金	46,000	介護支援専門員実務研修受講料（1 名分） 46,000 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額（円）	目 的 及 び 根 拠
03.03.04.01	会 議 等 出 席 負 担 金	51,180	セミナー『社会福祉法人会計簿記の基本実務』参加費（1名分） 49,680 円 「まゆの会」反省会参加費（1名分） 1,500 円
03.03.07.01	会 議 等 出 席 負 担 金	116,000	認知症初期集中支援チーム員研修受講料 （1名分） 40,000 円 認知症地域支援推進員研修受講料 （2名分） 76,000 円

後期高齢者医療特別会計 642,760,831 円

款・項・目・事業	負 担 金 名	決算額（円）	目 的 及 び 根 拠
02.01.01.01	後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 納 付 金	642,760,831	徴収した後期高齢者医療保険料及び保険基盤安定事業繰入金を納付する。 後期高齢者医療保険料 519,571,100 円 保険基盤安定事業繰入金 123,189,731 円

(2) 補助金・交付金

ア 一般会計 1,801,157,558 円

総務課 92,400 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
02. 01. 01. 03	職員自己啓発研修助成金	92, 400

政策推進課 3,399,000 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
02. 01. 14. 01	結婚新生活支援事業補助金	1, 369, 000 (交付件数 5 件)
02. 01. 15. 01	自治体中間サーバー運営交付金	2, 030, 000

財政課 4,069,417 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
04. 03. 01. 02	水道事業会計補助金	4, 069, 417

福祉課 67,640,945 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
03. 01. 01. 02	生活福祉資金償還金利子補給金	23, 185
03. 01. 01. 03	社会福祉協議会活動事業補助金	41, 078, 667
	福祉のまちづくり事業補助金	3, 933, 759
	福祉輸送サービス事業補助金	4, 513, 422

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
職員の自己啓発能力と資質の向上に寄与するため、職員が自主的に資格を取得するための経費に対し、助成金を交付する。 (須坂市職員自主学習促進助成金交付要綱) 9人 巻上げ機特別教育 1人 (1/2) 5,100 円 精神保健福祉士 1人 (1/2) 20,000 円 キャリアコンサルタント 1人 (1/2) 19,400 円 自治体法務検定 基本法務 1人 (1/2) 2,700 円 消防職員の惨事ストレス中級研修 1人 (1/2) 15,000 円 消費生活相談員・消費生活専門相談員 1人 (1/3) 4,500 円 中型自動車運転免許証 1人 (1/2) 20,000 円 三級ファイナンシャル・プランニング技能士 1人 (1/2) 3,000 円 自治体法務検定 政策法務 1人 (1/2) 2,700 円	92,400	189,300	48.8

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
結婚に伴う新生活を支援して少子化対策を推進するため、補助金を交付する。 須坂市結婚新生活支援事業補助金交付要綱			
地方公共団体情報システム機構の特定個人情報の提供の求め等に係る電子計算機の設置等関連事務の委任に係る交付金 地方公共団体情報システム機構法第 33 条及び地方公共団体情報システム機構定款第 37 条第 1 項第 3 号による費用負担			

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
峰の原水道事業で借り入れた辺地対策事業債の償還金補助 地方交付税措置分 (元利償還金の 80%)			

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
低所得世帯等の生活の安定を図るため、生活福祉資金の借入金の償還者に対して、補助する。 補助率 1/2 以内 対象者 7 人 23,185 円 須坂市生活福祉資金利子補給金交付要綱			
民間社会福祉事業の育成と公的社会福祉事業の補完を図るため補助金を交付する。 須坂市社会福祉協議会活動事業補助金交付要綱	79,205,978	77,517,482	53.0
社会福祉協議会のボランティア活動の育成、充実を図るため補助金を交付する。 須坂市ふれあい地域福祉事業補助金交付要綱	5,151,379	5,151,379	76.4
須坂市社会福祉協議会が実施する福祉輸送サービス事業の適正な事業運営のために補助金を交付する。 須坂市福祉輸送サービス事業補助金交付要綱	5,007,422	5,007,422	90.1

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
03.01.01.03	保護司会活動事業補助金	80,000
	社会事業授産施設運営事業補助金	8,049,000
	社会事業授産施設通所費等補助金	320,590
	民生児童委員等交付金	7,809,600
03.01.02.01	心身障害者扶養共済加入掛金補助金	249,224
	障害者にやさしい住宅改好事業補助金	191,527
	手話通訳上級講座受講費補助金	29,144
	希望の旅事業補助金	300,000
	心身障害児（者）通園費等補助金	699,827

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
保護司会の活動の充実を図るため補助金を交付する。 須坂市保護司会活動事業補助金交付要綱	102,000	102,000	78.4
授産施設を運営する事業に要する経費のうち、対象経費の実支出額から施設事務費その他の収入の金額を控除した額又は人件費のいずれか低い額を限度とし補助する。 (福) 夢工房福祉会 8,049,000 円 須坂市授産施設運営事業補助金交付要綱	13,891,241	13,891,241	57.9
授産施設利用者の経済的負担軽減と自立促進のため、授産施設への通所に要する公共交通機関の通所経費に対して補助金を交付する。 4 人 320,590 円 須坂市授産施設通所費補助金交付要綱			
民生児童委員活動費及び地区協議会活動費等の交付 地区民生児童委員協議会活動費 665,210 円 @ 5,590 (年額) × 119 人 = 665,210 円 民生児童委員活動費 7,001,350 円 @ 59,000 (年額) × 116 人 = 6,844,000 円 任期途中退任・就任委員 157,350 円 地区会長活動費 143,040 円 @ 11,920 (年額) × 12 人 = 143,040 円 民生委員児童委員交付金取扱要領 (長野県)			
長野県重度心身障害者扶養共済制度の加入者に、補助金を交付する。 市民税非課税世帯 共済掛金の 5/10 3 人 99,200 円 市民税均等割課税世帯 共済掛金の 2/10 1 人 43,008 円 2 人以上給付世帯 共済掛金の 2/10 1 人 18,816 円 その他の世帯 共済掛金の 1/10 3 人 88,200 円 須坂市心身障害者扶養共済掛金給付金支給要綱			
重度身体障害者の福祉の増進を図るため、住宅整備に要する経費に対し、補助金を交付する。 @ 167,527 円 × 1 件 @ 24,000 円 × 1 件 須坂市障害者にやさしい住宅改良事業補助金交付要綱			
(福) 長野県聴覚障害者協会が主催する手話通訳養成講座の受講に要する経費の内、受講料・テキスト代の全額、交通費の半額を補助する。 平成 30 年度受講者 1 名 須坂市手話通訳者等養成事業補助金交付要綱			
重度心身障害者希望の旅事業補助金 10 月 20 日～21 日 千葉県浦安市 参加者 26 人 須坂市ふれあい地域福祉事業補助金交付要綱	1,197,020	1,197,020	25.1
県内の心身障害児・者施設に通園、通所又は入所している児・者及びその介護者等が通園、通所等に要する経費に対し補助する。 共同作業訓練施設等通所対象者 34 人 594,099 円 精神障害者授産施設等通所対象者 21 人 105,728 円 須坂市心身障害児・者通園費等補助金交付要綱			

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
03. 01. 02. 01	軽度・中等度難聴児補聴器購入費補助金	111, 000
03. 02. 07. 01	母子・父子家庭親子の集い補助金	252, 000

高齢者福祉課

33,330,285 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
03. 01. 03. 03	宅老所緊急宿泊支援事業補助金	64, 000
	高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金	50, 592
	介護保険社会福祉法人軽減事業補助金	48, 185
	特別地域加算軽減措置事業補助金	27, 773
03. 01. 03. 04	シニアクラブ連合会活動費交付金	755, 000
	老人クラブ活動費交付金	1, 425, 000
	老人福祉センター運営費補助金（永楽荘）	16, 434, 735
	シルバー人材センター運営費補助金	14, 408, 000 (うち、須坂市分 9, 452, 000)
	高齢者自動車燃料費補助金	117, 000

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
補装具支給制度に該当しない軽度・中等度難聴児の補聴器の購入に要する経費の一部を補助する。 @58,000×1人＝ 58,000 円 @53,000×1人＝ 53,000 円 須坂市軽度・中等度難聴児補聴器購入費等補助金交付要綱			
母子家庭及び父子家庭における親と子、家庭どうしの交流を目的として、東京ディズニーリゾートへのバス旅行を実施するにあたって補助する。 須坂市ふれあい地域福祉事業補助金交付要綱	537,977	537,977	46.8

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
介護者の急病等緊急な理由で、家庭で介護を受けることができない場合に、宅老所に宿泊した費用の一部を補助し、経済的負担の軽減と福祉の増進を図る。 宿泊費（食事代、入浴費用、送迎費用除く）の80%、 限度額4,000 円 須坂市宅老所緊急宿泊等支援事業実施要綱			
住宅等の改良に要する経費を補助し、寝たきり老人等の日常生活の利便を図る。 須坂市高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金交付要綱 補助率9/10 対象経費70万円限度			
介護保険で社会福祉法人等が行う生活困難者に対する利用者負担の軽減事業に助成し、円滑利用を図る。 須坂市社会福祉法人等による利用者負担軽減事業補助金交付要綱			
介護保険で社会福祉法人等が行う振興山村等地域における訪問介護の特別地域加算に係る利用者負担の減額事業に助成し、円滑利用を図る。 特別地域加算に係る訪問介護利用者負担減額に対する助成事業実施要綱			
シニアクラブ連合会の活動を助成し、老人福祉の向上を図る。 須坂市単位老人クラブ等活動交付金交付要綱	1,583,021	1,403,930	53.77
老人クラブの活動を助成し、老人福祉の向上を図る。 1クラブ15,000 円～87,000 円 9 ランク (27 クラブ) 須坂市単位老人クラブ等活動交付金交付要綱	13,588,528	10,284,735	13.85
高齢者の憩いの場として、相互の交流を深め、生きがいと健康づくりを図る。 須坂市ふれあい地域福祉事業補助金交付要綱	18,224,235	18,224,235	90.18
高齢者の労働能力活用と社会参加による生きがいの充実を図る。 須坂市シルバー人材センター運営業務補助金交付要綱	346,693,347	344,725,227	4.179
峰の原高原に居住する高齢者が使用する自家用車の燃料の一部を助成し、社会活動の範囲を広め福祉の増進を図る。 年間1人3,000 円×39人＝117,000 円 須坂市峰の原高原高齢者自動車燃料費助成事業実施要綱			

健康づくり課

8,060,690 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
04. 01. 02. 04	後期高齢者人間ドック受診補助金	7,500,000
04. 01. 03. 01	妊婦健康診査補助金	551,620
	産婦健康診査補助金	9,070

市民課

83,625,980 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
02. 01. 11. 01	県民交通災害共済組合加入事務交付金	752,980
02. 01. 11. 02	鉄道軌道輸送対策事業補助金	13,353,000
	屋代線代替交通補助金	8,015,000
02. 01. 11. 03	防犯灯設置補助金	2,984,000

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
02. 01. 13. 02	事務機器等設置事業補助金	829, 000
	公会堂建設事業補助金	10, 291, 000
	一般コミュニティ助成事業補助金	4, 900, 000
	須坂市区長会・自治会活動交付金	38, 500, 000
02. 03. 01. 02	社会保障・税番号制度カード交付関連事務交付金	4, 001, 000

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
区の事務機器の購入により区の行政効率を高める。(9町10件) 須坂市事務機器等設置事業補助金交付要綱 ・複写機 補助率 1/3 以内 上限額 10 万円 ・印刷機 補助率 1/3 以内 上限額 20 万円 ・パソコン 補助率 1/3 以内 上限額 6 万 6 千円 ・エアコン 補助率 1/5 以内 上限額 20 万円 ・情報連絡機器 補助率 1/3 以内 上限額 25 万円 複写機 松川町、旭ヶ丘町、光ヶ丘ニュータウン 印刷機 米持町 パソコン 北横町、旭ヶ丘町 エアコン 大谷町、高橋町、東横町、太子町	(補助額) 300,000 200,000 67,000 262,000	(事業費) 1,518,480 1,173,960 202,824 1,316,400	19.8 17.0 33.0 19.9
公会堂の建設等に係る住民負担の軽減を図る。(18町18件) 須坂市公会堂建設事業補助金交付要綱 ・新築、改築又は増築 補助率 1/3 以内 上限額 (150 世帯以上の区) 1,200 万円 ・補強・改築工事 補助率 2/10 以内 上限額 100 万円 ・公共下水道等接続工事 補助率 1/3 以内 上限額 50 万円 ・敷地購入 補助率 3/10 以内 上限額 360 万円 新築、改築又は増築 八幡町 補強又は改築 相森町外 15 町 公共下水道接続 なし 敷地購入 春木町	(補助額) 2,441,000 4,250,000 0 3,600,000	(事業費) 7,324,992 21,306,169 0 18,000,000	33.3 19.9 0.0 20.0
(公財)長野県市町村振興協会の助成金の決定を受け、コミュニティ活動に必要な設備を整備する。(2町2件) 一般コミュニティ助成事業(補助率 10/10 2,500,000 円限度) 須坂市補助金等交付規則 ① 南横町 ② 太子町	(補助額) 2,500,000 2,400,000	(事業費) 2,518,745 2,446,583	99.3 98.1
区長会及び自治会活動に係る事務費を交付し、区長会及び自治会活動(市報・回覧板配布、行政事務に係る活動等)を支援する。 須坂市補助金等交付規則 ① 自治会活動交付金 33,180,110 円 51,000 円×69 町区 1,530 円×16,879 世帯 1,580 円× 2,428 世帯(旧東村地区) ② 区長会活動交付金(区長事務費分) 3,238,000 円 各町世帯数に応じた区分 44,000 円～54,000 円 ③ 区長会活動交付金(区長会事務費分) 2,081,890 円 38,000 円×69 町区(ただし予算額を上限)			
地方公共団体情報システム機構の通知カード・個人番号カード関連事務の委任に係る交付金 地方公共団体情報システム機構法第 32 条による費用の負担			

生活環境課

3,937,400 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
04. 01. 05. 02	猫繁殖制限手術助成事業補助金	847, 000
04. 01. 05. 03	ごみ集積施設・設備整備事業補助金	292, 100
	家庭用生ごみ処理機及び生ごみ堆肥化処理容器補助金	471, 300
04. 01. 05. 07	新エネルギー導入設備設置費補助金	1, 499, 000
04. 01. 06. 02	小型合併処理浄化槽設置事業補助金	828, 000

生涯学習スポーツ課

27,178,000 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
10. 06. 01. 03	文化振興事業団自主事業補助金	20, 000, 000

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
人と猫の調和のとれた共生社会の実現と市民の快適な生活環境の保持を図るため、飼い猫又は飼い主のいない猫の繁殖制限手術費用の一部を助成する。 去勢手術 補助額 3,000 円 79 件 237,000 円 不妊手術 " 5,000 円 122 件 610,000 円 合 計 201 件 847,000 円 須坂市猫繁殖制限手術助成事業実施要綱			
地域の生活環境を保全するため、区が行うごみ集積施設の設置費を助成する。 補助率 1/2 以内 5 万円以内、6 町、6 基、 292,100 円 4/5 以内 20 万円以内、0 町、0 基、 0 円 須坂市ごみ集積施設・設備整備費補助金交付要綱			
電動生ごみ処理機及び生ごみ堆肥化処理容器の購入に要する経費の一部を助成し、ごみの減量化を図る。 補助率 1/2 以内 電動（手動）生ごみ処理機 1 世帯 1 台、限度額 30,000 円 14 基 408,500 円 生ごみ堆肥化処理容器 1 世帯 2 台まで、限度額 5,000 円 24 基 62,800 円 須坂市環境整備施設設置奨励に関する補助金交付要綱			
住宅に太陽光発電を設置し、それに伴う太陽電池モジュール等の付属器具及び配線器具等の購入及び据付工事に要する経費を助成する。 補助額 1 万円／kW（限度額：3 万円） 44 件 1,319,000 円 住宅に太陽熱利用システムを設置し、それに伴う集熱器等の付属器具及び配線器具等の購入及び据付工事に要する経費を助成する。 補助額 対象経費の 5 分の 1 の額（限度額：3 万円） 6 件 180,000 円 須坂市新エネルギー導入設備設置費補助金交付要綱			
公共下水道計画区域外において、し尿および生活雑排水による公共用水域の水質汚濁防止を図る 補助件数 2 件 補助額 828,000 円（6 人以上 7 人以下） 須坂市小型合併処理浄化槽設置事業補助金交付要綱			

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
市民の自主的な文化活動を支援し、優れた芸術鑑賞活動を行う一般財団法人須坂市文化振興事業団の自主事業に対する補助。 須坂市社会教育の振興に関する事業補助金交付要綱	38,037,197	57,319,084	34.9

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
10. 06. 05. 02	文化財保存活用事業補助金	894, 000
	小坂神社社叢（樹木医による樹木診断調査）	(136, 000)
	熊野神社のエノキ（枝の整理剪定及び土壌改良）	(282, 000)
	東照寺の桜（支障枝の剪定及び腐朽枝の除去）	(29, 000)
	墨坂神社社叢（腐朽枝の除去）	(191, 000)
	広正寺のエドヒガン（折損個所の養生）	(28, 000)
	小坂神社社叢（折損箇所の養生）	(151, 000)
	滝山不動寺奥之院（屋根の修復）	(77, 000)
10. 07. 03. 03	体育協会補助金	6, 284, 000

中央公民館 14,345,420 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
10. 06. 02. 03	社会教育の振興に関する事業補助金	900, 000
	須坂市連合婦人会	(450, 000)
	須坂市文化芸術協会	(450, 000)
	交付金	12, 105, 420
	分館交付金	9, 405, 420
	69 分館へ交付	(9, 054, 420)
	12 ブロックへ交付	(351, 000)
	9 地域づくり推進委員会へ交付	2, 700, 000
10. 08. 04. 01	人権教育公民分館活動費交付金	1, 340, 000

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率
	収 入 (円)	支出B (円)	A/B (%)
指定文化財の保存活用事業に対し、所有者等の負担軽減を図る。 須坂市文化財の保存及び活用事業補助金交付要綱	1,622,592	1,622,592	55.1
	(273,780)	(273,780)	49.7
	(502,848)	(502,848)	56.1
	(48,600)	(48,600)	59.7
	(318,384)	(318,384)	60.0
	(46,980)	(46,980)	59.6
	(302,400)	(302,400)	49.9
	(129,600)	(129,600)	59.4
(一社)須坂市体育協会の運営に対し補助した。 須坂市社会教育の振興に関する事業補助金交付要綱	28,067,481	27,434,355	22.9

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率
	収 入 (円)	支出B (円)	A/B (%)
社会教育に関する事業実施に要する経費補助 社会教育の振興に関する事業補助金交付要綱	(1,275,447)	(1,171,269)	(38.4)
	(1,319,498)	(1,232,173)	(36.5)
分館・ブロック事業に対する交付金 公民館規則 固定経費 均等割 18,000 円 世帯割 1 世帯 60 円 分館長手当 年額 14,000 円 主事手当 (1 分館 2 名まで) 年額 12,000 円 変動経費 分館報発行費 業者印刷 1 回につき 1 頁 4,000 円 2 頁以上 14,000 円 (業者印刷は、年 4 回まで) 印刷機等カラー 1 回 2,000 円 印刷機等 1 回 1,000 円 文化・体育・レクリエーション活動費 1 分館 年間 17,000 円 学習活動費 講師謝金支払基準による まちづくり事業費 1 分館 年間 7,000 円 地域づくり事業費 1 分館 年間 8,000 円	49,240,425	40,652,091	22.3
固定経費 ブロック運営費 1 分館当 3,000 円 ブロック長手当 年間 2,000 円 変動経費 学習活動助成費 年間 5,000 円 ブロック文化・体育・レクリエーション活動費 1 回 3,000 円	2,467,500	1,657,629	21.2
須坂市地域づくり推進事業交付金交付要領 300,000 円×9 地域づくり推進委員会	5,114,552	4,384,251	61.6
町別人権問題学習会交付金 2 回実施 20,000 円×65 町 1 回実施 10,000 円× 4 町	1,340,000	1,340,000	100.0

人権同和政策課

2,064,000 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
03. 04. 01. 03	須坂市部落差別をはじめあらゆる差別をなくす事業補助金 部落解放同盟須坂市協議会 部落解放同盟須高地区協議会	1, 556, 000 508, 000

農林課

221,257,702 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
06. 01. 02. 02	田の神農用地水利整備組合補助金	668, 000
	農家組合交付金	236, 200
06. 01. 02. 03	農業近代化資金融資利子補給金	53, 886
	認定農業者機械化資金融資利子補給金	301, 118
	農業経営基盤強化資金融資利子補給金	539, 875
	平成 25 年凍霜害及び冠水被害対策資金利子補給金	3, 974
	平成 26 年雪害対策資金利子補給金	45, 691
06. 01. 02. 06	下水道事業会計補助金	110, 000, 000
06. 01. 03. 01	水田排水特別事業補助金	1, 800, 000
	果樹共済掛金補助金	1, 842, 906
	経営所得安定対策推進事務費補助金	619, 000

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
人権が尊重され、差別のない明るい社会を実現するため、部落差別をはじめあらゆる差別をなくすことを目的に活動する団体が行う、部落差別をはじめあらゆる差別をなくすための事業に要する経費に対して補助する。 須坂市部落差別をはじめあらゆる差別をなくす事業補助金交付要綱 (部落解放同盟須高地区協議会に係る交付団体等の決算額の収入には、小布施町、高山村の補助金を含む。)	2,240,269 1,034,490	2,124,871 1,010,546	73.2 50.3

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
深井戸揚水により田の神地区の農業用水を確保し、地区の安定生産を図る。 須坂市農業振興に関する補助金交付要綱 電気料の30%	3,640,685	2,626,281	25.4
農業行政協力に対する支部交付金 須坂市補助金交付規則 均等割 127,000 円・戸数割 109,200 円			
農業近代化資金の融資利子の助成をし、負担軽減を図る。9 件 須坂市農業近代化資金融資利子補給金交付要綱 補給率 0.08%~0.35%			
農業機械化資金の融資利子の助成をし、負担軽減を図る。13 件 須坂市認定農業者機械化資金融資あっせん要綱 補給率 2.0%			
認定農業者の農業経営基盤強化の融資利子の助成をし、負担軽減を図る。20 件 須坂市農業経営基盤強化融資利子補給金交付要綱 補給率 0.075%~0.75%			
・平成 25 年 9 月の台風 18 号による冠水被害をうけた農業経営の安定を図る。2 件 平成 25 年冠水被害対策資金融資利子補給金交付要綱 補給率 0.5% ・平成 25 年 4 月の凍霜害による被害を受けた、農業者の経営安定を図る。1 件 平成 25 年凍霜害対策資金融資利子補給金交付要綱 補給率 1.0%			
平成 26 年 2 月の雪害により被害を受けた農業者の農業経営の安定を図る。5 件 平成 26 年雪害対策資金融資利子補給金交付要綱 補給率 1.0%			
下水道事業会計の健全な運営のための補助金			
幹線水路の浚渫及び護岸の草刈等の河川管理に対して助成する。 須坂市補助金等交付規則 定額	4,116,840	4,116,840	43.7
農家の果樹共済掛金の負担を軽減し、農業経営の安定を図る。 須坂市農業振興に関する補助金交付要綱 果樹共済掛金の 2/10 以内	9,215,320	9,215,320	20.0
経営所得安定対策事業の実施に必要な要件確認等の活動を推進する。 須坂市経営所得安定対策等推進事業費補助金交付要綱 補助率 10/10	619,000	619,000	100.0

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
06. 01. 03. 01	農地荒廃化防止事業補助金	91, 500
	農業用水確保事業補助金	597, 000
	風害対策改植等苗木補助金	696, 800
	環境保全型農業直接支払交付金	368, 000
	多面的機能支払交付金	46, 900, 520
	水産多面的機能発揮対策交付金	8, 498
06. 01. 03. 02	狩猟免許取得奨励補助金	109, 200
	猟友会活動事業補助金	34, 400
06. 01. 03. 03	農業次世代人材投資資金交付金	36, 000, 000
	須坂市新規就農研修給付金	5, 460, 000
	樹園地貸付事業補助金	5, 313, 000
06. 01. 03. 04	中間管理機構農地集積協力金	365, 000
06. 01. 03. 05	遊休農地解消対策事業補助金	1, 654, 600
	中山間地域直接支払制度交付金	4, 511, 124

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
市が定める作物を栽培及びめん羊の飼育を支援し、農地の荒廃化を防止する。 3 件 須坂市農地荒廃化防止事業補助金交付要綱 そば 1 kgあたり 200 円 防疫に要した費用の 1/2			
受益者が組織する団体又は地縁団体が所有・維持管理している農業用水の確保に用いている深井戸及び施設の修繕工事費 須坂市農業振興に関する補助金交付要綱 10 万円を超える工事費の 3/10 以内	2, 801, 520	2, 801, 520	21. 3
平成 30 年 9 月の台風 21 号被害による果樹の改植・補植をするための苗木の助成 須坂市補助金等交付規則 補助率 1/2 以内			
環境保全型農業に取り組む農業者の取組を支援する。2 団体 須坂市環境保全型農業直接支払交付金交付要綱 国 1/2 県 1/4 市 1/4			
地域共同で行う農地、農業用水等の資源の日常管理及び水路、農道等の施設の長寿命化のための活動を支援する。 14 団体 須坂市多面的機能支払交付金交付要項 国 1/2 県 1/4 市 1/4			
地域の漁業者等が行う環境保全に大きな影響を及ぼす内水面の生態系の維持・保全・改善活動を支援する。 国 7/10 市 3/10	28, 325	28, 325	30. 0
狩猟免許所持者の増と有害鳥獣駆除体制の維持 須坂市農業振興に関する補助金交付要綱 免許受験手数料 わな猟・銃猟 5, 200 円、所持免許以外の免許取得 3, 900 円			
猟友会活動を支援し、会員の有害鳥獣駆除のための技術向上を図る。 須坂市農業振興に関する補助金交付要綱 対象経費の 1/2 以内 5 万円上限	1, 755, 444	1, 569, 854	2. 2
就農直後の所得確保を目的に給付する。 須坂市農業次世代人材投資資金交付要綱 1 人年額 150 万円・夫婦年額 225 万円			
新規就農に向けた研修を受ける者に対し、研修期間中における生活費の助成をする。 須坂市新規就農研修給付金給付要綱 1 人月額 2 万円（農業次世代人材投資資金対象者は 1 万 5 千円、45 歳以上 55 歳未満で研修を受けるために住居が新たに必要である場合は 8 万円加算）			
営農に必要な農業施設の整備に係る負担を軽減し、農業経営の安定を図る。 須坂市農業振興に関する補助金交付要綱 対象経費の 1/2	10, 630, 329	10, 630, 329	50. 0
農地中間管理機構を通じて地域の中心となる担い手への農地集積及び集約化を支援する。 33 件 365, 000 円 須坂市農地中間管理機構集積協力金交付要綱 10 a あたり 5, 000 円（平成 30 年度の交付単価）			
遊休農地を解消し、活かした農地に復活させる。 須坂市農業振興に関する補助金交付要綱 8 万円/10a 上限			
東地区の農業生産活動が継続的に行われるよう農業の生産活動に関する不利を補正し、多面的機能を確保するため支援する。 中山間地域等直接支払交付金等交付要綱			

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
06. 01. 03. 06	新農業創生活動補助金	300, 000
	園芸産地育成振興対策事業補助金	1, 500, 000
	体験型農業支援補助金	200, 000
06. 03. 01. 04	間伐対策事業補助金	1, 037, 410

産業連携開発課 118,844,995 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
05. 01. 02. 02	連合長野須高地域協議会補助金 (連合長野高水地域協議会須高地区連合会)	190, 000
	須坂市勤労者協議会補助金	50, 000
	須高地区労働者福祉協議会補助金	470, 000
	勤労者住宅建設資金融資利子補給金 (37 件)	409, 526
	須坂市勤労者互助会補助金	450, 000
	勤労者資金融資保証料補給金 (10 件)	630, 868
	中小企業退職金共済加入奨励補助金 (141 事業所、487 人)	1, 732, 000
	勤労者生活資金融資利子補給金 (25 件)	1, 601, 601

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
地産地消、販路拡大、伝統野菜の復活など、新しい農業にチャレンジする団体を支援する。 3 団体（沼目越瓜の会・八町きゅうり研究会・村山早生ごぼう生産組合） 須坂市農業振興に関する補助金交付要綱 1/2 以内 10 万円上限			
ながの農業協同組合が認めた地域振興品種の育成の推進を図る。 須坂市農業振興に関する補助金交付要綱 1/2 以内 150 万円	5,000,000	5,000,000	30.0
農業体験型農園の設置又はワーキングホリデー若しくはグリーンツーリズムの受入れを行う農家を支援する。 須坂市農業振興に関する補助金交付要綱 2/3 以内 20 万円上限	303,912	303,912	65.8
森林が持つ水源涵養機能などの公益的機能の維持増進を図る。 須坂市林業振興に関する補助金交付要綱 県単価の 10% 嵩上げ			

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
労働団体の育成及び労働者の福利厚生を増進を図る。 商工業団体等に対する補助金交付要綱 対象経費の 2 分の 1 以内の額	446,646	446,646	42.5
労働団体の育成及び労働者の福利厚生を増進を図る。 商工業団体等に対する補助金交付要綱 対象経費の 2 分の 1 以内の額	219,297	219,297	22.8
労働団体の育成及び労働者の福利厚生を増進を図る。 商工業団体等に対する補助金交付要綱 対象経費の 2 分の 1 以内の額	1,790,543	1,790,543	26.2
勤労者に対して住宅の建設を奨励し、もって金利負担の軽減を図る。 勤労者住宅建設資金融資利子補給金交付要綱 対象資金 長野県労働金庫から融資を受けた額 (限度額新築 200 万円、増改築 100 万円) 補 給 額 5 年分の利子 20% (5 年以下の場合は 10%)			
未組織事業所の勤労者及び事業主の福利厚生を増進を図る。 商工業団体等に対する補助金交付要綱 対象経費の 2 分の 1 以内の額	1,989,070	1,989,070	22.6
未組織事業所に働く勤労者の信用力を増強し、経済的地位の向上を図る。 勤労者生活資金融資保証料補給金交付要綱 長野県労働金庫から融資を受けた 36 月分の保証料の全額			
中小企業従業員の退職金共済加入の奨励を図る。 中小企業退職金共済加入奨励補助金交付要綱 1 人、3 年間・月額 400 円			
勤労者の生活安定を図り、福祉の向上に資するため、勤労者生活資金借入者の金利負担の軽減を図る。 勤労者生活資金融資利子補給金交付要綱 対象資金 勤労者生活資金融資要綱の規定に基づく資金 補 給 率 年 1.0%			

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
05. 01. 02. 03	障害者雇用促進奨励金 (有)クラール、特定非営利活動法人信州能力開発ネットワーク)	120,000
05. 01. 02. 04	技術情報センター指定管理者自主事業補助金 (特定非営利活動法人信州 S O H O 支援協議会)	1,430,000
	人材能力開発事業補助金 (明治産業㈱、㈱広田製作所)	46,000
	人材育成支援事業補助金 (廣田産業㈱)	50,000
	次世代産業人材育成支援事業補助金 (須坂商工会議所青年部)	200,000
07. 01. 02. 01	受注開拓事業補助金 (信拓工業㈱、㈱中條製缶、㈱広田製作所、㈱ナディック、オシキ電機設備㈱、エーフィールズ㈱)	492,000
	商工業団体等に対する補助金（商工業振興対策事業） (須坂工業振興会)	150,000
07. 01. 02. 04	新技術・新製品開発事業補助金 (㈱倭技術研究所、㈱いろはり、㈱サンジュニア)	1,819,000
07. 01. 02. 05	企業立地振興事業補助金 (㈱コヤマ、信越空調㈱、㈱ホンダカーズ長野中央、㈱角藤、アスザックフーズ㈱)	109,004,000

目 的 及 び 根 拠	交 付 団 体 等 の 決 算 額		支 給 率 A/B (%)
障害者の雇用の促進を図る。 障害者雇用促進奨励金交付要綱 1人1回に限り 20,000円			
須崎市技術情報センターの指定管理者が行う自主事業（パソコン、語学、簿記等の講座、創業支援セミナーの開催）を支援し、受講者の負担軽減を図る。 商工業団体等に対する補助金交付要綱 経費の総額から他の収入総額を控除した額 200万円限度	1,495,052	1,495,052	95.6
中小企業者が自ら又はその従業員の能力開発のために受講する研修の費用の一部を補助し、人材育成を図る。 商工業振興条例(1人年1回) 研修受講料(1万円以上)の2分の1以内の額 3万円限度	302,000	302,000	15.2
企業者が自ら又はその従業員の能力の開発のため、研修を実施した経費の一部を補助し、人材育成を図る。 商工業振興条例 対象経費の2分の1以内の額、5万円限度	545,240	545,240	9.2
次世代の科学やものづくりを支える創造性豊かな子ども、学生又は若手技術者を育成するため、講習会等の開催に要した費用の一部を補助し、次世代の産業人材の育成を図る。 商工業団体等に対する補助金交付要綱 対象経費の3分の2以内の額 20万円限度	765,934	765,934	26.1
県内、県外で開催される展示会等の出展費用の一部を補助し、販路拡大を図る。 商工業振興条例 対象経費の2分の1以内の額 10万円限度	2,286,688	2,286,688	21.5
工業団体の育成及び工業の振興を図る。 商工業団体等に対する補助金交付要綱 対象経費の2分の1以内の額	311,245	311,245	48.2
新技術・新製品開発にかかる費用の一部を補助し、企業体質の強化を図る。 商工業振興条例 対象経費の2分の1以内の額 100万円限度	3,720,285	3,720,285	48.9
工場等の立地に係る初期費用の負担を軽減し工業の振興を図る。 商工業振興条例 用地取得に対する補助金 (日滝原産業団地) 用地取得価格－4,000万円×3/10以内 1億2,000万円限度 (インター須坂流通産業団地) 取得面積×3,100円/㎡以内 1億2,000万円限度 建物等設置に対する補助金 当該建物等に対する固定資産税相当額 2,000万円限度	2,212,932,098	2,212,932,098	4.9

商業観光課

44,228,233 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
07. 01. 02. 02	金融保証料及び利子補給金 (179 件)	21, 528, 307
07. 01. 02. 03	中心市街地活性化事業 (商工業振興事業補助金)	624, 926
	商店会連合会企画事業 (商工業振興事業補助金)	1, 052, 000
	街路灯電気料補助事業 (商工業振興事業補助金)	493, 000
	わざわざ店等開設支援事業 (商工業振興事業補助金)	9, 000, 000
	商店街環境整備事業補助金	1, 630, 000
	商工業振興対策事業 (商業団体強化育成事業補助金)	6, 800, 000
07. 01. 03. 02	峰の原高原観光協会補助金	600, 000
	峰の原高原冬季誘客対策事業補助金	2, 500, 000

道路河川課

33,664,218 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
04. 03. 01. 01	水道事業会計補助金	33, 244, 218
08. 03. 01. 02	松川排水施設管理組合補助金	380, 000
	千曲川漁業協同組合補助金	40, 000

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
中小企業者の資金借入れ時の負担を軽減し、商工業の振興を図る。 中小企業振興資金融資あっせん要綱			
市が策定した中心市街地活性化基本計画に基づき、中心市街地の活性化を図る。(補助率 10/10) 中心市街地活性化事業補助金交付要綱 信州須坂蔵のまち春まつり実行委員会、ワインフェア須坂 2019 実行委員会	2,560,931	2,560,931	24.4
商工業団体の育成及び商工業の振興を図る。(補助率 1/2) 商工業団体等に対する補助金交付要綱	3,229,817	3,124,180	33.7
街路灯電気料の一部を補助し、商店街団体等を支援する。 (補助率 1/5) 商工業振興条例施行規則 青木新道商盛会 ほか 22 団体	2,516,144	2,516,144	19.6
空き店舗等を創業用店舗として改修等した経費及び家賃の一部を補助し、活性化を図る。(改修補助率 1/5、家賃補助率 2/3) 商工業振興条例施行規則 創業用店舗改修費補助 café ピリカ ほか 4 件 創業用店舗家賃補助 KINU suzaka japan ほか 6 件 既存店舗改修費補助 キタザワ美容室	31,288,664	31,288,664	28.8
街路灯の設置費や LED 化工事費等を補助し、商店街団体等を支援する。(補助率 1/2) 商工業振興条例施行規則 桜木町商盛会、須坂駅前南本通り商店会	3,299,400	3,299,400	49.4
商工業団体の育成及び商工業の振興を図る。(補助率 1/2) 商工業団体等に対する補助金交付要綱 須坂商工会議所、須坂商工会議所青年部	156,857,762	137,895,146	4.9
峰の原高原の誘客対策、誘客宣伝の推進を図る。(補助率 1/2) 商工業団体等に対する補助金交付要綱 峰の原高原観光協会	2,833,930	2,324,780	25.8
峰の原高原の冬季誘客対策、誘客宣伝の推進を図る。(補助率 1/2) 商工業団体等に対する補助金交付要綱 峰の原高原観光協会	5,219,205	5,197,917	48.1

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
豊丘ダム建設負担金に対する水道事業債の償還金補助			
排水施設の維持管理に要する費用 松川町排水管理組合補助金交付基準 2 分の 1 (予算の範囲内)	1,840,651	1,840,651	20.6
河川環境保全・利活用補助 2 分の 1 (予算の範囲内)	5,165,350	3,464,147	1.2

まちづくり課

1,006,098,000 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
08. 04. 01. 05	下水道事業会計補助金	986, 500, 000
08. 04. 05. 01	歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金	5, 000, 000
08. 05. 01. 04	須坂市住宅・建築物耐震改修事業補助金 (既存木造住宅、避難施設耐震補強事業)	10, 070, 000
	ブロック塀等改修事業補助金	4, 028, 000
08. 05. 01. 05	須坂市多世帯同居・近居支援事業補助金	500, 000

学校教育課

97,000 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
10. 01. 03. 01	峰の原高原高等学校等生徒通学費補助金	72, 000
10. 03. 01. 02	合同部活動交通費補助金	25, 000

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
下水道事業会計における処理施設の維持管理経費の不足分を負担することにより、同会計の健全性を確保し、処理施設の適切な維持管理に資する。			
貴重な市民の財産である歴史的建造物を活かしたまちづくりを行うため、建造物を活用してその所有者等が維持、保存する事業に要する経費に対して補助する。（1件に対し補助） 須坂市補助金等交付規則 須坂市歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金交付要綱 国の登録有形文化財または須坂市歴史的建造物に登録された建造物で全部又は一部について不特定多数のものが利用できるものであること。 補助率5分の3以内で、500万円を限度とする。	8,600,000	8,600,000	58.1
市が実施した耐震診断士による耐震診断の結果、木造住宅は、総合評点が1.0未満で耐震補強工事を行うことにより総合評点が0.7以上となり、かつ工事前の総合評点を上回る工事に対し補助を行った。また、避難施設（非木造）は、耐震診断及び耐震改修を図るための基本的な方針（平成18年国土交通省告示第184号）別表第6(3)に該当する工事に対し補助を行い、耐震性の高いまちづくりを行う。（住宅2件、避難施設1件に対し補助） 須坂市補助金等交付規則 須坂市住宅・建築物耐震改修事業補助金交付要綱 既存木造住宅 補助率2分の1以内で、100万円を限度とする。 避難施設 面積1㎡当たり50,300円を乗じて得た額の3分の2以内の額とする。	52,372,008	52,372,008	19.2
危険なブロック塀等の倒壊による通行人の被害を未然に防止し、その安全を確保するため、その所有者が行う道路及び市有施設の隣地境界に面するブロック塀等の撤去又は改修を実施する事業に対して補助する。 須坂市補助金等交付規則 須坂市ブロック塀等改修事業補助金交付要綱 補助率10分の2以内で、10万円を限度とする。	27,334,811	27,334,811	14.7
子育て支援と高齢者が安心して暮らせる環境づくり及び本市への定住の促進を図る目的で、他市町村から転入し多世帯同居又は近居をするための住宅の改修、建築・購入に要する経費に対して補助する。（住宅の改修1件に対し補助） 須坂市多世帯同居・近居支援事業補助金交付要綱 住宅の改修費の3分の1以内（上限50万円） 住宅の建築・購入費（上限50万円）	3,770,000	3,770,000	13.3

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
峰の原高原の高校生等の保護者に対し、通学に要する経費を補助 1人			
女子バレー部で試行した合同部活動の会場までの生徒移動費として、東中学校の生徒が利用した路線バス運賃を補助	25,000	25,000	100

子ども課

121,921,725 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
03.02.01.02	児童遊具整備事業補助金	85,860
03.02.01.04	私立保育所通常保育事業補助金	5,262,000
	保育士配置基準緩和補助金	5,832,000
	特別支援保育対策事業補助金	6,868,000
	私立保育所整備資金利子補給金	226,000
	一時預かり事業補助金	8,249,250

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
児童遊具を整備する事業に要する経費に対して補助する。 上八町 42,660 円 ブランコ修繕 中島町 13,500 円 遊具点検 屋部町 29,700 円 ブランコ・滑り台撤去 須坂市児童遊具整備事業補助金交付要綱			
私立保育所の事業に要する経費のうち、給料、職員手当、社会保険料、報酬、賃金に要する経費に対して補助する。 施設割 @ 510,000×7園=3,570,000 円 園児割 @ 4,700×360人=1,692,000 円 上高井保育園 53人 759,100 円 豊洲保育園 36人 679,200 円 みつばち保育園 80人 886,000 円 やすらぎ保育園 20人 604,000 円 さかた山風の子保育園 90人 933,000 円 マリアこども園 65人 815,500 円 双葉幼稚園 16人 585,200 円 (4月在籍園児数計) 360人 須坂市私立保育所等補助金交付要綱			
1歳児の保育士配置基準を緩和するため、保育士の雇用に要する経費に対して補助する。 1歳児加配(補助単価 162,000 円×加配月数) みつばち保育園 162,000 円×12月=1,944,000 円 やすらぎ保育園 162,000 円×12月=1,944,000 円 さかた山風の子保育園 162,000 円×12月=1,944,000 円 須坂市私立保育所等補助金交付要綱			
障がいのある児童を受け入れるために加配した保育士の雇用に要する経費に対して補助する。(基準額を上限とする実支出額) 上高井保育園 103,000 円×延16人(2人)=1,648,000 円 みつばち保育園 145,000 円×延12人(2人)=1,740,000 円 さかた山風の子保育園 145,000 円×延12人(1人)=1,740,000 円 マリアこども園 145,000 円×延12人(1人)=1,740,000 円 須坂市私立保育所等補助金交付要綱			
社会福祉法人が公立保育所に代わる私立保育所を新設するために、金融機関から資金を借り入れた場合の利子に対し、予算の範囲内で利子補給金を交付する。(千円未満切捨て) 社会福祉法人 わらべ福祉会(さかた山風の子保育園) 上半期(H30.3~8月) 233,987 円×1/2=116,000 円 下半期(H30.9~H31.2月) 221,222 円×1/2=110,000 円 須坂市私立保育所整備資金利子補給金交付要綱			
一時的保育に要する経費に対して補助する。 上高井保育園 一時的保育(基本額) 1,524,000 円 やすらぎ保育園 一時的保育(基本額) 2,700,000 円 マリア保育園 一時的保育(実額) 3,125,250 円 双葉幼稚園 一時的保育(実額) 900,000 円 須坂市私立保育所等補助金交付要綱			

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
03. 02. 01. 04	私立保育所施設整備事業補助金	47,533,500
	子ども・子育て支援事業補助金	15,276,000
	子育て支援総合助成金事業補助金	1,530,000
	病児保育事業補助金	3,729,000
	保育対策総合支援事業費補助金	186,000
03. 02. 03. 03	保育園通園費補助金	201,000
10. 05. 01. 01	私立幼稚園補助金	2,250,900
	特別支援保育対策事業補助金	1,214,625

目 的 及 び 根 拠	交 付 団 体 等 の 決 算 額		支給率 A/B (%)																																			
	収 入 (円)	支出B (円)																																				
マリアこども園の分園とブロック塀改修、やすらぎ病児保育園、 の施設整備に対して補助する。 マリアこども園分園 10,396,500 円 やすらぎ病児保育園 34,035,000 円 マリアこども園（ブロック塀） 3,102,000 円 須坂市私立保育所等補助金交付要綱																																						
延長保育に要する経費に対して補助する。 延長保育（基準額 300,000 円～5,524,000 円） 上高井保育園 2,770,500 円 豊洲保育園 1,207,800 円 みつばち保育園 3,454,800 円 やすらぎ保育園 1,643,100 円 さかた山風の子保育園 4,003,800 円 マリアこども園 1,756,800 円 双葉幼稚園 439,200 円 須坂市私立保育所等補助金交付要綱																																						
低年齢児保育を実施する場合に要する経費に対して補助する。 乳児保育支援事業 年額 510,000 円 みつばち保育園 510,000 円 やすらぎ保育園 510,000 円 さかた山風の子保育園 510,000 円 須坂市私立保育所等補助金交付要綱																																						
病児保育施設開所に要する経費に対して補助する。 やすらぎ病児保育園 3,729,000 円 須坂市私立保育所等補助金交付要綱																																						
国の保育所等事故防止推進事業に要する経費に対して補助する。 マリアこども園 186,000 円 須坂市私立保育所等補助金交付要綱																																						
上田市立すがだいら保育園に通園する児童の保護者が送迎に要 する通園費に対して補助する。（燃料単価×距離×日数） 対象世帯数 5 世帯 須坂市保育所通園費補助金交付要綱																																						
私立幼稚園の事業に要する経費のうち、給料、職員手当、社会保 険料、報酬、賃金に要する経費に対して補助する。 <table><tr><th>園 名</th><th>園児数 (人)</th><th>園児割 @2,700</th><th>施設割 @510,000</th><th>計 (円)</th></tr><tr><td>マリア</td><td>69</td><td>186,300</td><td>0</td><td>186,300</td></tr><tr><td>豊</td><td>54</td><td>145,800</td><td>510,000</td><td>655,800</td></tr><tr><td>泉園</td><td>32</td><td>86,400</td><td>510,000</td><td>596,400</td></tr><tr><td>双葉</td><td>105</td><td>283,500</td><td>0</td><td>283,500</td></tr><tr><td>山びこ</td><td>7</td><td>18,900</td><td>510,000</td><td>528,900</td></tr><tr><td>計</td><td>267</td><td>720,900</td><td>1,530,000</td><td>2,250,900</td></tr></table> 須坂市私立幼稚園補助金交付要綱	園 名	園児数 (人)	園児割 @2,700	施設割 @510,000	計 (円)	マリア	69	186,300	0	186,300	豊	54	145,800	510,000	655,800	泉園	32	86,400	510,000	596,400	双葉	105	283,500	0	283,500	山びこ	7	18,900	510,000	528,900	計	267	720,900	1,530,000	2,250,900			
園 名	園児数 (人)	園児割 @2,700	施設割 @510,000	計 (円)																																		
マリア	69	186,300	0	186,300																																		
豊	54	145,800	510,000	655,800																																		
泉園	32	86,400	510,000	596,400																																		
双葉	105	283,500	0	283,500																																		
山びこ	7	18,900	510,000	528,900																																		
計	267	720,900	1,530,000	2,250,900																																		
障がいのある児童を受け入れるために加配した職員の雇用に要 する経費に対して補助する。（基準額を上限とする実支出額） 延月数 12(1 人) 実支出額 1,214,625 円 須坂市私立幼稚園補助金交付要綱																																						

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
10. 05. 01. 02	幼稚園就園奨励費補助金	16, 057, 920
10. 06. 06. 01	育成会活動交付金	7, 350, 670

目 的 及 び 根 拠							交 付 団 体 等 の 決 算 額		支給率 A/B (%)
							収 入 (円)		
私立幼稚園の設置者が徴収する入園料、保育料を幼児の属する世帯の所得状況に応じて減免する事業に要する経費に対して補助する。									
園 名			市民税非課税 ・市民税所得割 非課税の世帯	市民税所得割額 77,100 円以下 の世帯	市民税所得割額 211,200 円以下 の世帯	左記以外の 世帯	計		
豊	第1子	人数	1	5	17		53 人 8,015,600 円		
		金額	240,000	936,000	1,057,400				
	第2子	人数	2	3	15	5			
		金額	480,000	696,000	2,713,300	728,900			
	第3子	人数			4				
		金額			924,000				
泉園	第1子	人数	1	4	10		26 人 3,494,800 円		
		金額	240,000	748,800	622,000				
	第2子	人数	2	2	3	3			
		金額	310,000	317,000	555,000	462,000			
	第3子	人数							
		金額							
山びこ	第1子	人数					7 人 1,589,020 円		
		金額							
	第2子	人数			3	1			
		金額			555,000	154,000			
	第3子	人数	1						
		金額	293,340						
昭和	第1子	人数		2			19 人 2,413,600 円		
		金額		586,680					
	第2子	人数		4	6				
		金額		668,400	342,100				
	第3子	人数	1	1	2	3			
		金額	233,600	233,600	222,500	462,000			
こどもの森	第1子	人数			2		1 人 272,000 円		
		金額			78,800				
長野	第1子	人数			1		1 人 62,200 円		
		金額			62,200				
裾花	第2子	人数			1		2 人 80,100 円		
		金額			26,700				
	第3子	人数			1				
		金額			53,400				
ルンビニ	第1子	人数			1		1 人 51,800 円		
		金額			51,800				
計		人数	10	22	68	12	112 人		
		金額	2,308,940	4,426,480	7,515,600	1,806,900	16,057,920 円		
須坂市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱									
各町育成会の活動に要する経費に対して補助する。 平均割 28,000 円、世帯割 180 円、児童生徒数割 500 円 須坂市育成会活動交付金交付要綱							30,347,216	24,162,718	30.4

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
10. 06. 06. 03	児童青少年健全育成ブロック連絡協議会補助金	57, 000
	青少年環境浄化事業補助金	12, 000

人権同和教育課 1,707,000 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
10. 08. 02. 01	学校人権教育活動費交付金	1, 300, 000
	中学校ブロック人権教育研修費交付金	200, 000
10. 08. 03. 01	部落差別をはじめあらゆる差別をなくす事業補助金 須坂市企業人権教育推進会議	150, 000
10. 08. 03. 02	部落差別をはじめあらゆる差別をなくす事業補助金 解放子ども会保護者会	57, 000

議会事務局 2,540,556 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
01. 01. 01. 03	須坂市議会政務活動費交付金 (新しい須坂の風を市民と共に創る会)	543, 884
	同 上 (須坂市民クラブ)	187, 500
	同 上 (日本共産党)	275, 000
	同 上 (すざか輝創会)	466, 807
	同 上 (無所属クラブ)	275, 000
	同 上 (LD水の会)	235, 792

目 的 及 び 根 拠	交 付 団 体 等 の 決 算 額		支 給 率 A/B (%)
	収 入 (円)	支 出 B (円)	
児童青少年健全育成に係わる育成会等で組織する、小学校単位のブロック協議会の運営に要する経費に対して補助する。 町 割 1町当り 1,000 円 平均割 1ブロック当り 1,000 円 須坂市社会教育の振興に関する事業補助金交付要綱	386,940	247,443	23.0
有害図書自動販売機の撤去活動等を行う団体の事業遂行に要する経費に対して補助する。 高甫地域健全育成に係る有害環境を排除する会 12,000 円 須坂市社会教育の振興に関する事業補助金交付要綱	56,946	39,517	30.4

目 的 及 び 根 拠	交 付 団 体 等 の 決 算 額		支 給 率 A/B (%)
	収 入 (円)	支 出 B (円)	
学校人権教育の推進を図る。 学校人権教育活動費交付金等交付要領	1,413,739	1,413,739	92.0
学校人権教育の推進を図る。 学校人権教育活動費交付金等交付要領	200,551	200,551	99.7
企業人権教育推進会議の活動支援を図る。 (会員企業 85 事業所) 部落差別をはじめあらゆる差別をなくす事業補助金交付要綱	750,245	554,207	27.1
解放子ども会活動の推進を図る。 部落差別をはじめあらゆる差別をなくす事業補助金交付要綱	61,697	57,457	99.2

目 的 及 び 根 拠	交 付 団 体 等 の 決 算 額		支 給 率 A/B (%)
	収 入 (円)	支 出 B (円)	
市議会会派が行う市政に関する調査研究を推進するための経費の一部を交付 須坂市議会政務活動費の交付に関する条例 (平成 30 年 4 月～平成 31 年 2 月分) 議員 1 人当り年額 150,000 円×4 人×11/12＝ 550,000 円 150,000 円×1 人× 7/12＝ 87,500 円 不用額 93,616 円	543,884	543,884	100.0
同 上 議員 1 人当り年額 150,000 円×1 人×11/12＝ 137,500 円 150,000 円×1 人× 7/12＝ 50,000 円	187,500	220,641	85.0
同 上 議員 1 人当り年額 150,000 円×2 人×11/12＝ 275,000 円	275,000	427,567	64.3
同 上 議員 1 人当り年額 150,000 円×4 人×11/12＝ 550,000 円 150,000 円×1 人× 4/12＝ 50,000 円 不用額 133,193 円	466,807	466,807	100.0
同 上 議員 1 人当り年額 150,000 円×2 人×11/12＝ 275,000 円	275,000	276,216	99.6
同 上 議員 1 人当り年額 150,000 円×2 人×11/12＝ 275,000 円 不用額 39,208 円	235,792	235,792	100.0

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
01. 01. 01. 03	須坂市議会政務活動費交付金 (新政会)	363, 979
	同 上 (新風共創会)	9, 758
	同 上 (輝創会)	62, 359
	同 上 (日本共産党)	25, 000
	同 上 (無所属クラブ)	12, 500
	同 上 (新政会)	82, 977

消防本部

3,054,592 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
09. 01. 01. 02	消火栓放水器具等設置事業補助金	471, 242
09. 01. 02. 02	消防団運営交付金	2, 583, 350

イ 特別会計 17,400,000 円

国民健康保険特別会計

17,400,000 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
04. 01. 01. 02	人間ドック受診補助金	17, 400, 000

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
市議会会派が行う市政に関する調査研究を推進するための経費の一部を交付 議員 1 人当り年額 $150,000 \text{ 円} \times 3 \text{ 人} \times 11/12 = 412,500 \text{ 円}$ $150,000 \text{ 円} \times 1 \text{ 人} \times 7/12 = 87,500 \text{ 円}$ 不用額 136,021 円	363,979	363,979	100.0
(平成 31 年 3 月分) 議員 1 人当り年額 $150,000 \text{ 円} \times 5 \text{ 人} \times 1/12 = 62,500 \text{ 円}$ 不用額 52,742 円	9,758	9,758	100.0
同 上 議員 1 人当り年額 $150,000 \text{ 円} \times 5 \text{ 人} \times 1/12 = 62,500 \text{ 円}$ 不用額 141 円	62,359	62,359	100.0
同 上 議員 1 人当り年額 $150,000 \text{ 円} \times 2 \text{ 人} \times 1/12 = 25,000 \text{ 円}$	25,000	42,560	58.7
同 上 議員 1 人当り年額 $150,000 \text{ 円} \times 1 \text{ 人} \times 1/12 = 12,500 \text{ 円}$	12,500	12,713	98.3
同 上 議員 1 人当り年額 $150,000 \text{ 円} \times 7 \text{ 人} \times 1/12 = 87,500 \text{ 円}$ 不用額 4,523 円	82,977	82,977	100.0

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
区又は区民による自主防災組織が消火栓放水器具等をその区域内に設置する事業に要する経費に対し、補助金を交付し経費の軽減を図る。 補助金額 設置に要した額の 2 分の 1 以内 限度額 50,000 円 7 区 13 件に交付 須坂市消火栓放水器具等設置事業補助金交付要綱	471,242	998,784	47.1
消防団の円滑な運営と活動を支援するために交付する。 分団割 1 分団当り $50,000 \text{ 円} \times 10 \text{ 分団}$ 1 分団当り $70,000 \text{ 円} \times 2 \text{ 分団}$ 部 割 1 部当り $15,000 \text{ 円} \times 17 \text{ 部}$ 1 部当り $20,000 \text{ 円} \times 17 \text{ 部}$ 1 部当り $25,000 \text{ 円} \times 4 \text{ 部}$ 団員割 団員当り $450 \text{ 円} \times 863 \text{ 人}$ 特別交付金 本部分団 820,000 円 (ラッパ隊、鼓隊分の 50,000 円含む) 分団長会 40,000 円	2,583,350	2,583,350	100.0

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
35 歳以上の被保険者の人間ドック受診を補助 半日又は 1 日 $15,000 \text{ 円} \times 888 \text{ 人} = 13,320,000 \text{ 円}$ 1 泊 2 日又は 2 日間通院 $30,000 \text{ 円} \times 136 \text{ 人} = 4,080,000 \text{ 円}$ 須坂市人間ドック受診補助金交付要綱			

6 統計資料・基本計画等の作成状況

資料名・計画名	内容・計画期間	公表 時期	担当課	備考※	
				ホ	冊
須坂市行財政改革第四次チャレンジプラン 改訂版	R1～R2 年度	H31. 2	総 務 課	○	
須坂市公共施設等総合管理計画個別計画	R7 年度まで	H31. 2	総 務 課	○	
須坂市の統計 2018 年版（平成 30 年版）	H30 年度現在	H31. 3	政 策 推 進 課	○	○
平成 29 年度事業実績並びに主要施策 成果説明書	H29 年度現在	H30. 9	財 政 課	○	○
平成 30 年度市税のあらまし	H30 年度現在	H30. 10	税 務 課	○	
平成 30 年度社会福祉統計のあらまし	H30 年度現在	H30. 12	福 祉 課	○	○
須坂市の国保	H29 年度現在	H31. 3	健康づくり課		○
須坂市立博物館基本計画	H30. 12. 28 現在	H31. 1	生涯学習スポーツ課	○	○
平成 29 年度須坂市の教育	H29 年度現在	H30. 8	学 校 教 育 課	○	
平成 30 年度市議会要覧	H30. 4. 1 現在	H30. 5	議 会 事 務 局		○

※ ホ＝ホームページに掲載 冊＝冊子を作成